取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

日立マルチコミュニケーションシステム

integral X

ET-Xi/S
ET-Xi/LA
ET-Xi/LB

技術基準適合認証品

●このたびは、日立マルチコミュニケーションシステム「ET-Xi」シリーズをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。
お読みになった後も、本商品のそばなどいつもお手元においてお使いください。

●この「取扱説明書」は「ET-Xi」シリーズの各主装置で使用することができますが、ご使用になる主装置によって一部ご利用できない機能や内容が異なる場合があります。
下記のように記号を表示していますので、ご使用になる主装置に対応した説明をお読みください。
記号のない説明は、全機種共通です。
また、主装置によって電話機の画面表示が多少異なる場合があります。
S：ET-Xi/Sの仕様またはET-Xi/Sでご利用できる機能
LA：ET-Xi/LAの仕様またはET-Xi/LAでご利用できる機能
LB：ET-Xi/LBの仕様またはET-Xi/LBでご利用できる機能

●本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、販売店にお申しつけください。

●この電話システムは日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外では使用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

●本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規則ならびに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

●本装置（オプション用品等も含む）の故障、誤作動、不具合、あるいは停電等の外部要因によって正常に機能しなかったことによる付随的な補償や、通話などの機会を逸したために発生した損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●本製品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもとになりますので絶対におやめください。

指定電話機	◆お客様の設定は次のとおりです。 □ ① 全ての電話機 □ ② ＿＿番と＿＿番の電話機	【取り付けされる方へ】 左記☑印および電話機番号（内線番号）を記入し、お客様にご説明ください。

F-6674-4
923674A4

はじめに

この「取扱説明書」には、操作方法とあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を記載しています。
よくお読みの上、内容を理解してからお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

⚠危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

①主装置に使用するバッテリーは、電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。

⚠警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

①主装置および電話機に水が入ったり、ぬらさぬようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
②AC100Vの商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
③電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。
④電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
⑤主装置の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、まず主装置の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
⑥ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
⑦電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら販売店に修理をご依頼ください。
⑧テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
⑨主装置および電話機の上やそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
⑩ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
⑪主装置および電話機を絶対に分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。
⑫主装置のカバーは外さないでください。感電の原因となります。また、お客様による主装置の取り外し、設置は絶対しないでください。けがや感電の原因となります。点検・調整・清掃・修理・移動は、販売店にご依頼ください。
⑬お客さまが用意された機器を主装置および電話機に接続してお使いになる場合は、あらかじめ販売店に確認してください。確認できない場合は絶対に接続してお使いにならないでください。火災・感電の原因となります。
⑭電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に修理を依頼してください。
⑮主装置から異常音がしたり、主装置本体のカバーが極度に熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検を依頼してください。

⚠警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⑯万一、主装置および電話機内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⑰万一、主装置および電話機から煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対おやめください。

⑱万一、主装置を倒したり、主装置のカバーを破損した場合、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⑲主装置に使用するバッテリーに、シンナー、ガソリン、ベンジンなどのような有機溶剤や洗剤を使用しないでください。有機溶剤や洗剤を電槽に接触させると、電槽割れやクラックを起こし、漏液の原因になることがあります。

⚠注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

①主装置および電話機を壁掛用に取り付ける場合は、主装置および電話機の重みにより落下しないよう堅固に取り付け・設置してください。落下してけがの原因となることがあります。

②主装置および電話機を調理台や加湿器のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

③主装置および電話機をぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、主装置および電話機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

④主装置および電話機や電源コードを熱器具に近づけないでください。主装置および電話機や電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

⑤電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⑥主装置および電話機を直射日光の当たるところ（窓際なども含む）や、暖房設備・ボイラーなどのためにいちじるしく温度が上昇するところに置かないでください。変形や変色、火災の原因となることがあります。

⑦主装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方により通風孔をふさがないでください。

- ●仰向け（一部の設置形態を除く）や横倒し、逆さまにする。
- ●収納棚や本棚、タンスの中、押入れの中などの風通しの悪い場所に押し込む。
- ●じゅうたんや布団の上に置く。
- ●テーブルクロスなどをかける。

⑧主装置のアースは必ず設けてください。アースが無い場合は火災･感電の原因や落雷等で壊れる恐れがあります。

⑨主装置に乗らないでください。（特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。）倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

⑩近くに雷が発生したときは､電源プラグをコンセントから抜いてご使用をお控えください。雷によっては､火災･感電の原因となることがあります。

⑪勝手に電話機の接続を変えないでください。火災・故障の原因となります。

⑫電話機の底面および電話機スタンドの底面にはゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面がまれに変色する恐れがあります。

⑬本装置は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本装置を廃棄、譲渡、返却される際は、本装置内に保存または保持された情報を消去する必要があります。消去方法に関しては、販売店にご相談ください。

⑭本装置およびバッテリーを廃棄するときは、販売店にご相談ください。

故障の原因になることがあるため必ずお守りください

おねがい

誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

①主装置および電話機は、次のような場所への設置は避けてください。故障・誤動作の原因となります。

- ●ちり・ほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所。
- ●製氷倉庫など、特に温度が下がる場所。
- ●テレビ・ラジオ・電気こたつ・アンプ・スピーカボックス・電子レンジ・電気カーペットの上や、家庭電化製品のそばなどで磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所及び高周波ウェルダや電気溶接機の近く。やむをえず設置する場合は、最低2m以上離してください。
- ●衝撃・振動のある場所。
- ●屋外などの環境条件に大きな変化のある場所。

②机や椅子で電話機ケーブルを踏みつけたりしますと電話機が使えなくなるなどの障害が発生しますので、机の移動などには十分注意してください。万一、障害が発生した場合は販売店までご連絡ください。

③硫化水素の発生する場所（温泉地など）や塩分の多いところ（海岸など）でお使いのときは、主装置・電話機の寿命が短くなることがあります。

④主装置および電話機を、落としたり、強い衝撃及び振動を与えないでください。故障･誤動作の原因となります。

⑤道路に近くてCB無線が混入する場合、または放送局のアンテナに近くて雑音が混入する場合は、販売店にご相談ください。

⑥汚れた手や水・油・薬品等のついた手で電話機を使わないでください。変色や故障の原因となります。

⑦主装置および電話機をベンジン・シンナー・アルコール・石油・熱湯・磨き粉・クレンザー・石鹸・化学ぞうきんなどで絶対にふかないでください。変色や故障の原因となります。布等でからぶきしてください。

※ X シリーズの標準電話機および IP 標準電話機のハンドセットは、市販のエチルアルコール液を含ませたきれいな布で拭くことができますが、LCD パネルや示名条押さえなど透明部分にエチルアルコール液が付着すると白濁する場合があります。エチルアルコール液が付着しないようご注意ください。
エチルアルコール液の直接噴霧はしないでください。

⑧各種機能等の追加、および変更について

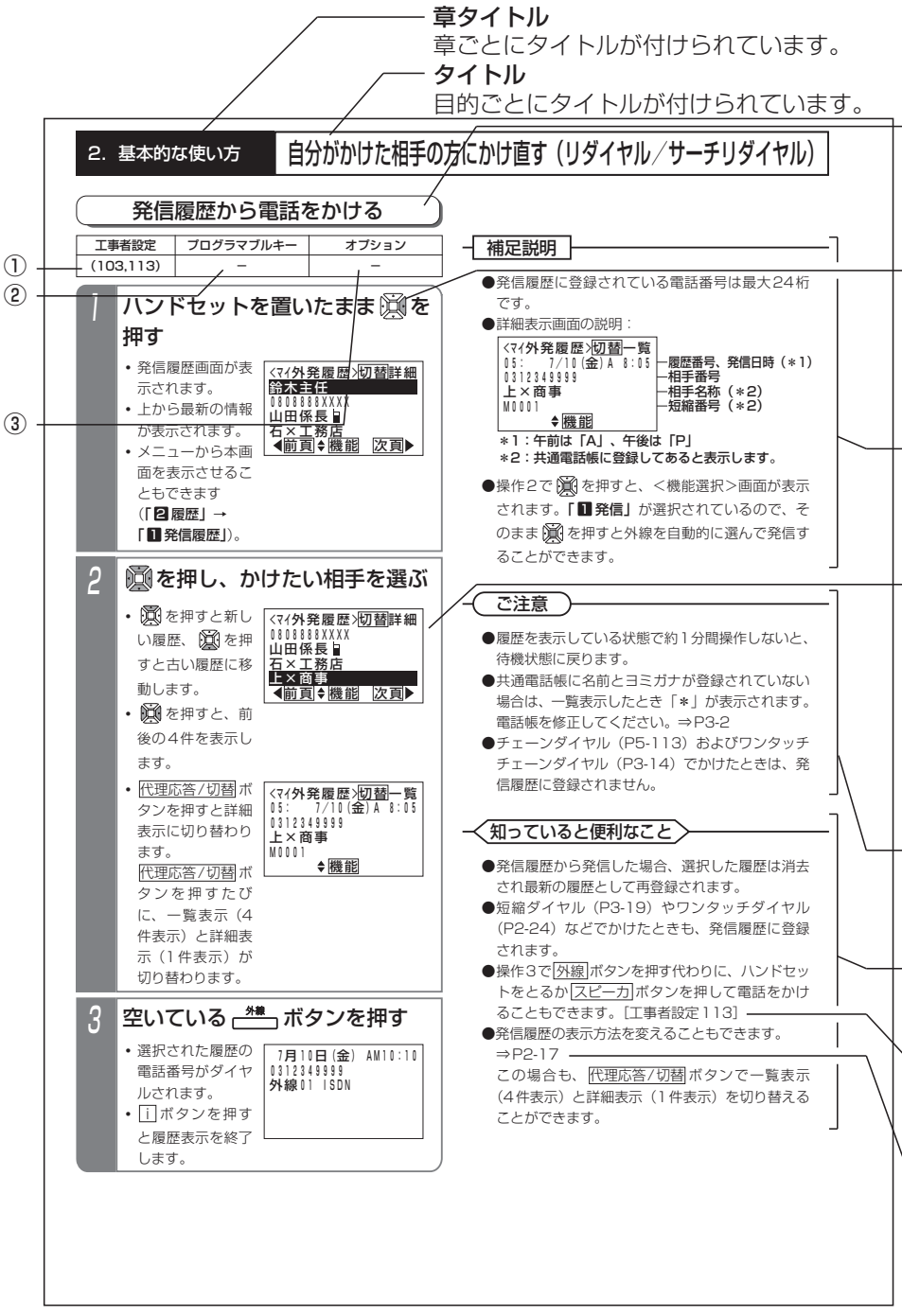
次のような場合は、別途料金が必要になります。

- ●現在ご利用いただいている各種機能を変更される場合。（NTTの通話料金改定も含む）
- ●新たにオプションをご利用になる場合。（オプションは別売となっております。）

「モバイルアシスト」は株式会社ナカヨの登録商標です。

この取扱説明書の見方

操作説明のページの構成は次のようになっています。



表の説明（項目によっては本表がない場合もあります）

①工事者設定

主装置側にシステムデータの設定が必要な場合に、該当する工事者設定のNo.を示します。（　）で示してあるものは、ご利用内容によっては必要な場合があります。システムデータの設定は、販売店にご依頼ください。

②プログラマブルキー

プログラマブルキーの登録が必要な場合に、登録するプログラマブルキーの名称を示します。（プログラマブルキーの登録方法はP7-1をご覧ください。）

③オプション

本機能をご利用する場合に必要となるオプション用品を示します。詳しくは販売店にお問い合わせください。

お知らせ （2-1版～）（一例）が記載されている箇所は、主装置のバージョンによってはご利用できない場合があります。主装置のバージョンについては、販売店にお問い合わせください。

目次

はじめに …… 1
この取扱説明書の見方 …… 4

1. ご利用の前に

各部の名前とはたらき …… 1-1
各部の名前 …… 1-1
ランプの表示 …… 1-2
メニュー機能の使い方 …… 1-3
メニュー機能の操作方法 …… 1-3
メニュー機能の一覧 …… 1-4
カレンダー、時計の設定 …… 1-24
年、月、日、曜日の設定 …… 1-24
時計の調整 …… 1-24
音量・ディスプレイの設定 …… 1-25
外線着信音量の調整 …… 1-25
内線着信音量の調整 …… 1-25
ドアホン着信音量の調整 …… 1-26
スピーカ音量の調整 …… 1-26
ハンドセット受話音量の調整 …… 1-27
受話音量を通常より大きくして使う（受話音量アップ） …… 1-27
受話音の高域をカットする …… 1-29
キー押し確認音を設定する …… 1-29
ディスプレイの濃度調整 …… 1-30
着信／メッセージランプ色の変更 …… 1-30
バックライト点灯時間の変更 …… 1-31
ディスプレイ表示を縦倍角にする …… 1-32
ディスプレイ表示を反転させる …… 1-32

2. 基本的な使い方

外線に電話をかけるとき …… 2-1
ハンドセットをとってかける …… 2-1
ハンドセットをとらずにかける（ワンタッチ外線自動発信） …… 2-1
電話番号を確認してからかける（プリセットダイヤル） …… 2-2
外線からの電話を受けるとき …… 2-5
外線ボタンを押して電話を受ける …… 2-5
ハンドセットをとるだけで電話を受ける（オフフック自動応答） …… 2-5
別の電話機で応答する（代理応答） …… 2-6
外線通話を保留する …… 2-7
一般の保留にする …… 2-7
自分だけの保留にする（自己保留） …… 2-7
保留した外線に応答する …… 2-7
外線通話を他の人に転送する …… 2-8
口頭で内線に転送する …… 2-8
電話機を呼んで内線に転送する …… 2-9
外線に転送する …… 2-11
自分がかけた相手の方にかけ直す（リダイヤル／サーチリダイヤル） …… 2-12
直前にかけた相手の方にかけ直す（リダイヤル） …… 2-12
発信履歴から電話をかける …… 2-13
発信履歴の電話番号を電話帳に登録する …… 2-15
発信履歴を消去する …… 2-16
発信履歴を一括消去する …… 2-16
発信履歴の初期画面を変更する …… 2-17
相手の方が話し中のときに自動発信する（スーパーリトライ） …… 2-18
ワンタッチで電話をかける（ワンタッチダイヤル） …… 2-19
ワンタッチダイヤルボタンを登録する（短縮番号指定） …… 2-19
ワンタッチダイヤルボタンを登録する（電話帳検索） …… 2-20
ワンタッチダイヤルボタンを登録する（電話番号指定） …… 2-21
他電話機にワンタッチダイヤルボタンを登録する …… 2-23
ワンタッチダイヤルでかける …… 2-24
電話をかけてきた方にかけ直す（着信履歴） …… 2-25
着信履歴から電話をかける …… 2-25
他の電話機の着信履歴を検索する …… 2-27
着信履歴の電話番号を電話帳に登録する …… 2-28
着信履歴を個別に消去する …… 2-29
着信履歴を一括消去する …… 2-29
不応答通知機能を使う …… 2-31
着信履歴の初期画面を変更する …… 2-32
非通知着信履歴の表示 …… 2-32
内線に電話をかける …… 2-33
ハンドセットをとってかける …… 2-33
ハンドセットをとらずにかける …… 2-33
内線電話帳を使う …… 2-34
内線ワンタッチで呼び出すとき …… 2-37
お話し中のときに別の人を呼ぶ（リセットコール） …… 2-40
お話し中のときにしばらく待つ（内線キャンプオン） …… 2-40
内線着信履歴を使う …… 2-41
内線を一斉に呼び出す …… 2-46
一斉に呼び出す …… 2-46
グループ別に呼び出す …… 2-46
複数のグループを同時に呼び出す …… 2-47
一斉呼出に応答する …… 2-47
内線からの電話を受ける …… 2-48
ハンドセットをとって受ける …… 2-48
ハンドセットをとらずに受ける（内線ハンズフリー応答） …… 2-48
外線通話中に内線着信があったときは …… 2-49
別の電話機で応答する（代理応答） …… 2-50
内線通話を保留する／転送する …… 2-51
保留する …… 2-51
保留した内線に応答する …… 2-52
転送する …… 2-52
内線パーク保留する …… 2-53
内線パーク保留に応答する …… 2-54
内線パーク保留し転送する …… 2-54
グループごとの内線番号で通話する（内線一般着信） …… 2-55
電話をかける …… 2-55

目次

電話を受ける …… 2-55
保留する …… 2-56
保留に応答する …… 2-56
内線一般着信を外線に自動転送する …… 2-57
転送先を登録／変更する …… 2-57
転送方法を設定する …… 2-58
転送を設定／解除する …… 2-58
かけてきた方の名前をアナウンスする …… 2-59

3. 電話帳を使う

電話帳を登録する …… 3-1
電話帳について …… 3-1
共通電話帳の登録 …… 3-2
マイ電話帳の登録 …… 3-4
電話帳の各項目の登録方法 …… 3-6
相手区分名を登録する …… 3-11
外線自動発信グループ名を登録する …… 3-12
付加情報定型文を登録する …… 3-13
文字入力方法 …… 3-15
電話帳を使って電話をかける …… 3-18
短縮／電話帳（ 電話帳 ）キー操作設定 …… 3-18
短縮番号を指定して電話をかける …… 3-19
短縮番号の登録内容を確認して電話をかける … 3-20
ヨミガナで検索して電話をかける …… 3-21
相手区分で検索して電話をかける …… 3-22
短縮番号で検索して電話をかける …… 3-23
マイ電話帳を検索して電話をかける …… 3-24
電話帳の検索方法の設定を変更する …… 3-25
電話帳を変更／消去する …… 3-26

4. 留守番機能を使う

留守番機能について …… 4-1
プログラマブルキーで設定する …… 4-1
メニュー機能で設定する …… 4-3
特番操作で切り替える場合 …… 4-4
転送電話モードを利用する …… 4-5
転送先の電話番号を登録する …… 4-5
転送電話発信用外線を設定する …… 4-6
転送電話をセットする …… 4-7
メニュー機能で転送電話のモードに切り替える …… 4-8
かけてきた方の名前を転送先に通知する …… 4-10
電話を受けるたびに転送先を変更する …… 4-14
留守録モードを利用する …… 4-15
応答メッセージを設定する …… 4-15
留守録を使うとき …… 4-17
録音された用件を聞く …… 4-20
音声案内付きで録音された用件を聞く …… 4-22
一覧表から録音された用件を聞く …… 4-24
用件が録音されたことを外出先へ通知する …… 4-26
外出先から録音された用件を聞く …… 4-30
録音メッセージを一括消去する …… 4-35
一時的に消去する（ゴミ箱機能） …… 4-38
ゴミ箱ボタンを登録する …… 4-39
応答専用モードを利用する …… 4-41
応答メッセージを設定する …… 4-41
応答専用モードをセットする …… 4-43
お話し中モードをセットする …… 4-45
発信者選択モードを利用する …… 4-46
応答メッセージを設定する …… 4-46
発信者選択モードをセットする …… 4-48
通常着信モードをセットする …… 4-51
留守録＋転送モードを利用する …… 4-52
特定の方専用にモードをセットする …… 4-54
特定者留守モード（電話番号指定）を登録する … 4-54
特定者留守モード（相手区分指定）を登録する … 4-57
外出先からリモート操作で留守番機能をセット／解除する …… 4-60

5. 更に便利な使い方

電話番号によって使用する回線を自動選択する（特定番号迂回発信） …… 5-1
外線を指定して捕捉する（外線指定捕捉） …… 5-2
外線が空いていないときに予約する（外線発信ウェイティング） … 5-3
特殊な方法で電話をかける …… 5-4
VPNを利用する …… 5-4
番号の通知／非通知を切り替えて電話をかける …… 5-5
マイライン・プラスを解除して別の事業者で電話をかける … 5-6
事業者番号を付けて携帯電話に電話をかける …… 5-7
特殊な方法で電話を受ける …… 5-8
ダイヤルイン（DI）を使う …… 5-8
ダイレクトインライン（DIL）を使う …… 5-8
ダイレクトインダイヤル（DID）を使う …… 5-9
着信の分配機能（ACD）を使う …… 5-10
緊急電話の呼び返しを受ける …… 5-16
ストレートラインDIを使う …… 5-17
電話をかける …… 5-17
電話を受ける …… 5-17
保留する …… 5-18
保留に応答する …… 5-18
転送する …… 5-19
バーチャルライン方式を使う …… 5-20
電話をかける …… 5-20
電話を受ける …… 5-21
保留する …… 5-22
保留に応答する …… 5-24
転送する …… 5-25
ボタンを指定して捕捉する（ボタン指定捕捉） …… 5-26
他の電話に出ていて電話を受けられないときは …… 5-27

目次

お待たせメッセージを流してから電話にでる（外線お待たせメッセージ）…… 5-27
通話中の電話機に音で着信通知する …… 5-29
一部の外線のみ着信を受けなくする …… 5-30
ナンバー・ディスプレイを利用した便利な機能 …… 5-31
かけてきた方の番号を複数表示する …… 5-31
かけてきた方の情報を表示する（付加情報表示）… 5-33
通話中にかかってきた方の番号を表示する …… 5-34
特定の番号からの電話を識別する・優先して受ける（着信識別）…… 5-35
特定の番号からの電話は着信を拒否する（発番号識別着信拒否）…… 5-37
番号を通知しない電話を拒否する（非通知着信拒否）… 5-40
非通知着信拒否を行う着信種別を選ぶ …… 5-42
特定の番号からの電話は特定の電話機で受ける（発番号ホットライン）…… 5-43
一時的に発番号ホットラインを登録する …… 5-45
システムに電話をかけて自動コールバックを受ける … 5-48
通話録音する …… 5-51
録音を開始する／終了する …… 5-51
通話録音の登録先を指定する …… 5-53
通話録音にコメントを追加する …… 5-55
戻って録音を利用する …… 5-56
ボックスボタンを登録する …… 5-58
内線ボックスのメッセージを再生する …… 5-60
音声案内付きで内線ボックスのメッセージを再生する … 5-62
一覧表から内線ボックスのメッセージを再生する …… 5-65
他の内線ボックスにメッセージを転送する …… 5-66
内線ボックスの録音件数を確認する …… 5-67
待機中に内線ボックスの録音件数を表示する … 5-68
内線ボックスに用件が録音されたことを外出先へ通知する … 5-68
内線ボックスのパスワードを登録する …… 5-70
内線ボックスのメッセージを一括消去する …… 5-71
一時的に消去する（ゴミ箱機能）…… 5-73
ゴミ箱ボタンを登録する …… 5-74
内線ボックスの応答メッセージを録音する …… 5-76
自動オペレータを利用する …… 5-78
応答メッセージを登録する …… 5-78
電話をかける／電話を受ける …… 5-79
簡易IVR機能を利用する …… 5-82
応答メッセージを登録する …… 5-82
機能を登録する …… 5-83
サービス名称を登録する …… 5-85
電話をかける／電話を受ける …… 5-87
話中代行・不在代行を利用する …… 5-90
メッセージを送る（伝言メモ） …… 5-92
指定の内線ボックスへメッセージを送る …… 5-92
複数の内線ボックスへ同じメッセージを送る（同報メール）… 5-93
用件が録音されたことをEメールで通知する …… 5-95
Webデータ設定 …… 5-95
メニュー機能で内線ボックスのEメール通知を設定する … 5-106
Eメールで通知する …… 5-107
電話とファックスを共用する（電話／ファックス自動切替） … 5-108
電話とファックスを共用する（電話／ファックス自動切替）…… 5-108
ファックスの受信を通知する …… 5-109
外線通話中にプッシュ信号を送る（トーン切替） … 5-111
キャッチホンを利用する …… 5-112
チェーンダイヤルで電話をかける …… 5-113
他の人の外線通話をモニタする（聴話） …… 5-114
他の人の外線通話の相手を確認する …… 5-115
長電話防止のアラームを鳴らす …… 5-116
一定時間でアラームを鳴らす（通話時間お知らせタイマ）… 5-116
設定した料金でアラームを鳴らす（超過料金アラーム）… 5-116
不在のときに電話を転送する（不在転送） …… 5-117
内線への転送 …… 5-117
外線への転送 …… 5-120
外出先から不在転送をセット／解除する …… 5-122
内線からの呼び出しに出られないとき …… 5-123
話中・応答遅延転送 …… 5-123
内線着信を電話機グループに転送する（マルチ呼び）… 5-125
内線代表 …… 5-126
内線着信拒否 …… 5-126
不在表示 …… 5-127
内線通話中にプッシュ信号を送る（内線PBダイヤル送出） … 5-129
停電用アダプタ（PFIU、PFU）の使い方 …… 5-130
IP回線（IPCOI）を使う …… 5-131
電話をかける …… 5-131
盗聴防止機能を利用する …… 5-134
電話を受ける …… 5-135
保留する・保留に応答する …… 5-135
専用線を使う LA LB …… 5-136
特長 …… 5-136
相手システムの内線を呼び出す …… 5-137
相手システムからの着信に応答する …… 5-138
外線を相手システムに転送する …… 5-139
相手システムの外線を利用する …… 5-140
「公一専接続」や「専一公接続」を利用する LA LB …… 5-142
外出先から専用線を経由して電話をかける「公一専接続」…… 5-142
専用線を経由して相手システムの外線を使って電話をかける「専一公接続」… 5-143
外出先から主装置経由で別の外線を使って電話をかける「公一公接続」…… 5-144
外出先から専用線経由で相手システムの外線を使って電話をかける「公一専一公接続」… 5-145
ID番号を使って外線に電話をかける …… 5-147
3人で通話したいとき（会議通話） …… 5-148
外線通話中に他の外線を加える（2外線アッドオン）… 5-148
外線通話中に他の内線を加える（外線アッドオン）…… 5-149
内線通話中に他の内線を加える（内線3者通話）… 5-149
3人以上で通話する（多者会議通話） …… 5-150
3者通話中に他の人を加える（多者会議通話）… 5-150

目次

多者会議通話に参加する（多者会議通話（参加型））…… 5-151
仲間を呼び出して通話する（インカムモード通話）… 5-154
インカムモードで通話する …… 5-154
他の人の通話に割り込む …… 5-160
他の人の通話に割り込む（外線割込通話）…… 5-160
お話し中のときに通話に割り込む（リセットコール割込通話）…… 5-161
ハンズフリー通話を行う …… 5-162
ハンズフリー通話するとき …… 5-162
ハンズフリー中に外線を保留する …… 5-163
ハンズフリーとハンドセット通話を切り替える … 5-163
電話機を使っていないときに消費電力を低減する … 5-164
電話機の動作を停止する（省電力モード）…… 5-164
ランプのみ消灯する（電話機エコモード）…… 5-166
単独電話機を使う …… 5-167
外線に電話をかける …… 5-167
外線を指定してかける（外線指定捕捉）…… 5-167
外線に短縮ダイヤルを使ってかける …… 5-168
外線からの着信に応答する …… 5-168
外線を保留する …… 5-169
外線を転送する …… 5-169
他の電話機の着信に代理応答する …… 5-170
内線通話を保留する …… 5-170
保留した内線に応答する …… 5-171
内線通話を転送する …… 5-171
話中・応答遅延転送 …… 5-172
不在のときに内線へ転送する（不在転送）…… 5-173
不在のときに外線へ転送する（不在転送）…… 5-174
その他の操作について …… 5-175
通話料金を管理する …… 5-176
通話料金管理について …… 5-176
消費税率の自動変更を設定する …… 5-176
各電話機の予算使用率を表示する …… 5-178
最後の通話料金を確認する …… 5-180
累計料金と予算使用率を確認する …… 5-181
累計料金をクリア（精算）する …… 5-183
通話料金集計をプリンタ印字する LA LB …… 5-185
通話明細記録を印字する「終話印字」…… 5-185
累計料金を印字する「料金印字」…… 5-188
累計料金をクリア（精算）して印字する「クリア印字」… 5-191
ひかり電話で「ボイスワープ」の転送開始／停止を設定する … 5-195

6. INSネットのサービスを利用する

利用できるサービス …… 6-1
INSナンバー・ディスプレイ …… 6-2
INSナンバー・リクエスト …… 6-3
i（アイ）・ナンバー …… 6-4
内線番号を発サブアドレスとして通知する（サブアドレス通知サービス） …… 6-5
INSボイスワープ、INSボイスワープセレクト …… 6-6
INS迷惑電話おことわりサービス …… 6-8

7. いろいろな設定・登録

プログラマブルキーの登録方法 …… 7-1
お使いの電話機への登録 …… 7-1
他の電話機への登録 …… 7-3
機能番号と内容 …… 7-5
なんでもワンタッチボタン …… 7-6
内線名称を登録する …… 7-8
着信音を選択する …… 7-10
各外線の着信音を選択する …… 7-10
内線の着信音を選択する …… 7-11
メロディ着信の曲目を選択する …… 7-12
着信に使うシステム応答メッセージを選択する …… 7-13
保留音を選択する …… 7-14
指定した時刻に音で知らせる（タイムアラーム）… 7-15
指定した日時に1回だけアラームを鳴らす …… 7-15
アラームをくり返して鳴らす …… 7-16
指定した時刻にチャイムを鳴らす（チャイムタイマ）… 7-17
応答メッセージなどを録音する …… 7-20
システム応答メッセージ名称を登録する …… 7-20
システム応答メッセージを録音する …… 7-21
設定完了アナウンスを流す …… 7-26
外出先からリモート操作を行う …… 7-28
リモート操作方法 …… 7-28
リモート操作用電話機の電話番号を登録する … 7-31
リモート操作時のパスワードを登録する …… 7-32
携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う … 7-33
夜間切替 …… 7-41
夜間切替ボタンで切り替える …… 7-41
メニュー機能で切り替える …… 7-42
特番操作で切り替える場合 …… 7-43
「曜日ごとの夜間切替タイマ」で切り替える …… 7-44
「特定日の夜間切替タイマ」で切り替える …… 7-49
外付けのスイッチで切り替える場合 …… 7-54
割引料金適用日を登録する …… 7-55
外線をグループ分けして使用する（テナント機能）… 7-56
国際発信や市外発信などを規制する（サービスクラス）… 7-57
特定の電話番号への発信を規制する（特定電話番号発信規制） …… 7-58
発信規制されている外線を一時的に利用する …… 7-62
外線発信規制を一時的に解除する …… 7-62
その他の設定 …… 7-63
ワイヤレス呼出ボタン名称を登録する …… 7-63
テナント名称を登録する …… 7-64

目次

8. オプションを使う

ドアホン・テレビドアホンと通話する …… 8-1
ドアホン・テレビドアホンからの着信に応答する …… 8-1
ドアホン・テレビドアホンの周囲の音を聞く …… 8-1
ドアホン名称を登録する …… 8-2
ドアホンの呼出を外線に転送する …… 8-3
インターホンと通話する LA LB …… 8-5
インターホンからの着信に応答する …… 8-5
インターホンを呼び出す …… 8-6
インターホンとの通話を保留する／転送する …… 8-6
外部スピーカを利用するとき …… 8-7
外部スピーカで放送する（ページング）…… 8-7
放送に応答する …… 8-8
外部スピーカを使って着信音を鳴らす …… 8-8
リモコンを使う …… 8-9
電話機から操作する …… 8-9
外出先からリモートで操作する …… 8-10
外線を切られたときにリモコンを動作させる … 8-11
ヘッドセット・イヤホンマイクを使う …… 8-12
BGM …… 8-14
センサ接続・不在時自動ハンズフリー機能を利用する … 8-15
センサ接続機能を使う …… 8-15
センサ検出時の通知先を登録する …… 8-18
センサ名称を登録する …… 8-20
不在時自動ハンズフリー機能を使う …… 8-21
緊急地震速報 …… 8-22
ボタン電話機の場合 …… 8-22
電話機に外部スピーカを付けて着信音を鳴らす …… 8-23
多機能コンソールを使う …… 8-24
特長 …… 8-24
DSSコンソールとして使用する …… 8-24
オートダイヤルコンソールとして使用する …… 8-28

9. その他・ご参考

示名条の記入方法と示名条および示名条押さえの取付方法 …… 9-1
ボタン電話機 …… 9-1
多機能コンソール …… 9-2
角度調整 …… 9-3
ボタン電話機の角度調整 …… 9-3
多機能コンソールの角度調整 …… 9-5
停電のときのご注意および操作 …… 9-6
注意喚起表示 …… 9-7
Siシリーズの電話機を使用する …… 9-8
パソコンを使って各種設定を行う（Web設定） …… 9-9
ファームウェアのアップデート …… 9-27
主装置のファームウェアをアップデートする … 9-27
IP電話機のファームウェアをアップデートする … 9-29
故障かな？と思ったら… …… 9-31
アフターサービスについて …… 9-31
ソフトウェアに関するライセンスについて …… 9-32
索引 …… 9-34

付録

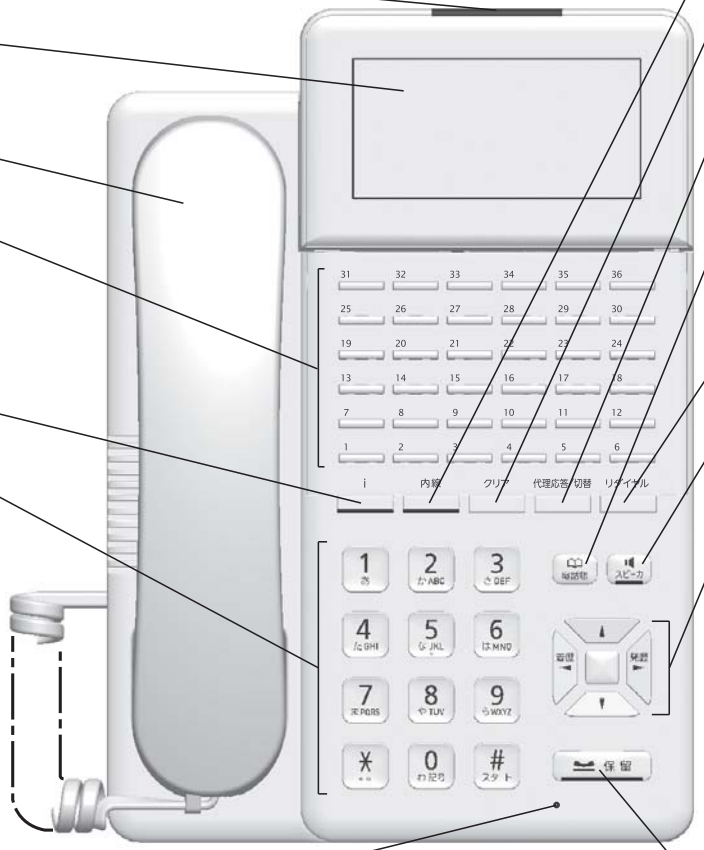
Xシリーズ電話機の使い方順序早見表
外線通話関係 …… 付-1
内線通話関係・会議通話 …… 付-2
登録関係 …… 付-3
リモート操作モードまたはダイレクトインダイヤル（DID）を使って外部からコントロールする方法 …… 付-4

本装置は内線番号や特番の桁数を変えることができます（可変桁）。工事者設定が必要ですので、詳しくは販売店にお問い合わせください。[工事者設定505]

各部の名前とはたらき

各部の名前

図の電話機は36ボタンタイプです。



- 着信／メッセージ ランプ
  着信、保留、メッセージ等の状態をランプで表示します。
- ディスプレイ
  日時、ダイヤル番号、通話料金などが表示されます。
  （半角20文字、全角10文字6行）
- ハンドセット
  相手とお話しするときに使います。
- 外線／（プログラマブルキー）ボタン（ランプ付き）※1
  外へ電話をかけるとき、外から電話を受けるときに使います。
  外線を登録していないボタンは、プログラマブルキーとして使います。また、ランプについては自分で使っている場合は（緑）、他の人が使っている場合は（赤）で表示します。
- i ボタン（ランプ付き）※2
  いろいろな機能を設定するときに使います。
- ダイヤル ボタン
  電話をかけるときや、内線呼出をするときに使います。また、漢字やカナ文字を登録するときにも使います。
  この取扱説明書ではダイヤルボタンの表示を①のように数字のみで記載し、ひらがな、カタカナやアルファベットは省略しています。

卓上タイプのボタン電話機の種類は下記のとおりです。

No.	種類	略号	概要
1	標準電話機	SD	
2	ディジタルハンドルコードレス電話機	DHCL	ハンドルコードレス
3	IP標準電話機	IPSD	IP電話機
4	IPBT電話機	IPBT	Bluetooth付きIP電話機
5	IP大型LCD電話機	IPLD	大型LCD付きIP電話機
6	IPハンドルコードレス電話機	IPDHCL	IPハンドルコードレス

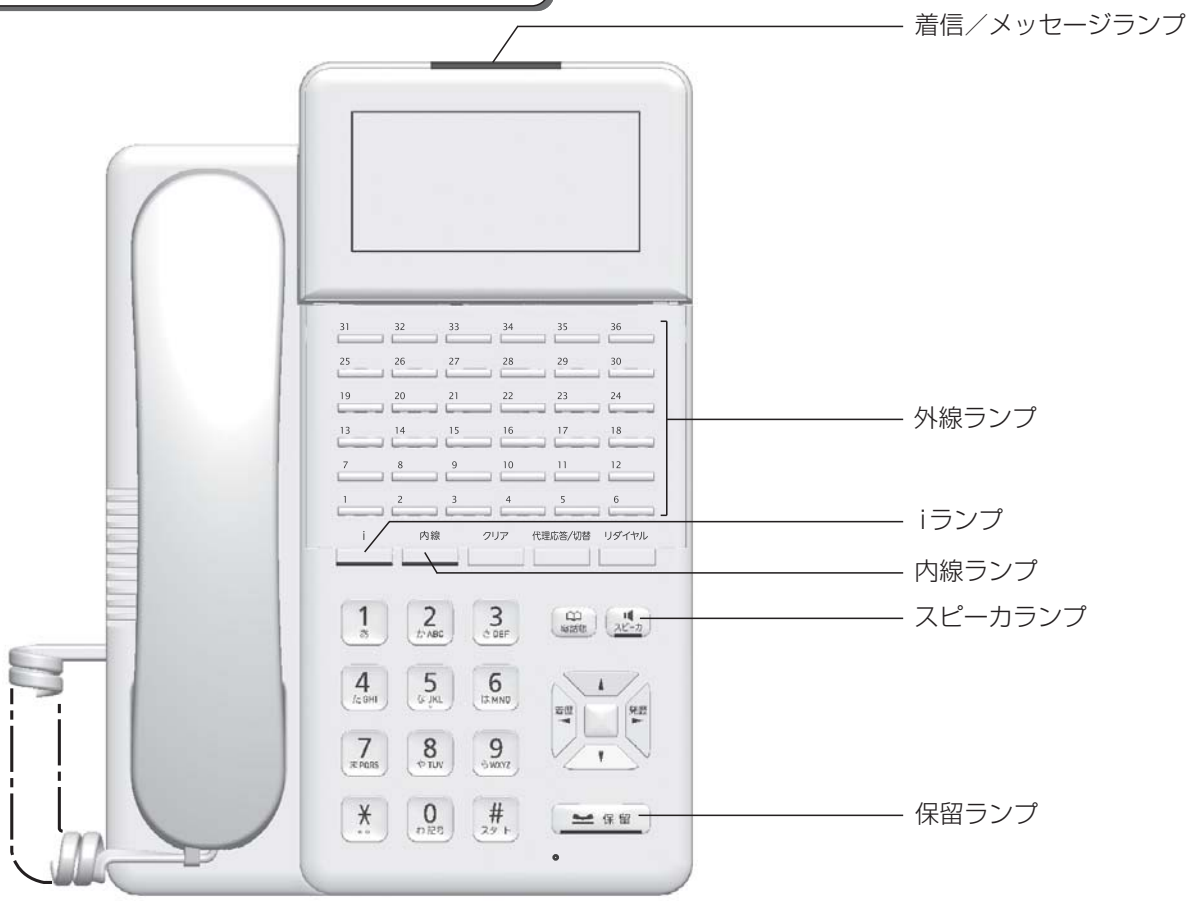
- マイク
  内線ハンズフリー応答（ハンドセットを取らずに応答する）及びハンズフリー通話のときに使います。

- 内線 ボタン（ランプ付き）
  内線発信のときに使います。
- クリア ボタン
  通話中のフッキングや、文字入力中の文字クリア、メニュー画面でのクリアなどで使用します。
- 代理応答／切替 ボタン※2
  他の電話機の着信に応答するときや、電話帳検索の一覧表示／詳細表示の切替を行うときなどに使います。
- 電話帳 ボタン※2
  電話帳を検索して発信するときに使用します。短縮ダイヤル発信用に使用することもできます。
- リダイヤル ボタン
  最後にかけた番号をもう一度ダイヤルするときに使います。
- スピーカ ボタン（ランプ付き）
  このボタンを押すと（点灯しているとき）、ハンドセットを上げた状態と同じ働きをします。
- カーソルキー（センターキー付き）
  メニュー機能で使います。また下記の用途で使うこともできます。
  …待機中や通話中、着信中の音量調整に使います。
  …待機中に操作すると発信履歴を表示します。※2
  …待機中に操作すると着信履歴を表示します。※2
  メニュー機能、電話帳、履歴やメッセージ一覧表示など、i ランプが点灯／点滅しているとき、 を押し続けると、連続してスクロールします。
- 保留 ボタン（ランプ付き）
  外線・内線の通話を保留するときに使います。
  また、自分で保留している場合はランプが点滅します。

※1：プログラマブルキーとは、使用していない外線 ボタンをワンタッチダイヤルや各機能ボタンに登録して、自分に合った電話機にするためのボタンのことです。（P7-1をご覧ください。）
※2：受付や応接室などに電話機を設置するとき、これらのボタンやセンターキーの操作を禁止し、電話帳や履歴等を見られないようにすることができます（ボタン電話機使用制限）。［工事者設定671］

各部の名前とはたらき

ランプの表示



ランプの種類と表示

ランプの種類	ランプの表示（色）		電話機の状態
着信／メッセージランプ	速い点滅	（各色）	電話がかかってきたとき＊1 保留警報中のとき
	遅い点滅	（各色）	通話を保留中のとき
	点灯	（各色）	未再生の留守録メッセージがあるとき＊2
	周期的に4回点滅	（各色）	着信不応答通知のとき
外線ランプ	点灯中、周期的に2回消える	（緑）	自分の電話機で通話中のとき
	点灯	（赤）	他の内線電話機が外線と通話中のとき
	周期的に2回点滅	（緑）	自分の電話機が外線保留中のとき
	速い点滅	（緑）	電話がかかってきたとき（DIL等）
	速い点滅	（赤）	電話がかかってきたとき
	遅い点滅	（赤）	他の内線電話機が外線保留中のとき
	周期的に4回点滅	（緑）	保留警報中のとき
内線ランプ	点灯中、周期的に2回消える	（赤）	自分の電話で通話中のとき
	速い点滅	（赤）	内線、DID、DI着信中のとき
	周期的に4回点滅	（赤）	ドアホン着信中のとき
iランプ	点灯	（赤）	メニュー機能で機能選択中のとき
	遅い点滅	（赤）	設定データ入力中のとき
	速い点滅	（赤）	設定OKのとき
スピーカランプ	点灯	（赤）	スピーカONのとき
保留ランプ	遅い点滅	（赤）	自分の電話機で通話を保留中のとき
	消灯		上記以外のとき＊3

＊1：レインボー（7色）表示にすることもできますが、本説明書では「速い点滅」と表記しています。
＊2：点灯しないようにも設定できます。[工事者設定722-3]
＊3：点灯（低輝度の赤）するようにも設定できます。[工事者設定701]

メニュー機能の使い方

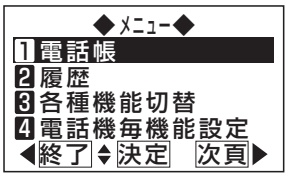
メニュー機能の操作方法

いろいろな機能の、設定内容の確認や変更をしたりするときには、メニュー機能を使用します。ここでは、メニュー機能の操作方法を紹介します。それぞれの機能の具体的な操作方法については、各機能のページをご覧ください。

■例：留守切替をONにする

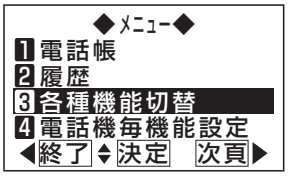
1 **(中)を押す**

- メニュートップ画面が表示されます。



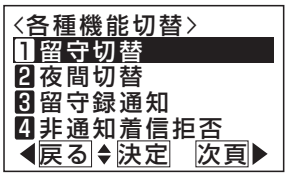
2 **(中)を押して目的の機能を選択し、(中)を押す**

- 選択されている機能は、反転表示します。「留守切替」はメインメニュー画面の**「3 各種機能切替」**に含まれます。



3 **(中)を押して目的の機能を選択し、(中)を押す**

- **「1 留守切替」**を選択します。



4 **(中)を押して動作を選択し、(中)を押す**

- **「1 ON」**を選択します。

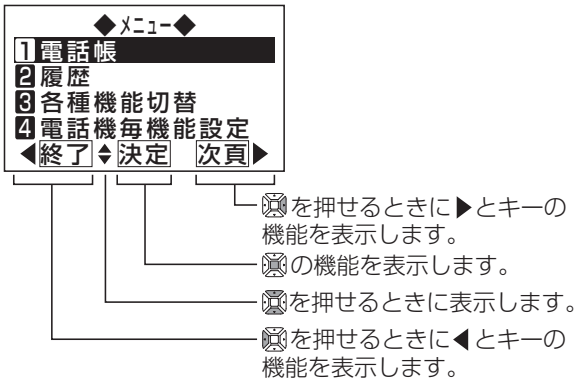
5 **設定完了画面が表示される**

- 設定完了が表示される。

補足説明

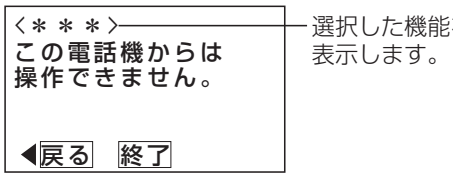
●メニュー機能は、電話機を使用していないときに操作できます。

●画面の説明



●ダイヤルボタンで機能を直接選ぶこともできます。(中)＋(中)の操作は不要です。
（例：操作2で3を押すと「3各種機能切替」を選択して(中)を押すのと同じ動きとなります。）

●一部のメニュー機能（「▶指定電話機：…」が記載されている項目）は、指定電話機（モード切替用電話機、またはデータ設定用電話機）のみ操作を行うことができます。
操作できない電話機が該当するメニュー機能を選択した場合は、下記のエラー表示となります。
(中)を押すと、前の画面に戻ります。
(中)を押すと、メニュー機能を終了します。



●一部のメニュー機能は、複数の電話機で同時に操作することができません。他の電話機が操作中は操作を受け付けませんが故障ではありません。

●下記のいずれかの操作を行うと、メニュー機能を終了することができます。
- i ボタンを押す
- スピーカ ボタンを2回押す※
- ハンドセットを上げ下げする※

※メッセージの録音・再生操作を行っているときは、これらの操作はできません。履歴や電話帳の表示中に操作すると発信履歴が残ります。

メニュー機能の使い方

メニュー機能の一覧

メニュー機能は、以下のような構成になっています。

●「特定電話機」欄：記載の電話機のみ操作できます。
「対象」欄：設定または表示の対象を表します。

■1次メニュー：**1** 電話帳（1／2）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
1 電話帳検索	**1** 共通電話帳検索	—	①ヨミガナ、相手区分、短縮番号（代理応答/切替で切替）で検索する。 ②外線、スピーカ、またはオフフックで発信する。 ※検索中は代理応答/切替で表示方法が切替できます。 ※電話帳でも共通電話帳を検索できます。		システム	P3-21
	2 ﾏｲ電話帳検索	—	①🔍で検索する。 ②外線、スピーカ、またはオフフックで発信する。 ※検索中は代理応答/切替で表示方法を切替できます。		自TEL	P3-24
	3 内線電話帳検索	—	①ヨミガナ、内線番号（代理応答/切替で切替）で検索する。 ②内線、スピーカ、またはオフフックで発信する。 ※内線電話帳でも内線電話帳が検索できます。 ※特番の検索もできます。		システム	P2-35
2 電話帳管理	**1** 電話帳登録	—	①電話帳公開範囲を選択する。 **1** 全ｸﾞﾙｰﾌﾟ **2** ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎 **3** ﾏｲ ②短縮番号を入力する（省略可）。 ③名前や電話番号など必要な情報を登録する。	共通電話帳編集用（①の**1**および**2**の場合）	システム 自グループ 自TEL	P3-2
	2 電話帳編集	**1** 共通電話帳	①短縮番号を入力する（省略可）。 ②**1** 登録/変更を選択する。（**2** ｺﾋﾟｰ/移動、**3** 消去も選択可能） ③名前や電話番号など必要な情報を登録する。	共通電話帳編集用	システム 自グループ	P3-26
		2 ﾏｲ電話帳	①短縮番号を入力する（省略可）。 ②**1** 登録/変更を選択する。（**2** 消去も選択可能） ③名前や電話番号など必要な情報を登録する。		自TEL	P3-26
	3 電話帳編集（管理者）	—	①短縮番号を入力する（省略可）。 ②**1** 登録/変更を選択する。（**2** ｺﾋﾟｰ/移動、**3** 消去も選択可能） ③名前や電話番号など必要な情報を登録する。	設定用No.1	システム 全グループ	P3-3 （補足説明）
	4 相手区分名登録	—	①相手区分番号を選択する。 ②相手区分名を登録する。	共通電話帳編集用	システム	P3-11

次頁へ続く

■1次メニュー：❶電話帳（2／2）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
❷電話帳管理	❺外線ｸﾞﾙｰﾌﾟ名登録	—	①外線グループ番号を選択する。 ②外線グループ名を登録する。	設定用	システム	P3-12
	❻付加情報定型文登録	—	①付加情報番号を入力する。 ②付加情報を登録する。	共通電話帳編集用	システム	P3-13
	❼電話帳一括消去	❶ﾏｲ電話帳	①内線パスワードを入力する（設定時）。 ②（消去）を押す。		自TEL	P3-28
		❷共通電話帳	①ユーザ用パスワードを入力する（設定時）。 ②（消去）を押す。	設定用No.1	システム	P3-28
		❸全電話帳	①ユーザ用パスワードを入力する（設定時）。 ②（消去）を押す。	設定用No.1	システム	P3-28

■1次メニュー：❷履歴（1／2）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
❶発信履歴	—	—	①一覧表示、詳細表示（代理応答/切替で切替）で検索する。 ②外線、スピーカ、またはオフフックで発信する。 ※履歴表示中に（機能）を押すと、＜機能選択＞画面が表示されます。❷各種機能を選択後、下記の機能が選択できます。 ❶ﾏｲ外発履歴 ❷ｸﾞﾙｰﾌﾟ外発履歴 ❸ｼｽﾃﾑ全外発履歴 ❹電話帳登録/編集 ❺外発履歴消去 ※でも発信履歴を表示できます。		自TEL 自グループ システム	P2-13
❷着信履歴	—	—	①一覧表示、詳細表示（代理応答/切替で切替）で検索する。 ②外線、スピーカ、またはオフフックで発信する。 ※履歴表示中に（機能）を押すと、＜機能選択＞画面が表示されます。❷各種機能を選択後、下記の機能が選択できます。 ❶ﾏｲ外着不応答履歴 ❷ﾏｲ外着応答履歴 ❸ｸﾞﾙｰﾌﾟ外着不応答 ❹ｸﾞﾙｰﾌﾟ全外着履歴 ❺ｼｽﾃﾑ全外着履歴 ❻他TEL外着応答履歴 ❼電話帳登録/編集 ❽外着履歴消去 ※でも着信履歴を表示できます。		自TEL 自グループ 他TEL システム	P2-25

次頁へ続く

■1次メニュー：2 履歴（2／2）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
3 内線着信履歴	—	—	①一覧表示、詳細表示（代理応答/切替で切替）で検索する。 ②内線、スピーカ、またはオフフックで発信する。 ※履歴表示中に（機能）を押すと、＜機能選択＞画面が表示されます。2 各種機能を選択後、下記の機能が選択できます。 1 内着不応答履歴 2 内着応答履歴 3 ｸﾞﾙｰﾌﾟ内着不応答 4 ｸﾞﾙｰﾌﾟ全内着履歴 5 ｼｽﾃﾑ全内着履歴 6 内着履歴消去 ※ の長押しまたは内線着信履歴でも内線着信履歴を表示できます。		自TEL 自グループ システム	P2-41
4 履歴一括消去	1 ﾏｲ外発履歴	—	①（消去）を押す。		自TEL	P2-16
	2 ﾏｲ外着不応答履歴	—	①（消去）を押す。		自TEL	P2-29
	3 ﾏｲ外着応答履歴	—	①（消去）を押す。		自TEL	P2-29
	4 内着不応答履歴	—	①（消去）を押す。		自TEL	P2-43
	5 内着応答履歴	—	①（消去）を押す。		自TEL	P2-43
	6 ｼｽﾃﾑ内全外発履歴	—	①ユーザ用パスワードを入力する（設定時）。 ②（消去）を押す。	設定用	システム	P2-17
	7 ｼｽﾃﾑ内全外着履歴	—	①ユーザ用パスワードを入力する（設定時）。 ②（消去）を押す。	設定用	システム	P2-30
	8 ｼｽﾃﾑ内全内着履歴	—	①ユーザ用パスワードを入力する（設定時）。 ②（消去）を押す。	設定用	システム	P2-44
	9 ｼｽﾃﾑ内全発着信履歴	—	①ユーザ用パスワードを入力する（設定時）。 ②（消去）を押す。	設定用	システム	P2-17

■1次メニュー：3 各種機能切替（1／2）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
1 留守切替	—	—	①0 OFFまたは1 ONを選択する。 ※留守切替でも切替できます。	モード切替用	自テナント	P4-3
2 夜間切替	—	—	①テナント番号／ドアホン／全テナントを選択する。（他テナント／ドアホン／全テナントの選択は「他テナントの夜間切替可能電話機」のみ可能です） ②昼、夜間、深夜、または休日を、番号0～3で指定する。 ※夜モード名称を変更している場合は、夜間／深夜／休日の代わりに変更した名称が表示されます。 ※i＋夜間切替( )でも切替できます。	モード切替用	自テナント (他テナント)	P4-3 P7-42

次頁へ続く

メニュー機能の使い方

■1次メニュー：3 各種機能切替（2／2）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
3 留守録通知	—	—	①留守録BOXを選択する。（他テナントの留守録BOX選択は、「他テナントの夜間切替可能電話機」のみ可能です） ② 0 留守録通知OFFまたは 1 留守録通知ONを選択する。 ※ 留守録通知 でも切替できます。	モード切替用	自テナントの留守録BOX（他テナントの留守録BOX）	P4-27
4 非通知着信拒否	—	—	① 0 OFFまたは 1 ONを選択する。	モード切替用	自テナント	P5-40
5 発信規制解除	—	—	① 0 発信規制ありまたは 1 発信規制なしを選択する。 ※ 規制解除 でも切替できます。		システム	P7-62
6 外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ	—	—	①テナント番号／全テナントを選択する。（他テナント／全テナントの選択は「他テナントの夜間切替可能電話機」のみ可能です） ② 0 OFFまたは 1 ONを選択する。 ※ お待たせ でも切替できます。	モード切替用	自テナント（他テナント）	P5-27
7 ﾘﾓｺﾝ	—	—	①リモコン番号を選択する。 ② 0 OFFまたは 1 ONを選択する。 ※ リモコン( ) でも切替できます。		リモコン	P8-9
8 受話音量調整	1 受話音量ｱｯﾌﾟ	—	① 1 一時音量ｱｯﾌﾟﾓｰﾄﾞまたは 2 常時音量ｱｯﾌﾟﾓｰﾄﾞを選択する。		自TEL	P1-27
	2 受話音高域ｶｯﾄ	—	① 0 高域ｶｯﾄOFFまたは 1 高域ｶｯﾄONを選択する。		自TEL	P1-29
9 盗聴防止機能	—	—	① 0 OFFまたは 1 ONを選択する。 ※ 盗聴防止 でも切替できます。		自TEL	P5-134
0 その他	1 ﾍｯﾄﾞｾｯﾄ専用ﾓｰﾄﾞ	—	① 0 OFFまたは 1 ONを選択する。 ※ ヘッドセットモード でも切替できます。		自TEL	P8-12
	2 BGM	—	① 0 OFFまたは 1 ONを選択する。 ※ i ＋ 7 でも切替できます。		自TEL	P8-14
	3 自動折返し発信	—	① 0 なしまたは 1 ありを選択する。	設定用	システム	P5-49
	4 ACD	1 ACD切替	①ACDグループを選択する。（他ACDグループの選択は「他テナントの夜間切替可能電話機」のみ可能です） ② 0 ACD機能OFFまたは 1 ACD機能ONを選択する。 ※ ACD切替 でも切替できます。	モード切替用	自ACDグループ（他ACDグループ）	P5-10
	5 録音通知（Eメール）	—	① 0 送信しないまたは 1 送信するを選択する。		自内線BOX	P5-106

次頁へ続く

メニュー機能の使い方

■1次メニュー：4 電話機毎機能設定（1／3）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
1 ﾎﾞﾀﾝ登録	—	—	①登録したいボタンを押す。 ②下記の機能のいずれかを選択する。 1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録 2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録 3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録 4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録 5 ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ登録→1 留守録ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ 5 ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ登録→2 内線BOXｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ ③選択した項目に対するデータ（機能番号、短縮番号、内線番号、留守録BOX番号）を入力する。 ※ i ＋ ✕ ＋ ✕ でもボタン登録ができます。		自TEL	P2-19 ～2-21 P2-37 P5-58 P7-1
2 音設定	1 外線着信音選択	—	①1 着信音（昼）、2 着信音（夜）、3 着信音（昼夜）を選択する。（2 着信音（夜）を選択したときは、さらに1 夜間または2 深夜を選択する） ②設定したい 外線 を押す。（DILINは # を押してDILIN番号を入力する） ③着信音を選択する（「着信なし」も含む）。		自TEL	P7-10
	2 内線着信音選択	—	①着信音を選択する。		自TEL	P7-11
	3 ｷｰ押し確認音	—	①0 OFFまたは1 ONを選択する。		自TEL	P1-29
	4 着信音量設定	1 外線着信音量設定	①0 無音、1 極小、2 小、3 中または4 大を選択する。		自TEL	P1-26 （補足説明）
		2 内線着信音量設定	①0 無音、1 極小、2 小、3 中または4 大を選択する。		自TEL	P1-26 （補足説明）
		3 ﾄﾞｱﾎﾝ着信音量設定	①0 無音、1 極小、2 小、3 中または4 大を選択する。		自TEL	P1-26 （補足説明）
3 LCD/着信ﾗﾝﾌﾟ設定	1 ｺﾝﾄﾗｽﾄ	—	①⊠でコントラストを調整する。		自TEL	P1-30
	2 ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ点灯時間	—	①点灯時間を選択する。		自TEL	P1-31
	3 待機時録音件数表示	—	①0 表示なしまたは1 表示ありを選択する。		自TEL	P5-68
	4 縦倍角表示	—	①0 なし（標準）または1 あり（縦倍角）を選択する。		自TEL	P1-32
	5 LCD反転表示	—	①0 なしまたは1 ありを選択する。		自TEL	P1-32
	6 履歴等初期画面	1 外発履歴初期画面	①外線発信履歴の種類を選択する。 ②1 一覧表示または2 詳細表示を選択する。		自TEL	P2-17
		2 外着履歴初期画面	①外線着信履歴の種類を選択する。 ②1 一覧表示または2 詳細表示を選択する。		自TEL	P2-32
		3 内着履歴初期画面	①内線着信履歴の種類を選択する。 ②1 一覧表示または2 詳細表示を選択する。		自TEL	P2-45

次頁へ続く

メニュー機能の使い方

■1次メニュー：4 電話機毎機能設定（2／3）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
3 LCD/着信ﾗﾝﾌﾟ設定	6 履歴等初期画面	4 電話帳初期画面	①1 ﾖﾐｶﾞﾅ検索、2 相手区分検索または3 短縮番号検索を選択する。		自TEL	P3-25
		5 ﾒｯｾｰｼﾞ再生初期画面	①0 一覧表示なしまたは1 一覧表示ありを選択する。		自TEL	P4-25
	7 着信ﾗﾝﾌﾟ	1 ｶﾗｰ選択	①色を選択する。		自TEL	P1-30
	8 外線着信時表示件数	—	①表示件数（0 1件表示、1 2件表示、2 4件表示）を選択する。		自TEL	P5-31
4 内線名称編集	—	—	①内線番号を入力する。 ②1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ③内線名称、ヨミガナを登録する。		全TEL	P7-8
5 内線ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ登録	—	—	①内線番号を入力する。 ②現在のパスワードを入力する。 ③新しいパスワードを入力する。 ※ i ＋ ボックス でも内線パスワード登録ができます。		全TEL	P5-70
6 なんでもﾎﾞﾀﾝ登録	—	—	①登録したい なんでも( ) を押す。 ②登録内容確認画面で（登録時）、 （ 決定 ）を押す。 ③1 登録を選択する。（2 消去も選択可能） ④登録したいボタン操作をする。 ⑤登録したい なんでも( ) を押す。 ※ i ＋ なんでも( ) でもなんでもボタン登録ができます。		自TEL	P7-6
7 不在時/話中時機能	1 不在転送	—	①1 不在転送(内線)または2 不在転送(外線)を選択する。 ※ 不在設定 ＋ 保留 でも不在転送が設定できます（外線の場合は 不在転送（外線） でも可能）。		自TEL	P5-118 P5-121
	2 話中応答遅延転送	—	①0 転送解除、1 話中転送、2 応答遅延転送、3 話中応答遅延転送を選択する。		自TEL	P5-124
	3 不在転送先(内線)	—	①現在の設定が表示される。 ②1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ③転送先の内線番号を入力する。		自TEL	P5-117
	4 不在転送先(外線)	1 自電話機	①現在の設定が表示される。 ②1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ③転送先の電話番号を入力する。		自TEL	P5-120
		2 他電話機	①転送先を設定する内線番号を入力する。 ②現在の設定が表示される。 ③1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ④転送先の電話番号を入力する。	設定用	全TEL	P5-120
	5 話中応答遅延転送先	—	①現在の設定が表示される。 ②1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ③転送先の内線番号を入力する。		自TEL	P5-123

次頁へ続く

メニュー機能の使い方

■1次メニュー：4 電話機毎機能設定（3／3）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
7 不在時/話中時機能	6 不在表示	—	①不在表示内容を選択する。 ②不在期間表示方法を選択する。 0 表示なし 1 時刻表示 2 月日表示 ③不在終了時刻（1 時刻表示選択時）、または不在終了月日（2 月日表示選択時）を入力する。 ※ 不在設定 ＋ # でも不在表示が設定できます。		自TEL	P5-127
8 ﾀｲﾑｱﾗｰﾑ	1 ﾀｲﾑｱﾗｰﾑ（1回）	—	①アラーム番号を選択する。 ② 1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ③日時を入力する。		自TEL	P7-15
	2 ﾀｲﾑｱﾗｰﾑ（毎回）	—	①アラーム番号を選択する。 ② 1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ③曜日を選択する。 ④時刻を入力する。		自TEL	P7-16
0 その他	1 電話帳ｷｰ操作	—	① 1 1回押し：電話帳専用または 2 2回押し：短縮兼用を選択する。		自TEL	P3-18
	2 電話機ｴｺﾓｰﾄﾞ設定	1 無操作時間の設定	①エコモードへの移行時間を選択する。		自TEL	P5-166
		2 ﾊﾞｯｸﾗｲﾄの設定	①エコモード時のバックライトの消灯方法を選択する。		自TEL	P5-166
	3 ﾌﾟﾘｾｯﾄﾀﾞｲﾔﾙ設定	—	①プリセットダイヤルの動作パターンを選択する。 0 不可 1 パターン1 2 パターン2 3 パターン3		自TEL	P2-4
	4 外部ｽﾋﾟｰｶ	—	① 0 OFFまたは 1 ONを選択する。		自TEL	P8-23

■1次メニュー：5 ｼｽﾃﾑ機能設定（1／7）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
1 他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録	—	—	①先頭の電話機収容位置または先頭と最終の電話機収容位置を入力する。 ②登録したいボタン番号を入力する。 ③下記の機能を選択する。 1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録 2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録 3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録 4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録 5 ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ登録→ 1 留守録ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ 5 ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ登録→ 2 内線BOXｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ ④選択した項目に対するデータ（機能番号、短縮番号、内線番号、留守録BOX番号）を入力する。	設定用 No.1	全TEL	P2-23 P2-38 P5-59 P7-3

次頁へ続く

メニュー機能の使い方

■1次メニュー：5 ｼｽﾃﾑ機能設定（2／7）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
2 日時設定	1 時計調整	—	①時刻を入力する。		システム	P1-24
	2 ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定	—	①年月日を入力する。 ②曜日を選択する。		システム	P1-24
3 音/着信ﾊﾟﾀｰﾝ設定	1 着信識別	—	①相手区分番号または非通知理由（「ﾋﾂｳﾁ」、「ｺｳｼｭｳ」、「ｹﾝｶﾞｲ」）を選択する。 ②着信音を選択する。 ③着信ランプカラーを選択する。 ④ 0 **優先着信・応答ーなし**または 1 **優先着信・応答ーあり**を選択する（①で相手区分番号を選択したとき）。	共通電話帳編集用	自電話機グループ	P5-35
	2 ﾒﾛﾃﾞｨ選曲	—	①番号を選択する。 ②曲名またはシステム応答メッセージを選択する。	設定用No.1	システム	P7-12
	3 保留音選択	—	①メロディ番号を選択する。	設定用No.1	システム	P7-14
4 お待たせﾒｯｾｰｼﾞ	1 お待たせ時間	—	①お待たせ時間を選択する。	モード切替用	自テナント	P5-28（ご注意）
5 留守番機能	1 留守ﾓｰﾄﾞ選択	—	①留守モードを選択する。 ②転送先の番号、メッセージ番号等を入力する（留守モードによって異なる）。 ※本操作では留守番機能の起動はできません。（留守モードおよび転送先やメッセージの選択のみできます） ※ 留守切替 や 夜間切替( ) で留守番状態に切り替えた後には 留守録 や 転送電話 等で留守モードが選択できます。	モード切替用	自テナント	P4-8 P4-17 P4-43 P4-45 P4-48 P4-51 P4-52
	2 特定者留守ﾓｰﾄﾞ選択	1 電話番号指定	①特定者番号を入力する（省略可）。 ② 1 **登録/変更**を選択する。（ 2 **消去**も選択可能） ③特定者の電話番号を入力する。 ④留守モードを選択する。 ⑤転送先番号を入力する（転送電話関係のモードのみ）。	モード切替用	自テナント	P4-54
		2 相手区分指定	①相手区分番号を入力する。 ②留守モードを選択する。 ③転送先番号を入力する（転送電話関係のモードのみ）。	モード切替用	自テナント	P4-57
	3 転送先登録	—	①転送先番号を選択する。 ②転送先の電話番号を入力する。 ※ i ＋ 転送先( ) でも転送先登録ができます。	モード切替用	自テナント	P4-5
	4 留守録通知先	—	①現在の設定が表示される。 ②留守録通知先の番号を選択する。 ③留守録通知先の電話番号を入力する。	モード切替用	自テナント	P4-26
	5 留守録応答時間	—	①テナント番号を入力する。（他テナントのテナント番号入力は、「他テナントの夜間切替可能電話機」のみ可能です） ②留守録応答時間を選択する。	モード切替用	自テナント（他テナント）	P4-19 〈知っていると便利なこと〉

次頁へ続く

メニュー機能の使い方

■1次メニュー：5 ｼｽﾃﾑ機能設定（3／7）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
5 留守番機能	6 転送電話発信用外線	—	①先頭の外線番号または先頭と最終の外線番号を入力する。 ②転送電話発信用外線の可否を選択する。	設定用	全外線	P4-6
	7 内線一般着信転送	1 転送方法	①DILIN番号を選択する。 ②転送方法を選択する。	モード切替用	DILIN番号	P2-58
		2 転送先	①DILIN番号を選択する。 ②転送先番号を選択する。 ③転送先の電話番号を入力する。	モード切替用	DILIN番号	P2-57
	8 転送元ｱﾅｳﾝｽ有無	—	①テナント番号／ドアホンを選択する。 ②0 ｱﾅｳﾝｽなしまたは1 ｱﾅｳﾝｽありを選択する。	設定用	全テナント	P4-13
	9 設定完了ｱﾅｳﾝｽ有無	—	①0 なし、1 あり（ﾘﾓｰﾄ操作時）、2 あり（＋特番操作時）、3 あり（全切替操作）から選択する。	設定用	システム	P7-26
	0 順次転送有無	—	①テナント番号を選択する。 ②0 順次転送なしまたは1 順次転送ありを選択する。	モード切替用	全テナント	P4-14
6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR	1 ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録	—	①メッセージ番号を選択する。 ②1 名称登録または2 ﾒｯｾｰｼﾞ録音を選択する。 ③名称を入力またはメッセージを録音する。（消去することも可能） ※録音した内容の再生もできます。	設定用	システム	P7-20 P7-22
	2 留守番用ﾒｯｾｰｼﾞ設定	1 留守録ﾒｯｾｰｼﾞ	①留守録BOX番号を選択する。 ②メッセージ番号を選択する。	設定用	全留守録BOX	P4-15
		2 応答専用ﾒｯｾｰｼﾞ	①テナント番号を選択する。 ②メッセージ番号を選択する。	設定用	全テナント	P4-41
		3 転送/留守録ﾒｯｾｰｼﾞ	①テナント番号を選択する。 ②メッセージ番号を選択する。	設定用	全テナント	P4-46
	3 電話帳音声名称	—	①番号を入力する。（省略可） ②1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ③短縮番号を入力する。（電話帳で電話帳検索も可能） ④ハンドセットを使ってメッセージを録音する。 ※録音した内容の再生もできます。	モード切替用	システム	P4-10
	4 内線音声名称	—	①ヨミガナ入力､内線番号（代理応答/切替で切替）で検索する。 ②1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ③ハンドセットを使ってメッセージを録音する。 ※録音した内容の再生もできます。	モード切替用	システム	P2-59
	5 自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ/IVR	1 応答ﾒｯｾｰｼﾞ（通常用）	①テナント番号を選択する。（他テナントの選択は、データ設定用電話機のみ可能です） ②応答メッセージ番号を入力する。	モード切替用	自テナント（他テナント）	P5-78
		2 応答ﾒｯｾｰｼﾞ（IVR用）	①テナント番号を選択する。（他テナントの選択は、データ設定用電話機のみ可能です） ②応答メッセージ番号を入力する。	モード切替用	自テナント（他テナント）	P5-82

次頁へ続く

メニュー機能の使い方

■1次メニュー：5 ｼｽﾃﾑ機能設定（4／7）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR	5 自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ/IVR	3 IVRｻｰﾋﾞｽ登録	①テナント番号を選択する。（他テナントの選択は、データ設定用電話機のみ可能です） ②下記の機能を選択する。 **1 登録/変更**（③、④に続く） **2 消去** **3 登録ﾂﾘｰ確認** ③番号を入力する。 ④1～3層目までのサービス番号と機能番号を入力する。	モード切替用	自テナント（他テナント）	P5-83
		4 IVRｻｰﾋﾞｽ名称登録 (2-1版～)	①テナント番号を選択する。（他テナントの選択はデータ設定用電話機のみ可能です） ② **1 登録/変更**を選択する。（**2 消去**も選択可能） ③番号を入力する。 ④サービス名称を登録する。	モード切替用	自テナント（他テナント）	P5-85
	6 内線応答ﾒｯｾｰｼﾞ	—	①ヨミガナ入力、内線番号（代理応答/切替で切替）で録音先を検索する。 ② **1 登録/変更**を選択する。（**2 消去**も選択可能） ③ハンドセットを使ってメッセージを録音する。 ※録音した内容の再生もできます。	ﾓｰﾄﾞ切替用	システム	P5-77
7 非通知着信拒否	1 着信拒否ﾓｰﾄﾞ	—	① **1 話し中処理**または **2 音声ﾒｯｾｰｼﾞ送出**を選択する。	ﾓｰﾄﾞ切替用	自テナント	P5-41
	2 着信拒否適用外線	—	① **1 同一ﾃﾅﾝﾄ**または **2 ｼｽﾃﾑ一括**を選択する。	設定用	システム	P5-41
	3 拒否対象着信種別	—	①各着信種別（非通知／公衆電話／表示圏外）の画面ごとに **0 OFF**または **1 ON**を選択する。	モード切替用	自テナント	P5-42
8 番号識別機能	1 着信拒否番号	—	①番号を入力する（省略可）。 ②下記の機能を選択する。 **1 番号直接入力**（③に続く） **2 消去** **3 電話番号指定消去**（③に続く） ③拒否する電話番号を入力する。		システム	P5-37
	2 着信拒否ﾓｰﾄﾞ	—	① **1 話し中処理**または **2 音声ﾒｯｾｰｼﾞ送出**を選択する。	設定用	システム	P5-40
	3 発信規制番号	—	①番号を入力する（省略可）。 ②下記の機能を選択する。 **1 番号直接入力**（③に続く） **2 消去** **3 電話番号指定消去**（③に続く） ③電話番号を入力する。		システム	P7-58
	4 発番号ﾎｯﾄﾗｲﾝ	—	①番号を入力する（省略可）。 ② **1 登録/変更**を選択する。（**2 消去**も選択可能） ③発番号ホットラインを行う電話番号を入力する。 ④着信先の内線番号を入力する。	設定用	システム	P5-43

次頁へ続く

メニュー機能の使い方

■1次メニュー：5 ｼｽﾃﾑ機能設定（5／7）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
8 番号識別機能	5 ﾘﾓｰﾄ操作用電話機	—	①番号を入力する（省略可）。 ② 1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ③リモート操作する電話機の電話番号を入力する。	モード切替用	システム	P7-31
	6 折返し発信対象番号	—	①番号を入力する（省略可）。 ② 1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ③折返し発信対象電話番号を入力する。	設定用	システム	P5-48
	7 電話/FAX自動切替	1 対象外電話番号	①番号を入力する（省略可）。 ②電話／FAX切替対象外の電話番号を入力する。	設定用	システム	P5-108
9 ｲﾝｶﾑﾓｰﾄﾞ	1 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟの内線数	—	①インカムグループを選択する。 ②内線数を入力する。	設定用	インカムグループ	P5-156
	2 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ内線登録	—	①インカムグループを選択する。 ②番号を選択する。 ③ 1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ④内線番号を入力する。	設定用	インカムグループ	P5-156
	3 応答待ち時間	—	①インカムグループを選択する。 ②応答待ち時間を選択する。	設定用	インカムグループ	P5-157
	4 終了条件	—	①インカムグループを選択する。 ②終了条件を選択する。	設定用	インカムグループ	P5-158
	5 応答時の送話有無	1 自電話機	① 0 なし（送話ﾐｭｰﾄON）または 1 あり（送話ﾐｭｰﾄOFF）を選択する。		自TEL	P5-159
		2 他電話機	①内線番号を入力する。 ② 0 なし（送話ﾐｭｰﾄON）または 1 あり（送話ﾐｭｰﾄOFF）を選択する。	設定用	全TEL	P5-159
0 その他	1 ｾﾝｻ通知先登録	—	①センサ番号を入力する。 ② 1 外線通知先または 2 内線通知先を選択する。 ③通知先番号を選択する。 ④ 1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ⑤通知先の外線電話番号（外線自動発信番号も含む）または内線番号を入力する。	設定用	センサ	P8-18
	2 FAX受信ﾎﾞﾀﾝ登録	—	①登録するボタン番号を入力する。 ②FAXの内線番号を入力する。	設定用	システム	P5-109
	3 夜間切替ﾀｲﾏ	1 曜日毎	①テナント番号／ドアホン／全テナントを選択する。（他テナント／ドアホン／全テナントの選択は「他テナントの夜間切替可能電話機」のみ可能です） ②曜日を選択する。 ③番号を選択する。 ④夜開始／夜終了時刻を入力する。 ⑤夜モードを選択する。 ⑥留守モードを選択する。 ⑦転送先番号、メッセージ番号を入力する（選択した留守モードによる）。	モード切替用	自テナント（他テナント）	P7-44

次頁へ続く

■1次メニュー：5 ｼｽﾃﾑ機能設定（6／7）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
0 その他	3 夜間切替ﾀｲﾏ	2 特定日(毎年)	①テナント番号／ドアホンを選択する。(他テナント／ドアホンの選択は「他テナントの夜間切替可能電話機」のみ可能です) ②番号を入力する。 ③ 1 **登録/変更**を選択する。(2 **消去**も選択可能) ④夜間切替の月日を入力する。 ⑤曜日指定（日）～（土）、または時刻・モード直接指定を選択する。 ※時刻・モード直接指定を選択したときには、⑥以降も設定する。 ⑥夜開始／夜終了時刻を入力する。 ⑦夜モードを選択する。 ⑧留守モードを選択する。 ⑨転送先番号、メッセージ番号を入力する（選択した留守モードによる)。	モード切替用	自テナント(他ﾃﾅﾝﾄ)	P7-49
		3 特定日(年指定)	①テナント番号／ドアホンを選択する。(他テナント／ドアホンの選択は「他テナントの夜間切替可能電話機」のみ可能です) ②番号を入力する。 ③ 1 **登録/変更**を選択する。(2 **消去**も選択可能) ④夜間切替の年月日を入力する。 ⑤曜日指定（日）～（土）、または時刻・モード直接指定を選択する。 ※時刻・モード直接指定を選択したときには、⑥以降も設定する。 ⑥夜開始／夜終了時刻を入力する。 ⑦夜モードを選択する。 ⑧留守モードを選択する。 ⑨転送先番号、メッセージ番号を入力する（選択した留守モードによる)。	モード切替用	自テナント(他ﾃﾅﾝﾄ)	P7-49
		4 特定日一括消去	①テナント番号／ドアホンを選択する。(他テナント／ドアホンの選択は「他テナントの夜間切替可能電話機」のみ可能です) ②消去する項目を選択する。 **1 （毎年）全消去** **2 （年指定）全消去** **3 （年指定）年単位消去** ③ ⊠（消去）を押す。 3 を選択したときは、消去する年を入力してから消去する。	モード切替用	自テナント(他ﾃﾅﾝﾄ)	P7-52
		5 特定日 全ﾃﾅﾝﾄｺﾋﾟｰ	①テナント番号／ドアホンを選択する。 ② ⊠（決定）を押す。	設定用 No.1	システム	P7-53
	4 非通知着信履歴有無	—	① 0 **なし**または 1 **あり**を選択する。	設定用	システム	P2-32

次頁へ続く

メニュー機能の使い方

■1次メニュー：5 ｼｽﾃﾑ機能設定（7／7）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
0 その他	5 ﾄﾞｱﾎﾝ転送先登録	—	①ドアホンを選択する。 ②転送先番号を選択する。 ③ 1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ④外線自動発信番号を入力する。 ⑤転送先の電話番号を入力する。	設定用	ドアホン	P8-3
	6 各種名称登録	1 ﾄﾞｱﾎﾝ名称登録	①ドアホンを選択する。 ② 1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ③ドアホン名称を登録する。	設定用	ドアホン	P8-2
		2 ｾﾝｻ名称登録	①センサを選択する。 ② 1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ③センサ名称を登録する。	設定用	センサ	P8-20
		3 ﾜｲﾔﾚｽﾎﾞﾀﾝ名称登録	①内線番号を入力する。 ②ボタンを選択する。 ③ 1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ④ボタン名称を登録する。	設定用	ワイヤレス呼出ボタン対象端末	P7-63
		4 ﾃﾅﾝﾄ名称登録	①テナント番号を選択する。 ② 1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ③テナント名称を登録する。	設定用	全テナント	P7-64
	7 不在表示内容登録	—	①不在表示の内容を登録する番号を選択する。 ②不在表示の内容を入力する。	設定用	システム	P5-128
	8 ﾁｬｲﾑﾀｲﾏ	—	①チャイム番号を選択する。 ② 1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ③時刻を入力する。 ④曜日を設定する。 ⑤音源を選択する。（試聴が可能） ⑥チャイム回数または送出時間を設定する。 ⑦外部スピーカを選択する。 ⑧電話機グループを選択する。	設定用 No.1	システム	P7-17
	9 ﾓﾊﾞｲﾙｱｼｽﾄ	1 保留機能有無	①内線を選択する。 ② 0 なしまたは 1 ありを選択する。	設定用 No.1	モバイルアシスト® 専用内線	「モバイルアシスト® 取扱説明書」をご覧ください。

次頁へ続く

メニュー機能の使い方

■1次メニュー：**6** 用件ﾒｯｾｰｼﾞ

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
1 留守録用件ﾒｯｾｰｼﾞ	**1** 留守録再生	—	①留守録BOXを選択する。 ※ 再生( ) でも再生できます。		全留守録BOX	P4-21
	2 音声案内設定	—	① **0** 音声案内なしまたは **1** 音声案内ありを選択する。	モード切替用	自留守録BOX	P4-22
	3 留守録ｺﾞﾐ箱再生	—	①留守録ゴミ箱を選択する。 ※ 留守録ゴミ箱( ) でも再生できます。		全留守録BOX	P4-21
2 内線BOX用件ﾒｯｾｰｼﾞ	**1** 内線BOX再生	—	①内線BOX番号を入力する。 ②内線パスワードを入力する（設定時）。 ※ ボックス( ) でも再生できます。		全内線BOX	P5-61
	2 音声案内設定	—	①内線BOX番号を入力する。 ②内線パスワードを入力する（設定時）。 ③ **0** 音声案内なしまたは **1** 音声案内ありを選択する。		全内線BOX	P5-62
	3 内線BOXｺﾞﾐ箱再生	—	①内線BOX番号を入力する。 ②内線パスワードを入力する（設定時）。 ※ 内線BOXゴミ箱( ) でも再生できます。		全内線BOX	P5-61
3 同報送信不可BOX	—	—	①同報グループを選択する。 ②内線BOXを選択する。 ③同報送信できない理由が表示されます。		全同報グループ	P5-94
4 外線通話録音登録先	**1** 相手電話番号毎指定	—	①番号を入力する。 ② **1** **登録/変更**を選択する。（ **2** **消去**も選択可能） ③相手の電話番号を入力する。 ④内線BOX番号を入力する。	設定用	システム	P5-54

■1次メニュー：**7** 拠点間機能

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
1 拠点間ﾋﾞﾃﾞｵ会議	—	—	①拠点番号を選択する。 ② ⊠（決定）を押す。 ※ マルチビデオ会議 でもビデオ会議に参加できます。		全拠点	「サーバユニットVXi取扱説明書」をご覧ください。

次頁へ続く

メニュー機能の使い方

■1次メニュー：9 ﾎﾃﾙ機能 LA LB

※ホテル機能追加ユニット（ET-HOTELU-XiL）を取り付けてある場合のみ表示します。

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
1 ﾁｪｯｸｲﾝ	1 内線/ID番号毎	—	①内線番号／ID番号を入力する。 ②言語を選択する。 ③ ﾒﾓ（印字）を押す。	設定用	全TEL／ID番号	「ホテル機能取扱説明書」をご覧ください。
	2 団体ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎	—	①団体グループ番号を入力する。 ②言語を選択する。 ③ ﾒﾓ（印字）を押す。	設定用	団体グループ	
	3 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎	—	①課金グループ番号を入力する。 ②言語を選択する。 ③ ﾒﾓ（印字）を押す。	設定用	課金グループ	
2 ﾁｪｯｸｱｳﾄ	—	—	①ユーザ用パスワードを入力する（設定時）。 ②下記のいずれかを選択する。 **1 内線/ID番号毎** **2 団体ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎** **3 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎** ③選択した項目に対する番号（内線番号／ID番号、団体グループ番号、課金グループ番号）を入力する。 ④ ﾒﾓ（印字）を押す。	設定用	全TEL／ID番号 団体グループ 課金グループ	
3 ﾓｰﾆﾝｸﾞｺｰﾙ	—	—	①内線番号を入力する。 ② **1 登録/変更**を選択する。（**2 取消**も選択可能） ③時刻を入力する。		全TEL（客室のみ）	
4 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾚｼﾞｽﾀ登録	—	—	①項目番号を入力する。 ② **1 登録/変更**を選択する。（**2 消去**も選択可能） ③項目名を入力する。	設定用	システム	
5 ﾎﾃﾙ名称/電話番号	—	—	① ﾒﾓ（決定）を押す。 ② **1 登録/変更**を選択する。（**2 消去**も選択可能） ③ホテル名称、電話番号を登録する。	設定用	システム	
6 団体ｸﾞﾙｰﾌﾟ設定	—	—	①内線を選択する。 ②団体グループ番号を入力する。	設定用	全TEL（客室のみ）	

次頁へ続く

メニュー機能の使い方

■1次メニュー：**0 その他**（1／5）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
1 通話料金（電話機毎）	**1 最後の通話料金**	—	①通話料金が表示されます。		自TEL	P5-180
	2 累計/予算使用率	—	①累計金額と予算使用率が表示されます。		自TEL	P5-181
	3 前回累計	—	①累計金額が表示されます。		自TEL	P5-181
2 通話料金（管理者）	**1 累計/予算使用率**	—	①表示したい対象を選択する。 **1 内線/ID番号毎** **2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎** **3 ｼｽﾃﾑ全体** ②内線番号／ID番号（**1 内線/ID番号毎**を選択時）、または課金グループ番号（**2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎**を選択時）を入力する。 ③累計金額と予算使用率が表示されます。（**3 ｼｽﾃﾑ全体**を選択したときは累計金額のみの表示になります）	設定用	全TEL/ID番号 課金グループ システム	P5-181
	2 前回累計	—	①表示したい対象を選択する。 **1 内線/ID番号毎** **2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎** **3 ｼｽﾃﾑ全体** ②内線番号／ID番号（**1 内線/ID番号毎**を選択時）、または課金グループ番号（**2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎**を選択時）を入力する。 ③累計金額が表示されます。	設定用	全TEL/ID番号 課金グループ システム	P5-181
	3 累計ｸﾘｱ	—	①ユーザ用パスワードを入力する（設定時）。 ②クリアしたい対象を選択する。 **1 内線/ID番号毎** **2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎** **3 ｼｽﾃﾑ全体** ③内線番号／ID番号（**1 内線/ID番号毎**を選択時）、または課金グループ番号（**2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎**を選択時）を入力する。 ④ 消去（消去）を押す。	設定用	全TEL/ID番号 課金グループ システム	P5-183
	4 予算登録	—	①ユーザ用パスワードを入力する（設定時）。 ②予算を登録したい対象を選択する。 **1 内線/ID番号毎** **2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎** ③内線番号／ID番号（**1 内線/ID番号毎**を選択時）、または課金グループ番号（**2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎**を選択時）を入力する。 ④予算を入力する。	設定用	全TEL/ID番号 課金グループ	P5-178
	5 料金割引日設定	—	①割引日番号を選択する（省略可）。 ②**1 登録/変更**を選択する。（**2 消去**も選択可能） ③割引日を入力する。 ④**1 祝日（振替休日あり）**または**2 平日（振替休日なし）**を選択する。	設定用	システム	P7-55

次頁へ続く

メニュー機能の使い方

■1次メニュー：0 その他（2／5）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
2 通話料金（管理者）	6 今回累計印字	—	①印字したい対象を選択する。 1 内線/ID番号毎 2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎 3 ｼｽﾃﾑ全体 ②内線番号／ID番号（1 内線/ID番号毎を選択時）、または課金グループ番号（2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎を選択時）を入力する。 ③ [印字] を押す。	設定用	全TEL/ID番号 課金グループ システム	P5-188
	7 前回累計印字	—	①印字したい対象を選択する。 1 内線/ID番号毎 2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎 3 ｼｽﾃﾑ全体 ②内線番号／ID番号（1 内線/ID番号毎を選択時）、または課金グループ番号（2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎を選択時）を入力する。 ③ [印字] を押す。	設定用	全TEL/ID番号 課金グループ システム	P5-188
	8 累計ｸﾘｱ印字	—	①ユーザ用パスワードを入力する（設定時）。 ②クリア印字したい対象を選択する。 1 内線/ID番号毎 2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎 3 ｼｽﾃﾑ全体 ③内線番号／ID番号（1 内線/ID番号毎を選択時）、または課金グループ番号（2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎を選択時）を入力する。 ④ [印字] を押す。	設定用	全TEL/ID番号 課金グループ システム	P5-191
	0 その他	1 消費税率自動変更	①変更日番号を選択する。 ② 1 登録/変更を選択する。（2 消去も選択可能） ③変更年月日と税率を入力する。	設定用	システム	P5-176
		2 終話印字ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ	①ユーザ用パスワードを入力する（設定時）。 ② [印字]（[消去]）を押す。	設定用	システム	P5-187

次頁へ続く

メニュー機能の使い方

■1次メニュー：0 その他（3／5）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
3 録音管理	1 録音件数確認	—	①録音件数や録音可能件数／録音可能時間などが表示されます。 ※ i ＋ 録音 でも確認できます。		自TELの内線BOX	P5-67
	2 留守録BOX全消去	—	①留守録BOXを選択する。（他テナントの留守録BOX選択は、「他テナントの夜間切替可能電話機」のみ可能です） ②ユーザ用パスワードを入力する（設定時）。 ③ ▣（消去）を押す。	モード切替用	自テナントの留守録BOX（他テナントの留守録BOX）	P4-35
	3 内線BOX全消去	—	①内線BOX番号を入力する（省略可）。 ②内線パスワードを入力する（設定時）。 ③ ▣（消去）を押す。		全内線BOX	P5-71
	4 VMU全消去	—	①ユーザ用パスワードを入力する（設定時）。 ② ▣（消去）を押す。	設定用	システム	P4-37
	5 留守録ｺﾞﾐ箱使用	—	①留守録BOXを選択する。（他テナントの留守録BOX選択は、「他テナントの夜間切替可能電話機」のみ可能です） ② 0 **なし**または 1 **あり**を選択する。	モード切替用	自テナントの留守録BOX（他テナントの留守録BOX）	P4-38
	6 内線BOXｺﾞﾐ箱使用	1 自電話機	① 0 **なし**または 1 **あり**を選択する。		自TELの内線BOX	P5-73
		2 他電話機	①内線BOX番号を入力する。 ② 0 **なし**または 1 **あり**を選択する。	設定用	全内線BOX	P5-73
	7 留守録ｺﾞﾐ箱全消去	—	①留守録BOXを選択する。（他テナントの留守録BOX選択は、「他テナントの夜間切替可能電話機」のみ可能です） ②ユーザ用パスワードを入力する（設定時）。 ③ ▣（消去）を押す。	モード切替用	自テナントの留守録BOX（他テナントの留守録BOX）	P4-36（補足説明）
	8 内線BOXｺﾞﾐ箱全消去	—	①内線BOX番号を入力する（省略可）。 ②内線パスワードを入力する（設定時）。 ③ ▣（消去）を押す。		全内線BOX	P5-71（補足説明）

次頁へ続く

メニュー機能の使い方

■1次メニュー：0 その他（4／5）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
4 ｼｽﾃﾑ管理	1 ｼｽﾃﾑ情報	—	①確認したい項目を選択する。 0 0 主装置情報 〜 7 0 EXU情報 ②ユニット名、プログラムバージョンなどの情報が表示されます。	設定用	システム	—
	2 障害情報	1 内線ｹｰﾌﾞﾙｼｮｰﾄ	①内線収容位置毎のケーブルショートあり（年月日、時分）、なしの情報が表示されます。	設定用	全TEL	—
		2 ISDN外線同期外れ	①詳細表示したい外線を選択する。 ②ISDN外線同期外れの詳細情報が表示されます。	設定用	全外線	—
		3 CIUｴﾗｰ	①詳細表示したい番号を選択する。 ②CIUエラーの詳細情報が表示されます。	設定用	システム	—
		4 未設定外線番号	①外線番号の設定に不備があるスロットが表示されます。	設定用	システム	—
		5 ping送信	①ping送信先の指定方法を選択する。 1 専用IP端末一覧 2 SIP端末一覧 3 IPｱﾄﾞﾚｽ指定 ②一覧から端末を選択する。または、IPアドレスを各オクテット3桁で入力する。 ③ ［決定］）を押す。 ④応答時間または応答の有無の情報が表示されます。	設定用	IP端末等	—
		6 ｼｽﾃﾑ起動情報	①システムの起動日時が表示されます。	設定用	システム	—
		7 ﾜｲﾔﾚｽｲﾝﾀｰﾎﾝ情報 (2-1版〜)	①切断を検出したワイヤレスインターホンの情報が表示されます。	設定用	ワイヤレスインターホン	—
		8（未使用）				
		9（未使用）				
		0（未使用）				
	3 契約電話番号登録	—	①契約電話番号を入力する。 ※すでに登録してある場合、現在の登録内容が表示されます。	設定用	システム	—
	4 外線基本設定	1 外線の種類	①先頭の外線番号または先頭と最終の外線番号を入力する。 ②外線の種類を選択する。 ③携帯、IP電話、時報、天気予報の課金方法を選択する。	設定用	全外線	—
		2 外線ﾀﾞｲﾔﾙ種別	①先頭の外線番号または先頭と最終の外線番号を入力する。 ②外線ダイヤル種別を選択する。	設定用	全外線	—
	5 使用回線表示	1 使用回線表示方法	①先頭の外線番号または先頭と最終の外線番号を入力する。 ②回線表示方法を選択する。	設定用	全外線	—
		2 回線名称登録	①回線名称登録番号を選択する。 ②回線名称を登録する。	設定用	システム	—

次頁へ続く

メニュー機能の使い方

■1次メニュー：0 その他（5／5）

2次メニュー	3次メニュー	4次メニュー	メニュー選択後の操作概要	特定電話機	対象	記載ページ
4 ｼｽﾃﾑ管理	6 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ	1 主装置	①最新のファームウェアを確認する。 ②ダウンロードする。 ③アップデートする。	設定用 No.1	システム	P9-27
		2 IP電話機	①内線番号を入力する。 ②最新のファームウェアを確認する。 ③ダウンロードする。 ④アップデートする。	設定用 No.1	IP電話機	P9-29
	7 電話機等接続状況	1 ﾎﾞﾀﾝ電話機未接続数	①基板を増設しないで増設できるボタン電話機の台数が表示されます。	設定用	システム	—
		2 IP電話機未接続数	①基板を増設しないで増設できるIP電話機の台数が表示されます。	設定用	システム	—
		3 端末接続数詳細	①端末の種類毎に接続数が表示されます。	設定用	システム	—
		4 内線基板搭載数	①基板の種類毎に搭載数が表示されます。	設定用	システム	—
		5 外線基板搭載数	①基板の種類毎に搭載数が表示されます。	設定用	システム	—
		6 空きPORT数	①さらに実装できる基板の枚数が表示されます。	設定用	システム	—
	8 PS用電話帳設定	1 内線電話帳選択	①電話機グループを選択する。 ②内線電話帳データを選択する。 ③ 1 **登録/変更**を選択する。（2 **登録解除**も選択可能） ④PS側メモリ番号を入力する。	設定用	電話機グループ	—
		2 内線電話帳自動選択	①電話機グループを選択する。 ② ▣（決定）を押す。	設定用	電話機グループ	—
		3 自動差分ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ	①現在の設定が表示されるので ▣（決定）を押す。 ② 1 **登録/変更**を選択する。（2 **消去**も選択可能） ③自動差分ダウンロードの開始時刻と同時ダウンロード台数を入力する。	設定用	システム	—
5 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	1 ﾕｰｻﾞ用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ登録	—	①現在のパスワードを入力する（設定時）。 ②新しいパスワードを入力する。	設定用	システム	P7-32
	2 会議用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ利用	—	①会議NO.を選択する。 ②パスワードの種類を選択する。 1 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ**なし** 2 ﾕｰｻﾞ用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ 3 ﾜﾝﾀｲﾑﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ ③パスワードを入力する（3 ﾜﾝﾀｲﾑﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ選択時）。		会議NO.	—
6 ﾃﾞｰﾀ設定用電話機	—	—	① 0 0 **全電話機**または 0 1 **設定電話機のみ**を選択する。 ※ i ＋ 0 ＋ 0 でも指定ができます。		システム	—
7 DDNS登録	1 登録状態確認	—	①DDNSサーバへの登録状態が表示されます。	設定用	システム	—
	2 再登録	—	①DDNSサーバへの登録がやり直されます。	設定用	システム	—

カレンダー、時計の設定

年、月、日、曜日を設定できます。

年、月、日、曜日の設定

1 メニューから＜日時設定＞を呼び出す

①[メニュー]を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[決定]を押します。
③「2 日時設定」を選択し、[決定]を押します。

<日時設定>
1 時計調整
2 ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定
◀戻る ▲▼ 決定

2 [▲▼]で「2 ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定」を選択し、[決定]を押す

<日時設定>
1 時計調整
2 ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定
◀戻る ▲▼ 決定

3 西暦、月、日を入力し、[決定]を押す

- 再入力する場合は、[クリア]ボタンを押します。
- [i]ボタン＋[5]を押しても本画面となります。

(新規の場合)

<ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定>-年月日
23年05月10日
■西暦下2桁+月2桁+日2桁を入力
クリア再入力
◀戻る 決定

4 [▲▼]で曜日を選択し、[決定]を押す

<ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定>-曜日
0 (日)
1 (月)
2 (火)
3 (水)
◀戻る ▲▼ 決定

5 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、[決定]を押します。
- [決定]を押すと、操作2に戻ります。

<ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定>
23年05月10日 (水)
■設定完了!
終了 継続▶

時計の調整

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(611)	−	−

1 メニューから＜日時設定＞を呼び出す

①[メニュー]を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[決定]を押します。
③「2 日時設定」を選択し、[決定]を押します。

<日時設定>
1 時計調整
2 ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定
◀戻る ▲▼ 決定

2 [▲▼]で「1 時計調整」を選択し、[決定]を押す

<日時設定>
1 時計調整
2 ｶﾚﾝﾀﾞｰ設定
◀戻る ▲▼ 決定

3 時刻を入力し、[決定]を押す

- 再入力する場合は、[クリア]ボタンを押します。
- [i]ボタン＋[6]を押しても本画面となります。

<時計調整>
15:00
■24時間制4桁で入力
(0000～2359)
クリア再入力
◀戻る 決定

4 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、[決定]を押します。
- [決定]を押すと、操作2に戻ります。

<時計調整>
15:00
■設定完了!
終了 継続▶

補足説明

- ●通常画面では、年の表示は行いません。
- ●通常画面では、12時間制で表示します。24時間制で表示することもできます。[工事者設定611]

ご注意

- ●電話機で表示する時計は目安です。時計は、1カ月あたり1～2分程度の誤差が生じる場合があります。必要に応じて、再設定してください。

音量・ディスプレイの設定

外線着信音量の調整

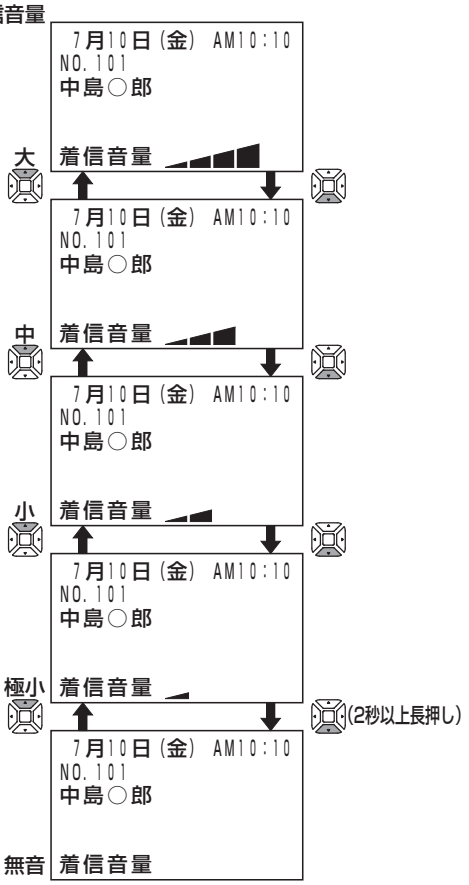
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(701-3)	−	−

電話機ごとに、外線着信音量を５段階で調整することができます。

1 待機時または外線着信時に、ハンドセットを置いたまま を押す

- 外線着信中は、着信音量が変わります。
- 着信音量の設定状態がディスプレイに表示されます。

外線着信音量



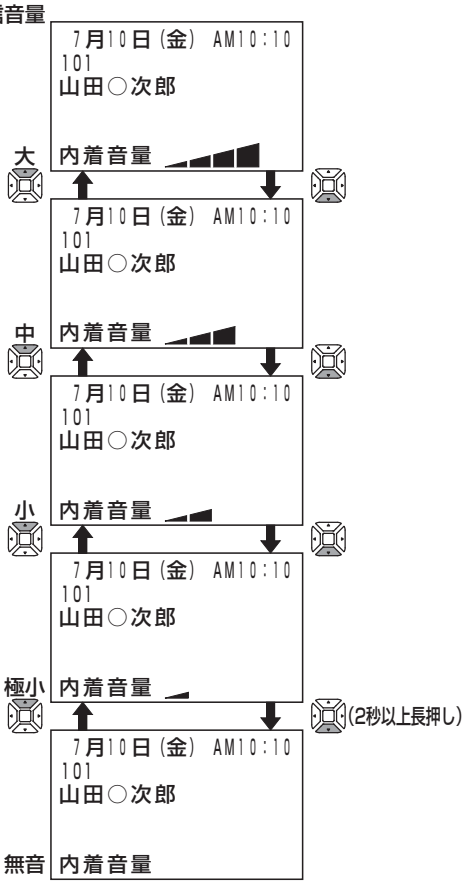
内線着信音量の調整

電話機ごとに、内線の着信音量を５段階で調整することができます。

1 内線着信中に、ハンドセットを置いたまま を押す

- 着信音量が変わります。
- 内線着信音量の設定状態が、約２秒間ディスプレイに表示されます。

内線着信音量



ご注意

●タイムアラーム（P7-15）を利用する場合は、外線着信音量および内線着信音量を「無音」にしないでください。
外線着信音量が「無音」の場合は、待機時や外線着信時にタイムアラームが鳴らなくなります。
内線着信音量が「無音」の場合は、内線着信時（ダイヤルイン着信時等を含む）にタイムアラームが鳴らなくなります。

●外線着信であっても、以下の着信は内線着信音の設定が反映されます。
- ダイレクトインライン（DIL）、ダイヤルイン（DI）、ダイレクトインダイヤル（DID）、発番号ホットラインの着信
- 外線簡易転送、オートマチックリコール、i・ナンバーの内線着信、ACD、自動オペレータ、簡易IVR

●音声呼出の音量も内線着信音量の設定が反映されます。

知っていると便利なこと

●待機時は、外線着信音量レベルがディスプレイに表示されます。表示しないようにすることもできます。ただし、全ての電話機が表示なしとなります。[工事者設定701-3]

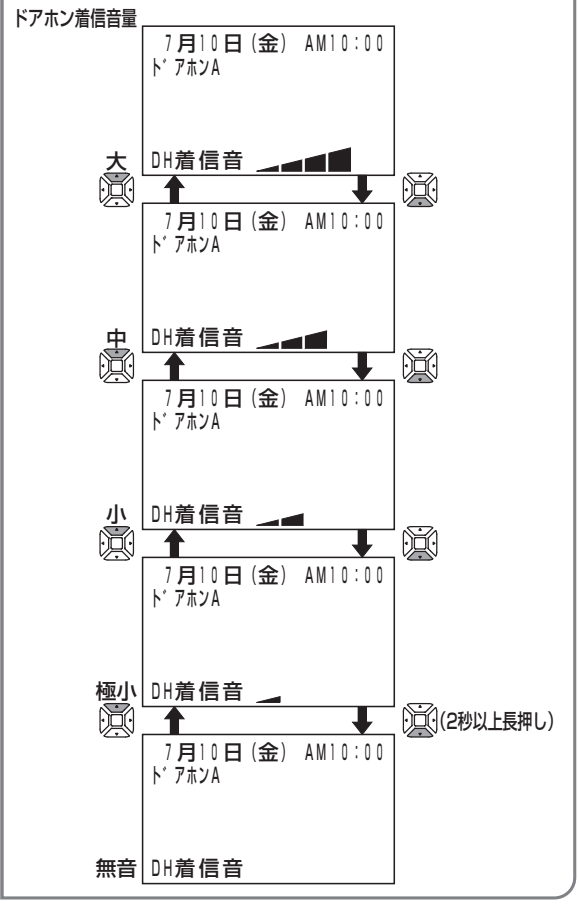
音量・ディスプレイの設定

ドアホン着信音量の調整

電話機ごとに、ドアホンの着信音量を5段階で調整することができます。

1 ドアホン着信中に、ハンドセットを置いたまま ▣ を押す

- 着信音量が変わります。
- ドアホン着信音量の設定状態が、約2秒間ディスプレイに表示されます。



スピーカ音量の調整

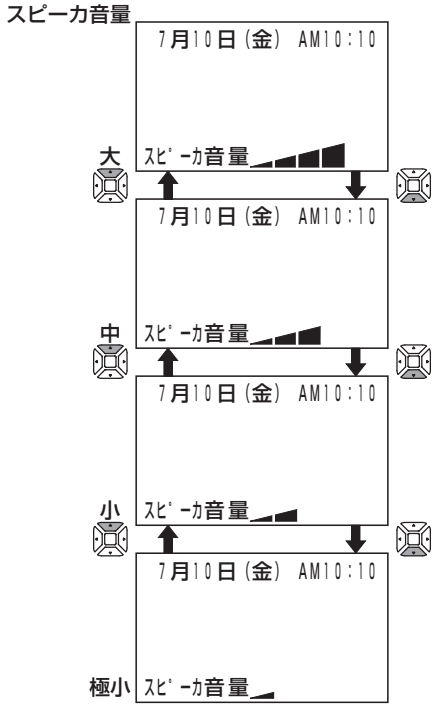
電話機ごとに、スピーカ音量を4段階で調整することができます。

1 ハンドセットを置いたまま スピーカ ボタンを押す

- スピーカランプが点灯します。
- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 ▣ を押す

- スピーカからの音量が変わります。
- スピーカ音量の設定状態が、約2秒間ディスプレイに表示されます。



補足説明

●外線着信音量、内線着信音量、ドアホン着信音量はメニュー機能でも調整できます。下記の手順で行ってください。なお、ドアホン着信音の音量確認は、ドアホンを使用していないときや他の電話機でドアホン着信音の音量確認をしていないときのみ可能です。

①▣を押します。

②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、▣を押します。

③「**2 音設定**」を選択し、▣を押します。

④「**4 着信音量設定**」を選択し、▣を押します。→<着信音量設定>画面となります。

⑤▣で「**1 外線着信音量設定**」／「**2 内線着信音量設定**」／「**3 ﾄﾞｱﾎﾝ着信音量設定**」から選択し、▣を押します。

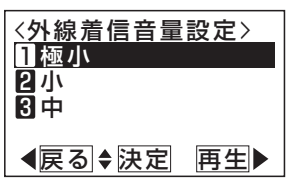
⑥▣で「**1 極小**」／「**2 小**」／「**3 中**」／「**4 大**」／「**0 無音**」から選択します。

※▣を押すと、音量確認ができます。▣を押すと再生中の音量が設定されます。▣を押すと「音量設定」画面に戻ります。

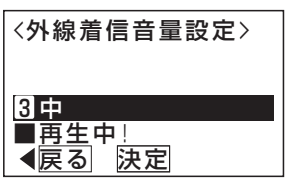
※音量確認が不要な場合は、そのまま▣を押します。

⑦設定完了画面が表示されるので、▣を押して終了します。

外線着信音量設定の例



再生中画面の例



音量・ディスプレイの設定

ハンドセット受話音量の調整

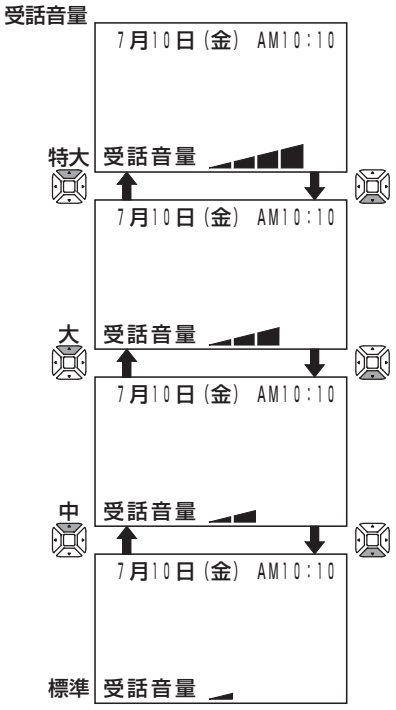
電話機ごとに、ハンドセットの受話音量を４段階で調整することができます。

1 ハンドセットをとる

• 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 を押す

• ハンドセットからの音量が変わります。
• 受話音量の設定状態が、約２秒間ディスプレイに表示されます。



受話音量を通常より大きくして使う（受話音量アップ）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
−	音量アップ（932）	−

騒音の大きな場所や電話の声が聞き取りにくい場合に、ハンドセットの受話音量を通常の調整範囲より大きくして、会話を聞きやすくすることができます。
以下の２つのモードを選択することができます。

一時音量アップモード（初期設定）	通話中のみ音量アップの切替ができます。ハンドセットを置くと、通常の音量に戻ります。
常時音量アップモード	常に音量アップで使用できます。通話中以外でも音量アップの切替ができます。

※スピーカ受話や着信音を通常調整範囲より大きくすることはできません。

■使用するモードを設定する

1 メニューから＜受話音量ｱｯﾌﾟ＞を呼び出す

①を押します。
②「3 各種機能切替」を選択し、を押します。
③「8 受話音量調整」を選択し、を押します。
④「1 受話音量ｱｯﾌﾟ」を選択し、を押します。

＜受話音量ｱｯﾌﾟ＞
1 一時音量ｱｯﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ
2 常時音量ｱｯﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ
◀戻る ▲▼決定

2 で使用するモードを選択し、を押す

＜受話音量ｱｯﾌﾟ＞
1 一時音量ｱｯﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ
2 常時音量ｱｯﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ
◀戻る ▲▼決定

3 設定完了画面が表示される

• を押すと、終了します。

＜受話音量ｱｯﾌﾟ＞
2 常時音量ｱｯﾌﾟ ﾓｰﾄﾞ
■設定完了!
終了

音量・ディスプレイの設定

■通話中に音量アップを行う

1 ハンドセットで通話中に 音量アップ ボタンを押す

- 音量アップ ランプ（赤）が点灯します。
- 受話音量は音量アップ時の「標準」音量となります。
- 受話音量レベルは約2秒間表示します。
- ディスプレイの6行目に「UP」を表示します。

2 を押して音量を調節する

- 音量アップ状態で4段階の音量調整を行うことができます。

3 もう一度 音量アップ ボタンを押す

- 音量アップ ランプが消灯します。
- 受話音量は音量アップ直前の状態に戻ります。

補足説明

●常時音量アップモード時は、通話中以外も音量アップの切替が可能ですが、「UP」を表示するのは、受話音量の表示をしているときだけです。

ご注意

●一時音量アップモードの場合、保留にしたときもハンドセットを置くと通常の音量に戻ります。
●常時音量アップモードは、通話終了後も音量アップ状態を保持しますが、停電時や電話機を外したときは音量アップ時の標準音量となります。

⚠注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●本機能をアナログ回線（PBX回線）でご使用される場合､外線の状態によってはハウリング（ピー音）が発生する場合があります。ハウリングが発生する場合は、ハウリングが発生しないところまで音量を下げてお使いください。
●通話中に相手の方に待ってもらうとき、保留操作をしないでハンドセットを机の上に置くと、ハウリングが発生する場合があります。必ず 保留 ボタンを押してください。
●本機能は標準の受話音量より大きくなりますので、極端に音量を上げないように注意してください。極端に音量を上げて使用すると、聴力障害の原因となることがあります。
音量を上げるときは、ハンドセットから耳を少し離し、必ず音量レベルを確認してからご利用ください。

音量・ディスプレイの設定

受話音の高域をカットする

電話機ごとに、受話音の高域をカットすることができます。

1 メニューから＜受話音高域ｶｯﾄ＞を呼び出す

① ⊕ を押します。
②「**3** 各種機能切替」を選択し、⊕ を押します。
③「**8** 受話音量調整」を選択し、⊕ を押します。
④「**2** 受話音高域ｶｯﾄ」を選択し、⊕ を押します。

<受話音高域ｶｯﾄ>
0 高域ｶｯﾄOFF
1 高域ｶｯﾄON
◀戻る ▲▼ 決定

2 ⊕ で「**1** 高域ｶｯﾄON」を選択し、⊕ を押す

• 高域カットをしない場合は「**0** 高域ｶｯﾄOFF」を選択します。

<受話音高域ｶｯﾄ>
0 高域ｶｯﾄOFF
1 高域ｶｯﾄON
◀戻る ▲▼ 決定

3 設定完了画面が表示される

• ⊕ を押すと、終了します。

<受話音高域ｶｯﾄ>
1 高域ｶｯﾄON
■設定完了!
終了

ご注意

●IPSD ／ IPBT ／ IPLD ／ IPDHCL電話機は、「受話音高域カット」を利用できません。

キー押し確認音を設定する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(609)	−	−

電話機ごとに電話機の各種ボタンを押したときの確認音の有無を設定できます。

1 メニューから＜ｷｰ押し確認音＞を呼び出す

① ⊕ を押します。
②「**4** 電話機毎機能設定」を選択し、⊕ を押します。
③「**2** 音設定」を選択し、⊕ を押します。
④「**3** ｷｰ押し確認音」を選択し、⊕ を押します。

<ｷｰ押し確認音>
0 OFF
1 ON
◀戻る ▲▼ 決定

2 ⊕ で選択し、⊕ を押す

<ｷｰ押し確認音>
0 OFF
1 ON
◀戻る ▲▼ 決定

3 設定完了画面が表示される

• ⊕ を押すと、終了します。

<ｷｰ押し確認音>
0 OFF
■設定完了!
終了

補足説明

●キー押し確認音の音量は音量ボタンに関係なく一定です。

知っていると便利なこと

●キー押し確認音の設定は、工事者設定でも行えます。[工事者設定609]

音量・ディスプレイの設定

ディスプレイの濃度調整

電話機ごとに、ディスプレイのコントラストを９段階で調整することができます。設定が変わるとディスプレイのコントラストも同時に変わります。

1 メニューから<ｺﾝﾄﾗｽﾄ>を呼び出す

① ▣ を押します。

②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、▣ を押します。

③「**3 LCD/着信ﾗﾝﾌﾟ設定**」を選択し、▣ を押します。

④「**1 ｺﾝﾄﾗｽﾄ**」を選択し、▣ を押します。

<ｺﾝﾄﾗｽﾄ>
ｺﾝﾄﾗｽﾄ: 0
◀戻る ▲▼決定

2 ▣ でコントラストの調整を行い、▣ を押す

- コントラストが変化し、設定値がディスプレイに表示されます。
- 濃くしたいときは ▣ を押します。
- 薄くしたいときは ▣ を押します。

<ｺﾝﾄﾗｽﾄ>
ｺﾝﾄﾗｽﾄ:+3
◀戻る ▲▼決定

3 設定完了画面が表示される

- ▣ を押すと、終了します。

<ｺﾝﾄﾗｽﾄ>
ｺﾝﾄﾗｽﾄ:+3
■設定完了!
終了

補足説明

●初期値は0です。変更できる範囲は－4(最も薄い)～＋４（最も濃い）です。

ご注意

●操作２では ▣ を押さないとコントラストの設定は変更されません。
i ボタンや、▣ で設定画面を終了すると元の設定に戻ります。

●LCDの特性上、文字や背景の濃度は温度等の設置環境の影響を受け、LCDの角度によっても変化します。最適な表示となるよう、必要に応じてコントラストを調整してご利用ください。

●IPLD電話機は、ディスプレイの濃度調整を行えません。

着信／メッセージランプ色の変更

電話機ごとに、着信／メッセージランプの色を７色から選択することができます。

1 メニューから<ｶﾗｰ選択>を呼び出す

① ▣ を押します。

②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、▣ を押します。

③「**3 LCD/着信ﾗﾝﾌﾟ設定**」を選択し、▣ を押します。

④「**7 着信ﾗﾝﾌﾟ**」を選択し、▣ を押します。

⑤「**1 ｶﾗｰ選択**」を選択し、▣ を押します。

<ｶﾗｰ選択>
1 赤色
2 黄色
3 緑色
◀戻る ▲▼決定

2 ▣ を押してお好みのカラーを選択し、▣ を押す

- 操作する前は、現在の設定を反転表示します。
- ▣ を押すと、設定した色で着信／メッセージランプが点灯します。

<ｶﾗｰ選択>
3 緑色
4 水色
5 青色
◀戻る ▲▼決定

3 設定完了画面が表示される

- ▣ を押すと、終了します。

<ｶﾗｰ選択>
5 青色
■設定完了!
終了

補足説明

●着信／メッセージランプの色は、赤色／黄色／緑色／水色／青色／紫色／白色から選択します。初期設定は赤色です。

●外線着信音ごとに着信／メッセージランプの色を変更することができます。[工事者設定657]

音量・ディスプレイの設定

バックライト点灯時間の変更

電話機ごとにキー操作後のバックライト点灯時間を設定することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(701-5)	−	−

1 メニューから<ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ点灯時間>を呼び出す

① ⊞ を押します。

②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、⊞ を押します。

③「**3 LCD/着信ﾗﾝﾌﾟ設定**」を選択し、⊞ を押します。

④「**2 ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ点灯時間**」を選択し、⊞ を押します。

<ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ点灯時間>
0 操作後15秒
1 操作後1分
2 操作後2分
◀戻る ▲▼ 決定

2 ⊞ を押して点灯時間を選択し、⊞ を押す

• 操作する前は、現在の設定を反転表示します。

<ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ点灯時間>
0 操作後15秒
1 操作後1分
2 操作後2分
◀戻る ▲▼ 決定

3 設定完了画面が表示される

• ⊞ を押すと、終了します。

<ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ点灯時間>
1 操作後1分
■設定完了!
終了

知っていると便利なこと

●下記の場合にディスプレイのバックライトが点灯します。
・キー操作をしたとき
（一定時間点灯します。）
・ハンドセットの上げ下げをしたとき
（一定時間点灯します。）
・着信音が鳴っているときや保留警報音が鳴っているとき
（着信／メッセージ ランプが速い点滅をしているときに点灯します。）

●通話中は継続してバックライトを点灯させることもできます。[工事者設定701-5]
ただし、「常時消灯」を選択している場合は点灯しません。

●点灯時間は、15秒／1分／2分／3分／4分／5分／常時消灯／常時点灯から選択します。初期設定は15秒です。

●バックライト点灯時間を常時点灯から他の条件に変更したとき、操作2で ⊞ を押すとバックライトは消灯します。

音量・ディスプレイの設定

ディスプレイ表示を縦倍角にする

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(701-8)	−	−

電話機ごとにカレンダーや電話番号等のディスプレイ表示を縦倍角にすることができます。

1 メニューから<縦倍角表示>を呼び出す

① [決定] を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、[決定] を押します。
③「**3 LCD/着信ﾗﾝﾌﾟ設定**」を選択し、[決定] を押します。
④「**4 縦倍角表示**」を選択し、[決定] を押します。

<縦倍角表示>
0なし(標準)
1あり(縦倍角)
◀戻る ◆決定

2 [決定] で選択し、[決定] を押す

<縦倍角表示>
0なし(標準)
1あり(縦倍角)
◀戻る ◆決定

3 設定完了画面が表示される

- [決定] を押すと、終了します。

<縦倍角表示>
1あり(縦倍角)
■設定完了!
終了

補足説明

●待機時のカレンダー・時刻表示や外線着信時の相手番号・相手名称が縦倍角になります。
ただし待機時でも、LCDの5行目に表示があるとき（留守番モードや録音件数を表示しているとき）は縦倍角になりません。

知っていると便利なこと

●縦倍角表示の設定は、工事者設定でも行えます。
[工事者設定701-8]
●IPLD電話機は、縦倍角表示を設定できません。

ディスプレイ表示を反転させる

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(701-10)	−	−

電話機ごとにディスプレイ表示を反転させることができます。

1 メニューから< LCD反転表示>を呼び出す

① [決定] を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、[決定] を押します。
③「**3 LCD/着信ﾗﾝﾌﾟ設定**」を選択し、[決定] を押します。
④「**5 LCD反転表示**」を選択し、[決定] を押します。

<LCD反転表示>
0なし
1あり
◀戻る ◆決定

2 [決定] で選択し、[決定] を押す

<LCD反転表示>
0なし
1あり
◀戻る ◆決定

3 設定完了画面が表示される

- 設定が有効になった時点でディスプレイ表示が反転します。
- [決定] を押すと、終了します。

<LCD反転表示>
1あり
■設定完了!
終了

補足説明

●ディスプレイの全てのドットが反転します。

知っていると便利なこと

●反転表示の設定は、工事者設定でも行えます。
[工事者設定701-10]

外線に電話をかけるとき

ハンドセットをとってかける

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(104)	スタート (999) ＊必要時	−

1 ハンドセットをとる

2 空いている 外線 ボタンを押す

- 外線ランプ（緑）が点灯し、周期的に2回消えます。

3 相手の方の電話番号を押す

- 電話番号が表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
0312345678
外線01 ISDN
```

4 相手の方が応答したら通話する

- 通話時間、通話料金が表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
0312345678
00'10      10円
```

5 通話が終わったら、ハンドセットを置く

ハンドセットをとらずにかける（ワンタッチ外線自動発信）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
103	−	−

1 空いている 外線 ボタンを押す

- スピーカランプが点灯します。
- 外線ランプ（緑）が点灯し、周期的に2回消えます。

2 相手の方の電話番号を押す

- 電話番号が表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
0312345678
外線01 ISDN
```

3 相手の方が応答したら、ハンドセットをとる

- スピーカ ランプが消えます。
- 通話時間、通話料金が表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
0312345678
00'10      10円
```

4 通話が終わったら、ハンドセットを置く

補足説明

●ISDN回線または「ひかり電話」の場合は、相手の方の電話番号を押したあと、#を押すとすぐにダイヤルを送ることができます。#をダイヤルのスタートではなく#ダイヤルとして扱うようにすることもできます。［工事者設定731-1］

●ISDN回線でサブアドレス（相手の内線番号など）を付けて電話をかけるときは、電話番号に続けて＊とサブアドレスを押します。

ご注意

●外線ボタンを押したあとは、必ず外線発信音（ツー）を確認してから電話番号を押してください。

知っていると便利なこと

●ハンドセットをとってかける場合、「オフフック自動発信」が設定されていると、操作2は省略できます。

●「外線自動発信（ゼロ発信）」でかけることもできます。外線ボタンを押す代わりに、0を押します。

●ディスプレイの3行目には外線番号と回線の種類（ISDN、アナログ等）が表示されます。表示内容（英数字またはカタカナで12文字以内、ひらがなまたは漢字で6文字以内）を変えることもできます。［工事者設定418（メニュー→0→4→5→1およびメニュー→0→4→5→2で設定）］

●外線を捕捉しているときに自番号表示ボタンを押すと、その外線の電話番号を表示します。

●外線番号を表示しないようにできます。［工事者設定418］

外線に電話をかけるとき

電話番号を確認してからかける（プリセットダイヤル）

プリセットダイヤルは用途に応じた４つの動作パターンが用意されています。
工事者設定もしくはメニュー機能で設定できます。

■発信音（ツー）を聞かずにダイヤルする場合（「プリセットダイヤル設定」＝「パターン1」）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
（107）	プリセット（975）＊必要時	−

1 相手の方の電話番号（最大24桁）を押す

- 電話番号が表示されます。
- クリア ボタンを押すと最終桁が消えます。
- クリア ボタンを2秒以上押すと全桁が消えます。
- 全桁が消えているときに クリア ボタンを押すと、待機状態に戻ります。プリセット ランプが消えます。

2 空いている 外線 ボタンを押す

- プリセット ランプが消え、しばらくすると呼出音が聞こえます。
- ダイヤルした電話番号が共通電話帳に登録されていると、相手の方の名称も表示されます。

3 相手の方が応答したら、ハンドセットをとる

4 通話が終わったら、ハンドセットを置く

補足説明

- 「プリセットダイヤル設定」を「不可」にしたときは プリセット ボタンを使います。操作1の前に プリセット ボタンを押してください。
- 操作2で 外線 ボタンを押す代わりにハンドセットをとるか、 スピーカ ボタンを押して電話をかけることもできます。［工事者設定107］

ご注意

- 相手の方の番号を押したあとは、20秒以内に 外線 ボタンを押してください。
- コードレス電話機（DCLL、IPDCLL）を利用するときは、「プリセットダイヤル設定」を「パターン3」に設定してください。⇒P2-3の「知っていると便利なこと」

外線に電話をかけるとき

■発信音（ツー）を聞いてからダイヤルする場合（「プリセットダイヤル設定」＝「パターン2」）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
107	−	−

1 ハンドセットを置いたまま、0を押す

- 発信音（ツー）が聞こえます。

2 相手の方の電話番号（最大24桁）を押す

- 電話番号が表示されます。
- クリア ボタンを押すと最終桁が消えます。
- クリア ボタンを2秒以上押すと全桁が消えます。
- 全桁が消えているときに クリア ボタンを押すと、待機状態に戻ります。

3 空いている 外線 ボタンを押す

- しばらくすると呼出音が聞こえます。
- ダイヤルした電話番号が共通電話帳に登録されていると、相手の方の名称も表示されます。

4 相手の方が応答したら、ハンドセットをとる

5 通話が終わったら、ハンドセットを置く

補足説明

●操作3で 外線 ボタンを押さずに下記のいずれかの操作をすると、自動的に発信されます。［工事者設定107］
- 何もしないで約4秒待つ
- #を押す

ご注意

●ダイヤルの途中で約4秒間操作しないと自動的に発信されますので、電話番号は続けて押してください。

●発信音（ツー）を聞いてからダイヤルする場合は、主装置の設定が必要です。［工事者設定107］

知っていると便利なこと

●単独電話機やPHSなどボタン電話機以外でプリセットダイヤルを利用するときは、「プリセットダイヤル設定」を「パターン3」に設定してください。この場合には下記の操作を行います。

①ハンドセットをとる
- PHSの場合は 通話 ボタンを押します。
- 内線発信音（ツツツ･･･）が聞こえます。

②0を押す
- 発信音（ツー）が聞こえます。

③相手の方の電話番号（最大24桁）を押す
- フッキング操作を行うと①の状態に戻ります。

④何もしないで約4秒待つ
- 自動的に発信されます。
- #を押しても発信できます。

⑤相手の方が応答したら、通話する

外線に電話をかけるとき

■プリセットダイヤルの動作パターンを設定する

1 メニューから<ﾌﾟﾘｾｯﾄﾀﾞｲﾔﾙ設定>を呼び出す

①▣を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、▣を押します。
③「**0 その他**」を選択し、▣を押します。
④「**3 ﾌﾟﾘｾｯﾄﾀﾞｲﾔﾙ設定**」を選択し、▣を押します。

<ﾌﾟﾘｾｯﾄﾀﾞｲﾔﾙ設定>
0 不可
1 ﾊﾟﾀｰﾝ1
2 ﾊﾟﾀｰﾝ2
◀戻る ◆決定 次頁▶

2 ▣で動作パターン（0～3）を選択し、▣を押す

<ﾌﾟﾘｾｯﾄﾀﾞｲﾔﾙ設定>
0 不可
1 ﾊﾟﾀｰﾝ1
2 ﾊﾟﾀｰﾝ2
◀戻る ◆決定 次頁▶

3 設定完了画面が表示される

- ▣を押すと終了します。

<ﾌﾟﾘｾｯﾄﾀﾞｲﾔﾙ設定>
1 ﾊﾟﾀｰﾝ1
■設定完了!
終了

外線からの電話を受けるとき

外線ボタンを押して電話を受ける

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(202,204,208,208-1,211, 212,213,229-1,229-2)	–	–

1 着信音が聞こえる

- 外線ランプ（赤）が速い点滅をします。

7月10日(金) AM10:10
0312341111 /1234
東京営業所

2 点滅している 外線 ボタンを押し、ハンドセットをとる

- 外線ランプが緑の点灯に変わり、周期的に2回消えます。

3 相手の方と通話する

補足説明

●着信音が鳴っている電話機（無鳴動着信を含む）は、着信／メッセージランプが速い点滅となります。
●オフフック自動応答が設定されていない場合は、ハンドセットをとってから外線ボタンを押しても電話を受けられます。
●同時に複数の着信があった場合、ハンドセットをとる前に外線ボタンを押すと、その外線ボタンに着信している相手の方の番号を表示しますので、相手の方を選んで電話に出ることができます。ハンドセットをとる前なら、外線ボタンの押し替えもできます。

ハンドセットをとるだけで電話を受ける（オフフック自動応答）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
204,（208）	–	–

1 着信音が聞こえたらハンドセットをとる

- 外線ランプ（赤）が速い点滅をします。

7月10日(金) AM10:10
0312341111 /1234
東京営業所

2 相手の方と通話する

補足説明

●工場出荷時は、オフフック自動応答が設定されています。
●着信音が鳴っている電話機（無鳴動着信を含む）は、着信／メッセージランプが速い点滅となります。
●同時に複数の着信があったとき、2台以上の電話機でハンドセットをあげると応答できない場合があります。この場合は、点滅している外線ボタンを押してください。

知っていると便利なこと

●電話機の着信音が鳴っていなくても、ハンドセットをとるだけで応答できるようにすることができます。[工事者設定204]

ご注意

●サービスクラスG（乙）の電話機は応答できません。

知っていると便利なこと

●一定時間電話に出ないとき、着信音を変えて注意を促すことができます。「着信警報」[工事者設定211]
●一定時間電話に出ないとき、別の電話機の着信音を鳴らすことができます。「スライド着信」[工事者設定212]
●ハンドセットをあげているときは、着信音は小さく鳴りますが、音を鳴らさなくすることもできます。「ミューティング」[工事者設定213]
●電話機の操作で、外線ごとに着信音を変えることができます。⇒P7-10
主装置側のデータ設定でも変更することができます。[工事者設定208]
●着信音にメロディを利用することもできます。⇒P7-10、P7-12
主装置側のデータ設定でも変更することができます。[工事者設定208-1]
●電話帳に登録するときに相手区分を分けておくと、着信があったときに着信音や着信／メッセージランプの色をその区分ごとに変えることができます。⇒P5-35
●相手の方もISDN回線の場合でサブアドレス（相手の方の内線番号など）が通知された場合、最大4桁までサブアドレスを表示することができます。[工事者設定229-1]
（操作手順の画面例は、サブアドレス表示を「あり」にした場合です。“／”の後の“1234”がサブアドレスです。）

外線からの電話を受けるとき

別の電話機で応答する（代理応答）

他の電話機の外線着信に応答することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
524	−	−

1 ハンドセットをとる

2 代理応答番号（⇒補足説明）*を押す

- 代理応答（G指定）、代理応答（G指定外線）を押したときは、代理応答したい電話機の代理応答／内線保留グループ番号（2桁）を続けて押してください。
- 代理応答（内線指定）を押したときは、代理応答したい電話機の内線番号を続けて押してください。

*番号を可変桁にしている場合は、代理応答番号のあとに[#]を押してください。

3 相手の方と通話する

補足説明

●代理応答番号は着信元によって以下のように使い分けます。また、以下の番号は工事者設定が必要です。[工事者設定524]

代理応答番号名	応答できる着信
代理応答（自G）	代理応答／内線保留グループで設定した同一グループ内への着信
代理応答（自G外線）	
代理応答（複数G）	代理応答／内線保留グループで設定したグループのうち事前に設定されているグループ内への着信
代理応答（複数G外線）	
代理応答（G指定）	指定した代理応答／内線保留グループ内への着信
代理応答（G指定外線）	
代理応答（内線指定）	指定した内線への着信

●代理応答（複数G）、代理応答（複数G外線）を使うときは、代理応答／内線保留グループに応答の優先度を設定できます。同時に着信がある場合は、優先度に従って応答先が決定します。

ご注意

●完全テナントが設定されている場合は、テナント外の外線には応答できません。また、サービスクラスG（乙）内線は代理応答できません。

外線通話を保留する

一般の保留にする

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(301,302,303)	–	–

1 外線通話中に 保留 ボタンを押す

- 外線 ランプ（緑）が周期的に2回点滅します。
- 相手の方には保留音が流れます。

補足説明

●保留した場合、電話機のランプが点滅します。

電話機	ランプ	ランプ状態
保留した電話機	外線ランプ	緑で周期的に2回点滅
	着信／メッセージランプ	遅い点滅
	保留ランプ	赤の遅い点滅
他の電話機	外線ランプ	赤の遅い点滅

着信／メッセージ、保留 ランプは 保留 ボタンによる保留応答機能を設定した場合のみ点滅します。[工事者設定301]

ご注意

●ハンドセットを置いても電話は切れません。

自分だけの保留にする（自己保留）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(301,304)	自己保留（998）	–

他の電話機から応答できない、自分だけの保留とすることができます。

1 外線通話中に 自己保留 ボタンを押す

- 外線 ランプ（緑）が周期的に2回点滅します。
- 他の電話機の 外線 ランプは赤点灯します。
- 相手の方には保留音が流れます。

補足説明

●保留した場合、電話機のランプが点滅します。

電話機	ランプ	ランプ状態
保留した電話機	外線ランプ	緑で周期的に2回点滅
	着信／メッセージランプ	遅い点滅
	保留ランプ	赤の遅い点滅
他の電話機	外線ランプ	赤の点灯

着信／メッセージ、保留 ランプは 保留 ボタンによる保留応答機能を設定した場合のみ点滅します。[工事者設定301]

ご注意

●ハンドセットを置くと、自己保留は解除され一般の保留になります。

知っていると便利なこと

●外線を保留して一定時間（30秒、60秒、90秒、2分、3分、4分から選べます）を過ぎると、保留した電話機に警報音を鳴らし、着信／メッセージ ランプで時間経過を知らせること「保留警報」もできます。
ただし、保留した電話機がスピーカ受話になっていると、警報音は鳴りません。[工事者設定311]

●バーチャルライン方式（P5-20）を利用していなくても、パーク ボタンに保留することができます。パーク ボタンに保留したときは、外線 ランプは赤点灯となり 外線 ボタンを押しても保留に応答できません。
パーク ボタンへの保留方法に関しては、P5-22をご覧ください。[工事者設定317]

保留した外線に応答する

■ 外線 ボタンを押して保留に応答する

1 保留した 外線 ボタンを押す

- 保留した相手の方と通話できます。

補足説明

●外線 ボタンを押すと、その 外線 ボタンに保留している相手の番号などを表示します。複数の通話を保留しているときに、相手を確認してから電話に出ることができます。

■ 保留 ボタンを押して保留に応答する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
305	–	–

1 着信／メッセージ、保留 ランプが遅い点滅をしているときに 保留 ボタンを押す

- 保留した相手の方と通話できます。

外線通話を他の人に転送する

口頭で内線に転送する

転送したい人が近くにいるときは、口頭で伝えて転送します。

■転送する方

1. 外線通話中に 保留 ボタンを押す
   - 相手の方には保留音が流れます。
2. ハンドセットを置く
3. 「○○さん、○番に電話です。」と口頭で連絡する

■転送される方

1. ハンドセットをとり、保留中の 外線 ボタンを押す
   - 保留中の外線は、外線ランプ（赤）が遅く点滅しています。
2. 相手の方と通話する

外線通話を他の人に転送する

電話機を呼んで内線に転送する

■転送先が応答してから転送する

転送先を呼び出し、転送することを伝えてからハンドセットを置くと転送できます。（オンフック転送）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
308,（310）	転送（995）＊必要時	－

1 外線通話中に内線ボタンを押す
- 内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
- スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- 相手の方には保留音が聞こえます。

2 ハンドセットを上げたまま、転送したい内線番号を押す

3 呼出先が応答したら用件を伝える

4 ハンドセットを置く
- 呼出先に外線が転送されます。

補足説明

●操作1～3のとき、保留にした外線ボタンを押すと、保留した外線に戻ることができます。
●操作2の途中でハンドセットを置いてしまったときは転送ができません。転送をやり直すときは、外線ボタンを押し、保留した外線に戻ったあとで、操作1からやり直してください。
●内線番号を押し間違えたときは、クリアボタンを押して操作2から行ってください。

ご注意

●ハンドセットを置いて転送する場合、オンフック転送の設定が必要です。［工事者設定308］
●番号を可変桁に設定している場合は、内線番号を押したあとに下記のいずれかの操作をしてください。
・何もしないで5秒待つ
・#を押す

知っていると便利なこと

●プログラマブルキーに転送ボタンを設定しておくと、ハンドセットを置く代わりに転送ボタンを押して転送できます。
●内線ボタンの代わりに、保留ボタンを押すこともできます。

■転送先が応答する前に転送する

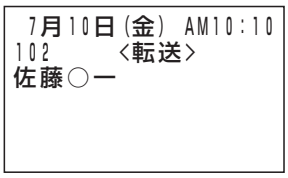
転送先が応答する前に転送することができます。(簡易転送)

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
309,(310,316)	転送（995）＊必要時	－

1 外線通話中に内線ボタンを押す
- 内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
- スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- 相手の方には保留音が聞こえます。

2 ハンドセットを上げたまま、転送したい内線番号を押す

3 ハンドセットを置く
- 転送先電話機のディスプレイに、呼び出した人の内線番号が表示されます。



4 呼ばれた人はハンドセットをとる
- 呼ばれた人に外線が転送されます。

補足説明

●操作1～3のとき、保留にした外線ボタンを押すと、保留した外線に戻ることができます。

ご注意

●転送先が使用中の場合は、転送できません。
●番号を可変桁に設定している場合は、内線番号を押したあとに下記のいずれかの操作をしてください。
・何もしないで5秒待つ
・#を押す

知っていると便利なこと

●プログラマブルキーに転送ボタンを設定しておくと、ハンドセットを置く代わりに転送ボタンを押して転送できます。
●一定時間、転送先が応答しないときは、転送元を呼び出し通話に戻すこと「オートマチックリコール」ができます。［工事者設定310］
●存在しない内線番号を押して転送操作をした場合や、内線番号を押さずに転送操作をした場合、転送元を呼び出し通話に戻すこと「不完全転送呼の発呼者戻し」ができます。［工事者設定316］
●内線ボタンの代わりに、保留ボタンを押すこともできます。

外線通話を他の人に転送する

■内線電話帳に登録している相手に転送する

内線電話帳 ボタンが設定されていると、内線電話帳に登録している相手に転送することができます。転送先の内線番号がわからないときに便利です。
下記の説明では、オンフック転送の例で記載していますが、転送 ボタンを押して転送したり、転送先が応答する前に転送（簡易転送）することもできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
308,（310）	内線電話帳（964）	−

1 外線通話中に 内線 ボタンを押す

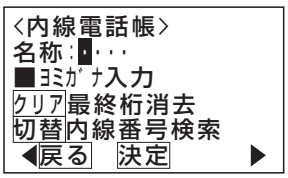
- 内線 ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
- スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- 相手の方には保留音が聞こえます。

2 ハンドセットを上げたまま、内線電話帳 ボタンを押す

- i ランプが点滅します。

3 ダイヤルボタン（0〜9、＊）で文字を入力し、▣を押す

- ヨミガナ未入力で▣を押すと、「ア」から表示されます。



4 ▣を押し、転送したい相手を選んで▣を押す

- ▣を押すと、前後の4件を表示します。
- クリア ボタンを押すと操作3に戻り、入力をやり直すことができます。
- 中止するときは 内線電話帳 ボタンまたは i ボタンを押します。

5 「1 発信」が選択されているので、そのまま▣を押す

- 「2 中止」を選択すると内線電話帳を終了します。

6 呼出先が応答したら用件を伝える

7 ハンドセットを置く

- 呼出先に外線が転送されます。

補足説明

- ●操作3で 代理応答/切替 ボタンを押すと、内線番号検索に切り替えることができます。
- ●内線電話帳の詳細については、「内線電話帳を使う」をご覧ください。⇒P2-34
- ●操作2〜5の途中でハンドセットを置いてしまったときは転送ができません。転送をやり直すときは、外線 ボタンを押し、保留した外線に戻ったあとで、操作1からやり直してください。

外線通話を他の人に転送する

外線に転送する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
402	転送（995）＊必要時	−

外線からかかってきた電話に、いったん応答してから、別の外線に転送できます。（手動転送）

1 外線通話中に 内線 ボタンを押す

- 内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
- スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- 相手の方には保留音が聞こえます。

2 空いている 外線 ボタンを押す

3 転送先の電話番号を押す

4 相手の方が応答したら、転送することを伝えてハンドセットを置く

■電話帳に登録している相手に転送する

外線を保留したあと、電話帳に登録している相手に転送することができます。

1 外線を保留したあと 電話帳 ボタンを押す

- 電話帳の検索方法は通常に電話をかけるときと同じです。⇒P3-21

<共通電話帳>
名称：･･･
■ﾖﾐｶﾞﾅ入力
クリア最終桁消去
切替相手区分検索
◀戻る　決定　▶

2 ▣ を押し、かけたい相手を選んで ▣ を押す

赤×飯店
浅×商事（山田）
足×運輸㈱
井×物産
クリア再入力　切替番号
◀前頁 ◆機能　次頁▶

3 「1 発信」が選択されているので、そのまま ▣ を押す

- 空き外線を自動的に選択して発信します。
- 「3 中止」を選択すると電話帳を終了します。

<機能選択>
1 発信
2 番号選択発信
3 中止
◀戻る ◆決定

4 相手の方が応答したら、転送することを伝えてハンドセットを置く

補足説明

- 手動転送は工事者設定が必要です。［工事者設定402］
- 電話帳を検索しないときは、操作1や2で保留した外線ボタンを押すと、保留した外線に戻ることができます。
- 電話帳を検索して転送先に発信するときは、
  - ・操作2や3で別の空いている外線ボタンを押して発信することもできます。
  - ・登録されている複数の番号のどれか1つを選んで発信するときは、操作3で「**2 番号選択発信**」を選択してください。

ご注意

- ハンドセットを置いて転送する場合、オンフック転送の設定が必要です。［工事者設定402］
- フリーダイヤルなど、応答情報がない外線には転送できません。
- 転送してから約60分で強制的に電話が切れます。切れる10秒前に“ピッ”という切断音が通話をしている人に聞こえます。切れるまでの時間は、変更することができます。［工事者設定402］
- 設定によっては、電話帳ボタンを2回押す必要があります。⇒P3-18

知っていると便利なこと

- プログラマブルキーに転送ボタンを設定しておくと、ハンドセットを置く代わりに転送ボタンを押して転送できます。
- 電話をかけてきた方と転送先の方との通話が終わったとき、転送先の方が電話を切らずに待っていると、転送操作した人を呼び出すことができます。［工事者設定402］
  外線からの着信と異なり、「プルップルップルップルッ、プルップルップルップルッ」という音で呼び出されます。また、ディスプレイには「リコール」と表示されます。
  転送先の方には話中音（ツーツー…）が聞こえたあと、保留音が聞こえます。
  転送先の方が電話を切ったときも、転送操作電話機から呼出音が聞こえる場合があります。
- 内線ボタンを押す代わりに、保留ボタンを押すこともできます。

自分がかけた相手の方にかけ直す（リダイヤル／サーチリダイヤル）

直前にかけた相手の方にかけ直す（リダイヤル）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(103,113)	−	−

■外線を選ばずにかけ直す場合

最後にかけた相手の方にワンタッチで電話をかけることができます。

1 ハンドセットを置いたまま リダイヤル ボタンを押す
（スピーカ ランプも消えていること）

- 自動的に外線が選択され、最後にかけた電話番号がダイヤルされます。
- ディスプレイには最後にかけた電話番号が表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
0312345678
外線01 ISDN
```

■外線を選んでかけ直す場合

1 空いている 外線 ボタンを押す

2 リダイヤル ボタンを押す

- 最後にかけた電話番号がダイヤルされます。
- ディスプレイには最後にかけた電話番号が表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
0312345678
外線01 ISDN
```

補足説明

●リダイヤルできる電話番号は、最大24桁です。

ご注意

●チェーンダイヤル（P5-113）およびワンタッチチェーンダイヤル（P3-14）でかけたときのリダイヤルはできません。

知っていると便利なこと

●短縮ダイヤル（P3-19）やワンタッチダイヤル（P2-24）などでかけたときもリダイヤルできます。

自分がかけた相手の方にかけ直す（リダイヤル／サーチリダイヤル）

発信履歴から電話をかける

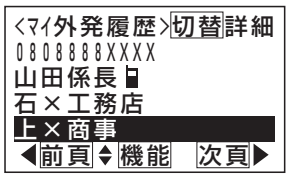
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(103,113)	−	−

1 ハンドセットを置いたまま ⊙ を押す

- 発信履歴画面が表示されます。
- 上から最新の情報が表示されます。
- メニューから本画面を表示させることもできます（「**2 履歴**」→「**1 発信履歴**」）。

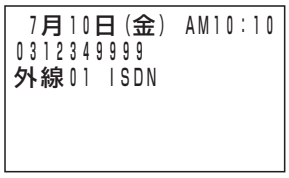
2 ⊙ を押し、かけたい相手を選ぶ

- ⊙ を押すと新しい履歴、⊙ を押すと古い履歴に移動します。
- ⊙ を押すと、前後の4件を表示します。
- 代理応答/切替 ボタンを押すと詳細表示に切り替わります。代理応答/切替 ボタンを押すたびに、一覧表示（4件表示）と詳細表示（1件表示）が切り替わります。



3 空いている 外線 ボタンを押す

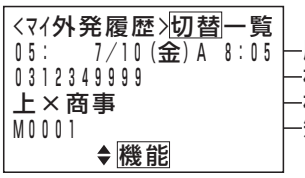
- 選択された履歴の電話番号がダイヤルされます。
- i ボタンを押すと履歴表示を終了します。



補足説明

●発信履歴に登録されている電話番号は最大24桁です。

●詳細表示画面の説明：



＊1：午前は「A」、午後は「P」
＊2：共通電話帳に登録してあると表示します。

●操作2で ⊙ を押すと、＜機能選択＞画面が表示されます。**「1 発信」**が選択されているので、そのまま ⊙ を押すと外線を自動的に選んで発信することができます。

ご注意

●履歴を表示している状態で約1分間操作しないと、待機状態に戻ります。

●共通電話帳に名前とヨミガナが登録されていない場合は、一覧表示したとき「＊」が表示されます。電話帳を修正してください。⇒P3-2

●チェーンダイヤル（P5-113）およびワンタッチチェーンダイヤル（P3-14）でかけたときは、発信履歴に登録されません。

知っていると便利なこと

●発信履歴から発信した場合、選択した履歴は消去され最新の履歴として再登録されます。

●短縮ダイヤル（P3-19）やワンタッチダイヤル（P2-24）などでかけたときも、発信履歴に登録されます。

●操作3で 外線 ボタンを押す代わりに、ハンドセットをとるか スピーカ ボタンを押して電話をかけることもできます。[工事者設定113]

●発信履歴の表示方法を変えることもできます。⇒P2-17
この場合も、代理応答/切替 ボタンで一覧表示（4件表示）と詳細表示（1件表示）を切り替えることができます。

自分がかけた相手の方にかけ直す（リダイヤル／サーチリダイヤル）

補足説明

●表示できる発信履歴の内容や件数は以下の通りです。

外線発信履歴の内容	選択時の項目名 ＜履歴表示時のタイトル名＞	内容	件数 （履歴番号）	登録先
各電話機の 外線発信履歴	ﾏｲ外発履歴 ＜ﾏｲ外発履歴＞	電話機ごとの外線発信履歴	30件 （00～29）	システム
グループ内 外線発信履歴	ｸﾞﾙｰﾌﾟ外発履歴 ＜G外発履歴＞	電話機グループごとの外線発信履歴	500件 （000～499）	システム
システム 全外線発信履歴	ｼｽﾃﾑ全外発履歴 ＜全外発履歴＞	システム全体の外線発信履歴	8000件 （0000～7999）	システム

●操作説明の画面は、ﾏｲ外発履歴の表示を設定した場合です。

●操作2で ▣ を押すと、＜機能選択＞画面が表示され、**「2 各種機能」**を選択すると発信履歴の内容を選択する画面となり、表示する発信履歴の内容を切り替えることができます。ただし設定によっては「グループ外発履歴」や「システム全外発履歴」は表示できない場合があります。［工事者設定113］

●「グループ外発履歴」または「システム全外発履歴」は、「←」と通話した電話機の内線名称または内線番号が表示されます。

自分がかけた相手の方にかけ直す（リダイヤル／サーチリダイヤル）

発信履歴の電話番号を電話帳に登録する

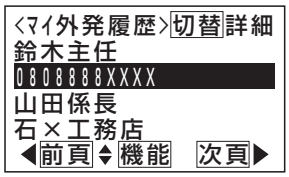
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(113)	−	−

■電話帳に登録するとき

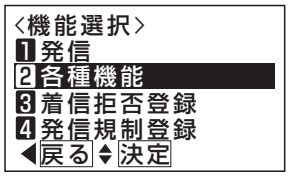
発信履歴を表示中に下記の操作を行います。

▶ 指定電話機：共通電話帳編集用電話機（「マイ電話帳」は除く）

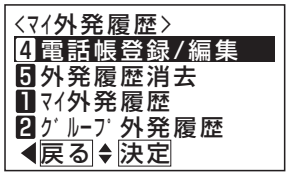
1 ▣を押し、登録したい相手を選び、▣を押す



2 ▣で「2 各種機能」を選択し、▣を押す



3 ▣で「4 電話帳登録/編集」を選択し、▣を押す



4 ▣で「1 電話帳登録」を選択し、▣を押す

- 以降の操作は、「電話帳を登録する」をご覧ください。⇒P3-2、P3-4
- すでに登録されている電話帳に電話番号を追加したり変更したりするときは、**「2 電話帳編集」**を選択してください。⇒補足説明

補足説明

●操作4で**「2 電話帳編集」**を選択した場合は、下記の操作を行います。

①**「1 共通電話帳／2 ﾏｲ電話帳」**のいずれかを選択し、▣を押します。

②履歴の電話番号を登録する短縮番号を選択し、▣を押します。

③＜登録先選択＞画面で、下記に従って登録先を選択し、▣を押します。

- 電話番号を追加登録する場合：「追加登録」欄を選択する
- 登録済みの電話番号を変更する場合：変更したい電話番号が表示されている欄を選択する

すでに3つの電話番号が登録されている場合は、電話番号の変更のみ可能です。中止する場合は[i]ボタンを押してください。

④履歴の電話番号を表示した＜電話帳変更＞画面が表示されます。

以降の操作は、「電話帳を変更／消去する」をご覧ください。⇒P3-26

知っていると便利なこと

●発信履歴を表示しているときは、電話帳登録だけでなく、以下の操作もできます。

- [発信規制登録]ボタンを押すと、発信規制リストに登録できます。⇒P7-60
- [拒否登録]ボタンを押すと、着信拒否リストに登録できます。⇒P5-39

自分がかけた相手の方にかけ直す（リダイヤル／サーチリダイヤル）

発信履歴を消去する

発信履歴を検索中に下記の操作を行います。

1 ▣を押し、消去したい履歴を選び、▣を押す

<マイ外発履歴>切替詳細
鈴木主任
0808888XXXX
山田係長
石×工務店
◀前頁 ▲▼機能 次頁▶

2 ▣で「2 各種機能」を選択し、▣を押す

<機能選択>
1 発信
2 各種機能
3 着信拒否登録
4 発信規制登録
◀戻る ▲▼決定

3 ▣で「5 外発履歴消去」を選択し、▣を押す

<マイ外発履歴>
2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ外発履歴
3 ｼｽﾃﾑ全外発履歴
4 電話帳登録/編集
5 外発履歴消去
◀戻る ▲▼決定

4 消去確認画面となるので▣を押す

- 中止する場合は、▣を押します。

<マイ外発履歴>
03: 7/10(金)A 8:05
0311112222
山田係長
■消去しますか?
◀戻る 消去

5 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣を押します。
- ▣を押すと操作1に戻り、消去を繰り返すことができます。

<マイ外発履歴>
03: 7/10(金)A 8:05
0311112222
山田係長
■消去完了!
終了 継続▶

知っていると便利なこと

●操作1の検索画面で[クリア]を押すと、操作4の画面となります。

発信履歴を一括消去する

発信履歴をまとめて消去することができます。各電話機の発信履歴、システムの全発信履歴、システムの全発着信履歴のいずれかが選択できます。

■各電話機の発信履歴を一括消去する

1 メニューから<1 マイ外発履歴>を呼び出す

①▣を押します。
②「2 履歴」を選択し、▣を押します。
③「4 履歴一括消去」を選択し、▣を押します。
④「1 マイ外発履歴」を選択し、▣を押します。

<マイ外発履歴>
■しばらく時間がかかる場合があります。
全て消去しますか?
◀戻る 消去

2 消去確認画面が表示されるので、▣を押す

<マイ外発履歴>
■しばらく時間がかかる場合があります。
全て消去しますか?
◀戻る 消去

3 消去確認画面が表示される

- 終了する場合は、▣を押します。
- ▣を押すと操作1の④に戻り、別の消去を繰り返すことができます。

<マイ外発履歴>
■消去完了!
終了 継続▶

自分がかけた相手の方にかけ直す（リダイヤル／サーチリダイヤル）

■システムの全発信履歴を一括消去する

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから<ｼｽﾃﾑ内全外発履歴>を呼び出す

① を押します。

②「**2 履歴**」を選択し、 を押します。

<ｼｽﾃﾑ内全外発履歴>
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =････
◀戻る

③「**4 履歴一括消去**」を選択し、 を押します。

④「**6 ｼｽﾃﾑ内全外発履歴**」を選択し、 を押します。（システム内のすべての発着信履歴を消去するときは、「**9 ｼｽﾃﾑ内全発着信履歴**」を選択してください）

2 ユーザ用パスワード（4桁）を入力する

- パスワード未設定時は、パスワード入力は省略されます。
- パスワードを間違えた場合は、パスワード入力待ち状態に戻ります。

<ｼｽﾃﾑ内全外発履歴>
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ =＊＊＊･
◀戻る

3 消去確認画面が表示されるので、 を押す

<ｼｽﾃﾑ内全外発履歴>
■しばらく時間がかかる場合があります。
全て消去しますか?
◀戻る 消去

4 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、 を押します。
- を押すと操作1の④に戻り、別の消去を繰り返すことができます。

<ｼｽﾃﾑ内全外発履歴>
■消去完了!
終了 継続▶

発信履歴の初期画面を変更する

発信履歴を表示するときの表示方法を「一覧表示（4件表示）」、「詳細表示」から選択できます。初期設定は「一覧表示（4件表示）」です。

1 メニューから<外発履歴初期画面>を呼び出す

① を押します。

②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、 を押します。

③「**3 LCD/着信ﾗﾝﾌﾟ設定**」を選択し、 を押します。

④「**6 履歴等初期画面**」を選択し、 を押します。

⑤「**1 外発履歴初期画面**」を選択し、 を押します。

<外発履歴初期画面>
1 ﾏｲ外発履歴
2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ外発履歴
3 ｼｽﾃﾑ全外発履歴
■履歴の内容を選択
◀戻る ▲▼決定

2 で履歴の種類を選択し、 を押す

<外発履歴初期画面>
1 ﾏｲ外発履歴
2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ外発履歴
3 ｼｽﾃﾑ全外発履歴
■履歴の内容を選択
◀戻る ▲▼決定

3 で初期画面の表示方法を選択し、 を押す

- 現在の設定が反転表示されます。

<外発履歴初期画面>
1 一覧表示
2 詳細表示
◀戻る ▲▼決定

4 設定完了画面が表示される

- を押すと終了します。

<外発履歴初期画面>
1 ﾏｲ外発履歴
2 詳細表示
■設定完了!
終了

相手の方が話し中のときに自動発信する（スーパーリトライ）

相手の方が話し中のときにワンタッチ操作で自動的に発信操作を繰り返します。なかなかつながらない相手の方や忙しくて電話をかけ直すのが大変なときに便利です。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(114)	−	−

1 ハンドセットを置いたまま（スピーカ受話）外線に発信し、相手の方がお話し中（ツーツー…）であることを確認する

2 リダイヤル ボタンを押す

- 発信操作が設定された回数だけ自動で行われます。
- 設定回数分リトライしても相手の方を呼び出せない場合は、アラーム（ピピ）を送出します。

3 アラーム（ピピ）が聞こえたらリダイヤル ボタンを押す

- 発信操作が再び行われます。

補足説明

●話中音（ツーツー…）でなく、トーキー等が聞こえる場合は自動発信できません。ただし、手動リトライ機能が設定されているときに、再度リダイヤルボタンを押すと、リトライをすることができます。[工事者設定114]

●途中でやめたいときは、ハンドセットを上げ下げするかスピーカボタンを押します。

●自動的に発信を繰り返す回数を16回～99回にしてある場合は、約3分間隔で3回ずつ発信を繰り返します。（初期設定は15回です。）[工事者設定114]

ご注意

●リトライ中に相手を呼び出せても、相手が応答しない場合は、一定時間（約55秒）後に電話が切れます。

●操作3を行わなかった場合は、一定時間後に電話が切れます。

知っていると便利なこと

●ハンドセットを上げた状態でもリトライをすることができます。[工事者設定114]

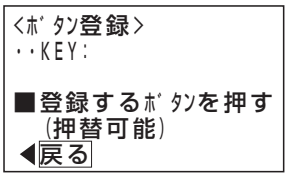
ワンタッチで電話をかける（ワンタッチダイヤル）

ワンタッチダイヤルボタンを登録する（短縮番号指定）

ワンタッチダイヤルボタンを使うとワンタッチで相手の方へ電話をかけることができます。短縮番号を指定して登録する方法を説明します。

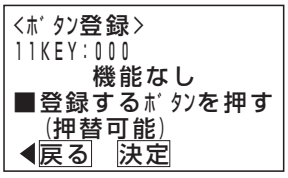
1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

①[中央]を押します。
②「4 電話機毎機能設定」を選択し、[中央]を押します。
③「1 ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、[中央]を押します。
・[i]ボタン＋[米][米]を押しても本画面となります。

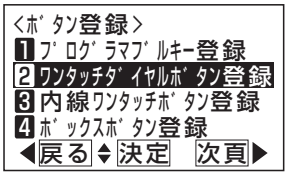


2 登録するボタン（使っていない 外線 ボタン）を押し、[十字]を押す

・現在登録されている機能名称が表示されます。

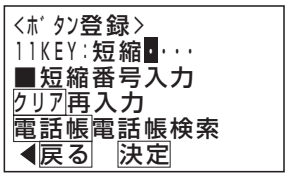


3 [十字]で「2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、[中央]を押す

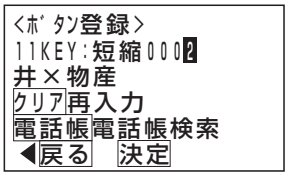


4 短縮番号を入力し、[中央]を押す

・短縮番号入力が完了すると、3行目に電話番号または名称（電話帳に登録時）が表示されます。

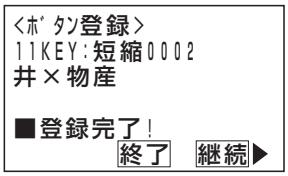


■短縮番号入力後



5 登録完了画面が表示される

・終了する場合は、[中央]を押します。
・[中央]を押すと（省略可能）操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。



ご注意

●登録するワンタッチダイヤルと同じ数の空きボタンが必要です。
●機能を設定したボタンにワンタッチダイヤルを登録すると、元の機能は使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P7-1
●短縮ダイヤル発信時に押す短縮番号の桁数を1～3桁に変更することもできますが（P3-19）、ワンタッチダイヤルボタンは4桁の短縮番号を登録します。

補足説明

●使用できる短縮番号はシステムで10000件（短縮番号0000～9999）まで利用できます。

知っていると便利なこと

●操作2で[中央]を押す代わりに電話帳ボタンを押すと、操作4から操作できます。

ワンタッチで電話をかける（ワンタッチダイヤル）

ワンタッチダイヤルボタンを登録する（電話帳検索）

ワンタッチダイヤルボタンを使うとワンタッチで相手の方へ電話をかけることができます。電話帳を検索して登録する方法を説明します。

1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

① ◉ を押します。
②「4 電話機毎機能設定」を選択し、◉ を押します。
③「1 ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、◉ を押します。
- i ボタン＋ ✳ ✳ を押しても本画面となります。

<ﾎﾞﾀﾝ登録>
‥KEY:
■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
（押替可能）
◀戻る

2 登録するボタン（使っていない 外線 ボタン）を押し、◉ を押す

- 現在登録されている機能名称が表示されます。

<ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:000
機能なし
■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
（押替可能）
◀戻る 決定

3 ◉ で「2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、◉ を押す

<ﾎﾞﾀﾝ登録>
1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録
2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録
3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録
4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

4 電話帳 ボタンを押す

<ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:短縮･･･
■短縮番号入力
クリア再入力
電話帳電話帳検索
◀戻る 決定

5 ダイヤルキーでカナ名称の頭文字（濁点を含めて最大４文字）を入力し、◉ を押す

- クリア ボタンを押すと最後の一文字が消去されます。
- 代理応答/切替 ボタンを押すと、相手区分検索や短縮番号検索に切り替えることもできます。詳しくは「電話帳を使って電話をかける」（P3-22、P3-23）をご覧ください。
- 「マイ電話帳」を検索するときは、# を押します。
- クリア ボタンを長押し（2秒以上）したときの動作は、P3-17 をご覧ください。

<共通電話帳>
名称:ｱ･･･
1 ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ1@.
クリア最終桁消去
切替相手区分検索
◀戻る 決定 ▶

6 ◉ で登録する相手を選択し、◉ を押す

- 入力した文字に該当する名称の一覧が表示されます。
- 番号を選択して登録するときは、代理応答/切替 ボタンを押して、番号を選択してください。

赤×飯店
浅×商事（山田）
足×運輸㈱
井×物産
クリア再入力 切替番号
◀前頁 ▲▼決定 次頁▶

7 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、◉ を押します。
- ◉ を押すと（省略可能）操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

<ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:短縮0002
井×物産
■登録完了!
終了 継続▶

ご注意

●登録するワンタッチダイヤルと同じ数の空きボタンが必要です。
●機能を設定したボタンにワンタッチダイヤルを登録すると、元の機能は使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P7-1

ワンタッチで電話をかける（ワンタッチダイヤル）

ワンタッチダイヤルボタンを登録する（電話番号指定）

ワンタッチダイヤルボタンを使うとワンタッチで相手の方へ電話をかけることができます。電話番号を入力して登録する方法を説明します。入力した電話番号は、電話帳にも登録されます。

1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

① ▣ を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、▣ を押します。
③「**1 ﾎﾞﾀﾝ登録**」を選択し、▣ を押します。
• i ボタン + ＊ ＊ を押しても本画面となります。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
‥KEY:

■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
  (押替可能)
◀戻る
```

2 登録するボタン（使っていない 外線 ボタン）を押し、▣ を押す

• 現在登録されている機能名称が表示されます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:000
      機能なし
■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
  (押替可能)
◀戻る  決定
```

3 ▣ で「**2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録**」を選択し、▣ を押す

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録
2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録
3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録
4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録
◀戻る ▲▼決定  次頁▶
```

4 再度▣ を押す

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:短縮･･･
■短縮番号入力
ｸﾘｱ再入力
電話帳電話帳検索
◀戻る  決定
```

5 ▣ で登録先の電話帳を選択し、▣ を押す

```
〈登録先電話帳種別〉
1 全ｸﾞﾙｰﾌﾟ
2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎
3 ﾏｲ
(公開範囲が決定)
◀戻る ▲▼決定
```

6 ▣ で登録する項目を選択し、▣ を押す

（共通電話帳の場合）

```
〈電話帳登録〉   M0001
-名前-
-ﾖﾐｶﾞﾅ-
1:-電話番号-
区分(01          )
◀戻る ▲▼編集  完了▶
```

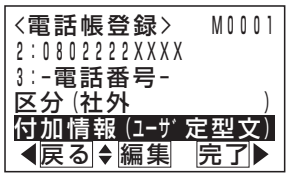
名前入力欄
ヨミガナ入力欄

名前、ﾖﾐｶﾞﾅ、電話番号などを入力します。
詳しい方法は、P3-6をご覧ください。

次のページに続く

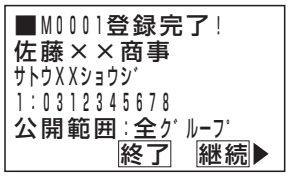
ワンタッチで電話をかける（ワンタッチダイヤル）

7 登録が終わったら、を押す



8 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、を押します。



ご注意

- ●登録するワンタッチダイヤルと同じ数の空きボタンが必要です。
- ●機能を設定したボタンにワンタッチダイヤルを登録すると、元の機能は使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P7-1
- ●操作7でを押すと＜電話帳管理＞画面に戻り＜登録先電話帳種別＞画面には戻れません。
- ●操作8でを押すと電話帳登録の継続となり、＜短縮番号選択＞画面となります。
  ワンタッチダイヤルボタン登録を続けることはできません。

知っていると便利なこと

- ●操作2でを押す代わりに電話帳ボタンを押すと、操作4から操作できます。

ワンタッチで電話をかける（ワンタッチダイヤル）

他電話機にワンタッチダイヤルボタンを登録する

他の電話機にもワンタッチダイヤルボタンを登録することができます。1台または範囲を指定して複数台の電話機に登録することができます。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

1 メニューから〈他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

①[ ]を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[ ]を押します。
③「1 他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、[ ]を押します。

```
〈他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録〉
収容位置:■･･-･･･
■電話機収容位置入力
  先頭～最終(省略可)
クリア再入力
◀戻る
```

2 ボタンを登録したい電話機の先頭および最終（省略可能）の収容位置（3桁）を入力し、[ ]を押す

・再入力する場合は、クリアボタンを押します。

```
〈他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録〉
収容位置:■･･-･･･
■電話機収容位置入力
  先頭～最終(省略可)
クリア再入力
◀戻る
```

■収容位置入力後

```
〈他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録〉
収容位置:104-120
■電話機収容位置入力
  先頭～最終(省略可)
クリア再入力
◀戻る  決定
```

3 他電話機のボタン登録画面になる

```
〈#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録〉
■･KEY:

■KEY番号01～36入力
クリア再入力
◀戻る
```

4 登録するキー番号（2桁）を入力し、[ ]を押す

・登録できるキーは01～36までです。
・現在登録されている機能名称が表示されます。
・再入力する場合は、クリアボタンを押します。

```
〈#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録〉
1■KEY:000
      機能なし
■KEY番号01～36入力
クリア再入力
◀戻る  決定
```

5 [ ]で「2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、[ ]を押す

```
〈#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録〉
1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録
2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録
3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録
4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録
◀戻る ▲▼決定  次頁▶
```

6 短縮番号を入力し、[ ]を押す

・短縮番号入力が完了すると、3行目に電話番号または名称（電話帳に登録時）が表示されます。

```
〈#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:短縮■･･･
■短縮番号入力
クリア再入力
電話帳電話帳検索
◀戻る  決定
```

■短縮番号入力後

```
〈#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:短縮0002
井×物産
クリア再入力
電話帳電話帳検索
◀戻る  決定
```

7 登録完了画面が表示される

・終了する場合は、[ ]を押します。
・[ ]を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。

```
〈#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:短縮0002
井×物産

■登録完了!
      終了  継続▶
```

ワンタッチで電話をかける（ワンタッチダイヤル）

ワンタッチダイヤルでかける

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(115)	−	−

■外線を選ばずにかける場合

1 ハンドセットをとらずに登録した ワンタッチダイヤル ボタンを押す

■外線を選んでかける場合

1 外線 ボタンを押す

2 登録した ワンタッチダイヤル ボタンを押す

■電話番号を確認してから電話をかける

1 ハンドセットをとらずに登録した ワンタッチダイヤル ボタンを押す

2 相手の電話番号、名前が表示される

- を押すと、短縮番号順に電話をかける相手を変更できます。

3 ハンドセットをとるか、スピーカ ボタンを押す

- 外線 ボタンを押すこともできます。

ご注意

●複数の番号が登録されている場合は、1番目に登録してある電話番号に発信します。

補足説明

●外線自動発信が登録されていると、空きの外線が自動的に選ばれます。

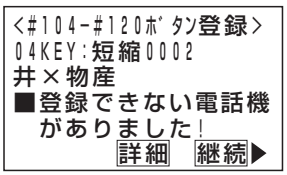
●電話番号を確認してから電話をかける場合は、設定が必要です。[工事者設定115]

補足説明

●他電話機にワンタッチダイヤルを登録する場合も、電話帳検索を利用することができます。操作6で短縮番号を入力する代わりに 電話帳 ボタンを押してください。

ご注意

●操作2で範囲指定の場合に登録できない電話機があった場合は、エラー画面が表示されます。
を押して操作3に戻るか、 を押して、詳細表示で登録できない収容位置とエラー内容を確認してください。



●登録するワンタッチダイヤルと同じ数の空きボタンが必要です。

●機能を設定したボタンにワンタッチダイヤルを登録すると、元の機能は使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P7-1

知っていると便利なこと

●操作4で を押す代わりに 電話帳 ボタンを押すと、操作6から操作できます。

●電話機の収容位置を確認するときは、内線電話帳（P2-34）を利用するか、各電話機で i ＋ 8 の操作をします。

電話をかけてきた方にかけ直す（着信履歴）

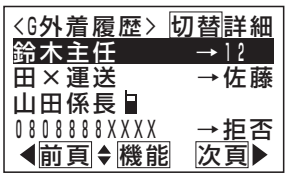
着信履歴から電話をかける

ISDN回線をご利用の場合や、ナンバー・ディスプレイ機能をご利用の場合、電話をかけてきた方の番号や名称を履歴として確認できます。また、選んだ履歴の番号に電話をかけ直すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(229-5)	−	−

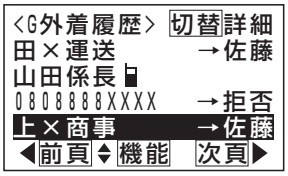
1 ハンドセットを置いたまま ◉ を押す

- 着信履歴画面が表示されます。
- 上から最新の情報が表示されます。
- メニューから本画面を表示させることもできます（「2 履歴」→「2 着信履歴」）。



2 ◉ を押し、かけたい相手を選ぶ

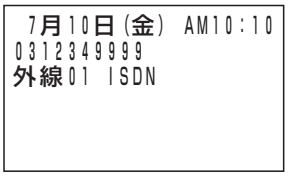
- ◉ を押すと新しい履歴、◉ を押すと古い履歴に移動します。
- ◉ を押すと前後の4件を表示します。



- 代理応答/切替 ボタンを押すと検索相手の詳細表示に切り替わります。

3 空いている 外線 ボタンを押す

- 選択された履歴の電話番号がダイヤルされます。
- i ボタンを押すと履歴表示を終了します。



補足説明

●詳細表示画面の説明：

- 履歴番号、着信日時（＊1）
- 相手番号
- 相手名称（＊2）
- 通話した電話機の内線名称または内線番号（＊3）

＊1：午前は「A」、午後は「P」
＊2：共通電話帳に登録があると表示します。
＊3：「グループ全外着履歴」または「システム全外着履歴」のときに表示します。

●操作1で ◉ を長押しすると、内線着信履歴が表示されます。⇒P2-41

●操作2で ◉ を押すと、＜機能選択＞画面が表示されます。「1 発信」が選択されているので、◉ を押すと発信することができます。

ご注意

●履歴を表示している状態で約1分間操作しないと、待機状態に戻ります。

●「マイ外着応答履歴」、「マイ外着不応答履歴」以外を表示中に新しい履歴が登録されると、同じ履歴が2回表示される場合があります。

知っていると便利なこと

●着信を拒否した番号（P5-37）からかかってきた場合も、着信履歴に残ります。拒否した着信は、「→拒否」（「システム全外着履歴」、「グループ全外着履歴」、「グループ外着不応答」のみ表示）が表示されます。

●不応答履歴から折返し発信を行い、相手が応答すると「発信済」が表示されます。

●操作3で 外線 ボタンを押す代わりに、ハンドセットをとるか スピーカ ボタンを押して電話をかけることもできます。[工事者設定229-5]

●着信履歴の種類や表示方法を変えることもできます。⇒P2-32

●着信履歴はパソコンのブラウザで確認できます。詳しくは「パソコンを使って各種設定を行う（Web設定）」（P9-9）をご覧ください。

●「マイ外着不応答履歴」、「マイ外着応答履歴」の公開範囲を電話機ごとに設定できます。[工事者設定229-5]

電話をかけてきた方にかけ直す（着信履歴）

補足説明

●表示できる着信履歴の内容や件数等は下記の通りです。

外線着信履歴の内容	選択時の項目名 ＜履歴表示時のタイトル名＞	内容	件数 （履歴番号）	登録先
各電話機の 外線着信不応答履歴	ﾏｲ外着不応答履歴 ＜外着不応答＞	電話機ごとの外線着信不応答履歴	50件 （00～49）	システム
各電話機の 外線着信応答履歴	ﾏｲ外着応答履歴 ＜外着応答＞	電話機ごとの外線着信応答履歴 （自分の電話機の着信履歴）	50件 （00～49）	システム
他の電話機の 外線着信応答履歴	他TEL外着応答履歴 ＜XXXX応答＞	電話機ごとの外線着信応答履歴 （他の電話機の着信履歴）	50件 （00～49）	システム
グループ内 外線着信不応答履歴	ｸﾞﾙｰﾌﾟ外着不応答 ＜G外着ﾌｶｳﾄｳ＞	電話機グループごとの外線着信不応答履歴	200件 （000～199）	システム
グループ内 全外線着信履歴	ｸﾞﾙｰﾌﾟ全外着履歴 ＜G外着履歴＞	電話機グループごとの外線着信応答履歴および不応答履歴	500件 （000～499）	システム
システム 全外線着信履歴	ｼｽﾃﾑ全外着履歴 ＜全外着履歴＞	システム全体の外線着信応答履歴および不応答履歴	10000件 （0000～9999）	システム

＊ XXXX は内線番号を表示します。

●操作説明の画面はグループ内全外線着信履歴の表示を設定した場合です。設定していない場合は、システム全外線着信履歴＜全外着履歴＞が表示されます。また、操作2で を押すと、＜機能選択＞画面が表示され、**「2 各種機能」**を選択すると着信履歴の内容を選択する画面となり、表示する着信履歴の内容を切り替えることができます。ただし、設定によっては、「マイ外着応答履歴」、「マイ外着不応答履歴」と「グループ外着不応答」以外は表示できない場合があります。［工事者設定229-5］

●「グループ全外着履歴」または「システム全外着履歴」は、「→」と通話した電話機の内線名称または内線番号が表示されます。

●着信応答履歴は最後に通話した電話機に登録されます。（内線に転送した場合など）

●不応答履歴は下記の場合に登録され、「グループ外着不応答」、「グループ全外着履歴」、「システム全外着履歴」で確認できます。

・着信に応答しなかった場合
・外線お待たせメッセージで電話機が応答できなかった場合
・留守番機能で留守録や転送電話などを行った場合
・ISDN回線やIP回線（IPCOI使用時）をお使いのときで以下の場合［工事者設定229-5］
ストレートラインDI（P5-17）で空きボタンがない場合
一部の外線のみ着信を受けなくした場合（P5-30）
ストレートラインDIのバーチャルライン方式で発着信制限数となった場合（P5-21）の着信
（履歴に登録する場合は設定が必要）

●外線アッドオンの場合は、最後に電話を切った電話機の着信応答履歴となります。ただし、ISDN回線で相手の方が先に電話を切ったときは、最初に通話していた電話機の着信応答履歴となることがあります。

●2外線アッドオンで2外線とも着信の場合は、どちらも着信応答履歴となります。

●「着信不応答通知機能」についてはP2-31をご覧ください。

電話をかけてきた方にかけ直す（着信履歴）

他の電話機の着信履歴を検索する

ファックスや単独電話機の着信履歴を確認することができます。

着信履歴を表示中に下記の操作を行います。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(229-5)	−	−

1 着信履歴表示中に、を押す

<G外着履歴> 切替 詳細
鈴木主任 →103
田×運送 →佐藤
山田係長
0808888XXXX →拒否
◀前頁 ◆機能 次頁▶

2 で「2各種機能」を選択し、を押す

<機能選択>
1 発信
2 各種機能
3 着信拒否登録
4 発信規制登録
◀戻る ◆決定

3 で「6他TEL外着応答履歴」を選択し、を押す

<G外着履歴>
3 ｸﾞﾙｰﾌﾟ外着不応答
4 ｸﾞﾙｰﾌﾟ全外着履歴
5 ｼｽﾃﾑ全外着履歴
6 他TEL外着応答履歴
◀戻る ◆決定

4 内線番号を入力し、を押す

- で内線番号を検索することもできます。
- 再入力する場合は、クリア ボタンを押します。

<他TEL外着応答履歴>
NO. 103
山田○次郎
■内線番号入力
クリア 再入力
◀戻る ◆決定

5 指定した電話機の着信履歴が表示される

- 履歴の検索や発信操作はP2-25の操作2以降と同じです。

<103 応答> 切替 詳細
佐××商店
0505555XXXX
0312344444
山田○子
◀前頁 ◆機能 次頁▶

ご注意

- ●他の電話機の着信応答履歴を表示したくないときは、工事者設定が必要です。[工事者設定229-5]
- ●履歴を表示している状態で約1分間操作しないと、待機状態に戻ります。

電話をかけてきた方にかけ直す（着信履歴）

着信履歴の電話番号を電話帳に登録する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(229-5)	−	−

■電話帳に登録するとき

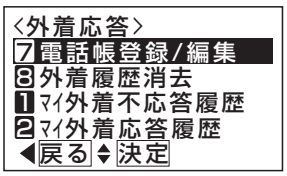
着信履歴を表示中に下記の操作を行います。

▶ 指定電話機：共通電話帳編集用電話機（「マイ電話帳」は除く）

1 ◈を押し登録したい相手を選び、◈を押す

2 ◈で「2 各種機能」を選択し、◈を押す

3 ◈で「7 電話帳登録/編集」を選択し、◈を押す



4 ◈で「1 電話帳登録」を選択し、◈を押す

- 以降の操作は、「電話帳を登録する」をご覧ください。⇒P3-2、P3-4
- すでに登録されている電話帳に電話番号を追加したり変更したりするときは、「**2 電話帳編集**」を選択してください。⇒補足説明

補足説明

●操作4で「**2 電話帳編集**」を選択した場合は、下記の操作を行います。

①「**1 共通電話帳**／**2 ﾏｲ電話帳**」のいずれかを選択し、◈を押します。

②履歴の電話番号を登録する短縮番号を選択し、◈を押します。

③＜登録先選択＞画面で、下記に従って登録先を選択し、◈を押します。

- 電話番号を追加登録する場合：「追加登録」欄を選択する
- 登録済みの電話番号を変更する場合：変更したい電話番号が表示されている欄を選択する

すでに3つの電話番号が登録されている場合は、電話番号の変更のみ可能です。中止する場合は[i]ボタンを押してください。

④履歴の電話番号を表示した＜電話帳変更＞画面が表示されます。

以降の操作は、「電話帳を変更／消去する」をご覧ください。⇒P3-26

知っていると便利なこと

●着信履歴を表示しているときは、電話帳登録だけでなく、以下の操作もできます。

- [発信規制登録]ボタンを押すと、発信規制リストに登録できます。⇒P7-60
- [拒否登録]ボタンを押すと、着信拒否リストに登録できます。⇒P5-38

電話をかけてきた方にかけ直す（着信履歴）

着信履歴を個別に消去する

着信履歴を表示中に下記の操作を行います。

1 着信履歴表示中に、▣を押し、消去したい履歴を選び▣を押す

<外着応答> 切替詳細
佐××商店
0505555XXXX
山田○子
0312344444
◀前頁 ◆機能 次頁▶

2 ▣で「2 各種機能」を選択し、▣を押す

<機能選択>
1 発信
2 各種機能
3 着信拒否登録
4 発信規制登録
◀戻る ◆決定

3 ▣で「8 外着履歴消去」を選択し、▣を押す

<外着応答>
5 ｼｽﾃﾑ全外着履歴
6 他TEL外着応答履歴
7 電話帳登録/編集
8 外着履歴消去
◀戻る ◆決定

4 消去確認画面となるので、▣を押す

<外着応答>
01: 7/13(月)A10:10
0451234567
佐××商店
■消去しますか?
◀戻る 消去

5 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣を押します。
- ▣を押すと操作1に戻り、消去を繰り返すことができます。

<外着応答>
01: 7/13(月)A10:10
0451234567
佐××商店
■消去完了!
終了 継続▶

知っていると便利なこと

●操作1の検索画面でクリアを押すと、操作4の画面となります。

着信履歴を一括消去する

外線着信履歴を一括で消去することができます。マイ着信履歴（応答／不応答）、システムの全着信履歴、システムの全発着信履歴のいずれかが選択できます。

■各電話機の着信履歴を一括消去する

1 メニューから<ﾏｲ外着応答履歴>または<ﾏｲ外着不応答履歴>を呼び出す

①▣を押します。
②「2 履歴」を選択し、▣を押します。
③「4 履歴一括消去」を選択し、▣を押します。
④「3 ﾏｲ外着応答履歴」を選択し、▣を押します。
（画面は「マイ外着応答履歴」の例）

<ﾏｲ外着応答履歴>
■しばらく時間がかかる場合があります。
全て消去しますか?
◀戻る 消去

2 消去確認画面が表示されるので、▣を押す

<ﾏｲ外着応答履歴>
■しばらく時間がかかる場合があります。
全て消去しますか?
◀戻る 消去

3 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣を押します。
- ▣を押すと操作1の④に戻り、別の消去を繰り返すことができます。

<ﾏｲ外着応答履歴>
■消去完了!
終了 継続▶

電話をかけてきた方にかけ直す（着信履歴）

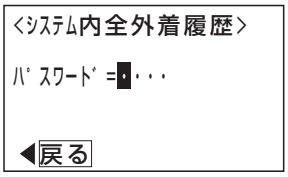
■システムの全着信履歴を一括消去する

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから〈ｼｽﾃﾑ内全外着履歴〉を呼び出す

① ⊡ を押します。

②「**2 履歴**」を選択し、⊡ を押します。

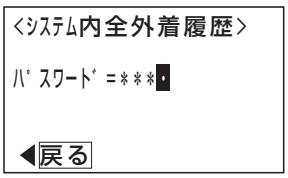


③「**4 履歴一括消去**」を選択し、⊡ を押します。

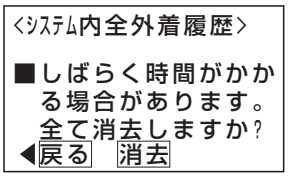
④「**7 ｼｽﾃﾑ内全外着履歴**」を選択し、⊡ を押します。

2 ユーザ用パスワード（4桁）を入力する

- パスワード未設定時は、パスワード入力は省略されます。
- パスワードを間違えた場合は、パスワード入力待ち状態に戻ります。

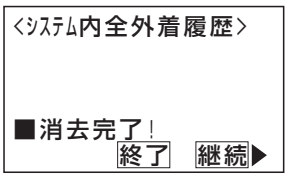


3 消去確認画面が表示されるので、⊡ を押す



4 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、⊡ を押します。
- ⊡ を押すと操作1の④に戻り、別の消去を繰り返すことができます。



補足説明

●システムの全発着信履歴を消去することもできます。手順1の④で、「**9 ｼｽﾃﾑ内全発着信履歴**」を選択してください。

電話をかけてきた方にかけ直す（着信履歴）

不応答通知機能を使う

「着信不応答通知機能」を設定しておくと、不在時に着信があったことを、着信／メッセージランプとディスプレイ表示でお知らせします。外線、内線の不応答着信が通知の対象になります。本機能を使うにはデータ設定が必要になります。詳しくは販売店にお問い合わせください。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-5	−	−

■不応答通知を受けたとき

不応答通知を受けると、

- 着信／メッセージランプは周期的に４回点滅します。
- ディスプレイには以下の表示をします。

（外線着信の不応答通知の例）

■不応答履歴を表示する

外線個別着信があった場合を例に説明します。

1 不応答通知が表示される

2 を押す

- 不応答履歴が表示されます。

3 を押し、履歴内容を確認する

- 電話をかける操作は着信履歴から電話をかける操作と同じです。

補足説明

●ディスプレイの４行目に通知される不応答着信の種類は以下のようになります。

外線　　：外線からの着信（個別着信を除く）
外線個別：外線からの着信のうち特定の電話機に着信するもの（ダイヤルインなど）
内線　　：内線からの着信

同時に複数種類の通知がある場合には、まとめて表示します。

例）外線、外線個別、内線着信があったとき
「外線・外線個別・内線」

●該当する着信履歴を３秒以上表示すると、お知らせは消えます。（複数種類の通知がある場合にはそのすべてに該当する着信履歴を表示する必要があります。）

●外線着信や内線着信だけを通知するようにもできます。［工事者設定229-5］

電話をかけてきた方にかけ直す（着信履歴）

着信履歴の初期画面を変更する

着信履歴を表示するときの履歴の種類と表示方法をそれぞれ選択することができます。履歴の種類は、「ﾏｲ外着応答履歴」、「ﾏｲ外着不応答履歴」、「ｸﾞﾙｰﾌﾟ外着不応答」、「ｸﾞﾙｰﾌﾟ全外着履歴」、「ｼｽﾃﾑ全外着履歴」のいずれかが選択できます。表示方法は、「一覧表示（4件表示）」、「詳細表示」から選択できます。

※設定によっては、「ｸﾞﾙｰﾌﾟ全外着履歴」や「ｼｽﾃﾑ全外着履歴」を選択できない場合があります（データ設定用電話機を除く）。[工事者設定229-5]

1 メニューから<外着履歴初期画面>を呼び出す

① [決定] を押します。
②「**4** 電話機毎機能設定」を選択し、[決定] を押します。
③「**3** LCD/着信ﾗﾝﾌﾟ設定」を選択し、[決定] を押します。
④「**6** 履歴等初期画面」を選択し、[決定] を押します。
⑤「**2** 外着履歴初期画面」を選択し、[決定] を押します。

<外着履歴初期画面>
5 ｼｽﾃﾑ全外着履歴
1 ﾏｲ外着不応答履歴
2 ﾏｲ外着応答履歴
■履歴の内容を選択
◀戻る ▲▼ 決定

2 [▲▼] で履歴の種類を選択し、[決定] を押す

- 現在の設定が反転表示されます。

<外着履歴初期画面>
5 ｼｽﾃﾑ全外着履歴
1 ﾏｲ外着不応答履歴
2 ﾏｲ外着応答履歴
■履歴の内容を選択
◀戻る ▲▼ 決定

3 [▲▼] で表示方法を選択し、[決定] を押す

- 現在の設定が反転表示されます。

<外着履歴初期画面>
1 一覧表示
2 詳細表示
■表示方法を選択
◀戻る ▲▼ 決定

4 設定完了画面が表示される

- [決定] を押すと終了します。

<外着履歴初期画面>
2 ﾏｲ外着応答履歴
2 詳細表示
■設定完了!
終了

非通知着信履歴の表示

番号を通知しない着信（非通知着信）も履歴に残すことができます。電話番号の代わりに「非通知」、「公衆電話」、または「表示圏外」が表示されます。

1 メニューから<非通知着信履歴有無>を呼び出す

① [決定] を押します。
②「**5** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[決定] を押します。
③「**0** その他」を選択し、[決定] を押します。
④「**4** 非通知着信履歴有無」を選択し、[決定] を押します。

<非通知着信履歴有無>
0 なし
1 あり
◀戻る ▲▼ 決定

2 [▲▼] で選択し、[決定] を押す

- 現在の設定が反転表示されます。
- 非通知履歴を残す場合は、「**1** あり」を選択してください。
- 非通知履歴を残さない場合は、「**0** なし」を選択してください。

<非通知着信履歴有無>
0 なし
1 あり
◀戻る ▲▼ 決定

3 設定完了画面が表示される

- [決定] を押すと終了します。

<非通知着信履歴有無>
1 あり
■設定完了!
終了

内線に電話をかける

ハンドセットをとってかける

内線の相手を呼び出すときは、着信音で呼び出す方法と音声で呼び出す方法があります。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(501,503,504,509)	−	−

■着信音による呼び出し

1 ハンドセットをとる
- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 相手の内線番号を押す

3 相手の方が応答したら通話する

■音声による呼出

相手を呼出中に下記の操作をします。

1 ✳を押す
- 相手の電話機に”プップッ”と冒頭音が出ます。

2 「○○さん」と呼びかける

3 相手の方が応答したら通話する

補足説明

●内線ボタンを押してから電話をかけることもできます。

ハンドセットをとらずにかける

ハンドセットを置いたまま相手を呼び出すことができます。

1 内線ボタンを押す
- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 相手の内線番号を押す

3 スピーカで相手の応答を確かめる

4 ハンドセットを取って、相手の方と通話する

補足説明

●内線ボタンの代わりにスピーカボタンを押すこともできます。

ご注意

●番号を可変桁に設定している場合は、内線番号を押したあとに下記のいずれかの操作をしてください。
- 何もしないで5秒待つ
- #を押す

知っていると便利なこと

●内線着信音を変更することができます。[工事者設定501]
●呼出中に✳を押すたびに音声による呼出と着信音による呼出が交互に切り替わります。
最初から音声呼出とすることもできます。ただし、相手がコードレス電話機（DCLL、IPDCLL）の場合は、接続できるまで接続音（ツツッ、ツツッ…）が聞こえます。また、冒頭音はでません。
●グループ内の電話機のみ呼び出すようにすることもできます。[工事者設定509]
●「内線ホットライン」を設定すると、ハンドセットを上げるだけで特定の電話機を呼び出すことができます。他の電話機を呼び出すときは、内線ボタンを押してから内線番号をダイヤルしてください。ただし、単独電話機は、内線発信、外線発信、保留応答、外線着信応答ができなくなります。
内線一般着信（P2-55）の番号も呼出先として指定することができます。[工事者設定504]

内線に電話をかける

内線電話帳を使う

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
−	内線電話帳（964）	−

内線電話帳を使って内線に電話をかけることができます。

■ヨミガナで検索して内線に電話をかける

1 ハンドセットを置いたまま 内線電話帳 ボタンを押す（スピーカ ランプも消えていること）

- i ランプが点滅します。

2 ダイヤルボタン（0〜9、＊）で文字を入力し、⊙を押す

- ヨミガナ未入力で⊙を押すと、「ア」から表示されます。

```
<内線電話帳>
名称:･･･
■ﾖﾐｶﾞﾅ入力
ｸﾘｱ最終桁消去
切替内線番号検索
◀戻る  決定  ▶
```

3 検索結果が表示される

```
109 浅田課長
105 天田○○子
2101 ｳｴﾀﾞ ﾃﾞｽｸ
2102 江○明
ｸﾘｱ再入力  切替詳細
◀前頁 ◆機能 次頁▶
```

4 ⊙を押し、かけたい相手を選んで 内線 ボタンを押す

- ⊙を押すと、前後の4件を表示します。
- クリア ボタンを押すと操作2に戻り、入力をやり直すことができます。

```
109 浅田課長
105 天田○○子
2101 ｳｴﾀﾞ ﾃﾞｽｸ
2102 江○明
ｸﾘｱ再入力  切替詳細
◀前頁 ◆機能 次頁▶
```

- 内線電話帳 ボタンまたは i ボタンを押すと、待機状態に戻ります。

5 内線発信画面となる

- ハンドセットを上げても発信できます。

```
7月10日(金) AM10:10
109
```

補足説明

●濁点等を含めて最大4文字入力できます。

●入力ボタンに対応する文字は下記のとおりです。
文字に対応したボタンを繰り返して押して入力したい文字を表示させます。続けて同じボタンの文字を入力するときは、⊙ボタンを押して右に移動させます。
次に入力する文字が違うボタンのときは、次のボタンを押すと自動的に右に移動します。

ダイヤル	表示文字
1	アイウエオァィゥェォ 1@.
2	カキクケコAaBbCc2
3	サシスセソDdEeFf3
4	タチツテトッ GgHhIi4
5	ナニヌネノJjKkLl5
6	ハヒフヘホMmNnOo6
7	マミムメモPpQqRrSs7
8	ヤユヨャュョ TtUuVv8
9	ラリルレロWwXxYyZz9
0	ワヲン0 () □# ＊ー／：＝
＊	゛゜

□は半角スペースを示します。

●電話機収容位置を確認するときは、手順3で 代理応答/切替 ボタンを押してください。#のあとの数字が電話機収容位置です。
電話機収容位置は他の電話機にプログラマブルキー（P7-3）、ワンタッチダイヤルボタン（P2-23）、内線ワンタッチボタン（P2-38）、ボックスボタン（P5-59）を登録するときに使用します。電話機収容位置がわからないときに内線電話帳を使って確認してください。

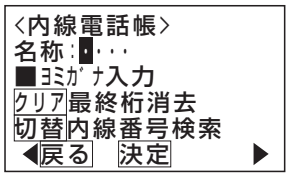
内線に電話をかける

■内線番号で検索して内線に電話をかける

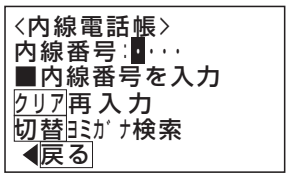
1 ハンドセットを置いたまま 内線電話帳 ボタンを押す（スピーカ ランプも消えていること）

- i ランプが点滅します。

2 ヨミガナ入力画面となるので、代理応答/切替 を押す



3 内線番号を入力し、を押す



4 を押し、かけたい相手を選んで 内線 ボタンを押す

- を押すと、前後の４件を表示します。
- クリア ボタンを押すと操作３に戻り、入力をやり直すことができます。
- 内線電話帳 ボタンまたは i ボタンを押すと、待機状態に戻ります。

5 内線発信画面となる

- ハンドセットを上げても発信できます。

補足説明

●メニューから<内線電話帳>を呼び出すこともできます。
①を押します。
②「1 電話帳」を選択し、を押します。
③「1 電話帳検索」を選択し、を押します。
④「3 内線電話帳検索」を選択し、を押します。

●内線番号が設定されていない電話機は、表示されません。

●操作４で 内線 ボタンを押す代わりにを押すと、<機能選択>画面が表示されます。「1 発信」が選択されているので、を押すと内線に発信することもできます。

●一斉呼出、ドアホン呼出、外部スピーカ呼出の呼出番号なども表示します。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

知っていると便利なこと

●内線ホットラインが設定してあっても、内線電話帳を利用することができます。

●内線電話帳は、以下の場合に利用できます。
- 外線通話を転送するとき（P2-10）
- 内線通話を転送するとき（P2-52、2-54）
- 通話録音を他の内線ボックスへ登録するとき（P5-53）
- 通話録音（ボイスメモ利用時）再生時に他の内線ボックスへ転送するとき（P5-66）

内線に電話をかける

■内線電話帳の内線名称を登録／変更する

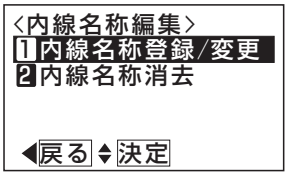
内線電話帳を検索したあと、内線名称を登録したり変更したりすることができます。
内線電話帳を表示中に下記の操作を行います。

1 ▣を押し、登録または変更したい内線番号を選んで▣を押す

- ▣を押すと、前後の４件を表示します。
- クリアボタンを押すと前の画面に戻り、入力をやり直すことができます。
- 内線電話帳ボタンまたはiボタンを押すと、待機状態に戻ります。

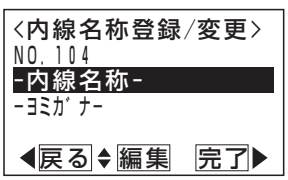
2 ▣で「2各種機能」を選択し、▣を押す

3 ▣で「1内線名称登録/変更」を選択し、▣を押す



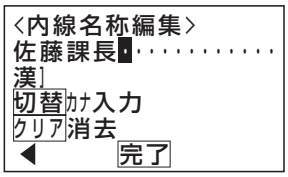
4 ▣で内線名称を選択し、▣を押す

- すでに登録されている場合はその内容が表示されます。



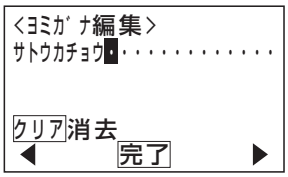
5 内線名称の入力が完了したら、▣を押す

- ▣を押した段階で登録が完了します。



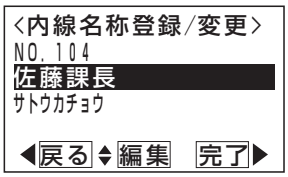
6 ヨミガナを確認し、▣を押す

- 入力した内線名称に対応したヨミガナが表示されます。
- 修正、消去することもできます。



7 ▣を押す

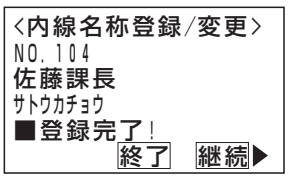
- 内容を変更するときは、▣を選択し、▣を押してください。



- ▣を押した場合は、画面に表示されている内容が登録され、操作３とは異なる画面（P7-8の操作３）となります。＜内線電話帳＞画面に戻ることはできません。

8 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣を押します。
- 続けるときには▣を押してください。P7-8の操作2に移行します。＜内線電話帳＞画面に戻ることはできません。



補足説明

- ●操作３で「**2内線名称消去**」を選択すると、内線名称を消去できます。
- ●一斉呼出、ドアホン呼出、外部スピーカ呼出などの名称も登録／変更できます。ただし、呼出のときはディスプレイに表示しません。

内線に電話をかける

内線ワンタッチで呼び出すとき

内線ワンタッチボタンを使うと、ワンタッチ呼び出しや相手状態表示を行うことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(575)	−	−

■内線ワンタッチボタンを登録する

1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

① ⊙ を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、⊙ を押します。
③「**1 ﾎﾞﾀﾝ登録**」を選択し、⊙ を押します。
• i ボタン + ¥ ¥ を押しても本画面となります。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
‥KEY:

■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
  (押替可能)
◀戻る
```

2 登録するボタン（使っていない 外線 ボタン）を押し、⊙ を押す

• 現在登録されている機能名称が表示されます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:000
      機能なし
■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
  (押替可能)
◀戻る  決定
```

3 ⊙ で「3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、⊙ を押す

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録
2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録
3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録
4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録
◀戻る ◆決定  次頁▶
```

4 内線番号を入力し、⊙ を押す

• ⊙ で内線番号を検索することもできます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:内線ﾜﾝﾀｯﾁ103
山田○次郎
■内線番号入力
ｸﾘｱ再入力
◀戻る ◆決定
```

5 登録完了画面が表示される

• 終了する場合は、⊙ を押します。
• ⊙ を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:内線ﾜﾝﾀｯﾁ103
山田○次郎

■登録完了!
        終了  継続▶
```

ご注意

●登録する内線番号と同じ数の空きボタンが必要です。
●機能を設定したボタンに内線番号を登録すると、元の機能は使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P7-1

知っていると便利なこと

●特番（一部番号は除く）も登録できます。
●操作2で ⊙ を押す代わりに内線ボタンを押すと、操作4から操作できます。

内線に電話をかける

■他の電話機に 内線ワンタッチ ボタンを登録する

1台または範囲を指定して複数台の電話機に登録することができます。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

1 メニューから〈他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

① ◉ を押します。

②「**5** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉ を押します。

③「**1** 他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、◉ を押します。

```
〈他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録〉
収容位置:･･-････
■電話機収容位置入力
  先頭～最終(省略可)
クリア再入力
◀戻る
```

2 ボタンを登録したい電話機の先頭および最終（省略可能）の収容位置（3桁）を入力し、◉ を押す

・再入力する場合は、 クリア ボタンを押します。

```
〈他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録〉
収容位置:･･-････
■電話機収容位置入力
  先頭～最終(省略可)
クリア再入力
◀戻る
```

■収容位置入力後

```
〈他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録〉
収容位置:104-120
■電話機収容位置入力
  先頭～最終(省略可)
クリア再入力
◀戻る  決定
```

3 他の電話機のボタン登録画面になる

```
〈#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録〉
･･KEY:

■KEY番号01～36入力
クリア再入力
◀戻る
```

4 登録するキー番号（2桁）を入力し、◉ を押す

・登録できるキーは01～36までです。

・現在登録されている機能名称が表示されます。

・再入力する場合は、 クリア ボタンを押します。

```
〈#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:000
      機能なし
■KEY番号01～36入力
クリア再入力
◀戻る  決定
```

5 ◉ で「**3** 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、◉ を押す

```
〈#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録〉
1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録
2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録
3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録
4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録
◀戻る ▲▼決定  次頁▶
```

6 内線番号を入力し、◉ を押す

・◉ で内線番号を検索することもできます。

```
〈#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:内線ﾜﾝﾀｯﾁ103･
山田○次郎
■内線番号入力
クリア再入力
◀戻る ▲▼決定
```

7 登録完了画面が表示される

・終了する場合は、◉ を押します。

・◉ を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。

```
〈#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:内線ﾜﾝﾀｯﾁ103
山田○次郎

■登録完了!
      終了  継続▶
```

内線に電話をかける

ご注意

●登録する内線番号と同じ数の空きボタンが必要です。

●機能を設定したボタンに内線番号を登録すると、元の機能は使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P7-1

●範囲指定の場合に登録できない電話機があった場合は、エラー画面が表示されますので、[ ]を押して操作3に戻るか、[ ]を押して、詳細表示で登録できない収容位置とエラー内容を確認してください。

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:内線ﾜﾝﾀｯﾁ103
山田○次郎
■登録できない電話機
がありました!
詳細 継続▶

知っていると便利なこと

●特番（一部番号は除く）も登録できます。

●操作4で[ ]を押す代わりに[内線]ボタンを押すと、操作6から操作できます。

●電話機の収容位置を確認するときは、内線電話帳（P2-34）を利用するか、各電話機で[i]＋[8]の操作をします。

■内線を呼び出す方法

1 登録した[内線ワンタッチ]ボタンを押す

• 自動的に相手を呼び出します。

補足説明

●[内線ワンタッチ]ボタンには登録した内線の状態をランプ表示できます。

状　　態	ランプ表示
空き（オペレータ業務開始）	点灯（緑）
空き（オペレータ業務終了）	消灯
通話中、ハンドセットをあげているとき（ボタン電話機の無音時は空き扱い）	点灯（赤）
不在転送、不在表示	遅い点滅（赤）
着信拒否、メニュー機能使用等で[i]ボタン点灯中	周期的に2回消える(赤)
着信中	速い点滅（赤）
内線発信中	速い点滅（緑）
ディジタルインターホンの呼出ランプが点灯しているとき	周期的に4回点滅（赤）

※点灯（緑）は、ACD機能（P5-10）を利用している場合に表示します。

※一斉呼出（P2-46）、外部スピーカ呼出（P8-7）の呼出番号を登録したボタンは、ランプ表示できません。ただし、呼出ができないときだけ、点灯（赤）のランプ表示をします。

※ディジタルインターホンについては、「ディジタル埋込型インターホン」の取扱説明書をご覧ください。

知っていると便利なこと

●外線または内線通話中に[内線ワンタッチ]ボタンを押すと、現在の通話を保留し内線を呼び出すことができるので、転送操作が簡単になります。また、内線通話の場合、設定によっては、現在の通話を終了して内線を呼び出すこともできます。[工事者設定575]

●ランプ表示をしないように設定することもできます。[工事者設定575]

内線に電話をかける

お話し中のときに別の人を呼ぶ（リセットコール）

内線を呼び出したときに相手が話し中の場合、最終桁のみ異なる内線を呼び出すことができます。以下に例として内線11番を呼んだときに話し中だった場合、内線12番を呼び出す方法を示します。

1 ハンドセットをとり、[1][1]を押す

2 11番の電話機が話し中でつながらなかった場合に[2]を押す
- 12番の電話機が呼び出されます。

3 12番の電話機の方と通話する

補足説明

●リセットコールは何回でも繰り返せます。

ご注意

●[*]または[#]を押すと、リセットコールはできなくなります。

お話し中のときにしばらく待つ（内線キャンプオン）

内線を呼び出したときに相手が話し中の場合、そのまま待っていれば、相手の方の電話が終わると呼び出すことができます。

1 内線に電話をかける

2 相手が話し中の場合、ウェイティングトーン（ツツ、ツツ…）が聞こえるので、そのまま待つ

3 相手の方の電話が終わると、自動的に呼び出す

補足説明

●相手の方が外線または内線通話のときのみ、内線キャンプオンができます。

ご注意

●待ち時間は2分までです。2分を越えると話中音（ツーツーツー…）となり、しばらくすると無音になりますので、ハンドセットを置いてください。ただし、内線通話中に、別の内線を呼び出したときは、元の方との通話に戻ります。

知っていると便利なこと

●相手の方の通話に割り込むこと「リセットコール割込通話」（P5-161）もできます。[工事者設定507]

●相手の方が外線または内線通話中のときの音をウェイティングトーン（ツツ、ツツ…）ではなく話中音（ツーツーツー…）に変更することもできます。[工事者設定508]

内線に電話をかける

内線着信履歴を使う

内線電話をかけてきた方の番号や名称を履歴として確認できます。また、選んだ履歴の内線番号に電話をかけ直すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(536)	内線着信履歴 (962)	−

■内線着信履歴から電話をかける

1 ハンドセットを置いたまま ◎ を長押し（2秒以上）する

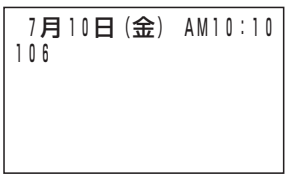
- 内線着信履歴画面が表示されます。
- 上から最新の情報が表示されます。
- 内線着信履歴 ボタンを押して本画面を表示することもできます。
- メニューから本画面を表示させることもできます（「2 履歴」→「3 内線着信履歴」）。

2 ◎ を押し、かけたい相手を選んで 内線 ボタンを押す

- ◎ を押すと新しい履歴、◎ を押すと古い履歴に移動します。
- ◎ を押すと前後の4件を表示します。
- 代理応答/切替 ボタンを押すと検索相手の詳細表示に切り替わります。以降 代理応答/切替 ボタンを押すたびに、一覧表示（4件表示）と詳細表示（1件表示）が切り替わります。

3 内線発信画面となる

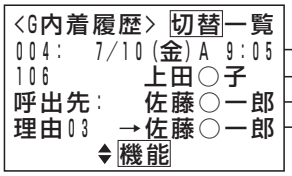
- ハンドセットを上げても発信できます。



補足説明

●詳細表示画面の説明：

（1）内線着信に応答した場合（応答履歴）



—履歴番号、着信日時（＊1）
—発信者（＊2）
—呼出先電話機（＊3）
—理由コード（＊4）、通話した電話機（＊3）

（2）内線着信に応答できなかった場合（不応答履歴）

—履歴番号、着信日時（＊1）
—発信者（＊2）
—呼出先電話機（＊3）
—表示なし

（3）不応答履歴から折り返し発信した場合

—履歴番号、着信日時（＊1）
—発信者（＊2）
—呼出先電話機（＊3）
—折返し発信した電話機（＊3）

＊1：午前は「A」、午後は「P」
＊2：内線番号および内線名称（登録時）を表示します。
＊3：内線名称（未登録時は内線番号）を表示します。
＊4：⇒ P2-42の「補足説明」

●操作2で ◎ を押すと、＜機能選択＞画面が表示されます。
「1 発信」が選択されているので、◎ を押すと内線に発信することもできます。

ご注意

●履歴を表示している状態で約1分間操作しないと、待機状態に戻ります。
●内線一斉（P2-46）、ページング（P8-7）、ドアホン・テレビドアホン着信（P8-1）、ナースコールシステムからの着信は内線着信履歴に登録されません。
※ただし、内線一斉やページングに応答したときは、応答履歴として登録されます。

知っていると便利なこと

●不応答履歴から折返し発信を行い、相手が応答すると「発信済」が表示されます（内線ハンズフリー応答（P2-48）を除く）。
●内線着信履歴の種類や表示方法を変えることもできます。⇒P2-45
●「システム全内線着信履歴」はパソコンのブラウザで確認できます。詳しくは「パソコンを使って各種設定を行う（Web設定）」（P9-9）をご覧ください。

内線に電話をかける

補足説明

●表示できる内線着信履歴の内容や件数等は下記の通りです。

内線着信履歴の内容	選択時の項目名 ＜履歴表示時のタイトル名＞	内容	件数 （履歴番号）	登録先	対象	
					内線着信	内線一般着信
各電話機の内線着信不応答履歴	内着不応答履歴 ＜内着不応答＞	電話機ごとの内線着信の不応答履歴	50件 （00～49）	ｼｽﾃﾑ	○	×
各電話機の内線着信応答履歴	内着応答履歴 ＜内着応答＞	電話機ごとの内線着信・内線一般着信の応答履歴	50件 （00～49）	ｼｽﾃﾑ	○	○
グループ内内線着信不応答履歴	ｸﾞﾙｰﾌﾟ内着不応答 ＜G内着ﾌｵｳﾄｳ＞	電話機グループごとの内線着信・内線一般着信の不応答履歴	200件 （000～199）	ｼｽﾃﾑ	○	○
グループ内全内線着信履歴	ｸﾞﾙｰﾌﾟ全内着履歴 ＜G内着履歴＞	電話機グループごとの内線着信・内線一般着信の応答履歴および不応答履歴	500件 （000～499）	ｼｽﾃﾑ	○	○
システム全内線着信履歴	ｼｽﾃﾑ全内着履歴 ＜全内着履歴＞	システム内の内線着信・内線一般着信の応答履歴および不応答履歴	10000件 （0000～9999）	ｼｽﾃﾑ	○	○

●操作2で を押すと＜機能選択＞画面が表示され、**「2 各種機能」**を選択すると内線着信履歴の種類を選択する画面となり、表示する内線着信履歴の種類を切り替えることができます。

●詳細表示では4行目に発信者が呼び出した電話機の内線名称を表示しますが、5行目には最後に通話した電話機の内線名称が表示されますので、表示内容が一致しない場合があります。
- 例1：代理応答（P2-50）で別の電話機が応答したとき
- 例2：他の内線に転送したとき
- 例3：内線一般着信の場合（4行目は内線一般着信の内線番号または登録した内線名称を表示する）

●「グループ内全内線着信履歴」または「システム全内線着信履歴」は、「→」と通話した電話機の内線名称または内線番号が表示されます。

●内線着信応答履歴は最後に通話した電話機に登録されます。（他の内線に転送した場合など）

●内線着信の不応答履歴は着信に応答しなかった場合に登録されます。

●内線一般着信（P2-55）の不応答履歴は、誰も応答しなかった場合に登録されます。

●内線一般着信（P2-55）は複数の電話機グループでも受けることができますが、内線着信履歴の登録先グループは下記の条件で決定します。
- 応答履歴：最後に通話した電話機の電話機グループ
- 不応答履歴：発信先の電話機グループ［工事者設定536］

●内線一般着信が外線に転送された場合は内線着信履歴になります。内線電話機は応答していませんが、不応答履歴にはなりません。詳細表示の5行目には、通話した電話機の内線名称／内線番号の代わりに「外線転送」が表示されます。

●詳細表示画面で表示する「理由」欄について

内線からの電話を受けたとき、通話中にダイヤルした2桁の数字を理由コードとして内線着信履歴に表示することができます。

通話の用件に理由コード00～99を割り当てておくことで、通話内容がどのような用件だったのかを内線着信履歴から確認することができます。福祉施設等で、入居者からの呼出がトイレ・食事・入浴等のどのような用件だったのかを記憶しておきたい場合に利用できます。

※用件の内容表示はできませんので、あらかじめ用件ごとに理由コードを決めておくようにしてください。

※内線通話中にダイヤル操作する他の機能（内線PBダイヤル送出（P5-129）、カメラID切替等）を利用している場合や、ナースコールからの着信の場合は、理由コードの入力はできません。

※ボタン電話機で操作すると、入力後にピピッという音が1回スピーカから聞こえます。ダイヤル間隔が空いてしまいエラーとなった場合は、ピピッという音が3回スピーカから聞こえます。

●「着信不応答通知機能」についてはP2-31をご覧ください。

内線に電話をかける

■内線着信履歴を個別に消去する

内線着信履歴を表示中に下記の操作を行います。

1 ▣を押し、消去したい履歴を選び▣を押す

<G内着履歴> 切替詳細
鈴木○一郎 発信済
鈴木○一郎 →102
山田先生
102 →佐藤
◀前頁 ◆機能 次頁▶

2 ▣で「2 各種機能」を選択し、▣を押す

<機能選択>
1 発信
2 各種機能
◀戻る ◆決定

3 ▣で「6 内着履歴消去」を選択し、▣を押す

<G内着履歴>
3 ｸﾞﾙｰﾌﾟ内着不応答
4 ｸﾞﾙｰﾌﾟ全内着履歴
5 ｼｽﾃﾑ全内着履歴
6 内着履歴消去
◀戻る ◆決定

4 消去確認画面となるので、▣を押す

<G内着履歴>
002: 7/10(金) A 9:08
103 鈴木○一郎
呼出先: 中島○郎
■消去しますか?
◀戻る 消去

5 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣を押します。
- ▣を押すと操作1に戻り、消去を繰り返すことができます。

<G内着履歴>
002: 7/10(金) A 9:08
103 鈴木○一郎
呼出先: 中島○郎
■消去完了!
終了 継続▶

知っていると便利なこと

●操作1の検索画面でクリアを押すと、操作4の画面となります。

■内線着信履歴を一括消去する

各電話機の内線着信履歴「内着不応答履歴」または「内着応答履歴」をまとめて消去できます。「システムの内線着信履歴」の該当する履歴も削除されます。

1 メニューから<内着不応答履歴>または<内着応答履歴>を呼び出す

①▣を押します。
②「2 履歴」を選択し、▣を押します。
③「4 履歴一括消去」を選択し、▣を押します。
④「4 内着不応答履歴」または「5 内着応答履歴」を選択し、▣を押します。
(画面は「内着不応答履歴」の例)

<内着不応答履歴>
■しばらく時間がかかる場合があります。
全て消去しますか?
◀戻る 消去

2 消去確認画面が表示されるので、▣を押す

<内着不応答履歴>
■しばらく時間がかかる場合があります。
全て消去しますか?
◀戻る 消去

3 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣を押します。
- ▣を押すと操作1の④に戻り、別の消去を繰り返すことができます。

<内着不応答履歴>
■消去完了!
終了 継続▶

内線に電話をかける

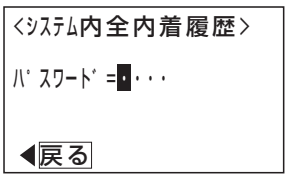
■システムの内線着信履歴を一括消去する

システムの内線着信履歴をまとめて消去できます。
各電話機の内線着信履歴も消去されます。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから〈ｼｽﾃﾑ内全内着履歴〉を呼び出す

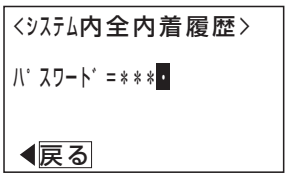
①[中央]を押します。
②**「2 履歴」**を選択し、[中央]を押します。



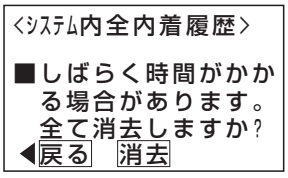
③**「4 履歴一括消去」**を選択し、[中央]を押します。
④**「8 ｼｽﾃﾑ内全内着履歴」**を選択し、[中央]を押します。

2 ユーザ用パスワード（4桁）を入力する

- パスワード未設定時は、パスワード入力は省略されます。
- パスワードを間違えた場合は、パスワード入力待ち状態に戻ります。

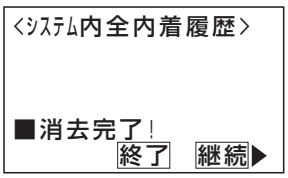


3 消去確認画面が表示されるので、[中央]を押す



4 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、[中央]を押します。
- [中央]を押すと操作1の④に戻り、別の消去を繰り返すことができます。



補足説明

●システムの全発着信履歴を消去することもできます。手順1の④で、**「9 ｼｽﾃﾑ内全発着信履歴」**を選択してください。

内線に電話をかける

■内線着信履歴の種類と表示方法を変更する

内線着信履歴を表示するときの履歴の種類と表示方法をそれぞれ選択することができます。履歴の種類は、「内着不応答履歴」、「内着応答履歴」、「ｸﾞﾙｰﾌﾟ内着不応答」、「ｸﾞﾙｰﾌﾟ全内着履歴」、「ｼｽﾃﾑ全内着履歴」のいずれかが選択できます。表示方法は、「一覧表示（4件表示）」、「詳細表示」から選択できます。

初期設定は、「ｸﾞﾙｰﾌﾟ全内着履歴」および「一覧表示」です。

1 メニューから〈内着履歴初期画面〉を呼び出す

① を押します。

②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、 を押します。

〈履歴等初期画面〉
1 外発履歴初期画面
2 外着履歴初期画面
3 内着履歴初期画面
4 電話帳初期画面
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

③「**3 LCD/着信ﾗﾝﾌﾟ設定**」を選択し、 を押します。

④「**6 履歴等初期画面**」を選択し、 を押します。

⑤「**3 内着履歴初期画面**」を選択し、 を押します。

2 で履歴の種類を選択し、 を押す

- 現在の設定が反転表示されます。

〈内着履歴初期画面〉
4 ｸﾞﾙｰﾌﾟ全内着履歴
5 ｼｽﾃﾑ全内着履歴
1 内着不応答履歴
■履歴の内容を選択
◀戻る ▲▼決定

3 で表示方法を選択し、 を押す

- 現在の設定が反転表示されます。

〈内着履歴初期画面〉
1 一覧表示
2 詳細表示
■表示方法を選択
◀戻る ▲▼決定

4 設定完了画面が表示される

- を押すと終了します。

〈内着履歴初期画面〉
3 ｸﾞﾙｰﾌﾟ内着不応答
2 詳細表示
■設定完了!
終了

内線を一斉に呼び出す

一斉に呼び出す

内線の電話機を一斉に音声で呼び出すことができます。
（ボタン電話機のスピーカから）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(510)	−	−

1 ハンドセットをとる

2 内線一斉呼出番号（6 0 0）*を押す

*番号を可変桁にしている場合は、内線一斉呼出番号のあとに#を押してください。

```
 7月10日(金) AM10:10
600  内線一斉呼出

応答番号:700
```

3 放送する

グループ別に呼び出す

内線の電話機をグループに分け、ボタン電話機のスピーカからグループ単位に音声で呼び出すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(510)	−	−

1 ハンドセットをとる

2 グループ呼出番号3桁（6 0 1～6 1 5 LA LB）*を押す

*番号を可変桁にしている場合は、グループ呼出番号のあとに#を押してください。

```
 7月10日(金) AM10:10
601  ｸﾞﾙｰﾌﾟ01呼出

応答番号:701
```

画面はグループ1を呼び出したとき

3 放送する

ご注意

- 通話中、不在設定中、ハンドセットをあげている電話機等は呼び出せません。
- グループ00の電話機はグループ呼出できません。
- 設定により、ボタン電話機以外にコードレス電話機（DCLL）を呼び出すこともできますが、冒頭音や話し始め部分が聞こえない場合があります。[工事者設定510]

知っていると便利なこと

- 電話機ごとに、呼び出されるかされないかを設定できます。[工事者設定510]
- 電話機と共にインターホン（P8-6）に放送することもできます。
  インターホンごとに、呼び出されるかされないかを設定します。[工事者設定590-1]
- 冒頭音を入れることもできます。冒頭音は、「ププッ」、「ピピッ」、「プー」、「ピー」、「ピンポンパンポン（2種類）」から選ぶことができます。冒頭音に「ピンポンパンポン」を使いたい場合は、ET-EXU-Xiが別途必要です。[工事者設定510]
- 外部スピーカを使って呼び出すこともできます。⇒P8-7
- 呼出番号は、変更することができます。グループ01～48 S／16～48 LA LBの呼出番号は設定が必要です。[工事者設定510]

内線を一斉に呼び出す

複数のグループを同時に呼び出す

複数のグループの内線電話機を同時に音声で呼び出すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
510	–	–

1 ハンドセットをとる

2 複数内線グループ呼出番号*を押す

*番号を可変桁にしている場合は、呼出番号のあとに[#]を押してください。

XXXXは呼出番号が表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
XXXX 複数ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出
■ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号+#を入力
 発信は再度#を入力
```

3 呼び出したいグループ番号＋(#)を押す

・複数指定するときはグループ番号＋[#]を続けて押してください。

```
 7月10日(金) AM10:10
XXXX 複数ｸﾞﾙｰﾌﾟ呼出
01,02,
■ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号+#を入力
 発信は再度#を入力
```

4 (#)を押す

5 放送する

補足説明

●同時に呼び出せるのは6グループまでです。
●複数内線グループ呼出番号は設定が必要です。［工事者設定510］

ご注意

●指定したグループの中に電話機がすべて使用中のグループが1つでもあると、その他のグループへの呼び出しもできません。

一斉呼出に応答する

一斉呼出、グループ別呼出、複数グループ呼出に応答できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(525)	–	–

1 ハンドセットをとる

2 応答番号（[7][0][0]）*を押す

*番号を可変桁にしている場合は、応答番号のあとに[#]を押してください。

3 通話ができる

補足説明

●内線のグループ呼出に応答するには、[7][0][1]～[7][1][5] LA LB を押します。グループ01～48 S ／16～48 LA LB の応答番号は設定が必要です。［工事者設定525］
●応答できるのは1台のみです。
●呼び出されている電話機には、発信者内線番号と呼出種別の他、応答番号が表示されます。表示されている応答番号を押して応答します。

```
 7月10日(金) AM10:10
103  内線一斉呼出
中島○郎
応答番号:700
```

（画面は内線一斉呼出の例）

知っていると便利なこと

●応答番号は変更することができます。［工事者設定525］
●応答番号を内線ワンタッチボタン（P2-37）に登録すると、呼出に対応する応答番号のボタンで応答できるようになります。（呼び出し中、ボタンは速い点滅（赤）になります。）

内線からの電話を受ける

ハンドセットをとって受ける

着信音が聞こえたら、ハンドセットをとるだけで応答できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(573)	–	–

1 着信音が鳴ったら、ハンドセットをとる

・ディスプレイの2行目に相手の内線番号、3行目に内線名称が表示されます。

```
7月10日(金) AM10:10
2345
中島○郎
```

2 相手の方と通話する

補足説明

●内線名称は、登録されているとき（P7-8）のみ表示されます。

知っていると便利なこと

●電話を切ったあとも、内線通話時の表示を一定時間残すことができます。[工事者設定573]
●特定の内線電話機やインターホンからの着信の着信音を変えることができます。[工事者設定537]

ハンドセットをとらずに受ける（内線ハンズフリー応答）

ハンドセットを持たずに通話することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
–	マイク（982）	–

■着信に自動的にハンズフリー応答する場合

1 あらかじめ マイク ボタンを押しておく

・マイクランプが点灯します。

2 内線着信があると冒頭音“ププッ”が聞こえるので、ハンドセットを置いたまま話す

■着信中にハンズフリー応答する場合

1 内線着信中に マイク ボタンを押す

・マイクランプが点灯します。

2 冒頭音“ププッ”が聞こえるので、ハンドセットを置いたまま話す

補足説明

●スピーカから聞こえる音量は、音量ボタンで調整してください。⇒P1-26

ご注意

●外線通話のハンズフリー自動応答はできません。
●相手の声が小さいときや、こちらの声が小さいときは、ハンドセットをとって通話してください。
●マイクランプがついているときは、着信音による呼出はできません。

知っていると便利なこと

●内線ハンズフリー応答中は、発信側が[*]を押すたびに、ハンズフリー応答と着信音による呼出が交互に切り替わります。
●冒頭音は「ププッ」以外に「ピピッ」、「プー」、「ピー」を選ぶことができます。[工事者設定534]

内線からの電話を受ける

外線通話中に内線着信があったときは

外線との通話中に内線着信があった場合でも内線着信を受けることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
533	−	−

1 外線と通話中に他の電話機から呼ばれる

- 内線着信音が鳴ります。
- ディスプレイの2行目に呼び出し相手の内線番号、3行目に内線名称が表示されます。

2 保留ボタンを押す

- これまで通話していた外線は一旦保留されます。
- 内線からの呼出に応答します。

3 内線の方と話す

4 内線通話終了後、保留した外線ボタンを押す

- 外線通話に戻ります。

補足説明

●電話をかけた方が呼出を中止したときは、着信音は停止します。

ご注意

●本機能を利用すると、「リセットコール割込通話」（P5-161）はできなくなります。
●ドアホンから呼ばれたときにも着信音が鳴ります。ディスプレイにドアホンの名前は表示されません。

内線からの電話を受ける

別の電話機で応答する（代理応答）

他の電話機の内線着信に応答することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
524	–	–

1 ハンドセットをとる

2 代理応答番号（⇒補足説明）*を押す

- 代理応答（G指定）、代理応答（G指定内線）を押したときは、代理応答したい電話機の代理応答／内線保留グループ番号（2桁）を続けて押してください。
- 代理応答（内線指定）を押したときは、代理応答したい電話機の内線番号を続けて押してください。

*番号を可変桁にしている場合は、代理応答番号のあとに[#]を押してください。

3 相手の方と通話する

補足説明

●代理応答番号は着信元によって以下のように使い分けます。また、以下の番号は工事者設定が必要です。[工事者設定524]

代理応答番号名	応答できる着信
代理応答（自G）	代理応答／内線保留グループで設定した同一グループ内への着信
代理応答（自G内線）	
代理応答（複数G）	代理応答／内線保留グループで設定したグループのうち事前に設定されているグループ内への着信
代理応答（複数G内線）	
代理応答（G指定）	指定した代理応答／内線保留グループ内への着信
代理応答（G指定内線）	
代理応答（内線指定）	指定した内線への着信

●代理応答（複数G）、代理応答（複数G内線）を使うときは、代理応答／内線保留グループに応答の優先度を設定できます。同時に着信がある場合は、優先度に従って応答先が決定します。

●以下の着信にも代理応答できます。

・内線一般着信
・内線ホットライン

内線通話を保留する／転送する

保留する

内線通話を保留することができます。保留したあとは他の電話機で応答することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(551)	−	−

■一般保留する

同一グループ内の他の電話機から応答できる保留を行います。

1 内線通話中に(保留)ボタンを押す

- 着信／メッセージ、保留ランプが遅い点滅になり、スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- 相手の方には保留音が流れます。

2 ハンドセットを置く

- 着信／メッセージ、保留ランプの点滅が停止します。

補足説明

●保留ボタンの代わりに内線ボタンを押して保留することもできます。

ご注意

●保留できるのは代理応答／内線保留グループ内で1通話のみです。
●保留できる時間は約2分間です。2分を経過すると保留は解除され通話が切れます。

知っていると便利なこと

●内線パーク保留を利用すると、複数の内線通話を保留することができます。⇒P2-53

■自己保留する

自分だけの保留（他の電話機から保留応答できない）を行います。（最大40秒間）

1 内線通話中に(保留)ボタンを押し、ハンドセットはとったままとする

- 着信／メッセージ、保留ランプが遅い点滅になり、スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- 相手の方には保留音が流れます。

補足説明

●保留ボタンの代わりに内線ボタンを押して保留することもできます。

ご注意

●保留できるのは代理応答／内線保留グループ内で1通話のみです。
●スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）は約20秒で話中音（ツーツーツー…）に切り替わり、話中音が約20秒流れると、元の通話に戻ります。

内線通話を保留する／転送する

保留した内線に応答する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(552)	−	−

■一般保留に応答する

1 ハンドセットをとる

2 保留ボタンを押す

- 保留した相手の方と通話できます。

ご注意

●保留応答できるのは、保留した電話機と同じ代理応答／内線保留グループ内の電話機のみです。

■自己保留に応答する

1 スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえている間に保留ボタンを押す

- 内線通話に戻ります。
- 話中音（ツーツー…）が聞こえている間も保留ボタンで応答できます。

転送する

内線通話を他の電話機に転送します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(553)	転送（995）	−

1 内線通話中に保留ボタンを押す

- 着信／メッセージ、保留ランプが遅い点滅になり、スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- 相手の方には保留音が流れます。

2 転送したい相手の内線番号を押す

3 応答したら用件を伝え、転送ボタンを押す

- 呼出先に通話が転送されます。

4 ハンドセットを置く

補足説明

●保留ボタンの代わりに内線ボタンを押しても保留することができます。

ご注意

●保留できるのは代理応答／内線保留グループ内で１通話のみです。
●番号を可変桁に設定している場合は、内線番号を押したあとに下記のいずれかの操作をしてください。
・何もしないで５秒待つ
・#を押す

知っていると便利なこと

●転送先が応答しないときは、保留ボタンを押すと元の通話に戻れます。
●オンフック転送が設定されていると、転送ボタンを押す代わりにハンドセットを置いても転送できます。
●転送先が応答する前に転送ボタンを押すと、簡易転送になります。ただし、外線通話の簡易転送と異なり、オートマチックリコールは機能しません。⇒P2-9
●内線電話帳で転送先を検索して転送することもできます。操作方法は、外線通話を内線に転送するときと同じです。⇒P2-10

内線通話を保留する／転送する

内線パーク保留する

内線通話を[パーク]ボタンに保留することができます。
[パーク]ボタンを複数使うと、複数の内線通話を保留することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
555	−	−

■ パーク ボタンを押して保留する

1 内線通話中にランプの消えている パーク ボタンを押す

- [着信／メッセージ]、[保留]ランプが遅い点滅になり、スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- [パーク]ランプ(緑)が周期的に2回点滅します。
- 他の電話機の[パーク]ランプ(赤)は点灯します。（この段階では自己保留状態のため、他の電話機で保留に応答できません。）
- 相手の方には保留音が流れます。

2 ハンドセットを置く

- [着信／メッセージ]、[保留]ランプの点滅が停止します。
- 赤点灯していた他の電話機の[パーク]ランプが赤の遅い点滅に変わります。（一般保留状態となり、他の電話機で保留に応答できます。）

■ 保留 ボタンを押して保留する

1 内線通話中に 保留 ボタンを押す

- [保留]ボタンの代わりに[内線]ボタンを押して保留することもできます。
- [着信／メッセージ]、[保留]ランプが遅い点滅になり、スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- 空きの[パーク]ランプ（緑）が周期的に2回点滅します。
- 他の電話機の[パーク]ランプ(赤)は点灯します。（この段階では自己保留状態のため、他の電話機で保留に応答できません。）
- 相手の方には保留音が流れます。

2 ハンドセットを置く

- [着信／メッセージ]、[保留]ランプの点滅が停止します。
- 赤点灯していた他の電話機の[パーク]ランプが赤の遅い点滅に変わります。（一般保留状態となり、他の電話機で保留に応答できます。）

補足説明

- [パーク]ボタンの設定は工事のときに行います。変更したい場合は、販売店にご依頼ください。[工事者設定555]
- [パーク]ボタンは24個まで設定できます。
- [パーク]ボタンの数と位置は、グループ内で共通です。また、[パーク]ボタンごとにシステム共通かグループ内のみかを設定できます。（[パーク1]はシステム共通、[パーク2]～[パーク4]はグループ内のみと設定した場合、グループ外に転送するときは[パーク1]を押して保留します。
- 外線の[パーク]ボタンと兼用します。

ご注意

- 空きの[パーク]ボタンがないと保留することができません。保留できなかった場合にハンドセットを置くと電話が切れますので、必ず[パーク]ボタンに保留されたか確認してからハンドセットを置いてください。
- [パーク]ボタンは、プログラマブルキーで他のボタンに変更することができません。
- 自己保留状態の場合、スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）は約20秒で話中音（ツーツーツー…）に切り替わり、話中音が約20秒流れると、元の通話に戻ります。長い時間保留したいときは、ハンドセットを置いて一般保留にしてください。
- 保留するとき、誤って保留状態の[パーク]ボタンを押すと通話中の内線は切れ、保留中の内線に応答しますので注意してください。

知っていると便利なこと

- [保留]ボタンで保留したときは、グループ内の[パーク]ボタンに保留しますが、システム共通の[パーク]ボタンに保留するように変更することもできます。[工事者設定555]
- 単独電話機の場合は、フッキングで保留します。
- 内線パーク保留は通常の内線保留（P2-51）と異なり、一般保留状態で2分以上経過しても保留状態が継続します。

内線通話を保留する／転送する

内線パーク保留に応答する

内線パーク保留を利用している場合、保留された内線に応答するときは[パーク]ボタンを押します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
555	−	−

■ パーク ボタンを押して保留に応答する

1 ハンドセットをとる

2 点滅している パーク ボタンを押す

- [パーク]ランプが消えます。
- 保留した相手の方と通話できます。

補足説明

●[パーク]ボタンを押してからハンドセットをとっても保留に応答できます。

■ パーク ボタンを押さずに保留に応答する

1 ハンドセットをとる

2 保留 ボタンまたは保留応答番号2 7 3*を押す

- [パーク]ランプが消えます。
- 保留した相手の方と通話できます。

*番号を可変桁にしている場合は、保留応答番号のあとに[#]を押してください。

補足説明

●単独電話機は[パーク]ボタンを設定できないため、保留応答番号で保留に応答します。
●グループ内の内線パーク保留のみ応答できます。複数の保留があるときは、下記の順位で応答します。
①自分が保留した外線（複数ある場合は最後に保留した外線）
②他人が保留した外線
③グループ内の保留した内線（複数ある場合は番号が小さい側の[パーク]ボタン）

知っていると便利なこと

●保留応答番号は変更することができます。[工事者設定552]

内線パーク保留し転送する

内線パーク保留を利用し、内線通話を他の電話機に転送します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
555	転送（995）	−

1 内線通話中にランプの消えている パーク ボタンを押す

- [保留]ボタンや[内線]ボタンを押して保留することもできます。
- [着信／メッセージ]、[保留]ランプが遅い点滅になり、スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- [パーク]ランプ(緑)が周期的に2回点滅します。
- 相手の方には保留音が流れます。

2 転送したい相手の内線番号を押す

3 応答したら用件を伝え、転送 ボタンを押す

- 呼出先に通話が転送されます。

4 ハンドセットを置く

補足説明

●操作1～3のとき、保留した[パーク]ボタンを押すと、保留した内線に戻れます。

知っていると便利なこと

●転送先がボタン電話機の場合、内線パーク保留後にハンドセットを置き、転送先の相手が保留した[パーク]ボタンを押すと転送できます。他のグループに転送する場合は、システム共通の[パーク]ボタンに保留してください。
●転送先が応答しないときは、[パーク]ボタンの代わりに[保留]ボタンを押しても元の通話に戻れます。
●オンフック転送が設定されていると、[転送]ボタンを押す代わりにハンドセットを置いても転送できます。
●転送先が応答する前に[転送]ボタンを押すと、簡易転送になります。ただし、外線通話の簡易転送と異なり、オートマチックリコールは機能しません。⇒P2-9
●内線電話帳で転送先を検索して転送することもできます。操作方法は、外線通話を内線に転送するときと同じです。⇒P2-10

グループごとの内線番号で通話する(内線一般着信)

電話機グループに内線番号を割り当てると、グループ内の複数の電話機を呼び出すことができます。
内線番号を[DILIN]ボタンに割り当てて着信させます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
535	−	−

電話をかける

電話機グループに割り当てた内線番号をダイヤルします。
[DILIN]ボタンを使って内線に電話をかけることはできません。

電話を受ける

外線からの着信を[外線]ボタンで受けるのと同じように[DILIN]ボタンで応答できます。

1 着信音が聞こえる
- [DILIN]ランプ（赤）が速く点滅します。
- 相手の内線番号が表示されます。

2 点滅している DILIN ボタンを押す

3 ハンドセットをとる
- [DILIN]ランプが緑の点灯に変わり、周期的に2回消えます。

4 相手の方と通話する

補足説明

- 着信音が鳴っている（着信音99の無鳴動着信も含む）電話機は、ハンドセットをとるだけで電話を受けられます。
- 同じ番号の[DILIN]ボタンを複数設定することができますので、同時に複数の着信を受けられます。
- [DILIN]ボタンを[着信]ボタンにまとめて着信させることもできます。[着信]ボタンを押して応答します。
  [着信]ボタンはDILIN番号ごとに設定できます。[工事者設定535]
- 内線一般着信の場合、[内線]ランプは点滅しません。
- [DILIN]ボタンの設定は工事のときに行います。変更したいときは、販売店にご依頼ください。[工事者設定535]

ご注意

- 内線一般着信では、以下の機能は動作しません。
  - 内線代表
  - 代理応答
  - 不在転送
  - 不在表示
  - 話中・応答遅延転送
  - 内線ハンズフリー応答
  - グループ内内線呼出
  - 外線通話中の内線着信
  - 着信警報
  - スライド着信
  - 外線自動選択応答

知っていると便利なこと

- DILIN番号ごとに着信音を変えることができますので、外線の着信音と別の着信音にすることができます。⇒P7-10
  着信音は主装置側の工事者設定でも変更することができます。[工事者設定535]
- 着信音にメロディを利用することもできます。⇒P7-10、7-12
  主装置側の工事者設定でも変更することができます。[工事者設定535]
- 特定の内線電話機やインターホンからの着信の着信音を変えることができます。[工事者設定537]
  この設定はDILIN番号ごとに設定された着信音より優先して機能します。
- 「内線ホットライン」（P2-33の「知っていると便利なこと」）による呼出も、内線一般着信を利用してグループ内の複数の電話機に着信させることができます。[工事者設定504]

グループごとの内線番号で通話する(内線一般着信)

保留する

内線一般着信で受けた通話は、[DILIN]ボタンに保留できます。

1 通話中に[保留]ボタンを押す

- [DILIN]ランプ（緑）が周期的に2回点滅します。
- 相手の方には保留音が流れます。

補足説明

●保留操作後にハンドセットを置くまでは自己保留状態となり、他の電話機で保留に応答することはできません。ハンドセットを置くと一般保留となり、他の電話機でも保留に応答できるようになります。また、自己保留中は[保留]ボタンを押すと通話に戻ることができます。転送先を呼び出しているとき、転送先が呼べず話中音（ツーツー・・・）を聞いているとき、転送先と通話中のときも[保留]ボタンを押すと元の通話に戻ります。

●一般保留中は他の電話機の[DILIN]ランプは赤点滅します。

●[着信]ボタンを使っているときには、[パーク]ボタンに保留します。

●ボタン電話機以外でも保留したり転送したりすることができます。単独電話機の場合は、通常の内線通話と同様にフッキング操作で保留し、自己保留中はフッキング操作で通話に戻ることができます。⇒P5-170、5-171

ご注意

●内線一般着信で受けた通話を他の電話機に転送することができます。保留するとスペシャルダイヤルトーン（ツッツッツ・・・）が聞こえますので、転送したい相手の内線番号を押します。ただし、簡易転送はできませんので、必ず相手が応答してから転送操作を行ってください。⇒P2-52

知っていると便利なこと

●内線一般着信の保留は通常の内線保留と異なり、一般保留状態が2分以上経過しても保留状態を継続します。

保留に応答する

[DILIN]ボタンを押すと、保留に応答できます。

1 ハンドセットをとる

2 保留点滅している[DILIN]ボタンを押す

- 保留した相手の方と通話できます。

補足説明

●[DILIN]ボタンを押してからハンドセットをとっても保留に応答できます。

●[着信]ボタンを使っているときには、保留点滅している[パーク]ボタンを押してください。

●ボタン電話機以外でも保留応答することもできます。[DILIN]ボタンのない電話機は、以下の操作を行います（ボタン電話機でも可能）。

・PHS/DCLの場合・・・[通話]ボタンを押したあと、[保留]ボタンを押します。

・単独電話機の場合・・・ハンドセットを上げたあと、保留応答番号を押します。

※グループ内の内線一般着信の保留のみ応答できます。複数の保留があるときは、下記の順位で応答します。

①自分が保留した外線（複数ある場合は最後に保留した外線）
②他人が保留した外線（特番操作時のみ）
③通常の内線保留
④自分が保留した内線一般着信（発信側）の通話
⑤自分が保留した内線一般着信（着信側）の通話
⑥他人が保留した内線一般着信（発信側）の通話
⑦他人が保留した内線一般着信（着信側）の通話

ご注意

●[保留]ボタンや保留応答番号で保留に応答する場合、外線の保留や内線通話の保留があると、これらの保留に応答し、内線一般着信の保留には応答できません。
内線一般着信を保留したボタン番号がわかっている場合は、ボタン指定捕捉（P5-26）で保留に応答することができます。

内線一般着信を外線に自動転送する

内線一般着信でかかってきた電話を外線に自動的に転送することができます。

転送先を登録／変更する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
535	内線一般着転送（820）	

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈内線一般着信転送〉を呼び出す

① ⊡ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊡ を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、⊡ を押します。
④「7 内線一般着信転送」を選択し、⊡ を押します。

<留守番機能>
4 留守録通知先
5 留守録応答時間
6 転送電話発信用外線
7 内線一般着信転送
◀戻る ◆決定 次頁▶

2 ⊡ で「2 転送先」を選択し、⊡ を押す

<内線一般着信転送>
1 転送方法
2 転送先
◀戻る ◆決定

3 転送したいDILIN番号を選択する

• DILIN番号は内線一般着信のグループを表します。

<転送先>
01 DILIN01
02 DILIN02
03 DILIN03
04 DILIN04
◀戻る ◆決定 次頁▶

4 転送先番号を選択し、⊡ を押す

• 転送先は、⊡ もしくはダイヤルボタンで選択します。

<転送先>
DILIN01
1 高橋携帯
2 0312345678
3 小嶋携帯番号
◀戻る ◆編集

5 転送先の電話番号を入力し、⊡ を押す

<転送先登録> DILIN01
01:0904444XXXX・・・・・
・・・・・・・
■電話番号入力
クリア消去
◀ 決定

6 登録完了画面が表示される

• 終了する場合は、⊡ を押します。
• ⊡ を押すと操作3に戻り、登録／変更を繰り返すことができます。

<転送先登録> DILIN01
01:0904444XXXX

高橋携帯
■登録完了!
終了 継続▶

補足説明

●共通電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。
●転送先はDILIN番号１つにつき３ヶ所まで登録できます。
●着信してから転送開始するまでの時間を設定できます。[工事者設定535]
●入力できる電話番号は24桁までです。
●転送先を消去するには、操作４で電話番号をすべて消去した状態で ⊡ を押してください。
●転送先を呼び出している間、内線一般着信を継続させることもできます。[工事者設定535]
●同時転送を選んだ場合、内線一般着信は無条件で継続します。

ご注意

●転送先との通話は、保留できません。

内線一般着信を外線に自動転送する

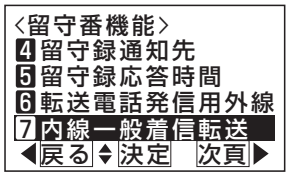
転送方法を設定する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
535	–	–

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈内線一般着信転送〉を呼び出す

① ⊡ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊡ を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、⊡ を押します。
④「7 内線一般着信転送」を選択し、⊡ を押します。



2 ⊡ で「1 転送方法」を選択し、⊡ を押す

3 設定したいDILIN番号を選択する

• DILIN番号は内線一般着信のグループを表します。

4 ⊡ で転送方法を選択し、⊡ を押す

順次転送：
転送先１～３を順番に呼び出します。
同時転送：
転送先１～３を同時に呼び出します。

5 設定完了画面が表示される

• 終了する場合は、⊡ を押します。
• ⊡ を押すと操作3に戻り、設定を繰り返すことができます。

転送を設定／解除する

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 内線一般着転送 ボタンを押す

• 内線一般着転送 ランプが点灯し機能が設定されます。
• もう一度ボタンを押すとランプが消え機能は解除されます。

ご注意

●フリーダイヤルなどの応答信号のない番号を転送先に設定することはできません。
●PBXの内線に収容されている場合は転送できません。
●インターホンからの着信の転送先を、さらに専用線に転送する設定はしないでください。
●夜間切替と連動して設定を切り替えることができます。［工事者設定535］

内線一般着信を外線に自動転送する

かけてきた方の名前をアナウンスする

内線の名称を録音しておくと、転送先が応答したときに音声メッセージとして流すことができます。音声メッセージは下記の操作で録音してください。本機能で使うメッセージは「内線音声名称」と呼びます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-6	−	−

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■メッセージを録音する

1 メニューから〈内線音声名称〉を呼び出す

① [決定] を押します。
②「**5** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[決定] を押します。
③「**6** 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、[決定] を押します。
④「**4** 内線音声名称」を選択し、[決定] を押します。

<応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR>
1 ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ 登録
2 留守番用ﾒｯｾｰｼﾞ 設定
3 電話帳音声名称
4 内線音声名称
◀戻る ▲▼ 決定 次頁▶

2 ダイヤルボタンでヨミガナを入力し、[決定] を押す

<内線音声名称>
名称:7･･･
1 ｱｲｳｴｵｧｨｳｪｫ1@.
クリア 最終桁消去
切替 内線番号検索
◀戻る 決定 ▶

3 [▲▼] で名称を登録したい内線を選択し、[決定] を押す

- 音声名称の登録状況が表示されます。
  済：登録済み
  未：未登録

<内線音声名称>
18 浅田課長 済
14 天田○○子 未
2104 ｳｴﾀﾞﾃﾞｽｸ 済
2103 江○明 済
◀戻る ▲▼ 決定 再生▶

4 [▲▼] で「**1** 登録/変更」を選択し、[決定] を押す

<内線音声名称>
1 登録/変更
2 消去
◀戻る ▲▼ 決定

5 ハンドセットを上げて録音開始音「ピー」が聞こえるのを待つ

<内線音声名称登録>
内線18
浅田課長
■ﾊﾝﾄﾞｾｯﾄを上げ、
ﾋﾟｰの後に録音開始
◀戻る

6 録音開始音「ピー」が聞こえたら録音したい内容を話す

- 録音が終わったら [決定] を押してハンドセットを置きます。

<内線音声名称登録>
内線18
浅田課長
■完了時:完了を押す
完了

7 録音完了画面が表示される

<内線音声名称登録>
内線18
浅田課長
■録音完了!
終了 継続▶

補足説明

- 操作2で [代理応答/切替] ボタンを押すと、内線番号検索モードになります。内線番号を直接入力して録音先を指定することができます。内線番号を入力したあとは操作3に進みます。
- 操作3で [決定] を押すと、選択されている内線の音声名称が2回再生されます。
- 操作4で「**2** 消去」を選択し [決定] を押すと、メッセージを消去することができます。消去の確認画面で [決定] を押してください。

<内線音声名称消去>
内線18
浅田課長
■消去しますか?
◀戻る 消去

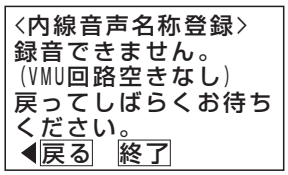
内線一般着信を外線に自動転送する

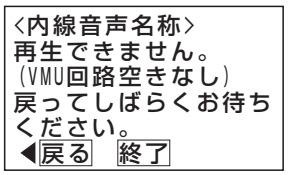
補足説明（つづき）

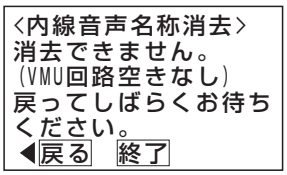
●メッセージは転送先が応答したあとに2回流れます。
●メッセージが録音されていない場合、メッセージは「転送します。」になります。

ご注意

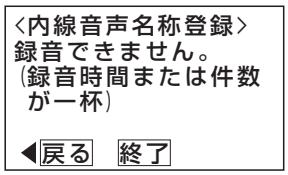
●転送元アナウンスに使用するボイスメモを全回線使用している場合はメッセージはアナウンスされません。
●メッセージの録音や再生、消去をするときに次のエラー画面が表示されることがあります。



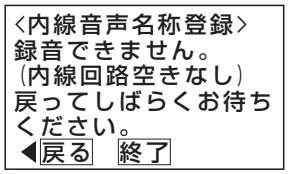


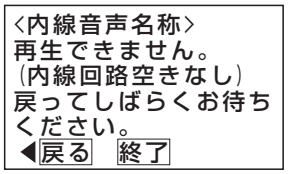


ボイスメモを全回線使用している状態です。
を押して前の画面に戻り、しばらく待ってから録音／再生／消去してください。

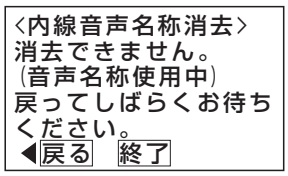


ボイスメモに空き容量がない状態です。
不要なメッセージを消去して録音してください。





内線通話路に空きがない状態です。
を押して前の画面に戻り、しばらく待ってから録音／再生してください。



メッセージを使用中です。しばらく待ってから消去してください。

知っていると便利なこと

●ボイスメモに録音したすべてのメッセージ（留守録ボックスや内線ボックスの用件メッセージ、応答メッセージを含む）を一括で消去することができます。⇒P4-35

電話帳を登録する

電話帳について

本装置で扱う電話帳は、以下の２種類があります。

- 共通電話帳
  電話機グループごとに利用できる電話帳です。
  アクセスした電話機が所属する電話機グループが利用できる電話帳データ（他のグループからはアクセスできません）と、システム内のすべての電話機から利用できる電話帳データから構成されています。
- マイ電話帳
  それぞれの電話機専用の電話帳です。他の電話機からはアクセスできません。

電話帳で使う短縮番号は100件単位で管理し、各電話機グループがそれぞれを独占して利用します。
電話帳の構成／設定については、販売店にお問い合わせください。

例）電話機グループ1…短縮番号0000～0499を利用
電話機グループ2…短縮番号0500～1999を利用
電話機グループ3…短縮番号2000～2999を利用
全電話機グループ…短縮番号3000～4999を利用
マイ電話帳…短縮番号9000～9999を利用
電話機グループ1の電話機は、短縮番号0000～0499、3000～4999のデータを利用できます。
各電話機は、マイ電話帳として短縮番号9000～9999のデータを利用できます。

ご注意

●着信時に相手区分ごとに動作する下記の機能は、「共通電話帳」に登録した電話番号が対象になります。これらの機能をご利用する場合は「共通電話帳」に登録してください。
・特定者留守モード（相手区分指定）⇒P4-57
・特定の番号からの電話を識別する・優先して受ける（着信識別）⇒P5-35

電話帳を登録する

共通電話帳の登録

相手の方の電話番号、名前、ヨミガナを電話帳に登録することができます。登録できる件数はP3-14をご覧ください。

登録した内容を変更したり消去したりする場合は、「電話帳を変更／消去する」をご覧ください。⇒P3-26

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(108,117)	−	−

▶ 指定電話機：共通電話帳編集用電話機

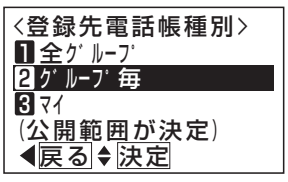
グループ内だけからアクセスできるデータを登録する場合を例に説明します。

1 メニューから〈登録先電話帳種別〉を呼び出す

① [OK] を押します。
②「1 電話帳」を選択し、[OK] を押します。
③「2 電話帳管理」を選択し、[OK] を押します。
④「1 電話帳登録」を選択し、[OK] を押します。

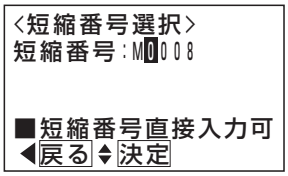
2 〈登録先電話帳種別〉画面となるので、「2ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎」を選択し、[OK] を押す

- すべての電話機から利用するデータを登録するときは「1 全ｸﾞﾙｰﾌﾟ」を選択してください。



3 〈短縮番号選択〉画面となるので、[OK] を押す

- 登録されていない短縮番号が表示されます。
- 短縮番号を変更する場合は、短縮番号を入力してください。
- 短縮番号の入力後は [OK] を押すと、短縮番号を検索することもできます。
  また、短縮番号の再入力もできます。



4 〈電話帳登録〉画面が表示されるので、各項目を登録する

- 登録方法は「電話帳の各項目の登録方法」(P3-6) をご覧ください。

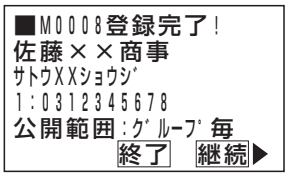
名前入力欄
ヨミガナ入力欄
電話番号入力欄
相手区分選択欄

5 すべて登録が完了したら、[OK] を押す

- 表示されている内容が登録されます。
- [OK] を押すと操作3に戻ることができます。

6 登録完了画面となる

- 終了する場合は、[OK] を押します。
- [OK] を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。



電話帳を登録する

補足説明

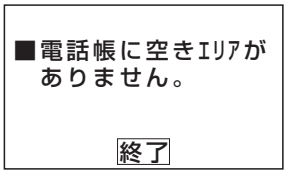
●操作４でさらに を押すと、相手区分や付加情報も選択、登録できます。

●付加情報は、電話帳データを表示したり着信したときに、名前といっしょに表示します。コメントやメモの代わりにお使いください。

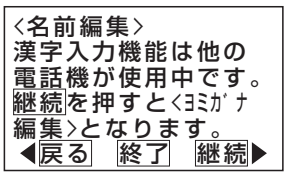
●操作１の③で**「3 電話帳編集（管理者）」**を選ぶと、すべての共通電話帳データを編集できます。短縮番号を選んで編集してください。（データ設定用電話機No.1のみ）

ご注意

●電話帳に空きがない場合は、操作２のあとで下記の表示となります。新規登録したい場合は、不要な電話帳データを消去してください。⇒P3-27



●漢字入力は同時に複数の電話機で使用することができません。他の電話機が漢字入力しているときは下記の表示となります。



を押すと操作４に戻り、他の項目の編集を行うことができます。

を押すと電話帳登録を終了します。

を押すと＜ﾖﾐｶﾞﾅ編集＞画面となります。

●電話帳の検索はヨミガナで行われるので必ず入力してください。名前編集で入力したカナでヨミガナが登録されますが、必要に応じて修正してください。ヨミガナ欄が空欄の場合、“＊”が自動的に登録されます。

知っていると便利なこと

●相手区分の設定を行うと、電話帳や電話がかかってきたときの着信音、メッセージランプの色をグループごとに分けることができます。⇒P5-35

電話帳を登録する

マイ電話帳の登録

「マイ電話帳」は各電話機でのみ使える電話帳です。「共通電話帳」とは別に、個人的に使う電話番号を登録して利用することができます。登録できる件数はP3-14をご覧ください。

登録した内容を変更したり消去したりする場合は、「電話帳を変更／消去する」をご覧ください。⇒P3-26

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(108,117)	−	−

1 メニューから〈登録先電話帳種別〉を呼び出す

① ▣ を押します。
②「**1** 電話帳」を選択し、▣ を押します。
③「**2** 電話帳管理」を選択し、▣ を押します。
④「**1** 電話帳登録」を選択し、▣ を押します。

```
〈電話帳管理〉
1 電話帳登録
2 電話帳編集
3 電話帳編集(管理者)
4 相手区分名登録
◀戻る ▲▼決定 次頁▶
```

2 〈登録先電話帳種別〉画面となるので、「**3** ﾏｲ」を選択し、▣ を押す

```
〈登録先電話帳種別〉
1 全ｸﾞﾙｰﾌﾟ
2 ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎
3 ﾏｲ
(公開範囲が決定)
◀戻る ▲▼決定
```

3 〈短縮番号選択〉画面となるので、▣ を押す

- 登録されていない短縮番号が表示されます。
- 短縮番号を指定する場合は、番号を入力してください。
- 短縮番号の入力後は ▣ で短縮番号の検索ができます。
  また、短縮番号の再入力もできます。

```
〈短縮番号選択〉
短縮番号:M0012


■短縮番号直接入力可
◀戻る ▲▼決定
```

4 〈電話帳登録〉画面が表示されるので、各項目を登録する

- 登録方法は「電話帳の各項目の登録方法」(P3-6) をご覧ください。

名前入力欄 -
ヨミガナ入力欄 -
電話番号入力欄 -

```
〈電話帳登録〉    M0012
-名前-
-ﾖﾐｶﾞﾅ-
1:-電話番号-
◀戻る ▲▼編集 完了▶
```

5 すべて登録が完了したら、▣ を押す

- 表示されている内容が登録されます。
- ▣ を押すと操作3に戻ることができます。

```
〈電話帳登録〉    M0012
佐藤××商事
ｻﾄｳXXｼｮｳｼﾞ
0012:0312341234
2:-電話番号-
◀戻る ▲▼編集 完了▶
```

6 登録完了画面となる

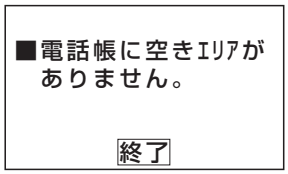
- 終了する場合は、▣ を押します。
- ▣ を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。

```
■M0012登録完了!
佐藤××商事
ｻﾄｳXXｼｮｳｼﾞ
1:0312341234
公開範囲:ﾏｲ
終了 継続▶
```

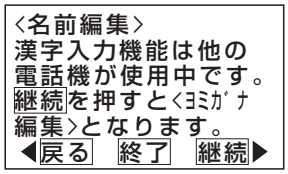
電話帳を登録する

ご注意

●電話帳に空きがない場合は、操作2のあとで下記の表示となります。新規登録したい場合は、不要な電話帳データを削除してください。⇒P3-27



●漢字入力は同時に複数の電話機で使用することができません。他の電話機が漢字入力しているときは下記の表示となります。



を押すと操作4に戻り、他の項目の編集を行うことができます。

を押すと電話帳登録を終了します。

を押すと＜ﾖﾐｶﾞﾅ編集＞画面となります。

●電話帳の検索はヨミガナで行われるので必ず入力してください。

名前編集で入力したカナでヨミガナが登録されますが、必要に応じて修正してください。

ヨミガナ欄が空欄の場合、“＊”が自動的に登録されます。

電話帳を登録する

電話帳の各項目の登録方法

■名前を登録する

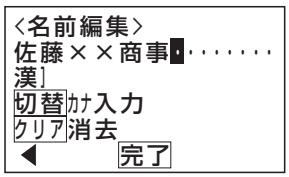
電話帳の名前を登録／変更するには下記のように操作します。ヨミガナのみを登録／変更することもできます。

1 ◈で名前入力欄を選択し、◈を押す

名前入力欄－
ヨミガナ入力欄－

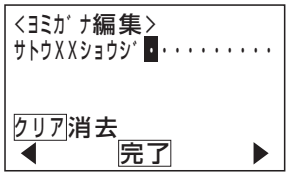
2 ダイヤルボタンで相手名称を入力し、◈を押す

- 名称は全角で10文字まで入力できます。
- 詳しい方法は、「文字入力方法」（P3-15）をご覧ください。



3 ヨミガナを入力し、◈を押す

- 名名前編集で入力したカナがヨミガナとして表示されます。
- 表示されているヨミガナを訂正する場合は、◈を押してカーソル（▮）を訂正したい位置に移動し、消去または入力を行ってください。
- 入力した文字はカーソルの位置に挿入されます。
- クリアボタンを押すと、カーソル位置の文字を消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、最後の一文字が消去されます。
- ヨミガナは半角20文字まで入力できます。



4 登録された内容が表示される

補足説明

- 名前は全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号以外に、半角のカタカナ、英数字、記号も入力できます。
- クリアボタンを長押し（2秒以上）すると、カーソルから後ろの文字をすべて消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、すべての文字を消去します。

電話帳を登録する

■電話番号を登録する

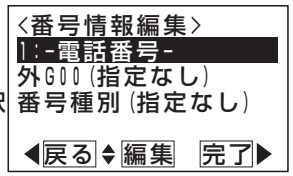
電話番号を登録／変更するには下記のように操作します。電話番号は、電話帳データ１つにつき３つまで登録できます。

1 ◎で電話番号入力欄を選択し、◎を押す

電話番号入力欄

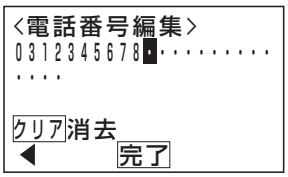
2 〈番号情報編集〉画面となるので、そのまま◎を押す

電話番号１を選択したとき

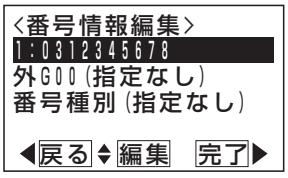


3 電話番号（最大24桁）を入力し、◎を押す

- 市外局番から、入力してください。
- 入力した文字はカーソルの位置に挿入されます。
- クリアボタンを押すと、カーソル位置の文字を消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、最後の一文字が消去されます。



4 登録された内容が表示されるので、◎を押す



5 電話番号入力欄２または３を選択し、◎を押す

- 電話番号を複数（３つまで）入力できます。
- これ以降、操作２～５を繰り返します。

補足説明

●クリアボタンを長押し（2秒以上）すると、カーソルから後ろの文字をすべて消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、すべての文字を消去します。

●短縮ダイヤル発信やワンタッチダイヤルで使用する電話番号は、電話番号入力欄１に入力してください。

ご注意

●下記の表示が出たときは同じ電話番号がすでに設定されています。

◎を押すと操作３に戻り、電話番号を修正することができます。

◎を押すと同じ電話番号で登録します。ただし、着信時に表示する名称（ナンバー・ディスプレイ利用時）はこれらの中で一番小さい短縮番号に登録されている内容となります。

知っていると便利なこと

●本機と同じ市外局番の場合には、それを省略して電話番号を登録することができます。この場合でも、ナンバーディスプレイ時に共通電話帳に登録した名称を表示できます。[工事者設定229-1]

電話帳を登録する

■外線自動発信グループを選択する

共通電話帳で外線自動発信グループを設定しておくと、相手によって使用する回線を自動選択することができます。外線自動発信グループを選択するには下記のように操作します。

1 ⊡で電話番号入力欄を選択し、⊡を押す

電話番号入力欄

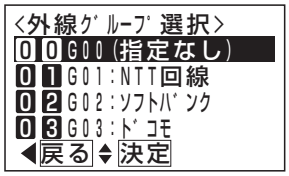
2 ⊡で外線自動発信グループ欄を選択し、⊡を押す

外線自動発信グループ選択欄

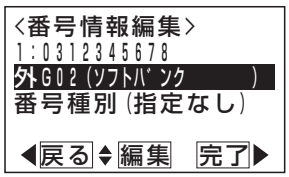
電話番号1を選択したとき

3 ⊡で登録するグループを選択し、⊡を押す

- グループ1～16（G01～G16）を選択できます。



4 登録された内容が表示される



補足説明

- ●選択するグループによっては外線自動発信できなくなる場合がありますので、使用できるグループに関しては販売店にお問い合わせください。
- ●発信の方法は、「電話番号によって使用する回線を自動選択する（特定番号迂回発信）」をご覧ください。⇒P5-1
- ●外線グループを「G00（指定なし）」とした場合は、電話番号によって回線が自動選択されます。電話番号による回線の自動選択は設定が必要です。［工事者設定142］
- ●外線自動発信グループは登録した電話番号それぞれに登録できます。

電話帳を登録する

■番号種別を選択する

番号種別を選択するには下記のように操作します。「マイ電話帳」は選択できません。

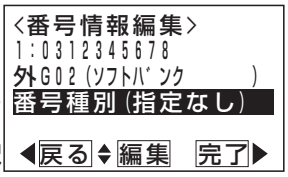
1 ◈で電話番号入力欄を選択し、◈を押す

電話番号入力欄

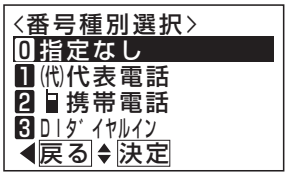
2 ◈で番号種別欄を選択し、◈を押す

番号種別欄

電話番号1を選択したとき



3 ◈で登録する番号種別を選択し、◈を押す



4 登録された内容が表示される

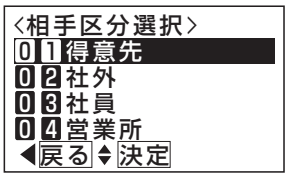
■相手区分を選択する

相手区分を選択するには下記のように操作します。「マイ電話帳」は選択できません。

1 ◈で相手区分選択欄を選択し、◈を押す

相手区分選択欄

2 ◈で登録する相手区分を選択し、◈を押す



3 登録された内容が表示される

補足説明

- ●設定した番号種別は電話帳検索の際に表示されます。
  電話番号の右端に以下のマークを表示します。
  指定なし…表示は無し　　ダイヤルイン…DI
  代表番号…㈹　　FAX…FAX
  携帯電話…
- ●番号種別は登録した電話番号それぞれに登録できます。

電話帳を登録する

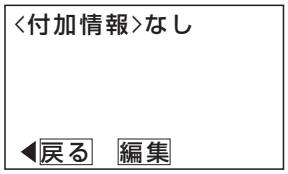
■付加情報の表示モードを選択する

付加情報を選択するには下記のように操作します。

1 ◉で付加情報選択欄を選択し、◉を押す

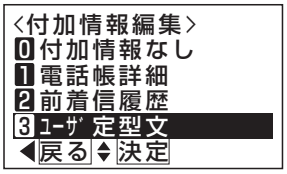
付加情報選択欄→

2 現在の設定が表示されるので◉を押す



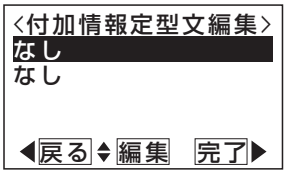
3 ◉で付加情報の表示モードを選択し、◉を押す

・「3 ﾕｰｻﾞ定型文」以外を選択すると操作7に移行します。

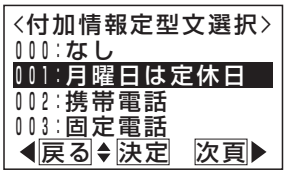


4 ◉で行を選択し、◉を押す

・定型文は2行分指定できます。



5 ◉で定型文を選択し、◉を押す



6 選択された定型文が表示されるので、完了する場合は◉を押す

・◉を押すと操作5に戻ります。

7 登録された内容が表示される

補足説明

●付加情報の表示モードの説明
- 電話帳詳細：ヨミガナと相手区分を表示
- 前着信履歴：前回の着信日時と応答結果を表示
- ﾕｰｻﾞ定型文：ユーザが登録した定型文(P3-13)を表示

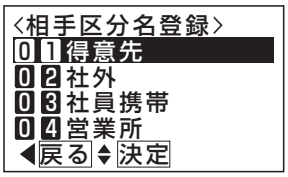
電話帳を登録する

相手区分名を登録する

▶ 指定電話機：共通電話帳編集用電話機

1 メニューから〈相手区分名登録〉を呼び出す

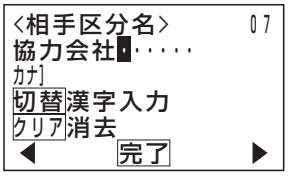
① [中央] を押します。
②「**1 電話帳**」を選択し、[中央] を押します。
③「**2 電話帳管理**」を選択し、[中央] を押します。
④「**4 相手区分名登録**」を選択し、[中央] を押します。



2 [中央] で相手区分名を登録したい番号を選選択し、[中央] を押す

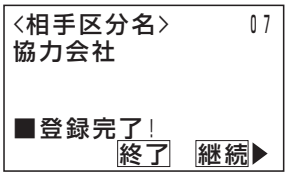
3 ダイヤルボタンで相手区分名を入力し、[中央] を押す

- ディスプレイの右上に現在登録中の番号が表示されます。
- 相手区分名は全角で7文字まで入力できます。
- 詳しい方法は、「文字入力方法」（P3-15）をご覧ください。



4 登録完了画面となる

- 終了する場合は、[中央] を押します。
- [中央] を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。



補足説明

- ●相手区分名は全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号以外に、半角のカタカナ、英数字、記号も入力できます。
- ●クリアボタンを長押し（2秒以上）すると、カーソルから後ろの文字をすべて消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、すべての文字を消去します。

電話帳を登録する

外線自動発信グループ名を登録する

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから〈外線ｸﾞﾙｰﾌﾟ名登録〉を呼び出す

①[決定]を押します。

②「**1 電話帳**」を選択し、[決定]を押します。

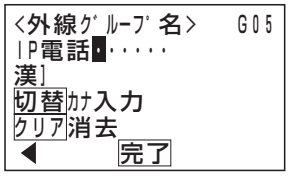
③「**2 電話帳管理**」を選択し、[決定]を押します。

④「**5 外線ｸﾞﾙｰﾌﾟ名登録**」を選択し、[決定]を押します。

2 [決定]で名前を登録したいグループを選択し、[決定]を押す

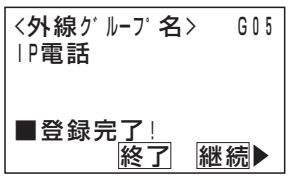
3 ダイヤルボタンでグループ名を入力し、[決定]を押す

- ディスプレイの右上に現在登録中のグループ番号が表示されます。
- グループ名は全角で6文字まで入力できます。
- 詳しい方法は、「文字入力方法」（P3-15）をご覧ください。



4 登録完了画面となる

- 終了する場合は、[終了]を押します。
- [決定]を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。



補足説明

- グループ名は全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号以外に、半角のカタカナ、英数字、記号も入力できます。
- [クリア]ボタンを長押し（2秒以上）すると、カーソルから後ろの文字をすべて消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、すべての文字を消去します。

電話帳を登録する

付加情報定型文を登録する

▶ 指定電話機：共通電話帳編集用電話機

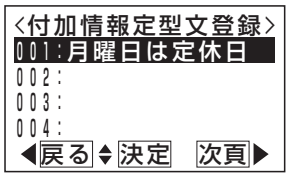
1 メニューから〈付加情報定型文登録〉を呼び出す

① [決定] を押します。

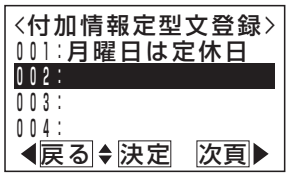
②「**1 電話帳**」を選択し、[決定] を押します。

③「**2 電話帳管理**」を選択し、[決定] を押します。

④「**6 付加情報定型文登録**」を選択し、[決定] を押します。

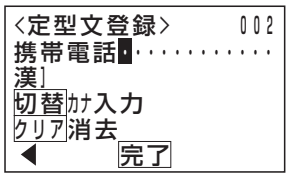


2 [決定] で登録したい番号を選択し、[決定] を押す



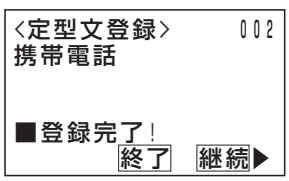
3 ダイヤルボタンで文章を入力し、[決定] を押す

- 付加情報は全角で10文字まで入力できます。
- 詳しい方法は、「文字入力方法」（P3-15）をご覧ください。



4 登録完了画面となる

- 終了する場合は、[決定] を押します。
- 続けて登録するときは、[決定] を押し、操作2から繰り返してください。



補足説明

- 定型文は999件（001～999）まで登録できます。
- 定型文は全角の漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号以外に、半角のカタカナ、英数字、記号も入力できます。
- [クリア] ボタンを長押し（2秒以上）すると、カーソルから後ろの文字をすべて消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、すべての文字を消去します。

電話帳を登録する

補足説明

●短縮番号はシステムで10000件（短縮番号0000～9999）まで利用できます。
短縮番号0000～9999は共通電話帳、各電話機のマイ電話帳で共用となります。
マイ電話帳は電話機ごとに30件まで使用できます。

●PBX内線に主装置が接続されている場合、PBX経由で外線発信する場合に必要な0ダイヤルは自動的に挿入されますので、登録は不要です。（設定によっては、挿入されない場合もあります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

●相手番号として短縮ダイヤルに登録できるもの（詳しい使い方については、販売店にお問い合わせください。）

項　　目	入力ボタン	LCD表示	説明
ダイヤル0～9、＊、＃	0～9、＊、＃	0～9、＊、＃	
ポーズ	リダイヤル	P	ポーズ時間（※1）
トーン切替（ダイヤル回線のとき）	＃	＃	1桁目に登録したときは無効
ハイフン“ー”表示	代理応答／切替	ー	（※2）
ワンタッチチェーンダイヤル	短縮／電話帳＋×××× 短縮番号	M××××	短縮ダイヤルに短縮番号を登録すると、1回の短縮ダイヤル操作で最大48桁のダイヤルを外線に送出することができます。（※3）

※1：ISDN回線を使用している場合は、相手の電話番号＋ポーズ＋…は登録できません。（発信不可となります。）

※2：PBX内線に主装置が接続されていて短縮ダイヤルにPBX内線番号を登録する場合などは、先頭に代理応答/切替ボタンを登録させます。通常は表示されませんが、ワンタッチチェーンダイヤルの中に登録された短縮ダイヤルの場合は表示されます。（ダイヤル1個分）

※3：短縮ダイヤル発信時に押す短縮番号の桁数を1～3桁に変更することもできますが（P3-19）、ワンタッチチェーンダイヤルは4桁の短縮番号を登録します。

知っていると便利なこと

●電話機グループごとに共通電話帳を設定することができます。電話機グループや各種設定については販売店にご相談ください。[工事者設定108]

●共通電話帳に登録があると、以下の場合に登録した名称を表示します。
- プリセットダイヤルの相手
- 外線着信の相手
- 発信履歴
- 着信履歴
- 転送電話の転送先

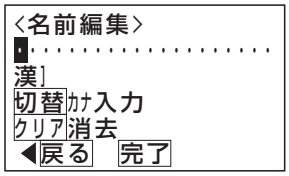
電話帳を登録する

文字入力方法

■漢字を入力する

1 文字入力状態になったら…

- ディスプレイの3行目に現在の入力モードが表示されます。
  漢]：漢字入力モード
  ｶﾅ]：カナ入力モード
- 代理応答/切替ボタンを押すたびに、「漢字入力モード」、「カナ入力モード」が交互に切り替わります。
- 2行目に文字がないときに ▶ を押すと、前の画面に戻ります。2行目に文字があるときは、▶ を押すとカーソル（▮）位置が移動し、文字を入力する位置を指定できます。
- クリアボタンを押すと、カーソル位置の文字を消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、最後の一文字を消去します。
- クリア ボタンを長押し（2秒以上）したときの動作は、P3-17 をご覧ください。

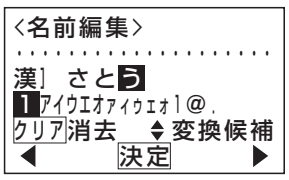


2 代理応答/切替 ボタンを押し、漢字入力モードに切り替える

- 「漢字入力モード」になっている場合は、操作不要です。

3 ダイヤルボタン（0〜9、＊）で文字を入力し、▶を押す

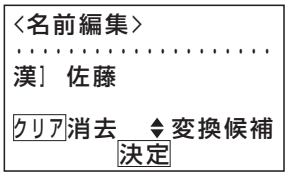
- ダイヤルボタンと表示文字の関係は「補足説明」（P3-17）をご覧ください。
- 「ひらがな」のまま登録する場合は、▶ を押さずに ▶ を押してください。
- ▶ を押すとカーソル（▮）位置が移動し、文字を入力する位置を指定できます。
- クリアボタンを押すと、カーソル位置の文字を消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、最後の一文字を消去します。



確定エリア
入力文字(かな)
対応文字

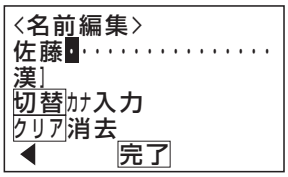
4 ▶で変換候補を選択し、▶を押す

- 変換候補は3行目に表示されます。
- カタカナは、▶ を押すと速く検索できます。
- 変換候補がない場合は、クリアボタンを押すと操作3（文字未入力状態）に戻り、文字入力をやり直すことができます。



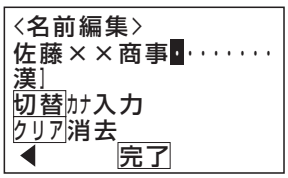
5 確定エリアに文字が追加される

- 以降の操作は、3〜5を繰り返してください。



6 入力が完了したら▶を押す

- ▶ を押したあと、入力済の文字が登録され、＜ヨミｶﾞﾅ編集＞画面に切り替わります。



電話帳を登録する

■カナを入力する

1 文字入力状態になったら…

- ディスプレイの3行目に現在の入力モードが表示されます。
  漢]：漢字入力モード
  ｶﾅ]：カナ入力モード
- 代理応答/切替ボタンを押すたびに、「漢字入力モード」、「カナ入力モード」が交互に切り替わります。
- 2行目に文字がないときに を押すと、前の画面に戻ります。2行目に文字があるときは、 を押すとカーソル（▮）位置が移動し、文字を入力する位置を指定できます。
- クリアボタンを押すと、カーソル位置の文字を消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、最後の一文字を消去します。

<名前編集>
▮・・・・・・・・・・・・・・・・・・
漢]
切替ｶﾅ入力
クリア消去
◀戻る　完了

2 代理応答/切替 ボタンを押し、カナ入力モードに切り替える

- カナ入力モードになっている場合は操作不要です。

<名前編集>
▮・・・・・・・・・・・・・・・・・・
ｶﾅ]
切替漢字入力
クリア消去
◀戻る　完了　▶

3 ダイヤルボタン（0〜9、¥）で文字を入力する

- ダイヤルボタンと表示文字の関係は「補足説明」（P3-17）をご覧ください。
- を押すとカーソル（▮）位置が移動し、文字を入力する位置を指定できます。
- クリアボタンを押すと、カーソル位置の文字を消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合は、最後の一文字を消去します。

<名前編集>
ｲ▮・・・・・・・・・・・・・・・・・
ｶﾅ]
切替漢字入力
クリア消去
◀　完了　▶

4 入力が完了したら を押す

- を押したあと、入力済の文字が登録され、＜ﾖﾐｶﾞﾅ編集＞画面に切り替わります。

<名前編集>
ｲﾛﾊ▮・・・・・・・・・・・・・・・・
ｶﾅ]
切替漢字入力
クリア消去
◀　完了　▶

電話帳を登録する

補足説明

●入力ボタンに対応する文字は下記のとおりです。
文字に対応したボタンを繰り返し押して入力したい文字を表示させます。
続けて同じボタンの文字を入力するときは、▶を押してカーソルを右に移動させます。
次に入力する文字が違うボタンのときは、次のボタンを押すと自動的にカーソルが右に移動します。

ダイヤル	表示文字（漢字入力）	表示文字（カナ入力）
1	あいうえおぁぃぅぇぉ１@.	アイウエオァィゥェォ１@.
2	かきくけこAaBbCc2	カキクケコAaBbCc2
3	さしすせそDdEeFf3	サシスセソDdEeFf3
4	たちつてとっ GgHhIi4	タチツテトッ GgHhIi4
5	なにぬねのJjKkLl5	ナニヌネノJjKkLl5
6	はひふへほMmNnOo6	ハヒフヘホMmNnOo6
7	まみむめもPpQqRrSs7	マミムメモPpQqRrSs7
8	やゆよゃゅょ TtUuVv8	ヤユヨャュョ TtUuVv8
9	らりるれろWwXxYyZz9	ラリルレロWwXxYyZz9
0	わをん0 () □＃＊ー／：＝ 📱 ㊊	ワヲン0 () ▯＃＊ー／：＝
＊	゛゜（濁点、半濁点に変換）	゛゜

□は全角スペースを示します。
▯は半角スペースを示します。
“📱”（携帯電話マーク）および“㊊”（代表マーク）を入力した場合、ヨミガナは自動入力されません。

●「漢字入力モード」では漢字（第1、2水準）、ひらがな、全角カタカナ、全角英数字、全角記号が入力できます。
●「カナ入力モード」では、半角カタカナ、半角英数字、半角記号が入力できます。
●クリアボタンを長押し（2秒以上）すると、カーソルから後ろの文字をすべて消去します。カーソルが最後の文字の次にある場合には、すべての文字を消去します。

ご注意

●入力文字数は制限があります。
（1）電話帳の名前　：全角10文字
（2）電話帳のヨミガナ　：半角20文字
（3）電話帳の相手区分名　：全角7文字
（4）電話帳の外線自動発信グループ名：全角6文字
（5）付加情報定型文　：全角10文字
（6）内線名称　：全角10文字
（7）ドアホン／センサ名称　：全角5文字
（8）ワイヤレス呼出ボタン名称　：全角4文字

電話帳を使って電話をかける

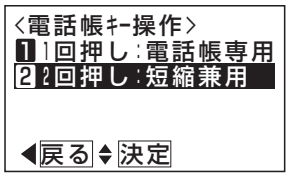
短縮／電話帳（電話帳）キー操作設定

電話機ごとに電話帳キーの操作設定をする事ができます。

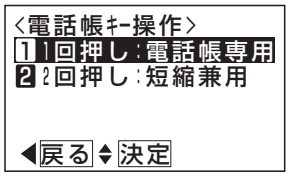
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
110-1	−	−

1 メニューから〈電話帳ｷｰ操作〉を呼び出す

①▣を押します。
②「4 電話機毎機能設定」を選択し、▣を押します。
③「0 その他」を選択し、▣を押します。
④「1 電話帳ｷｰ操作」を選択し、▣を押します。

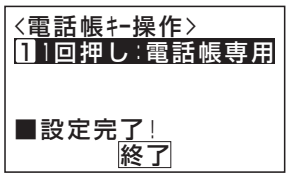


2 ▣で使用するモードを選選択し、▣を押す



3 設定完了画面となる

- ▣を押すと終了します。



ご注意

●「1回押し」（初期設定）を選択した場合は、ハンドセットをとらずに電話帳ボタンを押して短縮ダイヤル発信（P3-19）を行うことはできません（外線を選んでかける場合、ハンドセットを上げてからかける場合を除く）。

電話帳を使って電話をかける

短縮番号を指定して電話をかける

相手の方の電話番号を電話帳に登録しておくと、「短縮番号」をダイヤルするだけで、電話をかけることができます（短縮ダイヤル発信）。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(103,108,110, 116,731-1)	–	–

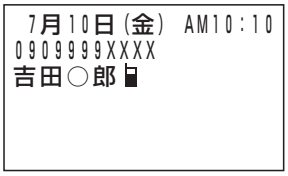
■外線を選ばずにかける場合

1 ハンドセットをとり、内線発信音（ツツツ…）を聞いてから 電話帳 ボタンを押す

- 内線 ボタンを押してから 電話帳 ボタンを押すこともできます。
- ＊ ボタンを押すこともできます。

2 相手の短縮番号を押す

- 電話番号1に登録されている番号が自動的にダイヤルされます。



- ディスプレイに相手の方の電話番号と名前が表示されます。

■外線を選んでかける場合

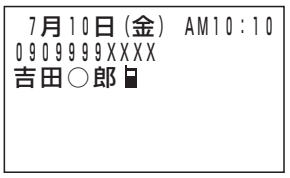
1 外線 ボタンを押す

- スピーカ ランプが点灯し、外線 ランプ（緑）が点灯し周期的に2回消えます。
- スピーカから発信音（ツー）が聞こえます。

2 電話帳 ボタンを押す

3 相手の短縮番号を押す

- 電話番号1に登録されている番号が自動的にダイヤルされます。
- ディスプレイに相手の方の電話番号と名前が表示されます。



ご注意

●外線ワンタッチ発信機能が「なし」に設定されている場合は、ハンドセットを上げてから発信操作をしてください。[工事者設定103]

知っていると便利なこと

●短縮ダイヤル発信時に押す短縮番号は初期設定では4桁（電話帳内の短縮番号と同一桁数）ですが、主装置側の設定により1～3桁に変更することもできます。ただし、1～3桁の場合は使用できる短縮番号が限定されますので、電話帳を登録する場合は指定する短縮番号に注意してください。[工事者設定110]
- 1桁の場合…短縮番号は0～9を押します（短縮番号0000～0009のみ使用可能）。
- 2桁の場合…短縮番号は00～99を押します（短縮番号0000～0099のみ使用可能）。
- 3桁の場合…短縮番号は000～999を押します（短縮番号0000～0999のみ使用可能）。

※電話帳等の登録操作で入力する短縮番号や電話帳検索等で表示される短縮番号は、短縮ダイヤル発信時の桁数の設定に関係なく4桁固定です。

●短縮番号の上位桁が0（ゼロ）の場合に、0を除いた下桁だけをダイヤルすることができます。[工事者設定110] 短縮番号をダイヤルしたあとで、オフフックするか スピーカ を押してください。

●「電話帳 キー操作設定（P3-18）が「短縮兼用」になっている場合は、ハンドセットをとらずに 電話帳 ボタンを押すことができます。

●プリセットダイヤル（P2-2）の設定が「不可」になっている場合（初期設定：不可）は、ハンドセットを取らずに ＊ ボタンを押すことができます。[工事者設定107]

●電話帳 +短縮番号の操作に続けて、電話帳 +短縮番号の操作を行う「チェーンダイヤル機能」を利用すると、最大48桁まで※のダイヤルをすることができます。ただし、ISDN回線やIP回線（IPCOI使用時）の場合は、すぐにダイヤルを開始しないように設定する必要があります。[工事者設定731-1]
※ISDN回線、IP回線（IPCOI使用時）は最大32桁

●1桁目に ＊ を設定した特番を使うときは、＊ ボタンによる短縮発信機能は無効にする必要があります。[工事者設定110]

電話帳を使って電話をかける

短縮番号の登録内容を確認して電話をかける

相手の方の電話番号を電話帳に登録しておくと、短縮番号を直接指定して登録内容を確認してから電話をかけることができ、さらに前後の短縮番号の登録内容を確認することができます（番号確認／検索発信）。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
103,110	−	−

■短縮内容を確認する

1 ハンドセットを置いたまま 電話帳 ボタンを押す

2 相手の短縮番号（4桁）を押す

3 表示された名前、電話番号でよい場合は、空いている 外線 ボタンを押す

- ▲▼ を押すと、短縮番号順に電話帳を表示できます。短縮番号を間違えたときなどに利用できます。
- i ボタンを押すと、発信を中止できます。
- ストレートラインDIの場合は、DILIN ボタンを押します。

<番号確認/検索発信>
吉田○郎
M0000:0909999XXXX
区分(01)
i中止
▲▼

4 発信画面となる

7月10日(金) AM10:10
0909999XXXX
吉田○郎

補足説明

- 本機能は電話機ごとに設定することができます。[工事者設定110]
- 外線 ボタンを押す代わりに、ハンドセットをとるか スピーカ ボタンを押して電話をかけることもできます。[工事者設定110]
- プリセットダイヤルの設定が「不可」になっている場合（初期設定：不可）は、操作1で メ ボタンを押すこともできます。[工事者設定107]

ご注意

- 「短縮／電話帳キー操作設定」（P3-18）が「電話帳専用」（初期値）になっている場合は、本機能を利用できません。[工事者設定110]
- 短縮ダイヤル発信時に入力する短縮番号の桁数を1～3桁に変更することもできますが（P3-19）、番号確認／検索発信の場合は、4桁の短縮番号を押します。
- 短縮番号の上位桁が0（ゼロ）の場合に、0を除いた下桁だけをダイヤルすることができます。[工事者設定110]
  短縮番号をダイヤルしたあとで、# を押してください。
- 電話番号1に登録されている番号で発信します。電話番号2や3で発信したいときは、電話帳を検索して発信（P3-21～）してください。

電話帳を使って電話をかける

ヨミガナで検索して電話をかける

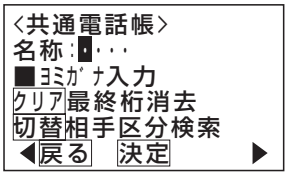
電話帳に登録したヨミガナで相手を探して電話をかけることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(110-1)	−	−

1 メニューから〈共通電話帳〉を呼び出す

① ⊙ を押します。

②「**1 電話帳**」を選択し、⊙ を押します。



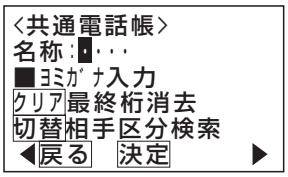
③「**1 電話帳検索**」を選択し、⊙ を押します。

④「**1 共通電話帳検索**」を選択し、⊙ を押します。

- 電話帳 ボタンを押しても（設定によっては2回押す）＜共通電話帳＞を呼び出せます。

2 ダイヤルボタン（0〜9、＊）で文字を入力し、⊙ を押す

- ダイヤルボタンと表示文字の関係は「補足説明」をご覧ください。
  例）1 を押した場合は、“ア”が入力されます。



3 相手名称一覧が表示される

4 ⊙ を押し、かけたい相手を選んで 外線 ボタンを押す

- ⊙ を押すと、前後の4件を表示します。
- 代理応答/切替 ボタンを押すたびに、表示方法（番号／詳細／一覧）が切り替わります。
- クリア ボタンを押すと操作2に戻り、入力をやり直すことができます。
- i ボタンまたは 電話帳 ボタンを押すと、電話帳検索を終了します。
- ストレートラインDIの場合は、DILIN ボタンを押します。

5 発信画面となる

- 選んだ相手の電話番号1が自動的にダイヤルされます。

補足説明

●濁点等を含めて最大4文字入力できます。

●入力ボタンに対応する文字は「文字入力方法」の補足説明（P3-17）をご覧ください。

●詳細表示画面の説明：

●操作4で ⊙ を押すと、＜機能選択＞画面が表示されます。「**1 発信**」が選択されているので、そのまま ⊙ を押すと発信することができます。

また、「**2 番号選択発信**」を選択すると、電話番号を複数登録しているときに、選択して発信することができます。

ご注意

●P3-24をご覧ください。

知っていると便利なこと

●P3-24をご覧ください。

電話帳を使って電話をかける

相手区分で検索して電話をかける

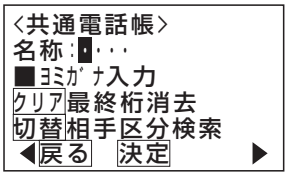
共通電話帳の相手区分を指定し、その登録データの中から相手を探して電話をかけることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(110-1)	−	−

1 メニューから〈共通電話帳〉を呼び出す

① ▣ を押します。

②「**1** 電話帳」を選択し、▣ を押します。

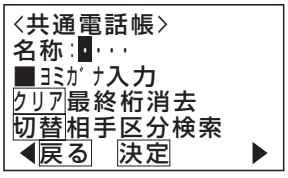


③「**1** 電話帳検索」を選択し、▣ を押します。

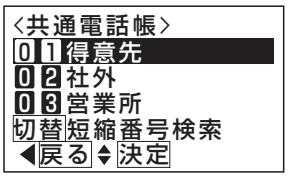
④「**1** 共通電話帳検索」を選択し、▣ を押します。

- 電話帳 ボタンを押しても（設定によっては2回押す）＜共通電話帳＞を呼び出せます。

2 ヨミガナ入力画面となるので、代理応答/切替 ボタンを押す



3 ▣ を押して相手区分選択し、▣ を押す



4 ▣ を押し、かけたい相手を選んで 外線 ボタンを押す

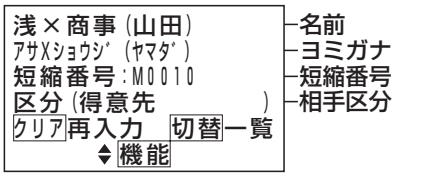
- ▣ を押すと、前後の4件を表示します。
- 代理応答/切替 ボタンを押すたびに、表示方法（番号／詳細／一覧）が切り替わります。
- クリア ボタンを押すと操作3に戻り、相手区分選択をやり直すことができます。
- i ボタンまたは 電話帳 ボタンを押すと、電話帳検索を終了します。
- ストレートラインDIの場合は、DILIN ボタンを押します。

5 発信画面となる

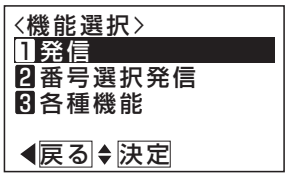
- 選んだ相手の電話番号1が自動的にダイヤルされます。

補足説明

●詳細表示画面の説明：



●操作4で ▣ を押すと、＜機能選択＞画面が表示されます。「**1** 発信」が選択されているので、そのまま ▣ を押すと発信することができます。



また、「**2** 番号選択発信」を選択すると、電話番号を複数登録しているときに、選択して発信することができます。

ご注意

●P3-24をご覧ください。

知っていると便利なこと

●P3-24をご覧ください。

電話帳を使って電話をかける

短縮番号で検索して電話をかける

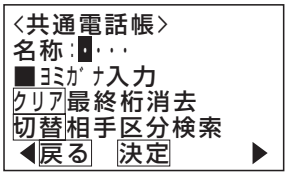
共通電話帳の短縮番号から相手を探して電話をかけることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(110-1)	−	−

1 メニューから〈共通電話帳〉を呼び出す

① ▣ を押します。

②「**1** 電話帳」を選択し、▣ を押します。

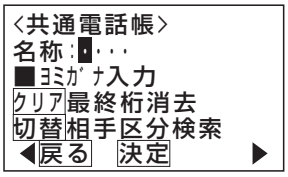


③「**1** 電話帳検索」を選択し、▣ を押します。

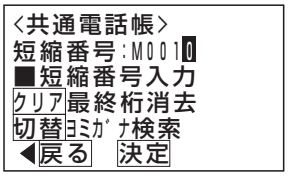
④「**1** 共通電話帳検索」を選択し、▣ を押します。

- 電話帳 ボタンを押しても（設定によっては2回押す）＜共通電話帳＞を呼び出せます。

2 ヨミガナ入力画面となるので、代理応答/切替 ボタンを2回押す

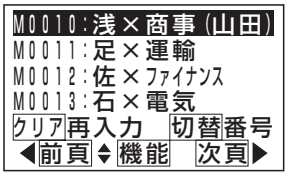


3 短縮番号を入力し、▣ を押す



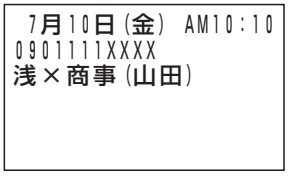
4 ▣ を押し、かけたい相手を選んで 外線 ボタンを押す

- ▣ を押すと、前後の4件を表示します。
- 代理応答/切替 ボタンを押すたびに、表示方法（番号／詳細／一覧）が切り替わります。
- クリア ボタンを押すと操作3に戻り、入力をやり直すことができます。
- i ボタンまたは 電話帳 ボタンを押すと、電話帳検索を終了します。
- ストレートラインDIの場合は、DILIN ボタンを押します。



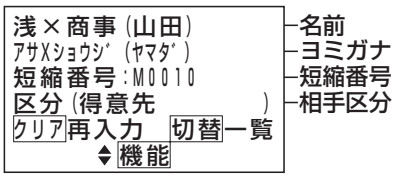
5 発信画面となります

- 選んだ相手の電話番号1が自動的にダイヤルされます。

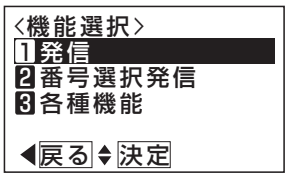


補足説明

●詳細表示画面の説明：



●操作4で ▣ を押すと、＜機能選択＞画面が表示されます。「**1** 発信」が選択されているので、そのまま ▣ を押すと発信することができます。



また、「**2** 番号選択発信」を選択すると、電話番号を複数登録しているときに、選択して発信することができます。

ご注意

●短縮ダイヤル発信時に入力する短縮番号の桁数を1～3桁に変更することもできますが（P3-19）、短縮番号を検索して電話をかけるときは、電話帳に登録した4桁の短縮番号を入力します。

●その他の注意事項に関しては、P3-24をご覧ください。

知っていると便利なこと

●P3-24をご覧ください。

電話帳を使って電話をかける

マイ電話帳を検索して電話をかける

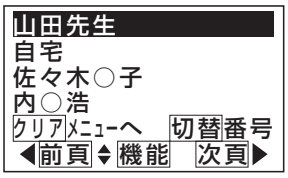
マイ電話帳から相手を選んで電話をかけることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(110-1)	−	−

1 メニューから〈ﾏｲ電話帳〉を呼び出す

①▣を押します。

②「1 電話帳」を選択し、▣を押します。

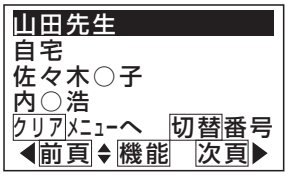


③「1 電話帳検索」を選択し、▣を押します。

④「2 ﾏｲ電話帳検索」を選択し、▣を押します。

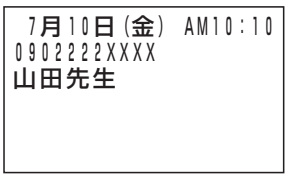
2 ▣を押し、かけたい相手を選んで 外線 ボタンを押す

- ▣を押すと、前後の4件を表示します。
- 代理応答/切替ボタンを押すたびに、表示方法（番号／詳細／一覧）が切り替わります。
- クリアボタンを押すとメニュー画面に戻ります。
- iボタンまたは電話帳ボタンを押すと、電話帳検索を終了します。
- ストレートラインDIの場合は、DILINボタンを押します。



3 発信画面となる

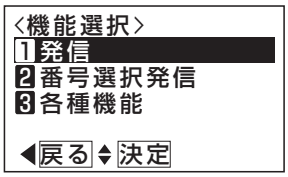
- 検索した相手の電話番号が自動的にダイヤルされます。



補足説明

●詳細表示画面の説明：

●操作2で▣を押すと、＜機能選択＞画面が表示されます。「1 発信」が選択されているので、そのまま▣を押すと発信することができます。



また、「2 番号選択発信」を選択すると、電話番号を複数登録しているときに、選択して発信することができます。

ご注意

●電話帳の表示中は、検索操作、発信操作以外はできません。また、着信も受け付けません。

●特定の電話機のみ呼び出す着信があったときは、電話帳検索はできません。

例）・内線着信
- ダイヤルイン（DI）着信
- ダイレクトインダイヤル（DID）着信
- 発番号ホットライン
- 外線簡易転送での呼出（着信音転送）
- オートマチックリコール
- コールバック着信　など

知っていると便利なこと

●通話中に電話帳を検索することができます。検索するにはiボタン＋電話帳ボタンを2回押します。終了する場合はiボタンまたは電話帳ボタンを押します。

●外線ボタンを押す代わりに、ハンドセットをとるかスピーカボタンを押して電話をかけることもできます。[工事者設定110-1]

●共通電話帳のヨミガナ入力画面（P3-21の操作2）、相手区分選択画面（P3-22の操作2、3）、短縮番号入力画面（P3-23の操作2、3）のいずれかで#を押すと、マイ電話帳に切り替えることができます。

●電話帳の検索方法を、あらかじめ設定しておくことができます。⇒P3-25

電話帳を使って電話をかける

電話帳の検索方法の設定を変更する

電話帳を検索するときの検索方法を、
「ヨミガナ検索」
「相手区分検索」
「短縮番号検索」
から選択できます。初期設定は「ヨミガナ検索」です。

1 メニューから〈電話帳初期画面〉を呼び出す

①[決定]を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、[決定]を押します。
③「**3 LCD/着信ﾗﾝﾌﾟ設定**」を選択し、[決定]を押します。
④「**6 履歴等初期画面**」を選択し、[決定]を押します。
⑤「**4 電話帳初期画面**」を選択し、[決定]を押します。

〈電話帳初期画面〉
1 ﾖﾐｶﾞﾅ検索
2 相手区分検索
3 短縮番号検索
◀戻る ▲▼決定

2 [決定]で検索方法を選択し、[決定]を押す

- 現在の設定が反転表示されます。

〈電話帳初期画面〉
1 ﾖﾐｶﾞﾅ検索
2 相手区分検索
3 短縮番号検索
◀戻る ▲▼決定

3 設定完了画面が表示される

- [決定]を押すと、終了します。

〈電話帳初期画面〉
2 相手区分検索
■設定完了!
終了

電話帳を変更／消去する

電話帳（共通電話帳・マイ電話帳）に登録した内容を変更したり、消去したりすることができます。登録データを検索したあと機能選択をして変更／消去を行います。
以下の説明は「共通電話帳」の例で記載しています。共通電話帳を変更／消去できるのは、共通電話帳編集用電話機のみです。「マイ電話帳」の場合は画面が一部異なりますが同様に操作してください。

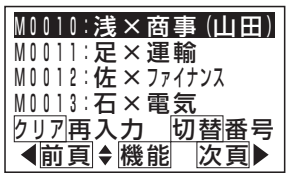
■電話帳の登録データを変更する

最初に、変更したい登録データを共通電話帳から検索します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(108,110-1)	−	−

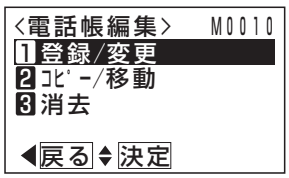
1 修正したい登録データを共通電話帳から検索し、[OK]を押す

- 検索方法は、「電話帳を使って電話をかける」をご覧ください。
⇒P3-21～3-24
- 一覧表示、詳細表示、番号表示のいずれで検索しても構いません。



2 [OK]で「3 各種機能」を選択し、[OK]を押す

3 [OK]で「1 登録/変更」を選択し、[OK]を押す



4 変更したい項目を[OK]で選び[OK]を押す

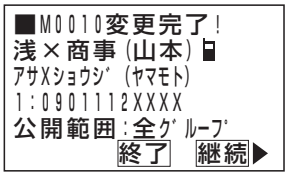
- 以降の操作は、「電話帳を登録する」をご覧ください。
⇒P3-2

5 編集が終わったら、[OK]を押す

- [OK]を押すと操作3に戻ることができます。

6 完了画面となる

- [OK]を押すと、終了します。



知っていると便利なこと

●メニューから電話帳を変更することもできます。
① [OK]を押します。
②「1 電話帳」を選択し、[OK]を押します。
③「2 電話帳管理」を選択し、[OK]を押します。
④「2 電話帳編集」を選択し、[OK]を押します。
⑤「1 共通電話帳／2 ﾏｲ電話帳」のいずれかを選択し、[OK]を押します。
⑥短縮番号を入力して、[OK]を押します。
＜電話帳編集＞画面が呼び出されるので、操作3から操作してください。

●[i]ボタン＋[電話帳]ボタンを押しても、＜電話帳編集＞画面（短縮番号入力画面）を呼び出すことができます。
共通電話帳編集用電話機の場合は、設定により、「共通電話帳」／「マイ電話帳」のいずれかの画面となります。[工事者設定108]
また、＜電話帳編集＞画面表示後に[電話帳]ボタンを押すと「共通電話帳」／「マイ電話帳」を切り替えることができます。「公開範囲」部分の表示で、電話帳種別を確認できます。

●操作4で電話番号入力欄を選択して[代理応答/切替]ボタンを押すと、＜優先番号設定＞画面が表示されます。電話番号1に設定する電話番号を切り替えることができます。

電話帳を変更／消去する

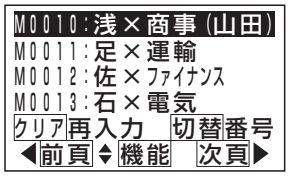
■電話帳の登録データを消去する

最初に、消去したい登録データを共通電話帳から検索します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(110-1)	−	−

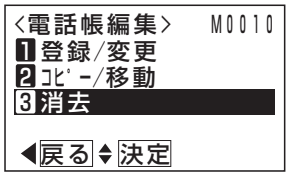
1 消去したい登録データを共通電話帳から検索し、[決定]を押す

- 検索方法は、「電話帳を使って電話をかける」をご覧ください。
⇒P3-21～3-24
- 一覧表示、詳細表示、番号表示のいずれで検索しても構いません。



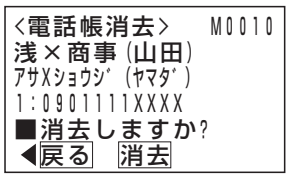
2 [▲▼]で「3 各種機能」を選択し、[決定]を押す

3 [▲▼]で「3 消去」を選択し、[決定]を押す



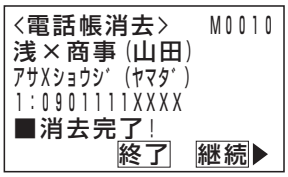
4 消去してよい場合は、[決定]を押す

- [決定]を押すと操作3に戻ります。



5 消去完了画面となる

- [決定]を押すと終了します。
- [決定]を押すと、消去した電話帳の編集画面に戻り、操作を繰り返すことができます。



ご注意

●<電話帳変更>画面で電話番号だけを消去した場合は、空きの扱いとなりません。消去する場合は、操作3で「3 消去」を選択してください。

知っていると便利なこと

●メニューから電話帳を消去することもできます。

①[i]を押します。

②「1 電話帳」を選択し、[決定]を押します。

③「2 電話帳管理」を選択し、[決定]を押します。

④「2 電話帳編集」を選択し、[決定]を押します。

⑤「1 共通電話帳／2 ﾏｲ電話帳」のいずれかを選択し、[決定]を押します。

⑥短縮番号を入力して、[決定]を押します。

<電話帳編集>画面が呼び出されるので、操作3から操作してください。

●[i]ボタン+[電話帳]ボタンを押しても、<電話帳編集>画面（短縮番号入力画面）を呼び出すことができます。

共通電話帳編集用電話機の場合は、設定により、「共通電話帳」／「マイ電話帳」のいずれかの画面となります。[工事者設定108]

また、<電話帳編集>画面表示後に[電話帳]ボタンを押すと「共通電話帳」／「マイ電話帳」を切り替えることができます。「公開範囲」部分の表示で、電話帳種別を確認できます。

電話帳を変更／消去する

■電話帳の登録データを一括消去する

電話帳に登録したデータをまとめて消去することができます。
以下の3つの方法があります。
「マイ電話帳」：
　お使いの電話機の「マイ電話帳」のすべての登録データを消去します。
「共通電話帳」：
　共通電話帳のすべての登録データを消去します。「マイ電話帳」は消去されません。
「全電話帳」：
　システム内のすべての電話帳のすべての登録データを消去します。
　主装置を入れ替えたり廃棄したりする場合に使用してください。
操作方法はいずれの場合も同じです。ここでは「マイ電話帳」を例に説明します。

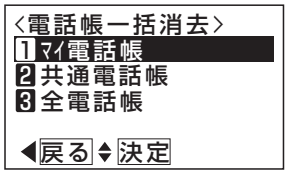
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
108	−	−

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1（「マイ電話帳」は除く）

1 メニューから〈電話帳一括消去〉を呼び出す

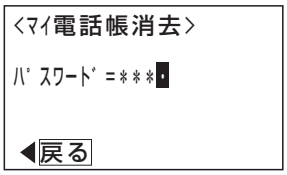
① ⊡ を押します。
②「**1** 電話帳」を選択し、⊡ を押します。
③「**2** 電話帳管理」を選択し、⊡ を押します。
④「**7** 電話帳一括消去」を選択し、⊡ を押します。

2 「**1** ﾏｲ電話帳」を選択し、⊡ を押す

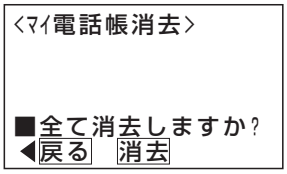


3 内線パスワード（4桁）を入力する

- パスワード未設定時は、パスワード入力は省略されます。
- パスワードを間違えた場合は、パスワード入力待ち状態に戻ります。

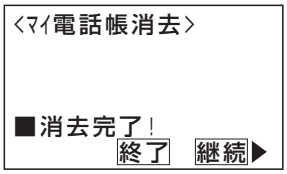


4 消去確認画面が表示されるので、⊡ を押す



5 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、⊡ を押します。
- ⊡ を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。



ご注意

- ●他の電話機の「マイ電話帳」を消去することはできません。各電話機から操作してください。
- ●電話帳の登録データの一括消去は、すべての電話機が待機状態のときに行ってください。
- ●「共通電話帳」または「全電話帳」を一括消去するときは、ユーザ用パスワードを入力してください。

電話帳を変更／消去する

■電話帳の登録データをコピー／移動する

すでに共通電話帳に登録してあるデータを別の短縮番号にコピー／移動できます。同じような内容のデータを登録するときに使うと便利です。
「短縮番号0010のデータを短縮番号1000にコピーする場合」を例に説明します。

▶ 指定電話機：共通電話帳編集用電話機

1 コピー／移動したい登録データを共通電話帳から検索し、を押す

- 検索方法は、「電話帳を使って電話をかける」をご覧ください。
  ⇒P3-21～
- 一覧表示、詳細表示、番号表示のいずれで検索しても構いません。

```
M0010:浅×商事(山田)
M0011:足×運輸
M0012:佐×ファイナンス
M0013:石×電気
クリア再入力 切替番号
◀前頁 ◆機能 次頁▶
```

2 で「3 各種機能」を選択し、を押す

```
<機能選択>
1 発信
2 番号選択発信
3 各種機能

◀戻る ◆決定
```

3 で「2 ｺﾋﾟｰ/移動」を選択し、を押す

```
<電話帳編集>    M0010
1 登録/変更
2 ｺﾋﾟｰ/移動
3 消去

◀戻る ◆決定
```

4 ダイヤルボタンでコピー先の短縮番号を入力し、を押す

```
<ｺﾋﾟｰ/移動>     M0010
登録先短縮番号:M1000
公開範囲:全ｸﾞﾙｰﾌﾟ

■登録先短縮番号入力
◀戻る ◆決定
```

5 そのままを押す

- データを移動するときは「2 電話帳移動」を選択してください。

```
<ｺﾋﾟｰ/移動>     M0010
1 電話帳ｺﾋﾟｰ
2 電話帳移動

◀戻る ◆決定
```

6 確認画面が表示されるので、を押す

- やり直すときはを押してください。

```
<電話帳ｺﾋﾟｰ>    M0010
登録先短縮番号:M1000
公開範囲:全ｸﾞﾙｰﾌﾟ

■登録しますか?
◀戻る  決定
```

7 登録完了画面が表示される

- を押すと終了します。
- 続けてコピーするときは、を押してください。

```
<電話帳ｺﾋﾟｰ>    M0010
登録先短縮番号:M1000
公開範囲:全ｸﾞﾙｰﾌﾟ

■M1000登録完了!
        終了 継続▶
```

ご注意

●他の電話機グループが使う電話帳にコピー／移動することはできません。他の電話機グループが使う電話帳にコピー／移動するときはP3-31をご覧ください。

電話帳を変更／消去する

知っていると便利なこと

●メニューから電話帳をコピー／移動することもできます。

①[OK]を押します。

②「**1 電話帳**」を選択し、[OK]を押します。

③「**2 電話帳管理**」を選択し、[OK]を押します。

④「**2 電話帳編集**」を選択し、[OK]を押します。

⑤「**1 共通電話帳**」を選択し、[OK]を押します。

⑥短縮番号を入力して、[OK]を押します。

＜電話帳編集＞画面が呼び出されるので、操作3から操作してください。

電話帳を変更／消去する

■電話帳の登録データをコピー／移動する（管理者）

管理者は、共通電話帳データをコピー／移動することができます。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

1 メニューから〈電話帳編集〉を呼び出す

① を押します。
②「**1** 電話帳」を選択し、 を押します。
③「**2** 電話帳管理」を選択し、 を押します。
④「**3** 電話帳編集（管理者）」を選択し、 を押します。

<電話帳編集> M0020
残数 9975
■短縮番号直接入力可
ｸﾞﾙｰﾌﾟ電話帳番号:00
◀戻る ▲▼決定

2 ダイヤルボタンでコピー元の短縮番号を入力し、 を押す

<電話帳編集> M0010
浅×商事(山田)
ｱｻﾋｼｮｳｼﾞ(ﾔﾏﾀﾞ)
1:0901111XXXX
ｸﾞﾙｰﾌﾟ電話帳番号:00
◀戻る ▲▼決定

3 で「**2** ｺﾋﾟｰ/移動」を選択し、 を押す

<電話帳編集> M0010
1 登録/変更
2 ｺﾋﾟｰ/移動
3 消去
◀戻る ▲▼決定

4 ダイヤルボタンでコピー先のグループ電話帳番号を入力し、 を押す

<ｺﾋﾟｰ/移動> M0010
ｸﾞﾙｰﾌﾟ電話帳番号:02
■登録先ｸﾞﾙｰﾌﾟ電話帳番号入力
◀戻る ▲▼決定

5 ダイヤルボタンでコピー先の短縮番号を入力し、 を押す

<ｺﾋﾟｰ/移動> M0010
ｸﾞﾙｰﾌﾟ電話帳番号:02
登録先短縮番号:M2000
■登録先短縮番号入力
◀戻る ▲▼決定

6 そのまま を押す

- データを移動するときは「**2** 電話帳移動」を選択してください。

<ｺﾋﾟｰ/移動> M0010
1 電話帳ｺﾋﾟｰ
2 電話帳移動
◀戻る ▲▼決定

7 確認画面が表示されるので、 を押す

<電話帳ｺﾋﾟｰ> M0010
ｸﾞﾙｰﾌﾟ電話帳番号:02
登録先短縮番号:M2000
■登録しますか?
◀戻る 決定

8 登録完了画面が表示される

- を押すと終了します。
- 続けてコピーするときは、 を押し、操作2から繰り返してください。

<電話帳ｺﾋﾟｰ> M0010
ｸﾞﾙｰﾌﾟ電話帳番号:02
登録先短縮番号:M2000
■M2000登録完了!
終了 継続▶

留守番機能について

業務終了後や休日など、不在のときは留守切替ボタンや夜間切替( )ボタンを押すことにより、かかってきた電話に対し、携帯電話などに転送したり（転送電話モード）、相手の方の用件を録音したり（留守録モード）、業務終了の音声メッセージを流したり（応答専用モード）することができます。これらの機能を総称して「留守番機能」といいます。
留守番機能でよく使うモードのボタンを作っておけば、ワンタッチで転送電話や留守録を選択することができます。

プログラマブルキーで設定する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401	留守切替（981）*	−

＊または夜間切替00（600）～夜間切替48（648）の他、必要なもの（⇒補足説明）

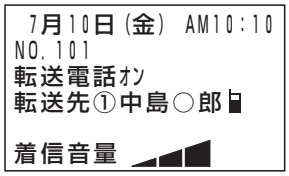
▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■ 留守切替 ボタンで設定する

留守切替ボタンを押した後、各モードのボタンを押すことにより、希望の留守番モードへ切替できます。
対象となる外線は強制的に留守番モードとなります。他の機能は切り替わりません。

1 留守切替 ボタンを押す

- 留守切替 ボタンが点灯します。
- 現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- 現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。



2 設定するモードのボタンを押す

- 設定したモードボタンのランプが点灯します。
- 設定したモードがディスプレイに表示されます。
（ 不応答転送 ボタンを押した例）

3 転送電話の場合は、転送先( ) ボタンを押す（必要時）
留守録モード、応答専用モード、発信者選択モードの場合は、メッセージ( ) ボタンを押す（必要時）

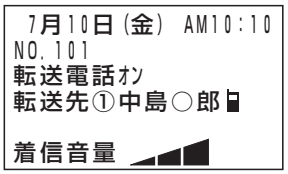
- 選択した転送先( ) ランプまたは メッセージ( ) ランプが点灯します。
- 転送電話の場合は、選択した転送先の電話番号（または名称）がディスプレイに表示されます。

■ 夜間切替( ) ボタンで設定する

夜間切替( ) ボタンを押した後、各モードのボタンを押すことにより、希望の留守番モードへ切替できます。
留守番機能以外に、他の機能も夜間モードになります。

1 夜間切替( ) ボタンを押す

- 夜間切替( ) ボタンが点灯します。
- 現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- 現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。



2 設定するモードのボタンを押す

- 設定したモードボタンのランプが点灯します。
- 設定したモードがディスプレイに表示されます。
（ 不応答転送 ボタンを押した例）

3 転送電話の場合は、転送先( ) ボタンを押す（必要時）
留守録モード、応答専用モード、発信者選択モードの場合は、メッセージ( ) ボタンを押す（必要時）

- 選択した転送先( ) ランプまたは メッセージ( ) ランプが点灯します。
- 転送電話の場合は、選択した転送先の電話番号（または名称）がディスプレイに表示されます。

留守番機能について

補足説明

●選択できるモードは下記のとおりです。

モードNo.	モード名	プログラマブルキー	機能
モード01	転送電話モード	転送電話	通常の転送電話です。
モード02	追っかけ転送モード	追っかけ転送	1カ所目が応答しない場合は、2カ所目に転送します。
モード03	ツイン転送モード	ツイン転送	2カ所同時に呼び出し、先に応答した方に接続します。
モード04	不応答後転送モード	不応答転送	一定時間応答しなかったときに、転送電話を行います。
モード05	不応答後追っかけ転送モード	不応答追っかけ	一定時間応答しなかったときの、追っかけ転送モードです。
モード06	不応答後ツイン転送モード	不応答ツイン	一定時間応答しなかったときの、ツイン転送モードです。
モード07	留守録モード	留守録	留守録を行います。
モード08	応答専用モード	応答専用	自動的に応答メッセージを流したあと、電話を切ります。
モード09	お話し中モード	話中処理	話中音（ツーツー…）を電話をかけてきた方に聞かせます。
モード10	発信者選択モード（転送／留守録）	転送／留守録	電話をかけてきた方の操作で、転送電話または留守録を行います。
モード11	通常着信モード	通常着信	通常に着信させます。
モード12	留守録＋転送モード	留守録＋転送	留守録を外出先の電話機でモニタすることができます。

●操作3で、転送先( )ボタンの代わりに転送先( )切替ボタンを押して、転送先番号を順次切り替えることができます。
●操作3で、メッセージ( )ボタンの代わりにメッセージ切替ボタンを押して、メッセージ番号を順次切り替えることができます。
●留守切替を設定すると、着信種別に関係なく、テナント内の全ての外線またはDILIN番号が「留守番機能」となります。
●夜間切替を設定すると、テナント内の外線またはDILIN番号のうち、夜間の着信種別が「留守番機能」に設定されているもののみ「留守番機能」となります。また、着信鳴動電話機など、他の機能も同時に夜間モードに切り替わります。
●転送先( )ボタンまたは転送先①切替ボタンは、転送電話のモード（モード01～06）、発信者選択モード（モード10）、留守録＋転送モード（モード12）のときに押すことができます。また、モード02，03，05，06の場合は、2個の転送先( )ボタンまたは転送先①切替ボタンおよび転送先②切替ボタンを押してください。
●メッセージ( )ボタンまたはメッセージ切替ボタンは、応答時にメッセージを流す留守録モード（モード07）、応答専用モード（モード08）、発信者選択モード（モード10）、留守録＋転送モード（モード12）のときに押すことができます。同じメッセージ( )ボタンを押しても、相手の方に流す応答メッセージは留守番機能のモードによって異なります。
●発信者選択モード（モード10）、留守録＋転送モード（モード12）のときは、転送先( )ボタンまたは転送先①切替ボタンとメッセージ( )ボタンまたはメッセージ切替ボタンを押すことができます。どちらを先に押しても構いません。
●転送電話モードや不応答後転送モードで転送先を指定したとき、指定した番号が共通電話帳に登録されている場合は、電話番号の代わりに名前が表示されます。
●本機能は外線のテナントごとに独立して設定できます。また、留守切替・夜間切替やモードの設定ができる電話機はテナントごとに16台まで（同時操作は1台）です。

知っていると便利なこと

●留守番機能の各モードの選択や、夜間切替のON／OFF、留守切替のON／OFF等は、外出先からのリモート操作で行うこともできます。⇒P4-60
●他のテナントの夜間切替を行える電話機に設定されていると、夜間切替00ボタンを押すことにより、すべてのテナントを夜間状態にすることができます。［工事者設定401］
ただし、モードの選択、転送先の選択、メッセージの選択は操作した電話機が含まれるテナントに対して行います。
●留守番機能をプログラマブルキーで設定した場合、設定した内容を音声で流すことができます（設定完了アナウンス）。⇒P7-26
●留守番機能設定時にあらかじめ登録した電話番号（特定者）から電話がかかってくると、通常とは異なる留守番のモードを利用することができます。⇒P4-54

留守番機能について

メニュー機能で設定する

メニュー機能を利用すると、留守切替 ボタンや夜間切替( ) ボタンがなくても留守番機能をセットすることができます。ここではメニュー機能による留守切替および夜間切替操作を説明します。

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401	−	−

■留守切替を設定する

1 メニューから〈留守切替〉を呼び出す

① を押します。
②「3 各種機能切替」を選択し、 を押します。
③「1 留守切替」を選択し、 を押します。

2 で「1 ON」を選択し、 を押す

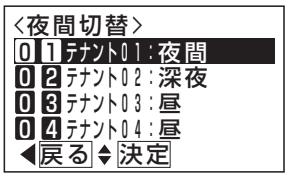
3 設定完了画面が表示される

- を押すと終了します。

■夜間切替を設定する

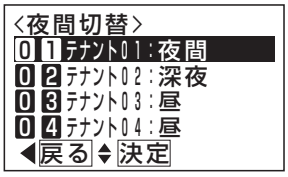
1 メニューから〈夜間切替〉を呼び出す

① を押します。
②「3 各種機能切替」を選択し、 を押します。
③「2 夜間切替」を選択し、 を押します。



2 操作できるテナントが反転表示されるので、 を押す

- 各テナントの現在の設定内容が表示されます。 で設定内容を確認することもできます。
- 他のテナントの夜間切替を行える電話機は、他のテナントや「00 全ﾃﾅﾝﾄ」を設定することができます。対応していない電話機で操作するとエラー画面となります。

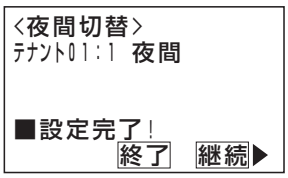


3 夜状態のモード番号（1～3）を入力し、 を押す

- 1～3いずれかを指定しても同じ動作となります。

4 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、 を押します。
- を押すと操作2に戻り、設定を繰り返すことができます。



留守番機能について

補足説明

●選択したい留守モードのボタン、転送先( )ボタン、転送先( )切替ボタン、メッセージ( )ボタン、メッセージ切替ボタンがないとき、メニュー機能を利用してこれらの項目を選択することができます。メニュー機能によるモードの選択、転送先の選択、メッセージ番号の選択方法は、各モードの操作説明をご覧ください。(P4-5～P4-53)

●留守切替で設定する場合は、着信種別に関係なく、テナント内のすべての外線またはDILIN番号が「留守番機能」となります。

●夜間切替で設定する場合は、テナント内の外線またはDILIN番号のうち、夜間の着信種別が「留守番機能」に設定されているもののみ「留守番機能」となります。また、着信鳴動電話機など、他の機能も同時に夜間モードに切り替わります。

知っていると便利なこと

●メニュー機能で留守切替や夜間切替を行ったあと、ボタンを押してモードの選択、転送先の選択、メッセージ番号の選択を行うこともできます。

特番操作で切り替える場合

ボタン電話機以外でも、留守切替または夜間切替を行うことができます。下記の説明は単独電話機での操作を例にしています。コードレス電話機の場合は、通話ボタンを押して操作を開始してください。

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
610	−	−

1 ハンドセットをとる

• 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 留守切替番号または夜間切替番号（1桁～4桁)*を押す

*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに#を押してください。

• 留守切替または夜間切替がセットされている場合は、連続音（プー）が聞こえます。そのままハンドセットを置いても設定は保持されます。

3 セットするときは1、解除するときは0を押す

• 完了を示す「設定完了アナウンス」(P7-26)または保留音が聞こえますので、ハンドセットを置きます。

補足説明

●留守切替番号または夜間切替番号は設定が必要です。[工事者設定610]

●ボタン電話機と同様、モード切替用電話機の設定が必要です。ただし、夜間切替のセットや解除以外の操作はできません。[工事者設定610]

●特番でセット・解除が完了したときに「設定完了アナウンス」を流すかどうかを設定できます。「設定完了アナウンス」を流さない場合は、保留音が流れます。⇒P7-26

転送電話モードを利用する

夜間や休日にかかってきた電話に対してあらかじめ設定したところに転送します。
●以下の６種類のモードがあります。
- 転送電話モード…… 通常の転送電話です。転送先は１カ所です。順次転送機能（P4-14）が使えます。
- 追っかけ転送モード…… １カ所目が応答しない場合は、２カ所目に転送します。
- ツイン転送モード…… ２カ所を同時に呼び出し、先に応答した方に接続します。
- 不応答後転送モード…… 一定時間電話に出なかったときに転送します。転送先は１カ所です。
- 不応答後追っかけ転送モード… 一定時間電話に出なかったときに転送します。１カ所目が応答しない場合は、２カ所目に転送します。
- 不応答後ツイン転送モード…… 一定時間電話に出なかったときに転送します。２カ所を同時に呼び出し、先に応答した方に接続します。

転送先の電話番号を登録する

転送先電話番号をテナントごとに14カ所まで登録することができます。
また転送先を登録した[転送先01]～[転送先14]ボタンを電話機に作っておけば、ワンタッチで転送先を指定できるので、頻繁に変更する場合に便利です。

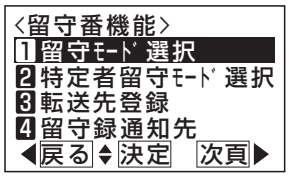
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401	＊	－

＊留守切替（981）または夜間切替00（600）～夜間切替48（648）のいずれか、および転送電話（941）～不応答ツイン（946）、転送先01（831）～転送先14（844）、転送先①切替（845）、転送先②切替（846）で必要なもの3

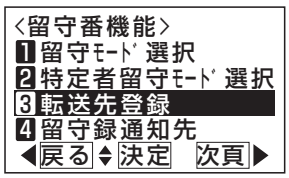
▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈留守番機能〉を呼び出す

① ◉を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、◉を押します。



2 ◉で「3 転送先登録」を選択し、◉を押す

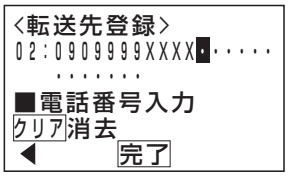


3 ◉で転送先番号（01～14）を選択し、◉を押す

- すでに登録されている場合は、その内容が表示されます。
- 転送先番号（01～14）は、[転送先01]～[転送先14]ボタンに対応します。

4 転送先の電話番号を入力し、◉を押す

- 変更する場合は、◉でカーソルを移動して必要な部分を変更できます。
- 電話番号をすべて消去すると、◉で操作3に戻ることができます。
- 電話番号をすべて消去して◉を押すと、転送先の電話番号を消去することができます。



5 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、◉を押します。
- ◉を押すと操作3に戻り、登録/変更を繰り返すことができます。

転送電話モードを利用する

補足説明

●共通電話帳に登録されている場合は、名前も表示されます。
●転送先は、テナントごとに14カ所まで登録できます。登録操作ができる電話機は、テナントごとに16台まで（同時操作は1台）です。
●[i]ボタン＋[転送先( )]ボタンを押しても、操作4の画面となります。

ご注意

●使用する転送先番号には、必ず電話番号を登録してください。
●フリーダイヤルなどの応答信号のない番号は、転送先として登録できません。
●PBXの内線に接続されている場合は、転送電話をご利用できません。

知っていると便利なこと

●転送先の電話番号登録は、外出先からのリモート操作で行うこともできます。⇒P4-61
●電話番号の最後に[#]をダイヤルすると発信を開始するアナログ回線（PB）タイプのひかり電話アダプタ等を使用している場合は、「PB外線発信時[#]ダイヤル自動付加」機能を設定すると、転送先を呼び出す時間を短縮することができます。[工事者設定144]

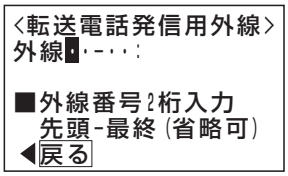
転送電話発信用外線を設定する

転送電話で発信用に使用される外線を設定できます。

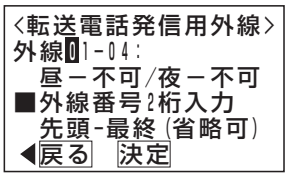
▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから〈転送電話発信用外線〉を呼び出す

① [中央]を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[中央]を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、[中央]を押します。
④「6 転送電話発信用外線」を選択し、[中央]を押します。

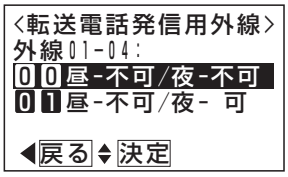


2 先頭および最終（省略可能）外線番号（2桁）を入力し、[中央]を押す



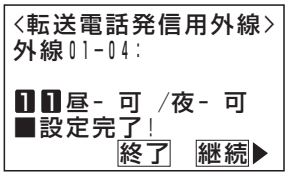
3 [中央]を押し、項目を選択して[中央]を押す

• 現在の設定を反転表示します。



4 設定完了画面が表示される

• 終了する場合は、[中央]を押します。
• [中央]を押すと操作2に戻り、設定を繰り返すことができます。



補足説明

●選択できる項目は下記のとおりです。
00昼-不可/夜-不可
01昼-不可/夜- 可
10昼- 可 /夜-不可
11昼- 可 /夜- 可

転送電話モードを利用する

転送電話をセットする

例として、留守切替操作で 転送電話 を選択し、転送先として転送先03を指定する操作方法を示します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401,401-1	＊	−

＊留守切替（981）またはプログラマブルキー:夜間切替00（600）～夜間切替48（648）のいずれか、および転送電話（941）～不応答ツイン（946）、転送先01（831）～転送先14（844）、転送先①切替（845）、転送先②切替（846）で必要なもの

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■プログラマブルキーでセットする

1 留守切替 ボタンを押す

- 留守切替 ボタンが点灯します。
- 現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- 現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。

```
7月10日(金) AM10:10
NO.101
留守録ｵﾝ      ﾒｯｾｰｼﾞ1
録音件数 010件
残時間   019時間15分
着信音量
```

2 転送電話 ボタンを押す

- 転送電話 ランプが点灯します。
- 設定したモードがディスプレイに表示されます。

```
7月10日(金) AM10:10
NO.101
転送電話ｵﾝ
転送先①中島○郎
着信音量
```

3 転送先03 ボタンを押す

- 転送先03 ランプが点灯します。
- 転送先03に登録されている電話番号または名前（共通電話帳登録時）がディスプレイに表示されます。

```
7月10日(金) AM10:10
NO.101
転送電話ｵﾝ
転送先①山田○次郎
着信音量
```

補足説明

- 操作1で、利用したいモードが表示されている場合は、操作2を省略します。（前回セットしたモードはクリアされずに残りますので、モードの使い分けをしない場合は、2回目以降はワンタッチでセットできます。）
  転送先を変更しない場合は、操作3も省略します。
- 留守切替 ボタンの代わりに 夜間切替( ) ボタンを押すこともできます。
- 転送電話を解除する場合は、セットした 留守切替 ボタンまたは 夜間切替( ) ボタンを押します。解除されるとランプが消えます。
- 操作3で、転送先( ) ボタンの代わりに 転送先( )切替 ボタンを押して、転送先番号を順次切り替えることができます。
  例えば、転送先①の現在の設定が転送先03の場合、 転送先①切替 ボタンを押すたびに転送先04→転送先05→･･･転送先13→転送先14→転送先01→･･･転送先03の順に切り替わります。
  この場合、転送先( ) ボタンが設定されていると、該当する 転送先( ) ランプも点灯します。
- 転送先の電話番号が13桁以上の場合は、ディスプレイには先頭の12桁が表示されます。
- 指定した転送先が共通電話帳に登録されている場合は、電話番号の代わりに名前が表示されます。
- 電話をかけてきた方に音声メッセージ（転送メッセージ）を流して転送することもできます。固定メッセージ「ただいま電話を呼び出しております。そのままお待ちください。」、または録音したメッセージ（P7-20）を利用することができます。［工事者設定401-1］

ご注意

- 転送電話の通話は、約60分で強制的に切れます。（切れる10秒前に、“ピッ”という警報音が通話をしている人に聞こえます。）
  ※通話時間は、変更することもできます。［工事者設定401-1］
- 転送先が2カ所の転送電話（ツイン転送や追っかけ転送）を選択するとき、 転送先( ) ランプが1個点灯しているときに別の 転送先( ) ボタンを押すと、2カ所目の転送先として登録されます。更に別の 転送先( ) ボタンを押すと、1カ所目からの登録となります。

転送電話モードを利用する

知っていると便利なこと

- ●モードの選択や、留守切替のON ／ OFF、夜間切替のON ／ OFF、転送先の選択等は、外出先からのリモート操作で行うこともできます。⇒P4-60
- ●転送電話で転送先を呼び出している間は、電話に出ることもできます。[工事者設定401-1]
- ●転送先が話し中や応答しなかったときは、相手の方にメッセージを流したり、相手の方の用件を録音することもできます。[工事者設定401-1]
- ●転送電話の通話内容をボイスメモで録音することができます。通話内容は着信外線のテナントに対応した留守録ボックスに録音されます。[工事者設定401-1]

メニュー機能で転送電話のモードに切り替える

メニュー機能を利用し、専用のボタンがなくても留守番機能のモード切替や転送先選択を行うことができます。

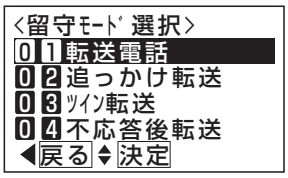
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401	−	−

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

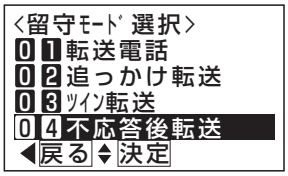
■転送電話のモード（転送先１カ所）に切り替える

1 メニューから〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉を呼び出す

① [中央] を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[中央] を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、[中央] を押します。
④「1 留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、[中央] を押します。



2 [上下] で使用するモードを選択し、[中央] を押す

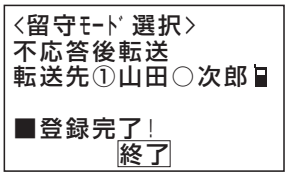


3 転送先番号(01～14)を入力し、[中央] を押す

- [中央] を押す前は、転送先番号の入力をやり直すことができます。

4 登録完了画面が表示される

- [中央] を押すと終了します。



転送電話モードを利用する

■転送電話のモード（転送先２カ所）に切り替える

転送先を２カ所設定できるモードでは、転送先１カ所目と転送先２カ所目を設定します。

1 メニューから〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉を呼び出す

① ⊞ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊞ を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、⊞ を押します。
④「1 留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、⊞ を押します。

<留守ﾓｰﾄﾞ選択>
01転送電話
02追っかけ転送
03ﾂｲﾝ転送
04不応答後転送
◀戻る ▲▼ 決定

2 ⊞ で使用するモード「例：02 追っかけ転送」を選択し、⊞ を押す

<留守ﾓｰﾄﾞ選択>
01転送電話
02追っかけ転送
03ﾂｲﾝ転送
04不応答後転送
◀戻る ▲▼ 決定

3 転送先１カ所目の転送先番号（01～14）を入力し、⊞ を押す

• ⊞ を押す前は、転送先番号の入力をやり直すことができます。

<追っかけ転送>
転送先1ｶ所目:01
0902222XXXX
中島○郎
■転送先:01～14入力
◀戻る 決定

4 転送先２カ所目の転送先番号（01～14）を入力し、⊞ を押す

• ⊞ を押す前は、転送先番号の入力をやり直すことができます。

<追っかけ転送>
転送先2ｶ所目:03
0808888XXXX
山田○次郎
■転送先:01～14入力
◀戻る 決定

5 登録完了画面が表示される

• ⊞ を押すと終了します。

<留守ﾓｰﾄﾞ選択>
追っかけ転送
転送先①中島○郎
転送先②山田○次郎
■登録完了!
終了

ご注意

●メニュー機能で転送電話のモードに切り替えるだけでは、転送電話をセットできません。
留守切替 ボタンや 夜間切替( ) ボタンの操作、またはメニュー機能で留守切替や夜間切替を行ってください。

転送電話モードを利用する

かけてきた方の名前を転送先に通知する

転送電話の転送先が応答したとき、発信者の電話番号が共通電話帳に登録されていると、転送先に発信者の名前を音声メッセージで通知することができます。（転送元アナウンス機能）
通知する音声メッセージは下記の操作で録音を行ってください。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401-1	−	−

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■短縮番号を指定して録音する

1 メニューから〈電話帳音声名称〉を呼び出す

① [中央] を押します。
②「**5** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[中央] を押します。
③「**6** 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、[中央] を押します。
④「**3** 電話帳音声名称」を選択し、[中央] を押します。

<電話帳音声名称>
005:
■項番直接入力可
◀戻る ◆決定

2 [中央] を押す

- 登録されていない番号がディスプレイの2行目に表示されます。
- 録音内容を変更するときは、[中央] で検索するか、番号（001～128、オプションVMU使用の場合001～256）を直接入力してください。
- すでに録音されている場合は、ディスプレイの2行目に短縮番号、3行目に共通電話帳に登録してある名前、6行目に再生が表示されます。

<電話帳音声名称>
005:
■項番直接入力可
◀戻る ◆決定

3 [中央] で「1** 登録/変更」を選択し、[中央] を押す**

<電話帳音声名称>
1 登録/変更
2 消去
◀戻る ◆決定

4 音声名称を録音する短縮番号を入力し、[中央] を押す

- 共通電話帳の短縮番号を入力してください。

<電話帳音声名称登録>
005:短縮0010
浅×商事(山田)
ｸﾘｱ再入力
電話帳電話帳検索
◀戻る ◆録音

5 ハンドセットを上げて録音開始音「ピー」を待つ

<電話帳音声名称登録>
005:短縮0010 録音
浅×商事(山田)
■ﾊﾝﾄﾞｾｯﾄを上げ、
ﾋﾟｰの後に録音開始
◀戻る

6 録音開始音「ピー」が聞こえたら録音を開始し、録音を完了したら [中央] を押してハンドセットを置く

- 名前だけでなく、「○○さんからの電話です。転送します。」のように、転送先に流したい内容すべてを録音してください。
- [中央] を押さずにハンドセットを置いても録音完了となります。
- 録音時間に空きがなく（1件あたりの最大録音時間＝約16秒、またはボイスメモの録音時間に空きがなくなったとき）なっても、録音完了となります。

<電話帳音声名称登録>
005:短縮0010 録音
浅×商事(山田)
ｱｻXｼｮｳｼﾞ(ﾔﾏﾀﾞ)
■完了時:完了を押す
完了

7 録音完了画面が表示される

- 終了する場合は、[中央] を押します。
- [中央] を押すと操作2に戻り、録音を繰り返すことができます。

<電話帳音声名称登録>
005:短縮0010 録音
浅×商事(山田)
ｱｻXｼｮｳｼﾞ(ﾔﾏﾀﾞ)
■録音完了!
終了 継続▶

転送電話モードを利用する

■電話帳を検索して録音する

「■短縮番号を指定して録音する」（P4-10）の操作1～3を行ったあと、下記の操作を行います。

4 電話帳を押す

<電話帳音声名称登録>
005:短縮・・・
■短縮番号入力
クリア再入力
電話帳電話帳検索
◀戻る

5 ダイヤルボタン（0～9、¥）で文字を入力し、を押す

- 代理応答/切替ボタンを押すと、相手区分検索や短縮番号検索を行うこともできます。

<電話帳音声名称登録>
名称:ア・・・
1ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ1@.
クリア最終桁消去
切替相手区分検索
◀戻る 決定 ▶

6 で音声名称を録音する相手を検索し、を押す

- を押すと前後の4件を表示します。
- 代理応答/切替ボタンを押すと番号表示、さらに代理応答/切替ボタンを押すと詳細表示（1件表示）に切り替わります。
- クリアボタンを押すと操作5に戻り、入力をやり直すことができます。

赤×飯店
浅×商事(山田)
足×運輸
井×物産
クリア再入力 切替番号
◀前頁 ▲▼録音 次頁▶

7 ハンドセットを上げて録音開始音「ピー」を待つ

<電話帳音声名称登録>
005:短縮0010 録音
浅×商事(山田)
■ﾊﾝﾄﾞｾｯﾄを上げ、
ﾋﾟｰの後に録音開始
◀戻る

8 録音開始音「ピー」が聞こえたら録音を開始し、録音を完了したらを押してハンドセットを置く

- 名前だけでなく、「○○さんからの電話です。転送します。」のように、転送先に流したい内容すべてを録音してください。
- を押さずにハンドセットを置いても録音完了となります。
- 録音時間に空きがなく（1件あたりの最大録音時間＝約16秒、またはボイスメモの録音時間に空きがなくなったとき）なっても、録音完了となります。

<電話帳音声名称登録>
005:短縮0010 録音
浅×商事(山田)
ｱｻX ｼｮｳｼﾞ(ﾔﾏﾀﾞ)
■完了時:完了を押す
完了

9 録音完了画面が表示される

- 終了する場合は、を押します。
- を押すと操作2に戻り、録音を繰り返すことができます。

<電話帳音声名称登録>
005:短縮0010 録音
浅×商事(山田)
ｱｻX ｼｮｳｼﾞ(ﾔﾏﾀﾞ)
■録音完了!
終了 継続▶

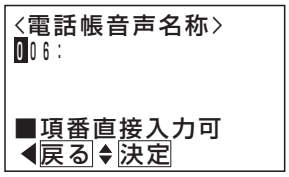
転送電話モードを利用する

■録音内容を確認するとき

録音済の電話帳音声名称を確認することができます。

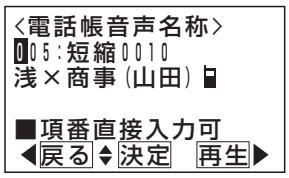
1 メニューから〈電話帳音声名称〉を呼び出す

① ▶ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、▶ を押します。
③「6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、▶ を押します。
④「3 電話帳音声名称」を選択し、▶ を押します。

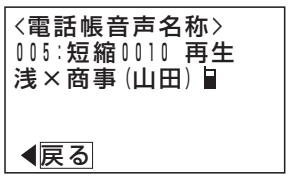


2 ▲▼で確認したい録音を検索し、▶を押す

- 番号（001～128、オプションVMU使用の場合001～256）を直接入力することもできます。
- すでに録音されている場合は、ディスプレイの2行目に短縮番号、3行目に共通電話帳に登録してある名前が表示されます。

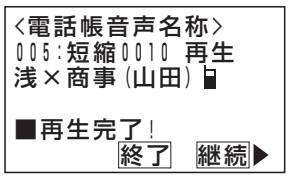


3 録音内容が2回再生される



4 再生完了画面が表示される

- 終了する場合は、▶ を押します。
- ▲▼ を押すと操作2に戻り、再生を繰り返すことができます。

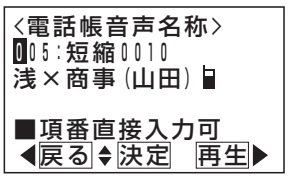


■録音を消去するとき

録音済の電話帳音声名称を消去することができます。
「■録音内容を確認するとき」の操作1を行ったあと、下記の操作を行います。

2 消去したい録音を検索し、▶を押す

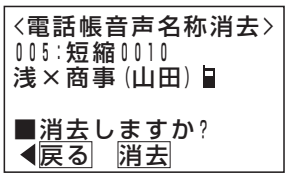
- 検索方法は、「■録音内容を確認するとき」をご覧ください。



3 ▲▼で「2消去」を選択し、▶を押す

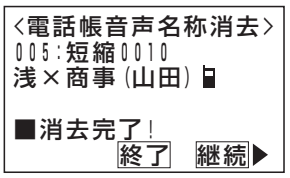
4 消去してよい場合は、▶を押す

- ◀ を押すと操作3に戻ります。
- ▶ を押したあと、録音された内容を消去しているあいだ消去中メッセージが表示されます。（録音状況により、表示されない場合があります）



5 消去完了画面となる

- ▶ を押すと終了します。
- ▲▼ を押すと操作2に戻り、消去を繰り返すことができます。



転送電話モードを利用する

■転送元アナウンス機能の有無を設定する

「転送元アナウンス機能」の有無を設定します。設定はテナント単位で行います。設定したテナントの外線またはDILIN番号に電話がかかってきたとき、本機能を利用できます。

1 メニューから〈転送元ｱﾅｳﾝｽ有無〉を呼び出す

① ▣ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、▣ を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、▣ を押します。
④「8 転送元ｱﾅｳﾝｽ有無」を選択し、▣ を押します。

<転送元ｱﾅｳﾝｽ有無>
0 1 ﾃﾅﾝﾄ01:なし
0 2 ﾃﾅﾝﾄ02:あり
0 3 ﾃﾅﾝﾄ03:なし
0 4 ﾃﾅﾝﾄ04:なし
◀戻る ▲▼ 決定

2 ▣ でテナントを選択し、▣ を押す

• 現在の設定内容が表示されます。

<転送元ｱﾅｳﾝｽ有無>
0 1 ﾃﾅﾝﾄ01:なし
0 2 ﾃﾅﾝﾄ02:あり
0 3 ﾃﾅﾝﾄ03:なし
0 4 ﾃﾅﾝﾄ04:なし
◀戻る ▲▼ 決定

3 ▣ で選択し、▣ を押す

<転送元ｱﾅｳﾝｽ有無>
ﾃﾅﾝﾄ01:
0 ｱﾅｳﾝｽなし
1 ｱﾅｳﾝｽあり
◀戻る ▲▼ 決定

4 設定完了画面が表示される

• 終了する場合は、▣ を押します。
• ▣ を押すと操作2に戻り、設定を繰り返すことができます。

<転送元ｱﾅｳﾝｽ有無>
ﾃﾅﾝﾄ01:
1 ｱﾅｳﾝｽあり
■設定完了!
終了 継続▶

■転送先で電話を受けるとき

1 転送先の電話機が着信する

2 電話に出ると、「○○さんから電話です。転送します。」等の音声メッセージが2回流れる

3 メッセージが終わると相手の方と通話できる

補足説明

●不在転送＜外線への転送＞の場合も、転送元アナウンス機能を利用できます。
●電話帳音声名称が録音されていない相手の場合は、「転送します。」の固定メッセージが2回流れます。

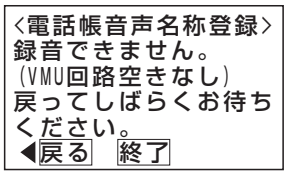
ご注意

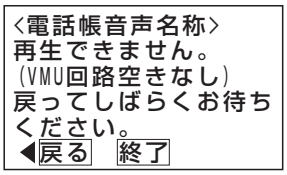
●本機能を利用する場合、NTTと「ナンバー・ディスプレイ」または「INSナンバー・ディスプレイ」の契約が必要です。
●転送元アナウンスに使用するボイスメモを全回線使用中の場合は通常の転送電話となり、メッセージは流れません。
●メッセージを話し終わったら、1秒ほど待って録音を終了してください。
●メッセージの録音後は、録音内容を必ず確認してください。

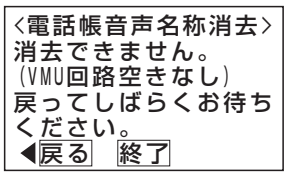
転送電話モードを利用する

ご注意

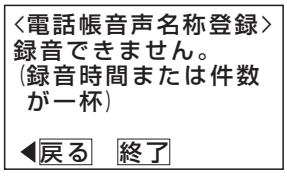
●ボイスメモを全回線使用している状態です。
を押して前の画面に戻り、しばらく待ってから録音／再生／消去してください。







●ボイスメモに空き容量がない状態です。
不要なメッセージを消去して録音してください。



知っていると便利なこと

●ボイスメモに録音したすべてのメッセージ（留守録ボックスや内線ボックスの用件メッセージ、応答メッセージを含む）を一括で消去することができます。⇒P4-37

電話を受けるたびに転送先を変更する

順次転送機能を設定すると、設定した最大14ヶ所の転送先（⇒P4-5）が、電話を受けるたびに自動で順に切り替わります。転送先が都度切り替わるので、応答の負荷を複数人に分散できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401-1	−	−

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

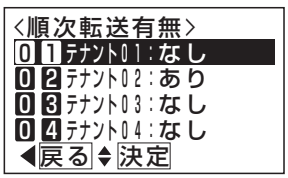
■順次転送機能の有無を設定する

「順次転送機能」の有無を設定します。設定はテナント単位で行います。設定したテナントの外線またはDILIN番号に電話がかかってきたとき、本機能を利用できます。

1 メニューから〈順次転送有無〉を呼び出す

① を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、 を押します。

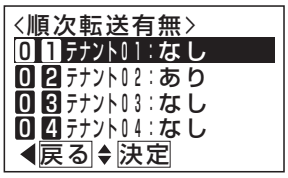


③「5 留守番機能」を選択し、 を押します。

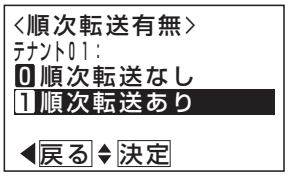
④「0 順次転送有無」を選択し、 を押します。

2 でテナントを選択し、 を押す

• 現在の設定内容が表示されます。



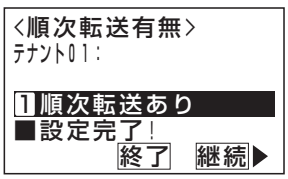
3 で選択し、 を押す



4 設定完了画面が表示される

• 終了する場合は、 を押します。

• を押すと操作2に戻り、設定を繰り返すことができます。



留守録モードを利用する

夜間や休日にかかってきた電話に対し、相手の方の用件を録音することができます。

応答メッセージを設定する

留守録モードで留守録ボックスが応答するときに流す応答メッセージ（例えば「本日の業務は終了しました。ピーッという発信音の後にお名前とご用件をどうぞ。ピー」）のほかに、あらかじめ録音しておいた応答メッセージを流すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-6	−	−

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

■メニュー機能で設定するとき

1 メニューから〈留守録ﾒｯｾｰｼﾞ〉を呼び出す

① ▣ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、▣ を押します。

<留守録ﾒｯｾｰｼﾞ>
01 留守録BOX01
02 留守録BOX02
03 留守録BOX03
04 留守録BOX04
◀戻る ◆決定

③「6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、▣ を押します。

④「2 留守番用ﾒｯｾｰｼﾞ設定」を選択し、▣ を押します。

⑤「1 留守録ﾒｯｾｰｼﾞ」を選択し、▣ を押します。

2 ▣ で設定を行う留守録ボックスを選択し、▣ を押す

<留守録ﾒｯｾｰｼﾞ>
01 留守録BOX01
02 留守録BOX02
03 留守録BOX03
04 留守録BOX04
◀戻る ◆決定

3 ▣ で設定を行うメッセージ番号（1～6）を選択し、▣ を押す

<留守録ﾒｯｾｰｼﾞ>
留守録BOX01
1 ﾒｯｾｰｼﾞ 1:001 録音済
2 ﾒｯｾｰｼﾞ 2:002 未録音
3 ﾒｯｾｰｼﾞ 3:003 未録音
◀戻る ◆決定 再生▶

- 録音済のメッセージは、システム応答メッセージ番号（001～300）と「録音済」、未録音のメッセージはシステム応答メッセージ番号（001～300）と「未録音」を表示します。固定メッセージ1～3の場合は「固定1～固定3」を表示します。
  登録なしの場合は「登録なし」と表示します。
- 選択したメッセージが録音済の場合、▣ を押す前に ▣ を押すと、現在選択中のメッセージを再生することができます。

4 ▣ で設定したい番号を選択し、▣ を押す

- 番号を直接入力することもできます。
  設定番号とその機能は下記の通りです。
  000：登録なし
  001～300：システム応答メッセージ001～300
  901～903：固定メッセージ1～固定メッセージ3
- 設定番号に対応した名称がディスプレイの4行目に表示されます。
- 選択したメッセージが録音済の場合、▣ を押す前に ▣ を押すと、現在選択中のメッセージを再生することができます。

<留守録ﾒｯｾｰｼﾞ>
留守録BOX01
ﾒｯｾｰｼﾞ 1:001
留守録応答ﾒｯｾｰｼﾞ 001
■設定番号(3桁)入力
◀戻る ◆決定 再生▶

5 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣ を押します。
- ▣ を押すと操作3に戻り設定を繰り返すことができます。

<留守録ﾒｯｾｰｼﾞ>
留守録BOX01
ﾒｯｾｰｼﾞ 1:001
留守録応答ﾒｯｾｰｼﾞ 001
■設定完了!
終了 継続▶

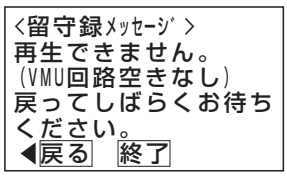
留守録モードを利用する

補足説明

●留守録用のシステム応答メッセージは留守録ボックス１つにつき６種類まで設定することができます。
初期設定では、以下の固定メッセージが設定されています。
メッセージ１：「本日の業務は終了しました。ピーッという発信音の後にお名前とご用件をどうぞ。ピー」
メッセージ２：「本日は定休日です。ピーッという発信音の後にお名前とご用件をどうぞ。ピー」
メッセージ３：「ただいま留守にしております。ピーッという発信音の後にお名前とご用件をどうぞ。ピー」
メッセージ４～６は、初期値「登録なし」です。
※システム応答メッセージは、外線お待たせメッセージおよび転送電話の切断処理時の留守録応答メッセージや自動オペレータ（P5-78）や簡易IVR（P5-82）で自動応答時に流す音声案内など、システムで使用する応答メッセージとして使用することができます。留守録で使用しないメッセージ番号を使用してください。
●留守録用のシステム応答メッセージの録音は、他のシステム応答メッセージの録音方法と同じです。「応答メッセージなどを録音する」（P7-20）をご覧ください。

ご注意

●メニュー機能で再生を行うとき、全てのボイスメモを使用中の場合は、エラーメッセージが表示されます。
を押すと前の画面に戻り、 を押すと終了します。



留守録モードを利用する

留守録を使うとき

例として、留守切替操作で「留守録モード」を設定する方法を示します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722	＊	−

＊留守切替（981）または夜間切替00（600）～夜間切替48（648）のいずれか、および留守録（947）、メッセージ1（701）～メッセージ6（706）、メッセージ切替（707）、留守録モニタ（966）で必要なもの

■プログラマブルキーで留守録をセットする

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 留守切替 ボタンを押す

- 留守切替 ボタンが点灯します。
- 現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- 現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。

```
 7月10日(金)  AM10:10
NO.101
転送電話ｵﾝ
転送先①中島○郎
着信音量
```

2 留守録 ボタン、メッセージ( ) ボタンの順に押す

- メッセージ( )ボタンは応答メッセージを切り替えたいときに押します。
- 留守録 ランプが点灯します。
- 選択したメッセージ( )ランプが点灯します。
- メッセージ1～メッセージ6は設定した固定メッセージまたは録音したシステム応答メッセージ（P4-15）です。
- 設定したモードがディスプレイに表示されます。

```
 7月10日(金)  AM10:10
NO.101
留守録ｵﾝ        ﾒｯｾｰｼﾞ 1
録音件数  000件
残時間    001時間55分
着信音量
```

補足説明

●操作2で、メッセージ( ) ボタンの代わりにメッセージ切替ボタンを押して、メッセージ番号を順次切り替えることができます。例えば、現在の設定がメッセージ1の場合、メッセージ切替ボタンを押すたびにメッセージ2→メッセージ3→･･･メッセージ6→メッセージ1の順に切り替わります。この場合、メッセージ( )ボタンが設定されていると、該当するメッセージ( )ランプも点灯します。

■メニュー機能で留守録モードに切り替える

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉を呼び出す

①[メニュー]を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[決定]を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、[決定]を押します。
④「1 留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、[決定]を押します。

```
〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉
01転送電話
02追っかけ転送
03ﾂｲﾝ転送
04不応答後転送
◀戻る ▲▼決定
```

2 ▲▼で「07留守録」を選択し、[決定]を押す

```
〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉
04不応答後転送
05不応答後ｵｯｶｹ転送
06不応答後ﾂｲﾝ転送
07留守録
◀戻る ▲▼決定
```

3 メッセージ番号（1～6）を入力し、[決定]を押す

- メッセージ1 ～ メッセージ6は設定した固定メッセージまたは録音したシステム応答メッセージ(P4-15)です。
- [決定]を押す前は、メッセージ番号の入力をやり直すことができます。

```
〈留守録〉
ﾒｯｾｰｼﾞ番号:2

■ﾒｯｾｰｼﾞ番号1～6入力
◀戻る  決定
```

4 登録完了画面が表示される

- [決定]を押すと終了します。

```
〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉
留守録          ﾒｯｾｰｼﾞ 2

■登録完了!
      終了
```

留守録モードを利用する

■留守録セット中の動作

1 電話がかかってくる

- 約10秒後に自動応答して、応答メッセージが相手の方に流れます。
- 録音開始音「ピー」のあと、相手の方の用件が録音されます。

2 相手の方が電話を切る

- 録音終了となり、ディスプレイの録音件数が1件加算されます。
- 再生( )ランプは点滅し、着信/メッセージランプは点灯します。

補足説明

●工事者設定により、相手方の用件が録音されたときに、着信/メッセージランプを点灯しないようにも設定できます。[工事者設定722-3]

■留守録の内容をモニタする・電話に出る（留守録モニタ）

留守録応答後、留守録モニタボタンを押してある指定電話機のスピーカから、相手の方の声を聞くことができます。

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 留守録セット中に 留守録モニタ ボタンを押す

- 留守録モニタランプが点灯します。
- モード切替用電話機のみ操作できます。

2 電話がかかってくる

- 自動応答後、電話機のスピーカから応答メッセージが流れ、相手の方の声が聞こえます。

3 電話に出るときは、留守録を行っている 外線 / DILIN ボタンを押し、ハンドセットをとる

- モード切替用電話機以外でも、電話に出ることができます。
- 留守録中の外線／DILINランプ（赤）は周期的に2回消えます。
- 応答メッセージ再生中も電話に出ることができます。

ご注意

●会議通話回路を全て使用中の場合、応答メッセージは聞こえません。

留守録モードを利用する

補足説明

●留守録ボックスはテナントごとに割り当てられます。
・テナント01～テナント48･･･留守録ボックス01～留守録ボックス48
●用件1件あたりの録音時間は約1分です。
※録音時間は、1分～180分、1分単位で変更することもできます。[工事者設定722]
●システム全体での最大録音時間は、基本状態で約5時間 S ／約20時間 LA LB （オプションET-VMSDC500使用時は約500時間）です。詳しくは販売店にお問い合わせください。
●各留守録ボックスの録音件数は最大64件です。1件～999件に変更することもできます。（録音件数にはゴミ箱内のメッセージも含まれます）[工事者設定722]
●録音時間に空きがなくなると、録音を終了し電話が切れます。
●留守切替ボタンの代わりに夜間切替( )ボタンを押すこともできます。
●留守録を解除するときは、セットするときに押した留守切替ボタンまたは夜間切替( )ボタンを押します。解除されるとランプが消えます。
●留守録中の外線ボタンを押してハンドセットをとると、留守録を中止して、相手の方との通話に切り替わります。
●留守録モニタ後、電話に出た通話は留守録音されません。

ご注意

●メニュー機能で留守録モードに切り替えるだけでは、留守録モードをセットできません。留守切替ボタンや夜間切替( )ボタンの操作、またはメニュー機能で留守切替や夜間切替を行ってください。
●ボイスメモが全て他の用途で使用中に電話がかかってきた場合は、ボイスメモが空くまで応答しません。
●録音エリアに空きがなくなると、電話をかけてきた方には「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」という応答専用メッセージを流し、電話を切ります。（用件は録音できません。また、応答メッセージは下記固定メッセージを指定できます。）
・固定メッセージ1、録音メッセージ指定時「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」
・固定メッセージ2指定時「本日は定休日です。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」
・固定メッセージ3指定時「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」

知っていると便利なこと

●自動応答するまでの時間は、0秒または、3～30秒、3秒単位で変更することもできます。[工事者設定722-2]
メニュー機能で変更する場合は、**「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」→「5 留守番機能」→「5 留守録応答時間」**の順に選択してください。
●留守録をセットするとき、再生済のメッセージを自動消去するか消去しないかを選択できます。初期値は、「消去しない」に設定されています。消去されるのは、留守録をセットした留守録ボックスのみです。ただし、ボイスメモを使用しているとき（用件録音中や用件再生中）に留守録をセットした場合は、自動消去できない場合があります。また、夜間切替00ボタンで留守録をセットした場合は、設定に関係なく自動消去できません。[工事者設定722-1]
●外線お待たせメッセージの切断処理にボイスメモを利用することができます。切断処理時の留守録応答メッセージは固定メッセージ（「ただいま大変電話が混み合っております。ピーッという発信音の後にお名前とご用件をどうぞ。ピー」）か、録音したメッセージ（P7-20）かを工事者設定により選択します。[工事者設定219]
●転送電話の切断処理にボイスメモを利用することができます。切断処理時の留守録応答メッセージは固定メッセージ（「ただいま不在です。ピーッという発信音の後にお名前とご用件をどうぞ。ピー」）か、録音したメッセージ（P7-20）かを工事者設定により選択します。[工事者設定401-1]
●不在転送<外線への転送>の切断処理にボイスメモを利用することができます。切断処理時の留守録応答メッセージは、P5-76をご覧ください。
●専用の音声ファイル管理アプリケーションを使用して、留守録ボックスおよび内線ボックスに録音された用件メッセージおよび通話録音をファイルとしてパソコンで管理することができます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●外線お待たせメッセージ（P5-27）の利用時に、お待たせ( )ボタンを押すと、留守録（P4-17）が動作するように設定できます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

留守録モードを利用する

録音された用件を聞く

新規の用件が録音されていると、再生( )ボタンが点滅、着信／メッセージランプが点灯します。再生( )ボタンを使って、録音された用件を聞くことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-3)	同報グループ01 (501) ～ 同報グループ48 (548)、 再生01(551)～再生48(598)、 再生速度 (876)、戻り (877)、 送り(878)、消去(879)、停止(880) 再生順 (古→新) (872) 再生順 (新→古) (873) 一時停止 (923)	–

■プログラマブルキーで用件を再生する

1 ハンドセットを置いたまま 再生( ) ボタンを押す
(スピーカランプも消えていること)

- 音声案内「新しいメッセージが○○件あります。」が流れ、未再生の古い録音内容から再生されます。
  ※未再生のメッセージがない場合、音声案内「メッセージが○○件あります。」が再生されます。
- 録音内容の最後（または最初）に、タイムスタンプ「●●月、▲▲日、○曜日、午前（午後）△△時□□分のメッセージです。」が再生されます。
- 再生中の用件が録音された日時と相手の方の電話番号または名前（共通電話帳に登録時）が表示されます。
  トータル件数は、各留守録ボックスに録音されている件数を表示します。（トータル5件の例）
  なお、メッセージ再生初期画面が「一覧表示あり」に設定されている場合は、一覧表の表示画面となります。詳細は「一覧表から録音された用件を聞く」をご覧ください。⇒P4-24

```
<留守録再生> 001/005
10月11日(金) AM 8:10   ―録音日時
中村○郎               ―電話番号または名前
1再生 2戻り 3送り
4消去 5停止 6保護      ―操作ガイダンス
7<< 8>> 9>1.4倍速
```

- ゴミ箱内の用件を再生する場合は、留守録ゴミ箱( )ボタン（P4-39）を押してください。

2 用件の再生中、希望によりサービスボタンまたはダイヤルボタンを押す

下記のサービスボタンが使用できます。

再生( )／1ボタン…再生中の録音内容を最初から再生する。（再生( )ボタンは、操作1で押したボタンに限ります。）
ゴミ箱の再生中は、再生中の用件を留守録BOXに移動（復元）します（再生( )のみ）。

戻り／2ボタン…1つ前の録音内容を最初から再生する。

送り／3ボタン…次の録音内容を最初から再生する。

消去／4ボタン…録音内容を消去する。（用件メッセージの再生を停止し、音声案内が流れますので、それに従って操作してください）
ゴミ箱機能を有効にしている場合は留守録ゴミ箱に移動されます。
ゴミ箱の再生中は、再生中の用件を消去します。

停止／5ボタン…用件の再生を停止する。

6ボタン…用件を保護（消去禁止）／保護解除する。
6を押すたびに保護と保護解除が交互に切り替わります。（ゴミ箱内の用件は保護できない）

7ボタン…用件の再生を数秒巻き戻しする。

8ボタン…用件の再生を数秒早送りする。

再生速度／9ボタン…押すたびに標準速度→1.4倍速→2倍速→1.4倍速→標準速度で再生を繰り返す。

同報グループ( )…再生中の用件を指定した同報グループ（01～48）に転送する。（ゴミ箱内の用件は転送できない）

一時停止…用件の再生を一時停止する。
一時停止中は、再生を再開する。

留守録ゴミ箱( )…留守録BOXの再生中は、再生中の用件をゴミ箱に移動する。
ゴミ箱の再生中は、再生中の用件を最初から再生する。

留守録モードを利用する

補足説明

●[再生速度]または[9]ボタンを押すたびに[再生速度]ランプとディスプレイが変化します。

再生速度	標準速度	→1.4倍速	→2倍速	→1.4倍速
[再生速度]ランプ	消灯	赤の遅い点滅	赤の速い点滅	赤の遅い点滅
ディスプレイ	9 >1.4倍速	9 >2.0倍速	9 1.4倍速<	9 標準速<

●全ての用件を再生後は[再生( )]／[1]ボタン、[戻り]／[2]ボタン、[停止]／[5]ボタンのみ操作可能です。（音声案内「メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は[1]を押してください。」が流れます。）

●操作ガイダンスを表示しないように設定することもできます。[工事者設定722-3]

■メニュー機能から用件を再生する

1 メニューから〈留守録再生〉を呼び出す

①[▣]を押します。

②「6 用件ﾒｯｾｰｼﾞ」を選択し、[▣]を押します。

③「1 留守録用件ﾒｯｾｰｼﾞ」を選択し、[▣]を押します。

④「1 留守録再生」（ゴミ箱内の用件を再生する場合は、「3 留守録ｺﾞﾐ箱再生」）を選択し、[▣]を押します。

〈留守録再生〉
01 留守録BOX01
02 留守録BOX02
03 留守録BOX03
04 留守録BOX04
◀戻る ▲▼決定

2 [▣]で再生する留守録ボックスを選択し、[▣]を押す

• ゴミ箱内の用件を再生する場合は、再生したい留守録ゴミ箱を選択します。

留守録再生時

〈留守録再生〉
01 留守録BOX01
02 留守録BOX02
03 留守録BOX03
04 留守録BOX04
◀戻る ▲▼決定

留守録ゴミ箱再生時

〈留守録ｺﾞﾐ箱〉
01 留守録ｺﾞﾐ箱01
02 留守録ｺﾞﾐ箱02
03 留守録ｺﾞﾐ箱03
04 留守録ｺﾞﾐ箱04
◀戻る ▲▼決定

3 再生画面となる

• 以降は、「■プログラマブルキーで用件を再生する」（P4-20）と同様の操作です。

• メッセージ再生初期画面が「一覧表示あり」に設定されている場合は、一覧表の表示画面となります。詳細は「一覧表から録音された用件を聞く」をご覧ください。⇒P4-24

留守録再生時

〈留守録再生〉 001/005
10月11日（金） AM 8:10
中村○郎
1再生 2戻り 3送り
4消去 5停止 6保護
7<< 8>> 9>1.4倍速

留守録ゴミ箱再生時

〈留守録ｺﾞﾐ箱〉001/002
10月11日（金） AM 8:10
中村○郎
1再生 2戻り 3送り
4消去 5停止 6保護
7<< 8>> 9>1.4倍速

■用件を録音した方に電話する

1 用件再生中に、空いている[外線]ボタンを押す

• 用件再生時にディスプレイに表示されていた相手の方に自動的に発信します。

2 相手の方が応答したら、ハンドセットをとる

• 相手の方と通話できます。

ご注意

●ディスプレイに電話番号または名前が表示されていないときは、自動発信できません。

留守録モードを利用する

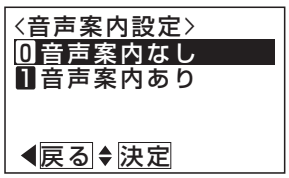
音声案内付きで録音された用件を聞く

■メニュー機能で音声案内付き再生をセットする

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

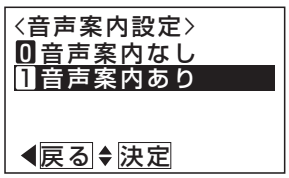
1 メニューから〈音声案内設定〉を呼び出す

①[決定]を押します。
②「6 用件ﾒｯｾｰｼﾞ」を選択し、[決定]を押します。
③「1 留守録用件ﾒｯｾｰｼﾞ」を選択し、[決定]を押します。
④「2 音声案内設定」を選択し、[決定]を押します。



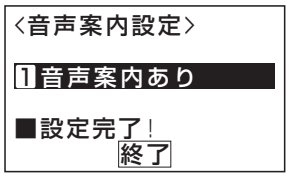
2 [決定]で「1 音声案内あり」を選択し、[決定]を押す

・初期設定は「音声案内なし」です。



3 設定完了画面が表示される

・[決定]を押すと終了します。



■音声案内付きで用件を再生する

再生の操作は「録音された用件を聞く」（P4-20）と同じです。

・はじめに音声案内「新しいメッセージが○○件あります。」が流れ、未再生の古い録音内容から再生されます。
※未再生のメッセージがない場合、音声案内「メッセージが○○件あります。」が再生されます。
・録音内容の最後（または最初）に、タイムスタンプ「●●月、▲▲日、○曜日、午前（午後）△△時□□分のメッセージです。」が再生されます。
・タイムスタンプが流れた後、音声案内「もう一度再生する場合は[1]、消去する場合は[4]をどうぞ。」が流れ、その後5秒間何も操作されない場合、次のメッセージが再生されます。

補足説明

●録音されていない場合は、「メッセージはございません。」が再生されます。
●「■プログラマブルキーで用件を再生する」（P4-20）の操作1で、300件以上のメッセージが録音されている場合、「新しいメッセージが○○件あります。」の代わりに、「新しいメッセージがあります。」が流れます。
●[再生01]～[再生48]ボタンは留守録ボックス01～留守録ボックス48に対応します。
●[再生( )]ランプ、[着信／メッセージ]ランプの表示は、下記のとおりです。

	[再生( )]ランプ	[着信／メッセージ]ランプ
未再生あり	赤点滅（＊1）	赤点灯（＊2）
未再生なし	赤点灯（＊3）	消灯
録音なし	消灯	消灯

＊1：[再生( )]ランプを緑点灯に変更することもできます。[工事者設定722-3]
＊2：[着信／メッセージ]ランプを消灯に変更することもできます。[工事者設定722-3]
＊3：未再生なしの場合に[再生( )]ランプを消灯に変更することもできます。[工事者設定722-3]

●音声案内付き再生の設定は、工事者設定でも行えます。[工事者設定722-3]

留守録モードを利用する

ご注意

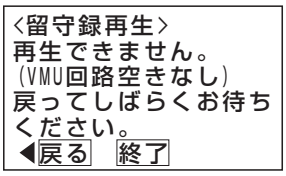
●再生( )ボタンを押したとき、未再生の録音がない場合は、再生済の古い録音内容から再生されます。このとき、音声案内「メッセージが○○件あります。」が流れ、300件以上のメッセージが録音されている場合は音声案内「メッセージがあります。」が流れます。

●消去するときは、該当する用件を再生中に消去／4ボタンを押してください。タイムスタンプ再生後に消去／4ボタンを押すと次のメッセージが誤って消去される場合があります。

●ハンズフリー通話を利用している場合、音が途切れることがありますので、マイクボタンをOFF（ランプ消灯）にしてから再生してください。

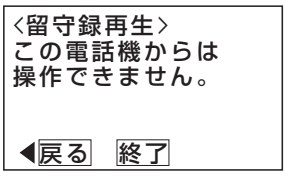
●未再生の録音内容の再生が終了したあとは、再生( )／1ボタンを押すと全ての録音内容を最初から再生します。
外出先から再生するときも同様です。

●メニュー機能で再生を行うとき、ボイスメモを全回線使用中の場合は、エラーメッセージが表示されます。
を押すと操作2に戻り、 を押すと終了します。

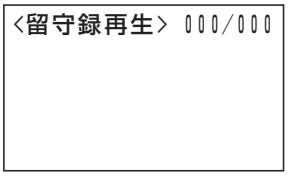


知っていると便利なこと

●メニュー機能で再生するとき、他のテナントが使用している留守録ボックスの再生を規制することができます。[工事者設定722-3]
規制されている電話機が再生操作を行ったときは、エラーメッセージが表示されます。
を押すと操作2に戻り、 を押すと終了します。



●メニュー機能で再生を行うとき、該当の留守録ボックスが使用中の場合は、タイムスタンプや操作ガイダンスの表示は行わず、音声案内「ボックス番号△△△はただいま使用中です。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」が流れたあと、電話が切れます。



●メッセージの再生順を「古いメッセージから」か、「新しいメッセージから」かを選択できます。初期設定は「古いメッセージから」です。[工事者設定722-3]

●メッセージの再生順を、再生順(古→新)、再生順(新→古)ボタンで強制的に設定することもできます。
（上記の工事者設定よりも優先して動作します）
再生順(古→新)：古いメッセージから順に再生します。
再生順(新→古)：新しいメッセージから順に再生します。

●メッセージ再生の早送り／巻戻し時間を4秒～60秒、4秒単位で設定できます。初期設定は8秒です。[工事者設定722-20]

留守録モードを利用する

一覧表から録音された用件を聞く

録音された用件を一覧表で確認し再生できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-3)	同報グループ01 (501) ~ 同報グループ48 (548) 再生01 (551) ~再生48 (598)、 再生速度 (876)、戻り (877)、 送り(878)、消去(879)、停止(880) 再生順 (古→新) (872) 再生順 (新→古) (873) 一時停止 (923)	–

■一覧表から用件を再生する

用件メッセージを再生中に下記の操作を行います。
表示件数は「4件表示」か、「2件表示」かを設定できます。
初期設定は「4件表示」です。[工事者設定 722-3]

1 用件再生中 代理応答/切替 ボタンを押す

- 一覧表画面が表示されます。
- 再生を行っていたメッセージを先頭行に、古い用件メッセージから表示します。

「4件表示」の例

<留守録再生>
未10/11 中村○郎
未10/11 佐藤○郎
未10/14 0901234XXXX
10/14 034567XXXX
◀前頁 ▲▼再生 次頁▶

「2件表示」の例

<留守録再生>
未10/11(金) AM 8:10
中村○郎
未10/11(金) PM 9:30
佐藤○郎
◀前頁 ▲▼再生 次頁▶

- メッセージ再生初期画面を「一覧表示あり」に設定することにより、再生開始から本画面を表示させることもできます。「■メッセージ再生初期画面を変更する」(P4-25)をご覧ください。

2 ▲▼を押し、再生したい用件を選択し、●を押す

- ▲を押すと古い用件、▼を押すと新しい用件が検索されます。
- ▲▼を押すと前後の4件を表示します。

「4件表示」の2件目を選択した例

<留守録再生>
未10/11 中村○郎
未10/11 佐藤○郎
未10/14 0901234XXXX
10/14 034567XXXX
◀前頁 ▲▼再生 次頁▶

「2件表示」の2件目を選択した例

<留守録再生>
未10/11(金) AM 8:10
中村○郎
未10/11(金) PM 9:30
佐藤○郎
◀前頁 ▲▼再生 次頁▶

3 再生画面となり、選択した用件が再生される

- 再生中に使用できるサービスボタンまたはダイヤルボタンは、「■プログラマブルキーで用件を再生する」(P4-20)と同様の操作です。

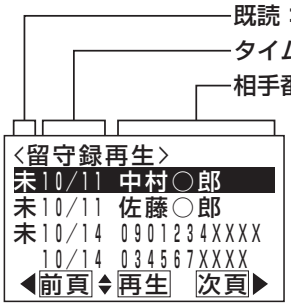
<留守録再生> 001/003
11月11日(金) AM 9:30
佐藤○郎
1再生 2戻り 3送り
4消去 5停止 6保護
7<< 8>> 9>1.4倍速

- 録音内容の最後(または最初)に、タイムスタンプ「●●月、▲▲日、○曜日、午前(午後)△△時□□分のメッセージです。」が再生されます。以後、選択した用件と同じ再生状態(新規(未再生)/再生済み)の用件を古い録音内容から順次再生します。

補足説明

●一覧表画面の説明:

「4件表示」



「2件表示」

●メッセージ再生初期画面が「一覧表示あり」の場合、一覧表画面で、音声案内送出中、▲▼のみ有効で、●は無効となります。

知っていると便利なこと

●メッセージの表示順を「古いメッセージから」か、「新しいメッセージから」かを選択できます。初期設定は「古いメッセージから」です。[工事者設定 722-3]

●メッセージの表示順を、再生順(古→新)、再生順(新→古)ボタンで強制的に設定することもできます。
(上記の工事者設定よりも優先して動作します)
再生順(古→新):古いメッセージから順に表示します。
再生順(新→古):新しいメッセージから順に表示します。

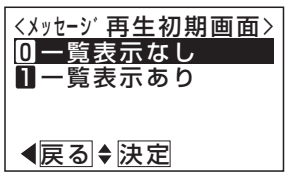
留守録モードを利用する

■メッセージ再生初期画面を変更する

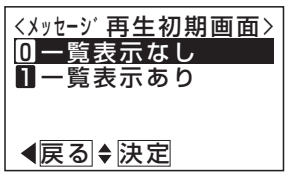
用件メッセージを再生するとき、最初に表示される画面を一覧表示にするかどうかを選択することができます。初期設定は「一覧表示なし」です。

1 メニューから〈ﾒｯｾｰｼﾞ再生初期画面〉を呼び出す

① ⊙ を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、⊙ を押します。
③「**3 LCD/着信ﾗﾝﾌﾟ設定**」を選択し、⊙ を押します。
④「**6 履歴等初期画面**」を選択し、⊙ を押します。
⑤「**5 ﾒｯｾｰｼﾞ再生初期画面**」を選択し、⊙ を押します。

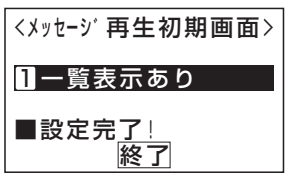


2 ⊙ で初期画面の表示方法を選択し、⊙ を押す



3 設定完了画面が表示される

- ⊙ を押すと終了します。



補足説明

●メッセージ再生初期画面は、主装置のデータ設定でも変更することができます。[工事者設定 722-3]

留守録モードを利用する

用件が録音されたことを外出先へ通知する

留守録モードで用件が録音されると外出先の携帯電話等に自動的に電話をかけて、録音内容を聞かせることができます。通知する電話番号はあらかじめ設定が必要です。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-5)	−	−

■留守録通知先を登録する

留守録通知先の電話番号を留守録ボックスごとに7カ所まで登録することができます。通知先に指定できるのは1カ所のみです。

また、留守録通知先を登録した[留守録通知先1]～[留守録通知先7]ボタンを電話機に作っておけば、ワンタッチで通知先を指定できるので、頻繁に変更する場合に便利です。

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈留守録通知先〉を呼び出す

① [中央] を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[中央] を押します。

③「5 留守番機能」を選択し、[中央] を押します。

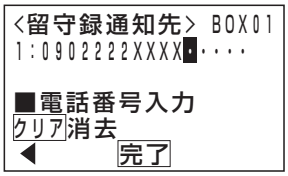
④「4 留守録通知先」を選択し、[中央] を押します。

2 [上下左右] で留守録の通知先（1～7）を選択し、[中央] を押す

- 該当のモード切替用電話機が操作可能なテナントの留守録ボックス番号がディスプレイの1行目に表示されます。
- すでに登録されている場合は、その内容が表示されます。

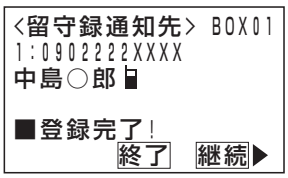
3 留守録通知先の電話番号（最大16桁）を入力し、[中央] を押す

- 変更する場合は、[上下左右] でカーソルを移動して必要部分を変更できます。
- 電話番号をすべて消去すると、[中央] で操作2に戻ることができます。



4 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、[中央] を押します。
- [中央] を押すと操作2に戻り登録を繰り返すことができます。



補足説明

- [i] ボタン＋[留守録通知先( )] ボタンを押しても、操作3の画面となります。
- 留守録の通知先（1～7）が[留守録通知先1]～[留守録通知先7]ボタンに対応します。
- 留守録通知先を消去したいときは、操作3で電話番号を消去した状態で、[中央] を押します。
- 内線ボックスに用件が録音されたときも通知することができます。内線ボックスの録音通知先の登録方法は、P5-68をご覧ください。

留守録モードを利用する

■ 留守録通知 ボタンで留守録通知をON／OFFする

留守録通知 ボタンを押すことにより、留守録通知のON／OFFを切り替えられます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-5)	留守録通知（850）、および留守録通知先1（851）～留守録通知先7(857)、留守録通知先切替（858）で必要なもの	−

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 留守録通知 ボタンを押す

- 留守録通知がON状態となり、留守録通知 ランプが点灯します。

2 もう一度 留守録通知 ボタンを押す

- 留守録通知がOFF状態となり、留守録通知 ランプが消えます。

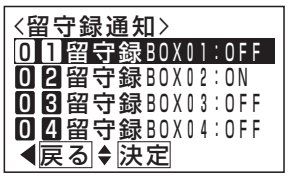
■メニュー機能で留守録通知をON／OFFする

留守録通知 ボタンがなくても、留守録通知のON／OFFを切り替えられます。

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

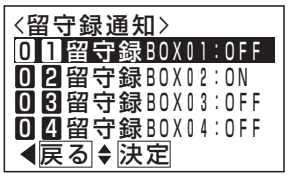
1 メニューから〈留守録通知〉を呼び出す

① [中央] を押します。
②「3 各種機能切替」を選択し、[中央] を押します。
③「3 留守録通知」を選択し、[中央] を押します。



2 操作できる留守録ボックスが反転表示されるので、[中央] を押す

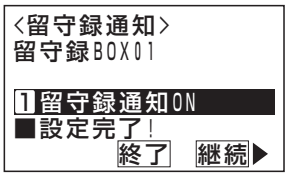
- 現在の状態が表示されます。
- 他のテナントの夜間切替を行える電話機は、[上下] により他の留守録ボックスを指定することができます。



3 [上下] を押し、項目を選択して [中央] を押す

4 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、[中央] を押します。
- [中央] を押すと、操作2に戻り、設定を繰り返すことができます。



留守録モードを利用する

■留守録通知先を切り替える

留守録通知をONの状態にしておくことで、留守録通知先を切り替えることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-5)	留守録通知先1 (851) ～ 留守録通知先7 (857)	–

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 留守録通知をONにする

- 留守録通知 ボタンがある場合、ランプが点灯します。

2 留守録通知先( ) ボタンを押す

- 留守録通知先( ) ランプが点灯します。
- 該当通知先の電話番号または名前（共通電話帳に登録時）をディスプレイの4行目に約3秒間表示します。

補足説明

- 留守録通知先の初期設定は留守録通知先1です。
- 操作2で、留守録通知先( ) ボタンの代わりに 留守録通知先切替 ボタンを押して、留守録通知先を順次切り替えることができます。
  例えば、現在の設定が留守録通知先3の場合、留守録通知先切替 ボタンを押すたびに留守録通知先4→留守録通知先5→･･･留守録通知先7→留守録通知先1→･･･留守録通知先3の順に切り替わります。この場合、留守録通知先( ) ボタンが設定されていると、該当する 留守録通知先( ) ランプも点灯します。

留守録モードを利用する

■通知されたときの操作

1 外出先で呼ばれたら

2 応答する

- 音声案内「新しいメッセージが○○件あります。」が聞こえます。
- 続けて音声案内「#と暗証番号をどうぞ。」が聞こえます。パスワードが登録されていない場合やパスワード0000の場合は操作4に進みます。

3 #＋ユーザ用パスワード（4桁）を入力する

- 内線ボックスの場合は、ユーザ用パスワードの代わりに内線パスワード（4桁）を入力します。
- パスワードが正しいとき、未再生の古い用件メッセージから再生されます。（間違えた場合、音声案内「暗証番号が違います。」が聞こえた後、電話が切れます。
- 「音声案内付き再生なし」に設定されている場合、用件メッセージおよびタイムスタンプが再生後、すぐに次の用件メッセージが再生されます。「音声案内付き再生あり」に設定されている場合、用件メッセージおよびタイムスタンプが再生後、音声案内「もう一度再生する場合は1、消去する場合は4をどうぞ。」が流れ、その後、5秒間何も操作されない場合、次のメッセージが再生されます。詳細は「音声案内付きで録音された用件を聞く」をご覧ください。⇒P4-22

4 用件の再生中、希望によりサービス番号を押す

- 使用できるサービス番号については、P4-34をご覧ください。

補足説明

●操作2で、300件以上のメッセージが録音されている場合、「新しいメッセージが○○件あります。」の代わりに、「新しいメッセージがあります。」が流れます。
●呼出先が約50秒応答しない場合は、約3分後に再発信します。（再発信は2回まで行います。）
※相手を呼び出す時間は、20～100秒、10秒単位で変更することもできます。［工事者設定722-5］
●通知先が操作をしないで終了した場合は、一定間隔で4回まで再発信することができます。再発信の間隔は10～60分まで、10分単位で設定します。［工事者設定722-5］
●ユーザ用パスワードの登録は「リモート操作時のパスワードを登録する」（P7-32）をご覧ください。
●内線パスワードの登録方法は、P5-70をご覧ください。

ご注意

●パスワード入力時にダイヤルとダイヤルの間が5秒以上あいた場合は、電話が切れます。
●外線自動発信が設定されていないと、外出先へ通知することはできません。（初期設定あり）［工事者設定102］
●サービス番号0で用件を録音した相手に自動発信する場合は、転送電話の発信外線の設定が必要です。［工事者設定722-5］
●伝言メモ（P5-92）を再生中、サービス番号0での自動発信はできません。

知っていると便利なこと

●パスワードが登録されている場合でも、パスワード入力を省略することができます。［工事者設定722-5］

留守録モードを利用する

外出先から録音された用件を聞く

留守録ボックスや、内線ボックスに録音された用件を外出先から聞くことができます。
ボックス番号等のダイヤル入力はプッシュ信号で行いますので、外出先からかける電話機はプッシュホンまたはプッシュ信号の出せるものを使用してください。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-4	–	–

■概要

外出先からは、以下の方法で用件を再生します。

音声案内に従って操作を行い用件を再生する
外出先からダイヤルイン（DI）等でボイスメモに接続したあと、音声案内に従ってボックス番号等を入力して、留守録ボックスや内線ボックスの用件を再生することができます。
いろいろな運用方法の外線を利用することができます。また、外出先から一般の外線に電話をかけ、電話に出た人の操作でボイスメモに転送してもらうこともできます。

●利用できる外線は下記のとおりです。
- リモート操作用外線
  ⇒P7-28
- ダイレクトインダイヤル（DID）を利用している外線
  ⇒P5-9
- ダイヤルイン（DI）を利用している外線
  ⇒P5-8
- サブアドレスダイヤルインを利用している外線
  ⇒P5-8「知っていると便利なこと」
- 自動オペレータを利用している外線⇒P5-78
- 簡易IVRを利用している外線⇒P5-82
- 一般の外線（外線通話の転送を利用）
  ⇒P2-9

■音声案内に従って操作し用件を再生する

（1）リモート操作用の外線またはダイレクトインダイヤル（DID）を利用している外線の場合

リモート操作用の外線やダイレクトインダイヤル（DID）を利用している外線を使うときは、「VMUアクセス番号」を使ってボイスメモに接続します。

1 リモート操作用の外線またはダイレクトインダイヤル（DID）用の外線に電話をかける
- 一定時間後に、一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が聞こえます。

2 「VMUアクセス番号」（1～4桁、初期値199）*を押す
*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに[#]を押してください。
- 内線番号桁数を2桁に設定している場合、「VMUアクセス番号」の初期値は68です。

3 音声案内「メッセージの再生は1を、メッセージの送信は2をどうぞ。」が聞こえるので、[1]を押す

4 音声案内「ボックス番号と#（シャープ）をどうぞ。」が聞こえるので、ボックス番号＋[#]を押す
- 用件が再生されます。
- 留守録ボックスの場合は、[0]＋留守録ボックス番号（合計3桁）を押してください。
  001～048（留守録ボックス01～48）
- 音声案内「暗証番号と#（シャープ）をどうぞ。」が聞こえる場合はパスワード入力が必要です。
  留守録ボックスの場合は、ユーザ用パスワード（4桁）＋[#]を入力します。
  内線ボックスの場合は、内線パスワード（4桁）＋[#]を入力します。

留守録モードを利用する

(2) ダイヤルイン（DI）を利用している外線の場合

ダイヤルイン（DI）を利用している外線を使うときは、ボイスメモ用のダイヤルイン番号を使ってボイスメモに接続します。

1 ボイスメモ用の電話番号に電話をかける

2 音声案内「メッセージの再生は1を、メッセージの送信は2をどうぞ。」が聞こえるので、[1]を押す

3 音声案内「ボックス番号と#（シャープ）をどうぞ。」が聞こえるので、ボックス番号+[#]を押す

- 用件が再生されます。
- ※1、2をご覧ください

(3) サブアドレスダイヤルインを利用する場合

ISDN外線を利用している場合、サブアドレスに「VMUアクセス番号」を指定してボイスメモに接続します。

1 サブアドレスに「VMUアクセス番号」（1～4桁、初期値199）を指定して電話をかける

- 内線番号桁数を2桁に設定している場合、「VMUアクセス番号」の初期値は68です。
- PHSや一部の携帯電話から発信したときや、ISDN外線を使って発信したときに利用できます。
- 操作方法は、各端末の仕様によって異なります。

2 音声案内「メッセージの再生は1を、メッセージの送信は2をどうぞ。」が聞こえるので、[1]を押す

3 音声案内「ボックス番号と#（シャープ）をどうぞ。」が聞こえるので、ボックス番号+[#]を押す

- 用件が再生されます。
- ※1、2をご覧ください

(4) 自動オペレータまたは簡易IVRを利用している外線の場合

自動オペレータ（P5-78）または簡易IVR（P5-82）を利用している外線を使うときは、[*]+「VMUアクセス番号」を使ってボイスメモに接続します。

1 自動オペレータ用の外線または簡易IVR用の外線に電話をかける

- 自動オペレータ用または簡易IVR用の音声案内が聞こえます。

2 [*]+「VMUアクセス番号」（1～4桁、初期199）*を押す

*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに[#]を押してください。

- 内線番号桁数を2桁に設定している場合、「VMUアクセス番号」の初期値は68です。

3 音声案内「メッセージの再生は1を、メッセージの送信は2をどうぞ。」が聞こえるので、[1]を押す

4 音声案内「ボックス番号と#（シャープ）をどうぞ。」が聞こえるので、ボックス番号+[#]を押す

- 用件が再生されます。
- ※1、2をご覧ください

※1：留守録ボックスの場合は、[0]+留守録ボックス番号（合計3桁）を押してください。
001～048（留守録ボックス01～48）

※2：音声案内「暗証番号と#（シャープ）をどうぞ。」が聞こえる場合はパスワード入力が必要です。
留守録ボックスの場合は、ユーザ用パスワード（4桁）+[#]を入力します。
内線ボックスの場合は、内線パスワード（4桁）+[#]を入力します。

留守録モードを利用する

(5) ボイスメモに転送してもらう場合

(1) ～ (4) のように直接ボイスメモに接続できる外線がない場合でも、電話に出た人の操作でボイスメモに転送してもらうことができます。
ここでは、通話に入ってからの操作を説明しています。

1 電話に出た人に、ボイスメモへの転送を依頼する

- 内線電話機側は下記の操作をします。
  (操作は一例です。詳しくは、P2-9をご覧ください。)
  ①外線通話中に 内線 ボタンを押す
  (ボイスメモに転送されるまで、外線側は保留音が聞こえます。)
  ②VMUアクセス番号 (初期値199) を押す
  ※内線番号桁数を2桁に設定している場合、「VMUアクセス番号」の初期値は68です。
  ③呼出音が聞こえたあと、音声案内「メッセージの再生は1を、メッセージの送信は2をどうぞ。」が聞こえる
  ④ハンドセットを置く (転送操作)
  ※ボイスメモに空きがない場合は、「VMU使用中」が表示され、ウェイティングトーン (ツツ、ツツ…) が聞こえます。ボイスメモが空くまで、そのまま待って呼び出すこともできます (内線キャンプオン機能)。
  ※③で呼出音を聞いている間にハンドセットを置くと、簡易転送になります。
  ※③で音声案内が聞こえますが、内線電話機から番号を入力することはできません。そのままハンドセットを置いてください。

2 ボイスメモに転送されるまでは保留音が聞こえる

3 音声案内「メッセージの再生は1を、メッセージの送信は2をどうぞ。」が聞こえるので、1 を押す

4 音声案内「ボックス番号と#(シャープ)をどうぞ。」が聞こえるので、ボックス番号+# を押す

- 用件が再生されます。
- 留守録ボックスの場合は、0 +留守録ボックス番号 (合計3桁) を押してください。
  001～048 (留守録ボックス01～48)
- 音声案内「暗証番号と# (シャープ) をどうぞ。」が聞こえる場合はパスワード入力が必要です。
  留守録ボックスの場合は、ユーザ用パスワード (4桁) +# を入力します。
  内線ボックスの場合は、内線パスワード (4桁) +# を入力します。

補足説明

- ●ユーザ用パスワードの登録方法は、P7-32をご覧ください。
- ●内線パスワードの登録方法は、P5-70をご覧ください。
- ●ISDN外線の場合、利用できる番号は3番号までですが、ダイヤルインの代わりに「i・ナンバー」も利用できます。
- ●内線電話機で外線通話をボイスメモに転送する場合、内線キャンプオン機能でしばらく待ってもボイスメモを呼び出せないときは、保留した外線に戻り、改めて電話してもらうように説明してください。
- ●ボックス番号やパスワードを入力するとき、誤って ✳ を押した場合は ✳ を除いた部分をボックス番号やパスワードとして扱います。
- ●(1) ～ (5) の操作において、音声案内「メッセージの再生は1を、メッセージの送信は2をどうぞ。」のときに、1 の代わりに 2 を押すと、内線ボックスにメッセージを残すことができます (伝言メモ)。
  [2 を押した後の操作]
  ①音声案内「送信先ボックス番号またはグループ番号をどうぞ。」が流れる。
  ②メッセージ送信先の番号 (内線ボックス番号または同報グループ番号) を押す。
  ③下記音声案内が流れた後に、メッセージを録音する。
  ・内線ボックス番号入力時 :「ボックス番号△△△にメッセージを録音します。メッセージをどうぞ。ピーッ」
  ・同報グループ番号入力時 :「グループ番号△△△にメッセージを録音します。メッセージをどうぞ。ピーッ」
  ④オンフック (終話)
  ※上記操作は、内線電話機からメッセージ送信を行うときと同じです。詳しくはP5-92をご覧ください。

留守録モードを利用する

ご注意

●リモート操作用の外線で一次応答信号が聞こえるまでの時間は、主装置側のデータ設定や電話をかける電話機がリモート操作用電話機かどうかで異なります。詳しくは、P7-28をご覧ください。
●指定したボックスが使用中の場合は「ボックス番号○○○はただいま使用中です。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」を流し、外線を切断します。
●ボックス番号が間違っている場合や再生が規制されているボックス番号（⇒「知っていると便利なこと」）の場合は、「ボックス番号○○○はございません。もう一度、ボックス番号と＃をどうぞ。」を流します。また、最後が[#]でない場合は「ボックス番号と＃をどうぞ。」を流します。
●パスワードが間違っている場合は、「暗証番号が違います。もう一度、暗証番号と＃をどうぞ。」を流します。
●操作ミス（音声案内2回目以降の無操作を含む）が3回続くと、「操作方法をお確かめのうえ、改めておかけ直しください。ご利用ありがとうございました。」を流し、外線を切断します。
●音声案内のあとに約10秒間操作がないと、「ボックス番号と＃をどうぞ。」（暗証番号入力時は「暗証番号と＃をどうぞ。」）を流して操作を促します。無操作が3回続くと「ご利用ありがとうございました。」を流し、外線を切断します。
●LD/OD専用線を使用してボイスメモに接続することはできません。また、LD/OD専用線を使った通話をボイスメモに転送することもできません。

知っていると便利なこと

●音声案内が流れているときに、ボックス番号や暗証番号（ユーザ用パスワードまたは内線パスワード）を入力することもできます。
●発信者の電話番号を使って、留守録ボックスや内線ボックスの再生を規制することができます。規制している場合は、ナンバー・ディスプレイの回線と、不在転送先に設定した電話機（内線ボックスの録音通知先と共通、⇒P5-68）からの操作が必要です。[工事者設定722-27]
・留守録ボックス：
規制方法を「電話番号」または「電話番号＋パスワード」に設定した場合、他のテナントが使用している留守録ボックスの再生を規制することができます。また、規制方法を「電話番号」に設定した場合、再生時のユーザ用パスワード＋[#]入力は不要になります。
・内線ボックス：
規制方法を「電話番号」または「電話番号＋パスワード」に設定した場合、再生できるのはボックス番号と同じ内線番号の不在転送先として設定した電話機のみとなります。また、規制方法を「電話番号」に設定した場合、再生時の内線パスワード＋[#]入力は不要になります。

留守録モードを利用する

■用件再生中の動作

用件再生中は、下記のサービス番号を押すことができます。

サービス番号	動　作
1	再生中の録音内容を最初から再生する。
2	1つ前の録音内容を最初から再生する。
3	次の録音内容を最初から再生する。
4	用件を消去する。（用件メッセージの再生を停止し、音声案内が流れますので、それに従って操作してください。） ゴミ箱機能を有効にしている場合は留守録ゴミ箱に移動されます。 ゴミ箱の再生中は、再生中の用件を消去します。
5	用件の再生を停止する。
6	用件を保護（消去禁止）／保護解除する。
7	用件の再生を数秒巻戻しする。
8	用件の再生を数秒早送りする。
9	再生速度を変更する。（9を押すたびに1.4倍速→2倍速→1.4倍速→標準速度を繰り返します。）
0	用件を録音した相手に自動発信する。 （番号が通知されていない場合は発信できません。また、内線の通話録音や伝言メモを再生時は発信できません。）
#	再生中の用件を転送する。 内線ボックス番号または同報グループ番号を入力すると、用件を転送します。

※全て再生後は、1、2または5のみ操作可能です。
（音声案内「メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は1を押してください。」が流れます。）

補足説明

- ●音声案内（メッセージの件数）を流したあとに、再生していない録音（すべて再生しているときは再生済みの録音）を古い順に再生します。
- ●「音声案内付き再生なし」に設定されている場合、用件メッセージと録音時間を再生した後、すぐに次の用件メッセージが再生されます。「音声案内付き再生あり」に設定されている場合、用件メッセージと録音時間を再生した後、「もう一度再生する場合は1、消去する場合は4をどうぞ。」が流れます。その後、5秒間操作しないと、次のメッセージが再生されます。詳細は「音声案内付きで録音された用件を聞く」をご覧ください。
⇒P4-22
- ●用件が録音されていない場合は、「メッセージはございません。」が流れ、外線を切断します。
- ●サービス番号6は、押すたびに保護と保護解除が交互に切り替わります。

ご注意

- ●サービス番号0を使うときは、転送電話の発信外線の設定が必要です。[工事者設定722-4]

留守録モードを利用する

録音メッセージを一括消去する

ボイスメモに録音されたメッセージをまとめて消去します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-13)	−	−

■留守録ボックス単位で一括消去する

留守録モードで録音された用件メッセージを留守録ボックス単位で消去します。

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈留守録BOX全消去〉を呼び出す

① を押します。

②「**0 その他**」を選択し、 を押します。

③「**3 録音管理**」を選択し、 を押します。

④「**2 留守録BOX全消去**」を選択し、 を押します。

<留守録BOX全消去>
01 留守録BOX01
02 留守録BOX02
03 留守録BOX03
04 留守録BOX04
◀戻る ▲▼決定

2 操作できる留守録ボックス番号が反転表示されるので、 を押す

- 他のテナントの夜間切替を行える電話機は、すべての留守録ボックスを指定できます。

<留守録BOX全消去>
01 留守録BOX01
02 留守録BOX02
03 留守録BOX03
04 留守録BOX04
◀戻る ▲▼決定

3 ユーザ用パスワード（4桁）を入力する

- パスワード未設定時は、パスワード入力は省略されます。
- パスワードを間違えた場合は、パスワード入力待ち状態に戻ります。

<留守録BOX全消去>
留守録BOX01
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=＊＊＊
◀戻る

4 消去確認画面が表示されるので、 を押す

<留守録BOX全消去>
留守録BOX01

■消去しますか?
(未再生も対象)
◀戻る 消去

5 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、 を押します。
- を押すと操作2に戻り、消去を繰り返すことができます。

<留守録BOX全消去>
留守録BOX01

■消去完了!
終了 継続▶

留守録モードを利用する

補足説明

●留守録用の応答メッセージは消去されません。
●ゴミ箱機能をお使いの場合に全消去を実行すると、メッセージはゴミ箱には移動せず完全に消去されます。また対応する留守録ボックスのゴミ箱内のメッセージも同時に消去されます。
●留守録ゴミ箱を消去する場合は、手順1-④で**「7 留守録ｺﾞﾐ箱全消去」**を選択してください。

ご注意

●一括消去する留守録ボックスに対応するボイスメモを使用中の場合は、操作４のあとでエラーメッセージが表示されます。
を押すと操作4に戻り、を押すと終了します。

<留守録BOX全消去>
消去できません。
(BOX使用中)
戻ってしばらくお待ちください。
◀戻る 終了

●ボイスメモが全て使用中の場合は、操作４のあとでエラーメッセージが表示されます。
を押すと操作4に戻り、を押すと終了します。

<留守録BOX全消去>
消去できません。
(VMU回路空きなし)
戻ってしばらくお待ちください。
◀戻る 終了

●他の電話機で消去の操作をしている場合は、操作１のあとでエラーメッセージが表示されます。
を押すと操作1-④に戻り、を押すと終了します。
●保護されたメッセージは消去されません。消去したい場合は、再生を行い、ダイヤル6を押して保護を解除してください。

知っていると便利なこと

●メッセージを自動的に消去するように設定することができます。[工事者設定722-19]
以下の条件で消去します。
・一定の日数が経過したとき
・ボックスの録音件数が最大になったとき
・空き容量が少なくなったとき
ただし、保護されたメッセージは消去しません。
未再生メッセージは消去しないよう、内線／留守録ボックスごとに設定できます。
ゴミ箱にメッセージが残っている場合、ゴミ箱内のメッセージから先に消去されます。

留守録モードを利用する

■ボイスメモのすべてのメッセージを一括消去する

ボイスメモのすべての応答メッセージと用件メッセージを消去します。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから<VMU全消去>を呼び出す

① [決定] を押します。

②「**0 その他**」を選択し、[決定] を押します。

③「**3 録音管理**」を選択し、[決定] を押します。

④「**4 VMU全消去**」を選択し、[決定] を押します。

<VMU全消去>
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=････
◀戻る

2 ユーザ用パスワード（4桁）を入力する

- パスワード未設定時は、パスワード入力は省略されます。
- パスワードを間違えた場合は、パスワード入力待ち状態に戻ります。

<VMU全消去>
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ=＊＊＊＊
◀戻る

3 消去確認画面が表示されるので、[決定] を押す

<VMU全消去>
■消去しますか?
(未再生,保護ﾒｯｾｰｼﾞ,
ｺﾞﾐ箱も対象)
◀戻る 消去

4 消去中画面が表示される

<VMU全消去>
■消去中

5 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、[決定] を押します。
- [決定] を押すと操作1-④に戻り、消去を繰り返すことができます。

<VMU全消去>
■消去完了!
終了 継続▶

ご注意

●ボイスメモのすべてのメッセージを消去すると、ボイスメモに録音された以下のメッセージはすべて消去されます。保護されたメッセージも消去されます。

・留守録ボックス、内線ボックスの用件メッセージ
・応答メッセージ
・各ゴミ箱の用件メッセージ

●ボイスメモが全て使用中の場合は、操作3のあとでエラーメッセージが表示されます。
[決定] を押すと操作3に戻り、[決定] を押すと終了します。

<VMU全消去>
消去できません。
(VMU回路空きなし)
戻ってしばらくお待ちください。
◀戻る 終了

留守録モードを利用する

一時的に消去する（ゴミ箱機能）

留守録ボックス内の不要な用件メッセージを消去したとき、すぐに消去するのではなく、一時的に保管する機能です。ゴミ箱内の用件メッセージは元のボックスに復元したり再生することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722	–	–

■ゴミ箱機能を設定する

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈留守録ｺﾞﾐ箱使用〉を呼び出す

① ⊡ を押します。

②「**0 その他**」を選択し、⊡ を押します。

③「**3 録音管理**」を選択し、⊡ を押します。

④「**5 留守録ｺﾞﾐ箱使用**」を選択し、⊡ を押します。

<留守録ｺﾞﾐ箱使用>
01 留守録BOX01
02 留守録BOX02
03 留守録BOX03
04 留守録BOX04
◀戻る ▲▼ 決定

2 ゴミ箱を作る留守録ボックス番号を選択し、⊡ を押す

<留守録ｺﾞﾐ箱使用>
01 留守録BOX01
02 留守録BOX02
03 留守録BOX03
04 留守録BOX04
◀戻る ▲▼ 決定

3 ⊡ でゴミ箱機能の有無を選択し、⊡ を押す

- ゴミ箱機能を無効にするときは、「**0 なし**」を、有効にするときは、「**1 あり**」を選択してください。

<留守録ｺﾞﾐ箱使用>
留守録BOX01
0 なし
1 あり
◀戻る ▲▼ 決定

4 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、⊡ を押します。
- ⊡ を押すと操作2に戻り、設定を繰り返すことができます。

<留守録ｺﾞﾐ箱使用>
留守録BOX01
1 あり
■設定完了!
終了 継続▶

ご注意

- ●ゴミ箱にメッセージが残っている場合は、機能を無効にできません。ゴミ箱内のメッセージをすべて消去してください。
- ●自動消去したメッセージは、ゴミ箱に移動しません。

留守録モードを利用する

ゴミ箱ボタンを登録する

ゴミ箱ボタンの使い方はP4-20をご覧ください。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-9	−	−

■お使いの電話機に 留守録ゴミ箱( ) ボタンを登録する

1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

① ▣ を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、▣ を押します。
③「**1 ﾎﾞﾀﾝ登録**」を選択し、▣ を押します。
- i ボタン＋ ＊ ＊ を押しても本画面となります。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
‥KEY:

■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
  (押替可能)
◀戻る
```

2 登録するボタン（使っていない 外線 ボタン）を押し、▣ を押す

- 現在登録されている機能名称が表示されます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:000
      機能なし
■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
  (押替可能)
◀戻る  決定
```

3 ▣ で「5 ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、▣ を押す

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録
3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録
4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録
5 ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ登録
◀戻る ◆決定  次頁▶
```

4 ▣ で「1 留守録ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ」を選択し、▣ を押す

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
1 留守録ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ
2 内線BOXｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ


◀戻る ◆決定
```

5 留守録ゴミ箱番号を入力し、▣ を押す

- ▣ でゴミ箱番号を検索することもできます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:留守録ｺﾞﾐ箱01

■留守録BOX番号入力
ｸﾘｱ再入力
◀戻る ◆決定
```

6 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣ を押します。
- ▣ を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:留守録ｺﾞﾐ箱01

■登録完了!
        終了  継続▶
```

ご注意

- ●登録するボタンと同じ数の空きボタンが必要です。
- ●機能を設定したボタンに留守録ゴミ箱ボタンを登録すると、元の機能は使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P7-1

留守録モードを利用する

■他の電話機に 留守録ゴミ箱( ) ボタンを登録する

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

1 メニューから<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>を呼び出す

① ⊛ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊛ を押します。

③「1 他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、⊛ を押します。

<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>
収容位置：･･･-･･･
■電話機収容位置入力
先頭～最終（省略可）
クリア再入力
◀戻る

2 ボタンを登録したい電話機の先頭および最終（省略可能）の収容位置（3桁）を入力し、⊛ を押す

・再入力する場合は、クリア ボタンを押します。

<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>
収容位置：･･･-･･･
■電話機収容位置入力
先頭～最終（省略可）
クリア再入力
◀戻る

■収容位置入力後

<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>
収容位置：104-120
■電話機収容位置入力
先頭～最終（省略可）
クリア再入力
◀戻る 決定

3 他の電話機のボタン登録画面になる

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
･･KEY:
■KEY番号01～36入力
クリア再入力
◀戻る

4 登録するキー番号（2桁）を入力し、⊛ を押す

・登録できるキーは01～36までです。
・現在登録されている機能名称が表示されます。
・再入力する場合は、クリア ボタンを押します。

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:000
機能なし
■KEY番号01～36入力
クリア再入力
◀戻る 決定

5 ⊛ で「5 ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、⊛ を押す

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録
3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録
4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録
5 ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ登録
◀戻る 決定 次頁▶

6 ⊛ で「1 留守録ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ」を選択し、⊛ を押す

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
1 留守録ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ
2 内線BOXｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ
◀戻る 決定

7 留守録ゴミ箱番号を入力し、⊛ を押す

・⊛ でゴミ箱番号を検索することもできます。

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:留守録ｺﾞﾐ箱01
■留守録BOX番号入力
クリア再入力
◀戻る 決定

8 登録完了画面が表示される

・終了する場合は、⊛ を押します。
・⊛ を押すと操作4に戻り、登録を繰り返すことができます。

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:留守録ｺﾞﾐ箱01
■登録完了!
終了 継続▶

ご注意

●登録するボタンと同じ数の空きボタンが必要です。
●機能を設定したボタンに留守録ゴミ箱ボタンを登録すると、元の機能は使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P7-1
●操作2で範囲指定の場合に登録できない電話機があった場合は、エラー画面が表示されますので、⊛ を押して操作3に戻るか、⊛ を押して、詳細表示で登録できない収容位置とエラー内容を確認してください。

知っていると便利なこと

●電話機の収容位置を確認するときは、内線電話帳（P2-34）を利用するか、各電話機で i + 8 の操作をします。

応答専用モードを利用する

夜間や休日にかかってきた電話に対し、応答メッセージ「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」等を流すことができます。また、最大6種類のメッセージを使い分けることもできます。

応答メッセージを設定する

応答メッセージ「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」の代わりに、あらかじめ録音しておいた応答メッセージを流すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-6	−	−

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

■メニュー機能で設定するとき

1 メニューから〈応答専用ﾒｯｾｰｼﾞ〉を呼び出す

① ▣ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、▣ を押します。

③「6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、▣ を押します。

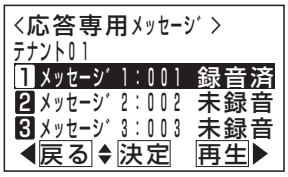
④「2 留守番用ﾒｯｾｰｼﾞ設定」を選択し、▣ を押します。

⑤「2 応答専用ﾒｯｾｰｼﾞ」を選択し、▣ を押します。

2 ▣ で設定を行うテナントを選択し、▣ を押す

3 ▣ で設定を行うメッセージ番号（1～6）を選択し、▣ を押す

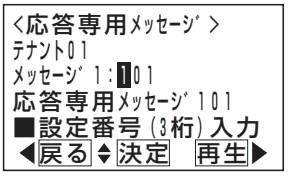
- 録音済のメッセージは、システム応答メッセージ番号（001～300）と「録音済」、未録音のメッセージはシステム応答メッセージ番号（001～300）と「未録音」を表示します。
  固定メッセージ1～3の場合は「固定1～固定3」を表示します。
  外部音源が登録されている場合、「外部音源」を表示します。
  登録なしの場合は「登録なし」と表示します。



- 選択したメッセージが録音済の場合、▣ を押す前に ▣ を押すと、現在選択中のメッセージを再生することができます。

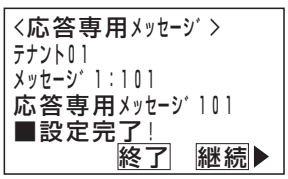
4 ▣ で設定したい番号を選択し、▣ を押す

- 番号を直接入力することもできます。
  設定番号とその機能は下記の通りです。
  000：登録なし
  001～300：システム応答メッセージ 001～300
  901～903：固定メッセージ1～固定メッセージ3
  999：外部音源
- 設定番号に対応した名称がディスプレイの4行目に表示されます。
- 選択したメッセージが録音済の場合、▣ を押す前に ▣ を押すと、現在選択中のメッセージを再生することができます。



5 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣ を押します。
- ▣ を押すと操作3に戻り設定を繰り返すことができます。



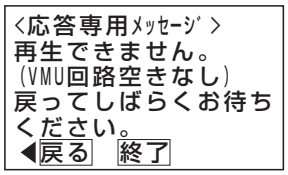
応答専用モードを利用する

補足説明

●応答専用モードのシステム応答メッセージはテナント１つにつき６種類まで設定することができます。
初期設定では、以下の固定メッセージが設定されています。
メッセージ１：「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」
メッセージ２：「本日は定休日です。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」
メッセージ３：「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」
メッセージ４～６は、初期値「登録なし」です。
※システム応答メッセージは、留守録モード（P4-15）および外線お待たせメッセージおよび転送電話の切断処理時の留守録応答メッセージや自動オペレータ（P5-78）や簡易IVR（P5-82）で自動応答時に流す音声案内など、システムで使用する応答メッセージとして使用することができます。重複しないメッセージ番号を使用してください。
●応答専用モードのシステム応答メッセージの録音は、他のシステム応答メッセージの録音方法と同じです。
「応答メッセージなどを録音する」（P7-20）をご覧ください。

ご注意

●メニュー機能で再生を行うとき、全てのボイスメモを使用中の場合は、エラーメッセージが表示されます。
を押すと前の画面に戻り、 を押すと終了します。



応答専用モードを利用する

応答専用モードをセットする

夜間や休日にかかってきた電話に対し、応答メッセージ「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」等を流すことができます。また、最大6種類のメッセージを使い分けることもできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401-3	＊	−

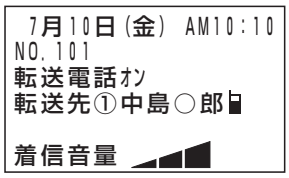
＊留守切替(981)または夜間切替00(600)～夜間切替48(648)のいずれか、および応答専用（948)、メッセージ1（701）～メッセージ6（706)、メッセージ切替（707）で必要なもの

■プログラマブルキーでセットする

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 留守切替 ボタンを押す

- 留守切替 ボタンが点灯します。
- 現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- 現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。



2 応答専用 ボタン、メッセージ() ボタンの順に押す

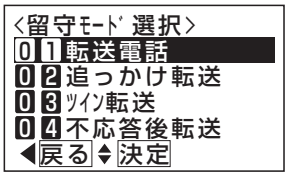
- メッセージ() ボタンは応答メッセージを切り替えたいときに押します。
- 応答専用 ランプが点灯します。
- 選択した メｯｾｰｼﾞ() ランプが点灯します。
- 設定したモードがディスプレイに表示されます。

■メニュー機能で応答専用モードに切り替える

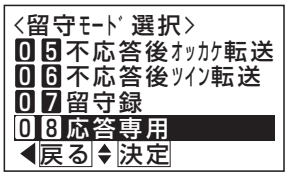
▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉を呼び出す

① ▣ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、▣ を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、▣ を押します。
④「1 留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、▣ を押します。

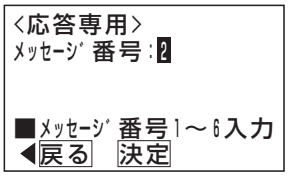


2 ▣ で「08応答専用」を選択し、▣ を押す



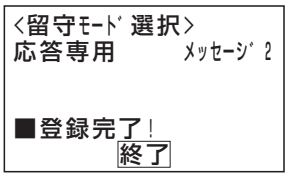
3 メッセージ番号（1～6）を入力し、▣ を押す

- ▣ を押す前は、メッセージ番号の入力をやり直すことができます。



4 登録完了画面が表示される

- ▣ を押すと終了します。



応答専用モードを利用する

補足説明

●[メッセージ1]～[メッセージ6]ボタンやメニュー機能の操作3で指定するメッセージ番号（1～6）と、録音したシステム応答メッセージ（P7-20）との対応は工事者設定が必要です。[工事者設定401-3]
初期設定は下記のとおりです。
・[メッセージ1]…固定メッセージ「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」
・[メッセージ2]…固定メッセージ「本日は定休日です。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」
・[メッセージ3]…固定メッセージ「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」
・[メッセージ4]～[メッセージ6]…設定なし

（設定例）

応答専用モードのメッセージ番号（[メッセージ( )]ボタン／メニュー機能の操作3の指定）	応答専用メッセージの録音先
1	システム応答メッセージ101
2	システム応答メッセージ102
3	システム応答メッセージ103
4	システム応答メッセージ104
5	システム応答メッセージ105
6	システム応答メッセージ106

●「■プログラマブルキーでセットする」（P4-43）の操作2で、[メッセージ( )]ボタンの代わりに[メッセージ切替]ボタンを押して、メッセージ番号を順次切り替えることができます。例えば、現在の設定がメッセージ1の場合、[メッセージ切替]ボタンを押すたびにメッセージ2→メッセージ3→･･･メッセージ6→メッセージ1の順に切り替わります。この場合、[メッセージ( )]ボタンが設定されていると、該当する[メッセージ( )]ランプも点灯します。
●応答メッセージの録音はデータ設定用電話機から行います。⇒P7-20
また、専用の音声ファイル管理アプリケーションを使用して、パソコンから取り込んだ音声ファイルを応答メッセージとして使用することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●[留守切替]ボタンの代わりに、[夜間切替( )]ボタンを押すこともできます。

ご注意

●メニュー機能で応答専用モードに切り替えるだけでは、応答専用モードをセットできません。[留守切替]ボタンや[夜間切替( )]ボタンの操作、またはメニュー機能で留守切替や夜間切替を行ってください。

知っていると便利なこと

●メッセージを流した後、外線を切らずに一般の着信にすることもできます。[工事者設定401-3]
※電話機に着信させる時間は9～99秒、9秒単位で設定します。
●電話機に着信させてから、メッセージを流すこともできます。[工事者設定401-3]
※電話機に着信させる時間は6～30秒、3秒単位で設定します。
●リモート操作用の外線の場合、応答メッセージが聞こえている間に[9][9][9][#]を押すと、リモート操作（P7-28）に入ることができます。

お話し中モードをセットする

夜間や休日にかかってきた電話に対し、話中音（ツーツー…）を相手の方に聞かせることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401	*	−

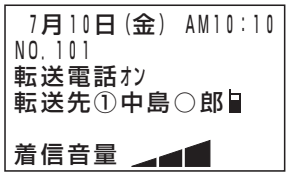
＊留守切替(981)または夜間切替00(600)～夜間切替48(648)のいずれか、および話中処理（949）

■プログラマブルキーでセットする

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 留守切替 ボタンを押す

- 留守切替 ボタンが点灯します。
- 現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- 現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。



2 話中処理 ボタンを押す

- 話中処理 ランプが点灯します。
- 設定したモードがディスプレイに表示されます。

補足説明

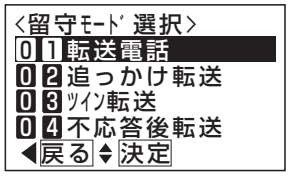
●留守切替 ボタンの代わりに、夜間切替( ) ボタンを押すこともできます。

■メニュー機能でお話し中モードに切り替える

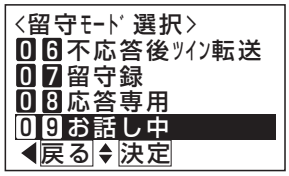
▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉を呼び出す

①[メニュー]を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[決定]を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、[決定]を押します。
④「1 留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、[決定]を押します。

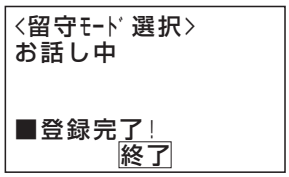


2 [▲▼]で「09お話し中」を選択し、[決定]を押す



3 登録完了画面が表示される

- [終了]を押すと終了します。



ご注意

●メニュー機能でお話し中モードに切り替えるだけでは、お話し中モードをセットできません。留守切替 ボタンや夜間切替( ) ボタンの操作、またはメニュー機能で留守切替や夜間切替を行ってください。

発信者選択モードを利用する

夜間や休日にかかってきた電話に対し、「本日の業務は終了しました。ご用件のある方は番号を入力してください。1は転送します。2は用件メッセージを録音します。」等のメッセージを流し、電話をかけてきた方が転送電話にしたり留守録にしたりすることができます。

応答メッセージを設定する

応答メッセージ「本日の業務は終了しました。ご用件のある方は番号を入力してください。1は転送します。2は用件メッセージを録音します。」等の代わりに、あらかじめ録音しておいた応答メッセージを流すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-6	−	−

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

■メニュー機能で設定するとき

1 メニューから〈転送/留守録ﾒｯｾｰｼﾞ〉を呼び出す

① を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、 を押します。

<転送/留守録ﾒｯｾｰｼﾞ>
01 ﾃﾅﾝﾄ01
02 ﾃﾅﾝﾄ02
03 ﾃﾅﾝﾄ03
04 ﾃﾅﾝﾄ04
◀戻る ◆決定

③「6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、 を押します。

④「2 留守番用ﾒｯｾｰｼﾞ設定」を選択し、 を押します。

⑤「3 転送/留守録ﾒｯｾｰｼﾞ」を選択し、 を押します。

2 で設定を行うテナントを選択し、 を押す

<転送/留守録ﾒｯｾｰｼﾞ>
01 ﾃﾅﾝﾄ01
02 ﾃﾅﾝﾄ02
03 ﾃﾅﾝﾄ03
04 ﾃﾅﾝﾄ04
◀戻る ◆決定

3 で設定を行うメッセージ番号（1～6）を選択し、 を押す

- 録音済のメッセージは、システム応答メッセージ番号（001～300）と「録音済」、未録音のメッセージはシステム応答メッセージ番号（001～300）と「未録音」を表示します。固定メッセージ1～9の場合は「固定1～固定9」を表示します。
  登録なしの場合は「登録なし」と表示します。
- 選択したメッセージが録音済の場合、 を押す前に を押すと、現在選択中のメッセージを再生することができます。

<転送/留守録ﾒｯｾｰｼﾞ>
ﾃﾅﾝﾄ01
1 ﾒｯｾｰｼﾞ1:001 録音済
2 ﾒｯｾｰｼﾞ2:002 未録音
3 ﾒｯｾｰｼﾞ3:003 未録音
◀戻る ◆決定 再生▶

4 で設定したい番号を選択し、 を押す

- 番号を直接入力することもできます。
  設定番号とその機能は下記の通りです。
  000：登録なし
  001～300：システム応答メッセージ 001～300
  901～909：固定メッセージ1～固定メッセージ9
- 設定番号に対応した名称がディスプレイの4行目に表示されます。
- 選択したメッセージが録音済の場合、 を押す前に を押すと、現在選択中のメッセージを再生することができます。

<転送/留守録ﾒｯｾｰｼﾞ>
ﾃﾅﾝﾄ01
ﾒｯｾｰｼﾞ1:111
転送/留守録用ﾒｯｾｰｼﾞ1
■設定番号(3桁)入力
◀戻る ◆決定 再生▶

5 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、 を押します。
- を押すと操作3に戻り設定を繰り返すことができます。

<転送/留守録ﾒｯｾｰｼﾞ>
ﾃﾅﾝﾄ01
ﾒｯｾｰｼﾞ1:111
転送/留守録用ﾒｯｾｰｼﾞ1
■設定完了!
終了 継続▶

発信者選択モードを利用する

補足説明

●発信者選択モードのシステム応答メッセージはテナント１つにつき６種類まで設定することができます。
初期設定では、以下の固定メッセージが設定されています。

メッセージ１：「本日の業務は終了しました。ご用件のある方は番号を入力してください。１は転送します。２は用件メッセージを録音します。」

メッセージ２：「本日は休業日です。ご用件のある方は番号を入力してください。１は転送します。２は用件メッセージを録音します。」

メッセージ３：「ただいま留守にしております。ご用件のある方は番号を入力してください。１は転送します。２は用件メッセージを録音します。」

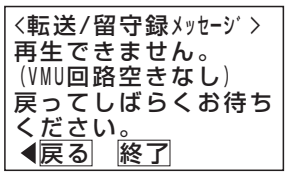
メッセージ４～６は、初期値「登録なし」です。

※システム応答メッセージは、留守録モード（P4-15）および外線お待たせメッセージおよび転送電話の切断処理時の留守録応答メッセージや自動オペレータ（P5-78）や簡易IVR（P5-82）で自動応答時に流す音声案内など、システムで使用する応答メッセージとして使用することができます。重複しないメッセージ番号を使用してください。

●発信者選択モードのシステム応答メッセージの録音は、他のシステム応答メッセージの録音方法と同じです。「応答メッセージなどを録音する」（P7-20）をご覧ください。

ご注意

●メニュー機能で再生を行うとき、全てのボイスメモを使用中の場合は、エラーメッセージが表示されます。
を押すと前の画面に戻り、 を押すと終了します。



発信者選択モードを利用する

発信者選択モードをセットする

夜間や休日にかかってきた電話に対し、「本日の業務は終了しました。ご用件のある方は番号を入力してください。1は転送します。2は用件メッセージを録音します。」等のメッセージを流し、電話をかけてきた方の操作により転送電話にしたり留守録にしたりすることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401-4	＊1	−

＊1.留守切替（981）または夜間切替00（600）～夜間切替48（648）のいずれか、および転送／留守録（950）、転送先01（831）～転送先14（844）、メッセージ1（701）～メッセージ6（706）、転送先①切替（845）、メッセージ切替（707）で必要なもの

■プログラマブルキーでセットする

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 留守切替 ボタンを押す

- 留守切替 ボタンが点灯します。
- 現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- 現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
NO.101
転送電話ｵﾝ
転送先①中島○郎
着信音量
```

2 留守録 ボタンを押した後、転送先( ) ボタンおよびメッセージ( ) ボタンを押す

- 転送先( ) ボタン、メッセージ( ) ボタンのどちらを先に押しても構いません。
  転送先( ) ボタン、メッセージ( ) ボタンは転送先や応答メッセージを切り替えたいときに押します。
- 転送／留守録 ランプが点灯します。
- 選択した 転送先( )、メッセージ( ) ランプが点灯します。
- 設定したモードがディスプレイに表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
NO.101
転送留守録ｵﾝ ﾒｯｾｰｼﾞ1
転送先①中島携帯
001件      001時間54分
着信音量
```

■メニュー機能で発信者選択モードに切り替える

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉を呼び出す

① ▣ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、▣ を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、▣ を押します。
④「1 留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、▣ を押します。

```
〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉
01転送電話
02追っかけ転送
03ﾂｲﾝ転送
04不応答後転送
◀戻る ▲▼ 決定
```

2 ▣ で「10 転送/留守録」を選択し、▣ を押す

```
〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉
07留守録
08応答専用
09お話し中
10転送/留守録
◀戻る ▲▼ 決定
```

3 転送先番号(01～14)を入力し、▣ を押す

- ▣ を押す前は、転送先番号の入力をやり直すことができます。

```
〈転送/留守録〉
転送先:03
08088888XXXX
山田○次郎
■転送先:01～14入力
◀戻る  決定
```

4 メッセージ番号（1～6）を入力し、▣ を押す

- ▣ を押す前は、メッセージ番号の入力をやり直すことができます。

```
〈転送/留守録〉
ﾒｯｾｰｼﾞ番号:2
■ﾒｯｾｰｼﾞ番号1～6入力
◀戻る  決定
```

5 登録完了画面が表示される

- ▣ を押すと終了します。

```
〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉
転送/留守録  ﾒｯｾｰｼﾞ2
転送先①山田○次郎
■登録完了!
      終了
```

発信者選択モードを利用する

補足説明

●メッセージ1～メッセージ6ボタンやメニュー機能の操作4で指定するメッセージ番号（1～6）と、録音したシステム応答メッセージ（P7-20）との対応は工事者設定が必要です。[工事者設定401-4]
初期設定は下記のとおりです。
・メッセージ1…固定メッセージ「本日の業務は終了しました。ご用件のある方は番号を入力してください。1は転送します。2は用件メッセージを録音します。」
・メッセージ2…固定メッセージ「本日は休業日です。ご用件のある方は番号を入力してください。1は転送します。2は用件メッセージを録音します。」
・メッセージ3…固定メッセージ「ただいま留守にしております。ご用件のある方は番号を入力してください。1は転送します。2は用件メッセージを録音します。」
・メッセージ4～メッセージ6…設定なし

（設定例）

発信者選択モードのメッセージ番号（メッセージ( )ボタン／メニュー機能の操作4の指定）	応答メッセージの録音先
1	システム応答メッセージ111
2	システム応答メッセージ112
3	システム応答メッセージ113
4	システム応答メッセージ114
5	システム応答メッセージ115
6	システム応答メッセージ116

●「■プログラマブルキーでセットする」（P4-48）の操作2で、転送先( )ボタンの代わりに転送先①切替ボタンを押して、転送先番号を順次切り替えることができます。例えば、転送先①の現在の設定が転送先03の場合、転送先①切替ボタンを押すたびに転送先04→転送先05→･･･転送先13→転送先14→転送先01→･･･転送先03の順に切り替わります。この場合、転送先( )ボタンが設定されていると、該当する転送先( )ランプも点灯します。
●「■プログラマブルキーでセットする」（P4-48）の操作2で、メッセージ( )ボタンの代わりにメッセージ切替ボタンを押して、メッセージ番号を順次切り替えることができます。例えば、現在の設定がメッセージ1の場合、メッセージ切替ボタンを押すたびにメッセージ2→メッセージ3→･･･メッセージ6→メッセージ1の順に切り替わります。この場合、メッセージ( )ボタンが設定されていると、該当するメッセージ( )ランプも点灯します。
●応答メッセージの録音は電話機から行います。⇒P7-20
また、専用の音声ファイル管理アプリケーションを使用して、パソコンから取り込んだ音声ファイルを応答メッセージとして使用することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

発信者選択モードを利用する

補足説明

●発信者選択モードで電話を受けると、下記のいずれかの動作（発信者が選択）になります。
　1…転送電話
　2…留守録
　3…ファックス呼出（3を押さずにファックスの送信ボタンを直接押すこともできます。）
※「電話／ファックス自動切替」（P5-108）を使用しているときに3は有効となります。電話／ファックス自動切替を使用すると、ファックスからの着信は自動的にファックスを呼び出しますが、ファックスかどうか検出できなかったときは、発信者選択モードとなりますので、相手の方に3をダイヤルしていただきます。
また、下記のいずれかの固定メッセージを使用することもできます。[工事者設定401-4]
・「本日の業務は終了しました。ご用件のある方は番号を入力してください。1は転送します。2は用件メッセージを録音します。ファクシミリの方は3を入力してください。」
・「本日は休業日です。ご用件のある方は番号を入力してください。1は転送します。2は用件メッセージを録音します。ファクシミリの方は3を入力してください。」
・「ただいま留守にしております。ご用件のある方は番号を入力してください。1は転送します。2は用件メッセージを録音します。ファクシミリの方は3を入力してください。」
・「本日の業務は終了しました。ご用件のある方は番号を入力してください。1は転送します。2は用件メッセージを録音します。ファクシミリの方は送信してください。」
・「本日は休業日です。ご用件のある方は番号を入力してください。1は転送します。2は用件メッセージを録音します。ファクシミリの方は送信してください。」
・「ただいま留守にしております。ご用件のある方は番号を入力してください。1は転送します。2は用件メッセージを録音します。ファクシミリの方は送信してください。」
●ファックスに接続する場合、ファックスが使用中のときは回線が切断され、相手の方には話中音（ツーツー…）が聞こえます。
●電話をかけてきた方が操作を行わなかったときは、電話を切ります。自動的に転送電話、留守録またはファックス呼出にすることもできます。[工事者設定401-4]
●留守切替ボタンの代わりに、夜間切替( )ボタンを押すこともできます。

ご注意

●メニュー機能で発信者選択モードに切り替えるだけでは、発信者選択モードをセットできません。留守切替ボタンや夜間切替( )ボタンの操作、またはメニュー機能で留守切替や夜間切替を行ってください。

知っていると便利なこと

●電話機に着信させてからメッセージを流すこともできます。[工事者設定401-4]
※電話機に着信させる時間は、6～30秒、3秒単位で設定します。
●リモート操作用の外線の場合、応答メッセージが流れている間に9 9 9 #を押すと、リモート操作（P7-28）に入ることができます。

通常着信モードをセットする

留守切替や夜間切替後も通常の着信とするモードです。
普段は留守切替や夜間切替後に転送電話等を利用しているが、留守切替や夜間切替後に通常に電話にでなければならないときに本モードを利用することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401	＊	−

＊留守切替（981）または夜間切替00（600）～夜間切替48（648）のいずれか、および通常着信（951）

■プログラマブルキーでセットする

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 留守切替 ボタンを押す

- 留守切替 ボタンが点灯します。
- 現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- 現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
NO.101
転送電話ｵﾝ
転送先①中島○郎
着信音量
```

2 通常着信 ボタンを押す

- 通常着信 ランプが点灯します。
- 設定したモードがディスプレイに表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
NO.101
通常着信ｵﾝ
着信音量
```

補足説明

●留守切替ボタンの代わりに、夜間切替( )ボタンを押すこともできます。

■メニュー機能で通常着信モードに切り替える

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉を呼び出す

① ⊛ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊛ を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、⊛ を押します。
④「1 留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、⊛ を押します。

```
〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉
01転送電話
02追っかけ転送
03ﾂｲﾝ転送
04不応答後転送
◀戻る ▲▼決定
```

2 ⊛ で「1 1 通常着信」を選択し、⊛ を押す

```
〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉
08応答専用
09お話し中
10転送/留守録
11通常着信
◀戻る ▲▼決定
```

3 登録完了画面が表示される

- ⊛ を押すと終了します。

```
〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉
通常着信

■登録完了!
      終了
```

ご注意

●メニュー機能で通常着信モードに切り替えるだけでは、通常着信モードをセットできません。留守切替ボタンや夜間切替( )ボタンの操作、またはメニュー機能で留守切替や夜間切替を行ってください。

留守録＋転送モードを利用する

留守録と転送が同時にでき、転送先の携帯電話などで留守録している内容をモニタすることができます。その着信に応答することもできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401	＊1	−

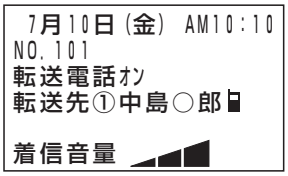
＊1.留守切替（981）または夜間切替00（600）～夜間切替48（648）のいずれか、および留守録＋転送（952）、転送先01（831）～転送先14（844）、転送先①切替（845）、メッセージ1（701）～メッセージ6（706）、メッセージ切替（707）で必要なもの

■プログラマブルキーでセットする

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 留守切替 ボタンを押す

- 留守切替 ボタンが点灯します。
- 現在設定されているモードボタンのランプが点灯します。
- 現在設定されているモードがディスプレイに表示されます。



2 留守録+転送 ボタンを押した後、転送先( ) ボタンおよびﾒｯｾｰｼﾞ( ) ボタンを押す

- 転送先( )ボタン、メッセージ( )ボタンのどちらを先に押しても構いません。
  転送先( )ボタン、メッセージ( )ボタンは転送先や応答メッセージを切り替えたいときに押します。
- 留守録＋転送ランプが点灯します。
- 選択した転送先( )、メッセージ( )ランプが点灯します。
- 設定したモードがディスプレイに表示されます。

■メニュー機能で留守録＋転送モードに切り替える

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

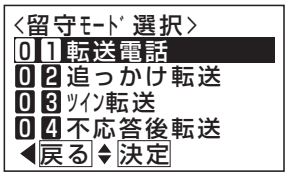
1 メニューから〈留守ﾓｰﾄﾞ選択〉を呼び出す

① ▣ を押します。

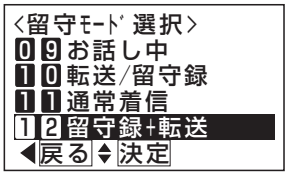
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、▣ を押します。

③「5 留守番機能」を選択し、▣ を押します。

④「1 留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、▣ を押します。



2 ▣ で「1 2 留守録＋転送」を選択し、▣ を押す

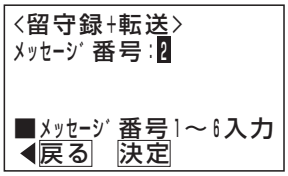


3 転送先番号（01～14）を入力し▣ を押す

- ▣ を押す前は、転送先番号の入力をやり直すことができます。

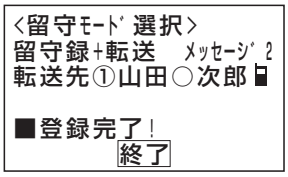
4 メッセージ番号（1～6）を入力し▣ を押す

- ▣ を押す前は、メッセージ番号の入力をやり直すことができます。



5 登録完了画面が表示される

- ▣ を押すと終了します。



留守録＋転送モードを利用する

■転送先の電話機で留守録をモニタする
・電話に出る

1 留守録＋転送モードの外線に着信が入ると転送先を呼び出す

2 転送先の電話機で着信に応答する

3 留守録モニタができる
- 応答メッセージや相手の方の声が聞こえます。

4 電話に出るときは、プッシュ信号で[1]または[2]をダイヤルする
- [1]をダイヤルした場合…録音を停止し、通話ができます。
- [2]をダイヤルした場合…録音を継続したまま通話ができます。
- 電話に出ないときは、そのまま電話を切ってください。留守録は継続します。

補足説明

●転送先は応答した時点でモニタを開始します。このため応答メッセージを最初から聞くことができない場合があります。転送先での応答が遅れると、相手の方が用件の録音を開始後からのモニタとなる場合もあります。
●ボイスメモが全て使用中で留守録応答できない場合も転送先の電話機を呼び出します。この場合は着信に応答しても無音になります。ボイスメモが空きになり留守録応答を開始した段階で応答メッセージから聞くことができます。
●メッセージ番号1～6は留守録モード（P4-15）と共通です。
●転送先01～14は転送電話モード(P4-5）と共通です。
●留守録に関する仕様は留守録モード（P4-15）と共通です。

ご注意

●メニュー機能で留守録＋転送モードに切り替えるだけでは、留守録＋転送モードをセットできません。[留守切替]ボタンや[夜間切替( )]ボタンの操作、またはメニュー機能で留守切替や夜間切替を行ってください。
●外線の通話をモニタする場合、会議通話回路に空きがない場合は、応答メッセージは聞こえず、相手の方の声のみ聞こえます。
●留守録＋転送モードをセットしているときは、内線側の電話機で留守録モニタ(P4-18）を利用することはできません。

知っていると便利なこと

●特定の方専用の留守モード(P4-54)でも留守録＋転送モードを利用することができます。

特定の方専用にモードをセットする

留守番機能設定時にあらかじめ登録した電話番号（特定者）から電話がかかってくると、通常とは異なる留守番のモードを利用することができます。例えば、通常は留守録、特定者は転送電話のような使い方ができます。また、通常も特定者も転送電話の場合、特定者ごとに別の転送先を選択することができます。（転送先01～転送先14の中から選択）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
401	−	−

特定者留守モード（電話番号指定）を登録する

特定者の電話番号と使用する留守モードを選択します。

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■転送電話のモード（転送先１カ所）や「転送/留守録」を設定するとき

1 メニューから〈特定番号留守ﾓｰﾄﾞ〉を呼び出す

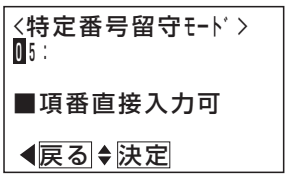
① ⊛ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊛ を押します。

③「5 留守番機能」を選択し、⊛ を押します。

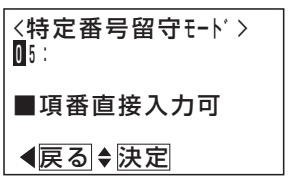
④「2 特定者留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、⊛ を押します。

⑤「1 電話番号指定」を選択し、⊛ を押します。



2 ⊛ を押す

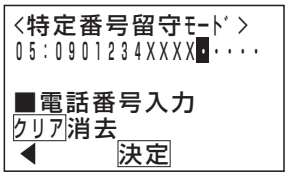
- 登録されていない番号がディスプレイの2行目に表示されます。
- 登録済の特定者のモード等を変更する場合は、⊛ で検索するか、番号（01～20）を直接入力してください。
- すでに登録されている場合は、ディスプレイの2行目に特定者の電話番号、3行目に留守モードが表示されます。



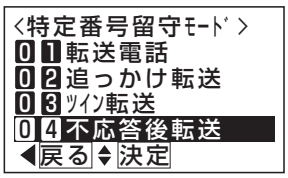
3 ⊛ で「1 登録/変更」を選択し、⊛ を押す

4 特定者の電話番号（最大16桁）を入力し、⊛ を押す

- ⊛ でカーソルを移動して必要部分を変更できます。



5 ⊛ で使用するモード（例：「0 4 不応答後転送」）を選択し、⊛ を押す

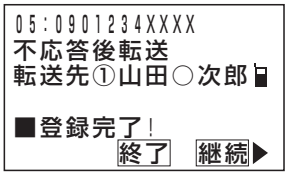


6 転送先番号(01～14)を入力し、⊛ を押す

- ⊛ を押す前は、転送先番号の入力をやり直すことができます。

7 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、⊛ を押します。
- ⊛ を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

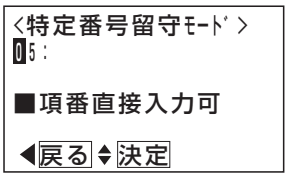


特定の方専用にモードをセットする

■転送電話のモード（転送先２カ所）を設定するとき

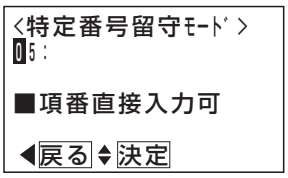
1 メニューから〈特定番号留守ﾓｰﾄﾞ〉を呼び出す

① 🔘 を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、🔘 を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、🔘 を押します。
④「2 特定者留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、🔘 を押します。
⑤「1 電話番号指定」を選択し、🔘 を押します。



2 🔘 を押す

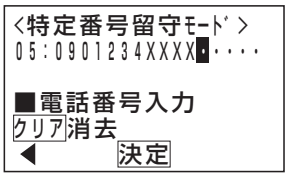
- 登録されていない番号がディスプレイの2行目に表示されます。
- 登録済の特定者のモード等を変更する場合は、🔘 で検索するか、番号（01～20）を直接入力してください。
- すでに登録されている場合は、ディスプレイの2行目に特定者の電話番号、3行目に留守モードが表示されます。



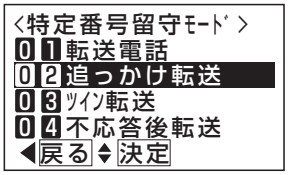
3 🔘 で「1 登録/変更」を選択し、🔘 を押す

4 特定者の電話番号（最大16桁）を入力し、🔘 を押す

- 🔘 でカーソルを移動して必要部分を変更できます。

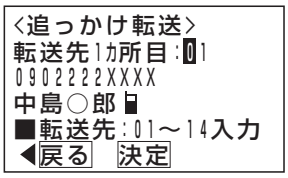


5 🔘 で使用するモード（例：「02 追っかけ転送」）を選択し、🔘 を押す



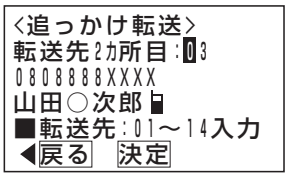
6 転送先1カ所目の転送先番号（01～14）を入力し、🔘 を押す

- 🔘 を押す前は、転送先番号の入力をやり直すことができます。



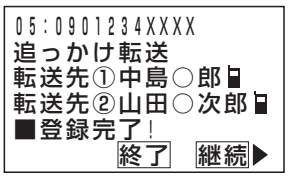
7 転送先2カ所目の転送先番号（01～14）を入力し、🔘 を押す

- 🔘 を押す前は、転送先番号の入力をやり直すことができます。



8 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、🔘 を押します。
- 🔘 を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。



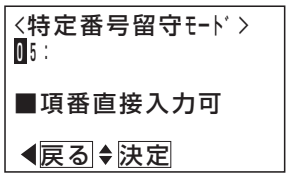
特定の方専用にモードをセットする

■「留守録」、「応答専用」、「お話し中」、「通常着信」を設定するとき

1 メニューから〈特定番号留守ﾓｰﾄﾞ〉を呼び出す

① ▣ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、▣ を押します。



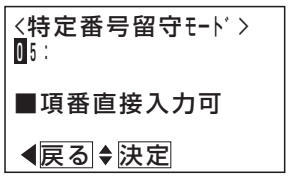
③「5 留守番機能」を選択し、▣ を押します。

④「2 特定者留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、▣ を押します。

⑤「1 電話番号指定」を選択し、▣ を押します。

2 ▣ を押す

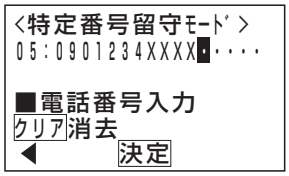
- 登録されていない番号がディスプレイの2行目に表示されます。
- 登録済の特定者のモード等を変更する場合は、▣ で検索するか、番号（01～20）を直接入力してください。
- すでに登録されている場合は、ディスプレイの2行目に特定者の電話番号、3行目に留守モードが表示されます。



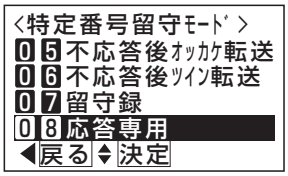
3 ▣ で「1 登録/変更」を選択し、▣ を押す

4 特定者の電話番号（最大16桁）を入力し、▣ を押す

- ▣ でカーソルを移動して必要部分を変更できます。



5 ▣ で使用するモード（例：「0 8 応答専用」）を選択し、▣ を押す



6 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣ を押します。
- ▣ を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

補足説明

●登録できる特定の方の番号は、テナントごとに最大20件です。

●特定者留守モード（電話番号指定）は、特定者の電話番号を登録したテナントに特定者から電話がかかってきたときのみ動作します。特定者の電話番号を登録していないテナントでは通常の留守番機能となります。

●操作4で電話番号を全て消去すると、▣ で操作3に戻ることができます。

●特定者モードと電話番号を消去するには、操作2で消去したい番号を指定し、操作3で「2 消去」を選んで、▣ を押したあと、消去の確認画面が表示したら、▣ を押してください。

ご注意

●留守録モード、応答専用モード、発信者選択モードの応答メッセージを指定することはできません。通常の留守録モード等と同じメッセージが使用されます。

●通常の留守モードと同様、特定者留守モードも留守切替や夜間切替がセットされていないと動作しません。

特定の方専用にモードをセットする

特定者留守モード（相手区分指定）を登録する

共通電話帳に登録されている方から電話がかかってきたときに、動作する留守モードと転送先を設定できます。設定は電話帳の相手区分単位となります。

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■転送電話のモード（転送先１カ所）や「転送/留守録」を設定するとき

1 メニューから〈相手区分留守ﾓｰﾄﾞ〉を呼び出す

① ⊕ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊕ を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、⊕ を押します。
④「2 特定者留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、⊕ を押します。
⑤「2 相手区分指定」を選択し、⊕ を押します。

<相手区分留守ﾓｰﾄﾞ>
01(得意先　　)
機能なし
◀戻る ◆決定

2 ⊕ で相手区分番号を選択し、⊕ を押す

- 該当する相手区分番号（01～30）を直接入力することもできます。

<相手区分留守ﾓｰﾄﾞ>
01(得意先　　)
機能なし
◀戻る ◆決定

3 ⊕ で使用するモード（例：「04不応答後転送」）を選択し、⊕ を押す

<相手区分留守ﾓｰﾄﾞ>
01転送電話
02追っかけ転送
03ﾂｲﾝ転送
04不応答後転送
◀戻る ◆決定

4 転送先番号(01～14)を入力し、⊕ を押す

- ⊕ を押す前は、転送先番号の入力をやり直すことができます。

<不応答後転送>
転送先:03
08088888XXXX
山田○次郎
■転送先:01～14入力
◀戻る　決定

5 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、⊕ を押します。
- ⊕ を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

01(得意先　　)
不応答後転送
転送先①山田○次郎
■登録完了!
終了　継続▶

特定の方専用にモードをセットする

■転送電話のモード（転送先2カ所）を設定するとき

1 メニューから＜相手区分留守ﾓｰﾄﾞ＞を呼び出す

① を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、 を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、 を押します。
④「2 特定者留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、 を押します。
⑤「2 相手区分指定」を選択し、 を押します。

<相手区分留守ﾓｰﾄﾞ>
01(得意先　　)
機能なし
◀戻る ◆決定

2 で相手区分番号を選択し、 を押す

- 該当する相手区分番号（01～30）を直接入力することもできます。

<相手区分留守ﾓｰﾄﾞ>
01(得意先　　)
機能なし
◀戻る ◆決定

3 で使用するモード（例：「02追っかけ転送」）を選択し、 を押す

<相手区分留守ﾓｰﾄﾞ>
01転送電話
02追っかけ転送
03ﾂｲﾝ転送
04不応答後転送
◀戻る ◆決定

4 転送先1カ所目の転送先番号（01～14）を入力し、 を押す

- を押す前は、転送先番号の入力をやり直すことができます。

<追っかけ転送>
転送先1ｶ所目:01
09022222XXXX
中島○郎
■転送先:01～14入力
◀戻る 決定

5 転送先2カ所目の転送先番号（01～14）を入力し、 を押す

- を押す前は、転送先番号の入力をやり直すことができます。

<追っかけ転送>
転送先2ｶ所目:03
08088888XXXX
山田○次郎
■転送先:01～14入力
◀戻る 決定

6 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、 を押します。
- を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

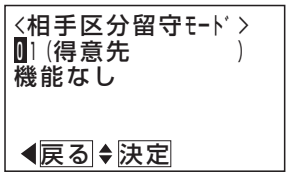
01(得意先　　)
追っかけ転送
転送先①中島○郎
転送先②山田○次郎
■登録完了!
終了 継続▶

特定の方専用にモードをセットする

■「留守録」、「応答専用」、「お話し中」、「通常着信」を設定するとき

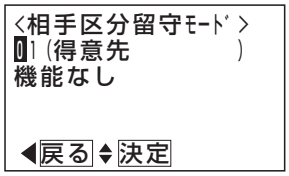
1 メニューから〈相手区分留守ﾓｰﾄﾞ〉を呼び出す

① ▣ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、▣ を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、▣ を押します。
④「2 特定者留守ﾓｰﾄﾞ選択」を選択し、▣ を押します。
⑤「2 相手区分指定」を選択し、▣ を押します。

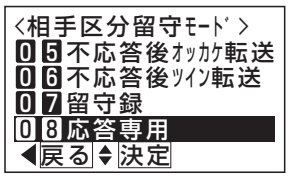


2 ▣ で相手区分番号を選択し、▣ を押す

- 該当する相手区分番号（01～30）を直接入力することもできます。

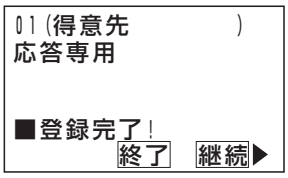


3 ▣ で使用するモード（例：「08 応答専用」）を選選択し、▣ を押す



4 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣ を押します。
- ▣ を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。



補足説明

●特定者留守モード（相手区分指定）は、共通電話帳に登録してある電話番号から電話がかかってきたときのみ動作します。共通電話帳に登録されていない方からの場合、通常の留守番機能となります。
※留守モードはテナントごとに設定されるため、同じ電話番号の相手から電話がかかってきても、テナントが異なれば各々の留守モードで動作します。
※本設定よりも特定者留守モード（電話番号指定）が優先されます。

ご注意

●留守録モード、応答専用モード、発信者選択モードの応答メッセージを指定することはできません。通常の留守録モード等と同じメッセージが使用されます。
●通常の留守モードと同様、特定者留守モードも留守切替や夜間切替がセットされていないと動作しません。

外出先からリモート操作で留守番機能をセット／解除する

外出先からリモート操作用の外線に電話をかけて、夜間切替、留守切替などを制御できます。リモート操作の詳細については、P7-28をご覧ください。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
228,（401）	−	−

■夜間切替をするとき

1 外出先から本装置のリモート操作モードの外線に電話をかける

・一定時間後に、一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が聞こえます。

2 [#]＋ユーザ用パスワード（4桁）を入力する

- パスワードが正しい場合は連続音（プー）が聞こえます。
- パスワードを間違えた場合は話中音（ツーツー…）が聞こえますので、[*]を押すと操作2をやり直すことができます。
- パスワードが登録されていない場合、またはリモート操作用電話機からかけた場合は、パスワード（4桁）の入力は省略します。この場合、[#]を押した時点で無音となります。

3 [0][1]を押す

4 モード切替用電話機の内線番号（1桁～4桁）*を入力する（省略可能）

5 モード番号1桁（0～3）を押す

- [0]：昼モード
- [1]：夜モード1（夜間）
- [2]：夜モード2（深夜）
- [3]：夜モード3（休日）

6 [#]を押す

- 音声アナウンスまたは連続音（プー）が流れます。

*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに[#]を押してください。

■留守切替をするとき

「■夜間切替をするとき」の操作1～2を行った後、以下の操作を行います。

1 [0][2]を押す

2 モード切替用電話機の内線番号（1桁～4桁）*を入力する（省略可能）

3 [0]または[1]を押す

- [0]：留守切替OFF
- [1]：留守切替ON

4 [#]を押す

- 音声アナウンスまたは連続音（プー）が流れます。

■留守番モード切替をするとき

「■夜間切替をするとき」の操作1～2を行った後、以下の操作を行います。

1 [0][4]を押す

2 モード切替用電話機の内線番号（1桁～4桁）*を入力する（省略可能）

3 モード番号2桁（01～12）を押す

01：転送電話モード
02：追っかけ転送モード
03：ツイン転送モード
04：不応答後転送モード
05：不応答後追っかけ転送モード
06：不応答後ツイン転送モード
07：留守録モード
08：応答専用モード
09：お話し中モード
10：発信者選択モード（転送／留守録）
11：通常着信モード
12：留守録＋転送モード

4 [#]を押す

- 音声アナウンスまたは連続音（プー）が流れます。

外出先からリモート操作で留守番機能をセット／解除する

■転送先を登録・変更するとき

本操作は留守番モード01～06、10、12の場合のみ、有効です。

「■夜間切替をするとき」(P4-60) の操作1～2を行った後、以下の操作を行います。

1. 0 5を押す
2. モード切替用電話機の内線番号(1桁～4桁)*を入力する(省略可能)
3. 1カ所目の転送先番号(0 1～1 4)を押す
4. 2カ所目の転送先番号(0 1～1 4)を押す
   - 2カ所目の転送先は、モードが02、03、05、06になっているときのみ入力できます。また、省略することもできます。省略したときは、2カ所目は内容が変更されません。
5. #を押す
   - 音声アナウンスまたは連続音（プー）が流れます。

■転送先電話番号を登録・変更するとき

「■夜間切替をするとき」(P4-60) の操作1～2を行った後、以下の操作を行います。

1. 0 6を押す
2. モード切替用電話機の内線番号(1桁～4桁)*を入力する(省略可能)
3. 転送先番号（0 1～1 4）を押す
4. 転送先の電話番号を入力する(最大24桁)
5. #を押す
   - 連続音（プー）が流れます。

■留守録通知先切替をするとき

「■夜間切替をするとき」(P4-60) の操作1～2を行った後、以下の操作を行います。

1. 1 0を押す
2. モード切替用電話機の内線番号(1桁～4桁)*を入力する(省略可能)
3. 留守録通知先番号1桁（1～7）を押す
4. #を押す
   - 音声アナウンスまたは連続音（プー）が流れます。

■留守番モードメッセージ番号切替をするとき

「■夜間切替をするとき」(P4-60) の操作1～2を行った後、以下の操作を行います。

1. 1 1を押す
2. モード切替用電話機の内線番号(1桁～4桁)*を入力する(省略可能)
3. 留守番モード番号（0 7、0 8、1 0）を押す
4. メッセージ番号（1～6）を押す
5. #を押す
   - 切り替わるとメッセージが2回再生されます（VMU全使用中や外部音源の場合は再生されません）。そのあとで、連続音（プー）が流れます。

*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに#を押してください。

外出先からリモート操作で留守番機能をセット／解除する

■システム応答メッセージの録音／再生をするとき

留守録モード、応答専用モード、発信者選択モードで使用中のシステム応答メッセージを録音／再生できます。

1 1 2 を押す

2 モード切替用電話機の内線番号（1桁～4桁）*を入力する（省略可能）

3 # を押す

- 音声アナウンスが流れます。

4 留守番モード番号（0 7、0 8、1 0）を押す

5 メッセージ番号（1 ～ 6 ）を押す

- 応答メッセージとしてシステム応答メッセージ（001～300）を登録していない場合、話中音（ツーツー・・・）が流れます。
  事前に登録（⇒P4-15、4-41、4-46）しておいてください。

6 録音する場合は 1 を、再生する場合は 2 を押す

- 1 を押した場合、音声案内「メッセージをどうぞ」が流れます。
- 2 を押した場合、メッセージが2回再生されます。
  そのあとで連続音（プー）が流れます。

7 操作6で 1 を押した場合、音声案内のあと「ピー」音が聞こえたら録音を開始し、録音を完了したら、1秒程度時間をあけてから # を押す

- 録音完了後、録音内容が2回再生され、そのあとで連続音（プー）が流れます。

*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに # を押してください。

補足説明

- ●初期設定では、モード切替用電話機の内線番号の入力は不要です。［工事者設定228］
- ●設定完了時に音声アナウンス「設定完了アナウンス」が流れます。
  「設定完了アナウンス」の詳細は、P7-26をご覧ください。
- ●パスワードの登録は「リモート操作時のパスワードを登録する」（P7-32）をご覧ください。

ご注意

- ●パスワード入力時にダイヤルとダイヤルの間が5秒以上あいた場合や、パスワードを間違った場合は、話中音（ツーツー…）が聞こえます。話中音が約8秒間聞こえた後、電話が切れます。
- ●設定完了アナウンスに使用するボイスメモを使用中の場合は、音声アナウンスは流れず連続音（プー）が流れます。

知っていると便利なこと

- ●話中音（ツーツー…）が聞こえたときは、＊ボタンを押すと一次応答信号が再び聞こえますので、# の入力からやり直すことができます。
- ●複数のテナントがある場合は、リモート操作時の内線番号入力をあり（P7-30の＊1）に設定してある場合、モード切替用電話機の内線番号を入力すると、特定のテナントの切替ができます。［工事者設定228］

電話番号によって使用する回線を自動選択する（特定番号迂回発信）

相手番号によって使用する外線（IP回線／NTT回線／携帯電話アダプタ等）を自動選択し、通話料金を削減することができます。
共通電話帳に相手の方の電話番号と共に外線自動発信グループを設定しておくと、設定した回線を使って電話をかけることができます。
電話をかける場合は[外線]ボタンを押さずに以下の操作を行ってください。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
142,（142-1）	−	−

■プリセットダイヤルの場合

（例：[プリセット]ボタンを使用しない場合）

1 ハンドセットを置いたまま、相手の方の電話番号を押す

- 電話番号が表示されます。

2 ハンドセットをとる（または[スピーカ]ボタンを押す）

■共通電話帳による検索発信の場合

共通電話帳を検索し、発信する相手を表示させたあと、以下の操作を行います。

1 ハンドセットをとる（または[スピーカ]ボタンを押す）

補足説明

- [プリセット]ボタンを使ってプリセットダイヤルすることもできます。
- 下記の操作でも本機能は有効です。（[外線]ボタンを押さずに電話をかけます。）
  リダイヤル（P2-12）、発信履歴からの発信（P2-13）、着信履歴からの発信（P2-25）、短縮ダイヤル発信（P3-19）、ワンタッチダイヤル（P2-24）、チェーンダイヤル（P5-113）、不在転送（外線への転送：内線／専用線着信の場合）（P5-120）、留守番電話機能の指定電話通知（P4-26）、ID短縮発信番号による発信（P5-147）
- 共通電話帳で外線自動発信グループを設定する方法は「外線自動発信グループを選択する」をご覧ください。
  ⇒P3-8
- 各外線自動発信グループごとに使用可能な回線は設定が必要です。［工事者設定 142］

ご注意

- IP回線をご利用の場合、電話番号によってはIP回線で電話をかけられない場合があります。電話をかけるときは[外線]ボタンを押さずに上記の操作を行ってください。
- 先頭が[*]または[#]から始まるダイヤルについては本機能を利用することはできません。この場合はNTT回線の[外線]ボタンを押して発信してください。
- 外付けのアダプタ（アナログ回線タイプ）でIP電話サービスをご利用の場合、誰も使用していないときにIP電話サービスを契約した外線に対応した[外線]ランプが赤点灯しているときは（ランプ点灯は工事者設定が必要）、回線側に障害が発生しています。障害が復旧次第、[外線]ランプは消えます。なお、工事者設定により障害発生時はIP電話サービスを契約していない外線が選択されるように設定することができます。［工事者設定 142］
- 外付けのアダプタでIP電話サービスをご利用の場合、IP電話サービスを利用していて、電話がかからない、電話が切れる等の障害が発生したときは、電話機側の故障でない場合がありますので、販売店にお問い合わせください。

知っていると便利なこと

- IP回線や携帯電話アダプタの回線に空きがないとき、NTT回線等の他の回線も選択されるように設定することもできます。［工事者設定 142］

外線を指定して捕捉する（外線指定捕捉）

ダイヤル操作で使用する外線番号を指定することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
106	−	−

1 内線ボタンを押す

2 外線指定捕捉番号2 7 0*を押す

*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに#を押してください。

3 外線番号（2桁）を押す

・外線1は01、外線2は02を押します。

補足説明

●外線指定捕捉番号は変更することもできます。
［工事者設定106］
内線番号桁数を2桁に設定している場合、外線指定捕捉番号の初期値は「なし」です。

ご注意

●指定した外線が空いていなかったときは、下記のようになります。
・着信中の外線を指定したときは、外線着信に応答します。
・保留中の外線を指定したときは、保留に応答します。
・通話中の外線を指定したときは、外線割込通話（P5-160）となります。（外線割込通話は設定が必要です。）［工事者設定412］

外線が空いていないときに予約する（外線発信ウェイティング）

外線がすべて使用中の場合、いずれかの外線が空いていたら発信できるように予約することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
105	−	−

1 外線がすべて使用中の状態でハンドセットをとる

2 0を押す
- 外線が空いていないときは、話し中の音（ツーツーツー…）が聞こえます。

3 外線発信ウェイティング番号（1桁）を押す
- 予約できた場合は、保留音が聞こえます。

4 ハンドセットを置いて待つ

5 外線が空いたら電話機が呼び出される

6 応答する
- 空きになった外線が自動選択されます。

7 相手の電話番号を押す

8 相手の方が応答したら通話する

補足説明

- ●外線発信ウェイティング番号は工事者設定が必要です。[工事者設定105]
- ●操作5で電話機が呼ばれているときに空いた外線に着信があると、電話機の呼出は停止します。

ご注意

- ●呼び出された後、一定時間（約12秒）応答しないと予約は取り消されます。
- ●外線が空きとなったときに予約した電話機が使用中の場合は、予約は取り消されます。
- ●予約登録後に、外線自動発信（ゼロ発信）すると、予約は取り消されます。
- ●外線ボタンを押してからの外線発信ウェイティングの登録はできません。

知っていると便利なこと

- ●単独電話機からも外線発信ウェイティングの登録ができます。

特殊な方法で電話をかける

VPNを利用する

第1種電気通信事業者の実施しているメンバーズネット等のVPN（仮想専用線網）サービスを利用できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
138	−	−

■オンネット発信

1 VPNを契約した 外線 ボタンを押す

- 外線ランプ（緑）が点灯し、周期的に2回消えます。
- スピーカから発信音（ツー）が聞こえます。

2 VPNのユーザー番号（UN）をダイヤルする

- ダイヤルしたユーザー番号に発信されます。

■オフネット発信

1 VPNを契約した 外線 ボタンを押す

- 外線ランプ（緑）が点灯し、周期的に2回消えます。
- スピーカから発信音（ツー）が聞こえます。

2 0＋相手の方の電話番号をダイヤルする

補足説明

●オフネット発信とは、VPN契約の回線から通常の電話番号にかけることを言います。

ご注意

●オフネット発信のときに0を追加するVPN以外はご利用できません。
●VPN契約の外線は、着信履歴を使った発信はできません。

番号の通知／非通知を切り替えて電話をかける

外線から発信するとき、相手に自分の番号を通知するか、非通知にするかを選択することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
–	番号通知（939） 番号非通知（940）	–

■番号を通知して電話をかける

1 番号通知 ボタンを押す
- 番号通知 ランプが点灯します。

2 ハンドセットをとる

3 空いている 外線 ボタンを押す

4 相手の電話番号を押す

■番号を通知しないで電話をかける

1 番号非通知 ボタンを押す
- 番号非通知 ランプが点灯します。

2 ハンドセットをとる

3 空いている 外線 ボタンを押す

4 相手の電話番号を押す

補足説明

- 操作方法は一例です。
  他の発信方法の場合も、番号通知 ランプまたは 番号非通知 ランプが点灯時は番号通知または番号非通知となります。
- 回線の契約や主装置側の番号通知設定（ISDN回線やIP回線（IPCOI）の場合）に関係なく 番号通知 ランプまたは 番号非通知 ランプが点灯時は番号通知または番号非通知となります。
- 番号通知 ボタン、番号非通知 ボタンを押すと「186」や「184」のダイヤルは必要ありません。
- もう一度 番号通知 ボタンまたは 番号非通知 ボタンを押すとランプは消灯し、番号通知の有無は回線の契約や主装置側の番号通知設定（ISDN回線、IP回線（IPCOI）の場合）に従います。

知っていると便利なこと

- 番号非通知の有無を電話機ごとに設定することができます。［工事者設定229-1］

マイライン・プラスを解除して別の事業者で電話をかける

マイラインやマイラインプラスを契約していない事業者を使用して電話をかけられます。使用したい事業者や対象となる外線をあらかじめ設定しておけば、通常とまったく同じダイヤル操作で電話をかけられます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
141	−	−

1 外線 ボタンを押す

- 外線ランプ（緑）が点灯し、周期的に2回消えます。
- スピーカから発信音（ツー）が聞こえます。

2 相手の方の電話番号をダイヤルする

- マイラインプラス解除番号（122）や事業者識別番号（00××）をダイヤルする必要はありません。
- 電話機のディスプレイには、外線に送られたダイヤルが表示されます。

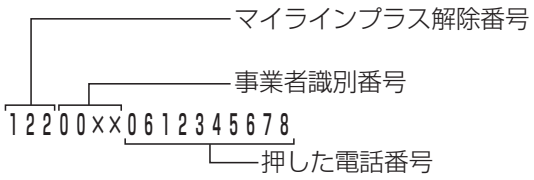
```
 7月10日(金) AM10:10
12200XX0612345678
外線01 ISDN
```

補足説明

●本機能を利用する外線と自動付加する事業者識別番号は、工事者設定が必要です。[工事者設定141]

●国際発信するときは「010」からダイヤルしてください。

●左記の表示内容は下記のとおりです。



ご注意

●本機能を利用できるのは、外線が直接接続されている回線のみです。PBX等に収容されている回線では利用できません。

●相手の方が市内であっても、下記の場合は県内市外用に設定した事業者識別番号が自動付加されます。自動付加された事業者識別番号が市内通話のサービスを行っていない場合は市内へ電話をかけられなくなります。設定変更が必要な場合は販売店にご依頼ください。[工事者設定141]

・市外局番をダイヤルした場合
・電話帳を利用する場合
・着信履歴を利用する場合

事業者番号を付けて携帯電話に電話をかける

携帯電話機に電話をかけるとき、あらかじめ設定した事業者番号を自動的に追加し、安い料金で電話をかけることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
141	−	−

1 外線 ボタンを押す

- 外線ランプ（緑）が点灯し、周期的に2回消えます。
- スピーカから発信音（ツー）が聞こえます。

2 相手の方の携帯電話の番号をダイヤルする

- 携帯電話の番号の前に事業者識別番号（00XX）をダイヤルする必要はありません。
- 電話機のディスプレイには、外線に送られたダイヤルが表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
00XX09011111XXXX
外線01 ISDN
```

補足説明

●本機能を利用する外線と自動付加する事業者識別番号は、工事者設定が必要です。[工事者設定141]

ご注意

●本機能を利用できるのは、外線が直接接続されている回線のみです。PBX等に収容されている回線では利用できません。

特殊な方法で電話を受ける

ダイヤルイン（DI）を使う

NTTのダイヤルイン（DI）サービスを契約すると、相手の方が押した番号情報を元に特定の内線電話機を直接呼び出すことができるようになります。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
216,217,731-8, 731-9,731-10	–	–

1 着信音が聞こえたら、ハンドセットをとる

- 着信中は外線ランプは緑の速い点滅、内線および着信／メッセージランプは速い点滅をします。

2 相手の方と通話する

- 応答後は通常の外線と同様に保留したり、他の電話機に転送できます。

補足説明

●対応の電話機を約30秒呼び出して応答がない場合は通常の着信となり、他の電話機が着信します。
※電話機を呼び出す時間は、6～90秒、6秒単位、または無限で変更することもできます。[工事者設定216]

知っていると便利なこと

●300個のダイヤルイン番号を利用できます。また、複数のダイヤルイン番号で同じ電話機を呼び出すこともできます。[工事者設定217]
●ISDN回線の場合は、サブアドレスダイヤルインで着信させることもできます。[工事者設定731-10]
●内線代表（P5-126）、不在転送（P5-117）、代理応答（P2-50）、話中･応答遅延転送（P5-123）を利用することができます。

ダイレクトインライン（DIL）を使う

あらかじめ1つの外線に1台の電話機を対応させ、外線着信時に対応の電話機を呼び出すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
214	–	–

1 着信音が聞こえたら、ハンドセットをとる

- 着信中は外線ランプは緑の速い点滅、着信／メッセージランプは速い点滅をします。

2 相手の方と通話する

- 応答後は通常の外線と同様に保留したり、他の電話機に転送できます。

補足説明

●対応の電話機を約30秒呼び出して応答がない場合は通常の着信となり、他の電話機が着信します。
※電話機を呼び出す時間は、3～60秒、3秒単位で変更することもできます。[工事者設定214]

知っていると便利なこと

●話中･応答遅延転送（P5-123）を設定しておくと、対応の電話機が話し中の場合に、指定した電話機を代わりに呼び出すことができます。
●他の電話機で代理応答（P2-50）することができます。
●対応の電話機が話し中の場合は、強制的に電話を切ることも可能です。相手の方には話中音（ツーツーツー…）が聞こえます。[工事者設定214]

特殊な方法で電話を受ける

ダイレクトインダイヤル（DID）を使う

外からプッシュホンまたはプッシュホン信号を送れる電話機で電話をかけたとき、内線番号を押すことにより特定の内線電話機を直接呼び出すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
215	−	−

■外部の電話機の操作

1 DID設定の外線に電話をかける

- 自動的に応答して一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が聞こえます。

2 呼び出したい内線の内線番号*を押す

*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに[#]を押してください。

補足説明

●一次応答信号は約24秒送出され、ダイヤル操作をしないと話中音（ツーツーツー…）が聞こえます。話中音が約8秒聞こえた後、電話が切れます。また、一次応答信号にメッセージを使用するときは、メッセージが2回流れ、ダイヤル操作を約10秒しないと話中音が約8秒間聞こえた後、電話が切れます。

※話中音が聞こえている間に[X]ボタンを押すと一次応答信号が聞こえますので、操作2を行うことができます。

※一次応答信号の送出時間は、8～64秒、8秒単位で変更することもできます。また、一次応答信号にメッセージを使用するときは、送出回数を1回に変更することもできます。[工事者設定215]

※電話を切らずに、一般の着信にすることができます。[工事者設定215]

知っていると便利なこと

●呼出先が話中等の場合は話中音（ツーツーツー）が聞こえます。[X]ボタンを押すと一次応答信号が再び聞こえますので、操作2をやり直すことができます。

●内線番号がわからないときは、[#]ボタンを2回押すと強制的に通常の着信にすることができます。

●操作1の後にリモート操作を行うこともできます。⇒P7-28

■内線電話機の操作

1 着信音が聞こえたら、ハンドセットをとる

- 着信中は[外線]ランプは緑の速い点滅、[内線]および[着信／メッセージ]ランプは速い点滅をします。

2 相手の方と通話する

- 応答後は通常の外線と同様に保留したり、他の電話機に転送できます。

補足説明

●対応の電話機を約30秒呼び出して応答がない場合は通常の着信となり、他の電話機が着信します。通常の着信も約99秒で応答がないと、電話が切れます。

※電話機を呼び出す時間は、無制限、または6～90秒、6秒単位で変更することもできます。[工事者設定215]

※通常の着信時間も、9～99秒、9秒単位で変更することもできます。[工事者設定215]

知っていると便利なこと

●内線代表（P5-126）、不在転送（P5-117）、代理応答（P2-50）、話中･応答遅延転送（P5-123）を利用することができます。

●ストレートラインDI（P5-17）を使っている場合もダイレクトインダイヤル（DID）を利用することができます。[外線]ランプの代わりに[DILIN]ランプが点滅します。[工事者設定215]

特殊な方法で電話を受ける

着信の分配機能（ACD）を使う

電話の受付業務等を行う場合は、着信の分配機能（ACD）を使うと、受付の負荷を均等化することができます。複数の電話機が同時に着信せず、待ち時間の少ない電話機が着信します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
233	ACD切替（731） オペレータ業務（732） オペレータ後処理(733) 2-1版～	–

■ACD機能をセットする／解除する

管理者（スーパーバイザ）用の電話機の[ACD切替]ボタンでACD機能のセット／解除ができます。

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 [ACD切替]ボタンを押す

- [ACD切替]ランプが点灯し、ACD機能がセットされます。
- ディスプレイには、“(ACD機能ｵﾝ)”が表示されます。
- もう一度[ACD切替]ボタンを押すとACD機能は解除され、[ACD切替]ランプは消灯し、ディスプレイの“(ACD機能ｵﾝ)”表示が消えます。

```
 7月10日(金)  AM10:10
NO.101
(ACD機能ｵﾝ)

着信音量
```

■メニュー機能からセットする／解除する

管理者（スーパーバイザ）用の電話機からメニュー機能でACD機能のセット／解除を行うこともできます。

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈ACD切替〉を呼び出す

① ⊙を押します。
②「3 各種機能切替」を選択し、⊙を押します。
③「0 その他」を選択し、⊙を押します。
④「4 ACD」を選択し、⊙を押します。
⑤「1 ACD切替」を選択し、⊙を押します。

```
<ACD切替>
01 ACDｸﾞﾙｰﾌﾟ01:OFF
02 ACDｸﾞﾙｰﾌﾟ02:OFF
03 ACDｸﾞﾙｰﾌﾟ03:OFF
04 ACDｸﾞﾙｰﾌﾟ04:OFF
◀戻る ▲▼決定
```

2 操作した電話機に対応するACDグループ番号が反転表示されるので、⊙を押す

- 各ACDグループの現在の設定内容が表示されます。⊙で各ACDグループの設定内容を確認することもできます。
- 他のACDグループのON／OFFを行える電話機は、他のACDグループを選択し、⊙を押すことができます。対応していない電話機で操作するとエラー画面となります。

```
<ACD切替>
01 ACDｸﾞﾙｰﾌﾟ01:OFF
02 ACDｸﾞﾙｰﾌﾟ02:OFF
03 ACDｸﾞﾙｰﾌﾟ03:OFF
04 ACDｸﾞﾙｰﾌﾟ04:OFF
◀戻る ▲▼決定
```

3 ⊙で「1 ACD機能ON」を選択し、⊙を押す

- [ACD切替]ボタンがある場合には、ランプが点灯します。
- 解除する場合は、「0 ACD機能OFF」を選択してください。

```
<ACD切替>
ACDｸﾞﾙｰﾌﾟ01
0 ACD機能OFF
1 ACD機能ON

◀戻る ▲▼決定
```

4 設定完了画面が表示される

- 設定完了画面が表示されます。
- ⊙を押すと終了します。
- ⊙を押すと操作2に戻り、設定を繰り返すことができます。

```
<ACD切替>
ACDｸﾞﾙｰﾌﾟ01

1 ACD機能ON
■設定完了!
        終了  継続▶
```

補足説明

●ACDグループ番号はテナント番号に1対1で対応しています。テナント01のモード切替用電話機は、ACDグループ01の切替が可能です。
●ディスプレイの“(ACD機能ｵﾝ)”は待機中に表示されます。

ご注意

●ACD着信中はACD機能を解除することができません。

特殊な方法で電話を受ける

■オペレータ業務を開始する／終了する

各電話機の[オペレータ業務]ボタンで、オペレータ業務の開始／終了ができます。

1 オペレータ業務 ボタンを押す

- [オペレータ業務]ランプが点灯し、オペレータ業務が開始されます。
- ディスプレイには、“(ｵﾍﾟﾚｰﾀ業務中)”が表示されます。

- もう一度[オペレータ業務]ボタンを押すとオペレータ業務は終了となり、[オペレータ業務]ランプは消灯し、ディスプレイの“(ｵﾍﾟﾚｰﾀ業務中)”表示が消えます。

■特番を押してオペレータ業務を開始する／終了する

[オペレータ業務]ボタンがない電話機は、特番操作でオペレータ業務の開始／終了ができます。

1 ハンドセットをとる

- 内線発信音（ツツツ･･･）が聞こえます。

2 ACD－オペレータ業務番号*（1桁～4桁）を押す

*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに[#]を押してください。

- オペレータ業務中になっている場合は、連続音（プー）が聞こえます。そのままハンドセットを置いてもオペレータ業務中を継続します。

3 開始するときは[1]、終了するときは[0]を押す

- 完了を示す保留音が聞こえますので、ハンドセットを置きます。

補足説明

- ●ACD機能がセットされていない場合、ACD着信は動作しませんが、オペレータ業務の開始／終了操作をすることができます。
- ●ACD機能を運用中に途中からオペレータ業務を開始した電話機は、着信の優先度が一番高くなります。
- ●ACD機能が解除されるとACD着信は動作しなくなりますが、オペレータ業務中状態は保持されます。
- ●特番操作の場合も、ディスプレイ表示が切り替わります。また、[オペレータ業務]ボタンがあるとランプ表示も切り替わります。
- ●各電話機がどのACDグループに所属するかを設定します。また、所属するACDグループを変更する場合は、オペレータ業務を終了してください。[工事者設定233]
- ●ディスプレイの“(ｵﾍﾟﾚｰﾀ業務中)”は待機中に表示されます。
- ●[オペレータ後処理]ボタンがゆっくり緑点滅しているときに[オペレータ業務]ボタンを押すと、すぐにオペレータ業務に復帰します。
  [工事者設定233] 2-1版～

ご注意

- ●ACD着信で着信音が鳴っている電話機はオペレータ業務を終了できません。解除する場合は、着信音が停止してから解除操作を行ってください。

特殊な方法で電話を受ける

■ACD着信に応答する

ACD機能をセットした外線に着信があると、オペレータ業務を開始している着信の優先度が高い一台の電話機に着信します。

1 着信音が聞こえたら、ハンドセットをとる

- 着信中は[外線]ランプは緑の速い点滅、[内線]および[着信／メッセージ]ランプは速い点滅をします。

2 相手の方と通話する

- 応答後は通常の外線と同様に保留したり、他の電話機に転送できます。

補足説明

●ACDグループごとに電話機を呼び出す方式（ルーティング方式）を「待ち時間方式」/「処理件数方式」のどちらにするかを設定します。[工事者設定233]
- 待ち時間方式…着信の優先度はACD着信を受けて終話してからの経過時間が長い順になります。
- 処理件数方式…着信の優先度はACD着信を受けた回数が少ない順になります。

なお、途中からオペレータ業務を開始した電話機は着信に応答するまでは着信の優先度が最も高くなります。

●着信の優先度はACD機能をセットするときに初期化されます。

●お待たせメッセージや保留音を流している間も、電話機側の着信は継続します。

●ACD着信はオフフック応答の設定がなくてもオフフック応答することができます。

●ACD着信は代理応答（P2-50）を利用できます。

ご注意

●離席等で着信を受けられないときは、[不在設定]ボタンを押して内線着信拒否状態（P5-126）にすることで話中スキップを行うことができます。ただし、ルーティング方式が「処理件数方式」の場合は、[オペレータ業務]ボタンや特番を押して、オペレータ業務を一旦終了してください。
[不在設定]ボタンを押した場合は、オペレータ業務中状態を継続するため、他の電話機に対して処理件数が少なくなり、着信が連続してしまう場合があります。

●ACD着信のみ受ける電話機は、他の外線の着信で着信表示しないよう、外線の着信音の設定は「着信なし」に設定してください。⇒P7-10
ACD着信は設定に関係なく着信音が鳴ります。

●ACD着信は内線代表（P5-126）、不在転送（P5-117）、話中･応答遅延転送（P5-123）を利用できません。

知っていると便利なこと

●「通話録音アナウンス」（P5-52の「知っていると便利なこと」）と組み合わせてACD着信を利用することもできます。

●ACDグループはテナントごととなりますので、複数のACDグループで運用する場合は、ACDグループごとの回線や電話番号が必要になりますが、「簡易IVR」（P5-82）と組み合わせると、発信者のプッシュ信号によるダイヤル操作で、接続するACDグループを指定することができますので、同一の回線や電話番号で複数のACDグループを呼び出すことができます。

●終話後にすぐにオペレータ業務に復帰したくないとき（メモの整理や事務処理を行うなど）は、オペレータ後処理機能を設定しておきます。[オペレータ後処理]ボタンで機能をセットします(ボタンが赤点灯します)。セットしてあると、終話後から指定時間(初期値10分、電話機ごとに1～30分に設定可能）だけオペレータ業務への復帰に猶予が与えられます（猶予中は[オペレータ後処理]ボタンがゆっくり緑点滅します）。猶予時間が経過するまでに、[オペレータ業務]ボタンを押すと、すぐにオペレータ業務に復帰します（着信の優先度が一番高くなります)。以下の場合は猶予時間は与えられず、すぐにオペレータ業務に復帰します。
- 通話をほかの電話機に転送して終話した。
- 通話を一般保留して終話した、もしくは保留応答して終話した。

[工事者設定233] 2-1版～

特殊な方法で電話を受ける

■着信に応答できなかったときは

ACD着信では、着信に応答できなかったときに下記の動作をします。

(1) 不応答ルーティング

●着信している電話機が9秒間応答できないと、次の優先順位の電話機に着信が移ります。
※不応答時間は6秒～18秒、3秒単位で変更することもできます。[工事者設定233]

(2) 話中スキップ

●通話中の電話機は着信せず、次の優先順位の電話機が着信します。

(3) お待たせメッセージ

●電話機の応答がないと、最初の着信開始から9秒後に発信者に対してお待たせメッセージを流します。
※お待たせメッセージを流し始めるまでの時間は、9秒～36秒、9秒単位で変更することもできます。[工事者設定233]
※お待たせメッセージは、固定メッセージ「ただいま大変電話が混み合っております。恐れ入りますが、そのままお待ちください。」の他、録音したメッセージを使用することもできます。[工事者設定233]
※お待たせメッセージを流さず、発信者には呼出音を聞かせたままとすることもできます。[工事者設定233]

(4) 切断メッセージ

●お待たせメッセージ送出後、発信者には30秒間保留音を流し、この間に電話機の応答がないと、切断メッセージを流して外線を切断します。
※保留音を流す時間は10秒～80秒（10秒単位）または30分に変更することもできます。[工事者設定233]
※切断メッセージは、固定メッセージ「ただいま大変電話が混み合っております。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」の他、録音したメッセージを使用することもできます。[工事者設定233]
※お待たせメッセージを流さなかった場合は、保留音を送出せずに切断メッセージを流すまでは発信者側は呼出音が継続します。呼出音が継続する時間は保留音を流す時間と共通です。

ご注意

●お待たせメッセージを流したときから通話料金の課金が開始されます。保留時間を30分に設定することもできますが、通話料金が加算されることを考慮した上で保留時間を決めてください。特に、フリーダイヤルを利用していない場合は、発信者側の料金負担となりますので、保留時間は短めに設定することをお薦めします。[工事者設定233]
※「通話録音アナウンス」（P5-52の「知っていると便利なこと」）や、「簡易IVR」（P5-82）と組み合わせてACD着信を利用している場合は、「通話録音アナウンス」や「簡易IVR」が動作したときから通話料金の課金が開始されます。

特殊な方法で電話を受ける

■応答できる電話機がないときは

ACD着信では応答できる電話機がないとき、設定により（1）～（3）のいずれかの動作をします。[工事者設定233]

（1）切断メッセージ

●3秒経過しても電話機に空きがないときは、発信者に対して切断メッセージを流してから外線を切断します。

※切断メッセージを流し始めるまでの時間は、0秒～9秒、3秒単位で変更することもできます。[工事者設定233]

※切断メッセージは、固定メッセージ「ただいま大変電話が混み合っております。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」の他、録音したメッセージを使用することもできます。[工事者設定233]

（2）お待たせメッセージ

●3秒経過しても電話機に空きがないときは、発信者に対してお待たせメッセージを流します。
お待たせメッセージのあとは30秒間保留音を流し、この間に電話機の応答がないと切断メッセージを流して外線を切断します。

※お待たせメッセージを流し始めるまでの時間は、0秒～9秒、3秒単位で変更することもできます。[工事者設定233]

※保留音を流す時間は10秒～80秒（10秒単位）または30分に変更することもできます。[工事者設定233]

（3）呼出音継続

●3秒経過しても電話機に空きがないときは、切断メッセージやお待たせメッセージを流さずに発信者には呼出音を聞かせたままとします。
呼出音は最初の3秒を除いて30秒間継続し、この間に電話機の応答がないと切断メッセージを流して外線を切断します。

※最初の3秒は（1）の切断メッセージや（2）のお待たせメッセージを流し始めるまでの時間と共通で、0秒～9秒、3秒単位で変更することもできます。[工事者設定233]

※呼出音を継続する時間は（2）の保留音を流す時間と共通で、10秒～80秒（10秒単位）または30分に変更することもできます。[工事者設定233]

補足説明

●（2）のお待たせメッセージを流した場合は、電話機を呼び出したあとに着信に応答できないときのお待たせメッセージ（P5-13）は設定があっても送出しません。

ご注意

●お待たせメッセージを流したときから通話料金の課金が開始されます。保留時間を30分に設定することもできますが、通話料金が加算されることを考慮した上で保留時間を決めてください。特に、フリーダイヤルを利用していない場合は、発信者側の料金負担となりますので、保留時間は短めに設定することをお薦めします。[工事者設定233]

※「通話録音アナウンス」（P5-52の「知っていると便利なこと」）や、「簡易IVR」（P5-82）と組み合わせてACD着信を利用している場合は、「通話録音アナウンス」や「簡易IVR」が動作したときから通話料金の課金が開始されます。

特殊な方法で電話を受ける

■ACDと組み合わせて利用できる便利な機能（スーパーバイザ向け）

ACDと下記の機能を組み合わせて利用することができます。

（1）内線ワンタッチ（P2-37）

●スーパーバイザ用電話機にオペレータ用電話機の内線番号に対応する[内線ワンタッチ]ボタンを設定しておくと、オペレータ業務を開始している電話機をランプ表示で確認することができます。オペレータ用電話機が待機状態のときは、[内線ワンタッチ]ランプが緑点灯します。

状　　態	ランプ表示
空き（オペレータ業務開始）	点灯（緑）
空き（オペレータ業務終了）	消灯
内線発信中	速い点滅（緑）
通話中、ハンドセットをあげているとき（ボタン電話機の無音時は空き扱い）	点灯（赤）
不在転送、不在表示	遅い点滅（赤）
着信拒否、メニュー機能使用等で[i]ボタン点灯中	周期的に2回消灯（赤）
着信中	速い点滅（赤）

●[内線ワンタッチ]ボタンを押すと、オペレータ用電話機をワンタッチで呼び出すことができます。

（2）聴話（P5-114）

●ACD着信に応答したオペレータの通話をモニタすることができます。
[聴話]ボタンを押した後、モニタしたい[外線]ボタンを押します。

（3）外線割込通話（P5-160）

●ACD着信に応答したオペレータの通話に割り込んで、3人で話すことができます。
ハンドセットをとり、割り込みたい[外線]ボタンを押します。[工事者設定412]

●リセットコール割込通話（P5-161）で割り込むこともできます。ハンドセットをとり、割り込みたいオペレータの内線番号をダイヤルし、ウェイティングトーン（ツツ、ツツ…）が聞こえたら内線番号の最終桁を再度押します。[工事者設定507]

※[内線ワンタッチ]ボタンがある場合は、内線番号をダイヤルする代わりに割り込みたいオペレータの[内線ワンタッチ]ボタンを押したあと、内線番号の最終桁を押します。

■ACDと組み合わせて利用できる便利な機能（オペレータ向け）

ACDと下記の機能を組み合わせて利用することができます。

（1）内線ワンタッチ（P2-37）

●オペレータ用電話機にスーパーバイザ用電話機や他の電話機の内線番号に対応する[内線ワンタッチ]ボタンを設定しておくと、対応に困ったときなどに[内線ワンタッチ]ボタンを押すと外線通話は保留され、スーパーバイザ用電話機や他の電話機をワンタッチで呼び出すことができます。
また、保留した外線を呼び出した電話機に転送することもできます。⇒P2-9

（2）外線アッドオン（P5-149）

●ACD着信の通話にスーパーバイザ用電話機や他のオペレータ用電話機を加えて3人で話すことができます。
[内線]ボタンを押して話に加えたい電話機の内線番号をダイヤルし、相手が出たら[音声会議]ボタンを押します。

※[内線ワンタッチ]ボタンがある場合は、内線番号をダイヤルする代わりに話に加えたい電話機の[内線ワンタッチ]ボタンを押すこともできます。

（3）通話録音（P5-51）

●ACD着信の通話を録音することができます。
録音する場合は[録音]ボタンを押します。
※自動録音を利用することもできます。

補足説明

●各機能の詳細は、該当するページをご覧ください。

緊急電話の呼び返しを受ける

緊急電話（110,119,118）からの呼び返しを、発信した電話機で受けることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
231	−	−

1 緊急電話に発信する

• 110番、119番、118番に発信します。

2 終話する

• 約20秒間は緊急電話の呼び返し待ちになります。

3 呼び返しがあると、緊急電話に発信した電話機に着信する

4 ハンドセットをとり、応答する

補足説明

●緊急電話の呼び返し待ち状態の外線ランプは赤点灯し、発信することができません。

●発信した電話機を約30秒呼び出して応答がない場合は、すべての電話機が着信します。

※電話機を呼び出す時間は、無制限、または6～90秒、6秒単位で変更することもできます。[工事者設定231]

●外線の着信音にメロディ等を使用している場合も、緊急電話の呼び返しのときは一般の着信音（着信音11）となります。

ご注意

●緊急電話の発信を行った電話機は、呼び返しを受ける場合がありますので、使用しないようにしてください。また、着信したらすぐに応答するようにしてください。

●ストレートラインDI（P5-17）やバーチャルライン（P5-20）を利用している場合は、着信時にDILINランプや着信ランプは点滅しませんが、オフフック応答の設定に関係なくハンドセットをとると応答できます。

ストレートラインDIを使う

各ダイヤルイン番号にDILINボタンを割り当てると、特定の1台の電話機に着信させるのではなく、一般の外線着信と同じようにグループ内の複数の電話機で着信に応答できます。
ダイヤルイン回線以外にINSネット64の「i・ナンバー」サービスもストレートラインDIを利用することができます。
また、ダイヤル操作でストレートラインDIに設定されたボタンを指定して外線捕捉できます。（ボタン指定捕捉⇒P5-26）

電話をかける

DILINボタンを使って外線に電話をかけられます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
218	−	−

1 ハンドセットをとる

2 空いている（ランプの消えている）DILINボタンを押す

- DILINランプ（緑）が点灯し、周期的に2回消えます。

3 相手の電話番号を押す

補足説明

- DILINボタンの設定は工事のときに行います。変更したい場合は、販売店にご依頼ください。[工事者設定218]
- プリセットダイヤル（P2-2）で電話をかけることもできます。

ご注意

- DILINボタンが空いていても、使用できる外線が空いていない場合は、電話をかけることができません。

知っていると便利なこと

- ハンドセットをとらずにワンタッチオンフックダイヤルで電話をかけることもできます。このとき、外線に空きがなく使用できない場合でも話中音（ツーツー…）は聞こえません。
- 外線自動発信（ゼロ発信）したときに使用する、DILINボタンを設定することができます。[工事者設定218]
- 外線自動発信グループごとに使用する、DILINボタンを設定することができます。[工事者設定218]
- ISDN回線の場合、DILIN番号ごとに番号の通知有無を設定できます。[工事者設定218]

電話を受ける

ダイヤルイン（DI）着信にDILINボタンで応答できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
218	−	−

1 着信音が聞こえたらハンドセットをとる

- DILINランプ（赤）が速く点滅します。

2 点滅しているDILINボタンを押す

- DILINランプが緑の点灯に変わり、周期的に2回消えます。

3 相手の方と通話する

補足説明

- 着信音が鳴っている電話機（無鳴動着信を含む）は、着信／メッセージランプが速い点滅となり、ハンドセットを取るだけで電話を受けられます。（オフフック自動応答）
- DILINボタンを押してからハンドセットをとっても電話を受けられます。

知っていると便利なこと

- オフフック自動応答できるDILIN番号を限定することができます（最大10個）。自分の部署の番号のみオフフック自動応答したいときなどに便利です。[工事者設定218]
- 同じDILINボタンに2個まで番号を割り当てることができます。代表の番号はすべてのDILINボタンに割り当て、ダイヤルイン番号は各DILINボタンに割り当てたいときに便利です。[工事者設定218]
- ISDN回線の場合は、ストレートラインDI利用時もサブアドレスダイヤルインで相手の方が指定した電話機のみに着信させることができます。[工事者設定731-10]

ストレートラインDIを使う

保留する

通話中の外線を保留すると、DILINボタンに保留できます。

■一般保留する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
218	−	−

1 外線通話中に 保留 ボタンを押す

- DILINランプ(緑)が周期的に2回点滅します。
- 相手の方には保留音が流れます。
- 着信／メッセージおよび保留ランプが遅く点滅します。

■自己保留する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
218	自己保留（998）	−

1 外線通話中に 自己保留 ボタンを押す

- DILINランプ(緑)が周期的に2回点滅します。
- 他の電話機のDILINランプは赤点灯します。
- 相手の方には保留音が流れます。
- 着信／メッセージおよび保留ランプが遅く点滅します。

補足説明

●着信／メッセージと保留ランプは保留ボタンによる保留応答機能が設定されているときに点滅します。[工事者設定218]

ご注意

●自己保留中にハンドセットを置くと一般の保留になります。

●自己保留中に保留警報となった場合は、自己保留は解除され一般の保留になります。

知っていると便利なこと

●単独電話機の場合は、2ダイヤルで保留します。保留番号2は変更することも可能です。[工事者設定312]

●バーチャルライン方式（P5-20）を利用していなくても、パークボタンに保留することができます。パークボタンに保留したときは、DILINランプは赤点灯となりDILINボタンを押しても保留に応答できません。パークボタンへの保留方法に関しては、P5-22をご覧ください。[工事者設定317]

保留に応答する

保留中の外線に応答できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
218	−	−

■ DILIN ボタンを押して保留に応答する

1 ハンドセットをとる

2 保留点滅している DILIN ボタンを押す

- 保留した相手の方と通話できます。

補足説明

●DILINボタンを押してからハンドセットをとっても保留に応答できます。

■ DILIN ボタンを押さずに保留に応答する

1 ハンドセットをとる

2 保留応答番号2 7 3 *を押す

*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに#を押してください。

- 保留した相手の方と通話できます。
- 内線番号桁数を2桁に設定している場合、「保留応答番号」は9です。

補足説明

●本操作は、主にDILINボタンを作れない単独電話機で保留に応答するときに利用します。

知っていると便利なこと

●保留応答番号は変更することができます。[工事者設定218]

●自分で保留した外線に応答する場合は、保留自己外線応答番号(工事者設定が必要)を押します。[工事者設定218]

●自分のグループにないDILINボタンに保留されている外線に応答したときは、自分のグループの一番大きい数のDILINボタンにランプ表示されます。

ストレートラインDIを使う

■着信／メッセージランプが点滅している電話機で保留に応答する

1 ハンドセットをとる

2 保留ボタンを押す

- 保留した相手の方と通話できます。
- 着信／メッセージおよび保留ランプの点滅が停止します。

転送する

通話中の外線を転送できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
218	転送（995）＊必要時	−

1 外線通話中に内線ボタンを押す

- 内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
- スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- 相手の方には保留音が流れます。

2 ハンドセットを上げたまま、転送したい内線番号を押す

3 呼出先が応答したら用件を伝える

4 ハンドセットを置く

- 呼出先に外線が転送されます。

補足説明

●操作1～3のとき、保留したDILINボタンを押すと、保留した外線に戻れます。
●内線番号を誤ったときは、クリアボタンを押して操作2から行ってください。
●操作2の途中でハンドセットを置いてしまったときは転送ができません。転送をやり直すときは、保留したDILINボタンを押し、保留した外線に戻ったあとで、操作1からやり直してください。

ご注意

●2回線以上保留した場合は、最後に保留した外線が転送されます。
●転送先の電話機がサービスクラスG(乙)の場合は、転送できません。

知っていると便利なこと

●プログラマブルキーで転送ボタン（機能番号995）を設定しておくと、ハンドセットを置く代わりに転送ボタンを押すと転送できます。
●内線ボタンを押す代わりに、保留ボタンを押すこともできます。
●通常の外線と同様、転送先が応答する前に転送することもできます。⇒P2-9

バーチャルライン方式を使う

複数の外線を１つのグループにまとめ、発信、着信、パークボタンで発着信や保留を行います。（この方式を「バーチャルライン方式」または「索線方式」と呼びます。外線の本数が多くて個々の外線ボタンを作れないときなどに利用します。）また、ダイヤル操作でこれらのボタンを指定することができます。（ボタン指定捕捉⇒P5-26）

電話をかける

バーチャルライン方式の場合、外線に電話をかけるときは外線ボタンやDILINボタンの代わりに発信ボタンまたは着信ボタンを押します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
226	発信（965）	－

■ 発信 ボタンを押してかける

1 ハンドセットをとる

2 発信 ボタンを押す

- 自動選択された外線に対応する着信ランプ（緑）が点灯し、周期的に２回消えます。
- 外線発信音（ツー）が聞こえます。

3 相手の電話番号を押す

補足説明

●発信ボタンを押してからハンドセットをとっても電話をかけられます。
●工事者設定により、着信ランプでなく発信ランプを点灯させることもできます。［工事者設定226］
●着信ボタンが全て着信中（赤の速い点滅）であっても、電話をかけられます。

ご注意

●必ず外線発信音（ツー）を確認してから電話番号を押してください。

知っていると便利なこと

●「外線自動発信（ゼロ発信）」で電話をかけることもできます。発信ボタンを押す代わりに0を押します。
●プリセットダイヤル（P2-2)でも電話をかけることができます。

■ 着信 ボタンを押してかける

1 空いている（ランプの消えている） 着信 ボタンを押す

- 着信ランプ（緑）が点灯し、周期的に２回消えます。
- 外線発信音（ツー）が聞こえます。

2 相手の電話番号を押す

補足説明

●ハンドセットをとってから電話をかけることもできます。
●工事者設定により、着信ランプでなく発信ランプを点灯させることもできます。［工事者設定226］

知っていると便利なこと

●プリセットダイヤル（P2-2)でも電話をかけることができます。
●着信ボタンが全て着信中（赤の速い点滅）の場合に、着信ボタンを指定して電話をかけたいときは、着信ボタンに続けて0または発信ボタンを押してください。着信ランプ（緑）が点灯したら操作２を行ってください。ただし、先にハンドセットをとった場合は、着信ボタンを押したときに着信に応答しますので、必ずハンドセットは置いたまま操作してください。

バーチャルライン方式を使う

電話を受ける

バーチャルライン方式の場合、外線から電話がかかってきたときは[着信]ボタンに表示します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
226	−	−

1 着信音が聞こえたらハンドセットをとる

- [着信]ランプ（赤）が速く点滅します。

2 点滅している 着信 ボタンを押す

- [着信]ランプが緑の点灯に変わり、周期的に2回消えます。

3 相手の方と通話する

補足説明

- [着信]ボタンの設定は工事のときに行います。変更したい場合は、販売店にご依頼ください。[工事者設定226]
- [着信]ボタンを押してからハンドセットをとっても電話を受けられます。

ご注意

- [着信]ボタンは、プログラマブルキーで他のボタンに変更することはできません。

知っていると便利なこと

- 一つの[着信]ボタンに複数の着信がある場合は、全ての着信がなくなるまで[着信]ランプを速い点滅のままとすることができます。ただし、発信時を含めて通話中に[着信]ランプを緑点灯させることはできません。[工事者設定226]
- [着信]ボタンに対応した外線が全て使用中になると、[着信]ランプ（赤）が点灯します。
  ストレートラインDIの場合は、発着信制限数となったときに点灯します。発信または着信のみ制限することもできます。[工事者設定226]

バーチャルライン方式を使う

保留する

バーチャルライン方式の場合、外線を保留すると[パーク]ボタンに保留表示されます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
317	−	−

■[パーク]ボタンを押して保留する

1 外線通話中にランプの消えている[パーク]ボタンを押す

- 電話機の[着信]ランプまたは[発信]ランプが消えます。
- [パーク]ランプ(緑)が周期的に2回点滅します。
- 電話機の[着信／メッセージ]および[保留]ランプが遅く点滅します。
- 他の電話機の[パーク]ランプは赤の遅い点滅になります。
- 相手の方には保留音が流れます。

■[保留]ボタンを押して保留する

1 外線通話中に[保留]ボタンを押す

- 電話機の[着信]ランプまたは[発信]ランプが消えます。
- 空きの[パーク]ランプ（緑）が周期的に2回点滅します。
- 電話機の[着信／メッセージ]および[保留]ランプが遅く点滅します。
- 他の電話機の[パーク]ランプは赤の遅い点滅になります。
- 相手の方には保留音が流れます。

補足説明

- [パーク]ボタンの設定は工事のときに行います。変更したい場合は、販売店にご依頼ください。[工事者設定317]
- [着信／メッセージ]と[保留]ランプは[保留]ボタンによる保留応答機能が設定されているときに点滅します。[工事者設定317]
- [パーク]ボタンは電話機グループごとに24個まで設定できます。
- [パーク]ボタンの数と位置は、グループ内で共通です。また、システム共通かグループ内のみで使用できるかどうかを設定できます。([パーク1]はシステム共通、[パーク2]～[パーク4]はグループ内のみと設定した場合、グループ外に口頭転送するときは[パーク1]を押して保留します。)

ご注意

- 空きの[パーク]ボタンがないと保留することができません。保留できなかった場合にハンドセットを置くと電話が切れますので、必ず[パーク]ボタンに保留されたか確認してからハンドセットを置いてください。
- バーチャルライン方式のストレートラインDIを[パーク]ボタンに保留することができます。
- [パーク]ボタンは、プログラマブルキーで他のボタンに変更することはできません。
- 外線を捕捉中（通話中も含む）に保留中の[パーク]ボタンを押したときの動作を選択できます。[工事者設定317]
  - 空き[パーク]ボタンに保留する（初期設定）
  - 保留に応答する
  - 操作は無効とする

  保留に応答する設定になっている場合、できるだけ[保留]ボタンを押して保留してください。(ほぼ同時に2台の電話機が同じ空きの[パーク]ボタンを押した場合、誤って保留できなかった外線を切ってしまったり、保留された外線を切ってしまうことがあります。)

知っていると便利なこと

- [保留]ボタンで保留したときは、グループ内の[パーク]ボタンに保留しますが、システム共通の[パーク]ボタンに保留するように変更することもできます。[工事者設定317]
- 単独電話機の場合は、フッキングで保留します。

バーチャルライン方式を使う

■自己保留する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
317	自己保留（998）	−

1 外線通話中に 自己保留 ボタンを押す

- 電話機の 着信 ランプまたは 発信 ランプが消えます。
- 着信／メッセージ および 保留 ランプが遅く点滅します。
- パーク ランプにはランプ表示されません。
- 相手の方には保留音が流れます。

補足説明

●保留後ハンドセットを置くと保留警報状態になり、ハンドセットをとると保留に応答できます。

ご注意

●自己保留中の場合は パーク ボタンを押して保留に応答することができませんので、保留 ボタンによる保留応答機能を必ず設定してください。[工事者設定317]

●自己保留中は他の外線を使って電話をかけたり、他の外線着信に応答したり、他の保留された外線に応答することはできません。

知っていると便利なこと

●自己保留中に保留警報となった場合は、自己保留は解除され一般の保留となります。ただし、パーク ボタンに保留されませんので、他の電話機から保留に応答するときは、保留応答番号 2 7 3 で応答してください。

※保留応答番号は変更することも可能です。[工事者設定313]

※可変桁に設定している場合は、保留応答番号のあとに # を押してください。

バーチャルライン方式を使う

保留に応答する

バーチャルライン方式の場合、保留された外線に応答するときは[パーク]ボタンを押します。

■ パーク ボタンを押して保留に応答する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
317	−	−

1 ハンドセットをとる

2 点滅している パーク ボタンを押す

- [着信]ランプ（緑）または[発信]ランプ（緑）が点灯し、周期的に2回消えます。
- [パーク]ランプが消えます。
- 保留した相手の方と通話できます。

補足説明

●[パーク]ボタンを押してからハンドセットをとっても保留に応答できます。

ご注意

●外線を捕捉中（通話中も含む）に保留中の[パーク]ボタンを押すと、捕捉中の外線が空きの[パーク]ボタンに保留され保留に応答できません。ハンドセットをとるだけで外線に電話をかけられる「オフフック自動発信」が設定されているときは、必ず[パーク]ボタンを押してからハンドセットをとってください。

※外線を捕捉中（通話中も含む）に保留中の[パーク]ボタンを押したとき、捕捉した外線を切り、保留に応答できるように変更することもできます。[工事者設定317]

■ パーク ボタンを押さずに保留に応答する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
317	−	−

1 ハンドセットをとる

2 保留応答番号[2][7][3]*を押す

*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに[#]を押してください。

- 保留した相手の方と通話できます。
- 内線番号桁数を2桁に設定している場合、「保留応答番号」は[9]です。

補足説明

●本操作は、主に[パーク]ボタンを作れない単独電話機で保留に応答するときに利用します。

●保留応答番号で応答する場合に、2回線以上保留されていると、番号が小さい方の外線に応答します。

ご注意

●ハンドセットをとるだけで外線に電話をかけられる「オフフック自動発信」が設定されているときは、本操作で保留に応答することができません。

知っていると便利なこと

●保留応答番号は変更することができます。[工事者設定317]

●自分で保留した外線に応答する場合は、保留自己外線応答番号(データ設定が必要)を押します。[工事者設定317]

バーチャルライン方式を使う

転送する

通話中の外線を転送できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
308，317 （309，402）	転送（995）＊必要時	−

1 外線通話中に内線ボタンを押す

- 電話機の着信ランプまたは発信ランプが消えます。
- 空きのパークランプ（緑）が周期的に2回点滅します。
- 内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
- スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- 他の電話機のパークランプは赤の遅い点滅になります。
- 相手の方には保留音が流れます。

2 ハンドセットを上げたまま、転送したい内線番号を押す

3 呼出先が応答したら用件を伝える

4 ハンドセットを置く

- 呼出先に外線が転送されます。

補足説明

●操作1～3のとき、保留したパークボタンを押すと、保留した外線に戻れます。
●内線番号を誤ったときは、クリアボタンを押して操作2からやり直してください。
●操作2の途中でハンドセットを置いてしまったときは転送ができません。転送をやり直すときは、保留したパークボタンを押し、保留した外線に戻ったあとで、操作1からやり直してください。
●外線に転送することもできます。［工事者設定402］操作2の代わりに発信ボタンを押し、転送先の電話番号を押します。

ご注意

●2回線以上保留した場合は、最後に保留した外線が転送されます。
●転送先の電話機がサービスクラスG(乙)の場合は、転送できません。

知っていると便利なこと

●プログラマブルキーで転送ボタン（機能番号995）を設定しておくと、ハンドセットを置く代わりに転送ボタンを押して転送できます。
●内線ボタンを押す代わりに、保留ボタンを押すこともできます。
●通常の外線と同様、転送先が応答する前に転送することもできます。「簡易転送」（P2-9）
●簡易転送を行う場合、存在しない内線番号を押してハンドセットを置いたり、内線番号を押さずにハンドセットを置いた場合に、転送元を呼び出し、通話に戻すことができます。［工事者設定316］

ボタンを指定して捕捉する（ボタン指定捕捉）

ダイヤル操作で設定されている DILIN、着信、パーク ボタンを指定することができます。

■ボタン電話機の場合

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
106-1	−	−

1 内線 ボタンを押す

2 ボタン指定番号（1桁～4桁）* ＋捕捉したいボタン番号（2桁）をダイヤルする

*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに #を押してください。

• ボタン1は01、ボタン2は02を押します。

■単独電話機の場合

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
106-1	−	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

1 ハンドセットをとる

2 ボタン指定番号（1桁～4桁）* ＋捕捉したいボタン番号（2桁）をダイヤルする

*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに #を押してください。

• ボタン1は01、ボタン2は02を押します。

補足説明

●ボタン指定番号は工事者設定が必要です。[工事者設定 106-1]

●指定したボタン位置に対応する外線・内線の状態により、下記のように動作が異なります。

状態＼ボタン	DILIN	着信	パーク
空き	外線捕捉	外線捕捉	話中音 (ツーツー・・・)
着信中	着信応答	着信応答	−
保留中	保留応答	−	保留応答
通話中	外線割込通話	話中音 (ツーツー・・・)	−

・外線割込通話（P5-160）は、工事者設定が必要です。[工事者設定412]

●ボタン指定番号で捕捉可能なボタンは、同一電話機グループ内に割付けされた、DILIN、着信、および パーク ボタンです。

ご注意

●ボタン指定番号では、外線 ボタンを捕捉することができません。

他の電話に出ていて電話を受けられないときは

お待たせメッセージを流してから電話にでる（外線お待たせメッセージ）

外線から電話がかかってきたときに、すぐに電話に出られない場合に、お待たせメッセージを流して保留しておくことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
219	お待たせ00（400）～ お待たせ48（448）	–

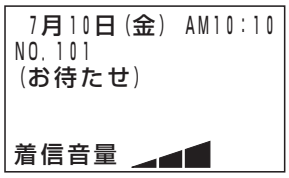
▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■自動モードをセットする

あらかじめ お待たせ( ) ボタンを押しておくと、以後の着信に対しては毎回自動応答し、「お待たせメッセージ」を流します。

1 お待たせ( ) ボタンを押す

- お待たせ ( ) ランプが点灯します。
- ディスプレイには、“(お待たせ)”が表示されます。



■自動モードを解除する

1 お待たせ( ) ランプが点灯中に、お待たせ( ) ボタンを押す

- お待たせ ( ) ランプが消え、ディスプレイの“(お待たせ)”も消えます。

■メニュー機能からセットする／解除する

1 メニューから<外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ>を呼び出す

① を押します。

②「3 各種機能切替」を選択し、 を押します。

③「6 外線お待たせﾒｯｾｰｼﾞ」を選択し、 を押します。

2 操作した電話機の対応テナントが反転表示されるので、 を押す

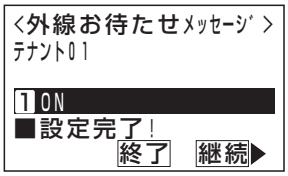
- 各テナントの現在の設定内容が表示されます。 で各テナントの設定内容を確認することもできます。
- 他のテナントのお待たせメッセージのON／OFFを行える電話機は、他のテナントや「0 全ﾃﾅﾝﾄ」を選択し、 を押すことができます。対応していない電話機で操作するとエラー画面となります。

3 で「1 ON」を選択し、 を押す

- お待たせ ボタンがある場合には、ランプが点灯します。
- 解除する場合は、「0 OFF」を選択してください。

4 設定完了画面が表示される

- 設定完了画面が表示されます。
- を押すと終了します。
- を押すと操作2に戻り、設定を繰り返すことができます。



他の電話に出ていて電話を受けられないときは

■手動モード

外線から電話がかかってきたとき、手が離せない場合にお待たせボタンを押すと、着信中の電話に対して、「お待たせメッセージ」を流すことができます。

1 外線着信があったら、お待たせ( ) ボタンを押す

- 着信中の外線のみ「お待たせメッセージ」が流れます。

補足説明

●モード切替用電話機に対応したテナントの お待たせ ( ) ボタンを設定してください。他のテナントのお待たせメッセージのON／OFFを行える電話機は、お待たせ00 ボタンを含む全ての お待たせ ( ) ボタンを設定することができます。
- テナント1 = お待たせ01
- .
- .
- .
- テナント48 = お待たせ48
- テナント一括 = お待たせ00

※お待たせ00 は全テナントのお待たせメッセージのON／OFFを行います。

●固定メッセージ「ただいま大変電話が混み合っております。恐れ入りますが、そのままお待ちください。」の他、録音したメッセージを使用することもできます。[工事者設定219]

●本機能はテナントごとに独立して設定できます。また、操作できる電話機は、テナントごとに16台まで設定できます。[工事者設定219]

●対象の着信は、一般の着信、DIL着信、ストレートラインDI着信のみです。

●手動モードで複数の着信があった場合は、本操作が機能するすべての外線にお待たせメッセージが流れます。

●手動モードでお待たせメッセージを流すときは、着信の度に お待たせ ( ) ボタンを押します。

ご注意

●自動モードは解除忘れ防止のため、約1時間で自動的に解除されます。
※解除時間を変更することもできます。[工事者設定219]
※自動解除をやめることもできます。[工事者設定219]

●お待たせメッセージを流した後、外線は保留状態となり保留音が流れます。保留状態で30秒経過すると切断処理になります。
※保留時間は、変更することもできます。メニュー機能で変更する場合は、**「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」→「4 お待たせﾒｯｾｰｼﾞ」→「1 お待たせ時間」**の順に選択してください。
※切断処理の方法については、販売店にご相談ください。[工事者設定219]

他の電話に出ていて電話を受けられないときは

知っていると便利なこと

●モード切替用電話機は、指定されたテナントのみのお待たせメッセージのON／OFFを行うことができますが、設定により他のテナントや全テナントのお待たせメッセージのON／OFFを行うこともできます。他テナントのお待たせメッセージON／OFFを行える電話機は、8台まで設定できます。[工事者設定610]

●自動モードでは、電話機に着信させてからメッセージを流すこともできます。[工事者設定219]
※電話機に着信させる時間は3～30秒、3秒単位で設定します。

●「お待たせメッセージ」送出後、保留状態になると着信音11～56に設定されている電話機は保留警報音が鳴るように設定できます。初期設定は「鳴動なし」です。
着信99の場合でも、保留警報音を鳴らすこともできます。[工事者設定219]
※ナンバー・ディスプレイ機能をご利用の場合、相手の電話番号を表示します。

●電話／ファックス自動切替（P5-108）で電話機が呼ばれたときも、外線お待たせメッセージ（自動モードのみ）を利用することができます。

●お待たせ( )ボタンを押すと同時に留守録（P4-17）を働かせるような設定ができます。（詳しくは販売店にお問い合わせください）[工事者設定722-2-1]

●お待たせメッセージをONにしていると、留守切替や夜間切替で留守番機能をONにしても、お待たせメッセージが優先されますが、留守番機能を優先させるように設定することもできます。[工事者設定219]
※留守番機能がONになると、お待たせメッセージは自動的にOFFになります。
お待たせメッセージの自動解除時間を「解除なし」に設定している場合は、留守番機能がOFFになるとお待たせメッセージはONに戻ります。
※お待たせメッセージが自動でOFFになったあとに、お待たせ( )ボタンでお待たせメッセージをON／OFFすることもできます。お待たせメッセージの自動解除時間を「解除なし」に設定している場合は、お待たせ( )ボタンを操作したときであっても、お待たせメッセージは自動的にONになります。

通話中の電話機に音で着信通知する

通話中に、外線やドアホンの着信を音で通知することができます。コードレス電話機をご利用の場合に便利です。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
223	–	–

■外線着信を通知する

1 通話中に他の外線着信があると、ハンドセットから着信通知音（プップッ）が聞こえる

2 他の外線着信に出るときは、通話を保留するか通話を終了する

3 他の外線着信に応答する

■ドアホン着信を通知する

1 外線または専用線で通話中にドアホン着信があると、ハンドセットから着信通知音（プッ）が聞こえる

2 保留ボタンを押すと通話を保留し、ドアホン着信に応答する

補足説明

●着信通知を送出できるのは、最大8台までです。
●着信通知音を送出できるのは、鳴動設定のある外線またはドアホンのみです。
●外線の着信通知音は約8秒おきに聞こえます。
●ドアホンの着信通知音は約4秒おきに聞こえます。ただし、同時に外線着信があると、外線着信の着信通知が優先されます。

ご注意

●NTTのキャッチホンサービスのようなフッキング操作による通話の切替はできません。
●内線通話中もドアホン着信の通知音を聞くことができますが、保留操作をしてもドアホン着信に応答できません。応答する場合は内線通話を終了してください。

他の電話に出ていて電話を受けられないときは

一部の外線のみ着信を受けなくする

電話を受けられないときに、電話をかけてきた方に話中音（ツーツー）を聞かせることができます。

■セットする

1 外線 ボタンまたは DILIN ボタンを押す

- 外線 ランプまたは DILIN ランプ（緑）が点灯し、周期的に2回消えます。
- スピーカ ランプが点灯します。
- スピーカから発信音（ツー）が聞こえます。

2 保留 ボタンを押す

- 外線 ランプまたは DILIN ランプ（緑）が周期的に2回点滅します。

3 アナログ回線（「ひかり電話」を含む）の場合は、スピーカ ボタンを押す

- スピーカ ランプが点灯しているときのみ押します。

■解除する

1 セットされている（周期的に2回緑点滅） 外線 ボタンまたは DILIN ボタンを押す

2 スピーカ ボタンを押す

- 外線 ランプまたは DILIN ランプ（緑）が点灯し、周期的に2回消えます。
- スピーカから発信音（ツー）が聞こえます。（アナログ回線の場合は発信音が聞こえない場合があります。）

3 再度スピーカ ボタンを押す

- 外線 ランプまたは DILIN ランプが消えます。

補足説明

- ランプ状態は保留時と同じです。他の電話機の 外線 ランプまたは DILIN ランプは赤の点滅になります。
- 解除したISDN回線でそのまま電話をかけるときは、再度 スピーカ ボタンを押さずに、発信音（ツー）が聞こえている状態で電話番号をダイヤルします。

ご注意

- ディジタルハンドルコードレス電話機（DHCL）の子機やディジタルコードレス電話機（DCLS、DCLL）は、本機能をご利用できません。
- 代表を組んでいないISDN回線の場合は、ペアとなる 外線 ボタンの番号の大きい方をセットしてください。番号の小さい方の 外線 ボタンをセットすると、番号の大きい方の 外線 ボタンが空きであっても着信を受けることができません。
- ISDN回線で代表を組んでいる場合は、番号の大きい方の 外線 ボタンから順にセットしてください。番号の大きい方の 外線 ボタンが空きであっても、着信を受けることができません。
- ストレートラインDIの場合は、同じ DILIN ボタンの番号の大きい方から順にセットしてください。
- 保留 ボタンを押したときの動作が外線自動保留（初期は外線自動保留［工事者設定306］）の場合、本機能をセットする電話機には、不完全転送呼の発呼者戻し［工事者設定316］を設定しないでください。
- ストレートラインDIの場合、セットした DILIN ボタンを使って電話をかけられない電話機からは、解除することができません。
- 本機能はボタン電話機のみ有効です。
- 解除するときは、操作1のあとすぐに スピーカ ボタンを押してください。（約5秒以内）
- アナログ回線でも本機能を利用できますが、保留警報は設定しないでください。［工事者設定311］

ナンバー・ディスプレイを利用した便利な機能

NTTの「ナンバー・ディスプレイ*」または「INSナンバー・ディスプレイ*」を利用して、外線着信時にかけてきた方の電話番号を電話機のディスプレイに表示します。他にも、システムが持っている便利な機能を利用することができます。また、工事者設定で、ディスプレイに表示しないようにすることもできます。[工事者設定229-1]
*別途NTTとの契約が必要です。

かけてきた方の番号を複数表示する

外線から同時に複数の電話がかかってきた場合は、かけてきた方の番号を複数表示することができます。このとき表示している番号を選択して応答することができます。
また、電話がかかってきた外線ボタン番号も表示しますので、対応の 外線 ボタンを押して応答することもできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(229-12)	−	−

■番号表示件数を設定する

かけてきた方の番号を表示するときの表示件数を設定します。「1件表示」、「2件表示」、「4件表示」のいずれかを選択できます。初期設定は「1件表示」です。

1 メニューから〈外線着信時表示件数〉を呼び出す

①▣を押します。
②「4 電話機毎機能設定」を選択し、▣を押します。
③「3 LCD/着信ﾗﾝﾌﾟ設定」を選択し、▣を押します。
④「8 外線着信時表示件数」を選択し、▣を押します。

<外線着信時表示件数>
0 1件表示
1 2件表示
2 4件表示
◀戻る ▲▼決定

2 ▣で選択し、▣を押す

- 現在の設定を反転表示します。

<外線着信時表示件数>
0 1件表示
1 2件表示
2 4件表示
◀戻る ▲▼決定

3 設定完了画面が表示される

- ▣を押すと終了します。

<外線着信時表示件数>
1 2件表示
■設定完了!
終了

知っていると便利なこと

●番号表示件数の設定は、工事者設定でも行えます。
[工事者設定229-12]

■相手を選択して応答する

1 外線から同時に複数の電話がかかってくる

- かけてきた方の番号を表示します。
- 番号の右側に、「→xx」(xx＝外線ボタン番号)を表示します。

「2件表示」の例

7月10日(金) AM10:10
031111XXXX/1234 →01
上×商事
0901111XXXX/4321→04
浅田××××株式会社
切替ﾎﾞﾀﾝで選択が可能

「4件表示」の例

7月10日(金) AM10:10
上×商事 →01
浅田××××株式→04
0901111XXXX/4321→07
031234XXXX/1234 →05
切替ﾎﾞﾀﾝで選択が可能

2 代理応答/切替 ボタンを押して番号を選択する

- 現在選択中のものは反転表示します。
- 代理応答/切替 ボタンを押すたびに相手が切り替わります。

「2件表示」の2件目を選択した例

7月10日(金) AM10:10
031111XXXX/1234 →01
上×商事
0901111XXXX/4321→04
浅田××××株式会社
切替ﾎﾞﾀﾝで選択が可能

「4件表示」の2件目を選択した例

7月10日(金) AM10:10
上×商事 →01
浅田××××株式→04
0901111XXXX/4321→07
031234XXXX/1234 →05
切替ﾎﾞﾀﾝで選択が可能

3 ハンドセットをとる

4 相手の方と通話する

ナンバー・ディスプレイを利用した便利な機能

補足説明

●着信中の画面の説明

・「2件表示」の例

```
 7月10日(金) AM10:10
09011111XXXX/4321→01 ←1件目の相手番号、外線ボタン番号
浅田××××株式会社    ←1件目の相手名称（＊1）
03111XXXX/1234→ 04   ←2件目の相手番号、外線ボタン番号
上×商事              ←2件目の相手名称（＊1）
切替ﾎﾞﾀﾝで選択が可能
```

・「4件表示」の例

```
 7月10日(金) AM10:10
浅田××××株式→01 ←1件目の相手番号／名称（＊1）、外線ボタン番号
上×商事     →04 ←2件目の相手番号／名称（＊1）、外線ボタン番号
09011111XXXX/4321→07 ←3件目の相手番号／名称（＊1）、外線ボタン番号
031234XXXX/1234 →05 ←4件目の相手番号／名称（＊1）、外線ボタン番号
切替ﾎﾞﾀﾝで選択が可能
```

＊1：相手名称は電話帳に登録があると表示します。

●代理応答/切替ボタンで番号を選択した場合、オフフック自動応答が設定されていなくても、ハンドセットをあげるのみで応答できます。

●オフフック自動応答が設定されていて、番号を選択しないでハンドセットをあげた場合、1件目の着信に応答します。

●着信中に外線ボタンを押して外線を選択した場合は、選択された外線の番号／名称を表示します。

●ディスプレイの縦倍角表示（P1-32）や、付加情報表示（P5-33）はご利用できません。

●通話中は、通話している相手を表示します。

●コードレス電話機は、本機能をご利用できません。

●DHCLの親機は、番号表示件数の「4件表示」はご利用できません。「4件表示」に設定しても「2件表示」で動作します。

ナンバー・ディスプレイを利用した便利な機能

かけてきた方の情報を表示する（付加情報表示）

外線から電話がかかってきたときに、かけてきた方の付加情報を表示することができます。
このとき表示する付加情報は、3種類の表示モードから選択ができます。表示モードは共通電話帳に登録しておきます（P3-10）。

1 外線から電話がかかってくる

- かけてきた方の付加情報をディスプレイの4、5行目に表示します。
- 本画面は表示モードが「付加情報ﾓｰﾄﾞ1（電話帳詳細）」のときの例です。

```
 7月10日(金) AM10:10
031234XXXX/1234
上×商事
ｳｴｽﾞｼｮｳｼﾞ
区分(得意先          )
```

補足説明

- ●本機能は、着信中または保留中、外線のプリセレクションや、外線お待たせメッセージでもご利用できます。
- ●ディスプレイの縦倍角表示（P1-32）や、番号複数表示（P5-31）はご利用できません。
- ●通話中は、本機能をご利用できません。
- ●コードレス電話機は、本機能をご利用できません。
- ●表示モードはメニュー機能で設定します。
  詳しくはP3-10をご覧ください。
- ●着信中の表示モード別画面の説明：

・「付加情報ﾓｰﾄﾞ1（電話帳詳細）」の例

```
 7月10日(金) AM10:10
031234XXXX/1234
上×商事
ｳｴｽﾞｼｮｳｼﾞ                ←相手名称ヨミガナ
区分(得意先          )     ←相手区分名称
```

・「付加情報ﾓｰﾄﾞ2（前着信履歴）」の例

```
 7月10日(金) AM10:10
031234XXXX/1234
上×商事
前回: 7/ 8(水)A 9:31      ←前回の着信日時（＊1）
不応答                    ←着信結果（＊2）
```

・「付加情報ﾓｰﾄﾞ3（ﾕｰｻﾞ定型文）」の例

```
 7月10日(金) AM10:10
031234XXXX/1234
上×商事
お得意様です、対応に      ┐
気をつけて下さい。        ┘ 定型文（＊3）
```

＊1：グループ内全着信履歴の中から番号が一致する最新の履歴を表示します。一致する履歴がない場合は、「履歴ありません」を表示します。
＊2：該当の着信履歴の結果を表示します。
- ・不応答の場合：「不応答」を表示
- ・応答済の場合：「→」＋応答者を表示
- ・不応答後発信済の場合：「発信済:」＋折り返し発信者を表示

＊3：メニュー機能で設定したユーザ定型文を表示します。詳しくはP3-13をご覧ください。

ナンバー・ディスプレイを利用した便利な機能

通話中にかかってきた方の番号を表示する

通話中に外線から電話がかかってきたとき、該当の外線ボタンを押すと、かけてきた方の番号を表示することができます。さらに、番号を表示中に再度外線ボタンを押すと、電話に出ることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(229-14)	−	−

1 通話中に電話がかかってきた 外線 ボタンを押す

- ディスプレイの表示が、通話相手の番号と名称から、かけてきた方の番号と名称に変わります。

```
 7月10日(金) AM10:10
031234XXXX/1234
東京営業所

■再度押すと着信応答
```

2 ■現在の通話を終了して、かかってきた外線に出る場合、再度 外線 ボタンを押す
■現在の通話をいったん保留して、かかってきた外線に出る場合、保留ボタンを押してから再度 外線 ボタンを押す

補足説明

- ●操作1で、付加情報表示（P5-33）はご利用できます。
- ●操作1で、かけてきた方の番号と名称の表示を解除したいときは、クリアボタンを押してください。
- ●外線ボタンの代わりに、DILINボタンや着信ボタンでも本機能は有効です。

ご注意

- ●アナログ外線で本機能をご利用される場合は、ナンバー・ディスプレイ機能を有効にしてください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

ナンバー・ディスプレイを利用した便利な機能

特定の番号からの電話を識別する・優先して受ける（着信識別）

共通電話帳に登録されている電話番号から電話がかかってきた場合は、相手区分番号ごとに着信音や着信／メッセージランプの色を変えることができます。また、特定の相手区分の着信を優先的に表示し、応答することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(229-2)	−	−

▶ 指定電話機：共通電話帳編集用電話機

1 メニューから<着信識別>を呼び出す

①[MENU]を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[SET]を押します。
③「3 音/着信ﾗﾝﾌﾟ設定」を選択し、[SET]を押します。
④「1 着信識別」を選択し、[SET]を押します。

<着信識別>
01:機能なし
02:着信音12赤
03:着信音13水*
04:着信音14ー
◀戻る ▲▼決定

2 [SET]で設定したい相手区分を選択し、[SET]を押す

- 現在の設定内容が表示されます。
- 優先着信／応答が設定されている場合は、「*」が画面に表示されます。

<着信識別>
01:機能なし
02:着信音12赤
03:着信音13水*
04:着信音14ー
◀戻る ▲▼決定

3 [SET]で着信音を選択し、[SET]を押す

- ディスプレイの右上に現在設定中の相手区分番号（例：区02）が表示されます。
- 現在の設定内容が反転表示されます。
- [SET]を押すと現在選択中の着信音を再生することができます。

<着信音> 区02
46着信音46
47着信音47
51着信音51-ﾒﾛﾃﾞｨ1
52着信音52-ﾒﾛﾃﾞｨ2
◀戻る ▲▼決定 再生▶

4 [SET]で着信／メッセージランプの色を選択し、[SET]を押す

- 現在の設定内容が反転表示されます。
- [SET]を押すと着信／メッセージランプが選択中の色で点灯します。

<着信ﾗﾝﾌﾟ ｶﾗｰ> 区02
1赤色
2黄色
3緑色
4水色
◀戻る ▲▼決定

5 [SET]で優先着信・応答の有無を選択し、[SET]を押す

- 現在の設定内容が反転表示されます。

<優先着信・応答> 区02
0優先着信・応答-なし
1優先着信・応答-あり
◀戻る ▲▼決定

6 設定完了画面が表示される

- 設定された着信音が電話機から流れ、着信／メッセージランプが設定色で点灯します。
- 終了する場合は、[SET]を押します。
- [SET]を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。

<着信識別> 区02
着信音52/水色
優先着信・応答-なし
■設定完了!
終了 継続▶

ナンバー・ディスプレイを利用した便利な機能

補足説明

●選択できる着信音は下記のとおりです。
0 0 着信音識別なし（＊1）
1 1～1 7 着信音11～着信音17
2 1～2 7 着信音21～着信音27
3 1～3 7 着信音31～着信音37
4 1～4 7 着信音41～着信音47
5 1～5 3 着信音51-ﾒﾛﾃﾞｨ1～着信音53-ﾒﾛﾃﾞｨ3
5 4 着信音54-外部
5 5、5 6 ﾒｯｾｰｼﾞA、ﾒｯｾｰｼﾞB（＊2）
9 9 着信音99-無鳴動（ナンバー･ディスプレイ表示あり）

＊1：着信音は変えずに、着信／メッセージランプの色のみ変えることができます。機能なしにする場合は、加えて着信／メッセージランプの色を**「0 ｶﾗｰ識別なし」**にしてください。

＊2：着信音として、システム応答メッセージを設定することができます。操作2で**「5 5 ﾒｯｾｰｼﾞA」**または**「5 6 ﾒｯｾｰｼﾞB」**を選択してください。なお、どのシステム応答メッセージを使用するかを設定しておく必要があります。［工事者設定229-2］

●着信音11～17、21～27、31～37、41～47を設定することにより、着信音の音色および周期を変えることができます。
詳細は「各外線の着信音を選択する」（P7-10）をご覧ください。

●選択できる着信／メッセージランプの色は下記のとおりです。
0 ｶﾗｰ識別なし（電話機ごとの着信／メッセージランプの色となります。）
1 赤色
2 黄色
3 緑色
4 水色
5 青色
6 紫色
7 白色
8 ﾚｲﾝﾎﾞｰ1
9 ﾚｲﾝﾎﾞｰ2
※レインボー1またはレインボー2を選択した場合、赤色→黄色→緑色→水色→青色→紫色→白色→赤色…の順に一定周期で色が変化（レインボー1は速く、レインボー2はゆっくりと）します。

補足説明

●ディジタルハンドルコードレス電話機（DHCL）の子機やディジタルコードレス電話機（DCLS、DCLL）は、着信／メッセージランプの色を変えることはできませんが、着信音のみ変えることができます。

●着信／メッセージランプの色は変えずに着信音のみ変えることができます。操作4で**「0 ｶﾗｰ識別なし」**を選択すると、着信／メッセージランプの色は変更されません。

●操作3で を押し、着信音を再生した場合は、下記表示になります。
決定する場合は、そのまま を押してください。
を押すと着信音選択画面に戻ります。

●相手区分以外に、非通知の着信に対しても着信音や着信／メッセージランプの色を設定することができます。操作2で**「3 1 ﾋﾂｳﾁ」**、**「3 2 ｺｳｼｭｳ」**、**「3 3 ｹﾝｶﾞｲ」**を選択してください。

ご注意

●本機能を利用する場合は、共通電話帳に相手の方の番号と相手区分番号を設定してください。

●着信音54を使用する場合は、オプション用品のET-EXU-Xiが別途必要です。未実装で着信音54を指定した場合は、着信音11になります。

●電話に出たあとの着信／メッセージランプは電話機ごとに設定した色（P1-30）に戻ります。ただし、着信識別機能で着信している外線が他にもある場合、着信／メッセージランプは相手区分番号ごとの色で点灯します。

●操作3で**「0 0 着信音識別なし」**、操作4で**「0 ｶﾗｰ識別なし」**を設定した相手区分や非通知の着信に対しては、優先着信･応答を設定できません。

●全ての相手区分に優先着信･応答の機能を設定できますが、設定した中での優先順位はありません。

ナンバー・ディスプレイを利用した便利な機能

特定の番号からの電話は着信を拒否する（発番号識別着信拒否）

あらかじめセットした電話番号から電話がかかってきた場合に、話中音（ツーツー…）や音声メッセージを聞かせることができます。迷惑電話などを拒否する場合に便利です。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-6	−	−

■拒否する電話番号を直接登録する

1 メニューから〈着信拒否番号〉を呼び出す

① ▣ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、▣ を押します。
③「8 番号識別機能」を選択し、▣ を押します。
④「1 着信拒否番号」を選択し、▣ を押します。

<着信拒否番号> 0005
■項番直接入力可
◀戻る ▲▼決定

2 登録されていない番号を表示するので、▣ を押す

- 登録済みの電話番号を変更するときは、番号を直接入力するか ▣ で選択してください。登録済みの場合はその内容が表示されます。

<着信拒否番号> 0005
■項番直接入力可
◀戻る ▲▼決定

3 ▣ で「1 番号直接入力」を選択し、▣ を押す

<着信拒否番号> 0005
1 番号直接入力
2 消去
3 電話番号指定消去
◀戻る ▲▼決定

4 拒否する電話番号を入力し、▣ を押す

- 電話番号は市外局番から入力してください。

<着信拒否番号> 0005
0905555XXXX····
■電話番号入力
クリア消去
◀ 決定

5 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣ を押します。
- ▣ を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。

<着信拒否番号> 0005
0905555XXXX
■登録完了!
終了 継続▶

補足説明

●登録できる電話番号は最大16桁、最大10000件です。
●すべて登録されている場合には、0000が表示されます。

ご注意

●本機能はシステム一括の設定ですので、セットした電話番号はすべての外線で拒否します。

知っていると便利なこと

●着信拒否をセットした電話番号から電話がかかってきた場合も、全着信履歴、不応答履歴に残ります。拒否した着信は“→拒否”が表示されます。

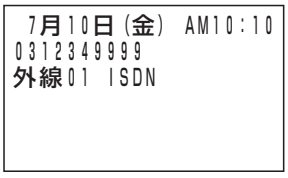
■通話中の相手を拒否登録する

通話中の相手の電話番号を、着信拒否する電話番号として登録することができます。指定電話機以外からも操作できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-6	拒否登録（938）	−

1 外線通話中に 拒否登録 ボタンを押す

・登録できると 拒否登録 ランプ（赤）が点灯します。



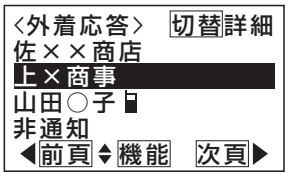
補足説明

●電話番号が表示されていないときは、登録できません。拒否登録ランプは点灯しません。
●電話を受けたときだけでなく、電話をかけたときも登録することができます。
●登録件数に空きがないときは、登録できません。拒否登録ランプは点灯しません。

■履歴の電話番号を拒否登録する

1 着信履歴や発信履歴を表示中に拒否する相手を選択したら、を押す

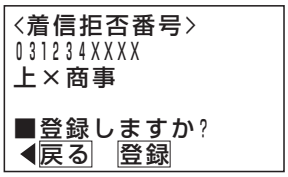
・本画面は電話機ごとの外線着信応答履歴の例です。



2 〈機能選択〉画面となるので、で「3着信拒否登録」を選択し、を押す

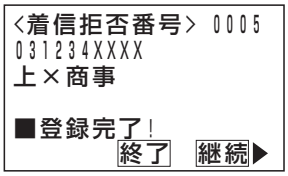
3 登録確認画面となるので、を押す

・拒否する電話番号および相手名称（共通電話帳に登録時）が表示されます。



4 登録完了画面が表示されるので、を押す

・終了する場合は、を押します。
・を押すと操作1に戻り、操作を繰り返すことができます。



補足説明

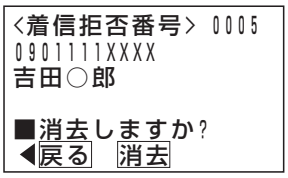
●操作1は、着信履歴の一覧表示の例ですが、発信履歴でも詳細表示でも操作できます。
●着信履歴機能の詳細は、P2-25を、発信履歴機能の詳細は、P2-13をご覧ください。
●履歴の表示中に、拒否登録ボタンを押しても登録できます。

■拒否する電話番号を消去する（番号選択）

「■拒否する電話番号を直接登録する」（P5-37）の操作2を行ったあと下記の操作を行います。

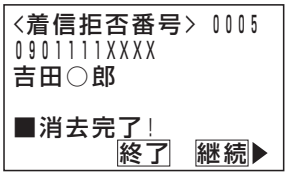
3 ◈で「2消去」を選択し、◈を押す

4 消去確認画面が表示されるので、◈を押す



5 消去完了画面が表示される

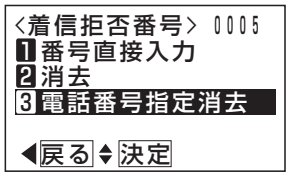
- 終了する場合は、◈を押します。
- ◈を押すと操作2に戻り、消去を繰り返すことができます。



■拒否する電話番号を消去する（電話番号指定）

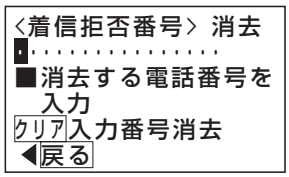
「■拒否する電話番号を直接登録する」（P5-37）の操作2を行ったあと下記の操作を行います。

3 ◈で「3電話番号指定消去」を選択し、◈を押す

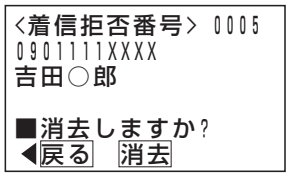


4 電話番号を入力し、◈を押す

- 入力できる電話番号は最大16桁です。
- クリア ボタンを押し電話番号をすべて消去し、◈を押すと操作3に戻ります。

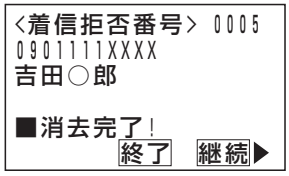


5 消去確認画面が表示されるので、◈を押す



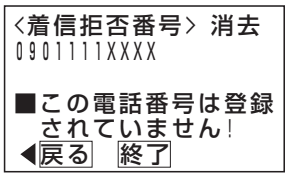
6 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、◈を押します。
- ◈を押すと操作2に戻り、消去を繰り返すことができます。



補足説明

●操作4で入力した電話番号が登録済みの番号に該当しない場合は、エラー画面が表示されます。◈を押すと操作4に戻りますので電話番号を入力し直してください。



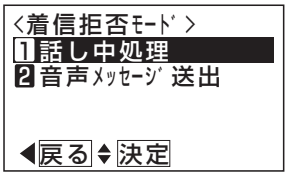
■拒否方法を選択する

着信を拒否するとき、話し中にするか音声メッセージを流すかを選択できます。

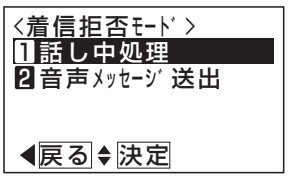
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-6	−	−

1 メニューから〈着信拒否ﾓｰﾄﾞ〉を呼び出す

① ▣ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、▣ を押します。
③「8 番号識別機能」を選択し、▣ を押します。
④「2 着信拒否ﾓｰﾄﾞ」を選択し、▣ を押します。

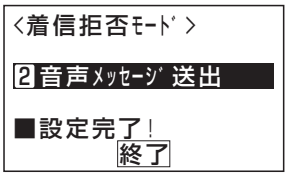


2 ▣ でモードを選択し、▣ を押す



3 設定完了画面が表示される

- ▣ を押すと終了します。



補足説明

- ●固定メッセージ「ただ今不在です。電話に出ることができません。」のほか、録音したメッセージ（P7-20）を使用することもできます。［工事者設定229-6］
- ●メッセージを流す回数は非通知着信拒否と共通で1回です。2回に変更することもできます。［工事者設定229-6］
- ●拒否方法は工事者設定で選択することもできます。［工事者設定229-6］

番号を通知しない電話を拒否する（非通知着信拒否）

電話番号を通知しない（非通知）で電話をかけてきた相手に「電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直しください。」等のメッセージや話中音（ツーツー…）を聞かせることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-7	非通知拒否（935）	−

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■ 非通知拒否 ボタンでセット／解除する

1 非通知拒否 ボタンを押す

- セットした場合は 非通知拒否 ランプが点灯します。
- 解除した場合は 非通知拒否 ランプが消灯します。

■メニュー機能でセット／解除する

1 メニューから〈非通知着信拒否〉を呼び出す

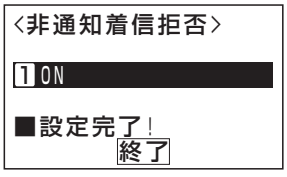
① ▣ を押します。
②「3 各種機能切替」を選択し、▣ を押します。
③「4 非通知着信拒否」を選択し、▣ を押します。

2 ▣ で非通知着信拒否のON／OFFを選択し、▣ を押す

- 現在の設定が反転表示します。

3 設定完了画面が表示される

- ▣ を押すと終了します。



■非通知着信拒否機能の動作範囲を変更する

非通知着信拒否はテナントごとに独立して動作しますが、システム一括の動作に変更することもできます。工事者設定で変更することも可能です。[工事者設定229-7]

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから〈着信拒否適用外線〉を呼び出す

① ⊡ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊡ を押します。
③「7 非通知着信拒否」を選択し、⊡ を押します。
④「2 着信拒否適用外線」を選択し、⊡ を押します。

〈着信拒否適用外線〉
1 同一ﾃﾅﾝﾄ
2 ｼｽﾃﾑ一括
◀戻る ▲▼ 決定

2 ⊡ で「ｼｽﾃﾑ一括」を選択し、⊡ を押す

- 現在の設定が反転表示します。
- 「1 同一ﾃﾅﾝﾄ」を選択すると、モード切替用電話機が操作できるテナントのみ、非通知着信のセット／解除を行います。
- 「2 ｼｽﾃﾑ一括」を選択すると、システム一括で非通知着信拒否のセット／解除を行います。

〈着信拒否適用外線〉
1 同一ﾃﾅﾝﾄ
2 ｼｽﾃﾑ一括
◀戻る ▲▼ 決定

3 設定完了画面が表示される

- ⊡ を押すと終了します。

〈着信拒否適用外線〉
2 ｼｽﾃﾑ一括
■設定完了！
終了

補足説明

- ●非通知拒否 ボタンを押すたびに、セット／解除を繰り返します。
- ●操作できる電話機は、テナントごとに16台までです。

■拒否方法を選択する

着信を拒否するとき、話し中にするか音声メッセージを流すかを選択できます。

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈着信拒否ﾓｰﾄﾞ〉を呼び出す

① ⊡ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊡ を押します。
③「7 非通知着信拒否」を選択し、⊡ を押します。
④「1 着信拒否ﾓｰﾄﾞ」を選択し、⊡ を押します。

〈着信拒否ﾓｰﾄﾞ〉
1 話し中処理
2 音声ﾒｯｾｰｼﾞ送出
◀戻る ▲▼ 決定

2 ⊡ でモードを選択し、⊡ を押す

- 現在の設定を反転表示します。

〈着信拒否ﾓｰﾄﾞ〉
1 話し中処理
2 音声ﾒｯｾｰｼﾞ送出
◀戻る ▲▼ 決定

3 設定完了画面が表示される

- ⊡ を押すと終了します。

〈着信拒否ﾓｰﾄﾞ〉
2 音声ﾒｯｾｰｼﾞ送出
■設定完了！
終了

補足説明

- ●拒否方法はテナントごとに独立して設定できます。また、操作できる電話機は、テナントごとに16台までです。
- ●固定メッセージ「電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直しください。」の他、録音したメッセージ（P7-20）を使用することもできます。[工事者設定229-7]
- ●メッセージを流す回数は発番号識別着信拒否（P5-37）と共通で1回です。2回に変更することもできます。[工事者設定229-7]
- ●拒否方法は工事者設定で選択することもできます。[工事者設定229-7]

非通知着信拒否を行う着信種別を選ぶ

以下の非通知理由の着信を拒否するかどうかを設定できます。

・非通知
・公衆電話
・表示圏外

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-7	非通知拒否（935）	−

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから<非通知着信拒否>を呼び出す

① ⊡ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊡ を押します。
③「7 非通知着信拒否」を選択し、⊡ を押します。

<非通知着信拒否>
1 着信拒否ﾓｰﾄﾞ
2 着信拒否適用外線
3 拒否対象着信種別
◀戻る ▲▼決定

2 ⊡ で「3 拒否対象着信種別」を選択し、⊡ を押す

<非通知着信拒否>
1 着信拒否ﾓｰﾄﾞ
2 着信拒否適用外線
3 拒否対象着信種別
◀戻る ▲▼決定

3 ⊡ で非通知拒否のON／OFFを選択し、⊡ を押す

- 現在の設定が反転表示します。
- 相手の方が非通知で電話をかけてきたとき（1 8 4をダイヤルしてかけたときなど）、着信を拒否する場合は「1 ON」を選択します。

<非通知拒否設定>
0 OFF
1 ON
◀戻る ▲▼決定

4 ⊡ で公衆電話拒否のON／OFFを選択し、⊡ を押す

- 現在の設定が反転表示します。
- 相手の方が公衆電話から電話をかけてきたとき、着信を拒否する場合は「1 ON」を選択します。

<公衆電話拒否設定>
0 OFF
1 ON
◀戻る ▲▼決定

5 ⊡ で表示圏外拒否のON／OFFを選択し、⊡ を押す

- 現在の設定が反転表示します。
- 相手の方が表示圏外（海外など）のとき、着信を拒否する場合は「1 ON」を選択します。

<表示圏外拒否設定>
0 OFF
1 ON
◀戻る ▲▼決定

6 設定完了画面が表示される

- ⊡ を押すと終了します。

<拒否対象着信種別>
非通知　:ON
公衆電話:ON
表示圏外:OFF
■設定完了!
終了

補足説明

●本機能はテナントごとに独立して設定できます。また、操作できる電話機は、テナントごとに16台までです。
●拒否対象着信種別は、工事者設定で設定することもできます。[工事者設定229-7]
●非通知着信拒否のON／OFFについてはP5-40をご覧ください。

ご注意

●拒否するときに音声メッセージを流す場合（P5-41）、着信種別ごとに音声メッセージを変更することはできません。

ナンバー・ディスプレイを利用した便利な機能

特定の番号からの電話は特定の電話機で受ける（発番号ホットライン）

あらかじめ登録した電話番号から電話がかかってきた場合は、特定の電話機のみを呼び出すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(229-8)	ホットライン着信(991)	−

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

■登録／変更する

1 メニューから〈発番号ﾎｯﾄﾗｲﾝ〉を呼び出す

① ⊡ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊡ を押します。
③「8 番号識別機能」を選択し、⊡ を押します。
④「4 発番号ﾎｯﾄﾗｲﾝ」を選択し、⊡ を押します。

```
〈発番号ﾎｯﾄﾗｲﾝ〉
05:

■項番直接入力可
◀戻る ◆決定
```

2 登録されていない番号を表示するので、⊡ を押す

- 登録内容を変更するときは、番号を直接入力するか ⊡ で選択してください。登録済みの場合はその内容が表示されます。

```
〈発番号ﾎｯﾄﾗｲﾝ〉
05:

■項番直接入力可
◀戻る ◆決定
```

3 ⊡ で「1 登録／変更」を選択し、⊡ を押す

```
〈発番号ﾎｯﾄﾗｲﾝ〉
1 登録/変更
2 消去

◀戻る ◆決定
```

4 登録する電話番号を入力し、⊡ を押す

- 電話番号は市外局番から入力してください。
- ⊡ でカーソル位置を左右に移動できます。

```
〈発番号ﾎｯﾄﾗｲﾝ〉
05:0901111XXXX・・・・

■電話番号入力
クリア消去
◀      決定
```

5 呼び出す電話機の内線番号を入力し、⊡ を押す

- 操作4で入力した電話番号が共通電話帳に登録されているときは、3行目に名前が表示されます。
- ⊡ で内線番号を検索することもできます。

```
〈発番号ﾎｯﾄﾗｲﾝ〉
05:0901111XXXX
吉田○一
→NO.103 クリア再入力
■内線番号入力
◀戻る ◆決定
```

6 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、⊡ を押します。
- ⊡ を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。

```
〈発番号ﾎｯﾄﾗｲﾝ〉
05:0905555XXXX
吉田○一
→NO.103 山田○次郎
■登録完了!
        終了 継続▶
```

補足説明

●登録できる電話番号は最大16桁、99件です。
●全て登録されている場合は、01の画面が表示されます。不要な電話番号があれば削除してください。
●ホットラインの登録を消去するときは、操作2で消去したい番号を選択し、操作3で「2 消去」を選んで、⊡ を押したあと、消去の確認画面が表示したら、⊡ を押してください。

ご注意

●本機能はシステム一括の設定ですので、セットした電話番号からかかってきた場合は他の電話機には着信しませんので、注意してください。

■応答する

1 着信音が聞こえたら、ハンドセットをとる

- 着信中は 外線 ランプは緑の速い点滅、 内線 および 着信／メッセージ ランプは速い点滅をします。

2 相手の方と通話する

補足説明

●ダイヤルインと同じように、特定の電話機に着信します。
●対応の電話機を約30秒呼び出して応答がない場合は、通常の着信となり、他の電話機が着信します。
※呼出時間は、6秒～90秒、6秒単位または、無限で変更することもできます。[工事者設定229-8]
●ストレートラインDI（P5-17）を利用している場合は、着信時に DILIN ランプは着信中の表示（緑の速い点滅）をします。

知っていると便利なこと

●プログラマブルキーに ホットライン着信 ボタンを設定しておくと、着信時に ホットライン着信 ボタンのランプが赤の遅い点滅をします。
●ダイヤルインと同じように、内線代表（P5-126）、不在転送（P5-117）、代理応答（P2-50）、話中・応答遅延転送（P5-123）を利用することができます。

一時的に発番号ホットラインを登録する

外線通話中に一時ホットラインボタンを押すと、相手番号を一時的に発番号ホットラインとして登録します。この状態で登録した電話番号からの着信があると、ボタンを押した電話機に着信します。着信に応答すると登録した番号は消去されます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
–	一時ホットライン(936)、ホットライン着信 (991)	–

■登録する

1 外線通話中に 一時ホットライン ボタンを押す

- 一時ホットラインランプ（緑）が点灯し、相手の番号が一時的に発番号ホットラインとして登録されます。
- 一時ホットラインランプが点灯（緑）になってから約2秒が経過すると、点灯（赤）に変わります。

2 通話が終わったらハンドセットを置く

補足説明

●登録できる電話番号は、最大16桁、システムで最大1000件です。
●相手番号が表示されていない通話や、会議通話中は、登録無効となります。

■登録した電話機で消去する

1 ハンドセットを置いたまま、一時ホットライン ボタンを押す

- ＜一時ホットライン消去＞画面となります。
- 登録された相手番号または相手名称を、登録の古い順に表示します。
- 一時ホットラインボタンのランプが消えているときは、操作はできません。

<一時ホットライン消去>
鈴木○一郎
027123XXXX
山田○次郎
0901234XXXX
◀前頁 ▲▼ 決定　次頁▶

2 ◎で消去する番号または名称を選択し、◎を押す

- 本画面は登録が5件以上ある場合の例です。

<一時ホットライン消去>
鈴木○一郎
037123XXXX
山田○次郎
0901234XXXX
◀前頁 ▲▼ 決定　次頁▶

3 消去確認画面が表示されるので、◎を押す

<一時ホットライン消去>
0901111XXXX
鈴木○一郎
■消去しますか?
◀戻る　消去

4 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、◎を押します。
- ◎を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。
- 消去後に登録が1件もない場合、一時ホットランプは消えます。

<一時ホットライン消去>
0901111XXXX
鈴木○一郎
■消去完了!
終了　継続▶

■管理者の電話機で消去する（1件消去）

電話機を選択して、登録した相手番号の中から1件を消去することができます。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

1 ハンドセットを置いたまま、ボタン+30を押す

- ＜一時ﾎｯﾄﾗｲﾝ消去＞画面となり、ユーザ用パスワード（4桁）の入力待ち状態になります。
- パスワード未設定時は、パスワード入力は省略されます。

<一時ﾎｯﾄﾗｲﾝ消去>
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ：････
■ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを入力して
ください。

2 ユーザ用パスワード（4桁）を入力する

- パスワードを間違えた場合は、パスワード入力待ち状態に戻ります。

<一時ﾎｯﾄﾗｲﾝ消去>
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ：＊＊＊･
■ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞを入力して
ください。

3 各収容位置の登録件数表示画面となるので、で選択し、を押す

- 収容位置の順に表示します。

<一時ﾎｯﾄﾗｲﾝ消去>
101(101)　30件
102(102)　22件
103(3001)　0件
104(　　)　118件
◀前頁 ◆決定 次頁▶

4 で消去する相手番号または相手名称を選択し、を押す

- 登録された相手番号または相手名称を、登録の古い順に表示します。
- 本画面は登録が5件以上ある場合の例です。

<一時ﾎｯﾄﾗｲﾝ消去> 102
鈴木○一郎
027123XXXX
山田○次郎
0901234XXXX
◀戻る ◆決定 次頁▶

5 で「一件消去」を選択し、を押す

<一時ﾎｯﾄﾗｲﾝ消去> 102
1一件消去
2全件消去
◀戻る ◆決定

6 消去確認画面が表示されるので、を押す

<一時ﾎｯﾄﾗｲﾝ消去> 102
0901111XXXX
鈴木○一郎
■消去しますか?
◀戻る　消去

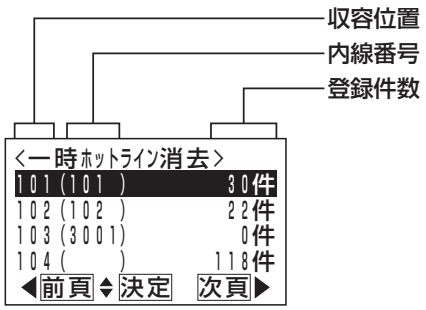
7 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、を押します。
- を押すと操作3に戻り、操作を繰り返すことができます。
- 消去後に選択された電話機の登録が1件もない場合、一時ホットラインランプは消えます。

<一時ﾎｯﾄﾗｲﾝ消去> 102
0901111XXXX
鈴木○一郎
■消去完了!
終了　継続▶

補足説明

●登録件数表示画面の説明：



■管理者の電話機で消去する（全件消去）

電話機を選択して、登録した相手番号すべてを消去することができます。

「■管理者の電話機で消去する（1件消去）」の操作5で「2 全件消去」を選択し、続けて下記の操作を行います。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

6 消去確認画面が表示されるので、を押す

<一時ﾎｯﾄﾗｲﾝ消去> 102

■全ての登録を
消去しますか?
◀戻る　消去

7 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、を押します。
- を押すと操作3に戻り、操作を繰り返すことができます。
- 消去後に選択された電話機の 一時ホットライン ランプが消えます。

<一時ﾎｯﾄﾗｲﾝ消去> 102

■消去完了!
終了　継続▶

■応答する

1 着信音が聞こえたら、ハンドセットをとる

- 着信中は 外線 ランプは緑の速い点滅、 内線 および 着信／メッセージ ランプは速い点滅をします。

2 相手の方と通話する

- 一時ホットラインの登録が消去されます。消去後に登録が1件もない場合、 一時ホットライン ランプは消えます。

補足説明

●応答操作をするまでは、一時ホットラインの登録は消去されません。

●発番号ホットライン（P5-43）と同じように、特定の電話機に着信します。

●電話機を約30秒呼び出して応答がない場合は、通常の着信となり、他の電話機に着信します。
※呼出時間は、6秒～90秒、6秒単位または、無限で変更することもできます。[工事者設定229-8]

●内線代表（P5-126）、不在転送（P5-117）、代理応答（P2-50）、話中･応答遅延転送（P5-123）を利用することができます。これらのうち、不在転送（外線への転送）で応答した場合のみ、一時ホットラインの登録が消去されます。

●ストレートラインDI（P5-17）を利用している場合は、着信時に DILIN ランプは着信中の表示をします。

知っていると便利なこと

●プログラマブルキーに ホットライン着信 ボタンを設定しておくと、着信時に ホットライン着信 ボタンのランプが赤の遅い点滅をします。

システムに電話をかけて自動コールバックを受ける

登録済の携帯電話などから事前に設定されたシステムの電話番号に電話をかけて、呼出音を聞いている状態で電話を切ると、システムが自動的にコールバック（自動折返し発信）します。応答したあとはシステムの内線を呼び出したり、システムの外線を使って電話をかけることができます。通話料金は全てシステム側に課金されますので、携帯電話の通話料金を節約することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-9	−	−

■対象電話機の電話番号を登録する

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから＜折返し発信対象番号＞を呼び出す

① ⊙ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊙ を押します。

<折返し発信対象番号>
05:
■項番直接入力可
◀戻る ▲▼ 決定

③「8 番号識別機能」を選択し、⊙ を押します。

④「6 折返し発信対象番号」を選択し、⊙ を押します。

2 ⊙ を押す

- 登録されていない番号が表示されます。
- 登録内容を変更するときは、⊙ で検索するか、該当する番号（01～80）を入力してください。
- すでに登録されている場合は、その内容が表示されます。

<折返し発信対象番号>
05:
■項番直接入力可
◀戻る ▲▼ 決定

3 ⊙ で「1 登録/変更」を選択し、⊙ を押す

<折返し発信対象番号>
1 登録/変更
2 消去
◀戻る ▲▼ 決定

4 登録する携帯電話等の電話番号を入力し、⊙ を押す

- 電話番号をすべて消去すると、⊙ で操作3に戻ることができます。

<折返し発信対象番号>
05:0902222XXXX
■電話番号入力
クリア 消去
◀ 決定

5 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、⊙ を押します。
- ⊙ を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

<折返し発信対象番号>
05:0902222XXXX
中島○郎
■登録完了!
終了 継続▶

■対象電話機の電話番号を消去する

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから＜折返し発信対象番号＞を呼び出す

① ⊙ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊙ を押します。

<折返し発信対象番号>
05:
■項番直接入力可
◀戻る ▲▼ 決定

③「8 番号識別機能」を選択し、⊙ を押します。

④「6 折返し発信対象番号」を選択し、⊙ を押します。

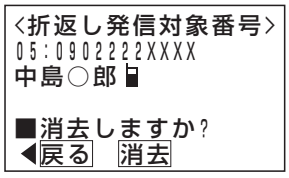
2 ⊙ で消去したい番号を検索し、⊙ を押す

- 番号（01～80）を直接入力することもできます。
- すでに登録されている場合は、その内容が表示されます。

<折返し発信対象番号>
05:0902222XXXX
中島○郎
■項番直接入力可
◀戻る ▲▼ 決定

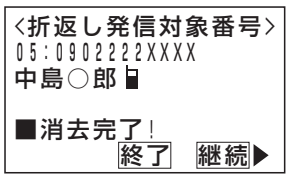
3 で「2消去」を選択し、を押す

4 消去確認画面が表示されるので、を押す



5 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、を押します。
- を押すと操作2に戻り、消去を繰り返すことができます。



補足説明

- ●登録できる電話番号は、最大16桁、システムで最大80件です。
- ●電話番号の登録は、工事者設定でも行えます。[工事者設定229-9]
- ●登録した折返し発信対象番号が共通電話帳に登録されていて、共通電話帳の外線自動発信グループが設定されていると自動折返し発信ができない場合があります。共通電話帳の外線自動発信グループを「指定なし」に変更してください。共通電話帳の外線自動発信グループを指定して発信したい場合は、工事者設定が必要です。[工事者設定229-9]

■自動折返し発信機能をON／OFFする

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

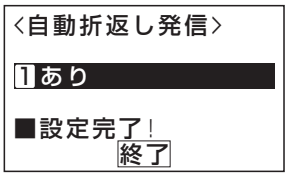
1 メニューから〈自動折返し発信〉を呼び出す

① を押します。
②「3各種機能切替」を選択し、を押します。
③「0その他」を選択し、を押します。
④「3自動折返し発信」を選択し、を押します。

2 で選択して、を押す

3 設定完了画面が表示される

- を押すと終了します。



補足説明

- ●自動折返し発信を「あり」にしても、本機能を利用する外線またはダイヤルイン番号が工事者設定されていない場合は、ご利用できません。[工事者設定229-9]
- ●自動折返し発信機能を一時的に中止したい場合などに、本設定を行ってください。
- ●自動折返し発信のON／OFFは、工事者設定でも行えます。[工事者設定229-9]

■自動コールバックを受けて内線を呼び出す

1 登録済の携帯電話等から電話をかける
- 事前に設定されたシステムの電話番号に電話をかけます。

2 呼出音が聞こえたら、電話を切る
- 呼出中になっても、システムの内線電話機は応答できません。システムの外線ランプは赤点灯します。

3 システムからのコールバックにより着信したら応答する
- 一次応答信号（ツツツ…）が聞こえます。

4 呼び出したい内線の内線番号*を押す
*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに#を押してください。
- 指定した内線を呼び出します。
- 内線番号がわからないときは、#ボタンを2回押すと強制的に通常の着信にすることができます。電話に出た人に取り次ぎを依頼してください。

5 相手の方が出たら通話する

補足説明

●操作4で内線番号の代わりに#+パスワード（4桁）を押すと、リモート操作（P7-28）を行うこともできます。

ご注意

●システムからのコールバックを受けるとき、電話機側が発信中・着信中・通話中の場合、コールバックを受けられません。再度、システムに電話をかけ直してください。
●着信した内線電話機の動作は、外から電話がかかってきたときと下記の点が異なります。
・着信中や電話に出たあとは、相手の電話番号や名称（共通電話帳に登録時）が表示されますが、一度保留すると、そのあとは表示されません。ディスプレイには外線番号と回線種別（例：外線01 ISDN）が表示されます。
・着信履歴は残りません。

■自動コールバックを受けて外線に電話をかける

1 登録済の携帯電話等から電話をかける
- 事前に設定されたシステムの電話番号に電話をかけます。

2 呼出音が聞こえたら、電話を切る
- 呼出中になっても、システムの内線電話機は応答できません。システムの外線ランプは赤点灯します。

3 システムからのコールバックにより着信したら応答する
- 一次応答信号（ツツツ…）が聞こえます。

4 外線発信番号0を押す
- システムの外線発信音（ツー）が聞こえます。

5 相手の方の電話番号を押す

6 相手の方が出たら通話する

補足説明

●操作4で外線発信番号が0以外のときは、該当する番号を押してください。また、外線発信特番を使い分けることにより、発信に使用する外線を使い分けることができます。

ご注意

●システムからのコールバックを受けるとき、電話機側が発信中・着信中・通話中の場合、コールバックを受けられません。再度、システムに電話をかけ直してください。

知っていると便利なこと

●ISDN回線やIP回線（IPCOI）でストレートラインDIを利用している外線で本機能を利用する場合、操作1でかける電話番号と同じ電話番号を発信者番号として相手の方に通知することができます。[工事者設定229-9]

通話録音する

通話中に[録音]ボタンを押すと、通話内容を録音することができます。大事な用件をメモ代わりに録音しておくことができます。また、通話録音内容を指定のボックスに登録することもできます。
外線との通話録音のほか、内線やナースコールとの通話録音もできます。

録音を開始する／終了する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-7 (722-28)	録音 (972)、停止 (880)、 録音取消 (927)	–

1 通話中に 録音 ボタンを押す

- [録音]ランプ（赤）が点灯し、通話録音を開始します。

2 通話が終わったら、ハンドセットを置く

- [録音]ランプが消え、録音は終了します。
- [停止]ボタンを押しても、録音は終了します。

補足説明

●通話録音は、各電話機の内線ボックスに登録されます。データ設定で、外線通話の通話録音は通話録音一時保存ボックス（ボックス番号＊）や任意に指定した内線ボックスに録音されるようにも設定できます。一時保存ボックスを指定した場合、録音完了後、約10分経過するとメッセージは自動的に消去されます。自動消去時間は変更することもできます。[工事者設定722-7]

※内線通話の通話録音は、事前に設定した内線ボックスに登録することもできます。

※一時保存ボックスは、通話録音先を自電話機の内線ボックスに設定していない電話機が、外線通話録音で登録先ボックスを指定しなかったときに使用されます。

※外線通話の場合、相手番号ごとに内線ボックスを指定したり（⇒P5-54）、曜日ごと（電話機グループ単位）に内線ボックスを指定することもできます。[工事者設定722-7]

●通話を自動的に録音することができます（自動録音）。電話をかけたときや、電話を受けたとき、または保留に応答したときに自動的に録音するようにも設定できます。[工事者設定722-7]

※自動録音は、外線通話と内線通話とで独立して設定できます。

●1件あたりの最大録音時間は約15分です。録音中、ディスプレイの5行目に録音の残り時間が表示され、残り時間がなくなると、アラーム音（ピピ）を流し、録音は終了します。

※最大録音時間は、1分～180分、1分単位で変更することもできます。[工事者設定722-7]

●各ボックスの録音件数は、留守録の用件メッセージも含め、トータルで最大64件です。録音件数は、1件～999件に変更できます。（録音件数にはゴミ箱内のメッセージも含まれます）[工事者設定722-7]

●録音内容の登録を中止する場合は、[録音取消]ボタンを押してください。[停止]ボタンを押した場合は、録音を終了し録音内容が登録されます。

●下記の通話も自動録音することができます。

・転送電話（手動転送）
・内線一般着信の外線転送
・着サブアドレス公ー公接続
[工事者設定722-7]

●ドアホンやインターホンとの内線通話時も通話録音することができます。

通話録音する

ご注意

●下記の場合は、[録音]ボタンを押しても録音できません。「ピピ」というアラーム音が聞こえます。
・ボイスメモが全て使用中のとき
・録音時間、録音件数に残りがないとき
・内線通話を他の電話機に転送する場合に、転送先として呼び出した電話機と内線通話を行っているとき
・内線PBダイヤル送出（P5-129）を設定した電話機が内線通話を行っているとき
※自動録音で録音不可の場合も、アラーム音が聞こえ[録音]ボタンは点灯しません。

●通話を保留すると録音は一時停止し、同じ電話機で保留に応答すると、録音を再開します。
他の電話機で応答した場合、録音は終了します。
工事者設定で、「録音継続」、「録音終了」、「新規録音開始」のいずれかに設定できます。初期設定は「録音終了」です。[工事者設定722-7]

●外線通話録音中に聴話を行うことも可能ですが、会議通話回路を全て使用中の場合は、外線側の音のみ聞こえます。「ピピ」というアラーム音が聞こえます。

●通話録音するときは、ハンズフリー通話を行わないでください。

●メッセージコールで通話になったときも通話内容を録音することができます。
また、構内スーパーベル機能で通話になったときも通話内容を録音することができます。ただし、応答した電話機（ポケベルから呼ばれた側）は自動録音はできません。
メッセージコール機能については、「ホテル機能」取扱説明書をご覧ください。LA LB

知っていると便利なこと

●外線通話録音中には、以下のボタンが使用できます。
[録音]…… 録音内容の登録先ボックス番号を数字で指定する場合に使用します。
[コメント-VM]… 録音内容にコメントを追加する場合に使用します。
[ボックス]… 録音内容の登録先ボックスをワンタッチで指定する場合に使用します。
[同報グループ()]… 録音内容の登録先同報グループ01～48をワンタッチで指定する場合に使用します。
[呼出あり-VM]… 該当の内線ボックスへの録音に対する電話通知をありにします。（録音中のメッセージのみに有効）
[呼出なし-VM]… 該当の内線ボックスへの録音に対する電話通知をなしにします。（録音中のメッセージのみに有効）
[一時停止]… 録音の中断／再開がボタンを押すたびに交互に行われます。録音一時停止中は[録音]ランプは早い点滅となります。
[録音取消]… 録音を取り消します。[録音]ランプは消えます。
[停止]…… 録音を終了します。[録音]ランプは消えます。

●外線着信のときは、電話をかけてきた方に通話録音する場合があることを音声メッセージで伝えることができます（通話録音アナウンス機能）。[工事者設定722-28]
※固定メッセージ「お客様サービスの向上のため、通話内容を録音させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。」の他、録音したメッセージ（留守録用応答メッセージとして録音、P7-20）を使用することもできます。
※通話録音アナウンス機能を設定した外線に着信があると、システムが自動応答して音声メッセージを流しますので、電話機が応答できなくても通話料金がかかります。
※ボイスメモに空きがない場合は、ボイスメモが空くまでシステムは自動応答せず、電話機も着信しません。
※自動オペレータ（P5-78）／簡易IVR（P5-82）やACD着信（P5-10）と組み合わせて使用することもできます。
※ダイヤルイン等の電話機を直接呼び出す着信では通話録音アナウンス機能は使用できません。
※リモート操作用外線（P7-28）は通話録音アナウンス機能を利用できません。

●専用の音声ファイル管理アプリケーションを使用して、留守録ボックスおよび内線ボックスに録音された用件メッセージおよび通話録音をファイルとしてPC上で管理することができます。なお、通話録音一時保存ボックスは対象外です。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

通話録音する

通話録音の登録先を指定する

通話録音内容を指定のボックスに登録できます。
また、あらかじめ指定した複数の内線ボックス（同報グループ）に登録することもできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-7	同報グループ01（501）～同報グループ48（548）、録音（972）、内線電話帳（964）	–

■ボックスボタン／同報グループボタンで指定する場合

1 通話録音中に録音内容を登録したい ボックス ボタンまたは 同報グループ ボタンを押す

- 録音 ランプの点灯が赤から緑に変わります。
- 内線名称が登録されている場合は、内線名称が表示されます。

ボックス15を指定した例

```
 7月10日(金) AM10:10
録音先BOX:15
00'10      10円
録音件数 010件
録音中 あと006分
```

同報グループ01（番号名称登録あり）を指定した例

```
 7月10日(金) AM10:10
録音先BOX:VMU同報01
00'10      10円

録音中 あと006分
```

■ボックス番号／同報グループ番号をダイヤルで指定する場合

1 通話録音中に 録音 ボタンを押す

- 録音 ランプ（赤）が遅い点滅になります。

2 録音内容を登録したいボックス番号（内線番号と同じ）*または同報グループ番号を押す

*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに # を押してください。

- 録音 ランプの点灯が赤から緑に変わります。
- 内線名称が登録されている場合は、内線名称が表示されます。

ボックス15を指定した例

```
 7月10日(金) AM10:10
録音先BOX:15
00'10      10円
録音件数 010件
録音中 あと006分
```

同報グループ01（番号名称登録あり）を指定した例

```
 7月10日(金) AM10:10
録音先BOX:VMU同報01
00'10      10円

録音中 あと006分
```

■内線電話帳で登録先を指定する

内線電話帳 ボタンが設定されていると、ボックス番号（内線番号）／同報グループ番号を内線電話帳から検索して通話録音内容を登録することができます。
ボックス ボタン／同報グループ ボタンが登録されてなく、ボックス番号／同報グループ番号がわからないときに便利です。

1 通話録音中に 内線電話帳 ボタンを押す

- i ランプが点滅します。

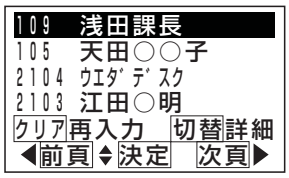
2 ダイヤルボタン（0～9、＊）で文字を入力し、▣を押す

- ヨミガナ未入力で▣を押すと、「ア」から検索されます。

```
<内線電話帳>
名称:■･･･
■ﾖﾐｶﾞﾅ入力
ｸﾘｱ最終桁消去
切替内線番号検索
◀戻る  決定  ▶
```

通話録音する

3 ▣を押し、録音内容を登録したい相手を選んで、▣を押す



- ▣を押すと、前後の4件を表示します。
- クリアボタンを押すと操作2に戻り、入力をやり直すことができます。
- 中止するときは内線電話帳ボタンまたはiボタンを押します。

補足説明

●ボックスボタンの登録方法はP5-58をご覧ください。

●<内線電話帳>の操作2で代理応答/切替ボタンを押すと、内線番号検索に切り替えることができます。

●内線電話帳の詳細については、「内線電話帳を使う」をご覧ください。⇒P2-34

●同報グループについては、「メッセージを送る（伝言メモ）」をご覧ください。⇒P5-92

ご注意

●通話録音内容を指定のボックスに登録するとき、下記の場合は「ピピ」というアラーム音が聞こえ、指定したボックスに登録できません。通話録音を行っている電話機の内線ボックスに登録されます。

・指定した内線ボックスの録音件数に残りがない場合

・ボックス番号が存在しない場合
（内線電話帳で内線一般着信（P2-55）の番号を選んだときを含む）

別のボックスを再指定したい場合は、操作をやり直してください。

■相手の電話番号ごとに登録先を指定する

通話録音内容を、相手の電話番号ごとに異なる内線ボックスに登録できます。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

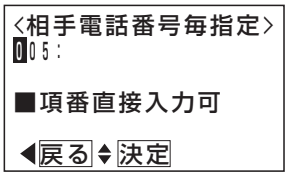
1 メニューから<相手電話番号毎指定>を呼び出す

① ▣を押します。

②「6 用件ﾒｯｾｰｼﾞ」を選択し、▣を押します。

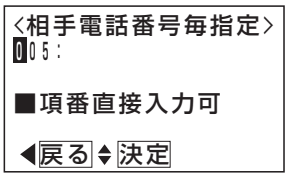
③「4 外線通話録音登録先」を選択し、▣を押します。

④「1 相手電話番号毎指定」を選択し、▣を押します。



2 ▣を押す

- 登録されていない番号がディスプレイの2行目に表示されます。
- 登録済みの電話番号を変更するときは、番号を直接入力するか▣で選択してください。

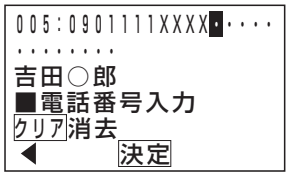


3 ▣で「1 登録/変更」を選択し、▣を押す

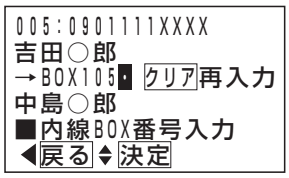
通話録音する

4 相手の電話番号を入力し、を押す

- 電話帳に電話番号が登録されている場合は名前が表示されます。
- 電話番号は24桁まで入力できます。

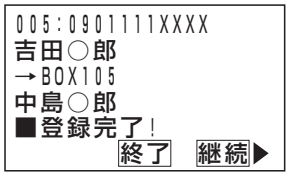


5 内線ボックス番号を入力し、を押す



6 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、を押します。
- 続ける場合は、を押し操作2から繰り返してください。



補足説明

●以下の通話の自動録音では、本設定は無効になります。
- 公ー公接続時の自動録音
- 外線手動転送時の自動録音
- モバイルアシスト®機能の自動録音

●登録先を消去するときは、操作3で**「2消去」**を選んでください。

通話録音にコメントを追加する

通話録音内容にコメントを追加することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-7	録音（972） コメント-VM（920）	–

1 通話録音中に、通話が終わったら電話を切る前にコメント-VMボタンを押す

- 通話は切断されます。

2 音声案内「コメントを録音します。コメントをどうぞ。ピー」の後にコメントを録音する

3 ハンドセットを置く

- 録音ランプが消えます。

補足説明

●通話録音中にコメント-VMボタンを押した場合は、自動的に終話しボイスメモとの通話状態となり、コメント録音が開始されます。

知っていると便利なこと

●コメント録音中には、以下のボタンが使用できます。

録音…… 録音内容の登録先ボックス番号を数字で指定する場合に使用します。
ボックス… 録音内容の登録先ボックスをワンタッチで指定する場合に使用します。
同報グループ()… 録音内容の登録先同報グループ01～48をワンタッチで指定する場合に使用します。
呼出あり-VM… 該当の内線ボックスへの録音に対する電話通知をありにします。（録音中のメッセージのみに有効）
呼出なし-VM… 該当の内線ボックスへの録音に対する電話通知をなしにします。（録音中のメッセージのみに有効）
一時停止… 録音の中断／再開がボタン押すたびに交互に行なわれます。
録音取消… 録音を取り消します。（録音ランプは消えます。）
停止…… 録音を終了します。（録音ランプは消えます。）

●コメントはメッセージ（通話録音内容）の前に追加されます。

通話録音する

戻って録音を利用する

戻って録音機能を設定した電話機は、戻って録音ボタンを押すと、通話を始めた時点にさかのぼって通話内容を録音することができます。戻って録音ができるのは、外線通話のみです。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-7	録音（972）、停止（880）、戻って録音（973）、録音取消（927）	−

1 外線と通話中に 戻って録音 ボタンを押す

- 戻って録音ランプ（赤）および録音ランプ（赤）が点灯し、戻って録音が有効になります。

2 通話が終わったら、ハンドセットを置く

- 戻って録音ランプおよび録音ランプが消え、戻って録音を終了します。
- 停止ボタンを押しても、戻って録音は終了します。

補足説明

●戻って録音機能を利用する場合は、工事者設定が必要です。[工事者設定722-7]
●通話録音の登録先が通話録音一時保存ボックスに設定されている場合も、戻って録音の登録先は各電話機の内線ボックスになります。
●戻って録音ボタンを押した後の操作（登録先の指定、コメントの追加等）は、通常に録音を開始したときと同様です。⇒P5-51～
●通話の途中から録音したい場合は、録音ボタンを押してください。録音ボタンを押したときから録音が開始されます。録音を開始すると戻って録音はできません。
●戻って録音を開始後は、録音が終了するまで、戻って録音ランプ（赤）は点灯したままとなります。

ご注意

●戻って録音機能を設定した電話機は、通話を開始するとボイスメモの録音回路を使用します。ボイスメモの回路は2個S／8個LA LB（オプションVMU使用時は10個S／16個LA LB）のため、2台S／8台LA LB（オプションVMU使用時は10台S／16台LA LB）の電話機が外線通話を行うと、ボイスメモを他の用途（通常の通話録音や用件メッセージの再生等）で使うことができなくなりますので、必要以上に戻って録音機能を利用する電話機を設定しないでください。
●戻って録音で録音できる時間も、通常の通話録音と共通のため、録音できる時間は通話開始後からの時間となります。録音時間に空きがなくなると、アラーム音（ピピ）を流し、録音は終了します。また、通話開始後に戻って録音ボタンを押すタイミングが録音できる時間を経過している場合は、アラーム音（ピピ）を流し、戻って録音はできません。
●下記の場合は、戻って録音は利用できません。「ピピ」というアラーム音が聞こえます。
（1）通話を開始したとき
・ボイスメモを全て使用中のとき
・録音時間、録音件数に残りがないとき
（2）戻って録音ボタンを押したとき
・操作した電話機の内線ボックスの登録件数に残りがないとき
・ボイスメモを全て使用中のとき（戻って録音の操作をする前も録音回路を使用しており、これとは別の録音回路が必要になります。）
●通話を保留すると戻って録音は一時停止し、同じ電話機で保留に応答すると、戻って録音を再開します。他の電話機で応答した場合、戻って録音は終了します。ただし、通常の通話録音の場合と同じ工事者設定により、戻って録音継続か戻って録音終了か新たな戻って録音を開始かを、直前に戻って録音していた電話機ごとに選択できます。初期設定は「戻って録音終了」です。[工事者設定722-7]
●コードレス電話機はアラーム音を送出しません。

通話録音する

知っていると便利なこと

●戻って録音を開始したあとで取り消したい場合は、[録音取消]ボタンを押します。新たに録音を開始したい場合は、戻って録音を取り消した後に[録音]ボタンを押してください。

●下記の場合は、通話開始後の録音内容が通話録音一時保存ボックスに一時的に保存されていますので、後から自分の内線ボックスに転送（P5-66）することもできます。ただし、通話録音一時保存ボックスは一定時間（初期値10分、最大90分）で消去されますので、注意が必要です。

・[戻って録音]ボタンを押さずに通話を終了した場合
・[録音]ボタンを押して、通話の途中からの録音を行った場合（[録音]ボタンを押す前までを保存）
・[戻って録音]ボタンを押したとき、自分の内線ボックスの録音件数に残りがなく、戻って録音ができなかった場合
（転送する前に内線ボックスの不要なメッセージを消去してください）
・[戻って録音]ボタンを押す前に録音時間に空きがなくなってしまった場合

※通話録音一時保存ボックスの再生は、ボックス番号に「＊」を入力します。⇒P5-63

●戻って録音の設定に加えて、「外線通話バックグラウンド録音の有無」＝「あり」、「新規メッセージ登録時の[着信／メッセージ]ランプ点灯条件」＝「点灯なし」に設定すると、通話している方に知られることなく自動録音ができます。（管理者の通話内容確認用）［工事者設定722-7］
戻って録音と異なる点は以下の通りです。

・録音内容の保存先は、通話録音している電話機の内線ボックスまたは、任意に指定した内線ボックスまたは、通話録音一時保存ボックスになります。
・アラームやランプ表示など各種情報表示は行いません。

通話録音する

ボックスボタンを登録する

空いている外線ボタンにボックスボタンを登録すると、通話録音の登録先をワンタッチで指定したり、録音状態表示を行うことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-9)	−	−

■お使いの電話機にボックスボタンを登録する

1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

① を押します。
②「4 電話機毎機能設定」を選択し、 を押します。
③「1 ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、 を押します。
• i ボタン + ＊ ＊ を押しても本画面となります。

<ﾎﾞﾀﾝ登録>
‥KEY:
■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
(押替可能)
◀戻る

2 登録するボタン（使っていない 外線 ボタン）を押し、 を押す

• 現在登録されている機能名称が表示されます。

<ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:000
機能なし
■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
(押替可能)
◀戻る 決定

3 で「4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、 を押す

<ﾎﾞﾀﾝ登録>
1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録
2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録
3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録
4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録
◀戻る ◆決定 次頁▶

4 ボックス番号（内線番号）を入力し、 を押す

• でボックス番号（内線番号）を検索することもできます。

<ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:内線ﾎﾞｯｸｽ103
山田○次郎
■内線番号入力
クリア再入力
◀戻る ◆決定

5 登録完了画面が表示される

• 終了する場合は、 を押します。
• を押すと（省略可能）操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

<ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:内線ﾎﾞｯｸｽ103
山田○次郎
■登録完了!
終了 継続▶

ご注意

●登録するボックスと同じ数の空きボタンが必要です。
●機能を設定したボタンにボックス番号を登録すると、元の機能では使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P7-1

知っていると便利なこと

●操作2で を押す代わりに＃を押すと、操作4から操作できます。

通話録音する

■他の電話機にボックスボタンを登録する

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

1 メニューから<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>を呼び出す

① ◉ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉ を押します。

③「1 他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、◉ を押します。

<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>
収容位置：･･･-･･･
■電話機収容位置入力
先頭～最終（省略可）
クリア再入力
◀戻る

2 ボタンを登録したい電話機の先頭および最終（省略可能）の収容位置（3桁）を入力し、◉ を押す

・再入力する場合は、クリア ボタンを押します。

<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>
収容位置：･･･-･･･
■電話機収容位置入力
先頭～最終（省略可）
クリア再入力
◀戻る

■収容位置入力後

<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>
収容位置：104-120
■電話機収容位置入力
先頭～最終（省略可）
クリア再入力
◀戻る 決定

3 他の電話機のボタン登録画面になる

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
･･･KEY:

■KEY番号01～36入力
クリア再入力
◀戻る

4 登録するキー番号（2桁）を入力し、◉ を押す

・登録できるキーは01～36までです。

・現在登録されている機能名称が表示されます。

・再入力する場合は、クリア ボタンを押します。

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
1･KEY:000
機能なし
■KEY番号01～36入力
クリア再入力
◀戻る 決定

5 ◉ で「4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、◉ を押す

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録
2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録
3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録
4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録
◀戻る ◆決定 次頁▶

6 ボックス番号（内線番号）を入力し、◉ を押す

・◉ でボックス番号（内線番号）を検索することもできます。

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
04KEY:内線ﾎﾞｯｸｽ103･
山田○次郎
■内線番号入力
クリア再入力
◀戻る ◆決定

7 完了画面が表示される

・終了する場合は、◉ を押します。

・◉ を押すと操作4に戻り、登録を繰り返すことができます。

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:内線ﾎﾞｯｸｽ103
山田○次郎

■登録完了!
終了 継続▶

ご注意

●登録するボックスと同じ数の空きボタンが必要です。

●機能を設定したボタンにボックス番号を登録すると、元の機能では使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P7-1

●操作2で範囲指定の場合に登録できない電話機があった場合は、エラー画面が表示されますので、◉ を押して操作を続けるか、◉ を押して、詳細表示で登録できない収容位置とエラー内容を確認してください。

知っていると便利なこと

●操作4で◉ を押す代わりに# を押すと、操作6から操作できます。

●電話機の収容位置を確認するときは、内線電話帳（P2-34）を利用するか、各電話機でi＋8の操作をします。

通話録音する

内線ボックスのメッセージを再生する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-8)	同報グループ01 (501) ～ 同報グループ48 (548)、再生速度(876)、戻り(877)、送り (878)、消去 (879)、停止 (880)、発信 (965) 再生順(古→新)(872) 再生順(新→古)(873) 一時停止 (923)	–

■ボックスボタンを押して再生する

1 ハンドセットを置いたまま、ボックスボタンを押す

- ゴミ箱内の用件を再生する場合は、内線BOXゴミ箱( )ボタン（P5-74）を押してください。

2 ウェイティングトーン（ツツ、ツツ、…）が聞こえるので内線パスワード（4桁）を押す

- 4桁目は表示しません。
- パスワード0000の場合は、操作不要です。

3 音声案内「新しいメッセージが○○件あります。」が流れ、未再生の古い録音内容から再生される

- 録音内容の最後（または最初）に、タイムスタンプ「●●月、▲▲日、○曜日、午前（午後）△△時□□分のメッセージです。」が再生されます。

- メッセージ再生初期画面が「一覧表示あり」に設定されている場合は、一覧表の表示画面となります。詳細は「一覧表から内線ボックスのメッセージを再生する」をご覧ください。⇒P5-65

4 再生中、サービスボタンまたはダイヤルボタンを押す

- 下記のサービスボタンまたはダイヤルボタンが使用できます。

再生中のボックス／1ボタン…再生中の録音内容を最初から再生する。
ゴミ箱の再生中は、再生中の用件を内線BOXに移動（復元）します（ボックスのみ）。

他のボックスボタン…再生中の録音内容を指定した内線ボックスに転送する。（ゴミ箱内の用件は転送できない）

戻り／2ボタン…1つ前の録音内容を最初から再生する。

送り／3ボタン…次の録音内容を最初から再生する。

消去／4ボタン…録音内容を消去する。
（用件メッセージの再生を停止し、音声案内が流れますので、それに従って操作してください）
ゴミ箱機能を有効にしている場合は内線BOXゴミ箱に移動されます。
ゴミ箱の再生中は、再生中の用件を消去します。

停止／5ボタン…用件の再生を停止する。

6…用件を保護（消去禁止）／保護解除する。
6を押すたびに保護と保護解除が交互に切り替わります。（ゴミ箱内の用件は保護できない）

7…用件の再生を数秒巻き戻しする。

8…用件の再生を数秒早送りする。

再生速度／9…標準速度→1.4倍速→2倍速→1.4倍速→標準速度で再生を繰り返す。

同報グループ( )…再生中の用件を指定した同報グループ（01～48）に転送する。

一時停止…用件の再生を一時停止する。
一時停止中は、再生を再開する。

内線BOXゴミ箱( )…内線BOXの再生中は、再生中の用件をゴミ箱に移動する。
ゴミ箱の再生中は、再生中の用件を最初から再生する。

メッセージ移動、メッセージコピー…用件の転送方法を設定する。

通話録音する

補足説明

●再生速度 または 9 ボタンを押すたびに再生速度ランプとディスプレイが変化します。

再生速度	標準速度	→1.4倍速	→2倍速	→1.4倍速
再生速度ランプ	消灯	赤の遅い点滅	赤の速い点滅	赤の遅い点滅
ディスプレイ	9 >1.4倍速	9 >2.0倍速	9 1.4倍速<	9 標準速<

●全ての用件を再生後は 再生 ／ 1 ボタン、戻り ／ 2 ボタン、停止 ／ 5 ボタンのみ操作可能です。（音声案内「メッセージの再生を終了しました。保存メッセージの再生は 1 を押してください。」が流れます。）

●操作ガイダンスを表示しないように設定することもできます。［工事者設定722-3］

■ボックス番号をダイヤルして再生する

ボックス ボタンがなくても（単独電話機の場合など）、内線ボックスのメッセージを再生することができます。
※操作2の後は、「■ボックス ボタンを押して再生する」の操作2～操作4と同じです。

1 ハンドセットをとる、または スピーカ ボタンまたは 内線 ボタンを押す

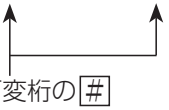
• 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 BOX再生番号* ＋ボックス番号*を押す

• ゴミ箱内の用件を再生する場合は、ゴミ箱再生番号* ＋ボックス番号*をダイヤルします。

*番号を可変桁に設定している場合は、BOX再生番号およびボックス番号のあと # を押してください。

例：BOX再生番号が＃、ボックス番号が101の場合
可変桁の設定なし：# 1 0 1
可変桁の設定あり：# # 1 0 1 #

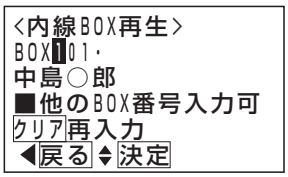


■メニュー機能で再生する

ボックス ボタンがなくても、メニュー機能を使って内線ボックスのメッセージを再生することができます。
※操作2のあとは、「■ボックス ボタンを押して再生する」の操作2～操作4と同じです。

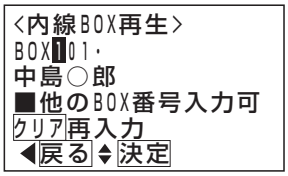
1 メニューから〈内線ﾎﾞｯｸｽ再生〉を呼び出す

①（中央）を押します。
②「6 用件ﾒｯｾｰｼﾞ」を選択し、（中央）を押します。
③「2 内線BOX用件ﾒｯｾｰｼﾞ」を選択し、（中央）を押します。
④「1 内線BOX再生」（ゴミ箱内の用件を再生する場合は、「3 内線BOXｺﾞﾐ箱再生」）を選択し、（中央）を押します。



2 表示しているボックス番号で良ければ、（中央）を押す

• 操作した電話機のボックス番号を表示します。
• 他の内線ボックスを再生する場合はボックス番号を入力してください。
• （中央）でボックス番号を検索することもできます。
• メッセージ再生初期画面が「一覧表示あり」に設定されている場合は、一覧表の表示画面となります。詳細は「一覧表から内線ボックスのメッセージを再生する」をご覧ください。⇒P5-65



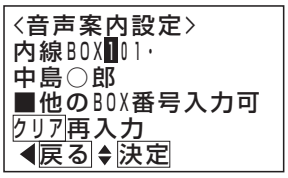
通話録音する

音声案内付きで内線ボックスのメッセージを再生する

■メニュー機能で音声案内付き再生をセットする

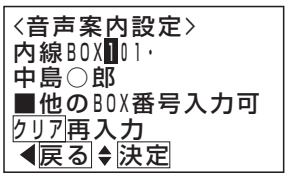
1 メニューから〈音声案内設定〉を呼び出す

① ⊡ を押します。
②「6 用件ﾒｯｾｰｼﾞ」を選択し、⊡ を押します。
③「2 内線BOX用件ﾒｯｾｰｼﾞ」を選択し、⊡ を押します。
④「2 音声案内設定」を選択し、⊡ を押します。



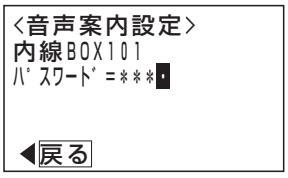
2 表示しているボックス番号で良ければ、⊡ を押す

- 操作した電話機のボックス番号を表示します。
- 他の内線ボックスを再生する場合はボックス番号を入力してください。
- ⊡ でボックス番号を検索することもできます。



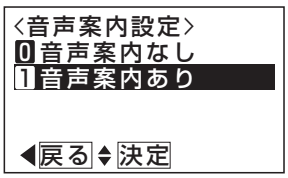
3 内線パスワード（4桁）を入力する

- パスワード未設定時は、パスワード入力は省略されます。
- パスワードを間違えた場合は、パスワード入力待ち状態に戻ります。



4 ⊡ で「1 音声案内あり」を選択し、⊡ を押す

- 初期設定は「音声案内なし」です。



5 設定完了画面が表示される

- ⊡ を押すと終了します。
- ⊡ を押すと操作2に戻り、設定を繰り返すことができます。

■音声案内付きで用件を再生する

再生の操作は「内線ボックスのメッセージを再生する」（P5-60）と同じです。

- はじめに音声案内「新しいメッセージが○○件あります。」が流れ、未再生の古い録音内容から再生されます。
  ※未再生のメッセージがない場合、音声案内「メッセージが○○件あります。」が再生されます。
- 録音内容の最後（または最初）に、タイムスタンプ「●●月、▲▲日、○曜日、午前（午後）△△時□□分のメッセージです。」が再生されます。
- タイムスタンプが流れた後、音声案内「もう一度再生する場合は1、消去する場合は4をどうぞ。」が流れ、その後5秒間何も操作されない場合、次のメッセージが再生されます。

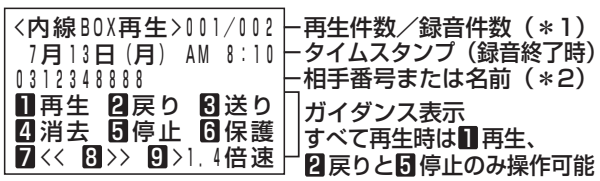
通話録音する

補足説明

●内線パスワードの登録方法は、P5-70をご覧ください。
●録音されていない場合は、「メッセージはございません。」が再生されます。
●操作3で、300件以上のメッセージが録音されている場合、「新しいメッセージが○○件あります。」の代わりに、「新しいメッセージがあります。」が流れます。
●ボックスランプの表示は、下記のとおりです。

未再生あり	未再生なし	録音なし
赤点滅（＊1）	赤点灯（＊2）	消灯

＊1：ボックスランプを緑点灯に変更することもできます。[工事者設定722-8]
＊2：未再生なしの場合にボックスランプを消灯変更することもできます。[工事者設定722-8]
着信／メッセージランプは点灯しません。ただし、自分の内線ボックスに未再生のメッセージがあるときは着信／メッセージランプを赤点灯させることもできます。[工事者設定722-8]
●外線への不在転送時の転送先の電話機が応答しなかったときにボイスメモで代行録音したときのメッセージも内線ボックスに登録されます。
●再生時の画面説明



＊1：新規メッセージを再生中の場合は、再生件数／新規メッセージ録音件数が表示されます。
全メッセージを再生中（新規メッセージなし）の場合は、再生件数／録音件数が表示されます。
＊2：外線通話は再生時点で共通電話帳に登録があれば登録した名前を表示します。
内線通話は、（内線）に続けて相手の内線名称、ヨミガナまたは内線番号が表示されます。
内線一般着信の外線転送時は、（転送）に続けて発信側の内線名称、ヨミガナまたは内線番号が表示されます。
なお、内線名称等が変更されていても、録音時点のものが表示されます。
伝言メモの場合は、（伝言メモ）が表示されます。
会議通話は、（会議）に続けて会議番号が表示されます。
ナースコール通話は、（NC）に続けてナースコールシステムから送られてきた文字列を表示します。

●内線ボックス番号の代わりに＊を入力した場合は、一時保存BOXのメッセージを再生できます。
＊入力の後、パスワードは入力不要です。
●音声案内付き再生の設定は、工事者設定でも行えます。[工事者設定722-8]

ご注意

●パスワードを間違えたときは、話中音（ツーツー…）が聞こえ、「BOX 呼出不可」が表示されます。電話を切り、最初からやり直してください。
●未再生の録音がない場合は、再生済みの古い録音内容から再生されます。
この場合、最初に音声案内「メッセージが○○件あります。」が流れ、300件以上のメッセージが録音されている場合は音声案内「メッセージがあります。」が流れます。
●他の内線ボックスからメッセージの転送（P5-66）を受けると、転送されたメッセージは未再生の扱いとなります。
●消去するときは、該当するメッセージを再生中に消去ボタンを押してください。タイムスタンプ再生後に消去ボタンを押すと次のメッセージが誤って消去される場合があります。
●ハンズフリー通話を利用している場合、音が途切れる場合がありますので、マイクボタンをOFF（ランプ消灯）にしてから再生してください。
●未再生の録音内容の再生が終了したあとは 、再生中のボックス／1ボタンを押すと全ての録音内容を最初から再生します。外出先から再生するときも同様です。

通話録音する

知っていると便利なこと

●メッセージの再生順を「古いメッセージから」か、「新しいメッセージから」かを選択できます。初期設定は「古いメッセージから」です。[工事者設定722-8]

●メッセージの再生順を、再生順(古→新)、再生順(新→古)ボタンで強制的に設定することもできます。
（上記の工事者設定よりも優先して動作します）
再生順(古→新)：古いメッセージから順に再生します。
再生順(新→古)：新しいメッセージから順に再生します。

●メッセージ再生の早送り／巻戻し時間を4秒～60秒、4秒単位で設定できます。初期設定は8秒です。[工事者設定722-20]

●ナンバー・ディスプレイを利用している場合、外線通話録音を再生中の画面に発信者の電話番号または名前（共通電話帳に登録されている名称）が表示されます。（電話をかけたときの通話録音でも相手の電話番号または名前の表示が可能です。）
用件再生中に空いている外線ボタンを押すと、表示されている電話番号に電話をかけることができます。
（会議通話時、ナースコールとの通話時は除く）

●内線通話録音を再生中に発信ボタンを押すと、表示されている相手の内線に電話をかけることができます。
（会議通話時、ナースコールとの通話時は除く）

●外出先から内線ボックスに録音された用件を聞くこともできます。P4-30の「外出先から録音された用件を聞く」をご覧ください。

●「パスワード」「内線番号」「内線番号＋パスワード」のいずれかで内線ボックスの再生を規制することができます。「内線番号」または「内線番号＋パスワード」に設定した場合、再生できるのはボックス番号と同じ内線番号の電話機のみとなり、再生が規制されているボックスボタンは、通話録音の登録先や転送先指定用限定で使用できます。また、「内線番号」に設定した場合、再生時のパスワード入力は不要になります。[工事者設定722-27]

●自分の内線ボックス以外のボックスボタンはランプ表示を行わないようにすることもできます。[工事者設定722-8]

通話録音する

一覧表から内線ボックスのメッセージを再生する

録音されたメッセージを一覧表で確認し再生できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-8)	戻り (877)、送り (878)、消去 (879)、停止 (880)、発信 (965) 再生順(古→新)(872) 再生順(新→古)(873) 一時停止 (923)	–

■一覧表から内線ボックスのメッセージを再生する

用件メッセージを再生中に下記の操作を行います。
表示件数は「4件表示」か、「2件表示」かを設定できます。
初期設定は「4件表示」です。[工事者設定722-3]

1 メッセージ再生中、代理応答/切替 ボタンを押す

- 一覧表画面が表示されます。
- 再生を行っていたメッセージを先頭行に、古い用件メッセージから表示します。
- メッセージ再生初期画面を「一覧表示あり」に設定することにより、再生開始から本画面を表示させることもできます。「■メッセージ再生初期画面を変更する」(P4-25) をご覧ください。

「4件表示」の例

<内線BOX再生>
未10/11 中村○郎
未10/11 佐藤○郎
未10/14 0901234XXXX
10/14 034567XXXX
◀前頁 ▲▼ 再生 次頁▶

「2件表示」の例

<内線BOX再生>
未10/11(金) AM 8:10
中村○郎
未10/11(金) PM 9:30
佐藤○郎
◀前頁 ▲▼ 再生 次頁▶

2 ▲▼を押し、再生したいメッセージを選択し、再生を押す

- ▲を押すと古い用件、▼を押すと新しい用件が検索されます。
- ▲▼を押すと前後の4件（または2件）を表示します。

「4件表示」の2件目を選択した例

<内線BOX再生>
未10/11 中村○郎
未10/11 佐藤○郎
未10/14 0901234XXXX
10/14 034567XXXX
◀前頁 ▲▼ 再生 次頁▶

「2件表示」の2件目を選択した例

<内線BOX再生>
未10/11(金) AM 8:10
中村○郎
未10/11(金) PM 9:30
佐藤○郎
◀前頁 ▲▼ 再生 次頁▶

3 再生画面となり、選択されたメッセージが再生される

- 再生中に使用できるサービスボタンまたはダイヤルボタンは、「ボックス」ボタンを押して再生する」(P5-60) と同様の操作です。
- 録音内容の最後（または最初）に、タイムスタンプ「●●月、▲▲日、○曜日、午前（午後）△△時□□分のメッセージです。」が再生されます。以後、選択した用件と同じ再生状態（新規（未再生）／再生済み）の用件を古い録音内容から順次再生します。

<内線BOX再生>001/003
10月11日(金) AM 9:30
佐藤○郎
1再生 2戻り 3送り
4消去 5停止 6保護
7<< 8>> 9>1.4倍速

補足説明

●一覧表画面の説明：

「4件表示」

<内線BOX再生>
未10/11 中村○郎
未10/11 佐藤○郎
未10/14 0901234XXXX
10/14 034567XXXX
◀前頁 ▲▼ 再生 次頁▶

既読：スペース／未読：「未」
タイムスタンプ（録音月日）
相手番号または相手名称

「2件表示」

<内線BOX再生>
未10/11(金) AM 8:10
中村○郎
未10/11(金) PM 9:30
佐藤○郎
◀前頁 ▲▼ 再生 次頁▶

既読：スペース／未読：「未」、タイムスタンプ（録音月日・曜日・時分）
相手番号または相手名称

●一覧表画面で、音声案内送出中、▲▼のみ有効で、▲▼は無効となります。

知っていると便利なこと

●メッセージの表示順を設定できます。初期設定は「古いメッセージから」です。[工事者設定722-8]

●メッセージの表示順を、再生順(古→新)、再生順(新→古)ボタンで強制的に設定することもできます。

（上記の工事者設定よりも優先して動作します）

再生順(古→新)：古いメッセージから順に表示します。

再生順(新→古)：新しいメッセージから順に表示します。

通話録音する

他の内線ボックスにメッセージを転送する

再生中のメッセージを他の内線ボックスに転送することができます。
通話録音時に他の内線ボックスに登録し忘れたときなどに利用することができます。
また、あらかじめ指定した複数の内線ボックス（同報グループ）に転送することもできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-11)	同報グループ01 (501) ～ 同報グループ48 (548)、内線電話帳 (964)	−

■ボックス ボタン／同報グループ ボタンで指定する場合

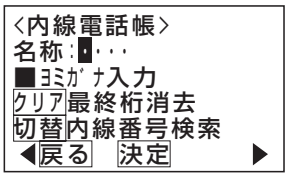
1 内線ボックスのメッセージ再生中に転送先の ボックス または 同報グループ ボタンを押す
- 転送できた場合は、次のメッセージが再生されます。

■内線電話帳で転送先を指定する

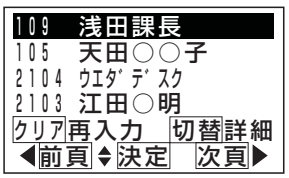
内線電話帳 ボタンが設定されていると、ボックス番号（内線番号）／同報グループ番号を内線電話帳から検索して通話録音内容を転送することができます。
ボックス ボタン／同報グループ ボタンが登録されてなく、ボックス番号／同報グループ番号がわからないときに便利です。

1 内線ボックスのメッセージ再生中に 内線電話帳 ボタンを押す
- i ランプが点滅します。

2 ダイヤルボタン（0～9、＊）で文字を入力し、▣を押す
- ヨミガナ未入力で▣を押すと、「ア」から検索されます。



3 ▣を押し、録音内容を転送したい相手を選んで、▣を押す
- ▣を押すと、前後の４件を表示します。
- クリア ボタンを押すと操作2に戻り、入力をやり直すことができます。



通話録音する

■リモコン操作で指定する

1 内線ボックスのメッセージ再生中に[#]を押す

• 間違えて押したときは[*]を押してください。

2 ダイヤルボタンで内線ボックス*／同報グループ番号を入力する

*番号を可変桁に設定している場合は、内線ボックス番号のあとに[#]を押してください。

• 操作1で[#]を押した後は7秒以内に入力してください。

•「転送しました」が流れた後、次のメッセージが再生されます。

補足説明

●転送したメッセージを、削除するかどうかをデータ設定で選択できます。初期設定は「保存する」です。[工事者設定722-11]

※留守録ボックスのメッセージは転送しても削除されません。削除する場合は、該当するメッセージを再生時に消去（[消去]／[4]ボタンを押す）してください。

●メッセージの転送方法を、[メッセージ移動]、[メッセージコピー]ボタンで強制的に設定することもできます。

（上記の工事者設定よりも優先して動作します）

[メッセージ移動]：メッセージを移動します（転送元のメッセージは消去されます）。

[メッセージコピー]：メッセージをコピーします（転送元のメッセージは残ります）。

●<内線電話帳>の操作2で[代理応答/切替]ボタンを押すと、内線番号検索に切り替えることができます。

●同報グループについては、「メッセージを送る（伝言メモ）」をご覧ください。⇒P5-92

ご注意

●下記の場合は、転送できません。

・内線ボックスまたはボイスメモの録音件数に残りがない場合

・ボックス番号が存在しない場合

（内線電話帳で内線一般着信の番号を選んだときを含む）

別のボックスを再指定したい場合は、操作をやり直してください。

内線ボックスの録音件数を確認する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
−	録音（972）	−

1 メニューから<録音管理>を呼び出す

①[中央]を押します。

②「**0** その他」を選択し、[中央]を押します。

③「**3** 録音管理」を選択し、[中央]を押します。

<録音管理>
1 録音件数確認
2 留守録BOX全消去
3 内線BOX全消去
4 VMU全消去
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

2 [中央]で「**1** 録音件数確認」を選択し、[中央]を押す

<録音管理>
1 録音件数確認
2 留守録BOX全消去
3 内線BOX全消去
4 VMU全消去
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

3 録音件数情報が表示される

• [中央]を押すと追加の情報を表示します。

<録音件数確認> 1/2
自内線BOX 010件
ｼｽﾃﾑ(ｺﾋﾞｰ分は除く)
00500件
残時間 003時間17分
終了 次頁▶

補足説明

●[i]ボタン+[録音]ボタンで確認することもできます。

●操作した電話機の内線ボックスの録音件数、録音可能件数、録音可能残時間と、システム全体の録音件数、録音残時間を表示します。

メッセージの消去後しばらくの間は、残時間や件数が正しく表示されないことがあります。

通話録音する

待機中に内線ボックスの録音件数を表示する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
−	−	−

1 メニューから〈待機時録音件数表示〉を呼び出す

① ▣ を押します。

②「4 電話機毎機能設定」を選択し、▣ を押します。

③「3 LCD/着信ﾗﾝﾌﾟ設定」を選択し、▣ を押します。

④「3 待機時録音件数表示」を選択し、▣ を押します。

〈待機時録音件数表示〉
0 表示なし
1 表示あり
◀戻る ▲▼ 決定

2 ▣ で選択し、▣ を押す

• 現在の設定を反転表示します。

〈待機時録音件数表示〉
0 表示なし
1 表示あり
◀戻る ▲▼ 決定

3 設定完了画面が表示される

• ▣ を押すと終了します。

〈待機時録音件数表示〉
1 表示あり
■設定完了!
終了

補足説明

●「表示あり」に設定したときは、待機時に録音件数と録音残時間が表示されます。ただし、留守録モード（P4-17）をセットしたときや話中・応答遅延転送（P5-123）をセットしたときは、これらの機能の表示となります。
メッセージの消去後しばらくの間は、残時間や件数が正しく表示されないことがあります。

7月10日(金) AM10:10
NO.101
中島○郎
録音件数 010件
残時間 019時間15分
着信音量

内線ボックスに用件が録音されたことを外出先へ通知する

内線ボックスに用件が録音されると外出先の携帯電話等に自動的に電話をかけて、録音内容を聞かせることができます。通知する電話番号は、不在転送の外線への転送先と共通で、あらかじめ設定が必要です。
外線の通話録音中、呼出あり-VM、呼出なし-VM ボタンを押して通知する、しないを設定します。また、データ設定でも設定可能です。[工事者設定722-5]

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-5	−	−

■メニュー機能で録音通知先を登録する

1 メニューから〈不在時/話中時機能〉を呼び出す

① ▣ を押します。

②「4 電話機毎機能設定」を選択し、▣ を押します。

③「7 不在時/話中時機能」を選択し、▣ を押します。

〈不在時/話中時機能〉
1 不在転送
2 話中応答遅延転送
3 不在転送先(内線)
4 不在転送先(外線)
◀戻る ▲▼ 決定 次頁▶

2 ▣ で「4 不在転送先（外線）」を選択して、▣ を押す

〈不在時/話中時機能〉
1 不在転送
2 話中応答遅延転送
3 不在転送先(内線)
4 不在転送先(外線)
◀戻る ▲▼ 決定 次頁▶

3 ▣ で「1 自電話機」を選択して、▣ を押す

〈不在転送先(外線)〉
1 自電話機
2 他電話機
◀戻る ▲▼ 決定

4 現在の登録内容が表示されるので、▣ を押す

• 画面は未登録時の例です。

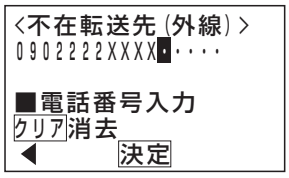
〈不在転送先(外線)〉
登録なし
◀戻る 決定

通話録音する

5 ◈で「1登録/変更」を選択し、◈を押す

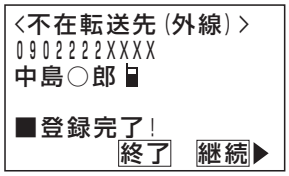
6 通知先の電話番号を入力し、◈を押す

- 用件が登録されたときに通知したい電話番号（自分の携帯電話の番号など）を登録します。
- 登録済みの場合はその内容が表示されます。
- ◈でカーソル位置を左右に移動できます。



7 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、◈を押します。
- ◈を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。



補足説明

- ●通知先の電話番号は16桁まで入力できます。
- ●通知先をセットしたとき、転送先の電話番号が共通電話帳に登録されている場合、名前も表示されます。
- ●操作5で、「**2消去**」を選択すると、通知先の電話番号を消去できます。
- ●メニュー機能で他電話機の録音通知先を登録することもできます。詳細は、P5-120をご覧ください。
- ●通知されたときの操作は、入力するパスワードの種類が異なりますが留守録ボックスと共通です。詳細は、P4-29をご覧ください。

■特番を押して録音通知先を登録する

1 ハンドセットをとる

2 不在転送（外線への転送）登録番号372*を押す

*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに#を押してください。

3 通知先の電話番号を押す

- 用件が登録されたときに通知したい電話番号（自分の携帯電話の番号など）を登録します。
- 通知先が登録済みの場合は、連続音（プー）が聞こえます。そのままハンドセットを置くと消去されますが、連続音（プー）が流れている間（約20秒）に電話番号を押すと再登録できます。

4 しばらく待つ

- 完了を示す保留音が聞こえますので、ハンドセットを置きます。

補足説明

- ●不在転送（外線）登録番号は設定が必要です。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
- ●通知先の電話番号は16桁まで入力できます。
- ●通知されたときの操作は、入力するパスワードの種類が異なりますが留守録ボックスと共通です。詳細は、P4-29をご覧ください。

ご注意

- ●通知先の電話番号を登録するときは、間隔をあけないでください（6秒以内）。6秒以上経過すると、それまでに入力された番号で登録されます。

通話録音する

内線ボックスのパスワードを登録する

パスワードを登録すると、他人が自分の内線ボックスの録音内容を無断で聞くことを防ぐことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-10)	–	–

1 メニューから<内線ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ登録>を呼び出す

①[中央]を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、[中央]を押します。
③「**5 内線ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ登録**」を選択し、[中央]を押します。

<内線ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ登録>
NO.･･･

■内線番号入力
クリア再入力
◀戻る ▲▼

2 パスワードを登録したい内線番号を入力し、[中央]を押す

- [中央]で内線番号を検索することもできます。

<内線ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ登録>
NO.103
山田○次郎
■内線番号入力
クリア再入力
◀戻る ▲▼決定

3 現在のパスワード（4桁）を入力する

- パスワードを間違えた場合は、パスワード入力待ち状態に戻ります。

<内線ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ登録>
NO.103
山田○次郎
現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:000
■現在のﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ入力
◀戻る

4 新しいパスワード（4桁）を入力し、[中央]を押す

<内線ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ登録>
NO.103
山田○次郎
新しいﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:0275
■新しいﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ入力
◀戻る 決定

5 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、[中央]を押します。
- [中央]を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

<内線ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ登録>
NO.103
山田○次郎
新しいﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:3275
■登録完了!
終了 継続▶

補足説明

- ●他の電話機のパスワード登録もできます。主装置の工事者設定でパスワードを登録することもできます。[工事者設定722-10]
- ●パスワードの初期値は0000です。この場合、再生時のパスワード入力は不要になります。
- ●内線パスワードはID発信時（P5-147）のパスワードと共通です。

知っていると便利なこと

- ●[i]ボタン+[ボックス]ボタンを押しても、操作3の画面となります。
- ●内線ボックスの再生規制方法を「内線番号」に設定した場合、再生時のパスワード入力は不要です。また、ボックス番号と同じ内線番号の電話機のみ再生可能になります。[工事者設定722-27]

通話録音する

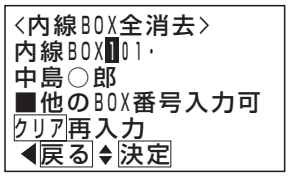
内線ボックスのメッセージを一括消去する

■内線ボックス単位で一括消去する

内線ボックスのすべての用件メッセージをまとめて消去します。

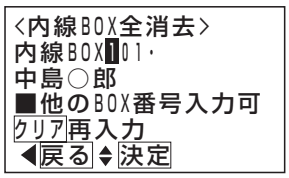
1 メニューから〈内線BOX全消去〉を呼び出す

① を押します。
②「**0 その他**」を選択し、 を押します。
③「**3 録音管理**」を選択し、 を押します。
④「**3 内線BOX全消去**」を選択し、 を押します。



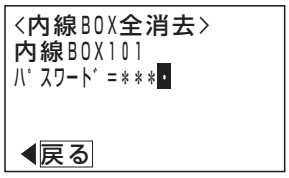
2 表示しているボックス番号で良ければ、 を押す

- 操作した電話機のボックス番号を表示します。
- 他の内線ボックスを消去する場合はボックス番号を入力してください。
- でボックス番号を検索することもできます。

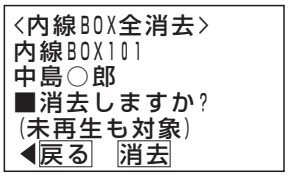


3 内線パスワード（4桁）を入力する

- パスワード未設定時は、パスワード入力は省略されます。
- パスワードを間違えた場合は、パスワード入力待ち状態に戻ります。



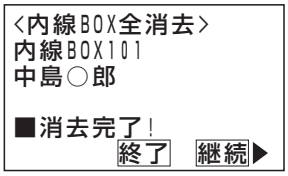
4 消去確認画面が表示されるので、 を押す



5 消去中画面が表示される

6 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、 を押します。
- を押すと操作2に戻り、消去を繰り返すことができます。



補足説明

- ●内線パスワードの登録方法は、P5-70をご覧ください。
- ●ゴミ箱機能をお使いの場合に全消去を実行すると、メッセージはゴミ箱には移動せず完全に消去されます。また、対応する内線ボックスのゴミ箱内のメッセージも同時に消去されます。
- ●内線ボックスゴミ箱を消去する場合は、手順1-④で「**8 内線BOXｺﾞﾐ箱全消去**」を選択してください。

通話録音する

ご注意

●一括消去する内線ボックスが使用中の場合は、操作5のあとでエラーメッセージが表示されます。
を押すと操作4に戻り、 を押すと終了します。

<内線BOX全消去>
消去できません。
(BOX使用中)
戻ってしばらくお待ちください。
◀戻る 終了

●ボイスメモが全て使用中の場合は、操作5のあとでエラーメッセージが表示されます。
を押すと操作4に戻り、 を押すと終了します。

<内線BOX全消去>
消去できません。
(VMU回路空きなし)
戻ってしばらくお待ちください。
◀戻る 終了

●保護されたメッセージは消去されません。消去したい場合は、再生を行い、ダイヤル6を押して保護を解除してください。

●他の電話機が「留守録BOX全消去」、または「内線BOX全消去」いずれかの操作をしている場合は、操作1-④のあとでエラーメッセージが表示されます。
を押すと操作1-④に戻り、 を押すと終了します。

知っていると便利なこと

●メッセージを自動的に消去するように設定することができます。[工事者設定722-19]
以下の条件で消去します。
・一定の日数が経過したとき
・ボックスの録音件数が最大になったとき
・空き容量が少なくなったとき
ただし、保護されたメッセージは消去しません。
未再生メッセージは消去しないよう、内線／留守録ボックスごとに設定できます。
ゴミ箱にメッセージが残っている場合、ゴミ箱内のメッセージから先に消去されます。

通話録音する

一時的に消去する（ゴミ箱機能）

内線ボックス内の不要な用件メッセージを消去したとき、すぐに消去するのではなく、一時的に保管する機能です。ゴミ箱内の用件メッセージは元のボックスに復元したり再生することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722	−	−

■お使いの電話機にゴミ箱機能を設定する

1 メニューから〈内線BOXｺﾞﾐ箱使用〉を呼び出す

① [決定] を押します。

②「**0 その他**」を選択し、[決定] を押します。

③「**3 録音管理**」を選択し、[決定] を押します。

④「**6 内線BOXｺﾞﾐ箱使用**」を選択し、[決定] を押します。

<内線BOXｺﾞﾐ箱使用>
1 自電話機
2 他電話機
◀戻る ▲▼ 決定

2 [▲▼] で「1 自電話機」を選択し、[決定] を押す

<内線BOXｺﾞﾐ箱使用>
1 自電話機
2 他電話機
◀戻る ▲▼ 決定

3 [▲▼] でゴミ箱機能の有無を選択し、[決定] を押す

- ゴミ箱機能を無効にするときは、「**0 なし**」を、有効にするときは、「**1 あり**」を選択してください。

<内線BOXｺﾞﾐ箱使用>
内線BOX101
0 なし
1 あり
◀戻る ▲▼ 決定

4 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、[決定] を押します。
- [決定] を押すと、設定を繰り返すことができます。

<内線BOXｺﾞﾐ箱使用>
内線BOX101
1 あり
■設定完了!
終了 継続▶

■他の電話機にゴミ箱機能を設定する

「■お使いの電話機にゴミ箱機能を設定する」の操作1を行ったあと、下記の操作を行います。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

2 [▲▼] で「2 他電話機」を選択し、[決定] を押す

<内線BOXｺﾞﾐ箱使用>
1 自電話機
2 他電話機
◀戻る ▲▼ 決定

3 ボックス番号（内線番号）を入力し、[決定] を押す

- [▲▼] で検索することもできます。

<内線BOXｺﾞﾐ箱使用>
内線BOX102
山田○次郎
■他のBOX番号入力可
クリア 再入力
◀戻る ▲▼ 決定

※操作3のあとは、「■お使いの電話機にゴミ箱機能を設定する」の操作3～4と同じです。

ご注意

- ●ゴミ箱にメッセージが残っている場合は、機能を無効にできません。ゴミ箱内のメッセージをすべて消去してください。
- ●自動消去したメッセージは、ゴミ箱に移動しません。

通話録音する

ゴミ箱ボタンを登録する

ゴミ箱ボタンの使い方はP5-60をご覧ください。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-9	–	–

■お使いの電話機に 内線BOXゴミ箱( ) ボタンを登録する

1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

① ⊞ を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、⊞ を押します。
③「**1 ﾎﾞﾀﾝ登録**」を選択し、⊞ を押します。
• i ボタン + ¥ ¥ を押しても本画面となります。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
‥KEY:

■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
  (押替可能)
◀戻る
```

2 登録するボタン（使っていない 外線 ボタン）を押し、⊞ を押す

• 現在登録されている機能名称が表示されます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
11KEY:000
      機能なし
■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
  (押替可能)
◀戻る  決定
```

3 ⊞ で「5 ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、⊞ を押す

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録
3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録
4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録
5 ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ登録
◀戻る ◆決定  次頁▶
```

4 ⊞ で「2 内線BOXｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ」を選択し、⊞ を押す

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
1 留守録ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ
2 内線BOXｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ


◀戻る ◆決定
```

5 ボックス番号（内線番号）を入力し、⊞ を押す

• ⊞ でゴミ箱番号を検索することもできます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
04KEY:内線ｺﾞﾐ箱101
山田○次郎
■内線番号入力
ｸﾘｱ再入力
◀戻る ◆決定
```

6 登録完了画面が表示される

• 終了する場合は、⊞ を押します。
• ⊞ を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
04KEY:内線ｺﾞﾐ箱101
山田○次郎

■登録完了!
        終了  継続▶
```

ご注意

●登録するボタンと同じ数の空きボタンが必要です。
●機能を設定したボタンに内線BOXゴミ箱ボタンを登録すると、元の機能は使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P7-1

通話録音する

■他の電話機に 内線BOXゴミ箱( ) ボタンを登録する

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

1 メニューから<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>を呼び出す

① ⊙ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊙ を押します。

<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>
収容位置：･･･-･･･
■電話機収容位置入力
先頭～最終（省略可）
クリア再入力
◀戻る

③「1 他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、⊙ を押します。

2 ボタンを登録したい電話機の先頭および最終（省略可能）の収容位置（3桁）を入力し、⊙ を押す

・再入力する場合は、クリア ボタンを押します。

<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>
収容位置：･･･-･･･
■電話機収容位置入力
先頭～最終（省略可）
クリア再入力
◀戻る

■収容位置入力後

<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>
収容位置：104-120
■電話機収容位置入力
先頭～最終（省略可）
クリア再入力
◀戻る 決定

3 他の電話機のボタン登録画面になる

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
･･KEY:
■KEY番号01～36入力
クリア再入力
◀戻る

4 登録するキー番号（2桁）を入力し、⊙ を押す

・登録できるキーは01～36までです。

・現在登録されている機能名称が表示されます。

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:000
機能なし
■KEY番号01～36入力
クリア再入力
◀戻る 決定

・再入力する場合は、クリアボタンを押します。

5 ⊙ で「5 ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、⊙ を押す

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録
3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録
4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録
5 ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ登録
◀戻る ◆決定 次頁▶

6 ⊙ で「2 内線BOXｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ」を選択し、⊙ を押す

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
1 留守録ｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ
2 内線BOXｺﾞﾐ箱ﾎﾞﾀﾝ
◀戻る ◆決定

7 内線ゴミ箱番号を入力し、⊙ を押す

・⊙ でゴミ箱番号を検索することもできます。

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
04KEY:内線ｺﾞﾐ箱103
山田○次郎
■内線番号入力
クリア再入力
◀戻る ◆決定

8 登録完了画面が表示される

・終了する場合は、⊙ を押します。

・⊙ を押すと操作4に戻り、登録を繰り返すことができます。

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
04KEY:内線ｺﾞﾐ箱103
山田○次郎
■登録完了!
終了 継続▶

ご注意

●登録するボタンと同じ数の空きボタンが必要です。

●機能を設定したボタンに内線BOXゴミ箱ボタンを登録すると、元の機能は使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P7-1

●操作2で範囲指定の場合に登録できない電話機があった場合は、エラー画面が表示されますので、⊙ を押して操作を続けるか、⊙ を押して、詳細表示で登録できない収容位置とエラー内容を確認してください。

知っていると便利なこと

●電話機の収容位置を確認するときは、内線電話帳（P2-34）を利用するか、各電話機で i + 8 の操作をします。

通話録音する

内線ボックスの応答メッセージを録音する

不在転送<外線への転送>の際に流すメッセージは、固定メッセージのほかに、あらかじめ録音しておいた応答メッセージを使うことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-6	–	–

■特番を使って録音する

1 ハンドセットをとる

・内線発信音「ツツツ…」が聞こえます。

2 内線ボックス応答メッセージ録音／確認番号3 8 0 *を押す

*可変桁を設定してある場合、番号のあとに続けて#を入力してください。

- 内線番号桁数を2桁に設定している場合、「内線ボックス応答メッセージ録音・確認特番」は79です。
- 音声案内「録音は1、再生は ＊（アスタリスク）、消去は0をどうぞ」が流れます。

3 1を押す

- 音声案内「ピー」が止まったら録音を開始します。ハンドセットに向かって話してください。（録音時間は1分（初期値）です）
- 録音時間が終了すると、話中音（ツーツー）が聞こえます。
- 0（消去する）を押すと内線BOXメッセージが消去されます。
- ＊（再生する）を押すとメッセージがハンドセットから聞こえます。

通話録音する

■メニューを使って録音する

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈内線応答ﾒｯｾｰｼﾞ〉を呼び出す

① ⊡ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊡ を押します。

③「6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、⊡ を押します。

④「6 内線応答ﾒｯｾｰｼﾞ」を選択し、⊡ を押します。

〈内線応答ﾒｯｾｰｼﾞ〉
名称：
■ﾖﾐｶﾞﾅ入力
クリア最終桁消去
切替内線番号検索
◀戻る 決定 ▶

2 ダイヤルボタン（0〜9、＊）で文字を入力し、⊡ を押す

• ヨミガナ未入力で⊡を押すと、「ア」から表示されます。

〈内線応答ﾒｯｾｰｼﾞ〉
名称：
■ﾖﾐｶﾞﾅ入力
クリア最終桁消去
切替内線番号検索
◀戻る 決定 ▶

3 ⊡ を押し、録音したい内線を選択し、⊡ を押す

• ⊡ を押すとメッセージを再生します。

〈内線応答ﾒｯｾｰｼﾞ〉
109 浅田課長 済
105 天田○○子 未
2104 ｳｴﾀﾞﾃﾞｽｸ 済
2103 江○明 済
◀戻る ◆決定 再生▶

4 ⊡ で「1 登録/変更」を選択し、⊡ を押す

•「2 消去」を選ぶと消去できます。確認画面が表示されるので、⊡ を押してください。

〈内線応答ﾒｯｾｰｼﾞ〉
1 登録/変更
2 消去
◀戻る ◆決定

5 ハンドセットを上げて録音開始音「ピー」が聞こえるのを待つ

〈内線応答ﾒｯｾｰｼﾞ 登録〉
内線109
浅田課長
■ﾊﾝﾄﾞｾｯﾄを上げ、
ﾋﾟｰの後に録音開始
◀戻る

6 録音開始音「ピー」が聞こえたら録音したい内容を話す

• 録音が終わったら⊡ を押してハンドセットを置きます。

〈内線応答ﾒｯｾｰｼﾞ 登録〉
内線109
浅田課長
■完了時：完了を押す
完了

7 録音完了画面が表示される

〈内線応答ﾒｯｾｰｼﾞ 登録〉
内線109
浅田課長
■録音完了！
終了 継続▶

補足説明

●内線ボックスごとに1件の応答メッセージを録音することができます。

●固定の応答メッセージを利用するか、録音した応答メッセージを利用するかをデータ設定で選択することができます。初期設定は固定の応答メッセージです。[工事者設定722-6]

●応答メッセージ1件あたりの最大録音時間は、1分〜180分、1分単位で変更することができます。初期設定は1分です。[工事者設定722-6]

●「話中代行・不在代行」（P5-90）で使用する不在メッセージとしても使用します。

知っていると便利なこと

●内線ボックス応答メッセージ録音／確認番号はデータ設定で変更することができます。[工事者設定722-6]

自動オペレータを利用する

自動オペレータ機能を使うと、外線から内線電話機を呼び出すことができます。電話をかけた方はアナウンスに従って内線番号を（プッシュ信号で）ダイヤルします。

応答メッセージを登録する

自動オペレータで流す音声案内メッセージ（「ダイヤリングサービスを行います。内線番号をどうぞ。」）のほかに、あらかじめ録音しておいた応答メッセージを流すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-14)	−	−

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■メニュー機能で登録するとき

1 メニューから<応答ﾒｯｾｰｼﾞ（通常用）>を呼び出す

① [決定] を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[決定] を押します。

<応答ﾒｯｾｰｼﾞ（通常用）>
01 ﾃﾅﾝﾄ01
02 ﾃﾅﾝﾄ02
03 ﾃﾅﾝﾄ03
04 ﾃﾅﾝﾄ04
◀戻る ◆決定

③「6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、[決定] を押します。

④「5 自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ/IVR」を選択し、[決定] を押します。

⑤「1 応答ﾒｯｾｰｼﾞ（通常用）」を選択し、[決定] を押します。

2 操作した電話機の対応テナントが反転表示されるので、[決定] を押す

- 他のテナントの応答メッセージを登録できる電話機は、他のテナントを選択することができます。対応していない電話機で操作するとエラー画面となります。

<応答ﾒｯｾｰｼﾞ（通常用）>
01 ﾃﾅﾝﾄ01
02 ﾃﾅﾝﾄ02
03 ﾃﾅﾝﾄ03
04 ﾃﾅﾝﾄ04
◀戻る ◆決定

3 [決定] で登録を行う応答メッセージ番号（001～300、900）を選択し、[決定] を押す

- 該当する応答メッセージを直接入力することもできます。

<応答ﾒｯｾｰｼﾞ（通常用）>
ﾃﾅﾝﾄ01
NO.101 録音済
自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ(通常)101
■項番直接入力可
◀戻る ◆決定 再生▶

- 録音済みのときは「録音済」、録音していないときは「未録音」と表示します。
- 登録番号に対応したシステム応答メッセージ名称が登録してある場合、ディスプレイの4行目に表示されます。
  固定メッセージの場合は「固定ﾒｯｾｰｼﾞ」が表示されます。
- 録音済みのメッセージと固定メッセージは [決定] を押すと、再生することができます。

4 登録完了画面が表示される

- [決定] を押すと終了します。
- [決定] を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。

<応答ﾒｯｾｰｼﾞ（通常用）>
ﾃﾅﾝﾄ01
NO.102 録音済
自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ(通常)102
■登録完了!
終了 継続▶

補足説明

- ●自動オペレータの応答メッセージはテナントごとに1種類設定することができます。
- ●自動オペレータの応答メッセージは工事者設定により設定することもできます。[工事者設定722-14]
- ●自動オペレータ用のシステム応答メッセージの録音は、他のシステム応答メッセージの録音方法と共通です。「応答メッセージなどを録音する」（P7-20）

ご注意

- ●応答メッセージの再生を行うとき、全てのボイスメモを使用中の場合は、エラーメッセージが表示されます。
  [決定] を押すと操作3に戻り、[決定] を押すと終了します。

<応答ﾒｯｾｰｼﾞ（通常用）>
再生できません。
(VMU回路空きなし)
戻ってしばらくお待ちください。
◀戻る 終了

自動オペレータを利用する

電話をかける／電話を受ける

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-14	−	−

■外部の電話機の操作

1 自動オペレータ用の外線に電話をかける

- 音声案内「ダイヤリングサービスを行います。内線番号をどうぞ。」が聞こえます。
- 番号が可変桁に設定してある場合、「内線番号をどうぞ。」の代わりに「内線番号と＃をどうぞ。」が聞こえます。

2 呼び出したい内線の内線番号を押す

- ダイヤル回線の場合は、プッシュ信号に切り替えてから操作をしてください。
- 電話機の呼出を開始すると、呼出音が聞こえます。

補足説明

●外部からかける電話機はプッシュホンまたはプッシュ信号の出せるものを使用します。

●指定された内線番号が存在しない場合は、音声案内で再度内線番号の入力を促すメッセージ「内線番号△△△はございません。もう一度内線番号をどうぞ」*を送出します。

●3回以上無登録の番号を押した場合は、「操作方法をお確かめのうえ、改めておかけ直しください。ご利用ありがとうございました。」を送出し、外線を切断します。

●無登録の番号を押したあとに約10秒間操作がないと、「もう一度内線番号をどうぞ。」*を送出します。それでも操作がないと「操作方法をお確かめのうえ、改めておかけ直しください。ご利用ありがとうございました。」を送出し、外線を切断します。

●最初の音声案内のあとに約10秒間操作がないと、「内線番号をどうぞ。」*を送出して発信者の操作を促すことができます。それでも操作がないと「ご利用ありがとうございました。」を送出し、外線を切断します。
なお、無操作時の音声案内を行わずに「ご利用ありがとうございました。」を送出して外線を切断したり、無操作時の音声案内を最大9回まで繰り返すように変更することができます。[工事者設定722-14]

●自動オペレータはストレートラインDIでも利用できます。ストレートラインDIについては、P5-17をご覧ください。

●ボイスメモに空きがない場合は、空くまで自動応答しません。

●ダイレクトインダイヤル（DID）でも特定の内線電話機を直接呼び出すことができますが、状況に応じた音声案内は送出できません。

*：番号が可変桁に設定してある場合、「内線番号をどうぞ。」の代わりに「内線番号と＃をどうぞ。」が聞こえます。

自動オペレータを利用する

ご注意

●電話／ファックス自動切替（P5-108）を使用している外線や、留守録や転送電話等の留守番機能を設定した外線は、自動オペレータは利用できません。設定した各機能が動作します。
電話／ファックス自動切替を使用している外線で、CNG信号を検出できなかった場合、自動オペレータ機能が動作します。

●自動オペレータを使用している外線は、一般の電話機からのリモート操作（P7-28）は利用できません。ただし、リモート操作用電話機から電話をかけた場合は、自動オペレータは動作せず、リモート操作を行うことができます。

知っていると便利なこと

●音声案内が送出されているときに、内線番号を押しても受け付けます。

●無操作時に外線切断を行わず、着信鳴動を設定したすべての電話機に着信させることもできます。［工事者設定722-14］

●ボイスメモの回路は2回路S／8回路LA LB（オプションVMU使用時は10回路S／16回路LA LB）ありますが、一部の回路を自動オペレータ（簡易IVRを含む）専用にすることができます。
自動オペレータ専用にした回路は留守録や通話録音、メッセージの再生等では使用できなくなります。［工事者設定722-14］

■内線電話機の操作

1 着信音が聞こえたら、ハンドセットをとる

• 着信中は外線ランプは緑の速い点滅、内線および着信／メッセージランプは速い点滅をします。

2 相手の方と通話する

• 応答後は通常の外線と同様に保留したり、他の電話機に転送できます。

自動オペレータを利用する

■電話機が応答できないときは

自動オペレータでは、発信者が指定した電話機が話し中等で応答できないときに下記の動作をします。

（1）電話機が話し中のとき

●話中時の音声案内「内線番号△△△は話し中です。もう一度内線番号をどうぞ。」*を送出し、再度内線番号の入力を促します。

●話中転送（P5-123）や内線代表（P5-126）が設定されていると、転送先の電話機を呼び出すこともできます。
また、話中転送の転送先をボイスメモにすると、ボイスメモの「話中代行・不在代行」機能により用件を録音することもできます。⇒P5-90

※転送先も通話中等（内線代表時はすべて通話中等）で呼び出せない場合は、「内線番号△△△は話し中です。もう一度内線番号をどうぞ。」*を送出します。

※自動オペレータの内線呼出時間（約18秒、6～60秒、6秒単位で変更可能）を経過しても転送先の応答がない場合や、転送先がPHSやDCLで圏外時は、「内線番号△△△はただいま席を外しております。もう一度内線番号をどうぞ。」*を送出します。

（2）電話機が一定時間経過しても応答しないとき

●自動オペレータの内線呼出時間（約18秒、6～60秒、6秒単位で変更可能）を経過しても応答がないと、「内線番号△△△はただいま席を外しております。もう一度内線番号をどうぞ。」*を送出し、再度内線番号の入力を促します。

●応答遅延転送（P5-123）が設定されていると、転送先の電話機を呼び出すこともできます。ただし、応答遅延転送の時間（初期30秒、10～70秒、10秒単位で変更可能）を自動オペレータの内線呼出時間よりも短く設定する必要があります。
また、応答遅延転送の転送先をボイスメモにすると、ボイスメモの「話中代行・不在代行」機能により用件を録音することもできます。⇒P5-90

※転送先が通話中等で呼び出せない場合や、転送先も応答しない場合は、自動オペレータの内線呼出時間を経過すると「内線番号△△△はただいま席を外しております。もう一度内線番号をどうぞ。」*を送出します。

※転送先がPHSやDCLで圏外時は、自動オペレータの内線呼出時間が経過していなくても、「内線番号△△△はただいま席を外しております。もう一度内線番号をどうぞ。」*を送出します。

（3）電話機が不在表示または内線着信拒否のとき

●「内線番号△△△は不在です。もう一度内線番号をどうぞ。」*を送出し、再度内線番号の入力を促します。

（4）電話機が内線への不在転送を設定しているとき

●不在転送先の電話機を呼び出します。内線への不在転送については、P5-117をご覧ください。
また、不在転送の転送先をボイスメモにすると、ボイスメモの「話中代行・不在代行」機能により用件を録音することもできます。⇒P5-90

※転送先が通話中等で呼び出せない場合は、「内線番号△△△は不在です。もう一度内線番号をどうぞ。」*を送出します。

※自動オペレータの内線呼出時間（約18秒、6～60秒、6秒単位で変更可能）を経過しても転送先の応答がない場合は、「内線番号△△△はただいま席を外しております。もう一度内線番号をどうぞ。」*を送出します。

（5）電話機が外線への不在転送を設定しているとき

●不在転送先の電話番号に外線発信します。外線への不在転送については、P5-120をご覧ください。

※空いている外線がない等の理由で外線発信できない場合は、「内線番号△△△は不在です。もう一度内線番号をどうぞ。」*を送出します。

補足説明

●話中時・不応答時・不在時の音声案内のあとに約10秒間操作がないと、「もう一度内線番号をどうぞ。」*を送出して発信者の操作を促すことができます。それでも操作がないと「ご利用ありがとうございました。」を送出し、外線を切断します。
なお、話中時・不応答時・不在時の音声案内を行わずに「ご利用ありがとうございました。」を送出して外線を切断したり、話中/不応答後の無操作時の音声案内を最大9回まで繰り返すように変更することができます。[工事者設定722-14]

●音声案内の「△△△」部分は、発信者が指定した電話機の内線番号となります。

●自動オペレータの内線呼出時間や応答遅延転送の時間を変更する場合は、工事者設定が必要です。[工事者設定722-14]

●呼び出す電話機がPHSやDCLで圏外の場合は、不応答と同じ扱いになります。また、圏外転送を設定時は、圏外転送を利用することもできます（外線発信できない場合は、不応答と同じ扱い）。

*：番号が可変桁に設定してある場合、「内線番号をどうぞ。」の代わりに「内線番号と＃をどうぞ。」が聞こえます。

簡易IVR機能を利用する

簡易IVR機能を使うと、発信者のダイヤル操作で内線電話機や電話機グループ、ACDグループ、IVRグループ(2-1版～)の呼び出しを行うことができます。さまざまな条件を組み合わせたシナリオを作成できます。
簡易IVRの操作のシナリオはテナントごとに3階層まで設定することができます。

応答メッセージを登録する

簡易IVRで流す音声案内メッセージ（「ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。」）のほかに、あらかじめ録音しておいた応答メッセージを流すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-14)	−	−

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■メニュー機能で登録するとき

1 メニューから<応答ﾒｯｾｰｼﾞ(IVR用)>を呼び出す

① [決定] を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[決定] を押します。

<応答ﾒｯｾｰｼﾞ(IVR用)>
01 ﾃﾅﾝﾄ01
02 ﾃﾅﾝﾄ02
03 ﾃﾅﾝﾄ03
04 ﾃﾅﾝﾄ04
◀戻る ◆決定

③「6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、[決定] を押します。

④「5 自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ/IVR」を選択し、[決定] を押します。

⑤「2 応答ﾒｯｾｰｼﾞ(IVR用)」を選択し、[決定] を押します。

2 操作した電話機の対応テナントが反転表示されるので、[決定] を押す

- 他のテナントの応答メッセージを登録できる電話機は、他のテナントを選択することができます。対応していない電話機で操作するとエラー画面となります。

<応答ﾒｯｾｰｼﾞ(IVR用)>
01 ﾃﾅﾝﾄ01
02 ﾃﾅﾝﾄ02
03 ﾃﾅﾝﾄ03
04 ﾃﾅﾝﾄ04
◀戻る ◆決定

3 [決定] で登録を行う応答メッセージ番号（001～300、900）を選択し、[決定] を押す

- 該当する応答メッセージを直接入力することもできます。

<応答ﾒｯｾｰｼﾞ(IVR用)>
ﾃﾅﾝﾄ01
NO.121 録音済
自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ(IVR)121
■項番直接入力可
◀戻る ◆決定 再生▶

- 録音済みのときは「録音済」、録音していないときは「未録音」と表示します。
- 登録番号に対応した応答メッセージ名称が登録してある場合、ディスプレイの4行目に表示されます。
  固定メッセージの場合は「固定ﾒｯｾｰｼﾞ」が表示されます。
- 録音済みのメッセージと固定メッセージは [決定] を押すと、再生することができます。

4 登録完了画面が表示される

- [決定] を押すと終了します。
- [戻る] を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。

<応答ﾒｯｾｰｼﾞ(IVR用)>
ﾃﾅﾝﾄ01
NO.121 録音済
自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ(IVR)121
■登録完了!
終了 継続▶

補足説明

- ●簡易IVRの応答メッセージはテナントごとに1種類設定することができます。
- ●簡易IVRの応答メッセージは工事者設定により設定することもできます。[工事者設定722-14]
- ●簡易IVRのシステム応答メッセージの録音は、他のシステム応答メッセージの録音方法と共通です。
  「応答メッセージなどを録音する」（P7-20）

ご注意

- ●応答メッセージの再生を行うとき、全てのボイスメモを使用中の場合は、エラーメッセージが表示されます。
  [戻る] を押すと操作3に戻り、[終了] を押すと終了します。

<応答ﾒｯｾｰｼﾞ(IVR用)>
再生できません。
(VMU回路空きなし)
戻ってしばらくお待ちください。
◀戻る 終了

簡易IVR機能を利用する

機能を登録する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-14)	–	–

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■メニュー機能で登録するとき

1 メニューから〈IVRｻｰﾋﾞｽ登録〉を呼び出す

① ⊡ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊡ を押します。
③「6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、⊡ を押します。
④「5 自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ/IVR」を選択し、⊡ を押します。
⑤「3 IVRｻｰﾋﾞｽ登録」を選択し、⊡ を押します。

〈IVRｻｰﾋﾞｽ登録〉
01 ﾃﾅﾝﾄ01
02 ﾃﾅﾝﾄ02
03 ﾃﾅﾝﾄ03
04 ﾃﾅﾝﾄ04
◀戻る ▲▼ 決定

2 操作した電話機の対応テナントが反転表示されるので、⊡ を押す

- 他のテナントの機能を登録できる電話機は、他のテナントを選択することができます。対応していない電話機で操作するとエラー画面となります。

〈IVRｻｰﾋﾞｽ登録〉
01 ﾃﾅﾝﾄ01
02 ﾃﾅﾝﾄ02
03 ﾃﾅﾝﾄ03
04 ﾃﾅﾝﾄ04
◀戻る ▲▼ 決定

3 ⊡ で「1 登録/変更」を選択し、⊡ を押す

〈IVRｻｰﾋﾞｽ登録〉
ﾃﾅﾝﾄ01
1 登録/変更
2 消去
3 登録ﾂﾘｰ確認
◀戻る ▲▼ 決定

4 ⊡ を押す

- 登録されていない番号が表示されます。
- 最大100項目登録できます。登録済みのものを変更するときは、番号（001～100）を直接入力するか ⊡ で選択してください。
- すでに登録済みの場合には、登録内容および機能名称が表示されます。

〈IVRｻｰﾋﾞｽ登録〉ﾃﾅﾝﾄ01
NO.001
■項番直接入力可
◀戻る ▲▼ 決定

5 ダイヤルボタンでサービス番号と機能番号を入力する：
①1階層目のサービス番号を入力
②2階層目のサービス番号を入力
③3階層目のサービス番号を入力
④機能番号(4桁)を入力し、⊡ を押す

- サービス番号は0～9までの1桁の数を入力します。番号無しにする場合には # を入力してください。
- 機能番号については「■サービス番号に割り当てられる機能」（P5-84）をご覧ください。
- 機能番号を入力すると、ディスプレイの3行目に機能名称が表示されます。
- クリア ボタンを押すと何も入力されていない状態に戻ります。

〈IVRｻｰﾋﾞｽ登録〉ﾃﾅﾝﾄ01
NO.002:1,2,1-0101
電話機直接呼出(101)
クリア 再入力
◀戻る 決定

6 登録完了画面が表示される

- ⊡ を押すと終了します。
- ⊡ を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。

〈IVRｻｰﾋﾞｽ登録〉ﾃﾅﾝﾄ01
NO.002:1,2,1-0101
電話機直接呼出(101)
■登録完了!
終了 継続▶

簡易IVR機能を利用する

補足説明

●サービス番号と機能番号の関係について、サービス番号なしを登録したときは、[#]を登録した階層の一つ前の階層の機能番号となります。
例えば、2および3階層目がサービス番号登録なしの場合は、1階層目の機能番号になります。

■サービス番号に割り当てられる機能

簡易IVR機能では、下記の機能を割り当てできます。各階層では、最大10種類（サービス番号0～9）の機能を作成できます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

機能	機能番号	概要
電話機呼出	0100	サービス番号に続けて内線番号を押すことで、指定した電話機を直接呼び出します。
電話機直接呼出	0+収容位置番号	設定された内線を直接呼び出します。
応答メッセージ（システム応答メッセージ001～300）	1001～1300	1階層目または2階層目に音声案内を送出します。
電話機グループ呼出（グループ01～48）	2001～2048	指定された電話機グループ電話機が着信します。
ACDグループ呼出（グループ01～48）	3001～3048	指定されたACDグループ電話機がACD着信します。
IVRグループ呼出(グループ01～48) 2-1版～	4001～4048	指定されたIVRグループ電話機が着信します。
応答メッセージ再送	9001	最初に流す音声案内を再送し、電話をかけてきた人が操作内容を確認できます。
階層戻り（1階層前）	9000	1階層前に戻ります。2または3階層目でのみ有効で、1階層目の場合は1階層目のメッセージを送出します。
機能なし	0000	

●内線電話機の電話番号を押して指定した内線電話機を直接呼び出すこともできます。

●電話機直接呼出を割り当てると、サービス番号1桁を押すだけで特定の内線電話機を直接呼び出すこともできます。

補足説明

●簡易IVRの機能はテナントごとに登録することができます。

●簡易IVRの機能の登録は工事者設定により行うこともできます。[工事者設定722-14]

●操作4で応答メッセージがすでに録音してある番号を選択した場合、[ ]を押す前に[ ]を押すと、現在選択中のメッセージを再生することができます。

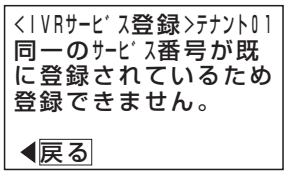
●操作3で**「2 消去」**を選択すると、対象のテナントのすべての登録値を消去できます。

●1または2階層目で、機能番号を1001～1300に設定して、次階層に機能を設定しない場合、外部から対象の機能番号を押したときの動作は以下となります。
・指定の応答メッセージを1回送出したあと、外線を切断します。音声案内の送出回数を2または3回に変更することもできます。[工事者設定722-14]

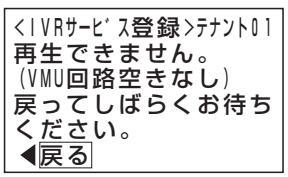
●3階層目で、機能番号を1001～1300に設定した場合、外部から対象の機能番号を押したときの動作は以下となります。
・指定の応答メッセージを1回送出したあと、外線を切断します。音声案内の送出回数を2または3回に変更することもできます。[工事者設定722-14]

ご注意

●すでに登録されているサービス番号の組み合わせをさらに登録することはできません。下記のエラーメッセージが表示されます。[ ]を押すと1階層目入力前に戻ります。



●メニュー機能で再生を行うとき、全てのボイスメモを使用中の場合は、エラーメッセージが表示されます。[ ]を押すと操作4に戻ります。



●1または2階層目で、機能番号を1001～1300（応答メッセージ送出）以外を設定した場合、それ以後の階層は登録してあっても動作しません。

簡易IVR機能を利用する

サービス名称を登録する 2-1版～

サービス番号に対応したサービス名称を登録しておくと、簡易IVRの着信時にディスプレイにその名称を表示します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-14)	−	−

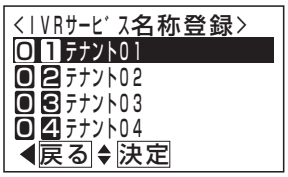
▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈IVRｻｰﾋﾞｽ名称登録〉を呼び出す

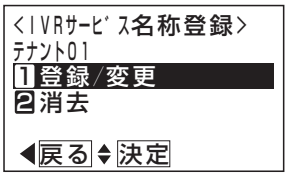
① ⊕を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊕を押します。
③「6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、⊕を押します。
④「5 自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ/IVR」を選択し、⊕を押します。
⑤「4 IVRｻｰﾋﾞｽ名称登録」を選択し、⊕を押します。

2 操作した電話機の対応テナントが反転表示されるので、⊕を押す

- 他のテナントの機能を登録できる電話機は、他のテナントを選択することができます。対応していない電話機で操作するとエラー画面となります。

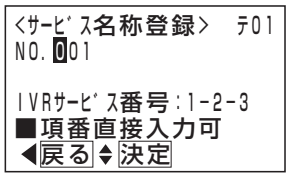


3 ⊕で「1 登録/変更」を選択し、⊕を押す



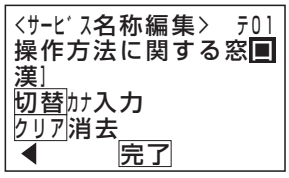
4 ⊕を押す

- 登録されていない番号が表示されます。
- 最大100項目登録できます。登録済みのものを変更するときは、番号（P5-83の操作4で入力した001～100）を直接入力するか、⊕で選択してください。
- すでに登録済みの場合には、その内容が表示されます。



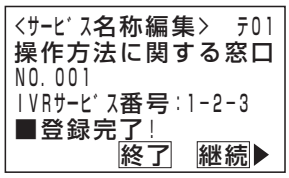
5 ダイヤルボタンでサービス名称を入力し、⊕を押す

- サービス名称は全角で10文字まで入力できます。
- 詳しい方法は「文字入力方法」（P3-15）をご覧ください。



6 登録完了画面となる

- 終了する場合は、⊕を押します。
- ⊕を押すと操作4に戻り、登録を繰り返すことができます。



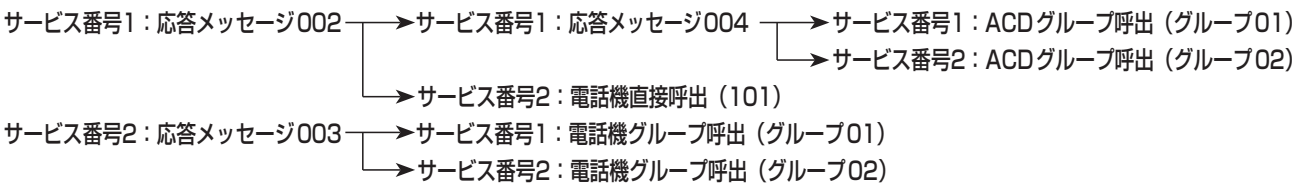
補足説明

- ●テナント内のすべての名称を消去するときは、操作3で「2 消去」を選んでください。
- ●個別に消去する場合は、登録している文字をすべて消して、登録し直してください。

簡易IVR機能を利用する

■メニュー機能の登録ツリーで確認するとき

本操作は、下記の設定例で説明しています。
テナント01の設定
応答メッセージ（IVR用）：応答メッセージ111



▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 メニューから〈IVRｻｰﾋﾞｽ登録〉を呼び出す

① ⊡ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊡ を押します。

③「6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、⊡ を押します。

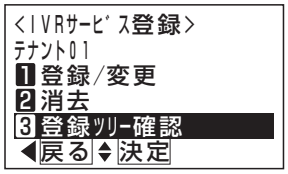
④「5 自動ｵﾍﾟﾚｰﾀ/IVR」を選択し、⊡ を押します。

⑤「3 IVRｻｰﾋﾞｽ登録」を選択し、⊡ を押します。

2 操作した電話機の対応テナントが反転表示されるので、⊡ を押す

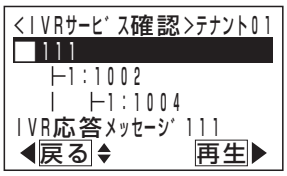
- 他のテナントの登録内容を登録ツリーで確認できる電話機は、他のテナントを選択することができます。対応していない電話機で操作するとエラー画面となります。

3 ⊡ で「3 登録ツリー確認」を選択し、⊡ を押す



4 IVRサービス確認画面になるので、⊡ で登録値を確認する

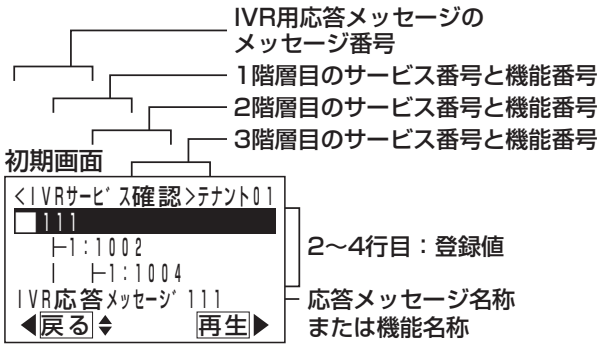
- IVR用の応答メッセージ番号（001～300、900）、1階層目のサービス番号と機能番号、2階層目のサービス番号と機能番号、3階層目のサービス番号と機能番号の順に表示します。各階層で複数の登録がある場合、サービス番号を1→2→･･･→8→9→0の順に表示します。
- カーソル位置の機能番号に対応した機能名称がディスプレイの5行目に表示されます。
  カーソル位置がIVR用の応答メッセージのとき、対応の応答メッセージ名称が登録してある場合、その名称が表示されます。
- カーソル位置がIVR用の応答メッセージまたは機能番号が1001～1300の場合で、対応の応答メッセージが録音されている場合、⊡ を押すと、メッセージを再生することができます。



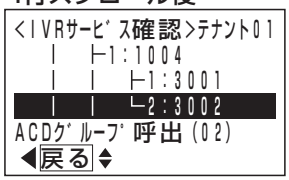
簡易IVR機能を利用する

補足説明

●IVRサービス確認画面をテナント01の設定例を元に説明します。



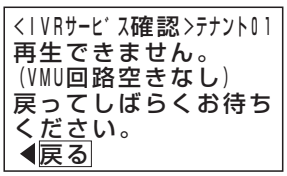
4行スクロール後



さらに4行スクロール後

ご注意

●応答メッセージの再生を行うとき、全てのボイスメモを使用中の場合は、エラーメッセージが表示されます。 を押すと前の画面に戻ります。



電話をかける／電話を受ける

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-14	IVR他G呼出応答(730)	−

■外部の電話機の操作

1 簡易IVR用の外線に電話をかける

- 録音した音声案内「ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。」（一例）が聞こえます。

2 目的に合わせてサービス番号を押す

- ダイヤル回線の場合は、プッシュ信号に切り替えてから操作をしてください。
- 電話機の呼出を開始すると、呼出音が聞こえます。

補足説明

●外部からはプッシュホンまたはプッシュ信号の出せる電話機を使用します。

●無効なサービス番号を押した場合は、音声案内で「入力エラーです。もう一度入力してください。」を送出します。サービス番号に割り当てられる機能はP5-84をご覧ください。

●3回以上無効なサービス番号を押した場合は、音声案内「操作方法をお確かめのうえ、改めておかけ直しください。ご利用ありがとうございました。」を送出し、外線を切断します。

●無効なサービス番号を押したあとに約10秒間操作がないと、「入力エラーです。もう一度入力してください。」を送出します。それでも操作がないと「操作方法をお確かめのうえ、改めておかけ直しください。ご利用ありがとうございました。」を送出し、外線を切断します。

●最初の音声案内のあとに約10秒間操作がないと、同じ音声案内を送出して発信者の操作を促します。それでも操作がないと「ご利用ありがとうございました。」を送出し、外線を切断します。
無操作時の音声案内の回数は0（音声案内なし）～9回までの範囲で変更できます。[工事者設定722-14]

●簡易IVRはストレートラインDIでも利用できます。ストレートラインDIについては、P5-17をご覧ください。

●ボイスメモに空きがない場合は、空くまで自動応答しません。

簡易IVR機能を利用する

ご注意

- ●自動応答時の音声案内は、テナントごとに１種類設定することができます（P5-82）。固定メッセージを使用すると、「ダイヤリングサービスを行います。サービス番号をどうぞ。」が送出されます。
- ●電話／ファックス自動切替（P5-108）を使用している外線や、留守録や転送電話等の留守番機能を設定した外線は、簡易IVRは利用できません。設定した各機能が動作します。
  電話／ファックス自動切替を使用している外線で、CNG信号を検出できなかった場合、簡易IVR機能が動作します。
- ●簡易IVRを使用している外線は、一般の電話機からのリモート操作（P7-28）は利用できません。リモート操作を使うときは、リモート操作用電話機から電話をかけてください。

知っていると便利なこと

- ●サービス番号は、音声案内が送出されているときでも受け付けます。
- ●無操作時に外線切断を行わず、着信鳴動を設定したすべての電話機に着信させることもできます。［工事者設定722-14］
- ●「応答メッセージ再送」の機能をサービス番号に割り当てると、最初に流す音声案内を再送し、操作内容を再確認できます。
- ●ボイスメモの回路は２回路 S ／８回路 LA LB（オプションVMU使用時は10回路 S ／ 16回路 LA LB）ありますが、一部の回路を自動オペレータ（簡易IVRを含む）専用にすることができます。自動オペレータ専用にした回路は留守録や通話録音、メッセージの再生等では使用できなくなります。［工事者設定722-14］

■電話機呼出または電話機の直接呼出時の内線電話機の操作

1 着信音が聞こえたら、ハンドセットをとる

- 外線 ランプは緑の早い点滅をします。

2 相手の方と通話する

- 応答後は通常の外線と同様に保留したり、他の電話機に転送できます。

■電話機グループ、IVRグループ呼出時の内線電話機の操作 (2-1版～)

1 着信音が聞こえる

- 外線 ランプ（赤）が速い点滅をします。
- ４行目にｻｰﾋﾞｽ番号、５行目にｻｰﾋﾞｽ名称が表示できます。
  ［工事者設定722-14］ (2-1版～)

```
 7月10日(金) AM10:10
0312341111 /1234
東京営業所
IVRｻｰﾋﾞｽ番号:1-2-3
操作方法に関する窓口
```

2 点滅している 外線 ボタンを押し、ハンドセットをとる

- 外線 ランプが緑の点灯に変わり、周期的に２回消えます。

3 相手の方と通話する

補足説明

- ●着信音が鳴っている電話機（無鳴動着信を含む）は、着信／メッセージ ランプが速い点滅となります。
- ●他の電話機グループの 外線 ランプは赤の点灯となり、着信音は鳴りません。
- ● IVR他G呼出応答 ボタン（赤）が速く点滅しているときは、他の電話機グループへの着信であっても応答できます。（IVRグループ呼出 (2-1版～) を除く）ハンドセットを取ってから、IVR他G呼出応答 ボタンを押してください。
- ●一定時間（初期値99秒、９～99秒、９秒単位で変更可能）で応答がないと、電話が切れます。
- ●ストレートラインDI（P5-17）の場合、指定された電話機グループの DILIN ボタンに空きがないときは、音声案内「ただいま大変電話が…」を送出し、外線を切断します。

簡易IVR機能を利用する

■ACDグループ呼出時の内線電話機の操作

1 着信音が聞こえたら、ハンドセットをとる

- 着信中は外線ランプは緑の早い点滅、内線および着信／メッセージランプは速い点滅をします。

2 相手の方と通話する

- 応答後は通常の外線と同様に保留したり、他の電話機に転送できます。

補足説明

- ●対象のACDグループのACD機能がオンになっていない場合は、「本日の業務は終了しました。恐れ入りますが改めておかけ直しください。ご利用ありがとうございました。」を送出し、外線を切断します。
- ●ACD機能の詳細に関しては、P5-10をご覧ください。

■電話機呼出または電話機直接呼出時に電話機が応答できないときは

簡易IVRでは、電話機呼出または電話機直接呼出時に対応する電話機が話し中等で応答できないときに下記の動作をします。自動オペレータ（P5-78）とは動作が異なります。

（1）電話機が話し中のとき

- ●話中音（ツーツー…）を約8秒送出したあと、音声案内「ご利用ありがとうございました。」を送出し、外線を切断します。
- ●話中転送（P5-123）や内線代表（P5-126）が設定されていると、転送先の電話機を呼び出すこともできます。
  また、話中転送の転送先をボイスメモにすると、ボイスメモの「話中代行・不在代行」機能により用件を録音することもできます。⇒P5-90
  ※転送先も通話中等（内線代表時はすべて通話中等）で呼び出せない場合は、話中音（ツーツー…）を約8秒送出したあと、「ご利用ありがとうございました。」を送出し、外線を切断します。

（2）電話機が一定時間経過しても応答しないとき

- ●DI,DIDの内線呼出時間（初期30秒、無制限、または6～90秒、6秒単位で変更可能）を経過しても応答がないと、通常の着信となり他の電話機が着信します。通常の着信も一定時間(初期99秒、9～99秒、9秒単位で変更可能）経過しても応答がないと、電話が切れます。
- ●応答遅延転送（P5-123）が設定されていると、転送先の電話機を呼び出すこともできます。
  また、応答遅延転送の転送先をボイスメモにすると、ボイスメモの「話中代行・不在代行」機能により用件を録音することもできます。⇒P5-90

（3）電話機が不在表示または内線着信拒否のとき

- ●「ただいま不在です。恐れ入りますが改めておかけ直しください。ご利用ありがとうございました。」を送出し、外線を切断します。

（4）電話機が内線への不在転送を設定しているとき

- ●不在転送先の電話機を呼び出します。内線への不在転送については、P5-117をご覧ください。
  また、不在転送の転送先をボイスメモにすると、ボイスメモの「話中代行・不在代行」機能により用件を録音することもできます。⇒P5-90
  ※転送先が通話中等で呼び出せない場合は、「ただいま不在です。恐れ入りますが改めておかけ直しください。ご利用ありがとうございました。」を送出し、外線を切断します。

（5）電話機が外線への不在転送を設定しているとき

- ●不在転送先の電話番号に外線発信します。不在転送については、P5-120をご覧ください。
  ※空いている外線がない等の理由で外線発信できない場合は、「ただいま不在です。恐れ入りますが改めておかけ直しください。ご利用ありがとうございました。」を送出し、外線を切断します。

補足説明

- ●対応する電話機を呼び出す動作や、転送先の電話機を呼び出す動作はダイレクトインダイヤルと同じになります。詳しくは、P5-9をご覧ください。
- ●DI,DIDの内線呼出時間や応答遅延転送の時間を変更する場合は、工事者設定が必要です。
- ●呼び出す電話機がPHSやDCLで圏外の場合は、不応答と同じ扱いになります。また、圏外転送を設定時は、圏外転送を利用することもできます（外線発信できない場合は、不応答と同じ扱い）。

話中代行・不在代行を利用する

内線電話機が不在転送・話中転送・応答遅延転送先をボイスメモに設定しておくと、発信者はその電話機の内線ボックスにメッセージを録音することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-15	–	–

■不在転送・話中転送の場合

1 転送先をボイスメモに設定している電話機が呼ばれると、電話機の代わりにボイスメモが自動応答する

- 不在メッセージ「ただいま不在です。ピーッという発信音の後にお名前とご用件をどうぞ。」が送出されます。

2 録音開始音「ピー」の後にメッセージを録音する

- 発信者が呼び出した内線電話機に対応する内線ボックスにメッセージが録音されます。

■応答遅延転送の場合

1 転送先をボイスメモに設定している電話機が着信に応答しないと、一定時間後にボイスメモが自動応答する

- 不在メッセージ「ただいま不在です。ピーッという発信音の後にお名前とご用件をどうぞ。」が送出されます。

2 録音開始音「ピー」の後にメッセージを録音する

- 発信者が呼び出した内線電話機に対応する内線ボックスにメッセージが録音されます。

ご注意

●自動オペレータと応答遅延転送による話中代行・不在代行を併用する場合、応答遅延転送の時間（初期値30秒）を自動オペレータの内線呼出時間（初期値18秒）よりも短く設定してください。応答遅延転送の時間が長いと、電話に出られなかったときに話中代行・不在代行が動作せず、発信者に用件を録音してもらうことができなくなります。［工事者設定722-15］

●ボイスメモに空きがないときは、話中代行・不在代行は利用できません。

補足説明

●転送先をボイスメモに設定する場合は、「不在転送先（内線）」や「話中応答遅延転送先」に電話機の内線番号ではなく「VMUアクセス番号」（初期値199）を登録します。各転送先の登録や各転送機能のセットは、メニュー機能または特番操作で行います。メニュー機能で操作する場合は、**「4 電話機毎機能設定」→「7 不在時/話中時機能」**を選択したあと、下表の3次メニュー以降の操作を行います。メニュー操作の詳細や特番操作の方法については、下表をご覧ください。

3次メニュー	メニュー選択後の操作概要	記載ページ
1 不在転送	①**1 不在転送（内線）**を選択	P5-118
2 話中応答遅延転送	①下記より選択 **0 転送解除** **1 話中転送** **2 応答遅延転送** **3 話中応答遅延転送**	P5-124
3 不在転送先（内線）	①現在の設定を表示 ②**1 登録/変更**を選択 ③「VMUアクセス番号」を入力	P5-117
5 話中応答遅延転送先	①現在の設定を表示 ②**1 登録/変更**を選択 ③「VMUアクセス番号」を入力	P5-123

※内線番号桁数を2桁に設定している場合、「VMUアクセス番号」の初期値は68です。

●話中代行・不在代行が利用できるのは、特定の電話機を呼び出す下記の着信です。
- 内線着信
- ダイレクトインダイヤル、ダイヤルイン、ISDNのサブアドレスダイヤルイン、i・ナンバー、発番号ホットラインの内線呼出、ダイレクトインラインの着信
- 自動オペレータ／簡易IVRの内線呼出

●最大録音時間は約1分です。この時間を超えると、「メッセージを受け付けました。ご利用ありがとうございました」を送出し、回線を切断します。
※最大録音時間は留守録と共通で、変更することもできます。［工事者設定722-15］

●録音時間や録音件数に空きがなく録音できない場合は、「ただいま不在です。恐れ入りますが、改めておかけ直しください。」を送出し、回線を切断します。

●不在メッセージは、内線ボックスごとに録音したメッセージ（P5-76）を使用することができます。

話中代行・不在代行を利用する

知っていると便利なこと

●メッセージを録音しないで、音声案内「ただいま不在です。恐れ入りますが、改めてお掛け直しください。」を送出したあとに回線を切断するようにも設定できます。[工事者設定722-15]

※1：音声案内の送出回数は1回（初期設定）で、2回に変更することもできます。

※2：音声案内は、録音した不在メッセージ（P5-76）を使用することもできます。

メッセージを送る（伝言メモ）

指定の内線ボックスへメッセージを送る

指定の内線ボックスに伝言メモを送信することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-17)	–	–

1 ハンドセットをとる

・内線発信音「ツツツ…」が聞こえます。

2 「VMUアクセス番号」(1～4桁、初期値 199)*を押す

*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに[#]を押してください。

• 内線番号桁数を2桁に設定している場合、「VMUアクセス番号」の初期値は68です。

3 「送信先ボックス番号またはグループ番号をどうぞ。」が聞こえるので、メッセージを送信する ボックス ボタンまたはボックス番号を押す

4 「ボックス番号△△△にメッセージを録音します。メッセージをどうぞ。ピーッ」のあとにメッセージを録音する

5 録音を完了したらハンドセットを置く

• 指定した送信先にメッセージが送信されます。

補足説明

●送信先のボックス番号には、[ボックス]ボタンまたは内線ボックス番号を指定します。

●送信先ボックスの録音件数に空きがない場合は、「ボックス番号△△△はメッセージがいっぱいで録音できません。ご利用ありがとうございました。」が流れて、ボイスメモを切断します。

●1メッセージあたりの最大録音時間は約1分です。
※最大録音時間は変更することもできます。[工事者設定722-17]

知っていると便利なこと

●録音中に[0]または[録音取消]ボタンを押すと、録音の取り消しができます。(「メッセージの録音を中止しました。ご利用ありがとうございました。」が流れます。)

●録音中に[米]または[一時停止]ボタンを押すたびに、録音の中断／再開を行うことができます。(「録音を中断します」／「録音を再開します」が流れます。)

●送信されたメッセージは、各内線ボックスのメッセージ再生で聞くことができます。⇒P5-60

●対象の内線ボックスが電話通知ありとなっている場合、メッセージ送信による電話通知機能は動作します。⇒P5-68

●外出先から送信先ボックスにメッセージを送信することもできます。P4-32の補足説明をご覧ください。

メッセージを送る（伝言メモ）

複数の内線ボックスへ同じメッセージを送る（同報メール）

あらかじめ指定した複数の内線ボックス（同報グループ）に同じ音声メッセージを同時に送信することができます。このことを同報メールといいます。

■メッセージを送る

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-17	同報グループ01（501）～同報グループ48（548）	–

1 ハンドセットをとる

• 内線発信音「ツツツ…」が聞こえます。

2 「VMUアクセス番号」（1～4桁、初期値 199）*を押す

*番号を可変桁に設定している場合は、番号のあとに[#]を押してください。

• 内線番号桁数を2桁に設定している場合、「VMUアクセス番号」の初期値は68です。

3 「送信先ボックス番号またはグループ番号をどうぞ。」が聞こえるので、メッセージを送信する 同報グループ ボタンまたはグループ番号を押す

4 「グループ番号△△△にメッセージを録音します。メッセージをどうぞ。ピーッ」のあとにメッセージを録音する

5 録音を完了したらハンドセットを置く

• 指定した送信先にメッセージが送信されます。

補足説明

●送信先のグループ番号には、[同報グループ]ボタンまたは同報グループ番号を指定します。

●同報グループは内線ボックスのグループで、最大48グループまで登録することができます。一つのグループに内線ボックスを最大50ボックスまで登録できます。［工事者設定722-17］

●送信先グループに登録されている全ての内線ボックスの録音件数に空きがない場合は、「グループ番号△△△はメッセージがいっぱいで録音できません。ご利用ありがとうございました。」が流れて、ボイスメモを切断します。

●1メッセージあたりの最大録音時間は約1分です。
※最大録音時間は変更することもできます。［工事者設定722-17］

●一回の同報メールで送信される内線ボックスの数は、最大50ボックスです。

知っていると便利なこと

●録音中に[0]または[録音取消]ボタンを押すと、録音の取り消しができます。（「メッセージの録音を中止しました。ご利用ありがとうございました。」が流れます。）

●録音中に[✕]または[一時停止]ボタンを押すたびに、録音の中断／再開を行うことができます。（「録音を中断します」／「録音を再開します」が流れます。）

●送信されたメッセージは、各内線ボックスのメッセージ再生で聞くことができます。⇒P5-60

●対象の内線ボックスが電話通知ありとなっている場合、メッセージ送信による電話通知機能は動作します。⇒P5-68

●外出先から送信先ボックスにメッセージを送信することもできます。P4-32の補足説明をご覧ください。

ご注意

●同報メールは一回で最大50の内線ボックスに送信するので、Eメール通知（P5-95）を機能させる場合には注意が必要です。ご使用のEメールサーバや契約しているプロバイダによっては、多数のEメールが一度に送信されてくるとSPAMメールと判断され、送信に失敗する（サーバから拒否される）ことがあります。詳しくは販売店にご相談ください。

メッセージを送る（伝言メモ）

■メッセージ送信不可内線ボックスを確認する

同報グループごとに、メッセージ送信できない内線ボックスを確認することができます。

1 メニューから<同報送信不可BOX>を呼び出す

①[決定]を押します。

②「**6 用件ﾒｯｾｰｼﾞ**」を選択し、[決定]を押します。

③「**3 同報送信不可BOX**」を選択し、[決定]を押します。

<同報送信不可BOX>
01 同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ01
02 同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ02
03 同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ03
04 同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ04
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

2 [▲▼]で同報グループを選択し、[決定]を押す

- 同報グループ番号（01～48）を直接入力することもできます。

<同報送信不可BOX>
01 同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ01
02 同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ02
03 同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ03
04 同報ｸﾞﾙｰﾌﾟ04
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

3 選択された同報グループ内で同報送信不可となっている内線ボックス一覧が表示されるので、送信できない理由を確認したい内線ボックスを選択して、[決定]を押す

- 常に同報送信可能最大数（50件）の表示を行い、送信不可の内線ボックスが存在しない番号は空欄となります。

<同報送信不可BOX>G01
01:内線BOX101
02:内線BOX103
03:
クリア 戻る
◀前頁 ▲▼決定 次頁▶

4 選択された内線ボックスの同報送信不可理由を表示する

- システムの録音の残時間がないときは、「システム残時間無し！」、システムの録音の残件数がないときは、「システム残件数無し！」を表示します。
- 終了する場合は、[決定]を押します。
- 続けて確認するときは、[▲▼]を押し、操作3から繰り返してください。

録音件数に空きがないとき

<内線BOX101 > G01
内線BOX残件数無し!

録音件数 064件
残時間 009時間07分
終了 継続▶

補足説明

●操作1、2の代わりに、同報グループ( )ボタンを押しても操作3に移行できます。

用件が録音されたことをEメールで通知する

留守録モード/通話録音で用件が録音されると外出先の携帯電話等に自動的にEメールを送信し、録音があったことをメール通知することができます。(Eメール通知)
通知するメールアドレス、件名、本文等はあらかじめWeb設定が必要です。

Webデータ設定

主装置にパソコンを接続し、パソコンの汎用ブラウザを使って下記のEメール通知に関する設定や送信履歴表示をすることができます。

- ●メールアカウント設定
- ●録音通知メール共通設定
- ●留守録ボックスのメール送信
- ●内線ボックスのメール送信
- ●Eメール送信履歴表示

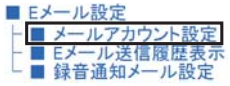
パソコンの接続およびブラウザの起動方法は、「パソコンを使って各種設定を行う(Web設定)」(P9-9)をご覧ください。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-22	–	–

■メールアカウント設定

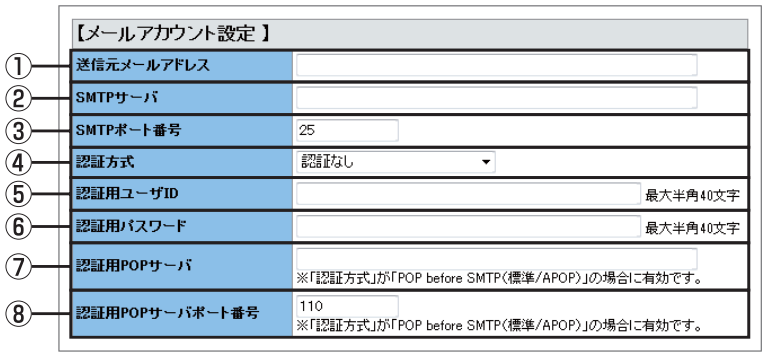
Eメール送信時に使用する送信元Eメールアドレス、SMTPサーバやPOPサーバに関する設定をシステム一括で設定します。

1 ブラウザを起動した状態で、メニューの「■Eメール設定」➡「■メールアカウント設定」をクリックする



2 メールアカウント設定画面になるので、必要な項目を設定する

- 現在の設定値が表示されます。
- 各設定項目の内容は補足説明をご覧ください。



3 設定が完了したら画面一番下の 登録 をクリックする

- 登録 をクリックする前に、別のページに移動すると変更はすべて無効となります。
- 全ての設定が終了したらブラウザを終了してください。

補足説明

●各設定の内容は下記の通りです。

①送信元メールアドレス(※1)

・送信先Eメールの「from:」に使用する送信元のメールアドレスを設定します。

・入力文字は半角英数字で、入力範囲は最大256桁です。

補足説明

②SMTPサーバ（※1）
- Eメール送信に使用するSMTPサーバのドメインまたはIPアドレスを設定します。
- 入力文字は半角英数字で、入力範囲は最大256文字です。

③SMTPポート番号（※1）
- Eメール送信に使用するSMTPポート番号を設定します。
- 入力文字は半角数字で、入力範囲は65535迄です。初期設定は25です。

④認証方式（※1）
- SMTPサーバの認証方式を設定します。
- 「認証なし」、「POP before SMTP（標準）」、「POP before SMTP（APOP）」、「SMTP認証」のいずれか1つの方式を選択します。初期設定は「認証なし」です。
- 認証方式を「SMTP認証」に設定した場合、「SMTPポート番号」を使用プロバイダの指定に従って設定してください（例えば「587」）。
- 「SMTP認証」はCRAM-MD5、LOGIN、PLAINに対応します。

⑤認証用ユーザID（※1、※2、※3）
- 「認証方式」に対応したユーザIDを設定します。
- 入力文字は半角英数字で、入力範囲は最大40文字です。

⑥認証用パスワード（※1、※2、※3）
- 「認証方式」に対応したパスワードを設定します。
- 入力文字は半角英数字で、入力範囲は最大40文字です。

⑦認証用POPサーバ（※1、※2）
- POPサーバのドメインまたはIPアドレスを設定します。
- 入力文字は半角英数字で、入力範囲は最大256文字です。
- 認証方法が「POP before SMTP（標準／APOP）」のときに有効となります。

⑧認証用POPサーバポート番号（※1、※2）
- POPサーバポート番号を設定します。
- 入力文字は半角数字で、入力範囲は65535迄です。初期設定は110です。
- 認証方法が「POP before SMTP（標準／APOP）」のときに有効となります。

※1：プロバイダやネットワーク管理者の指示に従って設定してください。

※2：認証方式を「POP before SMTP（標準）」または「POP before SMTP（APOP）」に設定した場合、必ず設定が必要です。

※3：認証方式を「SMTP認証」に設定した場合、必ず設定が必要です。

●送信元メールアドレス、SMTPサーバ、認証用ユーザID、認証用パスワード、および認証用POPサーバ欄に入力可能な文字は下記の通りです。
- 半角英数字（大文字・小文字）
- 半角記号

  送信元メールアドレス：! # $ % & ' * + - . / = ? @ ^ _ ` { | } ~

  認証用ユーザID、認証用パスワード：!"#$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~

  SMTPサーバ、認証用POPサーバ：-.
- 半角スペース（認証用ユーザID、認証用パスワードのみ）

※プロバイダの仕様により、使用可能な文字に制限がある場合があります。

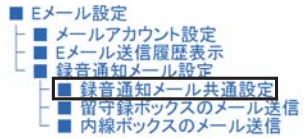
●メールアカウント設定以外に、主装置のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトGW、優先DNSサーバの設定も行ってください。[工事者設定722-22]

用件が録音されたことをEメールで通知する

■録音通知メール共通設定

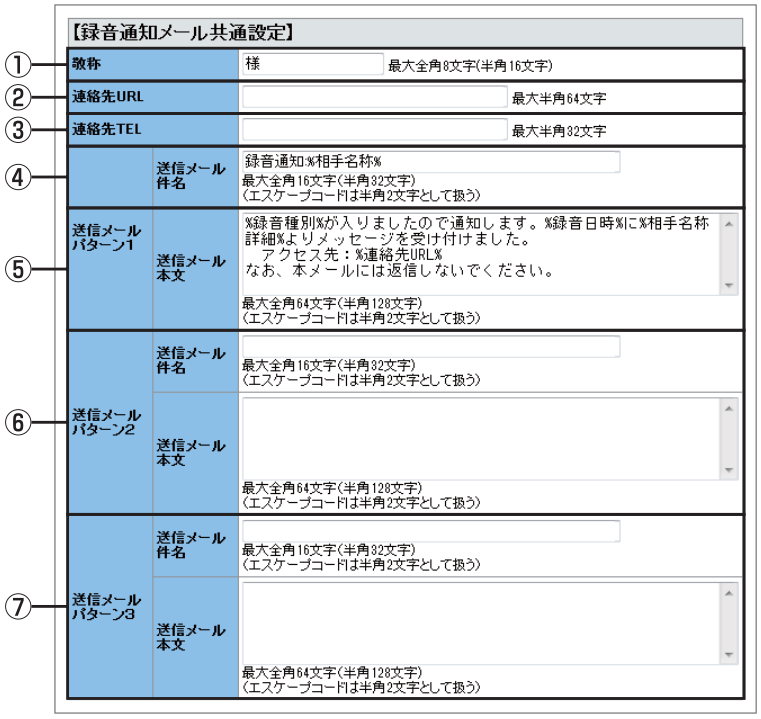
Eメール送信時に使用する送信先名称、URL、電話番号および送信メールパターンに関する設定をシステム一括で設定します。

1 ブラウザを起動した状態で、メニューの「■Eメール設定」➡「■録音通知メール設定」➡「■録音通知メール共通設定」をクリックする



2 録音通知メール共通設定画面になるので、必要な項目を設定する

- 現在の設定値が表示されます。
- 各設定項目の内容は補足説明をご覧ください。



3 設定が完了したら画面一番下の 登録 をクリックする

- 登録 をクリックする前に、別のページに移動すると変更はすべて無効となります。
- 全ての設定が終了したらブラウザを終了してください。

補足説明

●各設定の内容は下記の通りです。

①敬称

・メッセージを録音した相手の相手名称（共通電話帳に登録されている名称）に付与する敬称を設定します。

・入力範囲は最大全角で８文字（半角16文字）です。初期設定は「様」です。

用件が録音されたことをEメールで通知する

補足説明

②連絡先URL
・携帯電話リモート操作機能を利用しているときに、携帯電話で主装置にアクセスするときのURLを設定します。携帯電話で本URLにアクセス後、留守録ボックスや内線ボックスの再生操作ができます。詳しくは、P7-33をご覧ください。
・入力文字は半角英数字（大文字・小文字）、記号文字で、入力文字数は最大64文字です。

③連絡先TEL
・外出先からリモート操作やダイレクトインダイヤル（DID）等でメッセージ再生を行うときの電話番号を設定します。⇒P4-30
・入力文字は半角英数字（大文字・小文字）、記号文字で、入力文字数は最大32文字です。

④送信メール件名
・送信メールパターン1の送信メール件名を設定します。
・入力文字数は最大全角で16文字（半角32文字）です。初期設定は「録音通知:%相手名称%」です。

⑤送信メール本文
・送信メールパターン1の通知するメール本文を設定します。
・入力文字数は最大全角で64文字（半角128文字）で、入力文字にはエスケープコード（%は半角文字）が入力可能です。（※4）
初期設定は「%録音種別%が入りましたので通知します。
%録音日時%に%相手名称詳細%よりメッセージを受け付けました。
アクセス先：%連絡先URL%
なお、本メールには返信しないでください。」

⑥送信メールパターン2
・送信メールパターン2の送信メール件名と通知するメール本文を設定します。
・入力可能文字および文字数は送信メールパターン1と同じです。
初期設定はなしです。

⑦送信メールパターン3
・送信メールパターン3の送信メール件名と通知するメール本文を設定します。
・入力可能文字および文字数は送信メールパターン1と同じです。
初期設定はなしです。

●送信メール件名、送信メール本文には下記エスケープコード（%は半角文字）が使用可能です。（※4）

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="4">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="6">%相手名称%</td><td colspan="4">相手名称（電話帳名称等）、相手電話番号、非通知理由の有無により、下記となります。</td></tr>
<tr><td>相手名称</td><td>相手電話番号</td><td>非通知理由等</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>あり</td><td>あり</td><td>なし</td><td>相手名称＋敬称（※1） 例）○○商事様</td></tr>
<tr><td>なし</td><td>あり</td><td>なし</td><td>相手電話番号 例）03××××××××</td></tr>
<tr><td>なし</td><td>なし</td><td>あり</td><td>非通知理由等（※2） 例）非通知</td></tr>
<tr><td>なし</td><td>なし</td><td>なし</td><td>相手不明（※3）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">%相手名称詳細%</td><td colspan="4">相手名称（電話帳名称等）、相手電話番号、非通知理由の有無により、下記となります。</td></tr>
<tr><td>相手名称</td><td>相手電話番号</td><td>非通知理由等</td><td>内容</td></tr>
<tr><td>あり</td><td>あり</td><td>なし</td><td>相手名称＋敬称（※1）＋（相手電話番号）
例）○○商事様（03××××××××）</td></tr>
<tr><td colspan="3">上記以外</td><td>%相手名称%に同じ</td></tr>
<tr><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>%録音日時%</td><td colspan="4">年月日、時刻</td></tr>
<tr><td>%録音種別%</td><td colspan="4">メッセージの録音種別：「通話録音」、「留守録」、「転送」、「送信」、または「送信(同報)」</td></tr>
<tr><td>%連絡先URL%</td><td colspan="4">「連絡先URL」で設定した内容に置き換えて表示されます。</td></tr>
<tr><td>%連絡先TEL%</td><td colspan="4">「連絡先TEL」で設定した内容に置き換えて表示されます。</td></tr>
</table>

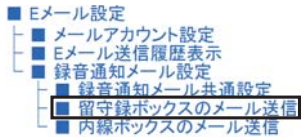
※1：「敬称」で設定した内容に置き換えて表示されます。
※2：「非通知」、「公衆電話」、または「表示圏外」のいずれかです。
※3：「相手不明」固定値とし、表示内容は変更できません。
※4：エスケープコード1つにつき半角2文字分として扱われます。

用件が録音されたことをEメールで通知する

■留守録ボックスのメール設定

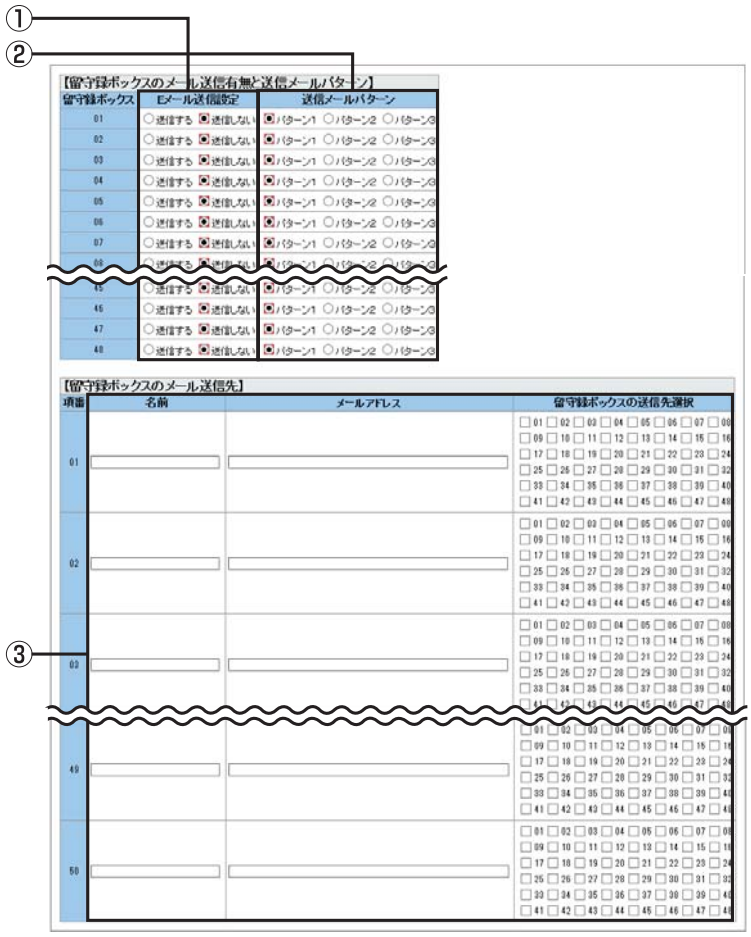
留守録ボックスごとに、Eメール送信を行うかどうかの設定と使用する送信メールパターンを選択し、送信先メールアドレスを設定します。

1 ブラウザを起動した状態で、メニューの「■Eメール設定」➡「■録音通知メール設定」➡「■留守録ボックスのメール送信」をクリックする



2 留守録ボックスのメール送信画面になるので、必要な項目を設定する

- 現在の設定値が表示されます。
- 各設定項目の内容は補足説明をご覧ください。



3 設定が完了したら画面一番下の 登録 をクリックする

- 登録 をクリックする前に、別のページに移動すると変更はすべて無効となります。
- 全ての設定が終了したらブラウザを終了してください。

用件が録音されたことをEメールで通知する

補足説明

●各設定の内容は下記の通りです。

①Eメール送信設定

・Eメール送信を行うかどうかを設定します。初期設定は「送信しない」です。

②送信メールパターン

・送信メール件名と送信メール本文のパターンを1～3の中から選択します。初期設定は「送信パターン1」です。

※各パターンの送信メール件名と送信メール本文の設定は、P5-97をご覧ください。

③名前

・送信先メールアドレスに対応する相手が明確になるよう、名前を設定します。
設定内容はメールには含まれません。

・入力文字数は最大全角で10文字（半角20文字）です。

メールアドレス

・Eメール送信に使用する送信先のメールアドレスを設定します。

・入力文字は半角英数字で、入力文字数は最大256文字です。

留守録ボックスの送信先選択

・留守録ボックスの送信先メールアドレスを指定します。

・チェックあり：送信あり、チェックなし：送信なし（初期設定は「送信なし」）

●メールアドレス欄に入力可能な文字は下記の通りです。

・半角英数字（大文字・小文字）

・半角記号 ! # $ % & ' * + - . / = ? @ ^ _ ` { | } ~

※プロバイダの仕様により、使用可能な文字に制限が発生する場合があります。

●Eメール送信設定（送信の有無）、送信メールパターンは、留守録ボックス毎に設定可能です。

●送信先の名前およびメールアドレスは全留守録ボックス共通で最大50個まで登録でき、登録した送信先メールアドレスの中から各留守録ボックスが使用するものを選択します（複数選択可能）。

●相手名称に半角カナが含まれていた場合は、全角カナに変換して送信します。

用件が録音されたことをEメールで通知する

■内線ボックスのメール設定

内線ボックスごとに、Eメール送信を行うかどうかの設定と使用する送信メールパターンを選択し、送信先メールアドレスを設定します。

1 ブラウザを起動した状態で、メニューの「■Eメール設定」➡「■録音通知メール設定」➡「■内線ボックスのメール送信」をクリックし、対応のサブメニューの内線ボックス（収容位置）の範囲をクリックする

■ Eメール設定
- ■ メールアカウント設定
- ■ Eメール送信履歴表示
- ■ 録音通知メール設定
  - ■ 録音通知メール共通設定
  - ■ 留守録ボックスのメール送信
  - ■ 内線ボックスのメール送信

※サブメニュー

内線ボックスのメール送信
＞対象内線ボックス(収容位置)の範囲

収容位置101～164
収容位置201～264
収容位置301～364
収容位置401～464
収容位置501～556
収容位置601～656
収容位置701～756
収容位置801～928

2 内線ボックスのメール送信画面になるので、必要な項目を設定する

- 現在の設定値が表示されます。
- 各設定項目の内容は補足説明をご覧ください。

3 設定が完了したら画面一番下の 登録 をクリックする

- 登録 をクリックする前に、別のページに移動すると変更はすべて無効となります。
- 全ての設定が終了したらブラウザを終了してください。

用件が録音されたことをＥメールで通知する

補足説明

●各設定の内容は下記の通りです。

①Ｅメール送信設定

・Ｅメール送信を行うかどうかを設定します。初期設定は「送信しない」です。

②メールアドレス

・Ｅメール送信に使用する送信先のメールアドレスを設定します。

・入力文字は半角英数字（大文字・小文字）で、入力文字数は最大256文字です。

③送信メールパターン

・送信メール件名と送信メール本文のパターンを１～３の中から選択します。初期設定は「送信パターン１」です。

※各パターンの送信メール件名と送信メール本文の設定は、P5-97をご覧ください。

●メールアドレス欄に入力可能な文字は下記の通りです。

・半角英数字（大文字・小文字）

・半角記号 ! # $ % & ' * + - . / = ? @ ^ _ ` { | } ~

※プロバイダの仕様により、使用可能な文字に制限が発生する場合があります。

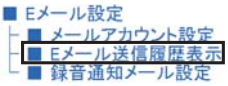
●メールアドレスは、内線ボックスごとに１つ設定できます。

用件が録音されたことをEメールで通知する

■送信履歴表示

Eメール送信した履歴を表示できます。

1 ブラウザを起動した状態で、メニューの「■Eメール設定」➡「■Eメール送信履歴表示」をクリックする



2 送信履歴情報が表示される

- 表示できるのは、512件までです。
- 表示内容は補足説明をご覧ください。
- 更新 をクリックすると最新の送信履歴情報が表示されます。

補足説明

●操作2で 履歴クリア をクリックすると、送信履歴クリア確認用のメッセージボックスを表示し、 OK を選択した場合に送信履歴データが消去されます。

●表示データフォーマットは、下記の通りです。

YYYY/MM/DD hh:mm 種別 TYPE メッセージ

YYYY/MM/DD ： 送信年月日
hh:mm ： 送信時分
種別 ：“BOXxx”または“BOXxxxx”（※1）
TYPE ：“POP3”または“SMTP”
メッセージ ： 各TYPEに対するメッセージ（※2、※3）

※1：留守録ボックスの場合はxx部分が01～48、内線ボックスの場合はxxxx部分が内線番号（1～3桁の場合はスペースを入れて4桁表示）となります。

補足説明

※2：“POP3”のメッセージは下記の通りです。

メッセージ		解説
POP3	Retry:Timer Wait	リトライ開始タイマをスタートしました。
	Retry:Start	リトライ処理を開始しました。
	unable to connect（アドレス：ポート）	POP3サーバに接続できません。
	received APP_CLOSE（アドレス：ポート）	POP3サーバに接続できません。
	unable to connect（ アドレス：ポート）time-out	接続タイムアウト
	USER:Mailbox unavailable	メールIDがありません。
	USER:Reply time-out	応答がタイムアウトしました。
	PASS:Mailbox unavailable or password Error	メールボックスがないかパスワードが正しくありません。
	PASS:Reply time-out	応答がタイムアウトしました。
	APOP:Mailbox unavailable or password Error	メールボックスがないかパスワードが正しくありません。
	APOP:Reply time-out	応答がタイムアウトしました。
	STAT:NG Reply	メール情報を取得できません。
	STAT:Reply time-out	応答がタイムアウトしました。
	RETR:NG Reply	メールを受信できません。
	RETR:Reply time-out	応答がタイムアウトしました。
	message N not found	N番目のメールを受信できません。
	QUIT:NG Reply	NG応答受信
	QUIT:Reply time-out	応答がタイムアウトしました。

※3：“SMTP”のメッセージは下記の通りです。

“SMTP”メッセージ（1/2）

メッセージ		解説
SMTP	Send Mail:Start（アドレス：ポート）	メール送信処理を開始します。
	Send Mail:RCPT:送信先メール番号	送信先メール番号を示します。
	Send Mail:End	メール送信処理を終了しました。
	Retry:Timer Wait	リトライ開始タイマをスタートしました。
	Retry:Start	リトライ処理を開始しました。
	unable to connect（アドレス：ポート）	SMTPサーバに接続できません。
	received APP_CLOSE（アドレス：ポート）	SMTPサーバに接続できません。
	unable to connect（アドレス：ポート）time-out	応答がタイムアウトしました。
	HELO:エラーコードとエラーメッセージ	エラーコードとエラーメッセージ（1）欄参照。
	HELO:Reply time-out	応答がタイムアウトしました。
	MAIL:エラーコードとエラーメッセージ	エラーコードとエラーメッセージ（1）欄参照。
	MAIL:Reply time-out	応答がタイムアウトしました。
	RCPT:送信先メール番号:エラーコードとエラーメッセージ	エラーコードとエラーメッセージ（1）欄参照。
	RCPT:送信先メール番号:Reply time-out	応答がタイムアウトしました。

用件が録音されたことをEメールで通知する

補足説明

“SMTP”メッセージ（2/2）

メッセージ			解説
SMTP	DATA:エラーコードとエラーメッセージ		エラーコードとエラーメッセージ（1）欄参照。
	DATA:Reply time-out		応答がタイムアウトしました。
	data_message:エラーコードとエラーメッセージ		エラーコードとエラーメッセージ（1）欄参照。
	data_message:Reply time-out		応答がタイムアウトしました。
	QUIT:エラーコードとエラーメッセージ		エラーコードとエラーメッセージ（1）欄参照。
	QUIT:Reply time-out		応答がタイムアウトしました。
	AUTH:エラーコードとエラーメッセージ		エラーコードとエラーメッセージ（2）欄参照。
	AUTH:Reply time-out		応答がタイムアウトしました。
	エラーコードとエラーメッセージ(1)	251 User not local	受信者が存在しない。
		421 <domain> Service not available, closing transmission channel	サービスは利用不能。接続を閉じる。
		450 Requested mail action not taken: mailbox unavailable	メールボックスが利用できないため、要求された処理は実行不能。
		451 Requested action aborted: local error in processing	処理中にエラーが発生。要求された処理は失敗。
		452 Requested action not taken: insufficient system storage	記憶装置の空き領域が不十分なため、要求された処理は実行不能。
		500 Syntax error,command unrecognized	文法に間違いがあるため、コマンドが理解できない。
		501 Syntax error in parameters or arguments	引数の文法に間違いがある。
		502 Command not implemented	指示されたコマンドはこのシステムには実装されていない。
		503 Bad sequence of commands	コマンドの発行順序が間違っている。
		504 Command parameter not implemented	コマンドの引数が未定義。
		550 Requested action not taken: mailbox unavailable	メールボックスが利用できないため、要求された処理は実行不能。
		551 User not local	受信者が存在しない。
		552 Requested mail action aborted: exceeded storage allocation	ディスク不足のため、要求された処理は実行不能。
		553 Requested action not taken: mailbox name not allowed	メールボックスの名前が不適切なため、要求された処理は実行不能。
		554 Transaction failed	処理失敗。
		XXX Unexpected error code	SMTPサーバが未知のエラーコードを返しました。(XXX:未定義エラーコード)
	エラーコードとエラーメッセージ(2)	432 A password transition is needed	パスワードの変更が必要。
		454 Temporary authentication failure	一時的な認証失敗。
		501 Syntax error in parameters or arguments	引数の文法に間違いがある。
		504 Command parameter not implemented	コマンドの引数が未定義。
		530 Authentication required	認証が必要。
		534 Authentication mechanism is too weak	認証メカニズムが弱すぎる。
		535 Authentication failed	認証に失敗。
		XXX Unexpected error code	SMTPサーバが未知のエラーコードを返しました。(XXX:未定義エラーコード)

● “POP3”、“SMTP”のエラーメッセージが送出された際は、ネットワーク管理者にご相談ください。

用件が録音されたことをEメールで通知する

メニュー機能で内線ボックスのEメール通知を設定する

メニュー機能で内線ボックスのEメール通知機能を設定することもできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-22)	–	–

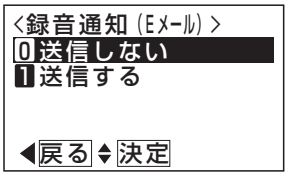
1 メニューから〈録音通知（Eﾒｰﾙ）〉を呼び出す

① [中央] を押します。

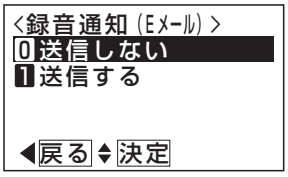
②「**3** 各種機能切替」を選択し、[中央] を押します。

③「**0** その他」を選択し、[中央] を押します。

④「**5** 録音通知(Eﾒｰﾙ)」を選択し、[中央] を押します。

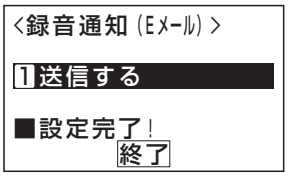


2 [上下左右中央] で選択し、[中央] を押す



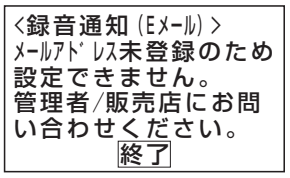
3 設定完了画面が表示される

- [中央] を押すと終了します。



補足説明

●対象の内線ボックスにメールアドレスが登録されていない場合は、操作2のあとでエラーメッセージが表示されます。
[中央] を押すと終了します。



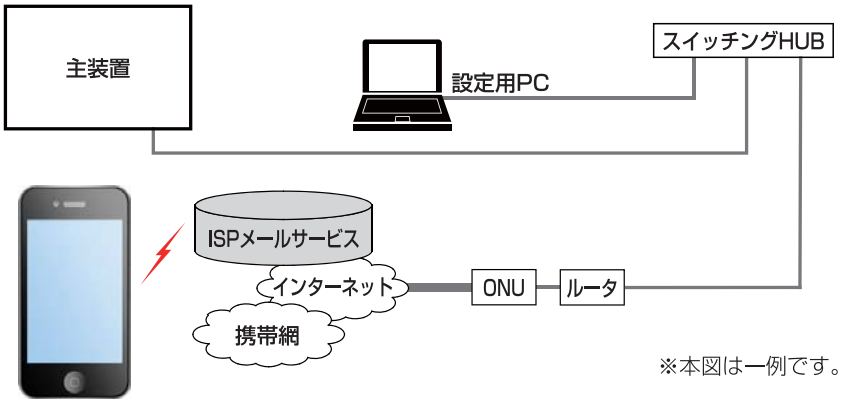
●内線ボックスのEメール通知機能は、Webデータ設定でも可能です。詳細はP5-101をご覧ください。

用件が録音されたことをEメールで通知する

Eメールで通知する

■接続イメージ

下図のように、スイッチングHUBを介して主装置とインターネットを接続し、メールサービスを有効にしてください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。



※本図は一例です。

■Eメールで通知されたとき

ここでは、送信メールの件名および本文を、下記に設定された場合の例を示します。詳細はP5-95～P5-102をご覧ください。

件名：録音通知:%相手名称%[改行]
本文：%録音種別%が入りましたので通知します。%録音日時%に%相手名称詳細%よりメッセージを受け付けました。
アクセス先：%連絡先URL%[改行]
なお、本メールには返信しないでください。

●エスケープコードの内容：
%相手名称% ＝佐藤××商事　　%録音種別% ＝留守録
%録音日時% = 2023/03/24　21:43　　%相手名称詳細% ＝佐藤××商事様（03××××××××）
%連絡先URL% = http://xxxxxxxxxxxxyyyyyy.hoshunet.jp/

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
722-22	–	–

1 Eメールを受信したら、応答する

- 右記の内容が表示されます。
- 携帯電話リモート操作機能を利用している場合、登録している携帯電話で「アクセス先」に記入されているURLを選択すると主装置にアクセスし、留守録ボックスや内線ボックスの再生操作ができます。詳しくは、P7-33をご覧ください。
- メール本文にアクセスの電話番号が表示されている場合は、電話番号を選択すると主装置に電話をかけて留守録ボックスや内線ボックスのメッセージを再生することができます。

件名：録音通知:佐藤××商事様

留守録が入りましたので通知します。
2023/03/24 21:43に佐藤××商事様（03××××××××）よりメッセージを受け付けました。
　アクセス先：http://xxxxxxxxxxxxyyyyyy.hoshunet.jp/
なお、本メールには返信しないでください。

補足説明

●SSLを使用するメール送信（SMTPS（SMTP over SSL）等）は非対応です。

ご注意

●送信メールに音声ファイルを添付することはできません。
●ご利用しているプロバイダのメールサーバの認証方式が変更された場合は、メール送信ができなくなります。
主装置側が対応している認証方式の場合は設定を変更してください。⇒P5-95

電話とファックスを共用する（電話／ファックス自動切替）

電話とファックスを兼用した外線で、ファックスからの着信は自動的に内線に接続したファックスを呼び出します。また、あらかじめ登録した電話番号から電話がかかってきた場合、ファックスではなく、電話呼出に移行できます。

電話とファックスを共用する（電話／ファックス自動切替）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
225	−	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

■着信時の動作

1 外線着信に自動応答し、相手側に呼び出し音（プルルルル…）を送出する

- ファックスからの着信の場合は、ファックスに接続します。
- ファックス以外からの着信の場合は、電話機に着信表示します。

補足説明

●ファックスかどうかは、送信側ファックスからのCNG信号（ポー・ポー音）を検出して判断しますので、判定までに4秒程度かかります。

●外線ごと（ストレートラインDIを使用している場合は、DILIN番号ごと）に着信させるファックスを指定することができます。[工事者設定225]

●ファックスを使用中にファックスからかかってきたときは、回線を切断するか電話機に着信させるかを選択できます。（初期設定は切断）[工事者設定225]

●ファックス以外からの着信の場合に電話機を呼び出す時間は約99秒です。
※呼び出す時間は、9～99秒（9秒単位）で変更することもできます。[工事者設定225]

ご注意

●送信側のファックスがCNG信号を出さない場合はファックスにつながりません。

●本機能を利用する場合、ファックスが接続されている収容位置に対して、外線の着信鳴動をしない設定にしてください。

●ファックス送信する方がハンドセットをとって発信すると、CNG信号が送出されない機器の場合はファックスにつながりません。

知っていると便利なこと

●電話機で応答したときにファックスからの着信だった場合は、一定時間以内（2～20秒、2秒単位で設定）にハンドセットを置くと、自動的にファックスに転送することもできます。[工事者設定225]

●転送電話や留守録などの留守番機能（P4-1）と併用することができます。
留守切替後や夜間切替後に、転送電話や留守録を行いたい場合も、ファックスからの着信はファックスに着信させることができます。

●ストレートラインDI（P5-17）と併用することができます。

●外線お待たせメッセージ（P5-27）と併用することができます。
ファックスからの着信はファックスに着信させ、電話からの着信はお待たせメッセージを流すことができます。

●リモート操作用外線と併用することができます。電話機に着信後、一定時間応答しないとリモート操作に入れます。⇒P7-28

●自動オペレータ（P5-78）／簡易IVR（P5-82）と併用することができます。着信後、送信側ファックスからのCNG信号を検出できなかったときに動作します。

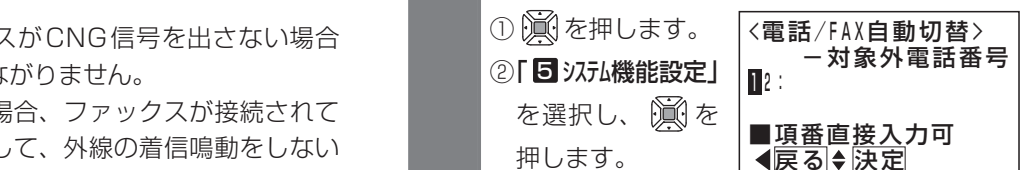
■電話／FAX自動切替対象外の電話番号を登録する

CNG検出を行わない電話番号を登録できます。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから〈電話/FAX自動切替〉ー対象外電話番号を呼び出す

① [メニュー]を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[決定]を押します。
③「8 番号識別機能」を選択し、[決定]を押します。
④「7 電話/ＦＡＸ自動切替」を選択し、[決定]を押します。
⑤「1 対象外電話番号」を選択し、[決定]を押します。



2 登録されていない番号が表示されるので、[決定]を押す

- 登録済みの電話番号を変更するときは、番号を直接入力するか[▲▼]で選択してください。登録済みの場合は電話番号が表示されます。

<電話/FAX自動切替>
ー対象外電話番号
1 2 :
■項番直接入力可
◀戻る ▲▼決定

3 電話/FAX切替対象外の電話番号を入力し、[決定]を押す

- 電話番号は市外局番から入力してください。
- 電話番号をすべて消去して[◀]を押すと、電話/FAX切替対象外の電話番号を消去することができます。

<電話/FAX自動切替>
ー対象外電話番号
12:0501111[1]・・・・
クリア消去
◀ 決定

4 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、[終了]を押します。
- [継続▶]を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

<電話/FAX自動切替>
ー対象外電話番号
12:0501111XXXX
■登録完了!
終了 継続▶

補足説明

●登録できる電話番号は最大12桁、最大32件です。
●登録する電話番号は判定できる桁までの入力で構いません。（例：初期値で設定済みですが、携帯電話の場合は「090」のみを入力）

ファックスの受信を通知する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
224	FAX受信01（801）～ FAX受信15（815）	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

電話機に[FAX受信]ボタンを設定すると、[FAX受信]ランプ、アラーム音、ディスプレイ表示で、FAXの受信を知らせることができます。
本機能を利用するには、[FAX受信]ボタンごとに対応するFAXの内線番号の登録が必要です。

■[FAX受信]ボタンにFAXの内線番号を登録する

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから<FAX受信ﾎﾞﾀﾝ登録>を呼び出す

①[▲▼]を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[▲▼]を押します。
③「0 その他」を選択し、[▲▼]を押します。
④「2 FAX受信ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、[▲▼]を押します。

<FAX受信ﾎﾞﾀﾝ登録>
FAX受信[1]・:
■登録するﾎﾞﾀﾝ番号
(01～15)を入力
クリア再入力
◀戻る

2 登録するFAX受信ボタンの番号を入力し、[決定]を押す

- 内線番号が登録済の場合は、番号を入力すると2行目に内線番号が表示されます。

<FAX受信ﾎﾞﾀﾝ登録>
FAX受信0 1:
■登録するﾎﾞﾀﾝ番号
(01～15)を入力
クリア再入力
◀戻る 決定

3 対応するFAXの内線番号を入力し、[決定]を押す

<FAX受信ﾎﾞﾀﾝ登録>
FAX受信01:107[・]
■登録するFAXの
内線番号を入力
クリア再入力
◀戻る 決定

4 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、[終了]を押します。
- [終了]を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

<FAX受信ﾎﾞﾀﾝ登録>
FAX受信01:107

■登録完了!
終了　継続▶

■FAXを受信したときの操作

1 FAXの受信が完了すると、スピーカからアラーム（ピピ）が聞こえ、[FAX受信]ランプ（赤）が点滅する

- ディスプレイの3行目には「FAXを受信」が表示されます。

7月10日(金) AM10:10
NO.101
FAXを受信

着信音量

2 [FAX受信]ボタンを押すと、FAXの送信元の電話番号または名前が表示される

- 約5秒間表示します。
- 名前は、共通電話帳に登録してある場合に表示されます。

7月10日(金) AM10:10
NO.101
FAXを受信
浅田××××株式会社
クリア通知解除
着信音量

3 操作2の画面を表示中に[クリア]ボタンを押すと、[FAX受信]ランプが消える

- 「FAXを受信」の表示も消えます。

補足説明

●アラーム音の通知、「FAXを受信」の表示は待機中の電話機に対して行います。通話中等の電話機は待機状態に戻ると「FAXを受信」の表示を行います。

●[FAX受信]ランプが点滅中に新たにFAXを受信すると、再度アラーム音が聞こえます。

ご注意

●操作2で表示する相手の電話番号や名前は、最新のもののみです。それ以前の送信元については、他TELの着信履歴（P2-27）を利用してください。最大50件まで確認できます。

●FAX受信通知は登録したFAXが着信し、通信を終了した段階で機能します。FAXで電話を受けた場合やFAXが受信エラーのときも通知されます。

外線通話中にプッシュ信号を送る（トーン切替）

外線がダイヤル式回線（DP回線）でも、通話中のダイヤル操作はプッシュ信号で送ることができます。

■プッシュ信号を送る操作

1 外線と通話中にダイヤルする

- 通話を始めると自動的にプッシュ信号に切り替わります。

補足説明

- ●外線ごとにダイヤル式回線（DP回線）を設定します。[工事者設定126]
- ●着信を受けたときの外線通話でもプッシュ信号を送ることができます。
- ●一度通話を終えると、ダイヤル式（DP式）に戻ります。

ご注意

- ●単独電話機からの切替操作はできません。

知っていると便利なこと

- ●短縮ダイヤルに[#]が登録されていると、以後のダイヤルはプッシュ信号が送られます。
- ●通話となってからも自動的にプッシュ信号に切り替わらないようにも設定できます。[工事者設定405]
  この場合、通話中に[#]を押すと、以後のダイヤルをプッシュ信号で送ることができます。

キャッチホンを利用する

NTTのキャッチホンサービスを利用することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(404)	–	–

1 外線と通話中、その外線にキャッチホン着信があったとき クリア ボタンを押す

• 新たに着信した相手の方と通話できます。

2 クリア ボタンを押す

• 再び元の相手の方との通話に戻ります。

ご注意

●アナログ回線のみ使用可能です。
●キャッチホンを使用する場合は、NTTとの契約が必要です。
●キャッチホン・ディスプレイサービスは、ご利用できません。
●キャッチホンサービスを利用するアナログ回線は、下記機能との併用はできません。
・電話／FAX自動切替
・留守番機能（留守録、転送電話等）
・外線お待たせメッセージ
・不在転送
・非通知着信拒否
・発番号識別着信拒否
・DID
・リモート操作
・センサ接続（外線通知）

チェーンダイヤルで電話をかける

電話帳＋短縮番号の操作を続けて2回以上行うことにより、最大48桁までのダイヤルをすることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
116, (110)	−	−

1 外線 ボタンを押す

- スピーカ ランプが点灯し、外線 ランプ（緑）が周期的に2回消えます。

2 電話帳 ボタン＋短縮番号を押す

- ディスプレイに登録された番号が表示されます。
- 短縮番号を押しているときは、ディスプレイにその番号が表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
0077
*
```

3 続けて次の 電話帳 ボタン＋短縮番号を押す

- 操作2、3で押した短縮番号に該当する電話番号が続けてダイヤルされます。
- ディスプレイに登録された番号が続けて表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
00770312349999
上×商事
```

補足説明

●送出されるダイヤル桁数が48桁になるまで短縮ダイヤル発信を繰り返しできます。
※ISDN回線、IP回線（IPCOI使用時）は最大32桁
例えば
・短縮0000 = 0077、短縮0001 = 0312349999と登録した場合
電話帳 + 0000に続けて 電話帳 + 0001と操作すると、外線には00770312349999が送出されます。
●ダイヤルボタンを押した後、電話帳＋短縮番号を押すこともできます。
●電話帳 ボタン＋短縮番号の代わりに、ワンタッチダイヤル ボタン（P2-19）を押すこともできます。

知っていると便利なこと

●短縮ダイヤル発信時に押す短縮番号は4桁（電話帳内の短縮番号と同一桁数）ですが、1～3桁に変更することもできます(P3-19)。桁数を変更している場合は、チェーンダイヤルで押す短縮番号の桁数も1～3桁となります。詳細は、「短縮番号を指定して電話をかける」の「知っていると便利なこと」をご覧ください。⇒P3-19
※「補足説明」の操作方法では桁数4桁の場合の例で説明しています。
●短縮番号をディスプレイに表示しないようにも設定できます。[工事者設定110]

ご注意

●ISDN回線やIP回線（IPCOI使用時）の場合、すぐにダイヤルを開始しないように設定する必要があります。[工事者設定116]
●チェーンダイヤルで発信したダイヤルはリダイヤル発信できません。
●短縮ダイヤル発信時の番号確認／検索発信機能（P3-20）を利用している場合、チェーンダイヤルで電話をかけることができません。
●共通電話帳に名前が登録してある場合、最後に押した短縮番号に該当する名前のみ表示します。

他の人の外線通話をモニタする（聴話）

他の人の外線通話を聞くことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
411	聴話（990）	−

■聴話する

1 ハンドセットを置いたまま 聴話 ボタンを押す

- 聴話 ランプが点灯します。

2 モニタ（聴話）したい 外線 ボタンを押す

- 外線 ランプが緑の点灯に変わり、スピーカから声が聞こえます。
- ディスプレイにモニタされている外線番号、内線番号が表示されます。

```
7月10日(金) AM10:10
外線ﾓﾆﾀ中

外線01－NO.103
        山田○次郎
```

■解除する

1 聴話 ボタンを押す

- 聴話 ランプが消えます。
- ハンドセットを一旦とってから戻しても解除されます。

補足説明

●通話を聞くだけで、こちらの声は相手の方には聞こえません。
●ハンドセットをとれば、ハンドセットから聴話することができます。
●通話中の電話機が外線を保留したときや、電話を切ったときは、聴話は解除されます。
●聴話する電話機とされる電話機の設定が必要です。［工事者設定411］

ご注意

●サービスクラスG（乙）の電話機から聴話することはできません。
●発着信テナントおよび完全テナントの場合は、他テナントの外線は聴話できません。
●会議通話回路に空きがない場合は、内線側の声は聞こえません。また、聴話を開始するとき「ピピ」とアラーム音が出ます。
●通話録音を行っている外線に対しても聴話できます。
●会議通話を行っている外線は、聴話できません。
●聴話しているときにモニタされている電話機が通話録音を開始しても聴話は継続します。

知っていると便利なこと

●聴話 ボタンを押した後、外線 ボタンの代わりに、外線通話中の電話機の内線番号を押したり、内線ワンタッチ ボタン（P2-37）を押しても聴話できます。
●聴話されているボタン電話機にアラーム音を出すことができます。［工事者設定411］

他の人の外線通話の相手を確認する

他の人が外線と通話しているとき、その相手を確認することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
422	−	−

■外線通話の相手を確認する

1 相手を確認したい 外線 または DILIN ボタンを押す

2 押されたボタンに応じて通話相手の情報が表示される

- クリア ボタンを押すか、一定時間経過すると表示は元に戻ります。

補足説明

●外線通話相手を確認するには設定が必要です。
［工事者設定422］
●共通電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます。
●内線側の情報には、以下が表示されます。
・内線名称または内線番号
・VMU（留守録機能が動作しているとき）
・ドアホン
・センサ
・システム使用中（転送電話や公一公接続で動作しているとき）

ご注意

●割込通話ができる設定になっている電話機は、外線割込通話機能が動作するため、本機能はお使いになれません。

長電話防止のアラームを鳴らす

一定時間でアラームを鳴らす（通話時間お知らせタイマ）

外線通話中に一定時間経過するたびにアラームを鳴らすことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
406	–	–

1 外線通話が一定時間経過するたびに、スピーカよりアラーム（ピピ）が聞こえる

補足説明

- ●アラームを鳴らすか鳴らさないかを設定することができます。[工事者設定406]
- ●アラームを鳴らす時間は、1～7分まで、1分単位で設定可能です。（初期はアラームなし）[工事者設定406]
- ●最初のアラームは「ピピ」が1回、2回目のアラームは「ピピ」が2回、3回目以降のアラームは「ピピ」が3回繰り返されます。

知っていると便利なこと

- ●電話をかけたときのみアラームを鳴らすか、電話をかけたときも受けたときもアラームを鳴らすかを選択することができます。[工事者設定406]

設定した料金でアラームを鳴らす（超過料金アラーム）

設定した料金を超えて外線通話をしたときにアラームを鳴らすことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
132	–	–

1 1通話当たりの料金を超えると、スピーカよりアラーム（ピピ）が聞こえる

- • アラームは2秒おきに3回繰り返されます。

補足説明

- ●アラームの有無を設定することができます。（通話時間お知らせタイマと共通）[工事者設定406]
- ●料金が加算されるたびに、アラームが鳴ります。

不在のときに電話を転送する（不在転送）

内線への転送

不在時にかかってきた電話を他の電話機に転送することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(527)	不在設定（984）	−

■不在転送先（内線）を登録／変更する

1 メニューから〈不在時/話中時機能〉を呼び出す

① を押します。
②「**4** 電話機毎機能設定」を選択し、 を押します。
③「**7** 不在時/話中時機能」を選択し、 を押します。

<不在時/話中時機能>
1 不在転送
2 話中応答遅延転送
3 不在転送先（内線）
4 不在転送先（外線）
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

2 で「3** 不在転送先（内線）」を選択し、 を押す**

<不在時/話中時機能>
1 不在転送
2 話中応答遅延転送
3 不在転送先（内線）
4 不在転送先（外線）
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

3 現在の登録内容が表示されるので、 を押す

- 画面は未登録時の例です。

<不在転送先（内線）>
NO.
◀戻る 決定

4 で「1** 登録/変更」を選択し、 を押す**

<不在転送先（内線）>
1 登録/変更
2 消去
◀戻る ▲▼決定

5 転送先の内線番号を入力し、 を押す

- 内線番号を入力すると、内線名称（登録時）が表示されます。
- で内線番号を検索することもできます。

<不在転送先（内線）>
NO. 103
山田○次郎
■内線番号入力
クリア 再入力
◀戻る ▲▼決定

6 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、 を押します。
- を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。

<不在転送先（内線）>
NO. 103
山田○次郎
■登録完了!
終了 継続▶

補足説明

●不在転送先（内線）を消去するときは、操作4で「**2** 消去」を選んで、 を押したあと、消去の確認画面が表示されたら、 を押してください。

知っていると便利なこと

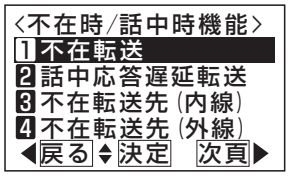
●操作5で内線番号の代わりに「VMUアクセス番号」（初期値199）を入力すると、転送先をボイスメモにすることができます。詳細はP5-90をご覧ください。

不在のときに電話を転送する（不在転送）

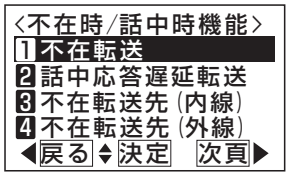
■不在転送をセットする

1 メニューから〈不在時／話中時機能〉を呼び出す

① ◉ を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、◉ を押します。
③「**7 不在時/話中時機能**」を選択し、◉ を押します。



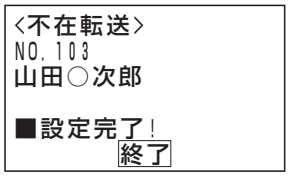
2 ◉ で「1 不在転送」を選択して、◉ を押す



3 ◉ で「1 不在転送（内線）」を選択し、◉ を押す

4 設定完了画面が表示されるので、◉ を押す

- 不在転送先が表示されます。



5 不在転送状態の画面となる

- 不在設定 ランプが速い点滅になります。

■不在転送を解除する

1 不在設定 ボタンを押すか、ハンドセットをとる

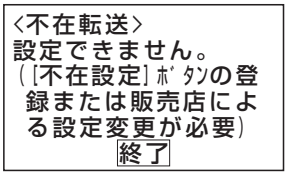
- スピーカ ボタンを押しても解除できます。
- 不在設定 ランプが消えます。

補足説明

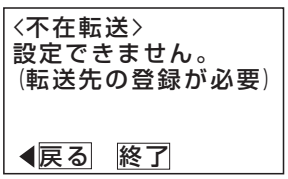
●内線に転送できる着信は下記のとおりです。
- 内線着信
- ダイレクトインダイヤル
- ダイヤルイン
- ISDNのサブアドレスダイヤルイン
- i・ナンバー
- 発番号ホットラインの内線呼出
- ダイレクトインライン着信
- ドアホン着信
- 専用線着信
- 外線着信
- 外線の各種一般着信
- ストレートラインDI

ご注意

●設定中は電話機を使うことができません。
●転送先が不在転送、内線代表、話中転送、応答遅延転送を設定していても、その先までは転送できません。
●完全テナントの場合、内線着信以外はテナント外の電話機に転送されません。
●不在設定 ボタンの設定がなく、オフフック解除不可の場合、下記のメッセージが表示されます。不在設定 ボタンを登録するか、主装置の設定変更が必要です。[工事者設定527]



●不在転送先が登録されていない場合は、下記メッセージが表示されます。



不在のときに電話を転送する（不在転送）

知っていると便利なこと

- ボタン電話機のみ、ハンドセットをとっても解除できないようにすることができます。[工事者設定527]
- 不在設定ボタン＋保留ボタンを押しても操作3の画面となります。
- 単独電話機や各コードレス電話機は特番操作で不在転送先の登録や不在転送のセットを行います。ボタン電話機でも特番で操作することができます。⇒P5-173

不在のときに電話を転送する（不在転送）

外線への転送

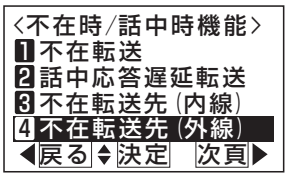
不在時にかかってきたダイヤルイン（DI）、ダイレクトインダイヤル（DID）、ISDNのサブアドレスダイヤルイン、i・ナンバー、発番号ホットラインの呼出または内線着信をあらかじめ指定した外線に転送することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
528	不在設定（984） 不在転送（外線）（960）	−

■不在転送先（外線）を登録／変更する

1 メニューから〈不在時／話中時機能〉を呼び出す

① ⊛ を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、⊛ を押します。
③「**7 不在時／話中時機能**」を選択し、⊛ を押します。
④「**4 不在転送先（外線）**」を選択し、⊛ を押します。

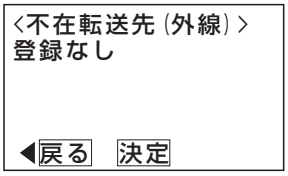


2 ⊛ で「1 自電話機」を選択し、⊛ を押す

• 他の電話機の転送先を設定するときは、「**2 他電話機**」を選択してください。

3 現在の登録内容が表示されるので、⊛ を押す

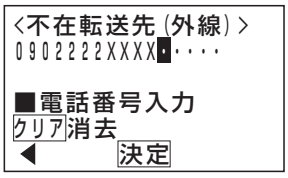
• 画面は未登録時の例です。



4 ⊛ で「1 登録／変更」を選択し、⊛ を押す

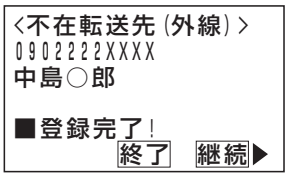
5 転送先の電話番号を入力し、⊛ を押す

• 登録済みの場合はその内容が表示されます。
• ⊛ でカーソル位置を左右に移動できます。



6 登録完了画面が表示される

• 終了する場合は、⊛ を押します。
• ⊛ を押すと操作1-④に戻り、操作を繰り返すことができます。



補足説明

●転送先の電話番号は16桁まで入力できます。
●転送先をセットしたとき、転送先の電話番号が共通電話帳に登録されている場合、名前も表示されます。
●転送先電話番号の設定は、工事者設定でも行えます。[工事者設定528]
●不在転送先を消去するときは、操作4で「**2 消去**」を選んで、⊛ を押したあと、消去の確認画面が表示されたら、⊛ を押してください。
●他の電話機の転送先も設定できます。操作2で「**2 他電話機**」を選んで、内線番号入力すると操作3に進みます。（データ設定用電話機のみ）

知っていると便利なこと

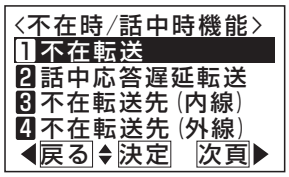
●単独電話機や各コードレス電話機は特番操作で不在転送先の登録や不在転送のセットを行います。ボタン電話機でも特番で操作することができます。⇒P5-174

不在のときに電話を転送する（不在転送）

■不在転送をセットする

1 メニューから〈不在時/話中時機能〉を呼び出す

① ◉ を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、◉ を押します。
③「**7 不在時/話中時機能**」を選択し、◉ を押します。

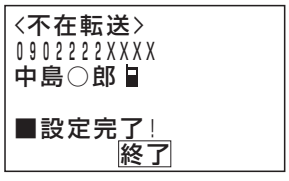


2 ◉ で「1 不在転送」を選択し、◉ を押す

3 ◉ で「2 不在転送（外線）」を選択し、◉ を押す

4 設定完了画面が表示されるので ◉ を押す

- 不在転送先が表示されます。



5 不在転送状態の画面となる

- 不在設定 ランプが速い点滅になります。

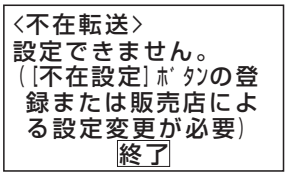
■不在転送を解除する

1 不在設定 ボタンを押すか、ハンドセットをとる

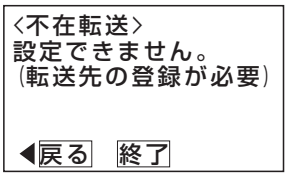
- 不在設定 ランプが消えます。
- スピーカ ボタンを押しても解除されます。

ご注意

- ●設定中は電話機を使うことができません。
- ●不在転送の通話は、約60分で強制的に切れます。（切れる10秒前に、“ピッ”という警報音が聞こえます。）
  ※通話時間は、変更することもできます。[工事者設定528]
- ●フリーダイヤルなどの応答信号のない番号を転送先に設定することはできません。
- ●PBXの内線に収容されている場合は、転送できません。
- ●不在設定 ボタン／不在転送（外線） ボタンの設定がない状態で、オフフック解除不可の場合、下記のメッセージが表示されます。
  上記のボタンを登録するか、主装置の設定変更が必要です。[工事者設定528]



- ●不在転送先が登録されていない場合は、下記メッセージが表示されます。



- ●メニューから不在転送を解除することはできません。

知っていると便利なこと

- ●ボタン電話機のみ、ハンドセットをとっても解除できないようにすることができます。[工事者設定528]
- ●不在設定 ボタン＋保留 ボタンを押しても操作3の画面となります。
- ●不在転送（外線） ボタンを使うと、ワンタッチで設定／解除できます。

不在のときに電話を転送する（不在転送）

外出先から不在転送をセット／解除する

外出先からリモート操作で転送先を変更したり、不在転送のオン／オフをすることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
228	不在設定（984）	−

1 リモート操作用の外線に電話をかける

2 一定時間後に一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が聞こえる

3 [#]＋パスワード（4桁）を押す

- パスワードが正しい場合は連続音（プー）が聞こえます。
- パスワードを間違えた場合は話中音（ツーツー…）が聞こえます。[*]を押すと操作3をやり直すことができます。
- パスワードが登録されていない場合は、パスワードは省略できます。この場合、[#]を押した時点で無音となります。

4 転送をオンにするときは、

[0][7]＋内線番号*＋[1]＋[#]を押す

転送をオフにするときは、

[0][7]＋内線番号*＋[0]＋[#]を押す

転送先の電話番号を変更するときは、

[0][8]＋内線番号*＋転送先電話番号＋[#]を押す

- 内線番号は不在転送を行う電話機の内線番号を入力します。

*番号を可変桁にしている場合は、内線番号のあとに[#]を押してください。

5 設定完了を示す音声アナウンスまたは連続音（プー）が聞こえる

- 音声アナウンスまたは連続音（プー）が聞こえた後は、操作4を繰り返し行えます。

6 電話を切る

補足説明

- 操作1～3は一例です。リモート操作についての詳細は、P7-28をご覧ください。
- 転送先の電話番号は16桁まで入力できます。
- 設定できるのは外線への転送のみです。

知っていると便利なこと

- 操作3や操作4を間違えたときは、[*]を押すと操作3からやり直しできます。
  [*]を押したときに一時応答信号にならない場合は、もう一度[*]を押してください。
- 転送をオンにしたときは、音声メッセージ「転送を設定しました。」、転送をオフにしたときは、音声メッセージ「転送を解除しました。」が流れます（設定完了アナウンス）。⇒P7-26
  音声メッセージが流れたあとは連続音（プー）となります。

ご注意

- 設定完了アナウンスに使用するボイスメモが全て使用中の場合は、連続音（プー）が流れます。

内線からの呼び出しに出られないとき

話中・応答遅延転送

内線から呼び出しがあったとき、話し中やすぐに電話に出られないときなどは、あらかじめ設定した電話機に自動的に転送することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(531)	−	−

■転送先を登録／変更する

1 メニューから〈不在時/話中時機能〉を呼び出す

① ▣ を押します。
②「**4** 電話機毎機能設定」を選択し、▣ を押します。
③「**7** 不在時/話中時機能」を選択し、▣ を押します。

〈不在時/話中時機能〉
1 不在転送
2 話中応答遅延転送
3 不在転送先(内線)
4 不在転送先(外線)
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

2 ▣ で「5 話中応答遅延転送先」を選択して、▣ を押す

〈不在時/話中時機能〉
2 話中応答遅延転送
3 不在転送先(内線)
4 不在転送先(外線)
5 話中応答遅延転送先
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

3 現在の登録内容が表示されるので、▣ を押す

- 画面は未登録時の例です。

〈話中応答遅延転送先〉
NO.
◀戻る 決定

4 ▣ で「1 登録/変更」を選択し、▣ を押す

〈話中応答遅延転送先〉
1 登録/変更
2 消去
◀戻る ▲▼決定

5 転送先内線番号を入力し、▣ を押す

- 内線番号を入力すると、内線名称（登録時）が表示されます。
- ▣ で内線番号を検索することもできます。

〈話中応答遅延転送先〉
NO.103
山田○次郎
■内線番号入力
クリア 再入力
◀戻る ▲▼決定

6 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣ を押します。
- ▣ を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。

〈話中応答遅延転送先〉
NO.103
山田○次郎
■登録完了!
終了 継続▶

■転送先を消去する

1 メニューから〈不在時/話中時機能〉を呼び出す

① ▣ を押します。
②「**4** 電話機毎機能設定」を選択し、▣ を押します。
③「**7** 不在時/話中時機能」を選択し、▣ を押します。

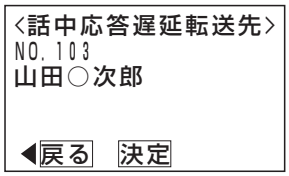
〈不在時/話中時機能〉
1 不在転送
2 話中応答遅延転送
3 不在転送先(内線)
4 不在転送先(外線)
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

2 ▣ で「5 話中応答遅延転送先」を選択して、▣ を押す

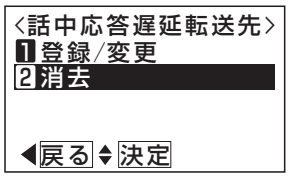
〈不在時/話中時機能〉
2 話中応答遅延転送
3 不在転送先(内線)
4 不在転送先(外線)
5 話中応答遅延転送先
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

内線からの呼び出しに出られないとき

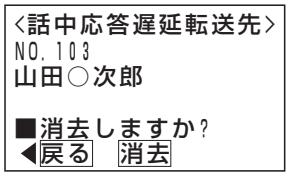
3 現在の登録内容が表示されるので、を押す



4 で「2消去」を選択し、を押す

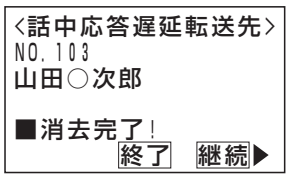


5 消去確認画面が表示されるので、を押す



6 消去完了画面が表示される

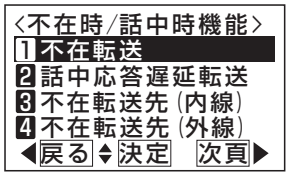
- 終了する場合は、を押します。
- を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。



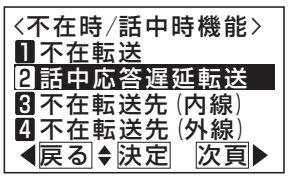
■話中応答遅延転送の機能をセットする／解除する

1 メニューから〈不在時/話中時機能〉を呼び出す

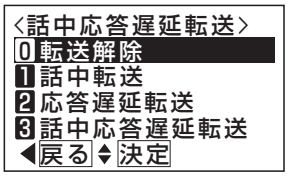
① を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、を押します。
③「**7 不在時/話中時機能**」を選択し、を押します。



2 で「2話中応答遅延転送」を選択し、を押す

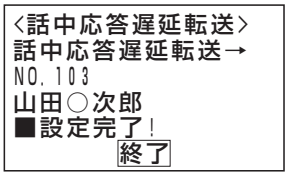


3 で設定したいモードを選択し、を押す



4 設定完了画面または解除完了画面が表示されるので、を押す

- 選択したモードと転送先が表示されます。



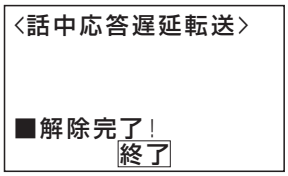
5 待機画面に戻ると、ディスプレイに設定した転送状態が表示される

- 選択したモードが表示されます。
- 転送解除をすると通常の待機画面となります。

内線からの呼び出しに出られないとき

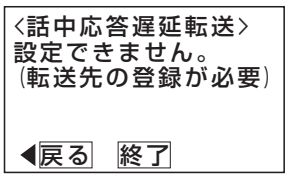
補足説明

●本機能の動作モードは以下の３種類があります。
・話中転送　　：話し中の時に転送します。
・応答遅延転送　　：一定時間呼び出した後に転送します。
・話中応答遅延転送：上記が両方とも機能します。
●応答遅延転送までの時間は約30秒です。この間に電話に出ないと、他の電話機を呼び出します。
※転送までの時間は、10～70秒、10秒単位で変更することもできます。[工事者設定531]
●内線着信以外に、下記の着信も転送できます。
・ダイレクトインダイヤル
・ダイヤルイン
・ISDNのサブアドレスダイヤルイン
・i・ナンバー
・発番号ホットラインの内線呼出
・ダイレクトインライン着信
●操作３で**「0 転送解除」**を選択したときは、操作４は「解除完了画面」となります。



ご注意

●転送先が不在転送、内線代表、話中転送、応答遅延転送を設定していても、その先までは転送できません。
●完全テナントの場合、内線着信以外はテナント外の電話機に転送されません。
●転送先が登録されていない場合は、下記メッセージが表示されます。



●話中・応答遅延転送をセットしているときに、話中・応答遅延転送先の転送先を消去すると、転送機能は解除されます。

内線着信を電話機グループに転送する（マルチ呼び）

内線から呼び出しがあったとき、あらかじめ設定しておいた電話機グループに転送することができます。宿泊施設のフロントの電話などに設定してご利用ください。
本機能を利用するには、内線一般着信（P2-55）の設定が必要です。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
535	マルチ呼び切替１～５(821～825)	－

■設定するとき

1 マルチヨビ切替( ) **ボタンを押す**

- マルチヨビ切替( )ランプ（赤）が点灯し機能が設定されます。
- もう一度ボタンを押すとランプが消え機能は解除されます。

補足説明

●転送の対象となる電話機とグループを設定する必要があります。[工事者設定535]
●転送の対象となる電話機は５台まで設定できます。
●本機能は他の転送機能（不在転送、内線代表、話中・応答遅延転送）よりも優先して動作します。
●転送したあとは、内線一般着信となります。

ご注意

●他の転送機能（不在転送、内線代表、話中・応答遅延転送）によって本機能が設定されている電話機に転送されたときは、本機能は動作しません。
●本機能の動作中には内線ハンズフリー機能は動作しません。（転送先、転送元ともに動作しません）
●DILINボタンの空きがない場合には転送できません。

内線からの呼び出しに出られないとき

内線代表

呼び出す相手が話し中の場合に、あらかじめ設定された電話機を呼び出します。次の呼出先も話し中の場合は、さらに次の電話機を呼び出します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
523	−	−

■動作例

1 ハンドセットをとり 1 0 2 を押す

2 内線番号102の電話機が話し中⇒自動的に内線番号103の電話機が着信する

3 内線番号103の電話機が応答すると通話になる

補足説明

- ●スライドする電話機は、最初に呼び出す電話機を含めて16台までです。
- ●電話機ごとにスライド先を1台だけ設定できます。[工事者設定523]
- ●内線着信以外に、下記の着信もスライドできます。
  - ・ダイレクトインダイヤル、ダイヤルイン、ISDNのサブアドレスダイヤルイン、i・ナンバー、発番号ホットラインの内線呼出
- ●スライド先が全て呼び出せない場合は、最初に呼び出した電話機の状態により、下記のようになります。
  - ・内線／外線通話中の場合は、ウェイティング音（ツツ、ツツ…）が聞こえ、内線キャンプオン（P2-40）になります。
  - ・通話中以外で呼び出せない場合は、話中音（ツーツー…）になります。

ご注意

- ●最初に呼ばれた電話機に内線着信拒否、不在表示、不在転送、話中転送が設定されていると、内線代表は機能しません。設定されている各機能が動作します。
- ●スライド途中の電話機に内線着信拒否、不在表示、不在転送が設定されていると、話し中の扱いとなり内線代表は機能します。
- ●完全テナントの場合、内線着信以外はテナント外の電話機にスライドしません。

内線着信拒否

内線から電話をかけてきた人に話中音（ツーツー…）を聞かせることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
（526）	不在設定（984）	−

■設定するとき

1 ハンドセットを置いたまま 不在設定 ボタンを押す
（スピーカ ランプも消えていること）
- 不在設定 ランプが点灯します。

■設定を解除するとき

1 不在設定 ボタンを押すか、ハンドセットをとる
- 不在設定 ランプが消えます。

補足説明

- ●内線着信以外に、下記の着信も拒否できます。
  - ・ダイレクトインダイヤル、ダイヤルイン、ISDNのサブアドレスダイヤルイン、i・ナンバー、発番号ホットラインの内線呼出
- ●設定中は、外線着信音も鳴らなくなります。

ご注意

- ●設定中は、電話機を使うことができません。

知っていると便利なこと

- ●ハンドセットをとっても解除できないようにすることができます。[工事者設定526]

内線からの呼び出しに出られないとき

不在表示

不在表示を設定した電話機にかけると、ディスプレイに不在理由が表示されます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(529)	不在設定 (984)	−

■不在表示を設定するとき

1 メニューから〈不在時/話中時機能〉を呼び出す

①[中央]を押します。
②「**4** 電話機毎機能設定」を選択し、[中央]を押します。
③「**7** 不在時/話中時機能」を選択し、[中央]を押します。

```
〈不在時/話中時機能〉
1 不在転送
2 話中応答遅延転送
3 不在転送先(内線)
4 不在転送先(外線)
◀戻る ▲▼決定 次頁▶
```

2 [中央]で「6 不在表示」を選択し、[中央]を押す

- [中央]を押した段階で 不在設定 ランプが遅い点滅になります。

```
〈不在時/話中時機能〉
3 不在転送先(内線)
4 不在転送先(外線)
5 話中応答遅延転送先
6 不在表示
◀戻る ▲▼決定 次頁▶
```

3 [中央]で表示する内容を選択し、[中央]を押す

- **5** ～ **9** はユーザが内容を登録できます。(登録方法は P5-128 をご覧ください)

```
〈不在表示内容〉
1 休みです
2 出張です
3 離席です
4 外出です
◀戻る ▲▼決定
```

4 [中央]で不在期間の表示方法を選択し、[中央]を押す

- 「**0** 表示なし」を選択すると、操作3で選択した内容のみ表示します。

```
〈不在期間表示方法〉
0 表示なし
1 時刻表示
2 月日表示
◀戻る ▲▼決定
```

5 不在終了時刻、または不在終了月日を入力し、[中央]を押す

- 必ず4桁の数字を入力してください。
- 操作4で「**0** 表示なし」を選択した場合は、本画面は表示されません。

■時刻表示を選択時

```
〈不在期間表示〉
15:30まで
■不在終了時刻を入力
(00:00～23:59)
クリア再入力
◀戻る 決定
```

■月日表示を選択時

```
〈不在期間表示〉
07/13まで
■不在終了月日を入力
(月2桁+日2桁)
クリア再入力
◀戻る 決定
```

6 設定完了画面が表示されるので、[中央]を押す

- 選択した不在表示内容と不在期間が表示されます。

```
〈不在表示〉
出張です
07/13まで
■設定完了!
終了
```

7 不在表示状態の画面となる

- 不在設定 ランプが速い点滅になります。

```
7月10日(金) AM10:10
不在表示 07/13まで
出張です
```

内線からの呼び出しに出られないとき

■不在表示を解除するとき

1 不在設定 ボタンを押すか、ハンドセットをとる

- スピーカ ボタンを押しても解除できます。
- 不在設定 ランプが消えます。

補足説明

●操作5で入力する数字の意味は、自由に決めてください。（動作に影響はありません）

（例） 0915 ＝ 9時15分まで不在
0915 ＝ 9時～15時まで不在
0915 ＝ 9月15日まで不在
0915 ＝ 9日～15日まで不在

知っていると便利なこと

● 不在設定 ボタン＋ # ボタンを押しても操作3の画面となります。

■不在表示内容を登録／変更する

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから〈不在表示内容登録〉を呼び出す

① ⊡ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊡ を押します。
③「0 その他」を選択し、⊡ を押します。
④「7 不在表示内容登録」を選択し、⊡ を押します。

<不在表示内容登録>
5 会議中です
6 帰宅しました
7
8
◀戻る ◆決定

2 ⊡ で不在表示内容を登録／変更したい番号を選択し、⊡ を押す

- すでに登録されている場合は、その内容が表示されます。

<不在表示内容登録>
6 帰宅しました
7
8
9
◀戻る ◆決定

3 ダイヤルボタンで不在表示内容を入力し、⊡ を押す

- ディスプレイの右上に現在登録中の番号（例：7）が表示されます。
- 不在表示内容は全角で7文字まで入力できます。
- 詳しい方法は、「文字入力方法」（P3-15）をご覧ください。

<不在表示内容登録> 7
食事中です･･･
漢｝
切替ｶﾅ入力
ｸﾘｱ消去
◀ 完了

4 登録完了画面となる

- 終了する場合は、⊡ を押します。
- ⊡ を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。

<不在表示内容登録> 7
食事中です

■登録完了!
終了 継続▶

■発信した電話機の表示

1 不在表示を設定した電話機を呼び出す

- 不在表示メッセージが表示されます。
- 話中音（ツーツー…）が聞こえます。

7月10日(金) AM10:10
106 出張です
07/13まで

内線通話中にプッシュ信号を送る（内線PBダイヤル送出）

プッシュ信号を受信してサービスを行う端末（以下「PB信号受信端末」とします）を内線に接続した場合、内線通話中にPB信号受信端末にプッシュ信号を送り、サービスを受けることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
572	–	–

1 ハンドセットをとる

2 PB信号受信端末の内線番号を押す（通常の内線番号と同じ）

- PB信号受信端末が応答します。

3 ダイヤル操作する

- プッシュ信号が送られ、PB信号受信端末のサービスを受けられます。

補足説明

●PB信号受信端末はシステムあたり最大8台まで接続可能です。

ご注意

●使用するPB信号受信端末によっては、プッシュ信号をうまく受けられない場合があります。そのときは、プッシュ信号の送出時間を変えてみてください。[工事者設定572]

●回転ダイヤル式（DP式）の単独電話機を使ってPB信号受信端末と通話中の場合、特番による保留（2ダイヤル保留）はできません。ダイヤルはそのままプッシュ信号としてPB信号受信端末に送られます。

停電用アダプタ（PFIU、PFU）の使い方

オプションの停電用アダプタを電話機に取り付けると、停電時（停電用電話機以外は使用できない状態）に外線を使うことができるようになります。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(417)	–	ET-PFIU-XiまたはET-PFU-Xi

■停電時に外線電話をかけるとき

1 ハンドセットをとる

2 相手の方の電話番号を押す

3 相手の方が応答したら通話する

■停電時に外線から電話がかかってきたとき

1 着信音が聞こえたら、ハンドセットをとる
- アナログ外線でナンバー・ディスプレイを契約時は、着信音が短い間隔で約６秒間鳴ってから通常の鳴り方になります。通常の鳴り方になってからハンドセットをとってください。

2 相手の方と通話する

補足説明

●アナログ外線停電時は、決められた１つの外線を１台の電話機で使用できます。

ご注意

●停電用アダプタを使用することのできる電話機は、標準電話機（SD）、IP標準電話機（IPSD）です。
●停電時は、下記の機能以外は使用できません。
・電話をかける
・外線からの電話を受ける
●外線から着信があっても、電話機の外線ランプは点滅しません。
●通話中に停電になった場合は電話が切れますので、かけなおしてください。
●ISDN停電用アダプタ（PFIU）が取り付けられた電話機は、停電中に通話をしていたときに、停電が解除された場合は電話が切れますので、かけなおしてください。

知っていると便利なこと

●ISDN停電用アダプタ（PFIU）が取り付けられた電話機の場合、プリセット発信（ダイヤルボタンを押してからハンドセットをとる）をすることができます。

IP回線（IPCOI）を使う

IP回線を利用すると、外線の通話料金を節約することができます。IP回線でも一般の外線と同じように電話をかけたり電話を受けたりできます。
設定や登録に関しては、IPネットワークに関する知識が必要となりますので、販売店にご依頼ください。

電話をかける

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
770-1	−	ET-「 」IPCOI-Xi ET-8IPCOIEX-XiL LA LB

■電話番号で電話をかける

SIPサーバに登録されていると、電話番号で電話をかけることができます。

1 ハンドセットをとる

2 空いている（ランプの消えている）外線ボタンを押す
- 外線ランプ（緑）が点灯し、周期的に2回消えます。
- 発信音（ツー）が聞こえます。

3 相手の方の電話番号を押す

4 相手の方が応答したら通話する

補足説明

●上記操作は一例です。詳しくは、「外線に電話をかけるとき」（P2-1）をご覧ください。
●ダイヤル操作後、#を押すとすぐにダイヤルを送ることができます。

ご注意

●IP回線でかけられない電話番号の場合は、NTT回線を収容した外線ボタンを押してください。接続するIP回線によって、これらの番号は異なります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。また、「特定番号迂回発信」（P5-1）を利用して、ダイヤルした番号によって使用する外線を切り替えることも可能です。

知っていると便利なこと

●相手側の外線がDID設定の場合、電話番号をダイヤルすると一定時間後に一次応答信号（発信音ツツツ…やメッセージ）が聞こえますので、内線番号をダイヤルします。（音声圧縮がG.711のみ利用可能）
●ストレートラインDI（P5-17）を利用することもできます。
●外線ボタンまたはDILIN番号ごとに番号の通知／非通知を設定することができます。［工事者設定770-1］
●主装置の番号通知設定に関わらず、番号通知ボタン、番号非通知ボタンは優先して機能します。
●ひかり電話以外で一般の電話にかけるとき、市内であっても市外局番のダイヤルが必要です。IPCOIに市外局番を設定しておくと、市外局番をダイヤルしないで市内電話をかけることができるようになります。設定に関しては、販売店にご依頼ください。

IP回線（IPCOI）を使う

■IP電話でかけられないときは

IP回線に障害が発生したときやかけられない電話番号をダイヤルしたとき、NTT回線を使って電話をかける迂回機能を利用できます。迂回機能は下記の3種類から選択できます。

- **自動迂回（表示なし）：自動的にNTT回線を使って発信します。**
- **自動迂回（表示あり）：自動的にNTT回線を使って発信し、ディスプレイに「■IP回線以外で発信中」を表示します。**
- **手動迂回：操作によって迂回発信するか中止するかを選択します。（下記の操作は手動迂回の場合です。）**

1 電話をかけられないときは、「■IP回線以外で発信」が表示される

```
10月 1日(金) AM10:10
0501234XXXX
あい×××通信工業
■IP回線以外で発信
(相手接続不可)
YES=[ﾘﾀﾞｲﾔﾙ] NO=[ｸﾘｱ]
```

2 NTT回線を使ってかけるときは、リダイヤル ボタンを押す

- 中止するときは、クリア ボタンを押します。

```
10月 1日(金) AM10:10
0501234XXXX
あい×××通信工業
■IP回線以外で発信
(相手接続不可)
YES=[ﾘﾀﾞｲﾔﾙ] NO=[ｸﾘｱ]
```

3 NTT回線を使って再発信する

```
10月 1日(金) AM10:10
0501234XXXX
あい×××通信工業
■IP回線以外で発信中
(相手接続不可)
```

補足説明

- 「自動迂回（表示あり）」の場合は、操作2はありません。
- かけられない番号があらかじめわかっている場合は、「特定番号迂回発信」（P5-1）を利用すると、初めからNTT回線を使って電話をかけることができます。
- 迂回するときに使用する外線は、主装置側の設定が必要です。［工事者設定770-1］
- 回線に障害が発生しているときや、IPCOIの運用を停止しているときに注意表示をすることができます。（外線 ボタンを赤点灯にし、すべてのボタン電話機に下記の表示をします。）［工事者設定770-1］

```
 7月10日(金) AM10:10
NO.101
中島○郎
IP回線使用不可!
他回線を使用ください
着信音量
```

ご注意

- 外線 ボタンを押しても発信音（ツー）が聞こえない場合は、迂回できません。
- 接続不可の相手の場合でも、ご利用になっているIP電話サービス事業者やダイヤルした番号によっては、迂回できない場合があります。
  音声案内などが聞こえる場合などは迂回できませんので、NTT回線を収容した 外線 ボタンを押してかけ直してください。
- 相手の方が話し中でかけられない場合は、迂回できません。

IP回線（IPCOI）を使う

■拠点番号で電話をかける（拠点番号発信）

IP電話インタフェースユニットに拠点番号等が登録されていると、拠点番号と相手の内線番号をダイヤルして、内線電話をかけることができます。
IP-VPNで拠点間を接続しているときに拠点番号発信を使用します。

1 ハンドセットをとる

2 空いている（ランプの消えている）外線ボタンを押す
- 外線ランプ（緑）が点灯し、周期的に2回消えます。
- 発信音（ツー）が聞こえます。

3 拠点番号＋相手の方の内線番号を押す

4 相手の方が応答したら通話する

補足説明

●ダイヤル操作後、#を押すとすぐにダイヤルを送ることができます。
●LD専用線/OD専用線と同様に統一番号方式を利用することもできます。⇒P5-136

ご注意

●拠点番号はIP電話インタフェースユニットに設定が必要です。設定に関しては、販売店にご依頼ください。
●番号計画によっては拠点番号の一部に相手の内線番号の先頭桁が含まれる場合があります。

知っていると便利なこと

●相手側も本機と同シリーズのIP電話インタフェースユニットを使用している場合には、
・「拠点番号発信」は迂回機能を利用することができます。
相手のゲートウェイがすべて使用中や応答しない場合は、最大3カ所まで他のゲートウェイに自動的に迂回できます。
・「拠点番号発信」で内線番号を省略することができます。
この場合、特定の電話機は呼び出さずに一般着信になります。
・転送電話（P4-5）でかかってきた電話を自動転送するときに、発信者の電話番号を転送先の電話機に表示させることができます。
また、外線着信の通話を手動転送（P2-11）する場合は、発信者の電話番号を転送先の電話機に表示させるか、させないかをシステム一括で選択できます。
※本機能は、電話を受ける外線がナンバー・ディスプレイに対応していて、発信者の電話番号通知があるときのみ可能です。
［工事者設定770-3］

IP回線（IPCOI）を使う

盗聴防止機能を利用する

相手側も盗聴防止機能を持っているIP電話インタフェースユニットを使用している場合は、盗聴防止機能を利用することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
770-2	盗聴防止（985）	ET-[ ]IPCOI-Xi ET-8IPCOIEX-XiL LA LB

■盗聴防止ボタンでセットする

1 盗聴防止ボタンを押す

- 盗聴防止ランプ（緑）が点灯し、盗聴防止機能が有効になります。
- もう一度盗聴防止ボタンを押すと盗聴防止ランプが消え、盗聴防止機能が無効になります。

■メニュー機能でセットする

1 メニューから〈盗聴防止機能〉を呼び出す

① ⊠を押します。
②「3 各種機能切替」を選択し、⊠を押します。
③「9 盗聴防止機能」を選択し、⊠を押します。

2 ⊠で「1 ON」を選択して、⊠を押す

- 現在の設定を反転表示します。
- 解除するときは「0 OFF」を選択します。

3 設定完了画面となる

- ⊠を押すと終了します。
- 盗聴防止ボタンがあると、盗聴防止ランプ（緑）が点灯します。

■盗聴防止機能を使って電話をかける

1 盗聴防止機能をセットした状態で電話をかける

2 相手の方が応答し盗聴防止通話になると、ディスプレイに「🔑0」が表示される

- 盗聴防止ボタンがあると、盗聴防止ランプ（緑）が遅い点滅となります。

補足説明

- ●保留したり、電話を切ると盗聴防止ランプは元の状態に戻ります。
- ●保留した外線に応答した場合、盗聴防止機能を使って通話していたときは、応答した電話機の盗聴防止機能の有無に関係なく、盗聴防止通話となります。
- ●電話をかけたときは、通話中に盗聴防止ボタンを押しても盗聴防止通話に切り替えることができます。
- ●相手側がiA、iE、iF、Siシリーズで IP回線を使っている場合も、盗聴防止機能をご利用できます。

ご注意

- ●同一のIP電話サービス事業者を利用している場合のみ、盗聴防止通話となります。
- ●電話を受けたときは、通話中に盗聴防止ボタンを押しても切替はできません。

IP回線（IPCOI）を使う

電話を受ける

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
770-1	−	ET-「 」IPCOI-Xi ET-8IPCOIEX-XiL LA LB

■一般着信を受ける

一般の外線と同じように、複数の電話機で電話を受けることができます。

1 着信音が聞こえたらハンドセットをとる
- 外線ランプ（赤）が速く点滅します。

2 点滅している 外線 ボタンを押す
- 外線ランプが緑の点灯に変わり、周期的に2回消えます。

3 相手の方と通話する

補足説明

●上記操作は一例です。詳しくは、「外線からの電話を受けるとき」（P2-5）をご覧ください。
●発信者の番号や名前を表示することができます。

■DI、DID着信を受ける

一般の外線と同じように、ダイヤルイン（DI）着信やサブアドレスダイヤルイン、ダイレクトインダイヤル（DID）着信を受けることができます。

1 着信音が聞こえたらハンドセットをとる
- 着信中は外線ランプは緑の速い点滅、内線および着信／メッセージランプは赤の速い点滅をします。

2 相手の方と通話する
- 応答後は通常の外線と同様に保留したり、他の電話機に転送できます。

補足説明

●ダイヤルインやサブアドレスダイヤルイン、ダイレクトインダイヤルの詳細については、「ダイヤルイン（DI）を使う」（P5-8）、「ダイレクトインダイヤル（DID）を使う」（P5-9）をご覧ください。

保留する・保留に応答する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
770-1	−	ET-「 」IPCOI-Xi ET-8IPCOIEX-XiL LA LB

■保留する

一般の外線と同じように、外線ボタンに保留できます。

1 通話中に 保留 ボタンを押す
- 外線ランプ（緑）が周期的に2回点滅します。
- 相手の方には保留音が流れます。

■保留に応答する

一般の外線と同じように、外線ボタンを押して保留に応答できます。

1 保留した 外線 ボタンを押す
- 保留した相手の方と通話できます。

補足説明

●上記操作は一例です。詳しくは、「外線通話を保留する」（P2-7）をご覧ください。
●保留以外に他の電話機や他の外線に転送することもできます。詳しくは、「外線通話を他の人に転送する」（P2-8）をご覧ください。

ご注意

●IP電話インタフェースユニットを使用した場合、一般の外線と同じような使い方ができます。
ただし、下記の点にご注意ください。
・転送電話を利用することが可能ですが、回線の状態によっては遅延やエコーが発生し、通話品質が確保できなくなる場合があります。アナログ回線との組み合わせ、IP回線からIP回線への転送はご利用になれません。
一般の回線と異なることを理解したうえで、各機能を使用してください。
・転送電話で転送先を呼び出すまでの時間は、ISDN回線に比べて長くなります。
・スーパーリトライ（P2-18）は利用できません。
・ファックスを利用することはできません。

専用線を使う LA LB

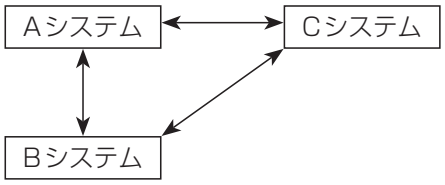
特長

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
627，628， 631，632	–	ET-2LDI-XiL ET-20DI-XiL

「専用線」を利用して、以下のことができます。
（1）相手システムの内線呼出……相手システムとお互いに内線通話ができます。
（2）相手システムからの着信応答……相手システムからの着信に応答し、内線通話ができます。
（3）相手システムへの外線転送……自システムの外線通話を相手システムに転送できます。
（4）相手システムの外線発信……相手システムの外線から外に電話をかけられます。
（5）相手システムの外線着信応答……相手システムの外線にかかってきた電話に応答できます。

補足説明

●LD専用線を接続する場合やシステム間接続を行う場合はET-2LDI-XiLを使用し、OD専用線を使用する場合はET-20DI-XiLを使用します。また、OD専用線は使用する回線に応じて、接続装置を別途用意していただく必要があります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
●相手システムの呼出方法は、2種類の方法があります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
（1）付加番号方式（工場出荷時設定）……相手の内線番号や相手の拠点番号＋内線番号を押す前に相手システム呼出番号を押す必要があります。相手システムの外線を利用することもできます。
（2）統一番号方式……相手の内線番号や相手の拠点番号＋内線番号を押すだけで呼び出せますので、自システム・相手システムを意識せずに内線呼出ができます。ただし、相手システムの外線を利用することはできません。
●「システム間接続」とは…
ET-2LDI-XiLを使用し、専用線の代わりに私設線でシステム間を接続する場合を、特に「システム間接続」と呼びます。接続できるシステム数は、自システムを含めて7台まで可能です。



●一般の外線と同じように外線の通話録音ができます。
⇒P5-51

ご注意

●専用線は接続先のシステムが同一シリーズの主装置以外のときは、使える機能に制約があります。（以降のページの説明は、接続先も同一シリーズの主装置を前提に記載しています。）
●自システムと相手システムが同時に発信操作を行った場合、相手先の内線につながらないことがあります。相手につながらないときはもう一度かけ直してください。
●発信時に対応の外線ボタンのランプが消えていても、捕捉できない場合があります。これは、相手システムの電話機がその回線を使用し発信を行っているためで、故障ではありません。（数秒後にはランプがつきます。）
●接続される回線によっては、一般の外線通話や内線通話に比べ通話が小さくなる場合があります。
●外線と異なり、通話が終わったとき、ハンドセットを置かずにフックボタンを押して電話をかけ直すことはできません。

専用線を使う LA LB

相手システムの内線を呼び出す

相手システムの内線を呼び出すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
627，628，631，632	–	ET-2LDI-XiL ET-20DI-XiL

■付加番号方式の場合

相手システムの呼出番号を押してから相手の内線番号を押して呼び出します。

1 ハンドセットをとる
- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 相手システムの呼出番号（1～4桁）*を押す
- 相手システムの内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

*番号を可変桁にしている場合は、相手システムの呼出番号のあとに[#]を押してください。

3 相手の方の内線番号を押す

4 相手の方が応答したら通話する

■統一番号方式の場合

自システムの内線を呼び出すのと同じ操作で相手システムの内線を呼び出すことができます。

1 ハンドセットをとる
- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 相手の方の内線番号を押す

3 相手の方が応答したら通話する

補足説明

- ●相手システム呼出番号は工事のときに設定します。変更したい場合は、販売店にご依頼ください。[工事者設定632]
- ●付加番号方式の場合、相手システム呼出番号の代わりに相手システムに接続されている[外線]ボタンを使うこともできます。
- ●通話後の操作（保留、システム内への転送など）は、一般の外線通話と同じです。

ご注意

- ●ワンタッチで相手を呼び出す場合は[ワンタッチダイヤル]ボタンをお使いください。
  [内線ワンタッチ]ボタンはお使いになれません。⇒P2-24
- ●統一番号方式の場合、下記のように番号を設定します。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
  （1）内線番号は3桁または4桁にします。
  （2）相手システム呼出番号（1～4桁）を、相手システムの内線番号の先頭1～4桁に合わせます。
  （例）

自システム側の設定（相手システム呼出番号）	相手システム側の設定（内線番号）※	
1（1桁の場合）	1××または1×××	××または×××は任意の番号
11（2桁の場合）	11××	

※内線一斉呼出、グループ呼出、外部スピーカ呼出、ドアホン呼出を行う場合は、これらの特番も同様に設定します。
※相手システム呼出番号は、1～4桁の設定ができますが、1または2桁に設定してお使いください。

- ●相手システムの内線番号が可変桁に設定されている場合は、内線番号を押したあとに下記のいずれかの操作をしてください。
  ・何もしないで5秒待つ
  ・[#]を押す

知っていると便利なこと

- ●相手システムの内線呼出が音声呼出に設定されている場合は、音声による呼出となります。
  ただし、[X]ボタンによる着信音/音声による呼出の切替はできません。また、中継する回線や装置によっては音声呼出ができない場合がありますのでご了承ください。
- ●相手システムの内線一斉呼出、グループ呼出、外部スピーカ呼出（ページング）、ドアホン呼出を行うこともできます。ただし、中継する回線や装置によっては機能しない場合がありますのでご了承ください。
- ●相手システムを呼び出したときに、相手が話し中の場合は内線キャンプオン（P2-40）やリセットコール（P2-40）を行うこともできます。

専用線を使う LA LB

相手システムからの着信に応答する

相手システムの内線からの呼出に応答することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
627，628，631，632	–	ET-2LDI-XiL ET-20DI-XiL

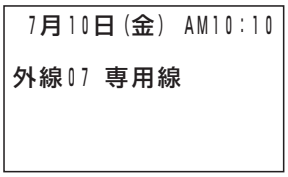
1 着信音が聞こえたら

- 相手システムに接続している 外線 ランプ（緑）が速く点滅します。
- 他の電話機の 外線 ランプは赤点灯します。
- 内線 ランプと 着信／メッセージ ランプが速く点滅します。
- 専用線の回線番号と名称が表示されます。(名称に「専用線」と登録した例)

2 ハンドセットをとる

3 相手と通話する

- 外線番号および回線種別が表示されます。



補足説明

●名称が登録されていないときは、着信時の名称は表示されません。名称登録は、内線名称登録と同様に内線番号の代わりに専用線を接続した回路番号を押して行います。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
※表示できる名称は専用線を接続した回線の名前ですので、電話をかけてきた方の名称は表示できません。
●音声で呼ばれたときも、同じように応答します。
●通話後の操作（保留、システム内への転送など）は、一般の外線通話と同じです。

ご注意

●内線からの呼出と同様、呼び出されるのは特定の一台の電話機のみです。

知っていると便利なこと

●マイク ボタンを押しておくと内線ハンズフリー応答することもできます。ただし、中継する回線や装置によっては機能しない場合がありますのでご了承ください。
●代理応答（P2-50）、外線通話中内線着信（P2-49）、内線代表(P5-126)、内線着信拒否(P5-126)を行うこともできます。
●不在転送（P5-117）、話中・応答遅延転送（P5-123）を行うこともできますが、転送先は同一システム内の内線のみです。

専用線を使う LA LB

外線を相手システムに転送する

外線通話を相手システムの内線に転送することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
308, 402, 628, 631, 632	転送（995）＊必要時	ET-2LDI-XiL ET-2ODI-XiL

■付加番号方式の場合

相手システムの呼出番号を押してから相手の内線番号を押して転送します。

1 外線通話中に内線ボタンを押す

- 内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
- スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- 相手の方には保留音が流れます。

2 相手システムの呼出番号（1～4桁）*を押す
または
相手システムに接続している外線ボタンを押す

- 相手システムの内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

*番号を可変桁にしている場合は、相手システムの呼出番号のあとに#を押してください。

3 転送したい内線番号を押す

4 呼出先が応答したら用件を伝える

5 ハンドセットを置く

- 呼出先に外線が転送されます。

補足説明

●操作1～4のとき、保留した外線ボタン（またはDILINボタン）を押すと、保留した外線に戻れます。

■統一番号方式の場合

自システムの内線に転送するのと同じ操作で外線を転送できます。

1 外線通話中に内線ボタンを押す

- 内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
- スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- 相手の方には保留音が聞こえます。

2 転送したい相手の内線番号を押す

3 相手が応答したら用件を伝える

4 ハンドセットを置く

補足説明

●操作1～3のとき、保留した外線ボタン（またはDILINボタン）を押すと、保留した外線に戻れます。

ご注意

●内線番号を間違えたときは、保留した外線ボタン（またはDILINボタン）を押して外線通話に戻ってから操作をやり直してください。
●相手システムへの簡易転送（相手が応答する前に転送する）はできません。
●外線手動転送時の外線自動発信機能を「あり」に設定しないと、相手システムを呼び出すことができません。[工事者設定402]
●相手システムに転送した場合、電話機ごとの通話料金管理はできません。

知っていると便利なこと

●プログラマブルキーで転送ボタンを設定しておくと、ハンドセットを置く代わりに、転送ボタンを押して転送できます。
●内線ボタンの代わりに、保留ボタンを使うこともできます。

専用線を使う LA LB

相手システムの外線を利用する

相手システムに接続されている外線を使用することができます。（本機能は付加番号方式でのみご利用できます）

■相手システムから外線発信するとき

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
627，631，632	–	ET-2LDI-XiL ET-20DI-XiL

1 ハンドセットをとる

• 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 相手システムの呼出番号（1～4桁）*を押す
または
相手システムに接続している 外線 ボタンを押す

• 相手システムの内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

*番号を可変桁にしている場合は、相手システムの呼出番号のあとに[#]を押してください。

```
 7月10日(金) AM10:10
外線07 専用線
```

3 外線発信番号(0)を押す

• 相手システムの外線発信音（ツー）が聞こえます。

```
 7月10日(金) AM10:10
0
外線07 専用線
```

4 相手の方の電話番号を押す

```
 7月10日(金) AM10:10
0312345678
外線07 専用線
```

5 相手の方が応答したら通話する

補足説明

●相手システムの外線発信番号が[0]以外のときは、該当する番号を押してください。
●相手システムの外線発信を行う場合にID番号やパスワードを使用するときは、操作が異なります。「専一公接続」をご覧ください。⇒P5-143

ご注意

●相手システムの外線を使って電話をかけるときは、電話機ごとの通話料金管理はできません。
●相手システムの[外線]ボタンのランプ表示は確認できません。

知っていると便利なこと

●相手システムの電話機からお使いのシステム外線発信をさせたくない場合は、お使いのシステム側のサービスクラス（P7-57）や外線発信規制（P7-62）の設定を使って規制することが可能です。[工事者設定632]

専用線を使う LA LB

■相手システムの外線着信に応答するとき

相手システムに接続されている外線にかかってきた電話を受けることができます。（本機能は付加番号方式でのみご利用できます）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
631 632	–	ET-2LDI-XiL ET-20DI-XiL

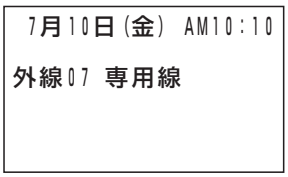
1 ハンドセットをとる

• 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 相手システムの呼出番号（1～4桁）*を押す
または
相手システムに接続している 外線 ボタンを押す

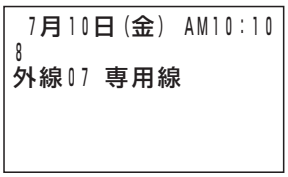
• 相手システムの内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

*番号を可変桁にしている場合は、相手システムの呼出番号のあとに[#]を押してください。



3 外線着信応答番号[2][7][2]*を押す

*番号を可変桁にしている場合は、外線着信応答番号のあとに[#]を押してください。



4 応答できたら通話する

補足説明

●相手システムの外線着信応答番号が[2][7][2]以外のときは、該当する番号を押してください。

ご注意

●相手システムの[外線]ボタンのランプ表示は確認できません。

「公一専接続」や「専一公接続」を利用するLA LB

外出先から専用線を経由して電話をかける「公一専接続」

外出先などからDID機能を利用して主装置Aに電話をかけ、主装置Aに専用線で接続している主装置Bの内線電話機を呼び出すことができます。専用線を経由するので、発信者の通話料を節約することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
741-1	−	下図の「必要な用品」を参照

■外部の電話機の操作

1 主装置AのDID設定外線の電話番号を押す

- 自動的に応答して一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が聞こえます。

2 専用線を捕捉するID発信番号（1～4桁）*、ID番号（1～4桁）*の順に押す　*主装置Aに設定した番号

- ID発信番号は回線のグループごとの番号です。番号を可変桁にしている場合は、番号のあとに[#]を押してください。
- ID番号は個人ごとの番号です。

3 ID発信用パスワード（4桁）*を押す　*主装置Aに設定した番号

- 主装置Bの内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。
- ID発信用パスワードは個人ごとのパスワードです。

4 呼び出したい相手の方の内線番号を押す

5 相手の方が応答したら通話する

補足説明

●ID発信については、P5-147をご覧ください。
●操作を間違った場合や相手の方が話し中などの場合は、話中音（ツーツーツー…）が聞こえます。
●電話をかける外線はDID設定以外は使用できません。
●一次応答信号は約20秒送出され、ダイヤル操作をしないと話中音（ツーツーツー…）が聞こえます。話中音が約8秒聞こえた後、電話が切れます。
※一次応答信号の送出時間を変更することができます。[工事者設定741-1]
※電話を切らずに一般の着信にすることができます。[工事者設定741-1]
●ID発信番号、ID番号は工事者設定が必要です。[工事者設定741-1]
パスワードは内線ボックスのパスワードと共通です。登録方法はP5-70をご覧ください。
※各設定は上図で示す主装置Aに対して行います。

ご注意

●パスワード識別を「なし」（工場出荷時設定は「あり」）にすると、操作3が不要になりますが、部外者から悪用される恐れがありますので、必ずパスワード識別を「あり」にして、パスワードを設定してください。[工事者設定741-1]
●本機能を利用する場合、相手の方との通話は約60分で強制的に切れます。切れるまでの時間は、変更することができます。[工事者設定741-1]
●専用線の番号方式は「付加番号方式」（P5-137）を使用してください。
※各設定は上図で示す主装置Aに対して行います。

知っていると便利なこと

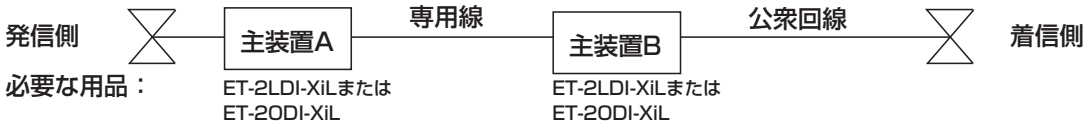
●操作2や3で間違えたときは[✕]を押すと一次応答信号が再び聞こえますので操作2からやり直すことができます。
●サービスクラス（P7-57）や外線発信規制（P7-62）の設定で、専用線を使用する人を規制することもできます。[工事者設定741-1]
●ID番号の代わりに内線番号を使用することもできます。
※各設定は上図で示す主装置Aに対して行います。

「公一専接続」や「専一公接続」を利用するLA LB

専用線を経由して相手システムの外線を使って電話をかける「専一公接続」

専用線を使って相手システム（主装置B）の外線から電話をかけることができます。専用線を経由するので、通話料を節約することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
741-2	−	下図の「必要な用品」を参照



1 ハンドセットをとる

- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 相手システムの呼出番号（1～4桁)*を押す または 相手システムに接続している 外線 ボタンを押す

- 相手システムの内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

*番号を可変桁にしている場合は、相手システムの呼出番号のあとに#を押してください。

```
 7月10日(金) AM10:10
外線07 専用線
```

3 相手システム（主装置B）の外線を捕捉するID発信番号（1～4桁)*、ID番号（1～4桁)*の順に押す

*主装置Bに設定した番号

- ID発信番号は回線のグループごとの番号です。
  番号を可変桁にしている場合は、番号のあとに#を押してください。

```
 7月10日(金) AM10:10
6230
外線07 専用線
```

- ID番号は個人ごとの番号です。

4 ID発信用パスワード（4桁)*を押す

*主装置Bに設定した番号

- 主装置Bに接続された外線の発信音（ツー）が聞こえます。
- ID発信用パスワードは個人ごとのパスワードです。

```
 7月10日(金) AM10:10
62302486
外線07 専用線
```

5 相手の方の電話番号を押す

```
 7月10日(金) AM10:10
623024860312345678
外線07 専用線
```

6 相手の方が応答したら通話する

補足説明

- ●ID発信については、P5-147をご覧ください。
- ●操作が違う場合や相手の方が話し中などの場合は、話中音（ツーツーツー…）が聞こえます。
- ●主装置Bからの外線発信は、発信を行ったID番号に対して主装置B側で課金されます。
- ●ID発信番号、ID番号は工事者設定が必要です。[工事者設定741-2]
  パスワードは内線ボックスのパスワードと共通です。登録方法はP5-70をご覧ください。

※各設定は上図で示す主装置Bに対して行います。

ご注意

- ●パスワード識別を「なし」（工場出荷時設定は「あり」）にすると、操作4が不要になりますが、部外者から悪用される恐れがありますので、必ずパスワード識別を「あり」にして、パスワードを設定してください。[工事者設定741-2]
- ●専用線の番号方式は「付加番号方式」（P5-137）を使用してください。

※各設定は上図で示す主装置Bに対して行います。

知っていると便利なこと

- ●サービスクラス（P7-57）や外線発信規制（P7-62）の設定で、外線を使用する人を規制することもできます。[工事者設定741-2]

※各設定は上図で示す主装置Bに対して行います。

「公一専接続」や「専一公接続」を利用するLA LB

外出先から主装置経由で別の外線を使って電話をかける「公一公接続」

外出先などからDID機能を利用して主装置に電話をかけ、主装置に接続している外線から電話をかけることができます。主装置を経由するので、発信者の通話料を節約することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
741-3	−	−

■外部の電話機の操作

1 主装置のDID設定の電話番号を押す

- 自動的に応答して一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が聞こえます。

2 外線を捕捉するID発信番号（1～4桁）、ID番号（1～4桁）の順に押す

- ID発信番号は回線のグループごとの番号です。番号を可変桁にしている場合は、番号のあとに[#]を押してください。
- ID番号は個人ごとの番号です。

3 ID発信用パスワード（4桁）を押す

- 主装置に接続された外線の発信音（ツー）が聞こえます。
- ID発信用パスワードは個人ごとのパスワードです。

4 相手の方の電話番号を押す

5 相手の方が応答したら通話する

補足説明

●ID発信については、P5-147をご覧ください。
●操作が違う場合や相手の方が話し中などの場合は、話中音（ツーツーツー…）が聞こえます。
●電話をかける外線はDID設定以外は使用できません。
●一次応答信号は約20秒送出され、ダイヤル操作をしないと話中音（ツーツーツー…）が聞こえます。話中音が約8秒聞こえた後、電話が切れます。
※一次応答信号の送出時間を変更することができます。[工事者設定741-3]
※電話を切らずに一般の着信にすることができます。[工事者設定741-3]
●ID発信番号、ID番号は工事者設定が必要です。[工事者設定741-3]
パスワードは内線ボックスのパスワードと共通です。登録方法はP5-70をご覧ください。

ご注意

●パスワード識別を「なし」（工場出荷時設定は「あり」）にすると、操作3が不要になりますが、部外者から悪用される恐れがありますので、必ずパスワード識別を「あり」にして、パスワードを設定してください。[工事者設定741-3]
●本機能を利用する場合、相手の方との通話は約60分で強制的に切れます。切れるまでの時間は、変更することができます。[工事者設定741-3]

知っていると便利なこと

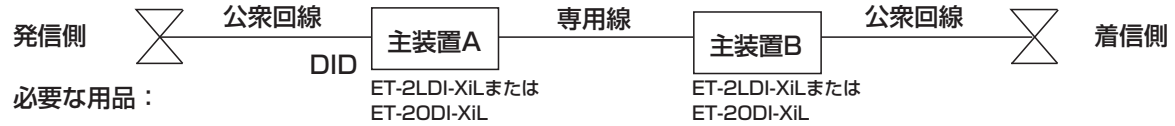
●操作2や3で間違えたときは、[X]を押すと一次応答信号が再び聞こえますので操作2からやり直すことができます。
●サービスクラス（P7-57）や外線発信規制（P7-62）の設定で、外線を使用する人を規制することもできます。[工事者設定741-3]
●ID番号の代わりに内線番号を使用することもできます。

「公一専接続」や「専一公接続」を利用するLA LB

外出先から専用線経由で相手システムの外線を使って電話をかける「公一専一公接続」

外出先などからDID機能を利用して主装置Aに電話をかけ、主装置Aに専用線で接続している主装置Bの外線から電話をかけることができます。専用線を経由するので、発信者の通話料を節約することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
741-4	–	下図の「必要な用品」を参照



必要な用品：
ET-2LDI-XiLまたは ET-2ODI-XiL
ET-2LDI-XiLまたは ET-2ODI-XiL

■外部の電話機の操作

1 主装置AのDID設定外線の電話番号を押す
- 自動的に応答して一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が聞こえます。

2 専用線を捕捉するID発信番号（1～4桁）*、ID番号（1～4桁）*の順に押す　*主装置Aに設定した番号
- ID発信番号は回線のグループごとの番号です。番号を可変桁にしている場合は、番号のあとに#を押してください。
- ID番号は個人ごとの番号です。

3 ID発信用パスワード（4桁）*を押す　*主装置Aに設定した番号
- 主装置Bの内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。
- ID発信用パスワードは、個人ごとのパスワードです。

4 主装置Bの外線を捕捉するID発信番号（1～4桁）*、ID番号（1～4桁）*の順に押す　*主装置Bに設定した番号

5 ID発信用パスワード（4桁）*を押す　*主装置Bに設定した番号
- 主装置Bに接続された外線の発信音（ツー）が聞こえます。

6 相手の方の電話番号を押す

7 相手の方が応答したら通話する

「公一専接続」や「専一公接続」を利用するLALB

補足説明

●ID発信については、P5-147をご覧ください。
●操作が違う場合や相手の方が話し中などの場合は、話中音（ツーツーツー…）が聞こえます。
●電話をかける外線はDID設定以外は使用できません。
●一次応答信号は約20秒送出され、ダイヤル操作をしないと話中音（ツーツーツー…）が聞こえます。話中音が約8秒聞こえた後、電話が切れます。
※主装置Aの工事者設定で、一次応答信号の送出時間を変更することができます。[工事者設定741-4]
※主装置Aの工事者設定で、電話を切らずに一般の着信にすることができます。[工事者設定741-4]
●ID発信番号、ID番号は工事者設定が必要です。[工事者設定741-4]
パスワードは内線ボックスのパスワードと共通です。登録方法はP5-70をご覧ください。
※各設定は主装置Aおよび主装置Bに対して行います。各主装置に設定するID番号等は異なるものでも構いません。

ご注意

●パスワード識別を「なし」（工場出荷時設定は「あり」）にすると、操作3、操作5が不要になりますが、部外者から悪用される恐れがありますので、必ずパスワード識別を「あり」にして、パスワードを設定してください。パスワードは主装置Aおよび主装置Bに設定します。[工事者設定741-4]
●本機能を利用する場合、相手の方との通話は約60分で強制的に切れます。切れるまでの時間は、主装置Aの工事者設定で変更することができます。[工事者設定741-4]

知っていると便利なこと

●操作2や3で間違えたときは、[X]を押すと一次応答信号が再び聞こえますので操作2からやり直すことができます。
●主装置AおよびBのそれぞれのサービスクラス（P7-57）や外線発信規制（P7-62）の設定で、それぞれの主装置の専用線や外線を使用する人を規制することもできます。[工事者設定741-4]

ID番号を使って外線に電話をかける

個人にID番号を割り当てて、電話機の内線番号に対してではなくID番号に対して通話料金管理を行うことができます。
一台の電話機を複数の人が使用して通話料金管理を行うときに利用します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
134	−	−

■ID番号を使って電話をかける

1 ハンドセットをとる

- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 外線を捕捉するID発信番号（1～4桁）、ID番号（1～4桁）の順に押す

- ID発信番号は回線のグループごとの番号です。
  番号を可変桁にしている場合は、番号のあとに[#]を押してください。
- ID番号は個人ごとの番号です。
- ID番号のみ表示されます。

```
 7月10日(金)  AM10:10
31
```

3 ID発信パスワード（4桁）を押す

- パスワードが正しいと、表示されていたID番号が消えます。
- 外線発信音が聞こえます。
- [外線]ランプ（緑）が点灯し、周期的に2回消えます。

```
 7月10日(金)  AM10:10
外線01 ISDN
```

4 相手の方の電話番号を押す

```
 7月10日(金)  AM10:10
0312345678
外線01 ISDN
```

5 相手の方が応答したら通話する

補足説明

●外線発信可能なID番号であれば、どの電話機からもID発信を行うことができます。
●ID発信を行った場合はID番号に課金され、その他の方法で電話をかけた場合は電話をかけた電話機の内線番号に課金されます。
●ID発信を行う場合は、ID発信番号、ID番号の工事者設定が必要です。[工事者設定134]
パスワードは内線ボックスのパスワードと共通です。登録方法はP5-70をご覧ください。
●パスワードが間違っていると、「発信不可」と表示され、話中音（ツーツーツー…）が聞こえます。

ご注意

●パスワード識別を「なし」（工場出荷時設定は「あり」）にすると、操作3が不要になりますが、各個人のID番号を他人に使用される恐れがありますので、必ずパスワード識別を「あり」にして、パスワードを設定してください。[工事者設定134]
●ID発信後に転送すると、転送先電話機の内線番号に課金されますので、ID発信を利用する場合の転送機能は「なし」に設定してください。工場出荷時は、ID発信利用時の転送機能は「なし」になっています。なお、転送機能が「なし」の場合は、ID発信時の保留操作もできなくなります。[工事者設定134]
●ID発信利用時の転送機能を「あり」にすると、ID発信後も保留することができますが、保留に応答する場合は応答する電話機によって課金先が異なります。
（1）保留した電話機で応答した場合…引き続き同じID番号に課金されます。
（2）他の電話機で応答した場合…応答した電話機の内線番号に課金されます。
●ID発信では外線発信ウェイティングはできません。

知っていると便利なこと

●ID番号は内線番号と同様に課金グループを設定することができます。[工事者設定134]
ID発信番号が登録されていると、課金グループ38に属する電話機はID発信でしか外線を捕捉できなくなります。「外線自動発信」、「短縮ダイヤル発信」、「外線発信ウェイティング」は使用できません。
●操作2でID発信番号の代わりにID短縮発信番号を押すと、操作4で相手の方の電話番号を押す代わりに短縮番号を押して電話をかけることができるようになります。ID短縮発信番号は工事者設定が必要です。[工事者設定134]
なお、ID短縮発信を行うときの短縮番号の桁数は操作する電話機の設定に従います。また、ID番号の電話機グループと操作する電話機の電話機グループが使用する共通電話帳が共通でない場合は発信することができません。
●ID番号の代わりに内線番号を使ってID発信することもできます。

3人で通話したいとき（会議通話）

外線、内線を含めた3者で同時に通話すること（会議通話）ができます。会議に参加できるのは、システムあたり32人までです。それ以上は参加できません。

外線通話中に他の外線を加える(2外線アッドオン)

外線通話中に他の外線の人を加えて、3人で話すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(414)	音声会議（983）	−

1 外線通話中に内線ボタンを押す

- 内線ランプが点灯し、周期的に2回消えます。
- スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- 相手の方には保留音が流れます。

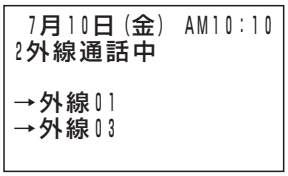
2 空いている外線ボタンを押して電話をかける

- ストレートラインDIの場合は、DILINボタンを押します。
- 電話番号を間違えたときはクリアボタンを押して、電話番号を押し直します。

3 応答したら3人で通話することを伝える

4 音声会議ボタンを押す

- 音声会議 ランプが点灯します。
- 両方の外線番号が表示されます。



5 3人で通話する

補足説明

- ●2外線アッドオン中の外線ランプは下記の表示となります。
  - ・最初に通話していた外線…緑で周期的に2回点滅します。
  - ・通話に加えた外線…緑で点灯し、周期的に2回消えます。
  - ※他の電話機は、どちらの外線ランプも赤で点灯します。
- ●一方の外線との通話にする場合は、通話したい外線ボタンを押します。他方の外線は切れます。
- ●2外線アッドオン中に音声会議ボタンを押すと、通話に加えた外線は切れます。
- ●2外線アッドオン中に電話を切ると、外線側も切れます。

ご注意

- ●2外線アッドオン中は、保留後の転送・外線フッキングはできません。
- ●通話録音中は、操作1で録音が終了となります。

知っていると便利なこと

- ●2外線アッドオン中に転送ボタンを押すと、外線手動転送となり、外線同士の通話となります。再度、どちらかの外線ボタンを押すと、2外線アッドオンに戻ります。
  - ※外線手動転送後に2外線アッドオンに戻る場合は、工事者設定が必要です。[工事者設定414]
- ●2外線アッドオン中は通常の外線通話と同じように、ダイヤルボタンを押すと外線にプッシュ信号が送られます。
- ●操作3で最初に通話していた外線ボタンを押すと、最初に通話していた外線との通話に戻ります。
- ●さらに、話す人を加えることができます。（多者会議通話）⇒P5-150

３人で通話したいとき（会議通話）

外線通話中に他の内線を加える(外線アッドオン)

外線通話中に他の内線の人を加えて、３人で話すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(413)	音声会議（983）	−

1 外線通話中に内線ボタンを押す

- 内線ランプが点灯し、周期的に２回消えます。
- スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- 相手の方には保留音が流れます。

2 加えたい電話機の内線番号を押す

3 応答したら３人で通話することを伝える

4 音声会議ボタンを押す

- 音声会議ランプが点灯します。
- 呼び出された電話機には、外線番号および最初に通話していた電話機の内線番号と内線名称が表示されます。

```
 7月10日(金)  AM10:10
会議通話中

→外線01
→NO.101   中島○郎
```

5 ３人で通話する

補足説明

●外線アッドオン中に内線電話機のどちらかが電話を切ると、残りの内線電話機の外線通話となります。
●外線アッドオン中に音声会議ボタンを押すと、通話に加えた電話機は切れます。

ご注意

●外線アッドオン中は、転送・ダイヤル送出・外線フッキングはできません。
●サービスクラスG（乙）の電話機を加えることはできません。
●完全テナントの場合は、他テナントグループの電話機を加えることはできません。

知っていると便利なこと

●操作3で外線ボタンを押すと、外線との通話に戻ります。
●さらに、話す人を加えることができます。（多者会議通話）⇒P5-150

内線通話中に他の内線を加える(内線３者通話)

内線通話中に他の内線の人を加えて、３人で話すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(554)	音声会議（983）	−

1 内線通話中に保留ボタンまたは内線ボタンを押す

- 着信／メッセージランプが遅い点滅になり、スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- 相手の方には保留音が流れます。

2 加えたい電話機の内線番号を押す

3 応答したら３人で話すことを伝える

4 音声会議ボタンを押す

- 音声会議ランプが点灯します。
- ３者通話に加わっている相手の内線番号と名称が表示されます。

```
 7月10日(金)  AM10:10
内線3者通話中

→NO.102   佐藤○一
→NO.103   山田○次郎
```

5 ３人で通話する

補足説明

●内線３者通話中に一台の電話機が電話を切ると、残りの電話機は内線通話となります。
●内線３者通話中に音声会議ボタンを押すと、通話に加えた電話機は切れます。

知っていると便利なこと

●操作３で保留ボタンを押すと、最初に通話していた内線との通話に戻ります。
●さらに、話す人を加えることができます。（多者会議通話）⇒P5-150
●外線を加えることもできます。
操作１を行ったあと、以下の操作をしてください。
①外線発信する
②相手が応答したら、音声会議ボタンを押す
（音声会議ボタンで加えた電話機を切断することはできません（この場合は、多者会議通話（P5-150）になります））

3人以上で通話する（多者会議通話）

3者通話中に他の人を加える（多者会議通話）

3者通話（2外線アッドオン、外線アッドオン、内線3者通話）中に、さらに内線や外線の人を加えて話すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
556	音声会議（983）	−

■他の内線を加える

1 3者通話中に保留ボタンまたは内線ボタンを押す

- 音声会議ランプが遅い点滅になり、スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。

2 加えたい電話機の内線番号を押す

3 応答したら複数人で話すことを伝える

4 音声会議ボタンを押す

- 音声会議ランプが点灯します。

5 全員で通話する

■他の外線を加える

1 3者通話中に保留ボタンまたは内線ボタンを押す

- 音声会議ランプが遅い点滅になり、スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。

2 空いている外線ボタンを押して電話をかける

- ストレートラインDIの場合は、DILINボタンを押します。
- 電話番号を間違えたときはクリアボタンを押して、電話番号を押し直します。

3 応答したら複数人で話すことを伝える

4 音声会議ボタンを押す

- 音声会議ランプが点灯します。

5 全員で通話する

補足説明

●多者会議通話中に、さらに他の人を追加できます。3者通話から追加するときと同じ操作手順を実行してください（最大で32人まで通話できます）。

ご注意

●多者会議通話中に通話している人数が3人になっても、3者通話（2外線アッドオン、外線アッドン、内線3者通話）には戻りません（音声会議ボタンで加えた人を切断することはできません）。

3人以上で通話する（多者会議通話）

多者会議通話に参加する(多者会議通話(参加型))

会議室を指定して会議に参加することができます。会議室は10室まで利用できます。利用できる人数はすべての会議室を合わせて32人までです。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
556-1	音声会議参加01（901）～音声会議参加10（910）	−

■会議に参加する（特番操作で参加する）

1 ハンドセットをとる

2 音声会議参加番号（2 7 8）*を押す

*番号を可変桁にしている場合は、音声会議参加番号のあとに#を押してください。

3 会議番号（2桁）を押す

- 会議番号は01～10を押してください。

4 会議参加用パスワード（4桁）を押す

- ワンタイムパスワードを利用しない設定になっている場合は、操作5に移行します。

```
10月 1日(金) AM10:10
ﾜﾝﾀｲﾑﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:････
```

5 会議室につながるので会議に参加する

- 他の人が参加していないときは、保留音が聞こえます。そのままお待ちください。

```
10月 1日(金) AM10:10
多者会議通話中
<会議NO.10>
```

- 音声会議参加( )ボタンが、点灯（緑）します。

■会議に参加する（音声会議参加( )ボタンで参加する）

1 音声会議参加( )ボタンを押す

2 会議参加用パスワード（4桁）を押す

- ワンタイムパスワードを利用しない設定になっている場合は、操作3に移行します。

```
10月 1日(金) AM10:10
ﾜﾝﾀｲﾑﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:････
```

3 会議室につながるので会議に参加する

- 他の人が参加していないときは、保留音が聞こえます。そのままお待ちください。

```
10月 1日(金) AM10:10
多者会議通話中
<会議NO.10>
```

- 音声会議参加( )ボタンが、点灯（緑）します。

補足説明

●音声会議参加( )ボタンの表示で会議室の状態を確認することができます。

ランプ表示	会議室の状態
消灯	空き
ゆっくり点滅（赤）	会議開催中
点灯（緑）	会議参加中

●会議から退出するときは、ハンドセットを置いて終話してください。

●音声会議参加番号は変更することができます。[工事者設定556-1]

ご注意

●会議を開催するときは、あらかじめ決めた会議番号を参加する方に連絡しておいてください。

3人以上で通話する（多者会議通話）

■外線から会議に参加する

1 DIDに設定された番号に電話をかける

- 一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が聞こえます。

2 プッシュ信号で音声会議参加番号（2 7 8）*+会議室番号（2桁）+会議参加用パスワード（4桁）を押す

- 会議番号は01～10を押してください。
- パスワードを利用しない設定になっている場合は、パスワードの入力は必要ありません。

*番号を可変桁にしている場合は、音声会議参加番号のあとに#を押してください。

3 会議室につながるので会議に参加する

- 他の人が参加していないときは、保留音が聞こえます。そのままお待ちください。

補足説明

●不在転送先に設定された電話機（外線）でも操作できます。DIDに設定されていない外線に対しても同様に動作します。

●音声会議参加番号は変更することができます。外線から会議に参加する可能性がある場合には、数字以外（＃や ＊ など）は使わないでください。

［工事者設定556-1］

3人以上で通話する（多者会議通話）

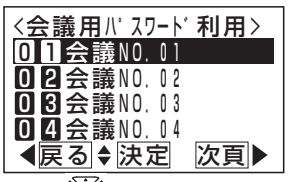
■会議参加用パスワードを登録する

多者会議に参加するときに入力するパスワードを登録します。

1 メニューから<会議用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ利用>を呼び出す

① を押します。

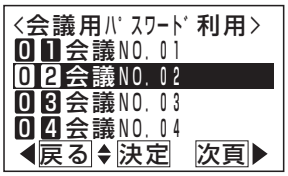
②「0 その他」を選択し、 を押します。



③「5 ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ」を選択し、 を押します。

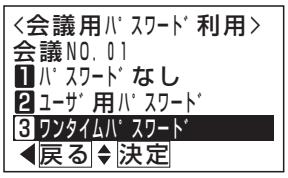
④「2 会議用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ利用」を選択し、 を押します。

2 で会議番号を選択し、 を押す

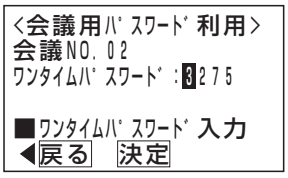


3 でパスワードの種類を選択し、 を押す

- ここではワンタイムパスワードを選択した場合を説明します。

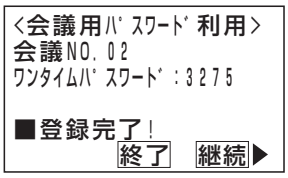


4 パスワード（4桁）を入力し、 を押す



5 登録完了画面が表示される

- を押すと終了します。
- を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。



補足説明

- ワンタイムパスワードは1回限りしか使えません。開催している会議が終了すると、消去されます。会議を再び開催するときは、設定し直してください。
- 手順3で「2 ﾕｰｻﾞ用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ」を選択した場合は、ユーザ用パスワードが会議参加用のパスワードになります（外線から参加するときのみ）。ユーザ用パスワードの登録はP7-32をご覧ください。

仲間を呼び出して通話する（インカムモード通話）

グループ分けした複数の内線どうしで通話する（インカムモード通話）ことができます。システムあたり６つまでグループを作成できます。参加できるのは最大32人までです。

インカムモードで通話する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
556-2	インカム1参加（911）～ インカム6参加（916） 送話ミュート（919）	－

■インカムモード通話をはじめる

1 ハンドセットをとる

2 インカム（ ）参加番号*を押す

*番号を可変桁にしている場合は、インカム（ ）参加番号のあとに[#]を押してください。

3 登録した内線を呼び出す

- 登録された内線すべてが参加するか、設定された応答待ち時間が経過するまで保留音が聞こえます。そのままお待ちください。

4 登録者がすべて参加すると通話がはじまる

- 保留音が止まり、冒頭音「ププッ」が流れます。
- 呼ばれた電話機で話しはじめるときは、[米]を押してください。

■開催中のインカムモード通話に参加する

1 ハンドセットをとる

2 インカム（ ）参加番号*を押す

*番号を可変桁にしている場合は、インカム（ ）参加番号のあとに[#]を押してください。

3 インカムモード通話に参加する

- 話しはじめるときは、[米]を押してください。

■通話中に参加者を加える

1 インカムモード通話中に[保留]ボタンを押す

- スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。

2 加えたい電話機の内線番号を押す

3 応答したらインカムモードで通話することを伝える

4 [インカム( )参加]ボタンを押す

5 全員で通話する

- 話しはじめるときは、[米]を押してください。

■通話中に送話をミュートする

1 通話中に[#]を押す

- ミュートを解除するには、[米]を押してください。

仲間を呼び出して通話する（インカムモード通話）

補足説明

●待機状態で[インカム( )参加]ボタンを押すと、通話をはじめたり、参加したりできます。
●[インカム( )参加]ボタンの表示で状態を確認することができます。

ランプ表示	状態
消灯	未使用（空き）
緑点灯	参加中
赤点灯	全員参加中
赤点滅	参加可能（未参加電話機の表示）

●[X]や[#]のかわりに、[送話ミュート]ボタンでも送話ミュートのON／OFFを切り替えることができます。
[送話ミュート]ボタンを押すたびに送話ミュートのON／OFFが切り替わります。
・[送話ミュート]ランプ消灯…送話ミュートOFF（送話できます（[X]を押したときと同じ））。
・[送話ミュート]ランプ点灯（赤）…送話ミュートON（送話できません（[#]を押したときと同じ））。
●インカムモード通話から退出する場合は、ハンドセットを置いて終話してください。
●インカム参加番号は変更することができます。[工事者設定556-2]
●応答待ち時間は18秒です。時間を変更すること（⇒P5-157）もできます。[工事者設定556-2]

ご注意

●すでに他の用途で通話中の内線は呼び出されません。
●自身が登録されていないインカムグループに対しては呼び出し／参加はできません。また登録されてない内線電話機を加えることもできません。
●話しはじめる前に...
通話に参加したとき（インカムモード通話をはじめた電話機は除く）は送話はミュートされています（こちらの話し声は相手に聞こえません）。
話しはじめるときは、必ず[X]を押してください（[送話ミュート]ボタンが設定されていると、ミュート中は[送話ミュート]ランプが点灯（赤）します）。
送話をミュートしない状態に設定することもできます。[工事者設定556-2]
送話をミュートしない設定にしているときは、話しはじめる前に[X]を押す必要はありません。
●送話ミュートの設定はメニュー機能から選択できます。（⇒P5-159）
●内線ハンズフリー応答は動作しません。

知っていると便利なこと

●インカムモード通話を終了する条件を設定できます。（⇒P5-158）

仲間を呼び出して通話する（インカムモード通話）

■インカムグループの参加者数を登録する

参加者数をグループごとに登録します。登録できるのはすべてのグループの合計で32人までです。

1 メニューから〈ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟの内線数〉を呼び出す

① ◉ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉ を押します。

③「9 ｲﾝｶﾑﾓｰﾄﾞ」を選択し、◉ を押します。

④「1 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟの内線数」を選択し、◉ を押します。

〈ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟの内線数〉
1 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 1
2 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 2
3 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 3
4 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 4
◀戻る ◆決定

2 ◉でインカムグループを選択し、◉を押す

- 会議通話回路を使用中は変更できません。

〈ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟの内線数〉
1 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 1
2 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 2
3 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 3
4 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 4
◀戻る ◆決定

3 内線数を入力し、◉を押す

- 内線数は00～32まで入力できます。（インカムグループを使わないときは00を入力する）

〈ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟの内線数〉
ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 1：00
■内線数入力（00～32）
◀戻る ◆決定

4 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、◉ を押します。
- ◉ を押すと、操作2に戻ります。

〈ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟの内線数〉
ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 1：12
■設定完了！
終了 継続▶

ご注意

●すべてのグループの参加者数の合計が32を超えるような数を登録すると下記の画面が表示されます。◉ を押して参加者数を登録し直してください。

〈ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟの内線数〉
内線数の合計が32を超えるため設定できません。確認後に改めて入力してください。
◀戻る 終了

●必要以上の内線数を登録しないでください。会議通話で使う会議通話回路の数が登録した数だけ減ります。

■インカムグループに内線を登録する

参加者をグループごとに登録します。

1 メニューから〈ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ内線登録〉を呼び出す

① ◉ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉ を押します。

③「9 ｲﾝｶﾑﾓｰﾄﾞ」を選択し、◉ を押します。

④「2 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ内線登録」を選択し、◉ を押します。

〈ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ内線登録〉
1 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 1
2 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 2
3 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 3
4 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 4
◀戻る ◆決定

2 ◉でインカムグループを選択し、◉を押す

〈ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ内線登録〉
1 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 1
2 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 2
3 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 3
4 ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 4
◀戻る ◆決定

3 ◉で番号を選択し、◉を押す

〈ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 1〉
01 NO.
02 NO.
◀戻る ◆決定 次頁▶

4 ◉で「1 登録/変更」を選択し、◉を押す

〈ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 1〉
1 登録/変更
2 消去
◀戻る ◆決定

5 内線番号を入力し、◉を押す

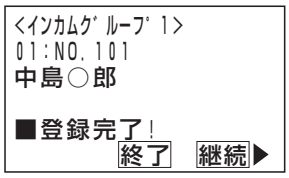
- ◉ で内線番号を検索することもできます。

〈ｲﾝｶﾑｸﾞﾙｰﾌﾟ 1〉
01：NO. 101
中島○郎
■内線番号入力
クリア 再入力
◀戻る ◆決定

仲間を呼び出して通話する（インカムモード通話）

6 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、[決定]を押します。
- 続けて登録するときは[決定]を押して操作3から繰り返してください。

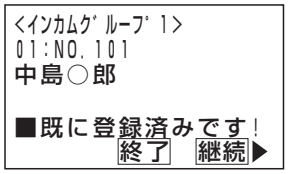


補足説明

●操作4で「2 消去」を選択すると、登録内容を消去できます。

ご注意

●すでに登録されている内線番号の場合、下記の画面が表示されます。[決定]を押すと登録し直すことができます。



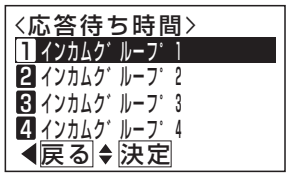
●単独電話機は登録できません。

■相手を呼び出す時間を変更する

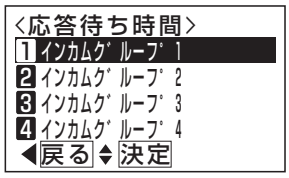
インカムモードで呼び出したときに相手を呼び出す時間（応答待ち時間）を変更することができます。

1 メニューから〈応答待ち時間〉を呼び出す

①[決定]を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[決定]を押します。
③「9 ｲﾝｶﾑﾓｰﾄﾞ」を選択し、[決定]を押します。
④「3 応答待ち時間」を選択し、[決定]を押します。



2 [上下]でインカムグループを選択し、[決定]を押す



3 [上下]で応答待ち時間を選択し、[決定]を押す

- 現在の設定を反転表示します。

4 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、[決定]を押します。
- [決定]を押すと設定を繰り返すことができます。

仲間を呼び出して通話する（インカムモード通話）

■通話の終了条件を設定する

インカムモードで通話しているときに通話を終了する条件を以下の中から設定できます。条件に合った操作をすると、参加者全員がインカムモードの通話から退出させられます。

①なし：すべての電話機が終話する。

②開始電話機の終話：
はじめにインカムモードで呼び出した電話機が終話する。

③インカム参加ボタンを押す：
参加中の電話機の、該当する[インカム( )参加]ボタンを押す。

④すべて適用する：上記②、③のいずれかの操作。

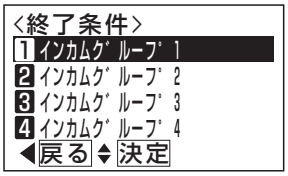
1 メニューから〈終了条件〉を呼び出す

① [OK] を押します。

②「**5** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[OK] を押します。

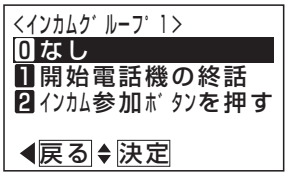
③「**9** ｲﾝｶﾑﾓｰﾄﾞ」を選択し、[OK] を押します。

④「**4** 終了条件」を選択し、[OK] を押します。



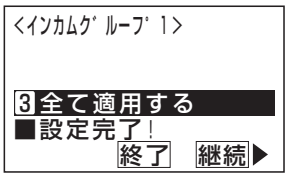
2 [▲▼] でインカムグループを選択し、[OK] を押す

3 [▲▼] で終了条件を選択し、[OK] を押す



4 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、[OK] を押します。
- [OK] を押すと設定を繰り返すことができます。



補足説明

●終了条件の設定は、工事者設定でも行えます。
［工事者設定556-2］

仲間を呼び出して通話する（インカムモード通話）

■着信応答時の送話ミュートを設定する

インカムモードで応答したときの送話ミュートの設定を選択できます。データ設定用電話機は、他の電話機の設定もできます。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機（他の電話機を設定する場合）

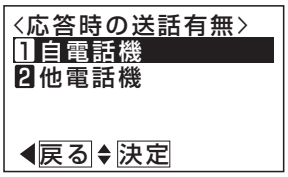
1 メニューから〈応答時の送話有無〉を呼び出す

① ⊡ を押します。

②「**5** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊡ を押します。

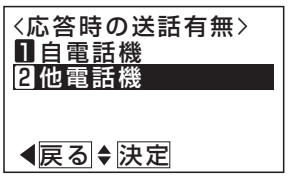
③「**9** ｲﾝｶﾑﾓｰﾄﾞ」を選択し、⊡ を押します。

④「**5** 応答時の送話有無」を選択し、⊡ を押します。



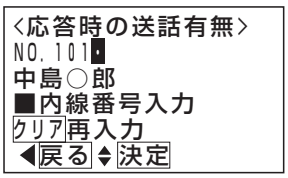
2 ⊡ で設定対象を選択し、⊡ を押す

- 自電話機を選択したときは、操作4に進みます。

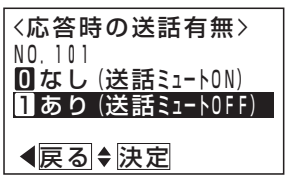


3 内線番号を入力し、⊡ を押す

- ⊡ で内線番号を検索することもできます。

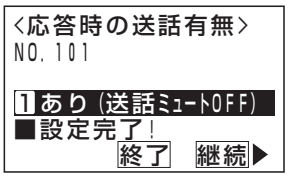


4 ⊡ で選択し、⊡ を押す



5 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、⊡ を押します。
- ⊡ を押すと設定を繰り返すことができます。



他の人の通話に割り込む

他の人の通話に割り込む(外線割込通話)

外線通話に割り込んで、3人で話すことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
412	音声会議（983）＊必要時	−

1 ハンドセットをとる

2 割り込みたい 外線 ボタンを押す

- 割り込めたとき…外線ランプ（緑）は点灯し周期的に2回消え、外線番号および最初に通話していた電話機の内線番号と内線名称が表示されます。

```
 7月10日(金)  AM10:10
会議通話中

→外線01
→NO.101   中島○郎
```

- 割り込めなかったとき…外線ランプは赤の点灯
- ストレートラインDIの場合は、DILINボタンを押します。
- 割り込まれた電話機の音声会議ボタンが点灯します。

3 3人で通話する

補足説明

- ●割り込む電話機と、割り込まれる電話機の設定が必要です。[工事者設定412]
- ●割り込まれた電話機が電話を切ると、割り込んだ電話機と外線との通話になります。
- ●割り込まれた電話機の音声会議ボタンを押すと、割り込んだ電話機は切れます。

ご注意

- ●割り込む電話機は1台のみです。
- ●すでに会議通話中の外線には割り込めません。
- ●割り込まれた後は、転送・ダイヤル送出・外線フッキングはできません。
- ●サービスクラスG(乙)の電話機は割り込めません。
- ●完全テナントの場合は、他テナントグループの電話機は割り込みできません。
- ●通話録音中は、割り込めません。

知っていると便利なこと

- ●割り込まれた電話機（ボタン電話機のみ）にアラーム（ピピ、ピピ）を流すことができます。[工事者設定412]

他の人の通話に割り込む

お話し中のときに通話に割り込む(リセットコール割込通話)

内線を呼び出したときに相手が話し中の場合、内線番号の最下位桁をもう一度ダイヤルすると相手の通話に割り込むことができます。以下に例として内線102番を呼んだときに外線通話中だった場合、通話に割り込む方法を示します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(507)	音声会議 (983) ＊必要時	−

1 ハンドセットをとり、1 0 2 を押す

2 102番の電話機が話し中でつながらなかった場合に、内線番号の最終桁2をもう一度押す

- 内線102番の通話に割り込みます。
- 外線通話に割り込んだ場合は、割り込まれた電話機の音声会議ボタンが点灯します。
- 内線通話に割り込んだ場合は、割り込んだ電話機の音声会議ボタンが点灯します。割り込まれた電話機の音声会議ボタンは点灯しません。

3 3人で通話する

補足説明

- ●外線通話に割り込む電話機と、割り込まれる電話機の設定が必要です。[工事者設定507]
- ●外線通話に割り込まれた電話機が電話を切ると、割り込んだ電話機と外線との通話になります。
- ●外線通話に割り込まれた電話機の音声会議ボタンを押すと、割り込んだ電話機は切れます。
- ●内線通話に割り込まれた電話機が電話を切ると、割り込んだ電話機と、割り込み先と通話していた電話機との通話になります。
- ●内線通話中の電話機に割り込んだ場合、割り込んだ電話機の音声会議ボタンを押すと、割り込み先と通話していた電話機は切れ、割り込んだ電話機と割り込み先との通話になります。

ご注意

- ●割り込む電話機は1台のみです。
- ●すでに会議通話中の電話機には割り込めません。
- ●割り込まれた後は、保留・転送・ダイヤル送出・外線フッキングできません。
- ●割り込む電話機のサービスクラス（P7-57）が割り込まれる電話機のサービスクラスより低い場合は、割り込めません。
- ●通話録音中は、割り込めません。

知っていると便利なこと

- ●操作2で内線番号の最終桁の代わりに#を押すこともできます。ただし､回転ダイヤル式（DP式）の単独電話機はできません。
- ●割り込まれた電話機（ボタン電話機のみ）にアラーム（ピピ、ピピ）を流すことができます。[工事者設定507]

ハンズフリー通話を行う

ハンズフリー通話するとき

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(606)	マイク (982)	−

外線通話時にハンドセットを持たずに通話することができます。

■外線に電話をかける

1 外線 ボタンを押す
(マイク ランプが消えていること)
- スピーカ ランプが点灯します。

2 相手の方の電話番号を押す

3 マイク ボタンを押す
- マイク ランプが点灯します。(マイクON)

4 相手の声が聞こえ、ハンドセットを取らずに通話できる

■外線着信に応答する

1 スピーカ ボタンを押す

2 着信中に 外線 ボタンを押す
- オフフック応答が設定されている場合(初期値:あり)、操作は不要です。外線を選びたいときは、外線 ボタンを押してから スピーカ ボタンを押してください。

3 マイク ボタンを押す
- マイク ランプが点灯します。(マイクON)

4 相手の声が聞こえ、ハンドセットを取らずに通話できる

■通話を終える

1 スピーカ ボタンを押す
- スピーカ ランプが消灯します。

補足説明

●オフフック応答機能が設定されている場合、外線着信に応答するときの操作2は省略します。

ご注意

●発信音(ツー、ツツツ…等)を聞いているときにマイクをオンすると発信音が途切れる場合があります。通話に入るときに マイク ボタンを押してください。

ハンズフリー通話を行う

ハンズフリー中に外線を保留する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(606)	マイク (982)	−

■外線を保留する

1 保留 または 自己保留 ボタンを押す

■保留した外線に応答する

1 マイク ランプが点灯している状態で、保留中の 外線 ボタンを押す
- スピーカ ランプが消えている場合、続けて スピーカ ボタンを押します。

2 相手の方と通話する

■外線を他の人に転送する

1 内線 ボタンを押す

2 転送したい内線番号をダイヤルする

3 相手が応答したら 転送 ボタンを押す

ハンズフリーとハンドセット通話を切り替える

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(606)	マイク (982)	−

■ハンズフリー通話からハンドセット通話に切り替える

1 ハンドセットをとる
- ハンドセットで通話できます。

■ハンドセット通話からハンズフリー通話に切り替える

1 スピーカ ボタンを押す

2 マイク ボタンを押す
- マイク ランプが点灯します。
- マイク ランプが点灯しているときは、操作は不要です。

3 ハンドセットを置く
- ハンズフリーで通話できます。

ご注意

- ハンズフリー通話は、音声を半二重方式で伝送しています。一度に片方しか送話できず、両者が同時に送話できません。話す時は交互に話すようにしてください。
- ハンズフリー通話とハンドセットによる通話は同時にはできません。
- 下記の場合は通話が困難になることがありますので、ハンドセットで通話を行ってください。
  - 周囲騒音の大きい所（約60デシベル以上）での使用
  - 音が反響しやすい所での使用
  - テレビ、ラジオの近くでの使用
  - 相手の方がハンズフリーのとき
  - ドアホンと通話するとき
  - 複数人で話すとき（会議通話など）

電話機を使っていないときに消費電力を低減する

電話機の動作を停止する(省電力モード)

夜間や休日など、電話機を全く使わないときに電話機の電力供給を停止し、消費電力を低減することができます。また、停電時（バッテリー動作時）に動作電話機を制限しシステムの運用時間をより長くすることができます。省電力モード中でも、留守番電話機能や転送電話などは通常通り動作します。
ボタン操作や夜間切替、停電監視と連動して省電力モードを切り替えることができます。[工事者設定669]

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
669	省電力01（451）～ 省電力48（498）	–

■ 省電力( ) ボタンで省電力モードに切り替える

1 省電力( ) ボタンを押す

- 使用中の電話機があるときは、省電力( )ランプ（赤）がゆっくり点滅し、「省電力待ち状態」となります。
- 使用中の電話機がないときは、省電力( )ランプ（赤）が点灯し、省電力モードに切り替わります。
- もう一度省電力( )ボタンを押すと省電力モードは解除され、省電力( )ランプは消灯します。

■夜間切替と連動させる

1 夜間状態となる

- 使用中の電話機があるときは、省電力( )ランプ（赤）がゆっくり点滅し、「省電力待ち状態」となります。
- 使用中の電話機がないときは、省電力( )ランプ（赤）が点灯し、省電力モードに切り替わります。
- 夜間状態が解除されると省電力モードも解除され、省電力( )ランプは消灯します。

■停電監視と連動させる

1 バッテリー動作中にバッテリーの電圧が低下する

- 使用中の電話機があるときは、「省電力待ち状態」となります。
- 使用中の電話機がないときは、「省電力モード」に切り替わります。
- 停電状態が解除されると省電力モードも解除されます。
  バッテリーでの動作時は省電力( )ランプは変化しません。

補足説明

- 「省電力待ち状態」の場合は、使用中の電話機がなくなると省電力モードに切り替わります。
- 各電話機の省電力モードを設定できます。
  省電力モードは電話機グループごとに動作させることができます。
  電話機ごとの設定と電話機グループ、省電力グループ、夜間切替のテナント番号の関係はP5-165の説明をご覧ください。
- 夜間切替は、夜間切替( )ボタン、メニュー機能、夜間切替スイッチ、夜間切替タイマ等のいろいろな切替方法があります。詳しくは、「夜間切替」（P7-41）をご覧ください。
- 夜間切替と連動させる場合は、連動するテナント番号の設定が必要です。[工事者設定669]
- 夜間切替と連動させる場合、夜間切替で省電力モードになったあとに省電力( )ボタンで省電力モードを解除することもできます。

ご注意

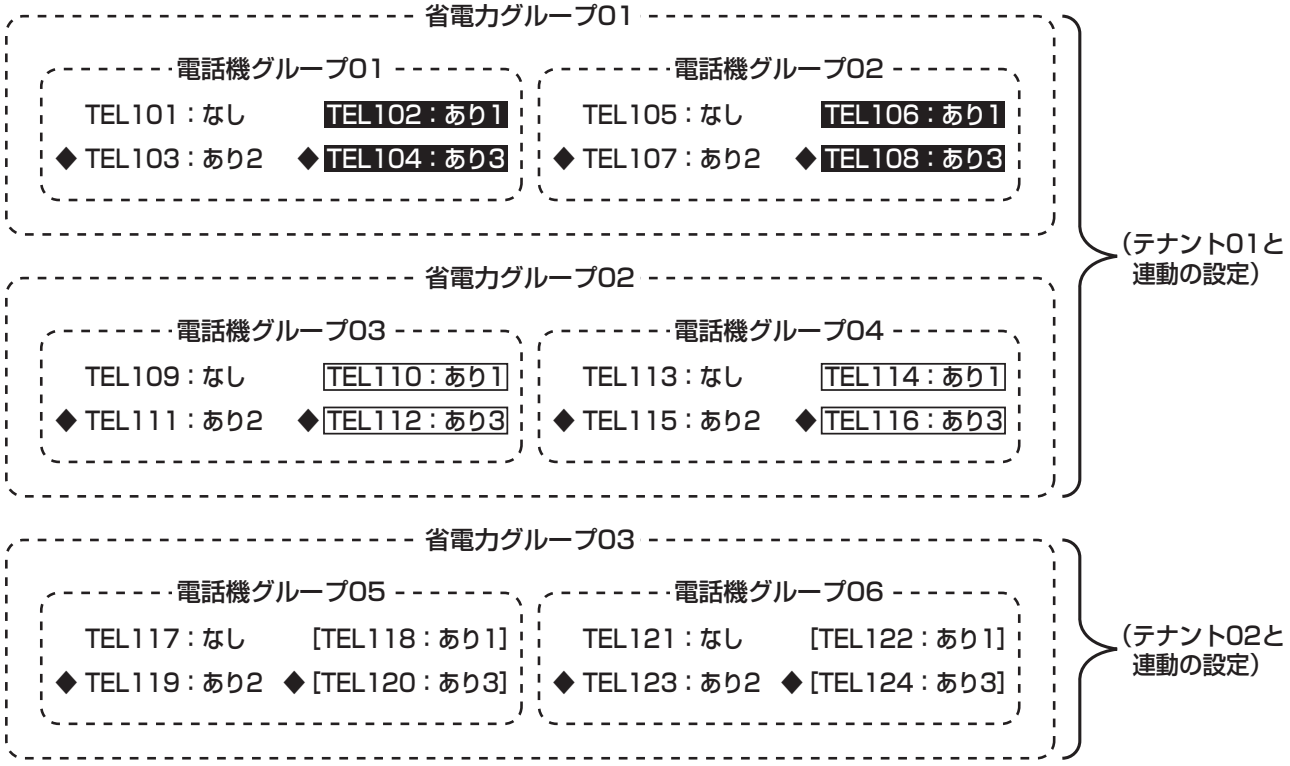
- 省電力モードに切り替わっても、省電力( )ボタン、省電力モードが連動する夜間切替( )ボタンを登録している電話機は通常通り使用できます。
- 省電力モードが有効なのは、ボタン電話機、多機能コンソール、DCLの親機、DCLS、DCLL、DHCL、PHSの親機です。
- 専用の給電ハブを使うとIP電話機でも省電力モードを使えます。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- コードレス電話機は省電力モードの対象外に設定してご使用ください。ディジタルコードレス電話機（DCLS、DCLL、DHCL）の場合は、親機の電源が切れると子機側の電池の消耗が激しくなります。ディジタルハンドルコードレス電話機（DHCL）の場合は、子機への充電もできなくなります。

電話機を使っていないときに消費電力を低減する

■省電力モードの動作する電話機、電話機グループ、省電力グループ、夜間切替のテナント番号の関係

このページで説明している設定は、工事者設定が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。
省電力モードの切り替えは、電話機ごとに以下の４つのいずれかのタイミングが設定できます。
・なし（省電力モードには切り替わらない）
・ボタンでの切替／夜間切替時
・バッテリー動作時
・ボタンでの切替／夜間切替／バッテリー動作時
省電力モードを動作させる省電力グループに、電話機グループを割り当てることができます。
省電力モードへの切り替えは、省電力グループごとに登録された省電力( )ボタンで行います。
省電力グループは最大で48まで作ることができ、複数の電話機グループを含めることができます。
省電力グループごとに連動する夜間切替のテナント番号を設定することができます。
夜間切替はテナントごとに登録された夜間切替( )ボタンで行います。

【省電力モードに切り替わる電話機の例】



なし：省電力モードへの切替なし
あり1：ボタンでの切替／夜間切替時
あり2：バッテリー動作時
あり3：ボタンでの切替／夜間切替／バッテリー動作時

上記の設定で、切替動作が行われた場合に省電力モードに移行する電話機は以下の表の通りです。

切替操作	省電力01ボタン	省電力02ボタン	省電力03ボタン	夜間切替01ボタン	夜間切替02ボタン	停電監視
省電力モードに移行する電話機	TEL102 TEL104 TEL106 TEL108	TEL110 TEL112 TEL114 TEL116	[TEL118] [TEL120] [TEL122] [TEL124]	TEL102 TEL104 TEL106 TEL108 TEL110 TEL112 TEL114 TEL116	[TEL118] [TEL120] [TEL122] [TEL124]	TEL103、TEL104等の◆が付いた電話機（計12台）

電話機を使っていないときに消費電力を低減する

ランプのみ消灯する(電話機エコモード)

電話機を一定時間使っていないときに、外線ボタン等のランプやディスプレイのバックライトを消灯することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
701-9	−	−

■電話機エコモードを設定する

電話機ごとにエコモードの有無やエコモードに入るまでの時間を設定します。

1 メニューから<電話機ｴｺﾓｰﾄﾞ設定>を呼び出す

① を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、 を押します。

<電話機ｴｺﾓｰﾄﾞ設定>
1 無操作時間の設定
2 ﾊﾞｯｸﾗｲﾄの設定
◀戻る ◆決定

③「**0 その他**」を選択し、 を押します。
④「**2 電話機ｴｺﾓｰﾄﾞ設定**」を選択し、 を押します。

2 で「1 無操作時間の設定」を選択し、 を押す

<電話機ｴｺﾓｰﾄﾞ設定>
1 無操作時間の設定
2 ﾊﾞｯｸﾗｲﾄの設定
◀戻る ◆決定

3 を押し、「0 ｴｺﾓｰﾄﾞなし」またはエコモードになるまでの時間を選択し、 を押す

- 現在の設定が反転表示されます。

<無操作時間の設定>
0 ｴｺﾓｰﾄﾞなし
1 30秒後
2 1分後
◀戻る ◆決定

4 設定完了画面が表示される

- を押すと、終了します。

<無操作時間の設定>
2 1分後
■設定完了!
終了

■電話機エコモードの動作

1 電話機を操作しないで、一定の時間が経過すると外線ボタン等のランプやディスプレイのバックライトが消灯する

- ディスプレイには「ｴｺﾓｰﾄﾞ中　操作で解除」が表示されます。

7月10日(金) AM10:10
NO.1234
中島○郎
ｴｺﾓｰﾄﾞ中　操作で解除

2 電話機を操作したり、着信が入るとエコモードが解除される

- エコモードのみを解除したい場合は、クリアボタンを押してください。

補足説明

●本機能が有効なのは、標準電話機（SD）、ディジタルハンドルコードレス電話機（DHCL）、IP多機能電話機（IPSD／IPBT／IPLD／IPDHCL）のみです。
●ハンドセットをあげているときやスピーカランプが点灯しているとき（通話しているとき）は、エコモードになりません。
●自分が保留した外線があるとき（外線ランプ(緑)が周期的に2回点滅)は、エコモードになりません。
●エコモードが解除される着信は着信／メッセージランプが速い点滅またはレインボー表示をする着信のみです。一斉呼出の場合は、エコモードは解除されません。ただし、相手の方の音声は聞くことができます。
●エコモード時に消灯するのは外線ボタン等のプログラマブルキーのランプとディスプレイのバックライト、保留ランプのみです。iランプや着信／メッセージランプ等はランプ表示します。
●バックライトの設定をするときは、操作2で「**2 ﾊﾞｯｸﾗｲﾄの設定**」を選択してください。消灯1に設定したときはうっすらと点灯します。消灯2に設定すると完全に消灯します。

ご注意

●多機能コンソールを組み合わせて使用している電話機は、エコモードを設定しないでください。エコモードを設定した場合、コンソール側のボタンを押しても、電話機のエコモードは解除されません。

知っていると便利なこと

●電話機エコモードの機能を使用しない場合も、キー操作後は一定時間が経過すると、バックライトが消灯します（初期設定15秒）。詳しくは、「バックライト点灯時間の変更」（P1-31）をご覧ください。

単独電話機を使う

内線電話機として、単独電話機（市販の家庭用電話機、FAX等も含む）を使用することができます。

外線に電話をかける

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
（102）	−	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

1 ハンドセットをとる

2 外線発信番号 0 を押す

• 外線発信音「ツー」が聞こえます。

3 相手の方の電話番号を押す

4 相手の方が応答したら通話する

補足説明

●空いている外線が自動で選択されます。

知っていると便利なこと

●外線自動発信番号 0 は変更することができます。［工事者設定102］

外線を指定してかける（外線指定捕捉）

ダイヤル操作で使用する外線番号を指定することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
106	−	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

1 ハンドセットをとる

2 外線指定捕捉番号（1～4桁）* を押す

*番号を可変桁にしている場合は、外線指定捕捉番号のあとに # を押してください。

3 外線番号（2桁）を押す

• 外線1は01、外線2は02を押します。
• 外線発信音「ツー」が聞こえます。

補足説明

●外線指定捕捉番号は工事者設定が必要です。［工事者設定106］

ご注意

●指定した外線が空いていなかったときは、下記のようになります。
・着信中の外線を指定したときは、外線着信に応答します。
・保留中の外線を指定したときは、保留に応答します。
・通話中の外線を指定したときは、外線割込通話となります。（外線割込通話は設定が必要です。）［工事者設定412］

単独電話機を使う

外線に短縮ダイヤルを使ってかける

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
110	–	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

1 ハンドセットをとる

2 短縮ダイヤル発信番号（1～4桁)*を押す

*番号を可変桁にしている場合は、短縮ダイヤル発信番号のあとに[#]を押してください。

3 短縮番号を押す

- 電話番号1に登録されている番号が自動的にダイヤルされます。

4 相手の方が応答したら通話する

補足説明

●短縮ダイヤル発信番号は工事者設定が必要です。[工事者設定110]

知っていると便利なこと

●初期設定の場合、短縮ダイヤル発信時に押す短縮番号は4桁（電話帳内の短縮番号と同一桁数）ですが、主装置側の設定により電話機ごとに1～3桁に変更することもできます。
詳細は、「短縮番号を指定して電話をかける」の「知っていると便利なこと」をご覧ください。
⇒P3-19

外線からの着信に応答する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(203,204,209)	–	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

1 ハンドセットをとる

2 外線着信応答番号[2][7][2]*を押す

*番号を可変桁にしている場合は、外線着信応答番号のあとに[#]を押してください。

3 相手の方と通話する

補足説明

●着信している外線のうち最も小さい番号の外線に応答します。

ご注意

●サービスクラスG(乙)の電話機は応答できません。
●テナント外の外線には応答できません。
●ボタン電話機の着信音と異なり、各単独電話機の着信音は同期しません。
●ナンバー・ディスプレイ機能を利用する単独電話機は、ボタン電話機と比べ着信が遅れます。

知っていると便利なこと

●あらかじめ決められた収容位置にナンバー・ディスプレイ機能を持つ単独電話機を接続すると、ナンバー・ディスプレイ機能を利用することができます。⇒P5-31～5-50
ナンバー・ディスプレイ機能を利用するときは、工事者設定が必要です。[工事者設定229-11]
●ハンドセットをとるだけで、外線に応答できるようにすることもできます。[工事者設定204、209]
●外線着信応答番号は変更することができます。[工事者設定203]

単独電話機を使う

外線を保留する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
312, (313, 314,316)	–	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

■保留するとき

1 外線通話中にフッキング操作を行う
- 「フック」や「フラッシュ」等のボタンがある電話機は、このボタンを押します。
- スペシャルダイヤルトーン「ツッツッツッ…」が聞こえます。
- 相手の方には保留音が流れます。

■保留外線に応答するとき

1 ハンドセットをとる

2 保留応答番号 2 7 3 * を押す

*番号を可変桁にしている場合は、保留応答番号のあとに # を押してください。

3 保留した相手の方と通話する

補足説明

●保留した後は、ハンドセットを置いても電話は切れません。
●保留に応答するときは、自分が保留した外線を優先して応答します。自分が保留した外線が複数ある場合は、最後に保留した外線に応答します。
●自分が保留した外線がない場合は、保留されている外線の若番から応答します。

知っていると便利なこと

●保留自己外線応答番号を使用すると、自分が保留した外線以外は応答できなくなります。[工事者設定314]
●回転ダイヤル式（DP式）の電話機は、2 ダイヤルでも保留できます。保留番号 2 は変更することも可能です。[工事者設定312]
●保留応答番号は変更することもできます。[工事者設定313]

外線を転送する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
315, (316)	–	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

1 外線通話中にフッキング操作を行う
- 「フック」や「フラッシュ」等のボタンがある電話機は、このボタンを押します。
- スペシャルダイヤルトーン「ツッツッツッ…」が聞こえます。
- 相手の方には保留音が流れます。

2 転送したい内線番号を押す

3 呼出先が応答したら用件を伝える

4 ハンドセットを置く
- 呼出先に外線が転送されます。

補足説明

●転送をやめて外線との通話に戻るときは、操作2～3の間でフッキング操作をします。回転ダイヤル式（DP式）電話機は、操作3のときに 2 ダイヤルでも外線に戻れます。

知っていると便利なこと

●操作2の後に、ハンドセットを置くだけで外線を転送することもできます。「外線簡易転送」[工事者設定309]
●外線簡易転送を行う場合、存在しない内線番号を押してハンドセットを置いたり、内線番号を押さずにハンドセットを置いた場合に、転送元を呼び出し、通話に戻すことができます。「不完全転送呼の発呼者戻し」[工事者設定316]

単独電話機を使う

他の電話機の着信に代理応答する

他の電話機の着信を同じグループ内の電話機で応答することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
524	–	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

1 ハンドセットをとる

2 代理応答番号 2 7 5 *を押す

*番号を可変桁にしている場合は、代理応答／テナント外応答番号のあとに # を押してください。

3 相手の方と通話する

補足説明

●代理応答番号は工事者設定が必要です。[工事者設定524]

ご注意

●代理応答／内線保留グループが設定されている場合は、他のグループの電話機は代理応答できません。[工事者設定524]

知っていると便利なこと

●内線着信以外に、
- ・ダイレクトインダイヤル
- ・ダイヤルイン
- ・ISDNのサブアドレスダイヤルイン
- ・i・ナンバー
- ・発番号ホットラインの内線呼出
- ・ダイレクトインライン着信
- ・外線簡易転送の着信

にも代理応答できます。ただし、完全テナントが設定されている場合は、テナント外の外線には応答できません。また、サービスクラスG（乙）電話機は外線系の着信には代理応答できません。

●P2-6、P2-50 に記載の方法でも操作できます。

内線通話を保留する

内線と通話中にその通話を保留して、他の電話機で応答することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
551,555	–	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

■一般保留する

同一グループ内の他の電話機から応答できる保留を行います。

1 内線通話中にフッキング操作を行う

- 「フック」や「フラッシュ」等のボタンがある電話機は、このボタンを押します。
- スペシャルダイヤルトーン「ツッツッツッ…」が聞こえます。
- 相手の方には保留音が流れます。

2 ハンドセットを置く

■自己保留する

自分だけの保留（他の電話機から保留応答できない）を行います。（最大40秒間）

1 内線通話中にフッキング操作を行い、ハンドセットはとったままとする

- 「フック」や「フラッシュ」等のボタンがある電話機は、このボタンを押します。
- スペシャルダイヤルトーン「ツッツッツッ…」が聞こえます。
- 相手の方には保留音が流れます。

ご注意

●保留できるのは代理応答／内線保留グループ内で1通話のみです。（※）

●一般保留できる時間は約2分間です。2分を経過すると保留は解除され通話が切れます。（※）

●自己保留の場合、スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）は約20秒で話中音（ツーツーツー…）に切り替わり、話中音が約20秒流れると、元の通話に戻ります。

※内線パーク保留（P2-53）を利用しない場合

知っていると便利なこと

●回転ダイヤル式（DP式）の電話機は、2 ダイヤルでも保留できます。保留番号 2 は変更することも可能です。[工事者設定551]

●内線パーク保留（P2-53）を利用すると、複数の内線通話を保留することができます。単独電話機の操作方法は通常の保留方法と同じです。

単独電話機を使う

保留した内線に応答する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
552,（555）	–	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

■一般保留に応答する

1 ハンドセットをとる

2 保留応答番号 2 7 3 *を押す

- 保留した相手の方と通話できます。

*番号を可変桁にしている場合は、保留応答番号のあとに # を押してください。

■自己保留に応答する

1 スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）中に一度ハンドセットを置く

2 ハンドセットをとる

3 保留応答番号 2 7 3 *を押す

- 内線通話に戻ります。

*番号を可変桁にしている場合は、保留応答番号のあとに # を押してください。

ご注意

●保留応答できるのは、保留した電話機と同じ代理応答／内線保留グループの電話機のみです。また、内線パーク保留（P2-53）を利用している場合は、グループ内の内線パーク保留のみ応答できます。

知っていると便利なこと

●保留応答番号は変更することも可能です。［工事者設定552］

内線通話を転送する

内線通話を他の電話機に転送します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
553	–	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

1 内線通話中にフッキング操作を行う

- 「フック」や「フラッシュ」等のボタンがある電話機は、このボタンを押します。
- スペシャルダイヤルトーン「ツッツッツッ…」が聞こえます。
- 相手の方には保留音が流れます。

2 転送したい内線番号を押す

3 呼出先が応答したら用件を伝える

4 ハンドセットを置く

- 転送先に通話が転送されます。

ご注意

●保留できるのは代理応答／内線保留グループ内で1通話のみです。（内線パーク保留（P2-53）を使用しない場合）

●番号を可変桁に設定している場合は、内線番号を押したあとに下記のいずれかの操作をしてください。

・何もしないで5秒待つ
・ # を押す

知っていると便利なこと

●転送先が応答しないときは、フッキング操作をすると元の通話に戻れます。

●操作2の後に、ハンドセットを置くだけで内線を転送することもできます。「簡易転送」［工事者設定553］
ただし、オートマチックリコールは機能しません。

単独電話機を使う

話中・応答遅延転送

内線からの呼び出しがあったとき、話し中やすぐに電話に出られないときなどは、あらかじめ設定した電話機に自動的に転送することができます。話し中のときに転送する機能は「話中転送」、すぐに電話に出られないときに転送する機能は「応答遅延転送」といいます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
531	–	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

■転送先を登録する

1 ハンドセットをとる

2 応答遅延転送登録番号 3 7 0* を押す

*番号を可変桁にしている場合は、応答遅延転送登録番号のあとに # を押してください。

3 転送先の内線番号を押す

- 転送先が登録済みの場合は、連続音（プー）が聞こえます。そのままハンドセットを置くと消去されますが、連続音（プー）が流れている間（約20秒）に内線番号を押すと再登録できます。

4 完了を示す保留音が聞こえるので、ハンドセットを置く

■設定するとき

1 ハンドセットをとる

2 応答遅延転送開始番号 3 7 3* を押す

*番号を可変桁にしている場合は、応答遅延転送開始番号のあとに # を押してください。

- 話中・応答遅延転送がセットされている場合は、連続音（プー）が聞こえます。そのままハンドセットを置いても、設定は保持されます。

3 転送内容番号（1 ～ 3）を押す

- 転送の内容は次のとおりです。
  1 ＝話中転送
  2 ＝応答遅延転送
  3 ＝話中転送＋応答遅延転送
- 転送を解除するときは 0 を押します。

4 完了を示す保留音が聞こえるので、ハンドセットを置く

補足説明

●応答遅延転送先登録番号、応答遅延転送開始番号は設定が必要です。［工事者設定531］
●応答遅延転送までの時間は約30秒です。この間に電話に出ないと、他の電話機を呼び出します。
※転送までの時間は、10～70秒、10秒単位で変更することもできます。［工事者設定531］
●内線着信以外に、下記の着信も転送できます。
・ダイレクトインダイヤル
・ダイヤルイン
・ISDNのサブアドレスダイヤルイン
・i・ナンバー
・発番号ホットラインの内線呼出
・ダイレクトインライン着信

ご注意

●転送先が不在転送、内線代表、話中転送、応答遅延転送を設定していても、その先までは転送できません。
●完全テナントの場合、内線着信以外はテナント外の電話機に転送されません。

単独電話機を使う

不在のときに内線へ転送する（不在転送）

不在中にかかってきた電話を、他の電話機に転送します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
527	−	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

■転送先を登録する

1 ハンドセットをとる

2 不在転送（内線）登録番号 3 7 1 *を押す

*番号を可変桁にしている場合は、不在転送（内線）登録番号のあとに # を押してください。

3 転送先の内線番号を押す

- 転送先が登録済みの場合は、連続音（プー）が聞こえます。そのままハンドセットを置くと消去されますが、連続音（プー）が流れている間（約20秒）に内線番号を押すと再登録できます。

4 完了を示す保留音が聞こえるので、ハンドセットを置く

知っていると便利なこと

●内線番号の代わりに「VMUアクセス番号」を登録すると、転送先をボイスメモにすることができます。⇒P5-90

■設定するとき

1 ハンドセットをとる

2 不在転送（内線）開始番号 3 7 4 *を押す

*番号を可変桁にしている場合は、不在転送（内線）開始番号のあとに # を押してください。

3 完了を示す保留音が聞こえるので、ハンドセットを置く

補足説明

●不在転送先（内線）登録番号、不在転送（内線）開始番号は設定が必要です。[工事者設定527]
●内線に転送できる着信は下記のとおりです。
- 内線着信
- ダイレクトインダイヤル
- ダイヤルイン
- ISDNのサブアドレスダイヤルイン
- i・ナンバー
- 発番号ホットラインの内線呼出
- ダイレクトインライン着信
- ドアホン着信
- 専用線着信
- 外線着信
- 外線の各種一般着信
- ストレートラインDI

ご注意

●ハンドセットを上げると、不在転送は解除されます。
●転送先が不在転送、内線代表、話中転送、応答遅延転送を設定していても、その先までは転送できません。
●完全テナントの場合、内線着信以外はテナント外の電話機に転送されません。

単独電話機を使う

不在のときに外線へ転送する（不在転送）

不在中にかかってきたダイヤルイン（DI）、ダイレクトインダイヤル（DID）、ISDNのサブアドレスダイヤルイン、i・ナンバー、発番号ホットラインの呼出または内線着信をあらかじめ指定した外線に転送することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
528	–	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

■転送先を登録する

1 ハンドセットをとる

2 不在転送（外線）登録番号 3 7 2 *を押す

*番号を可変桁にしている場合は、不在転送（外線）登録番号のあとに#を押してください。

3 転送先の電話番号を押す

- 転送先が登録済みの場合は、連続音（プー）が聞こえます。そのままハンドセットを置くと消去されますが、連続音（プー）が流れている間（約20秒）に電話番号を押すと再登録できます。

4 しばらく待つ

- 完了を示す保留音が聞こえますので、ハンドセットを置きます。

■設定するとき

1 ハンドセットをとる

2 不在転送（外線）開始番号 3 7 5 *を押す

- 完了を示す「設定完了アナウンス」（P7-26）または保留音が聞こえますので、ハンドセットを置きます。

*番号を可変桁にしている場合は、不在転送（外線）開始番号のあとに#を押してください。

補足説明

●不在転送（外線）登録番号、不在転送（外線）開始番号は設定が必要です。［工事者設定528］
●転送先の電話番号は16桁まで入力できます。

ご注意

●ハンドセットを上げると、不在転送は解除されます。
●転送先の電話番号を登録するとき、約6秒以上あいだをあけないでボタンを押してください。約6秒以上あいだがあくと、それまでに入力された番号で登録されます。

知っていると便利なこと

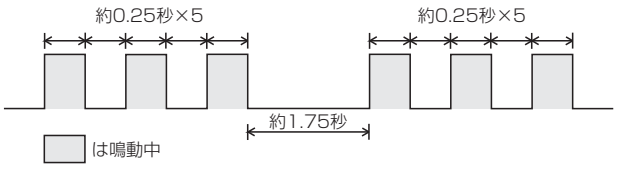
●外出先から不在転送のオン／オフを行ったり、不在転送先を変更したりできます。⇒P5-122

単独電話機を使う

その他の操作について

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
それぞれの説明による	−	ET-4STI-Xi LA LB ET-8STI-XiL LA LB ET-6DC+2ST-XiL LA LB

以下の操作はボタン電話機のハンドセットをとっての操作と同じです。それぞれの操作説明をご覧ください。

操作項目	掲載ページ
内線に電話をかける	P2-33
内線からの電話を受ける	P2-48
内線を一斉に呼び出す	P2-46
外部スピーカで放送する	P8-7
ドアホン・テレビドアホンと通話する	P8-1 着信音は単独電話機の鳴動音になります。音の間隔は下記のとおりです。 

通話料金を管理する

通話料金管理について

通話料金を集計して電話機のディスプレイに表示できます。通話料金を管理することにより電話料金の節約につながります。
通話料金は、各電話機、ID番号、課金グループ、システム全体のそれぞれで管理することができます。課金グループは事務グループ（最大数は16）と客室グループ（最大数は8）があり、それぞれ独立して料金を管理することができます。事務グループと客室グループではそれぞれ異なる料金単位（通話料金の基本金額）を使い料金計算を行います。客室グループは料金計算の際に料金単位に掛ける課金係数が設定できます。また1回の通話ごとに料金を四捨五入するかどうかの設定もできます。[工事者設定128]
ID番号は個人に割り振った番号で通話料金を管理する方法で、電話機や課金グループには依存しません。
なお、本装置で表示または印字される通話料金は回線事業者で管理している料金と異なる場合があります。料金の目安としてお使いください。

消費税率の自動変更を設定する

消費税率が変更される日と税率をあらかじめ指定しておくことができます。設定した日付になると税率が自動的に変更されるので、変更忘れを防ぐことができます。変更日と税率は3つまで登録できます。

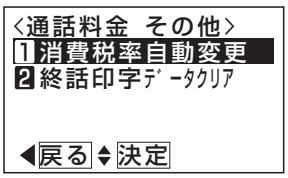
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
128	−	−

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

■変更日を登録（変更）する

1 メニューから〈消費税率自動変更〉を呼び出す

① [決定]を押します。
②「**0** その他」を選択し、[決定]を押します。
③「**2** 通話料金（管理者）」を選択し、[決定]を押します。
④「**0** その他」を選択し、[決定]を押します。
⑤「**1** 消費税率自動変更」を選択し、[決定]を押します。

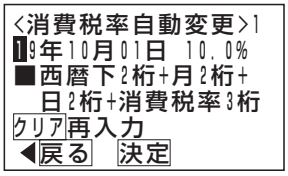


2 [▲▼]で登録したい番号を選択し、[決定]を押す

3 [▲▼]で「1** 登録/変更」を選択し、[決定]を押す**

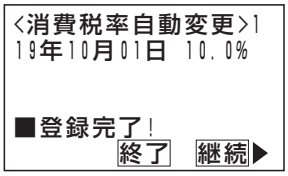
4 ダイヤルボタンで年月日と税率を入力し、[決定]を押す

- 税率は小数点以下1桁まで入力できます。
- 税率の最大値は99.9%です。



5 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、[終了]を押します。
- [継続▶]を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。



通話料金を管理する

補足説明

●初期設定はありませんので、必要に応じて設定してください。
●設定は反映されると自動的に消去されます。

ご注意

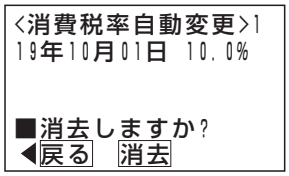
●本機能は、法令の経過措置については考慮されておりません。設定された日付になると税率は変更され料金計算に使用されます。本機能を使って料金精算などを行う場合には注意が必要です。

■変更日を消去する

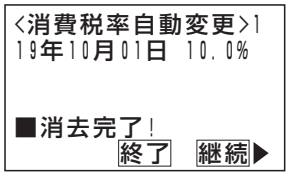
「■変更日を登録（変更）する」の操作2を行ったあと、下記の操作を行います。

3 ◈で「**2**消去」を選択し、◈を押す

4 消去確認画面が表示されるので、◈を押す



5 消去完了画面が表示される



通話料金を管理する

各電話機の予算使用率を表示する

あらかじめ各電話機、各ID番号に予算を登録すると、電話機のディスプレイに現在の予算使用率を表示できます。また各課金グループの予算を登録することもできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
131, (128,133)	−	−

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

■各電話機、各ID番号の予算を登録する

1 メニューから〈通話料金(管理者)〉を呼び出す

① [ ] を押します。

②「**0 その他**」を選択し、[ ] を押します。

③「**2 通話料金（管理者)**」を選択し、[ ] を押します。

〈通話料金(管理者)〉
1 累計/予算使用率
2 前回累計
3 累計ｸﾘｱ
4 予算登録
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

2 [ ] で「4 予算登録」を選択し、[ ] を押す

〈通話料金(管理者)〉
1 累計/予算使用率
2 前回累計
3 累計ｸﾘｱ
4 予算登録
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

3 ユーザ用パスワード（4桁）を入力する

- パスワードが登録されていない場合、パスワード入力画面は表示されません。

〈予算登録〉
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ：＊＊■
◀戻る

4 [ ] で「1 内線/ID番号毎」を選択し、[ ] を押す

〈予算登録〉
1 内線/ID番号毎
2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎
◀戻る ▲▼決定

5 予算を登録する内線番号を入力し、[ ] を押す

- [ ] で内線番号を検索することもできます。

〈予算登録〉
予算103■:
山田○次郎
■内線/ID番号入力
クリア再入力
◀戻る ▲▼決定

6 予算を入力し、[ ] を押す

- 予算は百円単位で、1～9999まで入力できます。
- クリア ボタンを押すと、予算をクリアすることができます。

〈予算登録〉
予算103 :■10000円
山田○次郎
■百円単位で最大4桁
クリア:予算ｸﾘｱ/再入力
◀戻る 決定

7 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、[ ] を押します。
- [ ] を押すと操作4に戻り、登録を繰り返すことができます。

〈予算登録〉
予算103 : 10000円
山田○次郎
■登録完了!
終了 継続▶

補足説明

●パスワードの登録は「リモート操作時のパスワードを登録する」(P7-32) をご覧ください。

●予算をクリアした場合は、登録完了画面で予算の代わりに「管理なし」が表示されます。

知っていると便利なこと

●予算をオーバーした電話機は外線へ電話をかけられないようにすることができます。ただし、通話中に予算をオーバーした場合、電話は切れません。次に電話をかけるときから機能します。[工事者設定133]

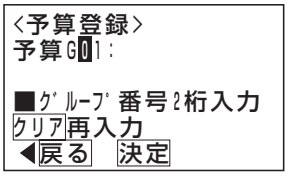
通話料金を管理する

■各課金グループの予算を登録する

「■各電話機、各ID番号の予算を登録する」(P5-178)の操作1～操作3を行ったあと、下記の操作を行います。

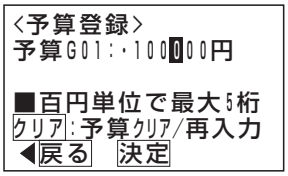
4 ◈で「2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎」を選択し、◈を押す

5 予算を登録するグループ番号を入力し、◈を押す



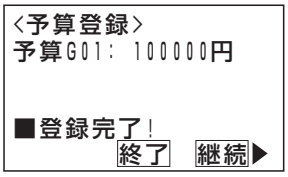
6 予算を入力して、◈を押す

- 予算は百円単位で、1～99999まで入力できます。
- クリア ボタンを押すと、予算をクリアすることができます。



7 登録完了画面が表示される

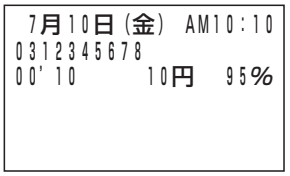
- 終了する場合は、◈を押します。
- ◈を押すと操作4に戻り、登録を繰り返すことができます。



■予算使用率の表示

1 外線に電話をかける

- 相手の方が応答すると、通話時間、通話料金と共に予算使用率を表示します。



補足説明

- ●通話時間は59分59秒まで10秒単位で表示し、それを超えると00分00秒から再スタートします。
- ●通話料金は9999円まで表示し、それを越えると0円から再スタートします。
- ●予算をオーバーした場合は、「XX%」の代わりに「FULL」が表示されます。

ご注意

- ●通話中は予算使用率は変化しません。通話終了後に変更されます。

知っていると便利なこと

- ●待機時にも予算使用率を表示させることができます。[工事者設定131]

通話料金を管理する

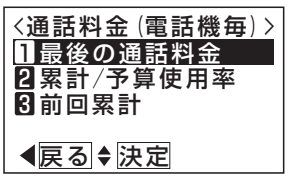
最後の通話料金を確認する

最後に外線通話したときの各電話機の通話料金を電話機のディスプレイに表示できます。

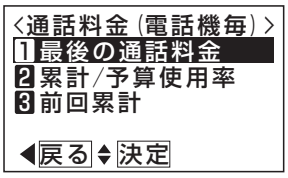
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
129	−	−

1 メニューから〈通話料金(電話機毎)〉を呼び出す

① [メニュー] を押します。
②「**0 その他**」を選択し、[決定] を押します。
③「**1 通話料金（電話機毎)**」を選択し、[決定] を押します。

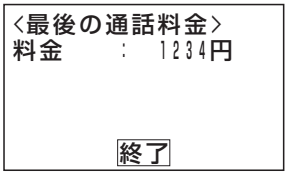


2 [↕] で「1 最後の通話料金」を選択し、[決定] を押す



3 最後の通話料金が表示される

- [メニュー] を押すと終了します。



補足説明

●100万円を超えた場合は、下6桁が表示されます。

ご注意

●表示される通話料金は消費税を含みません。

通話料金を管理する

累計料金と予算使用率を確認する

指定電話機から各電話機、各課金グループ、システム全体の累計料金および予算使用率（システム全体を除く）を確認できます。
指定電話機以外の場合は、その電話機の累計料金および予算使用率のみ確認できます。
累計料金には「今回」と「前回」があります。
・今回の累計料金：
　累計料金をクリアしてから現在までの累計料金です。
・前回の累計料金：
　累計料金をクリアする直前までの累計料金です。
操作方法はどちらも同じです。ここでは「今回の累計料金」の場合を例に説明します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(128,129)	−	−

■各電話機の累計料金を確認する

1 メニューから〈通話料金(電話機毎)〉を呼び出す

① [中央] を押します。
②「**0** その他」を選択し、[中央] を押します。
③「**1** 通話料金（電話機毎)」を選択し、[中央] を押します。

<通話料金(電話機毎)>
1 最後の通話料金
2 累計/予算使用率
3 前回累計
◀戻る ▲▼決定

2 [中央] で「**2** 累計/予算使用率」を選択し、[中央] を押す

・前回の累計料金を確認するときは「**3** 前回累計」を選んでください。

<通話料金(電話機毎)>
1 最後の通話料金
2 累計/予算使用率
3 前回累計
◀戻る ▲▼決定

3 電話機の累計料金が表示される

・[中央] を押すと終了します。

<累計/予算使用率>
累計　　:123456円
予算使用率:　20%
終了

■他の電話機の累計料金を確認する

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから〈通話料金(管理者)〉を呼び出す

① [中央] を押します。
②「**0** その他」を選択し、[中央] を押します。
③「**2** 通話料金（管理者)」を選択し、[中央] を押します。

<通話料金(管理者)>
1 累計/予算使用率
2 前回累計
3 累計ｸﾘｱ
4 予算登録
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

2 [中央] で「**1** 累計/予算使用率」を選択し、[中央] を押す

・前回の累計料金を確認するときは「**2** 前回累計」を選んでください。

<通話料金(管理者)>
1 累計/予算使用率
2 前回累計
3 累計ｸﾘｱ
4 予算登録
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

3 [中央] で「**1** 内線/ID番号毎」を選択し、[中央] を押す

<累計/予算使用率>
1 内線/ID番号毎
2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎
3 ｼｽﾃﾑ全体
◀戻る ▲▼決定

4 内線番号を入力し、[中央] を押す

・[中央] で内線番号を検索することもできます。

<累計/予算使用率>
累計103▶:
山田○次郎
■内線/ID番号入力
クリア再入力
◀戻る ▲▼決定

通話料金を管理する

5 選択した電話機の累計料金と予算使用率が表示される

- 終了する場合は、[決定]を押します。
- [決定]を押すと操作3に戻り、確認を繰り返すことができます。

<累計/予算使用率>
累計103 :123456円
山田○次郎
予算使用率: 20%
終了 継続▶

■各課金グループの累計料金を確認する

「■他の電話機の累計料金を確認する」（P5-181）の操作1～操作2を行ったあと、下記の操作を行います。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

3 [↕]で「2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎」を選択し、[決定]を押す

<累計/予算使用率>
1 内線/ID番号毎
2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎
3 ｼｽﾃﾑ全体
◀戻る ◆決定

4 グループ番号を入力し、[決定]を押す

<累計/予算使用率>
累計G01:
■ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号2桁入力
ｸﾘｱ再入力
◀戻る 決定

5 選択したグループの累計料金と予算使用率が表示される

- 終了する場合は、[決定]を押します。
- [決定]を押すと操作3に戻り、確認を繰り返すことができます。

<累計/予算使用率>
累計G01:1234567円
予算使用率: 20%
終了 継続▶

■システム全体の累計料金を確認する

「■他の電話機の累計料金を確認する」（P5-181）の操作1～操作2を行ったあと、下記の操作を行います。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

3 [↕]で「3 ｼｽﾃﾑ全体」を選択し、[決定]を押す

<累計/予算使用率>
1 内線/ID番号毎
2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎
3 ｼｽﾃﾑ全体
◀戻る ◆決定

4 システム全体の累計料金が表示される

- 終了する場合は、[決定]を押します。
- [決定]を押すと操作3に戻り、確認を繰り返すことができます。

<累計/予算使用率>
全累計:12345678円
終了 継続▶

補足説明

- ●お使いの電話機をモニタしたときは、内線番号は表示されません。
- ●各電話機の料金が6桁（課金グループの場合は7桁）を超えた場合は、「FULL」と表示されます。
- ●予算使用率が9999%を超えた場合は、「＊＊%」と表示されます。

ご注意

- ●表示される累計料金は消費税を含みます。
- ●システム全体の累計料金や前回の累計料金では、予算使用率は表示されません。

通話料金を管理する

累計料金をクリア（精算）する

指定電話機から各電話機、各課金グループ、システム全体の累計料金をクリアし、精算額（クリア時の累計料金）を確認できます。
累計料金は0円から再スタートします。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
129,（128）	−	−

■他の電話機の累計料金をクリアする

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから〈通話料金（管理者）〉を呼び出す

①[中央]を押します。
②「**0** その他」を選択し、[中央]を押します。
③「**2** 通話料金（管理者）」を選択し、[中央]を押します。

```
〈通話料金（管理者）〉
1 累計/予算使用率
2 前回累計
3 累計ｸﾘｱ
4 予算登録
◀戻る ▲▼決定  次頁▶
```

2 [中央]で「3** 累計ｸﾘｱ」を選択し、[中央]を押す**

```
〈通話料金（管理者）〉
1 累計/予算使用率
2 前回累計
3 累計ｸﾘｱ
4 予算登録
◀戻る ▲▼決定  次頁▶
```

3 ユーザ用パスワード（4桁）を入力する

- パスワードが登録されていない場合、パスワード入力画面は表示されません。

```
〈累計ｸﾘｱ〉
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ：＊＊■
◀戻る
```

4 [中央]で「1** 内線/ID番号毎」を選択し、[中央]を押す**

```
〈累計ｸﾘｱ〉
1 内線/ID番号毎
2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎
3 ｼｽﾃﾑ全体
◀戻る ▲▼決定
```

5 内線番号を入力し、[中央]を押す

- [中央]で内線番号を検索することもできます。

```
〈累計ｸﾘｱ〉
精算103■:
山田○次郎
■内線/ID番号入力
ｸﾘｱ再入力
◀戻る ▲▼決定
```

6 消去確認画面が表示されるので、[中央]を押す

```
〈累計ｸﾘｱ〉
精算103 :123456円
山田○次郎

■消去しますか?
◀戻る  消去
```

7 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、[中央]を押します。
- [中央]を押すと操作4に戻り、消去を繰り返すことができます。

```
〈累計ｸﾘｱ〉
精算103 :123456円
山田○次郎

■消去完了!
        終了  継続▶
```

補足説明

●パスワードの登録は「リモート操作時のパスワードを登録する」（P7-32）をご覧ください。

通話料金を管理する

■各課金グループの累計料金をクリアする

「■他の電話機の累計料金をクリアする」（P5-183）の操作１～操作３を行ったあと、下記の操作を行います。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

4 で「2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎」を選択し、を押す

<累計ｸﾘｱ>
1 内線/ID番号毎
2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎
3 ｼｽﾃﾑ全体
◀戻る ◆決定

5 グループ番号を入力し、を押す

<累計ｸﾘｱ>
精算G01:
■ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号2桁入力
ｸﾘｱ再入力
◀戻る 決定

6 消去確認画面が表示されるので、を押す

<累計ｸﾘｱ>
精算G01:1234567円
■消去しますか?
◀戻る 消去

7 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、を押します。
- を押すと操作4に戻り、消去を繰り返すことができます。

<累計ｸﾘｱ>
精算G01:1234567円
■消去完了!
終了 継続▶

■システム全体の累計料金をクリアする

「■他の電話機の累計料金をクリアする」（P5-183）の操作１～操作３を行ったあと、下記の操作を行います。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

4 で「3 ｼｽﾃﾑ全体」を選択し、を押す

<累計ｸﾘｱ>
1 内線/ID番号毎
2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎
3 ｼｽﾃﾑ全体
◀戻る ◆決定

5 消去確認画面が表示されるので、を押す

<累計ｸﾘｱ>
全精算:12345678円
■消去しますか?
◀戻る 消去

6 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、を押します。
- を押すと操作4に戻り、消去を繰り返すことができます。

<累計ｸﾘｱ>
全精算:12345678円
■消去完了!
終了 継続▶

補足説明

●各電話機の料金が６桁（課金グループの場合は７桁）を超えた場合は、「FULL」と表示されます。

ご注意

●表示される累計料金は消費税を含みます。

通話料金集計をプリンタ印字するLALB

プリンタを接続して通話料金集計結果などをプリンタ印字することができます。
なお､印字される通話料金は回線事業者で管理している料金と異なる場合があります｡料金の目安としてお使いください。
※接続されるプリンタはシリアル（RS-232C）インタフェースをもつ市販のプリンタがご利用可能です。詳しくは、販売店にご相談ください。

ご注意

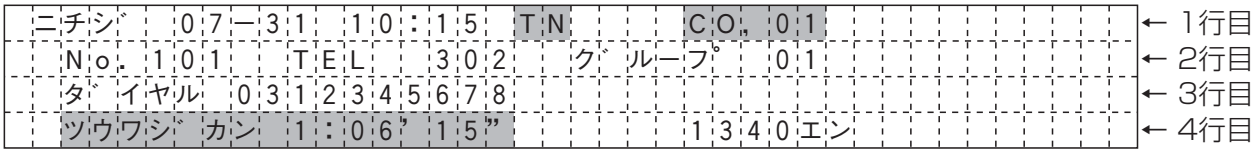
●プリンタの電源が入った状態で主装置の電源を入れると、最初の印字のときに先頭に余分な文字や記号が印字されますが、故障ではありません。

通話明細記録を印字する「終話印字」

通話終了時に通話明細記録を印字することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
128，129	－	ET-PIU-XiL

【通話明細記録の例】



※網掛け部分は設定により印字しない場合があります。（「補足説明」（P5-186））

印字内容の説明

●1行目
- ニチジ……通話月日、通話開始時刻
- TN……T：他の電話機から転送を受けた通話の場合に印字
  N：相手先不明通話の場合に印字（新しいサービス等で本装置では料金管理できないと判断した通話も含まれます。）
- CO,……発信に使用した回線番号

●2行目
- No.……電話機の収容位置
- TEL……電話機の内線番号またはID番号
- グループ……電話機の課金グループ番号

●3行目
- ダイヤル……相手先電話番号（最大32桁）

●4行目
- ツウワジカン…通話時間
- エン……通話料金（消費税は含まれません）

通話料金集計をプリンタ印字するLA LB

補足説明

以下の設定はすべて［工事者設定129］が必要です。

●電話機やID番号ごとに終話印字するかしないかを設定することができます。

●システム一括で印字条件を設定することができます。

（1）終話印字しない（工場出荷時設定）

（2）全通話印字する

（3）長時間通話のみ印字する（時間は1～99分まで1分単位で設定可能）

（4）料金超過時のみ印字する（料金は1～999999円まで1円単位で設定可能）

（5）長時間または料金超過となった場合に印字する

●相手先不明通話は必ず印字されますが、他の設定（長時間通話等）に従って印字するように変更することもできます。

●ダイヤルが4桁以上の場合は、ダイヤルの下2桁を表示させず、代わりに「－－」を表示させることができます。

●通話時間、回線番号、TN文字を印字するかしないかを項目ごとに選択することができます。

印字項目	工場出荷時設定
通話時間	印字あり
回線番号	印字なし
TN文字	印字あり

ご注意

●印字される通話料金は、回線事業者で管理している料金と異なる場合があります。料金の目安としてお使いください。

●設置局番の設定が行われていない場合は、全て相手先不明通話となります。［工事者設定128］

●印字される通話料金は消費税を含みません。

●各電話会社の番号（事業者識別番号）は印字されますが、課金に直接関係ないダイヤル（184／186やマイラインプラス解除特番の122など）は印字されません。

通話料金集計をプリンタ印字するLALB

■終話印字データをクリアする

終話印字中にプリンタの故障などで印字できなくなったとき、印字していないデータを強制的にクリアすることができます。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから<終話印字ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ>を呼び出す

①[中央]を押します。
②「**0 その他**」を選択し、[中央]を押します。
③「**2 通話料金（管理者）**」を選択し、[中央]を押します。
④「**0 その他**」を選択し、[中央]を押します。
⑤「**2 終話印字ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ**」を選択し、[中央]を押します。

<通話料金 その他>
1 消費税率自動変更
2 終話印字ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ
◀戻る ◆決定

2 ユーザ用パスワードを入力する

- パスワードが登録されていない場合は操作3に移行します。

<終話印字ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ>
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ：＊＊
◀戻る

3 消去確認画面が表示されるので、[中央]を押す

<終話印字ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ>
■消去しますか?
◀戻る 消去

4 消去完了画面が表示される

<終話印字ﾃﾞｰﾀｸﾘｱ>
■消去完了!
終了

補足説明

●プリンタが動作するようになると、残りのデータは印字されます。
終話印字データの印字できていない分が必要でないときに、本機能でデータのクリアを行ってください。

通話料金集計をプリンタ印字するLA LB

累計料金を印字する「料金印字」

指定電話機から、各電話機、各ID番号、各課金グループ、システム全体の累計料金を印字することができます。
印字できる累計料金には「今回」と「前回」があります。
・今回の累計料金：
　累計料金をクリアしてから現在までの累計料金です。
・前回の累計料金：
　累計料金をクリアする直前までの累計料金です。
操作方法はどちらも同じです。ここでは「今回の累計料金」を印字する場合を例に説明します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
128，129	−	ET-PIU-XiL

■他の電話機/各ID番号の累計料金を印字する

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから「通話料金(管理者)」を呼び出す

① を押します。

②「0 その他」を選択し、 を押します。

③「2 通話料金（管理者)」を選択し、 を押します。

<通話料金(管理者)>
1 累計/予算使用率
2 前回累計
3 累計ｸﾘｱ
4 予算登録
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

2 で「6 今回累計印字」を選択し、 を押す

・前回の累計料金を印字するときは「7 前回累計印字」を選んでください。

<通話料金(管理者)>
3 累計ｸﾘｱ
4 予算登録
5 料金割引日設定
6 今回累計印字
◀戻る ▲▼決定 次頁▶

3 で「1 内線/ID番号毎」を選択し、 を押す

<今回累計印字>
1 内線/ID番号毎
2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎
3 ｼｽﾃﾑ全体
◀戻る ▲▼決定

4 内線番号を入力し、 を押す

・ で内線番号を検索することもできます。

<今回累計印字>
累計103▮:
山田○次郎
■内線/ID番号入力
ｸﾘｱ再入力
◀戻る ▲▼決定

5 確認画面が表示されるので、 を押す

<今回累計印字>
累計103 :123456円
山田○次郎
■印字しますか?
◀戻る 印字

6 印字が開始される

・印字スタート画面が表示されます。
・終了する場合は、 を押します。
・続ける場合は、 を押し操作3から繰り返してください。

<今回累計印字>
累計103 :123456円
山田○次郎
■印字ｽﾀｰﾄ!
終了 継続▶

通話料金集計をプリンタ印字するLALB

■各課金グループの累計料金を印字する

「■他の電話機／各ID番号の累計料金を印字する」（P5-188）の操作1～2を行ったあと、下記の操作を行います。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

3 ◈で「2 課金グループ毎」を選択し、◈を押す

<今回累計印字>
1 内線/ID番号毎
2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎
3 ｼｽﾃﾑ全体
◀戻る ◆決定

4 グループ番号を入力し、◈を押す

<今回累計印字>
累計G01:
■ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号2桁入力
クリア再入力
◀戻る 決定

5 確認画面が表示されるので、◈を押す

<今回累計印字>
累計G01:1234567円
■印字しますか?
◀戻る 印字

6 印字が開始される

- 終了する場合は、◈を押します。
- 続ける場合は、◈を押し操作3から繰り返してください。

<今回累計印字>
累計G01:1234567円
■印字ｽﾀｰﾄ!
終了 継続▶

■システム全体の累計料金を印字する

「■他の電話機／各ID番号の累計料金を印字する」（P5-188）の操作1～2を行ったあと、下記の操作を行います。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

3 ◈で「3 ｼｽﾃﾑ全体」を選択し、◈を押す

<今回累計印字>
1 内線/ID番号毎
2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎
3 ｼｽﾃﾑ全体
◀戻る ◆決定

4 確認画面が表示されるので、◈を押す

<今回累計印字>
全累計:12345678円
■印字しますか?
◀戻る 印字

5 印字が開始される

- 終了する場合は、◈を押します。
- 続ける場合は、◈を押し操作3から繰り返してください。

<今回累計印字>
全累計:12345678円
■印字ｽﾀｰﾄ!
終了 継続▶

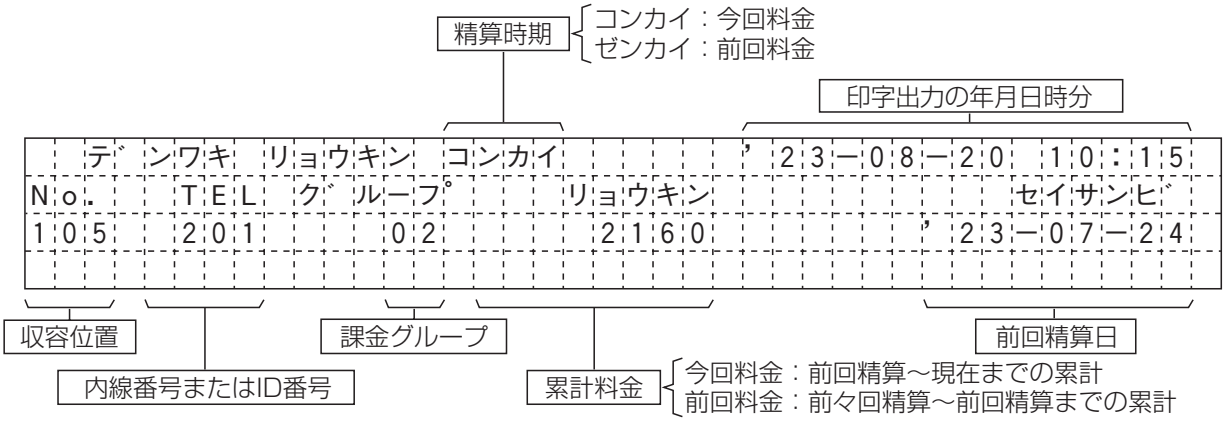
補足説明

●印字される累計料金は消費税を含みます。
●国際通話には消費税は含まれません。

通話料金集計をプリンタ印字するLALB

【累計金額印字の例】
下記の例は今回料金（累計金額）印字の場合です。

（1）電話機単位の印字



| | | |

通話料金集計をプリンタ印字するLA LB

累計料金をクリア（精算）して印字する「ｸﾘｱ印字」

指定電話機から、各電話機、各ID番号、各課金グループ、システム全体の累計料金をクリアし、精算額（クリア時の累計料金）を印字することができます。
累計料金のクリア後は、今回料金は0円から再スタートします。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
128，129	－	ET-PIU-XiL

■他の電話機／各ID番号の累計料金をクリア印字する

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから「通話料金(管理者)」を呼び出す

①[決定]を押します。
②「**0 その他**」を選択し、[決定]を押します。
③「**2 通話料金（管理者)**」を選択し、[決定]を押します。

<通話料金(管理者)>
1 累計/予算使用率
2 前回累計
3 累計ｸﾘｱ
4 予算登録
◀戻る ◆決定 次頁▶

2 [決定]で「8 累計ｸﾘｱ印字」を選択し、[決定]を押す

<通話料金(管理者)>
8 累計ｸﾘｱ印字
0 その他
1 累計/予算使用率
2 前回累計
◀戻る ◆決定 次頁▶

3 ユーザ用パスワード（4桁）を入力する

・パスワードが登録されていない場合は、操作不要です。

<累計ｸﾘｱ印字>
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ：＊＊■
◀戻る

4 [決定]で「1 内線/ID番号毎」を選択し、[決定]を押す

<累計ｸﾘｱ印字>
1 内線/ID番号毎
2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎
3 ｼｽﾃﾑ全体
◀戻る ◆決定

5 内線番号を入力し、[決定]を押す

・[決定]で内線番号を検索することもできます。

<累計ｸﾘｱ印字>
精算103■:
山田○次郎
■内線/ID番号入力
ｸﾘｱ再入力
◀戻る ◆決定

6 確認画面が表示されるので、[決定]を押す

<累計ｸﾘｱ印字>
精算103 :123456円
山田○次郎
■ｸﾘｱ印字しますか?
◀戻る 印字

7 印字が開始される

・終了する場合は、[決定]を押します。
・続ける場合は、[決定]を押し操作4から繰り返してください。

<累計ｸﾘｱ印字>
精算103 :123456円
山田○次郎
■ｸﾘｱ印字ｽﾀｰﾄ!
終了 継続▶

補足説明

●パスワードの登録は「リモート操作時のパスワードを登録する」（P7-32）をご覧ください。

通話料金集計をプリンタ印字するLA LB

■各課金グループの累計料金をクリア印字する

「■他の電話機／各ID番号の累計料金をクリア印字する」（P5-191）の操作1～3を行ったあと、下記の操作を行います。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

4 ◎で「2 課金グループ毎」を選択し、◎を押す

<累計ｸﾘｱ印字>
1 内線/ID番号毎
2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎
3 ｼｽﾃﾑ全体
◀戻る ▲▼ 決定

5 グループ番号を入力し、◎を押す

<累計ｸﾘｱ印字>
精算G01:
■ｸﾞﾙｰﾌﾟ番号2桁入力
ｸﾘｱ再入力
◀戻る 決定

6 確認画面が表示されるので、◎を押す

<累計ｸﾘｱ印字>
精算G01:1234567円
■ｸﾘｱ印字しますか?
◀戻る 印字

7 印字が開始される

- 終了する場合は、◎を押します。
- 続ける場合は、◎を押し操作4から繰り返してください。

<累計ｸﾘｱ印字>
精算G01:1234567円
■ｸﾘｱ印字ｽﾀｰﾄ!
終了 継続▶

■システム全体の累計料金をクリア印字する

「■他の電話機／各ID番号の累計料金をクリア印字する」（P5-191）の操作1～3を行ったあと、下記の操作を行います。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

4 ◎で「3 ｼｽﾃﾑ全体」を選択し、◎を押す

<累計ｸﾘｱ印字>
1 内線/ID番号毎
2 課金ｸﾞﾙｰﾌﾟ毎
3 ｼｽﾃﾑ全体
◀戻る ▲▼ 決定

5 確認画面が表示されるので、◎を押す

<累計ｸﾘｱ印字>
全精算:12345678円
■ｸﾘｱ印字しますか?
◀戻る 印字

6 印字が開始される

- 終了する場合は、◎を押します。
- 続ける場合は、◎を押し操作4から繰り返してください。

<累計ｸﾘｱ印字>
全精算:12345678円
■ｸﾘｱ印字ｽﾀｰﾄ!
終了 継続▶

通話料金集計をプリンタ印字するLALB

補足説明

●料金には消費税が含まれます。また、消費税率や端数処理（切り上げ／切り捨て／四捨五入）を変更することもできます。[工事者設定128、129]
●国際通話には消費税は含まれません。

ご注意

●クリア印字中に再度クリア印字することはできません。

知っていると便利なこと

●システム全体の累計料金のクリア印字は、毎月指定した日時（自動集計日）に自動的に行うこともできます。[工事者設定129]

通話料金集計をプリンタ印字するLALB

【クリア印字の例】

（1）電話機単位の印字

| | | |

ひかり電話で「ボイスワープ」の転送開始／停止を設定する

ひかり電話（＊1）で、「ボイスワープ」「ボイスワープセレクト」を契約している場合に、転送サービスの開始／停止をワンタッチで行うことができます。

＊1：ひかり電話／ひかり電話A／ひかり電話オフィスタイプ／ひかり電話オフィスAが対象

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
423	Vﾜｰﾌﾟ OFF（710） Vﾜｰﾌﾟ無条件（711） Vﾜｰﾌﾟ無応答（712） Vﾜｰﾌﾟ話中（713） Vﾜｰﾌﾟ応答不可（714）	−

■転送サービスの開始／停止を設定する

1 サービスを契約している 外線 ボタンを押す

- ストレートラインDIの場合は DILIN ボタンを押します。
- バーチャルラインの場合は 着信 ボタンを押します。

2 各機能のボタンを押す

Vﾜｰﾌﾟ OFF：転送サービスを停止します
Vﾜｰﾌﾟ無条件：無条件転送を設定します
Vﾜｰﾌﾟ無応答：無応答転送を設定します
Vﾜｰﾌﾟ話中：話中転送を設定します
Vﾜｰﾌﾟ応答不可：無応答、話中転送を設定します

3 音声ガイダンスが聞こえる

補足説明

●転送開始を設定した 外線、DILIN、着信 ランプを点滅させることもできます。［工事者設定423］

ご注意

●加入電話、INSネット64では本機能は利用できません。
●「ボイスワープ」、「ボイスワープセレクト」契約している外線を使用して操作してください。
ストレートラインDIの場合、ダイヤルイン番号に対応した DILIN ボタンを押して操作します。
DILIN ボタンにダイヤルイン番号を2つ登録している場合、1つ目の番号に対して設定されます。
●転送サービスの開始／停止以外を操作する場合は、直接ダイヤル操作をしてください。

利用できるサービス

INSネット64を利用して、さまざまな基本サービス、付加サービスを利用することができます。

●下記のサービスがご利用できます。

INSネット64の基本サービス、付加サービスを利用した主な機能

サービス名	機能	参照ページ
発信者番号通知サービス	INSネット64を利用して電話をかけるとき、発信者の電話番号、サブアドレスを相手に通知する、または通知しないようにすることができます。	—
INSでんわばんサービス	不在時にかかってきた電話に対して、登録しておいたメッセージを伝えることができます。	—
INSダイヤルインサービス	契約者回線番号のほかにダイヤルイン番号を追加して、外から電話機を直接呼び出すことができます。	P5-8
INSナンバー・ディスプレイ	電話をかけてきた相手の電話番号が表示されます。	P6-2
INSナンバー・リクエスト	INSナンバー・ディスプレイのオプションサービスです。電話番号を「通知しない」でかけてきた相手に、電話番号を通知してかけなおすよう、音声で伝えます。	P6-3
i（アイ）・ナンバー	契約している電話番号のほかに番号（i・ナンバー追加番号）を追加して、特定の電話機を呼び出せるサービスです。	P6-4
サブアドレス通知サービス	電話をかけるとき、内線番号をサブアドレスとして相手に通知することができます。	P6-5
INSボイスワープ／ INSボイスワープセレクト	かかってきた電話を自動的に別の電話に転送するだけでなく、外から転送開始／停止を設定したり、転送先を変更することができます。	P6-6
INS迷惑電話おことわり サービス	迷惑電話がかかってきた直後に電話機からの登録操作を行うことにより、以後、同じ番号からの着信に対してメッセージで自動応答するサービスです。	P6-8

INSナンバー・ディスプレイ

電話がかかってきたとき、相手の電話番号をボタン電話機のディスプレイに表示することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
229-1	−	−

■相手の電話番号が表示できる場合

1 電話機の着信音が鳴る

- 電話機のディスプレイに相手の方の電話番号が表示されます。

■相手の電話番号が表示できない場合

1 電話機の着信音が鳴る

NTTと「INSナンバー・ディスプレイ」の契約をしていただくと、下記のように表示されます。

●かけてきた相手の方が、番号を表示しない操作をしたとき、または表示しない契約になっているとき

●公衆電話から電話がかかってきたとき

●サービスの契約条件や回線の条件により電話番号を通知できないとき

補足説明

●「INSナンバー・ディスプレイ」の契約がなくても、相手の方がISDN回線を使っている場合や、携帯電話、PHSの場合は、番号を表示することができます。ただし、アナログ回線からかかってきたときの番号表示や、非通知理由を表示することはできません。

知っていると便利なこと

●「INSナンバー・ディスプレイ」を利用した便利な機能があります。詳細はP5-31～5-50をご覧ください。

●相手の方もISDN回線の場合でサブアドレス（相手の方の内線番号など）が通知された場合、最大4桁までサブアドレスを表示することができます。[工事者設定229-1]
（操作手順の画面例は、サブアドレス表示を「あり」にした場合です。“／”の後の“1234”がサブアドレスです。）

INSナンバー・リクエスト

INSネット64の「INSナンバー・リクエスト」を利用することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
731-15	−	−

■サービスを開始するとき

番号を通知しないでかかってきた場合に、NTT側で“番号を通知してかけ直すよう”音声ガイダンスを流します。

1 サービスを契約している 外線 ボタンを押す
- ストレートラインDIの場合は DILIN ボタンを押します。

2 ①④⑧を押す
- 音声ガイダンスが聞こえます。

3 ①を押す
- 音声ガイダンスが聞こえます。
- サービスを開始します。

4 ハンドセットを置く

■サービスを停止するとき

番号を通知しないでかかってきた場合も、電話を受けられるようにします。

1 サービスを契約している 外線 ボタンを押す
- ストレートラインDIの場合は DILIN ボタンを押します。

2 ①④⑧を押す
- 音声ガイダンスが聞こえます。

3 ⓪を押す
- 音声ガイダンスが聞こえます。
- サービスを停止します。

4 ハンドセットを置く

補足説明

●「INSナンバー・リクエスト」の詳細については、NTTにお問い合わせください。
●「INSナンバー･リクエスト」は､NTTとの契約が必要です。なお､「INSナンバー･リクエスト」は「INSナンバー･ディスプレイ」のオプション機能ですので、「INSナンバー・リクエスト」のみの契約はできません。

ご注意

●「INSナンバー･リクエスト」は契約者回線ごとの契約となりますので､ダイヤルイン番号ごとにサービスの開始／停止を設定することはできません。
●ダイヤル操作は間隔をあけずに行ってください。（4秒以内）
※ダイヤルの桁間タイマは、1～9秒に変更することもできます。[工事者設定731-15]
●単独電話機からは操作できません。

知っていると便利なこと

●主装置側の機能で、非通知の着信を拒否することもできます。「非通知着信拒否」（P5-40）をご覧ください。

i（アイ）・ナンバー

INSネット64の「i（アイ）・ナンバー」サービスを利用して、ダイヤルインと同様な機能をご利用いただくことができます。
なお、使用できる番号は１回線あたり３個までです。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
731-12,(123)	−	−

主なご利用方法

●１つの回線で電話とファックスの電話番号を使い分けることができます。
- 電話用の電話番号にかかってきたときは、各電話機に着信します。
- ファックス用の電話番号にかかってきたときは、ファックスのみ着信します。

●１つの回線で共通の電話番号と個人専用の電話番号を使い分けることができます。
- 共通の電話番号にかかってきたときは、各電話機に着信します。
- 個人専用の電話番号にかかってきたときは、個人専用の電話機（特定の電話機）のみ着信します。

●ダイヤルインと同様に「ストレートラインDI」を利用することも可能です。
- ３つの電話番号を３つの部署で使い分けし、電話番号に対応した部署の各電話機に着信させることができます。
- 特定の電話番号を転送電話にしたり、電話番号によって転送電話の転送先を使い分けたりできます。

■特定の電話機への着信に応答するとき

1 対応電話機のみ着信音が鳴る

- 外線ランプは緑の速い点滅、内線ランプは赤の速い点滅、着信／メッセージランプは速い点滅をします。

2 ハンドセットをとる

- 外線ランプは緑の点灯に変わり、周期的に２回消えます。
- 相手の方と通話できます。
- 応答後は通常の外線と同様に保留したり、他の電話機に転送できます。

■電話機共通の着信に応答するとき

1 着信音が聞こえたらハンドセットをとる

- 外線ランプ（赤）が速い点滅をします。

2 点滅している 外線 ボタンを押す

- 外線ランプは緑の点灯に変わり、周期的に２回消えます。
- 相手の方と通話できます。

補足説明

●「i・ナンバー」を利用できるのは、「INSネット64回線」のみです。
●「i・ナンバー」を利用する場合は、主装置側の設定以外にNTTとの契約が必要です。
●外線に電話をかける場合は、通常のISDN回線と同じ操作をします。

ご注意

●１つの回線で「i・ナンバー」とダイヤルインとを併用することはできません。
●「i・ナンバー」を利用する回線が複数あっても、「代表取扱サービス」はご利用できません。（NTT側の仕様）
●「i・ナンバー」を利用する回線が複数ある場合、特定の番号に着信する電話機から発信するときに、対応する番号を必ず通知したいときは、特定の番号が含まれている外線以外は発信規制をかけてください。[工事者設定123]

知っていると便利なこと

●オフフック応答機能が設定されていると、電話機共通の着信に応答する場合も、ハンドセットをとるだけで応答できます。[工事者設定204]
●「i・ナンバー」を利用する回線が複数ある場合で、ストレートラインDIを利用するときに、DILINボタンに対応する番号を発信時に必ず通知したいときは、外線の代表グループ設定とDILIN番号ごとに使用する外線代表グループの設定が必要です。[工事者設定731-12]

内線番号を発サブアドレスとして通知する(サブアドレス通知サービス)

ISDN回線を使用して外線に電話をかけるとき、相手に発信している電話機の内線番号をサブアドレスとして通知することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
731-3	−	−

1 外線に電話をかける

- 相手に発信している電話機の内線番号がサブアドレスとして通知される

補足説明

●サブアドレスを送る場合は工事者設定が必要です。[工事者設定731-3]

INSボイスワープ、INSボイスワープセレクト

INSネット64の「INSボイスワープ」や「INSボイスワープセレクト」を利用することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
731-13	−	−

■各種サービスの開始／停止／登録／設定などを行うとき

1 サービスを契約している 外線 ボタンを押す
- ストレートラインDIの場合は DILIN ボタンを押します。

2 各機能のダイヤル操作を行う

3 音声ガイダンスが聞こえる

4 音声ガイダンスに従い、追加のダイヤル操作を行う

5 操作が終了したら、ハンドセットを置く

ご注意

- 「INSボイスワープ」、「INSボイスワープセレクト」を契約している外線を使用して操作を行ってください。
  なお、ダイヤルイン契約で番号ごとに契約の場合は、下記の点に注意してください。
  - 一般のダイヤルイン：
    ダイヤルイン番号に対応した電話機で該当するダイヤルイン番号が含まれている 外線 ボタンを押して操作します。
  - ストレートラインDI：
    ダイヤルイン番号に対応した DILIN ボタンを押して操作します。
- ダイヤル操作は間隔をあけずに行ってください。（4秒以内）
  ※ダイヤルの桁間タイマは、1～9秒に変更することもできます。［工事者設定731-13］
- 単独電話機からは操作できません。

知っていると便利なこと

- 主装置側の機能で、転送電話を行うこともできます。「留守番機能を使う一転送電話モードを利用する」（P4-5）をご覧ください。

INSボイスワープ、INSボイスワープセレクト

補足説明

●操作手順（カスタマコントロール）は以下のとおりです。

※［ガイダンス］は音声ガイダンスの略です。

機能		操作
転送サービスを開始する場合	無条件転送の場合	14211→［ガイダンス］
	無応答時転送の場合	14212→［ガイダンス］
	話中時転送の場合	14213→［ガイダンス］
	無応答時および話中時転送の場合	14214→［ガイダンス］
転送サービスを停止する場合		1420→［ガイダンス］
転送サービスの開始／停止の確認		1428→［ガイダンス］
転送先電話番号の登録	転送先リスト0へ登録する場合	1422→［ガイダンス］→転送先電話番号→［ガイダンス］
	転送先リスト1～4へ登録する場合	1424→［ガイダンス］→0→［ガイダンス］→1～4（リスト番号）→［ガイダンス］→転送先電話番号→［ガイダンス］
転送先リストの指定（転送先の選択）		1424→［ガイダンス］→1→［ガイダンス］→0～4（リスト番号）→［ガイダンス］
無応答時転送の起動時間の設定		1423→［ガイダンス］→0～11（5～60秒、5秒単位）→［ガイダンス］
転送通知用トーキの設定	利用する場合	1424→［ガイダンス］→2→［ガイダンス］→1～3（パターン番号）→［ガイダンス］
	利用しない場合	1424→［ガイダンス］→2→［ガイダンス］→0→［ガイダンス］
転送元案内トーキの設定	利用する場合	1424→［ガイダンス］→4→［ガイダンス］→1→［ガイダンス］
	利用しない場合	1424→［ガイダンス］→4→［ガイダンス］→0→［ガイダンス］
リモートコントロール機能の設定	利用する場合（暗証番号の設定）	1424→［ガイダンス］→3→［ガイダンス］→1→［ガイダンス］→暗証番号（4桁数字）→［ガイダンス］
	利用しない場合	1424→［ガイダンス］→3→［ガイダンス］→0→［ガイダンス］
登録内容の確認	リストに登録された電話番号の確認	1428→［ガイダンス］→0→［ガイダンス］
	転送通知用トーキあり／なしの確認	1428→［ガイダンス］→1→［ガイダンス］
	リモートコントロール機能あり／なしの確認	1428→［ガイダンス］→2→［ガイダンス］
	転送元案内のあり／なしの確認	1428→［ガイダンス］→3→［ガイダンス］
INSボイスワープセレクト	選択電話番号の登録	147→［ガイダンス］→2→［ガイダンス］→登録電話番号→［ガイダンス］
	登録番号転送の指定	147→［ガイダンス］→3→［ガイダンス］→1→［ガイダンス］
	登録番号着信の指定	147→［ガイダンス］→3→［ガイダンス］→2→［ガイダンス］
	全番号転送	147→［ガイダンス］→3→［ガイダンス］→0→［ガイダンス］
	登録番号転送の確認	147→［ガイダンス］→8→［ガイダンス］
	登録番号転送の削除	147→［ガイダンス］→9→［ガイダンス］→登録電話番号→［ガイダンス］

●「INSボイスワープ」、「INSボイスワープセレクト」は、NTTとの契約が必要です。詳しくはNTTにお問い合わせください。

INS迷惑電話おことわりサービス

INSネット64の「INS迷惑電話おことわりサービス」を利用することができます。
迷惑電話を受けたときに登録操作をすると、今後同じ電話番号から電話がかかってこないようになります。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
731-14	キーパッド（992） スタート（999）	−

■通話中に着信拒否を登録するとき

通話中に登録することができます。

1 キーパッドボタンを押す
- キーパッドボタンが点灯します。

2 1442を押す
- ダイヤル操作は相手にはわかりません。

3 スタートボタンを押す
もしくは5秒以上待つ
- 通話中の相手の電話番号が、NTT側の着信拒否リストに登録されます。

4 ハンドセットを置く

■電話を切った後に着信拒否を登録するとき

電話を切った後でも1分以内であれば登録することができます。

1 直前に通話をしていた外線ボタンを押す
- ストレートラインDIの場合はDILINボタンを押します。

2 1442を押す
- 音声ガイダンスが聞こえます。
- 直前にかかってきた相手の電話番号がNTT側の着信拒否リストに登録されます。

3 ハンドセットを置く

補足説明

●電話を切るとキーパッドランプは消えます。
●着信拒否リストへの登録以外に、登録解除や拒否状況確認も行えます。（キーパッドボタンの操作は不要です。）
※［ガイダンス］は音声ガイダンスの略です。

機　　能	操　　作
最新の登録番号を削除する場合	1443→［ガイダンス］
全ての登録番号を削除する場合	1449→［ガイダンス］
電話をおことわりした回数を確認する場合	1444→［ガイダンス］

※「INS迷惑電話おことわりサービス」を契約している外線を使用して操作を行ってください。
●「INS迷惑電話おことわりサービス」は、NTTとの契約が必要です。詳しくはNTTにお問い合わせください。

ご注意

●通話中に着信拒否を登録するとき、ダイヤル操作をしてすぐに電話を切ると着信拒否リストに登録されません。
●電話を切った後に操作を行う場合は、直前にかかってきた外線を使用して操作を行ってください。
なお、ダイヤルイン契約で番号ごとに契約している場合には、下記の点に注意してください。
・一般のダイヤルイン…ダイヤルインで直前にかかってきた電話機から、対応するダイヤルイン番号が含まれている外線ボタンを押して操作します。
・ストレートラインDI…直前にかかってきたDILINボタンを押して操作します。
●ダイヤル操作は間隔をあけずに行ってください。（4秒以内）
●単独電話機では通話中に着信拒否を登録できません。通話を終了した後に登録してください。

知っていると便利なこと

●主装置側の機能で、特定の番号の着信を拒否することもできます。「発番号識別着信拒否」（P5-37）をご覧ください。

プログラマブルキーの登録方法

使用していない 外線 ボタンをワンタッチダイヤルや機能ボタンに設定して使いやすくすることができます。

お使いの電話機への登録

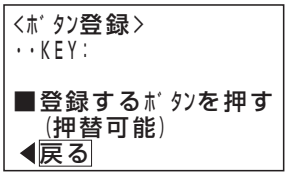
お使いの電話機にプログラマブルキーを設定します。

■機能番号を入力して登録する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(607)	−	−

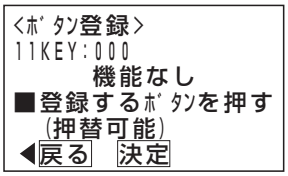
1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

① ◉ を押します。
②「4 電話機毎機能設定」を選択し、◉ を押します。
③「1 ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、◉ を押します。
• i ボタン + ＊ ＊ を押しても本画面となります。

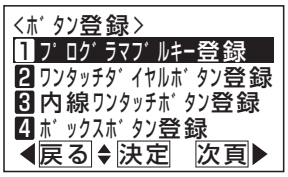


2 登録したいボタン（使っていない 外線 ボタン）を押し、◉ を押す

• 現在登録されている機能名称が表示されます。

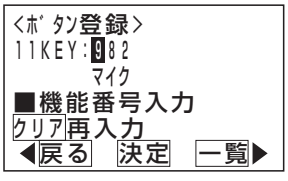


3 ◉ で「1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録」を選択し、◉ を押す



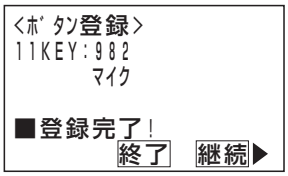
4 機能番号を入力し、◉ を押す

• 機能番号を入力すると、機能名称が表示されます。
• カーソルが先頭にあるときは、再入力することができます。



5 登録完了画面が表示される

• 終了する場合は、◉ を押します。
• ◉ を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。



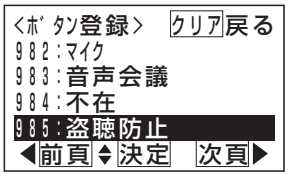
■ボタン一覧から選んで登録する

登録する機能番号を入力する代わりに「ボタン一覧」から選んで登録することができます。

「■機能番号を入力して登録する」の操作4で ◉ を押す代わりに ◉ を押した後、下記の操作を行います。

5 ◉ で検索し、◉ を押す

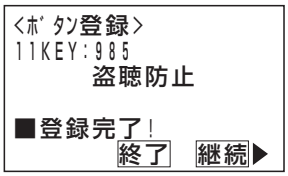
• クリア ボタンを押すと、操作4に戻ります。
• ◉ を押すと、前後の4件を表示します。



6 内容を確認し、◉ を押す

7 登録完了画面が表示される

• 終了する場合は、◉ を押します。
• ◉ を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。



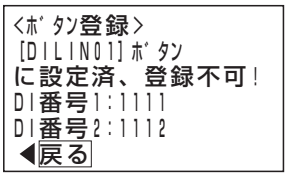
プログラマブルキーの登録方法

ご注意

●2つ以上のボタンに同じ機能番号を登録することはできません。
登録した場合には、はじめに登録したボタンは「機能なし」になります。

●機能をやめるには、ボタンに登録されている機能がセットされていないことを確認したあとで、「機能なし」（機能番号＝ 000）を登録してください。機能がセットしてある状態で「機能なし」を登録してしまった場合は、設定してあった機能ボタンに戻し、機能を解除してから再度、「機能なし」を登録してください。
※ボタンを他の機能に変更する場合も、同様の操作をしてください。

●外線ボタンが[DILIN]ボタン、[着信]ボタン、[パーク]ボタンに設定されている場合、プログラマブルキーとして登録することはできません。エラー画面が表示されたら、 を押して戻るか、別のボタンを押し直してください。
・[DILIN]ボタンに設定されている場合の例



知っていると便利なこと

●操作2で を押す代わりに機能番号を直接入力すると、操作4から操作できます。

●[外線]ボタンを他の機能に変更できないようにすることができます。（データ設定用電話機No.1を除く）［工事者設定607］

プログラマブルキーの登録方法

他の電話機への登録

他の電話機のプログラマブルキーを設定できます。設定できるのはデータ設定用電話機No.1のみです。複数の電話機をまとめて設定することもできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(607)	−	−

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

■機能番号を入力して登録する

1 メニューから<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>を呼び出す

① を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、 を押します。
③「1 他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、 を押します。

```
<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>
収容位置:･･･-･･･
■電話機収容位置入力
  先頭～最終(省略可)
クリア再入力
◀戻る
```

2 ボタンを登録したい電話機の先頭および最終（省略可能）の収容位置（3桁）を入力し、 を押す

- 再入力する場合は、クリア ボタンを押します。

```
<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>
収容位置:･･･-･･･
■電話機収容位置入力
  先頭～最終(省略可)
クリア再入力
◀戻る
```

■収容位置入力後

```
<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>
収容位置:104-120
■電話機収容位置入力
  先頭～最終(省略可)
クリア再入力
◀戻る  決定
```

3 他電話機のボタン登録画面になる

```
<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
･･KEY:

■KEY番号01～36入力
クリア再入力
◀戻る
```

4 登録したいボタンの番号（2桁）を入力し、 を押す

- 登録できるボタンは01～36までです。
- 現在登録されている機能名称が表示されます。
- 再入力する場合は、クリア ボタンを押します。

```
<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:000
      機能なし
■KEY番号01～36入力
クリア再入力
◀戻る  決定
```

5 で「1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録」を選択し、 を押す

```
<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録
2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録
3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録
4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録
◀戻る ▲▼決定  次頁▶
```

6 機能番号を入力し、 を押す

- 機能番号を入力すると、機能名称が表示されます。
- カーソルが先頭にあるときは、再入力することができます。

```
<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:982
      ﾏｲｸ
■機能番号入力
クリア再入力
◀戻る  決定  一覧▶
```

7 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、 を押します。
- を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。

```
<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:982
      ﾏｲｸ

■登録完了!
      終了  継続▶
```

プログラマブルキーの登録方法

■ボタン一覧から選んで登録する

登録する機能番号を入力する代わりに「ボタン一覧」から選んで登録することができます。

「■機能番号を入力して登録する」の操作6で ⊡ を押す代わりに ⊡ を押した後、下記の操作を行います。

7 ⊡で検索し、⊡を押す

- ⊡ を押すと、前後の4件を表示します。
- クリア ボタンを押すと、操作6に戻ります。

<ボﾀﾝ登録> クリア戻る
982:ﾏｲｸ
983:音声会議
984:不在
985:盗聴防止
◀前頁 ◆決定 次頁▶

8 内容を確認し、⊡を押す

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:985
盗聴防止
■機能番号入力
クリア再入力
◀戻る 決定 一覧▶

9 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、⊡を押します。
- ⊡ を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。

<#104-#120ﾎﾞﾀﾝ登録>
11KEY:985
盗聴防止
■登録完了!
終了 継続▶

ご注意

●2つ以上のボタンに同じ機能番号を登録することはできません。
登録した場合には、はじめに登録したボタンは「機能なし」になります。

●機能をやめるには、ボタンに登録されている機能がセットされていないことを確認したあとで、「機能なし」（機能番号＝000）を登録してください。機能がセットしてある状態で「機能なし」を登録してしまった場合は、設定してあった機能ボタンに戻し、機能を解除してから再度、「機能なし」を登録してください。
※ボタンを他の機能に変更する場合も、同様の操作をしてください。

●外線ボタンが DILIN ボタン、着信 ボタン、パーク ボタンに設定されている場合、プログラマブルキーとして登録することはできません。

●範囲指定の場合に登録できない電話機があった場合は、エラー画面が表示されます。⊡を押してやり直してください。⊡を押すと、登録できない収容位置とエラー内容を確認できます。

知っていると便利なこと

●操作4で ⊡ を押す代わりに機能番号を直接入力すると、操作6から操作できます。

●電話機の収容位置を確認するときは、内線電話帳（P2-34）を利用するか、各電話機で i ＋ 8 の操作をします。

プログラマブルキーの登録方法

機能番号と内容

機能番号と内容を下表に示します。

（ランプ欄：○＝赤、●＝緑、◎＝赤／緑）

機能番号	ﾗﾝﾌﾟ	キー名称	機能番号	ﾗﾝﾌﾟ	キー名称	機能番号	ﾗﾝﾌﾟ	キー名称
000		機能なし	872	○	再生順（古→新）	949	○	話中処理
001～096	◎	外線01～96(＊3)	873	○	再生順（新→古）	950	○	転送／留守録
400～448	○	お待たせ00～48	874	○	メッセージ移動	951	○	通常着信
451～498	○	省電力01～48	875	○	メッセージコピー	952	○	留守録＋転送
501～548		同報グループ01～48	876	○	再生速度	960	○	不在転送（外線）
551～598	＊2	再生01～48	877		戻り	961	○	チャイム停止
599	○	夜間切替DH	878		送り	962		内線着信履歴
600～648	○	夜間切替00～48	879		消去	963	○	アップデート
701～706	○	メッセージ1～6	880		停止	964		内線電話帳
707		メッセージ切替	881～888		なんでも1～8	965	●	発信
710		光ボイスワープOFF	901～910	◎	音声会議参加01～10	966	○	留守録モニタ
711		光ボイスワープ無条件	911～916	◎	インカム1～6参加	967	○	ヘッドセットモード
712		光ボイスワープ無応答時	919	○	送話ミュート	968		再発信
713		光ボイスワープ話中時	920		コメント-VM(＊1)	969		短縮／電話帳
714		光ボイスワープ応答不可時	921		呼出なし-VM(＊1)	972	◎	録音
730	○	IVR他G呼出応答	922		呼出あり-VM(＊1)	973	○	戻って録音
731	○	ACD切替	923	○	一時停止	974	○	アラーム通知
732	○	オペレータ業務	927		録音取消	975	○	プリセット
733	◎	オペレータ後処理(＊6)	932	○	音量アップ	981	○	留守切替
734		モーニングコール(＊4)	933	○	外部スピーカ	982	○	マイク
735	○	部屋状態表示(＊4)	934	○	規制解除	983	○	音声会議
741～760	○	出退01～20(＊5)	935	○	非通知拒否	984	○	不在設定
761	◎	内線ビデオ会議	936	◎	一時ホットライン	985	●	盗聴防止
762	●	マルチビデオ会議	937	○	発信規制登録	990	○	聴話
769	○	復旧	938	○	拒否登録	991	○	ホットライン着信
771～790	○	リモコン01～20(＊5)	939	○	番号通知	992	○	キーパッド
801～815	○	FAX受信01～15	940	○	番号非通知	993	○	サービス
820	○	内線一般着転送	941	○	転送電話	994		フック／クリア
821～825	○	マルチヨビ切替1～5	942	○	追っかけ転送	995		転送
831～844	○	転送先01～14	943	○	ツイン転送	996		代理応答／切替
845		転送先①切替	944	○	不応答転送	997	○	自番号表示
846		転送先②切替	945	○	不応答追っかけ	998		自己保留
850	○	留守録通知	946	○	不応答ツイン	999		スタート
851～857	○	留守録通知先1～7	947	○	留守録			
858		留守録通知先切替	948	○	応答専用			

＊1：ボイスメモを利用時に使用可能です。
＊2：○（◎に変更することもできます。）
＊3：S は外線01～08、LA は外線01～48となります。
＊4：ホテルユニット取り付け時のみ動作します。LA LB
＊5：S は01～04となります。
＊6：2-1版～
※プログラマブルキー設定時にディスプレイに表示されるキー名称は上記の内容とは異なる場合があります。

なんでもワンタッチボタン

複数の操作を[なんでも]ボタンに登録すると、操作数の多い機能もワンタッチで操作できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(655)	なんでも1（881）～ なんでも8（888）	–

■ なんでも ボタンに機能を登録する

1 メニューから〈なんでもﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

① ◉ を押します。

②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、◉ を押します。

③「**6 なんでもﾎﾞﾀﾝ登録**」を選択し、◉ を押します。

```
〈なんでもﾎﾞﾀﾝ登録〉

■確認/登録/消去する
 [なんでも]ﾎﾞﾀﾝを
 押してください。
◀戻る
```

2 登録したい なんでも ボタンを押す

```
〈なんでもﾎﾞﾀﾝ登録〉

■確認/登録/消去する
 [なんでも]ﾎﾞﾀﾝを
 押してください。
◀戻る
```

3 登録されている内容を確認し、◉を押す

- ◉ を押すと画面がスクロールし、登録内容を確認することができます。

```
〈なんでも1ﾎﾞﾀﾝ〉
 1:[ i ]
 2:[夜間切替01]
 3:[ 3 ]
 4:[ｾﾝﾀｰｷｰ]
◀戻る ▲▼決定
```

4 ◉で「**1 登録**」を選択し、◉を押す

```
〈なんでも1ﾎﾞﾀﾝ〉
1 登録
2 消去

◀戻る ▲▼決定
```

5 登録したいボタンを順番に押し、なんでも ボタンを押す

```
〈なんでも1ﾎﾞﾀﾝ〉
 5:[ i ]
■登録ﾎﾞﾀﾝを順に押し
 最後に[なんでも]ﾎﾞ
 ﾀﾝを押す。
中止:ｽﾋﾟｰｶﾎﾞﾀﾝ2回押し
```

6 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、◉ を押します。
- ◉ を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。
- ◉ を押すと登録した内容が確認できます。

```
■なんでも1登録完了!
 1:[ i ]
 2:[夜間切替01]
 3:[ 2 ]
 4:[ｾﾝﾀｰｷｰ]
 ▲▼終了  継続▶
```

■ なんでも ボタンの機能を消去する

操作4で「**2 消去**」を選択し ◉ を押した後、下記の操作を行います。

5 消去確認画面が表示されるので◉を押す

```
〈なんでも1ﾎﾞﾀﾝ〉
 1:[ i ]
 2:[夜間切替01]
 3:[ 3 ]
■消去しますか?
◀戻る  消去
```

6 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、◉ を押します。
- ◉ を押すと操作2に戻り、消去を繰り返すことができます。

```
〈なんでも1ﾎﾞﾀﾝ消去〉
 1:[ i ]
 2:[夜間切替01]
 3:[ 3 ]
■消去完了!
  終了  継続▶
```

なんでもワンタッチボタン

補足説明

●なんでもボタンは電話機１台に８個まで登録できます。

●なんでもボタン一つに登録できるボタン操作は、16操作までです。ただし、スピーカボタンは操作を中止するときに使うため、登録できません。音量アップボタンも登録できません。

●カーソルキー、、、は登録できません（センターキーは登録できます）。メニュー機能の操作をなんでもボタンに登録するときは、ダイヤルボタンによる操作方法を登録してください。

●使い方の例

機能	通常の操作	なんでもボタンでの操作
夜間切替で「休日モード」にする	①iボタンを押します。 ②夜間切替ボタンを押します。 ③3ボタンを押します。 ④を押します。 ⑤を押します。	※なんでもボタンに左の①～⑤を登録しておきます。 1.なんでもボタンを押します。

ご注意

●プログラマブルキーの登録操作をなんでもボタンに登録しないでください。

●なんでもボタンはiランプが消灯しているときのみ操作できます。（なんでもボタンの登録･消去操作を除く。）

知っていると便利なこと

●iボタン＋なんでもボタンを押しても、操作３の画面となります。

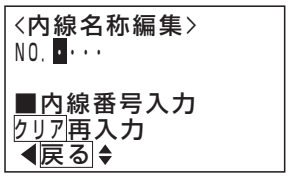
内線名称を登録する

内線番号に名前を登録できます。内線呼出時に相手のディスプレイに名称を表示させることができます。

■内線名称を登録／変更する

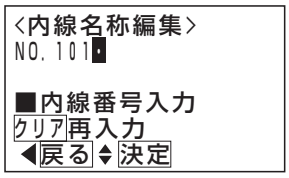
1 メニューから〈内線名称編集〉を呼び出す

① ⊙ を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、⊙ を押します。
③「**4 内線名称編集**」を選択し、⊙ を押します。



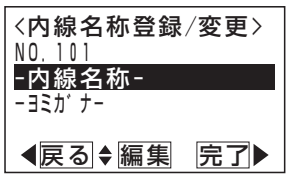
2 内線名称を登録／変更したい内線番号を入力し、⊙ を押す

- すでに登録されている場合は、現在の登録内容が表示されます。
- ⊙ で内線番号を変更することもできます。



3 ⊙ で「**1 登録/変更**」を選択し、⊙ を押す

4 ⊙ で内線名称を選択し、⊙ を押す

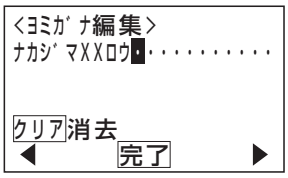


5 内線名称の入力が完了したら、⊙ を押す

- ⊙ を押した段階で登録が完了します。

6 ヨミガナを確認し、⊙ を押す

- 内線名称入力時に入力したヨミガナが表示されます。
- ヨミガナを編集することもできます。

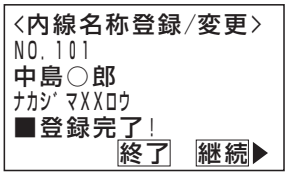


7 ⊙ を押す

- 内線名称を変更するときは、⊙ を選択し、⊙ を押してください。
- ⊙ を押すと操作3に戻ることができますが、表示されている内容は登録されます。

8 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、⊙ を押します。
- ⊙ を押すと操作2に戻り、登録／変更を繰り返すことができます。



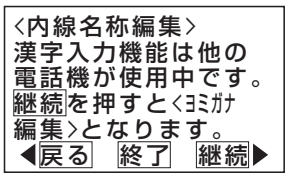
内線名称を登録する

補足説明

- ●内線名称を消去するときは、操作3で**「2 消去」**を選択してください。
- ●文字入力方法については、「文字入力方法」（P3-15）をご覧ください。
- ●内線名称は全角で10文字（半角で20文字）まで入力できます。
- ●ヨミガナは半角で20文字まで入力ができます。
- ●内線一般着信（P2-55）を利用している場合は、内線一般着信の内線番号に対しても内線名称を登録することができます。

ご注意

- ●電話機の内線番号を変更しても内線名称は変わりません。内線番号を変更した場合には、別途名称を変更してください。
- ●漢字入力は同時に複数の電話機で使用することができません。操作5で名前入力欄の編集を行う場合、他の電話機で使用中のときは下記の表示となります。



を押すと操作4に戻ります。

を押すと内線名称編集を終了します。

を押すと＜ﾖﾐｶﾞﾅ編集＞画面となります。

- ●他の電話機で同じ内線番号の内線名称編集を行っている場合、操作2で内線番号を入力すると、入力待ち状態になります。

知っていると便利なこと

- ●[i]ボタン＋[内線]ボタンを押すと、操作2から操作することもできます。
- ●内線電話帳を検索したあと、内線名称の登録や変更を行うこともできます。⇒P2-36
- ●一斉呼出、ドアホン呼出、外部スピーカ呼出の呼出番号に内線名称をつけることもできます。内線電話帳（P2-34）で検索するときに表示するので便利です。

着信音を選択する

各外線の着信音を選択する

外線からかかってきたときの着信音を、外線ボタン（またはDILINボタン）ごとに音を聞きながら設定することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(208)	–	ET-EXU-Xi (外部音源を使う場合)

1 メニューから<音設定>を呼び出す

①[決定]を押します。
②「4 電話機毎機能設定」を選択し、[決定]を押します。
③「2 音設定」を選択し、[決定]を押します。
④「1 外線着信音選択」を選択し、[決定]を押します。

<音設定>
1 外線着信音選択
2 内線着信音選択
3 ｷｰ押し確認音
4 着信音量設定
◀戻る ◆決定

2 [▲▼]で選択し、[決定]を押す

- 「着信音（昼）」は昼の着信音「着信音（夜）」は夜の着信音（夜間切替を利用しているとき）を設定するときに選択します。
- 「着信音（昼夜）」は昼と夜の着信音（夜間切替を利用しているとき）を同じ設定にするときに選択します。
- 「2 着信音（夜）」を選択するとさらに夜モードの選択画面に移行しますので、夜モードを選択してください。

<外線着信音選択>
1 着信音（昼）
2 着信音（夜）
3 着信音（昼夜）
◀戻る ◆決定

3 着信音を設定する 外線 ボタンを押し、[決定]を押す

- 現在の登録内容が表示されます。
- [決定]を押す前は、外線ボタンを押し替えることができます。

<着信音（昼）>
外線01 ：着信音11
■[外線]ﾎﾞﾀﾝ押下または外線番号(2桁)入力
(DILINは#+番号2桁)
◀戻る 決定

4 [▲▼]で着信音を選択し、[決定]を押す

- 現在の設定内容が反転します。
- [決定]を押すと、現在選択中の着信音を再生することができます。

<着信音（昼）>
00 着信なし
11 着信音11
12 着信音12
13 着信音13
◀戻る ◆決定 再生▶

5 設定完了画面が表示される

- 設定した着信音が鳴ります。
- 終了する場合は、[決定]を押します。
- [決定]を押すと操作3に戻り、設定を繰り返すことができます。

<着信音（昼）>
外線01 ：着信音17

■設定完了！
終了 継続▶

補足説明

●着信音は下記のとおりです。
00 着信なし
11～47 着信音11～47
51～53 着信音51～53（ﾒﾛﾃﾞｨ）
54 着信音54（外部音源）
55～56 着信音55～56（ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ）
99 着信音99（無鳴動）
「着信なし」を選択すると着信／メッセージランプの点滅、ナンバー・ディスプレイ表示は行いません。「着信音99（無鳴動）」は着信音は鳴りませんが、着信／メッセージランプの点滅、ナンバー・ディスプレイ表示を行い、オフフック応答（鳴動外線のみ）を行うこともできます。
●工場出荷時は、収容位置が101～104、501～504の電話機の着信音が鳴るように設定されています。
●システム応答メッセージを着信音として利用する場合は、設定が必要です。[工事者設定208]

知っていると便利なこと

●外線ボタンを押さずに設定することもできます。操作4で外線ボタンの代わりに、外線番号（2桁）を押します。ストレートラインDIの場合は、DILINボタンの代わりに、#＋DILIN番号(2桁)を押します。
●内線一般着信（P2-55）で使用するDILINボタンも着信音を設定することができます。

着信音を選択する

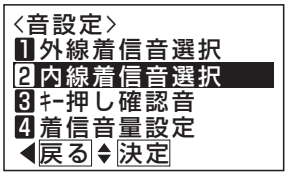
内線の着信音を選択する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(521)	−	ET-EXU-Xi (外部音源を使う場合)

内線からかかってきたときの着信音を、音を聞きながら設定することができます。

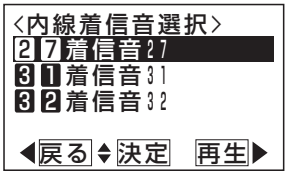
1 メニューから〈音設定〉を呼び出す

① ⊡ を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、⊡ を押します。
③「**2 音設定**」を選択し、⊡ を押します。
④「**2 内線着信音選択**」を選択し、⊡ を押します。



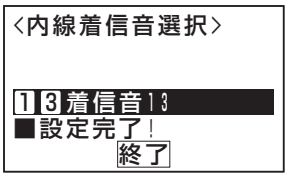
2 ⊡ で選択して、⊡ を押す

- 現在の設定内容が反転表示します。
- ⊡ を押す前に ⊡ を押すと、現在選択中の着信音を再生することができます。



3 設定完了画面が表示される

- 設定した着信音が鳴ります。
- ⊡ を押すと終了します。



補足説明

●着信音は下記のとおりです。
11～**47** 着信音11～47
51～**53** 着信音51～53（ﾒﾛﾃﾞｨ）
54 着信音54（外部音源）
55～**56** 着信音55～56（ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ）
●システム応答メッセージを着信音として利用する場合は、設定が必要です。[工事者設定521]

ご注意

●コードレス電話機（ディジタルハンドルコードレス電話機を含む）は、着信音54～56を設定するとメロディ1で鳴ります。

着信音を選択する

メロディ着信の曲目を選択する

メロディ着信や保留音で使うメロディを聞きながら選曲できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
208-1	−	−

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

1 メニューから<ﾒﾛﾃﾞｨ選曲>を呼び出す

① ⊙を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊙を押します。

③「3 音/着信ﾗﾝﾌﾟ設定」を選択し、⊙を押します。

④「2 ﾒﾛﾃﾞｨ選曲」を選択し、⊙を押します。

<ﾒﾛﾃﾞｨ選曲>
1 ﾒﾛﾃﾞｨ1
2 ﾒﾛﾃﾞｨ2
3 ﾒﾛﾃﾞｨ3
4 ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞA
◀戻る ◆決定

2 ⊙で設定するメロディ番号（1〜3）を選択し、⊙を押す

<ﾒﾛﾃﾞｨ選曲>
1 ﾒﾛﾃﾞｨ1
2 ﾒﾛﾃﾞｨ2
3 ﾒﾛﾃﾞｨ3
4 ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞA
◀戻る ◆決定

3 ⊙で設定したいメロディを選択し、⊙を押す

- ⊙を押す前に、⊙を押すと、現在選択中の曲を再生することができます。

<ﾒﾛﾃﾞｨ1>
01 ｻﾞ・ｴﾝﾀｰﾃｨﾅｰ
02 ｶﾉﾝ
◀戻る ◆決定 再生▶

4 設定完了画面が表示される

- 設定したメロディが流れます。
- 終了する場合は、⊙を押します。
- ⊙を押すと操作2に戻り、設定を繰り返すことができます。

<ﾒﾛﾃﾞｨ1> ■設定完了!
01 ｻﾞ・ｴﾝﾀｰﾃｨﾅｰ
終了 継続▶

補足説明

●メロディ 1〜3は着信音51〜53で使用するメロディです。
●保留音はメロディ 1〜3のいずれか一つが使用可能で、メロディ着信音と兼用となります。
●メロディ番号と曲目の対応は下記の通りです。

番号	曲目	作曲者
01	ザ・エンターティナー	SCOTT JOPLIN
02	カノン	JOHANN PACHELBEL
03	グリーンスリーブス	−
04	大きな古時計	HENRY CLAY WORK
05	くるみ割り人形ー小序曲	PYOTR ILYICH TCHAIKOVSKY
06	春の歌	FELIX MENDELSSOHN
07	Jupiter	GUSTAV HOLST
08	ミッキーマウスマーチ	JIMMIE DODD
09	ジングルベル	JAMES PIERPONT
10	We Wish You A Merry Christmas	−

着信音を選択する

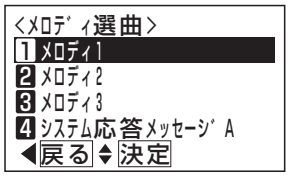
着信に使うシステム応答メッセージを選択する

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

1 メニューから〈ﾒﾛﾃﾞｨ選曲〉を呼び出す

① ⊡ を押します。

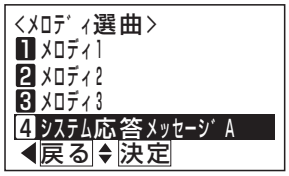
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊡ を押します。



③「3 音/着信ﾗﾝﾌﾟ設定」を選択し、⊡ を押します。

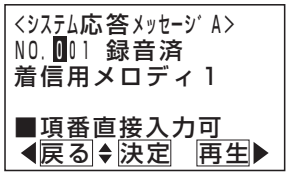
④「2 ﾒﾛﾃﾞｨ選曲」を選択し、⊡ を押します。

2 ⊡ で設定するメッセージ（4 または 5）を選択し、⊡ を押す



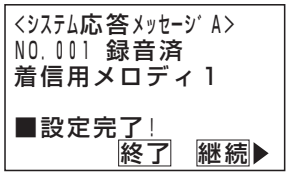
3 設定したいシステム応答メッセージ番号を入力し、⊡ を押す

- ⊡ でメッセージ番号を検索することもできます。
- ⊡ を押すと、現在選択中のメッセージを再生できます。



4 設定完了画面が表示される

- 設定したメッセージが流れます。
- 終了する場合は、⊡ を押します。
- ⊡ を押すと操作2に戻り、設定を繰り返すことができます。



保留音を選択する

保留中に相手に流れる保留音を、音を聞きながら選択できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(302,303)	−	−

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

1 メニューから〈保留音選択〉を呼び出す

① ⊡ を押します。

②「**5** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊡ を押します。

③「**3** 音/着信ﾗﾝﾌﾟ設定」を選択し、⊡ を押します。

④「**3** 保留音選択」を選択し、⊡ を押します。

<保留音選択>
3 ﾒﾛﾃﾞｨ3:
XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXX
◀戻る ◆決定 再生▶

2 ⊡ で設定したいメロディ番号を選択し、⊡ を押す

- ⊡ を押す前に、⊡ を押すと、現在選択中の曲を再生することができます。

<保留音選択>
2 ﾒﾛﾃﾞｨ2:
XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXX
◀戻る ◆決定 再生▶

3 設定完了画面が表示される

- 設定したメロディが流れます。
- ⊡ を押すと終了します（メロディ停止）。

<保留音選択>
2 ﾒﾛﾃﾞｨ2:
XXXXXXXXXXXXXXXX
XXXXXXXXXXXXXXXX
■設定完了!
終了

補足説明

- ●メロディ番号の曲目は「メロディ着信の曲目を選択する」（P7-12）で選曲します。
- ●保留音はメロディ 1～3のいずれかが使用可能で、メロディ着信音と兼用となります。

指定した時刻に音で知らせる（タイムアラーム）

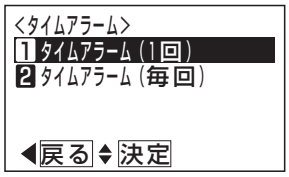
あらかじめ登録した時刻になると、電話機スピーカからアラーム音を出すことができます。電話機ごとに設定できます。

指定した日時に１回だけアラームを鳴らす

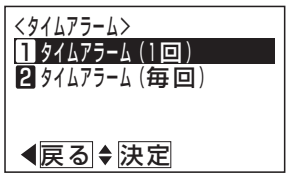
■タイムアラームを登録する

1 メニューから〈ﾀｲﾑｱﾗｰﾑ〉を呼び出す

① ◉を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、◉を押します。
③「**8** ﾀｲﾑｱﾗｰﾑ」を選択し、◉を押します。



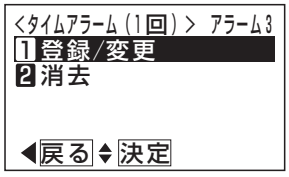
2 ◉で「**1** ﾀｲﾑｱﾗｰﾑ(1回)」を選択し、◉を押す



3 ◉で登録／変更したい番号を選択し、◉を押す

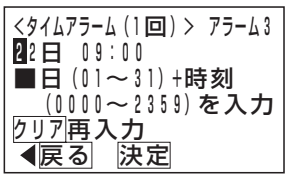
- 現在の登録内容が表示されます。

4 ◉で「**1** 登録/変更」を選択し、◉を押す



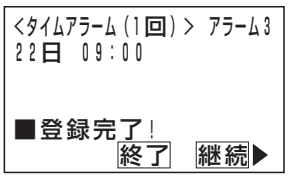
5 日時を入力し、◉を押す

- 日付は2桁、時刻は4桁で入力します。
- すでに登録されている場合は、登録内容が表示されます。変更する場合は日時を再入力してください。



6 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、◉を押します。
- ◉を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。



補足説明

- ●タイムアラームを消去するときは、操作4で「**2 消去**」を選択してください。
- ●アラームは「ピピ」という音で、2秒おきに3回鳴ります。
- ●アラームは電話機1台につき3つまで設定できます。

ご注意

- ●タイムアラームを利用する場合は、外線着信音量および内線着信音量（P1-25）を「無音」にしないでください。
- ●設定された日時に停電があったときには、翌月の同じ日時にアラームが鳴ります。

指定した時刻に音で知らせる（タイムアラーム）

アラームをくり返して鳴らす

曜日を指定して、毎週同じ曜日にアラームを鳴らすことができます。

■タイムアラームを登録する

1 メニューから〈ﾀｲﾑｱﾗｰﾑ〉を呼び出す

① ⊛ を押します。

②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、⊛ を押します。

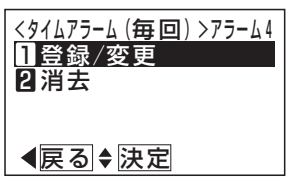
③「**8** ﾀｲﾑｱﾗｰﾑ」を選択し、⊛ を押します。

2 ⊛ で「2 ﾀｲﾑｱﾗｰﾑ (毎回)」を選択し、⊛ を押す

3 ⊛ で登録／変更したい番号を選択し、⊛ を押す

- 現在の登録内容が表示されます。

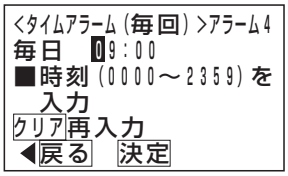
4 ⊛ で「1 登録/変更」を選択し、⊛ を押す



5 ⊛ で曜日を選択し、⊛ を押す

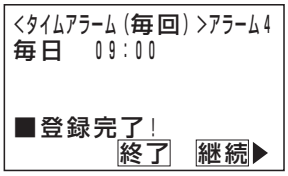
6 時刻を入力し、⊛ を押す

- 時刻は4桁で入力します。
- すでに登録されている場合は、登録内容が表示されます。変更する場合は時刻を再入力してください。



7 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、⊛ を押します。
- ⊛ を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。



補足説明

- ●タイムアラームを消去するときは、操作4で「**2 消去**」を選択してください。
- ●アラームは「ピピ」という音で、2秒おきに3回鳴ります。
- ●アラームは電話機1台につき5つまで設定できます。
- ●設定したアラームは、消去しないと動作し続けます。

指定した時刻にチャイムを鳴らす(チャイムタイマ)

あらかじめ登録した時刻になると、電話機のスピーカや外部スピーカを使ってチャイムを鳴らすことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(624)	ﾁｬｲﾑ停止 (961) *必要時	−

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

■チャイムタイマを登録する

1 メニューから〈ﾁｬｲﾑﾀｲﾏ〉を呼び出す

① ◉ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉ を押します。

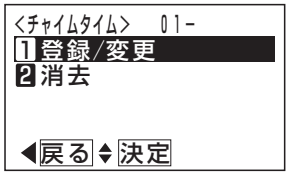
③「0 その他」を選択し、◉ を押します。

④「8 ﾁｬｲﾑﾀｲﾏ」を選択し、◉ を押します。

2 ◉ で登録／変更したい番号(01～60)を選択し、◉ を押す

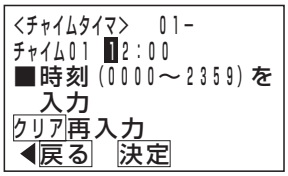
- 現在の登録内容が表示されます。
- 番号を直接入力することもできます。
- 表示内容
  「設定なし」：登録がありません。
  「10:20」　：設定時刻です。
  チャイム送出先
  「S」　　：外部スピーカ
  「T」　　：電話機

3 ◉ で「1 登録/変更」を選択し、◉ を押す



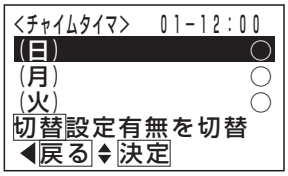
4 時刻を入力し、◉ を押す

- 時刻は24時間制4桁で入力します。
- すでに登録されている場合は、登録内容が表示されますので、変更する場合は時刻を再入力してください。



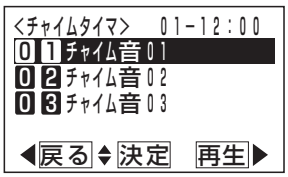
5 ◉ で曜日を選択し、代理応答/切替 ボタンでチャイムを鳴らすかどうかを選択して◉ を押す

- 現在の状態が表示されます。
  ○：鳴らす
  ×：鳴らさない
  (初期設定：○)
- 代理応答/切替 ボタンを押すたびに、「○」と「×」が交互に切り替わります。

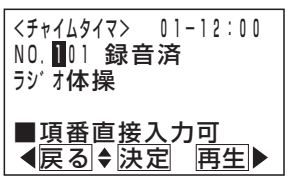


6 ◉ で音源（01～13,99）を選択し、◉ を押す

- 番号を直接入力することもできます。
- 現在の設定内容が反転表示されます。



- ◉ を押す前に ◉ を押すと、選択されている音源を再生することができます。
- 音源に「9 9 ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ」を選択したときは、その番号（001～300）を続けて入力します。

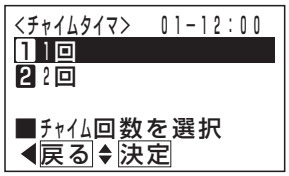


指定した時刻にチャイムを鳴らす(チャイムタイマ)

7 (1) 操作6で、「チャイム音(01～10)」または「システム応答メッセージ」を選択した場合

◈で音源が鳴る回数（1または2）を選択し、◈を押す

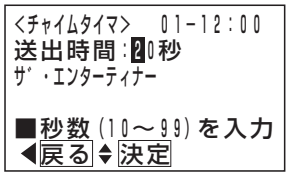
- 現在の設定内容が反転表示されます。
- 鳴る回数を直接入力することもできます。



(2) 操作6で、「メロディ（11～13)」を選択した場合

メロディの送出時間を入力し、◈を押す

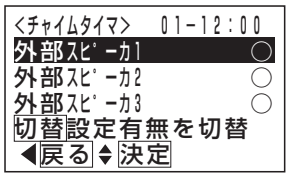
- 10～99秒の範囲を設定できます。



8 ◈で外部スピーカを選択し、代理応答/切替 ボタンでチャイムを鳴らすかどうかを設定する。

設定が終わったら◈を押す

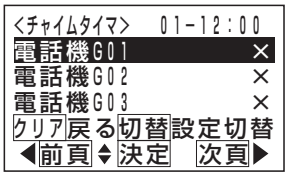
- 現在の状態が表示されます。
  ○：送出する
  ×：送出しない
  （初期設定は「○」です。外部スピーカを使わない場合は、「×」を設定してください。）
- 代理応答/切替ボタンを押すたびに、「○」と「×」が交互に切り替わります。



9 ◈で電話機グループを選択し、代理応答/切替 ボタンでチャイムを鳴らすかどうかを設定する。

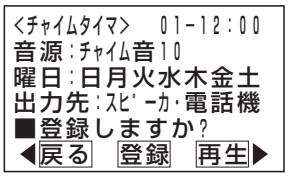
設定が終わったら◈を押す

- 現在の状態が表示されます。
  ○：送出する
  ×：送出しない
  （初期設定は「×」です）
- 代理応答/切替ボタンを押すたびに、「○」と「×」が交互に切り替わります。



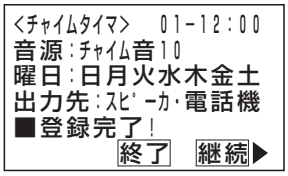
10 登録確認画面となるので、◈を押す

- 入力、選択した内容が表示されます。
- ◈を押す前に◈を押すと、選択した機器を使ってチャイムの再生テストを行うことができます。



11 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、◈を押します。
- ◈を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。



指定した時刻にチャイムを鳴らす(チャイムタイマ)

補足説明

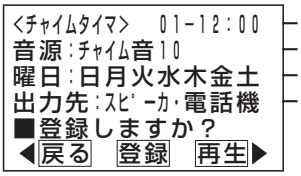
●タイマはシステムで60個まで設定でき、それぞれ下記を設定、選択できます。
- ・時刻：チャイムが鳴る時分（初期設定：無し）
- ・曜日：チャイムが鳴る曜日（初期設定：全て鳴る）
- ・音源：チャイム音01～10
  メロディ 1～3
  システム応答メッセージ
  （初期設定：チャイム音01）

※チャイム音の曲名等は下表の通りです。

チャイム音	曲名等
01	ウェストミンスターの鐘(ゆっくり)
02	ウェストミンスターの鐘（標準）
03	ウェストミンスターの鐘（高音）
04	おもいで
05	チャイム音（7回）
06	峠の我が家
07	春の歌
08	カノン
09	ノクターン Op.9-2
10	We Wish You A Merry Christmas

- ・音源の送出回数：1回または2回（初期設定：1回）
  音源の送出時間：10～99秒
- ・出力先スピーカ設定：外部スピーカ1～4（初期設定：全て送出する）
- ・出力先電話機グループ設定：電話機グループ1～48（初期設定：全て送出しない）

●登録確認画面の説明：



チャイム番号、
チャイムを鳴らす時刻
音源の名前
チャイムを鳴らす曜日
チャイムの送出先（＊1）

＊1：下記4つのうちいずれかを表示します。
- 「ｽﾋﾟｰｶ」：外部スピーカにのみチャイム音を送出する
- 「電話機」：電話機グループにのみチャイム音を送出する
- 「ｽﾋﾟｰｶ・電話機」：外部スピーカ、電話機グループの両方にチャイム音を送出する
- 「なし」：外部スピーカおよび電話機グループにチャイム音を送出しない

●操作3で**「2 消去」**を選択すると、登録内容を消去できます。

ご注意

●外部スピーカにチャイム音を送出する場合は、オプション用品のET-EXU-Xiが別途必要です。

●外部スピーカで一斉放送している場合（P8-7）や内線の電話機を一斉に呼び出している場合（P2-46）は、一斉放送で使用している外部スピーカや呼び出されている電話機からチャイムを送出することはできません。
また、チャイムを送出中の外部スピーカや電話機に対して、一斉放送や一斉呼出を行うことはできません。

●音源に「システム応答メッセージ」を使うときは設定が必要です。[工事者設定624]

知っていると便利なこと

●電話機ごとに電話機のスピーカからチャイム音を送出するかどうかを工事者設定で行えます。初期設定は「送出あり」です。[工事者設定624]

■ チャイム停止 ボタンでチャイムタイマを切り替える

チャイム停止 ボタンを使うとチャイムタイマのON／OFFを切り替えることができます。
長期間の休み等でチャイムを鳴らしたくない場合に、簡単に停止することができます。

1 チャイム停止 ボタンを押す

- チャイムタイマがOFFに切り替わり、チャイム停止ランプが点灯します。
- チャイム停止ボタンを再度押すとチャイムタイマがONに切り替わります。
  以後チャイム停止ボタンを押すたびに、交互に切り替わります。

応答メッセージなどを録音する

ボイスメモにメッセージを録音し、外線にそのメッセージを流すことができます。システムで最大300件まで録音できます。

システム応答メッセージ名称を登録する

システム応答メッセージに名前をつけることができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-6)	−	−

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

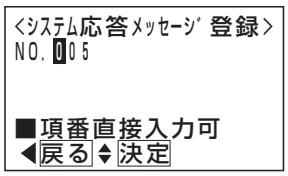
1 メニューから〈ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録〉を呼び出す

① ◉ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉ を押します。

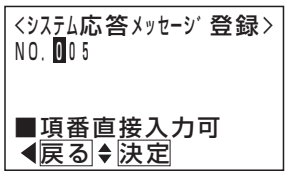
③「6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、◉ を押します。

④「1 ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録」を選択し、◉ を押します。

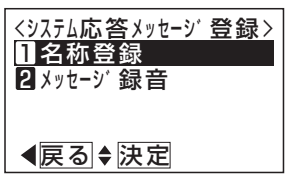


2 新規登録時は◉を押す

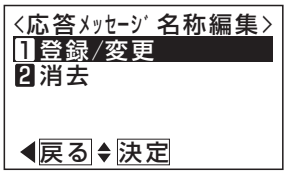
- メッセージを録音していないシステム応答メッセージ番号が表示されます。
- 登録済みの番号を変更するときは、番号（001～300）を直接入力するか◉で選択してください。
- すでに登録済みの場合は、登録してある名称が表示されます。



3 ◉で「1 名称登録」を選択し、◉を押す

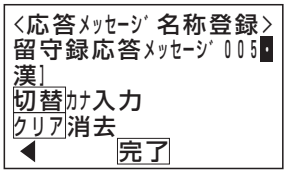


4 ◉で「1 登録/変更」を選択し、◉を押す



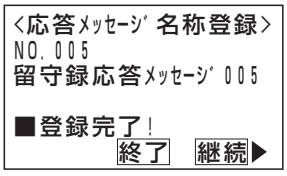
5 ダイヤルボタンで名称を入力し、◉を押す

- システム応答メッセージ名称は全角で10文字まで入力できます。
- 詳しい方法は、「文字入力方法」（P3-15）をご覧ください。



6 登録完了画面となる

- 登録された名称がディスプレイ3行目に表示されます。
- 終了する場合は、◉を押します。
- ◉を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。



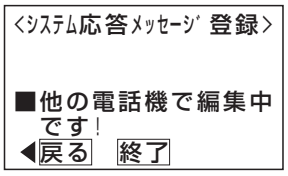
応答メッセージなどを録音する

補足説明

●操作２でシステム応答メッセージがすでに録音してある番号を選択した場合、 を押すと、現在選択中のメッセージを再生することができます。
●操作４で**「2 消去」**を選択すると、対象のシステム応答メッセージ名称を消去できます。

ご注意

●同時に複数の電話機で登録することはできません。他の電話機で使用中のときは下記の表示となります。
を押すと操作１の④に戻り、 を押すと終了します。



システム応答メッセージを録音する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(722-6)	−	−

▶ **指定電話機：データ設定用電話機**

■特番を押して録音する

1 ハンドセットをとる
• 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 システム応答メッセージ録音／確認番号[3][7][9]*を押す
• 保留音が聞こえます。
*番号を可変桁にしている場合は、番号のあとに[#]を押してください。

3 システム応答メッセージ番号３桁（[0][0][1]～[3][0][0]）を押す
• 音声案内「録音は１、再生は＊（アスタリスク）、消去は０をどうぞ」が流れます。

4 [1]を押す
•「ピー」音が聞こえたら録音開始になりますので、ハンドセットに向かって話します。
録音時間が終了すると、話中音（ツーツーツー）が聞こえます。（１件あたりの最大録音時間は１分です。）

応答メッセージなどを録音する

■メニュー機能で録音する

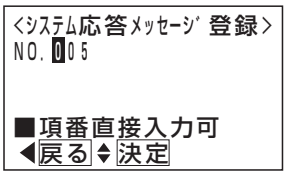
1 メニューから〈ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録〉を呼び出す

① ▣ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、▣ を押します。

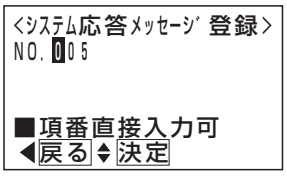
③「6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、▣ を押します。

④「1 ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録」を選択し、▣ を押します。

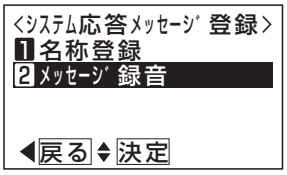


2 新規録音時は▣を押す

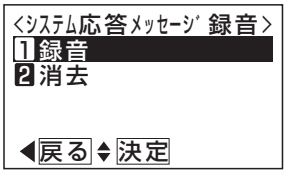
- メッセージを録音していないシステム応答メッセージ番号が表示されます。
- 登録済みの番号を変更するときは、番号（001～300）を直接入力するか▣で選択してください。
- すでに登録済みの場合は、登録してある名称が表示されます。



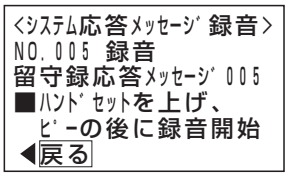
3 ▣で「2 ﾒｯｾｰｼﾞ録音」を選択し、▣を押す



4 〈ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ録音〉の機能選択画面となるので、▣で「1 録音」を選択し、▣を押す

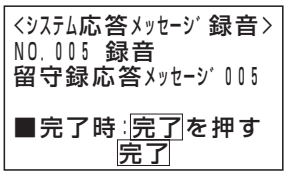


5 ハンドセットを上げて録音開始音「ピー」を待つ



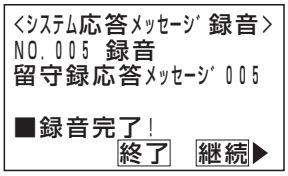
6 録音開始音「ピー」が聞こえたら録音を開始し、録音を完了したら、1秒程度時間をあけてから▣を押してハンドセットを置く

- ▣を押さずにハンドセットを置いても録音完了となります。
- 録音時間に空きがなく（1件あたりの最大録音時間は初期値1分、またはボイスメモ全体の録音時間に空きがなくなったとき）なっても、録音完了となります。



7 録音完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣を押します。
- ▣を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。



応答メッセージなどを録音する

■特番を押して録音内容を確認する

1 ハンドセットをとる

- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 システム応答メッセージ録音／確認番号3 7 9 *を押す

- 保留音が聞こえます。

*番号を可変桁にしている場合は、番号のあとに#を押してください。

3 システム応答メッセージ番号3桁（0 0 1～3 0 0）を押す

- 音声案内「録音は1、再生は ＊（アスタリスク）、消去は0をどうぞ」が流れます。

4 ＊を押す

- 保留音が止まり、メッセージがハンドセットから聞こえます。（2回繰り返し）
- 終了すると、話中音（ツーツー…）が聞こえます。

■メニュー機能で録音内容を確認する

1 メニューから‹ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録›を呼び出す

①[中央]を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[中央]を押します。

③「6 応答ﾒｯｾｰｼﾞ/IVR」を選択し、[中央]を押します。

④「1 ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録」を選択し、[中央]を押します。

‹ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録›
NO. 006

■項番直接入力可
◀戻る ◆決定

2 [中央]で再生を行うシステム応答メッセージ番号（001～300）を選択し、[中央]を押す

- 番号（001～300）を直接入力することもできます。
- すでに録音済みの場合は、ディスプレイの6行目に再生が表示されます。
- すでに名称登録済みの場合は、登録してある名称が表示されます。

‹ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録›
NO. 005
留守録応答ﾒｯｾｰｼﾞ005

■項番直接入力可
◀戻る ◆決定 再生▶

3 メッセージが2回再生される

‹ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録›
NO. 005 再生
留守録応答ﾒｯｾｰｼﾞ005

◀戻る

4 再生完了画面が表示される

- 終了する場合は、[中央]を押します。
- [中央]を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。

‹ｼｽﾃﾑ応答ﾒｯｾｰｼﾞ登録›
NO. 005 再生
留守録応答ﾒｯｾｰｼﾞ005

■再生完了！
終了 継続▶

■録音したメッセージを使う

ボイスメモに録音したメッセージは下記の用途で使用します。

- **外線お待たせメッセージ＊**
- **ダイレクトインダイヤル（DID）の一次応答メッセージ**
- **留守番機能（留守録モード）の応答メッセージ＊**
- **留守番機能（応答専用モード）の応答メッセージ＊**
- **留守番機能（発信者選択モード）の応答メッセージ＊**
- **留守番機能（転送電話）の転送／切断メッセージ＊**
- **不在転送（外線への転送）の転送／切断メッセージ＊**
- **非通知着信拒否の送出メッセージ＊**
- **発番号識別着信拒否の送出メッセージ＊**
- **センサ着信時の送出メッセージ＊**
- **センサ着信に応答時の送出メッセージ＊**
- **外線お待たせメッセージの切断メッセージ＊**
- **外線保留音／着信音**
- **リモコン操作時の設定完了アナウンス＊**
- **圏外トーキー＊**
- **ACD着信のお待たせメッセージと切断メッセージ＊**
- **自動オペレータの応答メッセージ＊**
- **簡易IVRの応答メッセージ＊**
- **通話録音アナウンス＊**
- **チャイムタイマの音源**

＊固定メッセージを使用することもできます。

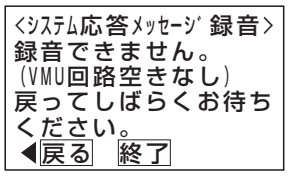
応答メッセージなどを録音する

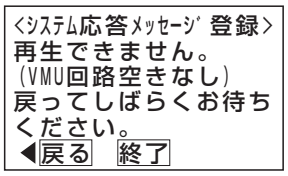
補足説明

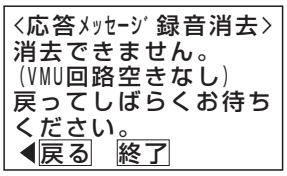
●メッセージ一つあたりの最大録音時間は1分（初期値）で、変更することも可能です。[工事者設定722-6]
●特番を押して録音内容を確認するときは、スピーカから聞くこともできます。操作1でハンドセットをとる代わりに[内線]ボタンか[スピーカ]ボタンを押してください。
●「■特番を押して録音する」（P7-21）または「■特番を押して録音内容を確認する」（P7-23）の操作4で[0]をダイヤルすると、対象のシステム応答メッセージの録音内容が消去され、音声案内「メッセージを消去しました」が聞こえます。その後、話中音（ツーツーツー）が聞こえます。
●「■メニュー機能で録音する」（P7-22）の操作4で**「2 消去」**を選択すると、対象のシステム応答メッセージの録音内容を消去できます。

ご注意

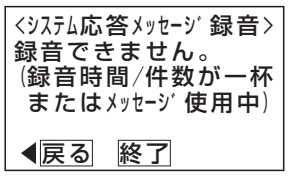
●録音後は、録音内容を確認してください。
●留守番機能の留守録モードで使う[メッセージ( )]ボタンと使用するシステム応答メッセージとの対応は、メニュー機能で設定できます。詳細はP4-15をご覧ください。
●留守番機能の応答専用モード（P4-43）、発信者選択モード（P4-48）で使う[メッセージ( )]ボタンと使用するシステム応答メッセージとの対応は、工事者設定が必要です。[工事者設定401-3、401-4]
●メッセージの録音や再生、消去をするときに次のエラー画面が表示されることがあります。



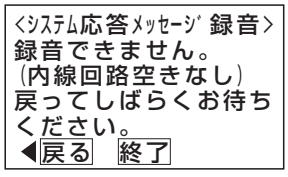


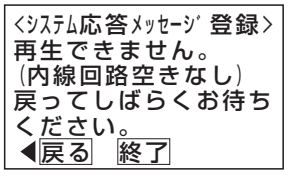


ボイスメモを全回線使用している状態です。 を押して前の画面に戻り、しばらく待ってから録音／再生／消去してください。

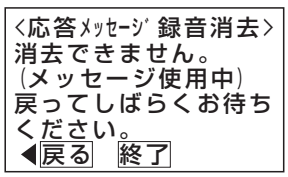


ボイスメモに空き容量がない状態です。不要なメッセージを消去して録音してください。





内線通話回路に空きがない状態です。 を押して前の画面に戻り、しばらく待ってから録音／再生してください。



メッセージを使用中です。 を押して前の画面に戻り、しばらく待ってから消去してください。

応答メッセージなどを録音する

知っていると便利なこと

●録音／確認番号は変更することができます。[工事者設定722-6]
●専用の音声ファイル管理アプリケーションを使用して、パソコンから取り込んだ音声ファイルを応答メッセージとして使用することもできます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）
●ホテル機能（オートコール、トーキーサービス、モーニングコール、メッセージコール、非常警報）で使用する音声メッセージについても本機能で録音します。ホテル機能については、「ホテル機能」取扱説明書をご覧ください。LA LB

設定完了アナウンスを流す

リモート操作や電話機のボタン操作などで切替や変更操作を完了したとき、設定完了アナウンスを流すことができます。

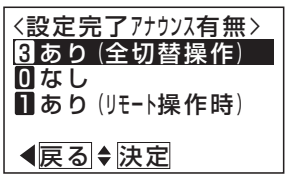
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
228，401	−	−

■設定完了アナウンスの有無を設定する

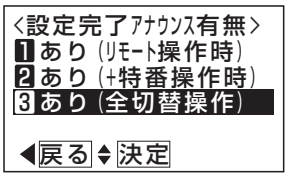
▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから〈設定完了ｱﾅｳﾝｽ有無〉を呼び出す

① ▣ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、▣ を押します。
③「5 留守番機能」を選択し、▣ を押します。
④「9 設定完了ｱﾅｳﾝｽ有無」を選択し、▣ を押します。

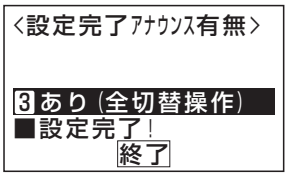


2 ▣ で項目を選択し、▣ を押す



3 設定完了画面が表示される

- ▣ を押すと終了します。



補足説明

●操作２の項目は下記を参考に選択してください。

- **0 なし**
  設定完了アナウンスを流しません。
- **1 あり（ﾘﾓｰﾄ操作時）**
  リモート操作時に設定完了アナウンスを流します。
- **2 あり（＋特番操作時）**
  リモート操作時および特番で夜間切替・留守切替のON／OFFなどを行ったときに設定完了アナウンスを流します。
- **3 あり（全切替操作）**
  リモート操作時、電話機のボタン操作時、および特番で夜間切替・留守切替のON／OFFなどを行ったときに設定完了アナウンスを流します。

ご注意

●リモート操作時、ボイスメモが全て使用中の場合、連続音（プー）が流れます。
●特番操作時、ボイスメモが全て使用中の場合、保留音が流れます。

知っていると便利なこと

●設定完了アナウンスの有無は、工事者設定でも行えます。[工事者設定228]

設定完了アナウンスを流す

■設定完了アナウンスの内容

切替や変更操作を完了したときに流れる設定完了アナウンスは、下記のとおりです。

（○：送出あり　×：送出なし　－：本操作なし）

設定内容		設定完了アナウンス	リモート操作時	電話機のボタン操作時	特番操作時
留守切替ON時 夜間切替・	留守録モード時 応答専用モード時 発信者選択モード時 留守録＋転送モード時	回線に送出する応答メッセージ	○	○	○
	各転送電話モード時	「転送を設定しました。」			
	上記以外	「留守設定しました。」※５			
夜間切替・留守切替OFF時		「留守設定を解除しました。」※６	○	○	○
メッセージ番号を変更したとき		回線に送出する応答メッセージ	－	○	－
留守録モード切替時	留守録モード時 応答専用モード時 発信者選択モード時 留守録＋転送モード時	回線に送出する応答メッセージ	○ ※１	○	－
	各転送電話モード時	「転送を設定しました。」			
	上記以外	「留守設定しました。」			
転送先切替時 転送電話の	転送先１カ所の場合	「転送先01を設定しました。」（一例）	○	○	－
	転送先２カ所の場合	「転送先01、転送先12を設定しました。」（一例）	○	○ ※３	－
転送先電話番号登録時		音声アナウンスはできません。	× ※２	－	－
不在転送＜外線への転送＞ ON時		「転送を設定しました。」	○	×	○
不在転送＜外線への転送＞ OFF時		「転送を解除しました。」	○	×	－
不在転送＜外線への転送＞ 転送先電話番号登録時		音声アナウンスはできません。	× ※２	×	×
リモコンをONしたとき		「リモコン01を設定しました。」（一例）	○ ※４	○	○
リモコンをOFFしたとき		「リモコン01を解除しました。」（一例）	○ ※４	○	○
留守録通知先を変更したとき		「留守録通知先１を設定しました。」（一例）	○	×	－

※１：留守番状態（留守切替、夜間切替）になっていない時は、連続音（プー）が流れます。
※２：連続音（プー）が流れます。
※３：転送先１カ所の場合と同様、転送先( )ボタンを押すたびに設定完了アナウンスが流れます。
※４：録音したメッセージを流すことも可能です。録音したメッセージを利用したい場合は、販売店にご相談ください。
※５：留守番機能がOFFのときは「夜モードに設定しました」が流れます。
※６：留守番機能がOFFのときは「夜モードを解除しました」が流れます。

外出先からリモート操作を行う

外出先から、留守番機能の各モードの選択や、夜間切替、留守切替の制御などを行うことができます。
リモート操作に入る方法は、いくつかあります。

リモート操作方法

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
228	−	−

■リモート操作用電話機からの操作

リモート操作用電話機（P7-31）からは、簡単にリモート操作に入れます。

1 外から電話をかける

- 主装置が使っているどの電話番号にかけても操作できます。
- 一次応答信号(発信音ツツツまたはメッセージ)が聞こえます。

2 一次応答信号が聞こえたら[#]を押す

- 一次応答信号が停止し、無音となります。
- リモート操作が可能となります。

補足説明

●リモート操作用電話機からのリモート操作も、特定の外線（電話番号）に限定することができます。［工事者設定228］

ご注意

●リモート操作用電話機から操作するときは、ナンバー・ディスプレイ等の契約が必要となる場合があります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

■一般の電話機からの操作<通常の着信時>

1 リモート操作用に設定された番号に電話をかける

- 約90秒、誰も応答しないと一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ)が聞こえます。

2 [#]＋ユーザ用パスワード（4桁）を押す

■一般の電話機からの操作
<留守番機能（転送電話を除く）が動作しているとき>

1 留守番応答メッセージが聞こえる

2 メッセージが聞こえている間にプッシュ信号で[9][9][9][#]を押す

- 一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が聞こえます。

3 [#]＋ユーザ用パスワード（4桁）を押す

ご注意

●留守録モード時、留守録モニタがセットされている場合は、[9][9][9][#]を押してもリモート操作に入れません。リモート操作用電話機から操作を行ってください。
●留守録モード時、ボイスメモ使用中の場合はリモート操作できないことがあります。
●アナログ外線の場合、回線の状況や応答メッセージの内容によっては、プッシュ信号をうまく受信できずリモート操作に入れないことがあります。

外出先からリモート操作を行う

■一般の電話機からの操作
<留守番機能（転送電話）が動作しているとき>

1 転送先と通話する

2 転送先と通話している間にプッシュ信号で[9][9][9][#]を押す
- 一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が聞こえます。

3 [#]＋ユーザ用パスワード（4桁）を押す

ご注意

●転送電話で転送先と通話している間に[9][9][9][#]を押すと、転送先との電話は切れます。

■DIDの外線に電話する

ダイレクトインダイヤル（DID）に設定されている外線に電話をかけても、リモート操作に入れます。

1 DIDに設定された番号に電話をかける
- 一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が聞こえます。

2 [#]＋ユーザ用パスワード（4桁）を押す

補足説明

●リモート操作に入らずに電話機を呼び出したいときは、一次応答信号が聞こえたら[#]ボタンを2回押します。特定の電話機を呼び出したいときは、一次応答信号が聞こえたら内線番号を押します。
●リモート操作用電話機からリモート操作に入るまでの時間を変更することもできます。[工事者設定228]
●一般の電話機からリモート操作に入るまでの時間を変更することもできます。[工事者設定228]
●ユーザ用パスワードの登録はP7-32をご覧ください。
●一般の電話機からリモート操作に入るときや、DID外線からリモート操作に入るときは、パスワード入力が必要ですが、パスワードが登録されていない場合はパスワード入力を省略します（[#]ボタンのみ押す）。
ただし、セキュリティ確保のため、できるだけパスワードを使用してください。

ご注意

●パスワード入力時にダイヤルとダイヤルの間が5秒以上あいた場合や、パスワードを間違った場合は、話中音（ツーツー…）が聞こえます。話中音が約8秒聞こえたあと、電話が切れます。
●パスワードを入力する際のご注意
・パスワードが正しい場合は連続音（プー）が聞こえ、リモート操作が可能になります。
・パスワードが間違っている場合は話中音（ツーツー）が聞こえます。[*]を押すとパスワードの入力をやり直すことができます。
・パスワードが登録されていない場合は、パスワード入力を省略できます。この場合、[#]を押した時点で無音となり、リモート操作が可能となります。

外出先からリモート操作を行う

■リモート操作で切替・変更できる機能

リモート操作で切替・変更できる機能は下記のとおりです。プッシュ信号で操作します。

①夜間切替（P4-60）	0 1 +（内線番号）（＊1、2）+ 0（昼）／ 1（夜間）／ 2（深夜）／ 3（休日）+ #
②留守切替（P4-60）	0 2 +（内線番号）（＊1、2）+ 0（OFF）／ 1（ON）+ #
③留守番モード切替（P4-60）	0 4 +（内線番号）（＊1、2）+ 0 1（留守番モード01）～ 1 2（留守番モード12）+ #
④転送先切替（P4-61）	0 5 +（内線番号）（＊1、2）+ 転送先1ヶ所目 0 1（転送先1）～ 1 4（転送先14）+ 転送先2ヶ所目 0 1（転送先1）～ 1 4（転送先14）+ #
⑤転送先電話番号登録（P4-61）	0 6 +（内線番号）（＊1、2）+ 0 1（転送先1）～ 1 4（転送先14）+転送先電話番号+ #
⑥不在転送＜外線への転送＞切替（P5-122）	0 7 +内線番号（＊2）+ 0（OFF）／ 1（ON）+ #
⑦不在転送＜外線への転送＞転送先電話番号登録(P5-122)	0 8 +内線番号（＊2）+転送先電話番号+ #
⑧リモコン（P8-10）	0 9 + 0 1（リモコン1）～ 0 4（リモコン4）+ 0（OFF）／ 1（ON）+ # S
	0 9 + 0 1（リモコン1）～ 2 0（リモコン20）+ 0（OFF）／ 1（ON）+ # LA LB
⑨留守録通知先切替（P4-61）	1 0 +（内線番号）（＊1、2）+ 1（通知先1）～ 7（通知先7）+ #
⑩留守番モードメッセージ番号切替（P4-61）	1 1 +（内線番号）（＊1、2）+ 留守番モード番号 0 7／0 8／1 0 + メッセージ番号 1 ～ 6 + #
⑪システム応答メッセージの録音／再生（P4-62）	1 2 +（内線番号）（＊1、2）+ # →ガイダンスに従って操作する

＊1：入力不要の場合、あらかじめ工事者設定されたテナント番号のみ切替・変更できます。入力必要にした場合は、モード切替用電話機の内線番号を入力します。（初期設定：入力不要）

＊2：番号を可変桁に設定している場合は、内線番号のあとに # を押してください。

補足説明

●留守番モード番号の内容は下記のとおりです。

01：転送電話　通常転送モード
02：転送電話　追っかけ転送モード
03：転送電話　ツイン転送モード
04：転送電話　不応答後転送モード
05：転送電話　不応答後追っかけ転送モード
06：転送電話　不応答後ツイン転送モード
07：留守録モード
08：応答専用モード
09：お話し中モード
10：発信者選択モード
11：通常着信モード
12：留守録＋転送モード

●リモート操作で切替・変更が完了したとき、設定内容を示す「設定完了アナウンス」を流すことができます。設定完了アナウンスを流したあとは、連続音（プー）が聞こえます。⇒P7-26
連続音（プー）が聞こえている間に次の操作を行うことができます。

●操作を間違えると話中音（ツーツー…）が聞こえます。＊を押すと一次応答信号に戻り操作をやり直すことができます。（パスワードが必要な場合はパスワード入力も含む）

外出先からリモート操作を行う

リモート操作用電話機の電話番号を登録する

リモート操作用電話機を登録すると、簡単にリモート操作に入ることができます。

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■電話番号を登録/変更する

1 メニューから〈ﾘﾓｰﾄ操作用電話機〉を呼び出す

① ⊞ を押します。
②「**5** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊞ を押します。
③「**8** 番号識別機能」を選択し、⊞ を押します。
④「**5** ﾘﾓｰﾄ操作用電話機」を選択し、⊞ を押します。

```
〈ﾘﾓｰﾄ操作用電話機〉
05:

■項番直接入力可
◀戻る ◆決定
```

2 ⊞ を押す

- 登録内容を変更するときは、⊞ で変更の対象を選ぶか、直接ダイヤル（01～60）してください。
- すでに登録されている場合は、その内容が表示されます。

```
〈ﾘﾓｰﾄ操作用電話機〉
05:

■項番直接入力可
◀戻る ◆決定
```

3 ⊞ で「**1** 登録/変更」を選択し、⊞ を押す

```
〈ﾘﾓｰﾄ操作用電話機〉
1 登録/変更
2 消去

◀戻る ◆決定
```

4 リモート操作用電話機の電話番号を入力し、⊞ を押す

- 電話番号をすべて消去すると、⊞ で操作3に戻ることができます。

```
〈ﾘﾓｰﾄ操作用電話機〉
05:0902222XXXX····

■電話番号入力
ｸﾘｱ消去
◀        決定
```

5 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、⊞ を押します。
- ⊞ を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

```
〈ﾘﾓｰﾄ操作用電話機〉
05:0902222XXXX
中島○郎

■登録完了!
        終了 継続▶
```

補足説明

●登録できる電話番号は最大16桁です。
●電話番号の登録は、工事者設定でも行えます。[工事者設定228]
●電話番号を消去するときは、操作2で消去したいものを指定して、操作3で「**2** 消去」を選択してください。

ご注意

●リモート操作用電話機からリモート操作を行うには、電話番号の登録以外に主装置側の設定が必要です。[工事者設定228]

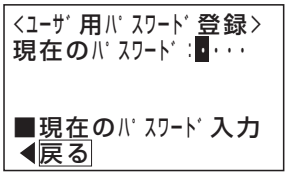
外出先からリモート操作を行う

リモート操作時のパスワードを登録する

リモート操作時に入力するパスワードを登録します。ここで設定したパスワードは、通話料金管理で予算の登録（P5-178）、累計料金のクリア（P5-183）を行うときにも使用します。

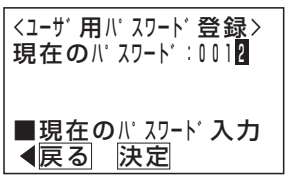
1 メニューから〈ﾕｰｻﾞ用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ登録〉を呼び出す

① ⊙ を押します。
②「**0 その他**」を選択し、⊙ を押します。
③「**5** ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ」を選択し、⊙ を押します。
④「**1** ﾕｰｻﾞ用ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ登録」を選択し、⊙ を押します。



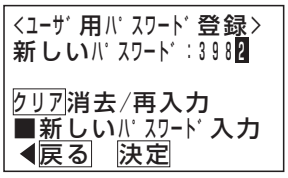
2 現在のパスワード（4桁）を入力し、⊙を押す

- 工場出荷時のパスワードは「0000」です。
- パスワードが設定されていないときは、現在のパスワード入力画面は表示されません。



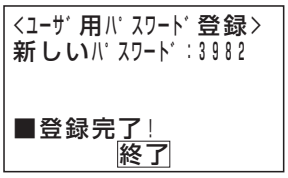
3 新しいパスワード（4桁）を入力し、⊙を押す

- 新しいパスワードを入力しないで⊙を押すと、パスワードは未登録状態となります。



4 登録完了画面が表示される

- ⊙ を押すと終了します。



補足説明

●パスワードの登録は、工事者設定でも行えます。
［工事者設定228］
携帯電話リモート操作の際に使うパスワードはWeb設定（P9-9）で設定します。

ご注意

●現在のパスワードがわからないとパスワードの登録ができません。現在のパスワードがわからなくなったときは、販売店にご相談ください。

携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う

携帯電話のブラウザを使用して主装置にアクセスし、留守録のON/OFF等をリモート操作することができます。外出時に留守録のセットを忘れたときなどに便利です。（携帯電話リモート操作機能）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
228-1	–	–

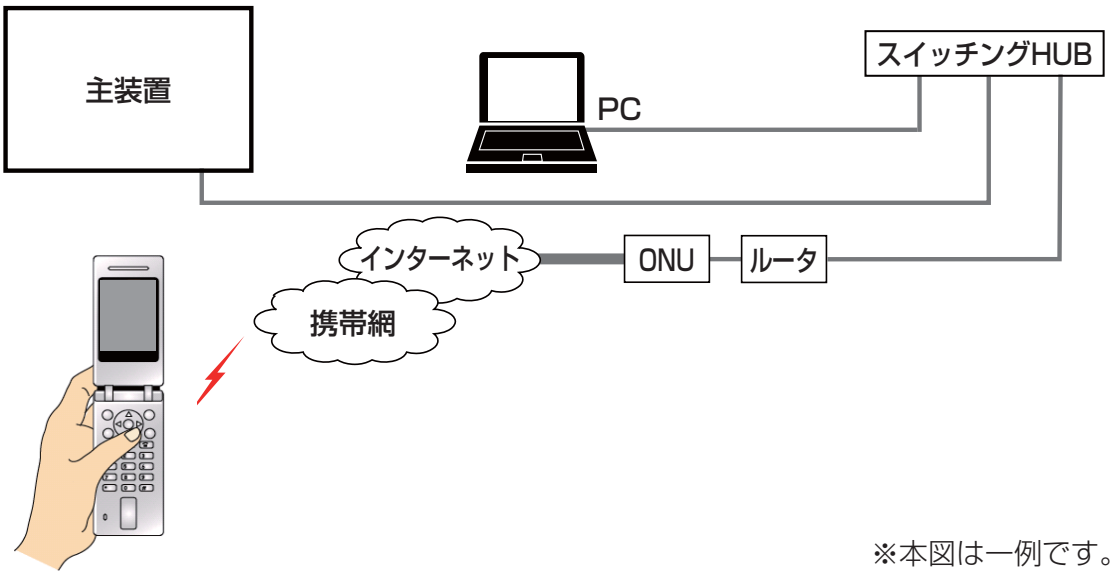
■リモート操作できる携帯電話の設定

携帯電話のブラウザを利用してリモート操作する場合は、携帯リモート操作ユーザの設定が必要です。
設定に関しては、「パソコンを使って各種設定を行う」（P9-9）をご覧ください。設定画面にて、携帯電話の電話番号とリモート操作する人が使っている内線電話機の内線番号、ユーザID、パスワードを登録してください。

※「携帯電話リモート操作機能」を利用する場合は、主装置をインターネットに接続し、主装置のアドレスをDDNSサーバへ登録する必要があります。ネットワークへの接続や工事者設定（環境によってはルータ等の機器やプロバイダ契約）等に関しては、販売店にお問い合わせください。
※ご利用できる携帯電話は、NTTドコモ（iモード）とスマートフォン（Android、iPhone）です。事業者によってはサービスが終了している場合があります。詳しくは、お使いの事業者にお問い合わせください。また、本機能はすべての携帯電話での動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
※Android携帯をお使いのときは、ブラウザ設定の「セキュリティ警告」をオンにしてください。
※以降の操作説明の画面表示はイメージです。また、ボタン名称も一般的な名称で記載しています。携帯電話の機種によって画面表示やボタン名称は異なります。

■接続イメージ

下図のように、スイッチングHUBを介して主装置をインターネットに接続します。



※本図は一例です。

ご注意

- ●本機能を利用する場合は、主装置・ルータの電源は常にONにしてください。また、ルータは常時接続の設定としてください。
- ●本機能を利用する場合は、DDNSサーバに主装置を接続しているルータのグローバルIPアドレスが登録されます。グローバルIPアドレスの登録を許諾していただけないお客様は本機能をご利用できません。
- ●外付けルータを含むユーザ側の機器の故障、誤動作、不具合、あるいは停電やネットワーク側の障害等の外部要因によって発生した経済的損害については保証しませんので、あらかじめご了承ください。
- ●ブラウザに何も表示されない（白い画面）ときは、ブラウザ設定の「セキュリティ警告」をオンにしてから再接続してください。
- ●サーバ側の障害やメンテナンスにより携帯電話からアクセスできない場合があります。下記Webサイトで確認できますので（パソコン以外に携帯電話でも閲覧可能）、本機能を使用する携帯電話にURL登録をお願いします。
  http://www.hoshunet.jp/info/
- ●本機能は、製品の生産終了から6年間はお客様がご利用できるように、サービスを提供いたします。

■リモート操作で切替・変更できる機能

リモート操作で切替・変更できる機能は下記のとおりです。アクセスしたユーザの内線電話機が操作できる機能が対象になります。プッシュ信号によるリモート操作「外出先からリモート操作を行う」（P7-28）とは内容が異なります。

大分類	中分類	小分類	概要	備考
各種機能設定／確認	留守番機能	留守切替	留守切替のON／OFFを行います。	※1
		夜間切替	夜間切替を行います。 （昼／夜間／深夜／休日から選択）	※1
		留守モード切替	設定する留守モードを選択します。	※1
		転送先切替	転送電話の転送先（転送先1カ所目／転送先2カ所目）を選択します。	※1
		留守録通知	留守録通知のON／OFFと留守録通知先を選択します。	※1
	転送機能	携帯電話の呼出	携帯電話を呼び出すかどうかを設定します。	
		転送先内線番号（不在時）	不在時の転送先の内線番号を設定します。	
		話中・不応答時の対応	話中・不応答時の動作を設定します。	
		転送先内線番号（話中･不応答時）	話中・不応答時の転送先の内線番号を設定します。	
	リモコン	－	電気錠等を接続したリモコン端子を操作します。	
発着信履歴	マイ外発履歴	－	それぞれの履歴を表示し、選択した相手に発信します。 発信方法（主装置／携帯電話から発信）を選択できます。（外線のみ）	
	マイ外着不応答履歴			
	マイ外着応答履歴			
	内着不応答履歴			
	内着応答履歴			
	グループ外着不応答履歴			
	システム全外着履歴			
	システム全内着履歴			
共通電話帳	－	－	共通電話帳をヨミガナで検索し、選択した相手に発信します。 発信方法（主装置／携帯電話から発信）と発信先の電話番号を選択できます。	
内線電話帳	－	－	内線電話帳をヨミガナで検索し、選択した相手に発信します。	
留守録BOX／内線BOX再生	－	－	留守録BOX番号を選択すると、携帯電話に着信が入り留守録の内容を再生できます。	

※1：アクセスしたユーザの内線電話機がモード切替用電話機の場合に操作できます。モード切替用電話機が操作できるテナント番号が対象になります。

ご注意

●前の画面に戻るときは、画面内の戻るを必ず選択してください。携帯電話固有の左カーソルキーや[クリア]ボタンを押すと、正常に戻れない場合があります。正常に戻れなかった場合は、ログイン操作からやり直してください。

携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う

■主装置にアクセスする

携帯電話のブラウザ機能を使用して、主装置にアクセスします。

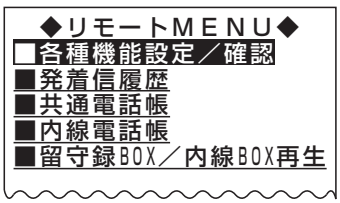
1 携帯電話のブラウザ機能を起動し、URLを直接入力するモードで主装置のURLを入力する

- 従来型の携帯電話の場合は、
  http://mac-addr.xxxxxx.hoshunet.jp/
  スマートフォンの場合は、
  https://mac-addr.xxxxxx.hoshunet.jp:50010/
  mac-addr：主装置のMACアドレス12桁
  xxxxxx：主装置の種類
  S：xiccus、LA：xiccula、LB：xicculb
  「MACアドレス」はボタン電話機（データ設定用電話機のみ可能）にて、メニュー→0→4→1→0 0で確認しておいてください。「MAC」欄に表示されます（12桁）。
- 携帯電話のブラウザのブックマーク／お気に入りに登録しておくと、以降のアクセスが簡単になります。
- スマートフォンの場合はセキュリティの警告画面が表示されることがありますが、そのまま継続してください。

2 認証画面となるので、User IDおよびPasswordを入力する

- 「User ID」や「Password」を間違えるとエラーとなりますので、操作をやり直してください。

3 トップページが表示される



- いずれかの項目を選択します。各項目の操作に関しては、以降の説明をご覧ください。

ご注意

●主装置・ルータの電源は常にONにしてください。
●携帯電話のブラウザから主装置にアクセスできない場合は、携帯電話のブラウザ画面に表示されるエラーコード等を確認して、以下の措置をしてください。

（1）401、403エラー
①別の携帯電話を使って同一のUser IDでアクセスしてしまった（テスト時等）、または、携帯電話を同番で機種変更した
→一定時間（15分程度）待ったあとで接続し直してください。

（2）404エラー
①アドレスの入力ミス
→主装置のMACアドレスも含めて確認してください。
②一度もDDNS登録ができていない
→主装置がルータに接続されているか（LANケーブル等を確認）、ルータがインターネットに接続できているか（＊1）を確認してください。
③DDNS登録関係の設定ができていない
→販売店にお問い合わせください。
※過去にアクセスできた場合は、①のアドレスに間違いがないか確認してください。また、主装置を入れ替えた場合は、主装置のMACアドレスが変更となりますので、入力するアドレスを変更してください。

（3）500番台のエラー
①主装置・ルータの電源がOFFになっている
→主装置・ルータの電源がONになっているか確認してください。
②主装置やルータのLANケーブルが外れている、断線している
→LANケーブルの接続を確認してください。
③ルータの設定や配線の問題でインターネットに接続できない
→インターネットに接続できているか（＊1）を確認し、接続できない場合は配線やルータの設定を確認してください。
④グローバルIPアドレスが変更になったが、DDNSサーバへの更新ができていない
→LANケーブルの接続を確認してください。
→DDNSサーバがメンテナンス、障害等で停止しているか確認してください（＊2）。
⑤何らかの原因でDDNS登録関係が変更されている
→販売店にお問い合わせください。

（4）ログインできない
①ユーザIDやパスワードが間違っている
→携帯リモート操作ユーザの設定と合っているか、確認してください。
②携帯リモート操作ユーザの設定ができていない
→設定を確認してください。

＊1：ルータがインターネットに接続できているかは、ルータ配下のパソコンでインターネット上のWebサイトが閲覧できるかどうかで確認できます。
＊2：サーバの稼働状況はWebサイトで確認できます。
http://www.hoshunet.jp/info/

携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う

■各種機能の設定／確認

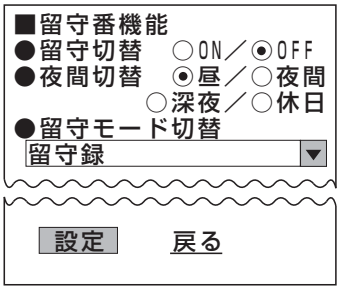
トップページを表示したあと、下記の操作を行います。

1 トップページで「■各種機能設定／確認」を選択する

2 設定したい項目を選択する

・「■留守番機能」は、登録した内線番号がモード切替用電話機の内線番号の場合に表示されます。

3 操作2で選択した項目の画面となり、設定内容が表示されるので、必要な設定を行い、設定を押す



4 設定した内容でページが更新されるので、ブラウザを終了する

・再度、変更する場合は、操作3から繰り返します。

補足説明

●設定項目によって、ラジオボタンで選択する場合と、ドロップダウンリストから選択する場合があります。

●「■留守番機能」画面では、選択した留守モードに関係なく全項目の設定が可能です。

●「■留守番機能」画面の転送電話の転送先および留守録通知先は、名前（共通電話帳に登録時）または電話番号で表示されますので、その中から選択してください。なお、電話番号の下2桁は＊＊が表示されます。

●「■リモコン」画面でリモコン番号を選択するとリモコンの状態が変化します。
（ボタン電話機のリモコンボタンと同様の動作になります。）

●リモコンの操作の詳しい内容については、「リモコンを使う」（P8-9）をご覧ください。

ご注意

●画面を表示した後に主装置側の設定が変更されても、表示内容は更新されません。他の携帯電話機や内線電話機で設定を変更したときは、操作するときの状態が画面と異なる場合があります。
ただし、「■リモコン」画面の場合は更新を押すと最新の状態を再表示することができます。

●「■リモコン」画面では、リモート操作対象外のリモコン番号も表示されますが、設定しても動作しません。

携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う

■発着信履歴

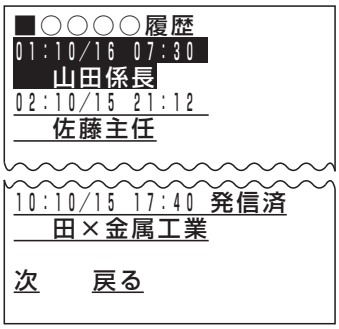
トップページを表示したあと、下記の操作を行います。

1 トップページで「■発着信履歴」を選択する

2 表示したい履歴を選択する

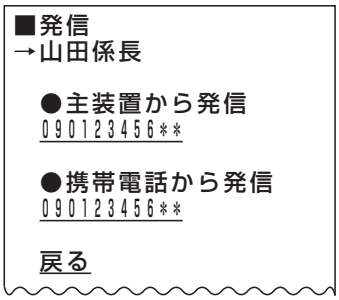
3 選択した履歴の画面が表示されるので、通話したい相手を選択する

- 履歴が、新しいものから10件ずつ表示されます。「前」、「次」を選択すると前後の10件を表示し、最大50件（システム全内着（外着）履歴は200件、マイ外発履歴は30件）まで表示できます。



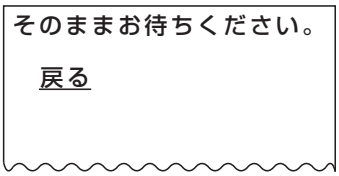
4 発信画面が表示されるので、発信方法を選択する

- 「内着不応答履歴」、「内着応答履歴」ではこの操作はありません。



5 (1)「●主装置から発信」を選択した場合、「そのままお待ちください。」が表示された後、携帯電話が着信する

- 主装置側が自動的に携帯電話に発信します（コールバック発信）。
- 発信できないときは、エラー画面が表示されます。画面中の「戻る」を選択して操作をやり直してください。



(2)「●携帯電話から発信」を選択した場合、携帯電話の発信画面が表示される

- 相手を携帯電話から直接呼び出します。相手が出たら通話します。

6 携帯電話で応答すると、操作3で選択した相手を呼び出す

7 相手が出たら通話する

補足説明

●履歴には、日時、名前（共通電話帳に登録時）または電話番号が表示されます。なお、電話番号の下2桁は＊＊が表示されます。（そのまま表示するようにも設定できます［工事者設定228-1］）ボタン電話機側で発信済の履歴には「発信済」も表示されます。（マイ外着応答履歴は除く）

●コールバック発信に使用する外線または電話番号はシステムデータにより限定されます。［工事者設定228-1］

●操作5で、「●主装置から発信」を選択した場合、相手を呼び出す外線に空きがないときは、ウェイティングトーン（ツツ、ツツ、…）が聞こえます。約50秒（20～100秒、10秒単位で変更可能）経過しても外線が空かない場合は話中音（ツー、ツー、…）となり電話が切れます。［工事者設定228-1］

携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う

ご注意

●画面を表示した後に主装置側の状況が変わっても、表示内容は更新されません。ただし、エラー画面から戻ったときや他の画面を表示したあとに各履歴の画面を表示したときは、表示内容が更新されます。また、前後10件の画面に切り替えたときも、表示内容が更新されます。

知っていると便利なこと

●相手との通話を自動録音することもできます。録音内容は登録した内線番号の内線BOXに登録されます。[工事者設定228-1]
録音できないときや録音が終了したときのアラーム音は聞こえません。

■共通電話帳
■内線電話帳

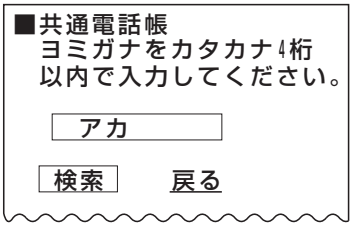
トップページを表示したあと、下記の操作を行います。

1 トップページで「■共通電話帳」を選択する

- 内線電話帳を操作するときは、「■内線電話帳」を選択してください。

2 検索画面が表示されるので、検索したい相手のヨミガナを入力し、検索を選択する

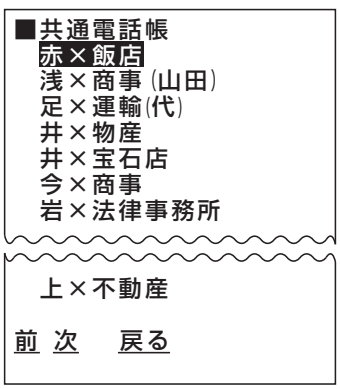
- 入力枠を選択し、携帯電話のダイヤルボタンを使ってヨミガナを半角4文字以内（iPhoneの場合は全角4文字以内、濁点も1文字扱い）で入力してください。



※スマートフォンとフィーチャーフォンとでは画面に表示する内容が多少異なります。

3 検索結果が表示されるので、通話したい相手を選択する

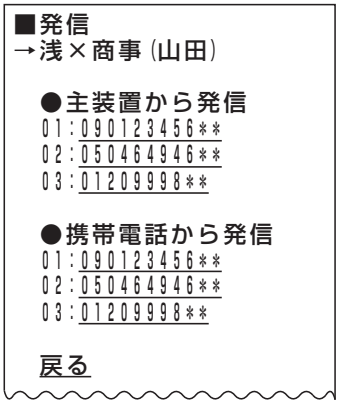
- 操作2で入力したヨミガナに該当する電話帳データから50音順に表示します。
- 一度に表示できるのは20件です。名前（未登録時はヨミガナ）のみを表示します。
- 「前」、「次」を選択すると前後の20件を表示します。
- 検索し直すときには「戻る」を選択してください。



携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う

4 発信画面が表示されるので、発信方法と電話番号を選択する

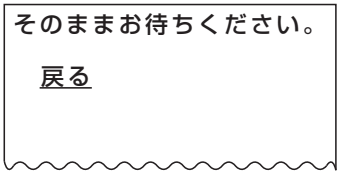
・「■内線電話帳」ではこの操作はありません。



5 (1)「●主装置から発信」を選択した場合、「そのままお待ちください。」が表示された後、携帯電話が着信する

・主装置側が自動的に携帯電話に発信します（コールバック発信）。

・発信できないときは、エラー画面が表示されます。画面中の「戻る」を選択して操作をやり直してください。



(2)「●携帯電話から発信」を選択した場合、携帯電話の発信画面が表示される

・相手を携帯電話から直接呼び出します。相手が出たら通話します。

6 携帯電話で応答すると、操作3で選択した相手を呼び出す

7 相手が出たら通話する

補足説明

●コールバック発信に使用する外線または電話番号はシステムデータにより限定されます。[工事者設定228-1]

●操作5で、「●主装置から発信」を選択した場合、相手を呼び出す外線に空きがないときは、ウェイティングトーン（ツツ、ツツ、…）が聞こえます。約50秒（20～100秒、10秒単位で変更可能）経過しても外線が空かない場合は話中音（ツー、ツー、…）となり電話が切れます。[工事者設定228-1]

ご注意

●操作3で「前」または「次」を選択したとき、主装置側の電話帳が変更されると、変更内容によっては「登録が変更されました。」が表示されることがあります。画面中の「戻る」を選択し、検索し直してください。

知っていると便利なこと

●相手との通話を自動録音することもできます。録音内容は登録した内線番号の内線BOXに登録されます。[工事者設定228-1]
録音できないときや録音が終了したときのアラーム音は聞こえません。

携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う

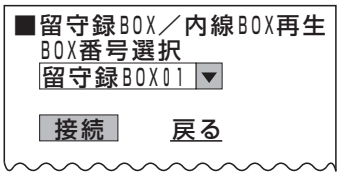
■留守録BOX ／内線BOX再生

トップページを表示したあと、下記の操作を行います。

1 トップページで「■留守録BOX ／内線BOX再生」を選択する

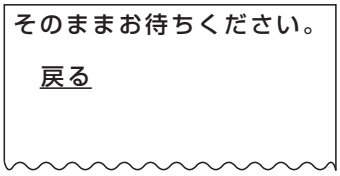
2 「■留守録BOX ／内線BOX再生」画面が表示されるので、用件メッセージを再生したい留守録BOX番号または内線BOXを指定し、接続を押す

- 内線BOXは登録した内線番号の内線BOXが指定されます。



3 「そのままお待ちください。」が表示された後、携帯電話が着信する

- 主装置側が自動的に携帯電話に発信します（コールバック発信）。
- 発信できないときは、エラー画面が表示されます。登録した内線番号の内線電話機で再生できない留守録BOXを指定したときにもエラー画面が表示されます。画面中の「戻る」を選択して操作をやり直してください。



4 携帯電話で応答すると、指定した留守録BOXまたは内線BOXに録音されたメッセージが再生される

補足説明

- ●コールバック発信に使用する外線または電話番号はシステムデータにより限定されます。［工事者設定228-1］
- ●状況によってメッセージは、再生できないことがあります。
  再生できないときは、話中音（ツーツー…）が聞こえます。ただし、ボイスメモ利用時で同じBOXを他の電話機で再生中の場合は、話中音の代わりに「ボックス番号○○○はただいま使用中です。恐れ入りますが改めておかけ直しください。」のメッセージが流れます。
- ●用件を再生中は、サービス番号をダイヤルすると、各種サービスが利用できます。詳細は、「留守録モードを利用する」の「外出先から録音された用件を聞く」（P4-30）をご覧ください。

知っていると便利なこと

- ●ボイスメモをご利用の場合には、留守録／内線BOXに用件が録音されるとそれをEメールで通知することができます。メールを受け取った携帯電話が「携帯電話リモート操作」用に登録されている場合、メールで通知されたURLにアクセスすると、「留守録BOX ／内線BOX再生」を行うことができます。
  ボイスメモのEメール通知に関しては、「用件が録音されたことをEメールで通知する」の「Eメールで通知する」（P5-107）をご覧ください。

夜間切替

以下の機能は、昼と夜では別々の設定で動作させることができます。
⑤のドアホン着信以外は、テナントごとに切り替えることができます。

①留守番機能（転送電話モード）
②留守番機能（留守録モード）
③留守番機能（応答専用モード）
④留守番機能（発信者選択モード）
⑤ドアホン着信
⑥外線種別
⑦外線のテナント種別
⑧ダイレクトインライン（DIL）対応電話機
⑨外線着信（着信有無と着信音）
⑩サービスクラス
⑪ダイヤルイン（DI）の一般着信
⑫ストレートラインDI
⑬スライド着信

夜間切替( )ボタンで切り替える

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
610	夜間切替00（600）～ 夜間切替48（648）	–
	夜間切替DH（599）	

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

1 モード切替用電話機で、ハンドセットを置いたまま 夜間切替( ) ボタンを押す

・ 夜間切替( ) ランプが点灯します。

補足説明

●ランプが点灯している 夜間切替( ) ボタンを押すと解除されます。
●各テナントのモード切替用電話機に 夜間切替( ) ボタンを設定してください。他のテナントの夜間切替ができる電話機には、 夜間切替00 ボタン、 夜間切替DH ボタンを含む全ての 夜間切替( ) ボタンを設定することができます。
・ テナント1 = 夜間切替01
.
.
.
・ テナント48 = 夜間切替48
・ システム一括 = 夜間切替00
・ ドアホン着信 = 夜間切替DH
※ 夜間切替00 は全テナントおよびドアホン着信の夜間切替を行います。
●夜間切替( ) ボタンで切替／解除を行うと「設定完了アナウンス」が流れます。⇒P7-26

ご注意

●夜間切替( ) ボタンでは夜モード2（深夜）、夜モード3（休日）への切替はできません。切り替える場合は、「メニュー機能で切り替える」（P7-42）をご覧ください。

知っていると便利なこと

●モード切替用電話機は、指定されたテナントのみの夜間切替を行うことができますが、設定により他のテナントや全テナント、ドアホン着信の夜間切替（切替／解除のみ可能、留守番機能のモード設定等は不可）を行うこともできます。他テナントの夜間切替を行える電話機は、8台まで設定できます。[工事者設定610]
●夜間切替に連動してセンサ接続機能をON／OFFすることができます。⇒P8-15

夜間切替

メニュー機能で切り替える

メニュー機能を利用すると、夜状態のモード（夜間、休日、深夜）も合わせて設定することができます。

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

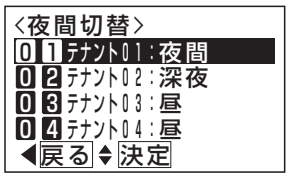
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
610	−	−

1 メニューから〈夜間切替〉を呼び出す

① [中央] を押します。

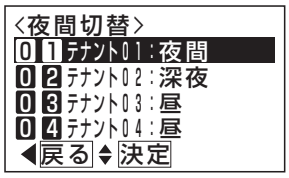
②「**3 各種機能切替**」を選択し、[中央] を押します。

③「**2 夜間切替**」を選択し、[中央] を押します。



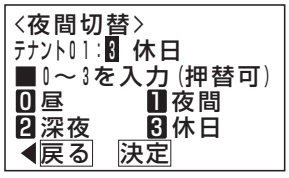
2 設定できるテナントが反転表示されるので、[中央] を押す

- 各テナントの現在の設定内容が表示されます。[中央] で各テナントの設定内容を確認することもできます。
- 他のテナントの夜間切替を行える電話機は、すべてのテナントの設定が変えられます。対応していない電話機で操作するとエラー画面となります。



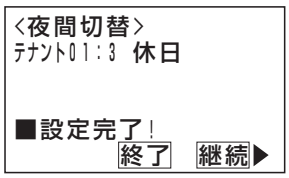
3 設定するモード（0～3）を入力し、[中央] を押す

- 待機状態で [i] + [夜間切替( )] を押しても、本画面となります。



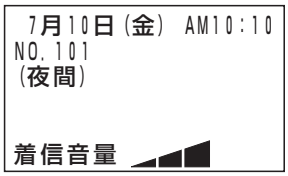
4 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、[中央] を押します。
- [中央] を押すと操作2に戻り、設定をくり返すことができます。

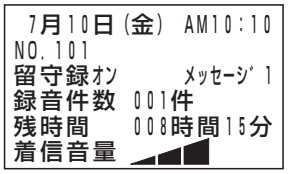


補足説明

- ランプが点灯または点滅している [夜間切替( )] ボタンを押すと、夜間切替は解除されます。
- [夜間切替( )] ランプ（赤）と夜状態のモードの関係は下記のとおりです。
  - ・夜間モード…点灯
  - ・休日モード…遅い点滅
  - ・深夜モード…さらに遅い点滅
- 設定終了後は設定した夜状態のモード（夜間、休日、深夜）が表示されます。



夜間の着信が留守番機能になっている場合、現在選択されている留守番モードが表示されます。



知っていると便利なこと

- リモート操作を使って外出先から夜間切替を行うこともできます。⇒P7-28
- メニュー機能で夜間切替を行った場合も、電話機に [夜間切替( )] ボタンが設定してあるとランプ表示します。

夜間切替

特番操作で切り替える場合

ボタン電話機以外でも、夜間切替を行うことができます。下記の説明は単独電話機での操作を例にしています。コードレス電話機の場合は、[通話]ボタンを押して操作を開始してください。

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
610	−	−

1 ハンドセットをとる

- 内線発信音（ツツツ…）が聞こえます。

2 夜間切替番号（1～4桁）*を押す

- 夜間切替がセットされている場合は、連続音（プー）が聞こえます。ハンドセットを置いても設定は保持されます。

*番号を可変桁にしている場合は、夜間切替番号のあとに[#]を押してください。

3 セットするときは[1]、解除するときは[0]を押す

- 完了を示す「設定完了アナウンス」（P7-26）または保留音が聞こえますので、ハンドセットを置きます。

補足説明

- ●夜間切替番号は設定が必要です。［工事者設定610］
- ●モード切替用電話機の設定が必要です。ただし、夜間切替のセットや解除以外の操作はできません。［工事者設定610］

知っていると便利なこと

- ●ボタン電話機も特番による夜間切替を行うことができます。
- ●「設定完了アナウンス」の有無を設定できます。「設定完了アナウンス」を流さない場合は、保留音が流れます。⇒P7-26

夜間切替

「曜日ごとの夜間切替タイマ」で切り替える

夜間切替タイマを使うと、昼と夜の切替を時間で指定することができます。夜間切替タイマは曜日ごとに4つまで設定できます。
曜日で決まらない休日（祝日、夏休み等）は「特定日の夜間切替タイマ」（年間スケジュール）を利用することもできます。⇒P7-49
また、夜間切替時に留守番機能を利用している場合、留守番機能のモード、転送電話の転送先、留守録応答時のメッセージ番号等も指定することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(610)	–	–

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■「曜日ごとの夜間切替タイマ」を設定／変更する

1 メニューから〈夜間切替ﾀｲﾏ〉を呼び出す

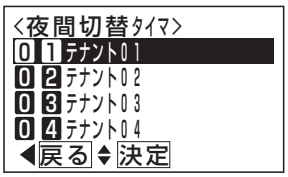
① [ ] を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[ ] を押します。

③「0 その他」を選択し、[ ] を押します。

④「3 夜間切替ﾀｲﾏ」を選択し、[ ] を押します。

⑤「1 曜日毎」を選択し、[ ] を押します。

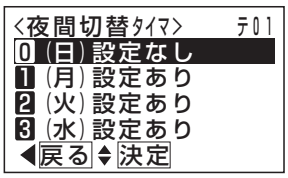


2 設定できるテナントが反転表示されるので、[ ] を押す

- 他のテナントの夜間切替を行える電話機は、すべてのテナントの設定が変えられます。対応していない電話機で操作するとエラー画面となります。
- システム一括で夜間切替タイマを設定するときは、「0 0 ﾃﾅﾝﾄ00（全ﾃﾅﾝﾄ）」を選択します。
- ドアホン鳴動電話機の夜間切替タイマを設定するときは、「9 9 ﾄﾞｱﾎﾝ」を選択します。

3 [ ] で設定／変更したい曜日を選択し、[ ] を押す

- 設定の一覧が表示されます。
- 画面右上に設定対象のテナント番号が省略形で表示されます。（ﾃ01 ＝テナント1、ﾃ全＝全テナント、DH ＝ドアホンを示します。）
- 全ての曜日を指定するときは、「7 (全ての曜日指定)」を選択してください。

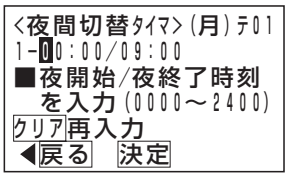


4 [ ] で設定／変更したいタイマの番号（1～4）を選択し、[ ] を押す

- それぞれのタイマの設定内容が表示されます（全テナント選択時、全ての曜日指定時を除く）。
- 画面右上に曜日および設定対象のテナント番号が省略形で表示されます。操作3で「7 (全ての曜日指定)」を選択したときは、曜日の代わりに「全て」が表示されます。

5 夜開始／夜終了時刻を24時間制で入力し（合計8桁）、[ ] を押す

- 終了時刻を夜中の00：00とする場合は、「2400」を入力してください。
- 再入力する場合は、クリア ボタンを押してください。



6 [ ] で夜モードを選択し、[ ] を押す

夜間切替

7 ◎で使用する留守モードを選択し、◎を押す

- ドアホン鳴動電話機の夜間切替タイマを設定する場合、本画面は表示されず完了画面となります。

<留守ﾓｰﾄﾞ選択>
00 留守ﾓｰﾄﾞ指定なし
01 転送電話
02 追っかけ転送
03 ﾂｲﾝ転送
◀戻る ◆決定

8 操作7で選択した留守モードの画面となるので、画面の指示に従って数字を入力し、◎を押す

- 「07 留守録」を選択した場合の例です。各留守モードの操作の流れは「補足説明」(P7-46) をご覧ください。
- 「00 留守ﾓｰﾄﾞ指定なし」、「09 お話し中」、「11 通常着信」を選択した場合、本画面は表示されず完了画面となります。

<留守録>
ﾒｯｾｰｼﾞ番号:2

■ﾒｯｾｰｼﾞ番号1～6入力
◀戻る 決定

9 完了画面が表示される

- 終了する場合は、◎を押します。
- ◎を押すと操作4に戻り、設定を繰り返すことができます。

<夜間切替ﾀｲﾏ>(日)ﾃﾞ01
1-00:30/09:30 深夜
留守録 ﾒｯｾｰｼﾞ2

■完了! 終了 継続▶

ご注意

- ●タイマで動作中の場合でも、
  - ・夜間切替( )ボタンで昼と夜の切り替えができます。
  - ・留守モードのボタン（転送電話、留守録等）、メッセージ( )ボタン、メッセージ切替ボタン、転送先( )ボタン、転送先( )切替ボタンを押すと、押したボタンの状態に切り替わります。
- ●夜間切替( )ボタンで昼と夜を切り替えてもタイマによる制御は停止しません。夜終了時刻になると、夜モードは解除されます。
- ●夜間切替タイマは曜日ごとに設定します。設定のない曜日は昼モードのままとなります。
  例えば、土曜日の00：00～24：00を夜間に設定した場合、日曜日の設定が入っていないと、日曜日の00：00になった時点で夜間切替は解除されます。
- ●曜日ごとに最大4回（タイマ1～4）の夜間切替ができますが、各タイマの「夜開始」～「夜終了」時刻は重ならないように設定してください。
  時間帯が重なっている場合でも、各タイマの設定は時間順に動作します。
  （例1）タイマ1：00：00～07：00…留守録に設定
  タイマ2：06：00～08：00…転送電話に設定
  ①00：00から留守録開始
  ②06：00に転送電話開始
  ③07：00に夜間状態解除
  ④08：00時点では既に夜間状態は解除されているので変化なし。
  （例2）タイマ1：00：00～09：00…留守録に設定
  タイマ2：06：00～08：00…転送電話に設定
  ①00：00から留守録開始
  ②06：00に転送電話開始
  ③08：00に夜間状態解除
  ④09：00時点では既に夜間状態は解除されているので変化なし。

知っていると便利なこと

- ●タイマの設定は工事者設定もできます。[工事者設定610]
- ●タイマで夜間切替を行った場合も、電話機に夜間切替( )ボタンが設定してあるとランプ表示します。
- ●パソコンのブラウザを使って設定することもできます。ただし、電話機側とパソコン側で同時に設定しないでください。⇒P9-9～

夜間切替

補足説明

●曜日で決まらない休日（祝日、夏休み等）は「特定日の夜間切替タイマ」を設定してください。⇒P7-49

※下記の方法でも「曜日ごとの夜間切替タイマ」に従わずに夜間切替を行うことができます。この方法を使うと、メニュー機能、夜間切替( )ボタン、または外付けスイッチで夜間切替を解除するまで、タイマによる夜間切替を停止できます。留守モードは留守モードのボタン（転送電話、留守録等）で切り替えてください。

・メニュー機能（または i ボタン＋夜間切替( )ボタン）で「休日モード」をセットする⇒P7-42

・外付けスイッチで夜間切替（システム一括のみ）を行う ⇒P7-54

●各留守モードの操作の流れは下記のとおりです。

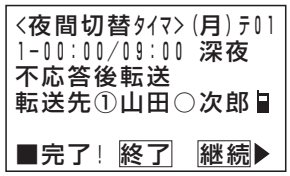
※「特定日の夜間切替タイマ」で「時刻・モード直接指定」の場合も同じ操作を行います。ただし、この場合、完了画面は登録した月日（特定日（年指定）の場合は年月日）が表示され、転送先は表示されません。

（1）「**0 1 転送電話**」、「**0 4 不応答後転送**」の場合

（画面は「**不応答後転送**」の例）

転送先番号を入力

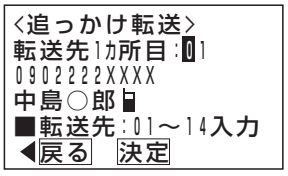
完了画面が表示される



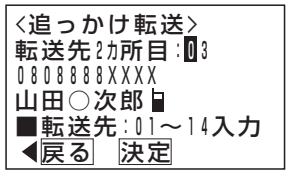
（2）「**0 2 追っかけ転送**」、「**0 3 ﾂｲﾝ転送**」、「**0 5 不応答後ｵｯｶｹ転送**」、「**0 6 不応答後ﾂｲﾝ転送**」の場合

（画面は「**追っかけ転送**」の例）

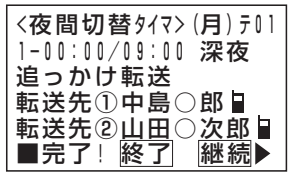
転送先１カ所目の転送先番号を入力



転送先２カ所目の転送先番号を入力



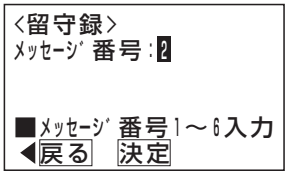
完了画面が表示される



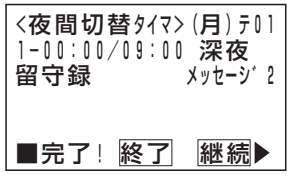
（3）「**0 7 留守録**」、「**0 8 応答専用**」の場合

（画面は「**留守録**」の例）

メッセージ番号を入力



完了画面が表示される

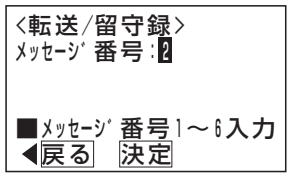


（4）「**1 0 転送/留守録**」、「**1 2 留守録＋転送**」の場合

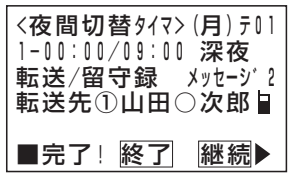
（画面は「**転送/留守録**」の例）

転送先番号を入力

メッセージ番号を入力



完了画面が表示される



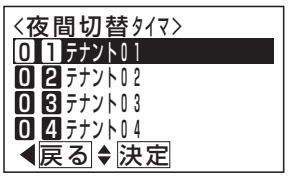
夜間切替

■「曜日ごとの夜間切替タイマ」を消去する

1 メニューから〈夜間切替ﾀｲﾏ〉を呼び出す

① ⊙ を押します。

②「**5** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊙ を押します。



③「**0** その他」を選択し、⊙ を押します。

④「**3** 夜間切替ﾀｲﾏ」を選択し、⊙ を押します。

⑤「**1** 曜日毎」を選択し、⊙ を押します。

2 設定できるテナントが反転表示されるので、⊙ を押す

- 他のテナントの夜間切替を行える電話機は、すべてのテナントの設定が消去できます。対応していない電話機で操作するとエラー画面となります。
- システム一括で夜間切替タイマを消去するときは、「**0** **0** ﾃﾅﾝﾄ00（全ﾃﾅﾝﾄ）」を選択します。
- ドアホン鳴動電話機の夜間切替タイマを消去するときは、「**9** **9** ﾄﾞｱﾎﾝ」を選択します。

3 ⊙ で消去したい曜日を選択し、⊙ を押す

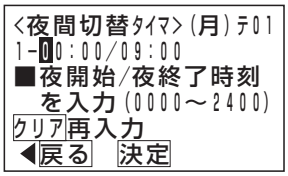
- 設定の有無が表示されます。
- 画面右上に設定対象のテナント番号が省略形で表示されます。（ﾃ01 ＝テナント1、ﾃ全＝全テナント、DH ＝ドアホンを示します。）
- 全ての曜日を指定するときは、「**7** **（全ての曜日指定）**」を選択してください。

4 ⊙ で設定／変更したいタイマの番号（1～4）を選択し、⊙ を押す

- それぞれのタイマの設定内容が表示されます（全テナント選択時、全ての曜日指定時を除く）。

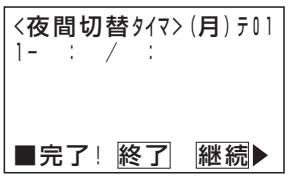
- 画面右上に曜日および設定対象のテナント番号が省略形で表示されます。操作3で「**7** **（全ての曜日指定）**」を選択したときは、曜日の代わりに「**全て**」が表示されます。
- タイマ1～4の設定をまとめて消去する場合は「**0** **（全ての項番指定）**」を選択してください。

5 夜開始／夜終了時刻の入力画面で クリア ボタンを押して時刻をクリアし、⊙ を押す



6 完了画面が表示される

- 終了する場合は、⊙ を押します。
- ⊙ を押すと操作4に戻り、消去を繰り返すことができます。



知っていると便利なこと

●パソコンのブラウザを使って消去することもできます。ただし、電話機側とパソコン側で同時に操作しないでください。⇒P9-9～

※パソコンで消去する場合は、画面の「夜開始時刻」欄に「00」を入力します。

夜間切替

■具体的な設定例

「曜日ごとの夜間切替タイマ」を設定する場合の設定手順（一例）を示します。

《運用例》

<table>
<tr><th></th><th>00：00～08：00</th><th>08：00～12：00</th><th>12：00～13：00</th><th>13：00～17：00</th><th>17：00～21：00</th><th>21：00～24：00</th></tr>
<tr><td>日曜日</td><td colspan="6">⑥ 応答専用（メッセージ2）［深夜］→タイマ1に設定</td></tr>
<tr><td>月曜日</td><td>⑤ 応答専用（メッセージ2）［深夜］→タイマ1に設定</td><td rowspan="2">昼モード</td><td rowspan="2">② 留守録（メッセージ1）［夜間］→タイマ2に設定</td><td rowspan="2">昼モード</td><td rowspan="2">③ 転送電話（転送先01）［夜間］→タイマ3に設定</td><td rowspan="2">④ 応答専用（メッセージ1）［深夜］→タイマ4に設定</td></tr>
<tr><td>火～金</td><td>① 応答専用（メッセージ1）［深夜］→タイマ1に設定</td></tr>
<tr><td>土曜日</td><td colspan="6">⑦ 応答専用（メッセージ2）［深夜］→タイマ1に設定</td></tr>
</table>

《設定手順》

操作は「■「曜日ごとの夜間切替タイマ」を設定／変更する」の操作を示しています。
月曜日～金曜日はほぼ共通なので、
（1）全ての曜日で火曜日～金曜日の運用内容を設定し、
（2）全ての曜日の設定後、相違箇所を個別に設定するのがポイントです。
　　下記の例では、日曜日・土曜日の全タイマの設定を一度消去しています。（備考欄⑧参照）

※操作2で［メニュー］を押すまでの操作は省略しています。

※備考欄の①～⑦は≪運用例≫の①～⑦に対応しています。

	手順	操作内容	設定内容	備考
全ての曜日で設定	1	操作3：7	全ての曜日指定	
	2	操作4：1	タイマ1を選択	①
	3	操作5：0000 0800	00：00～08：00を夜間	
	4	操作6：2	深夜を選択	
	5	操作7：0 8	応答専用モードを選択	
	6	操作8：1	メッセージ番号1を選択	
	7	操作9：▶	設定を継続	
	8	操作4：2	タイマ2を選択	②
	9	操作5：1200 1300	12：00～13：00を夜間	
	10	操作6：1	夜間を選択	
	11	操作7：0 7	留守録モードを選択	
	12	操作8：1	メッセージ番号1を選択	
	13	操作9：▶	設定を継続	
	14	操作4：3	タイマ3を選択	③
	15	操作5：1700 2100	17：00～21：00を夜間	
	16	操作6：1	夜間を選択	
	17	操作7：0 1	転送電話モードを選択	
	18	操作8：0 1	転送先01を選択	
	19	操作9：▶	設定を継続	
	20	操作4：4	タイマ4を選択	④
	21	操作5：2100 2400	21：00～24：00を夜間	
	22	操作6：2	深夜を選択	
	23	操作7：0 8	応答専用モードを選択	
	24	操作8：1	メッセージ番号1を選択	
月曜日相違点	25	操作9：▶	設定を継続	
	26	操作4：◀	操作3に戻る	
	27	操作3：1	月曜日を選択	
	28	操作4：1	タイマ1を選択	⑤
	29	操作5：［決定］	00：00～08：00のまま	
	30	操作6：2	深夜を選択	
	31	操作7：［決定］	応答専用モードのまま	
	32	操作8：2	メッセージ番号2を選択	
	33	操作9：▶	設定を継続	
	34	操作4：◀	操作3に戻る	
日曜日相違点	35	操作3：0	日曜日を選択	
	36	操作4：0 ＊	全ての項番を選択	⑧
	37	操作5：［クリア］＊	時刻を消去	
	38	操作6：▶ ＊	設定を継続	
	39	操作4：1	タイマ1を選択	⑥
	40	操作5：0000 2400	00：00～24：00を夜間	
	41	操作6：2	深夜を選択	
	42	操作7：0 8	応答専用モードを選択	
	43	操作8：2	メッセージ番号2を選択	
	44	操作9：▶	設定を継続	
	45	操作4：◀	操作3に戻る	
土曜日相違点	46	操作3：6	土曜日を選択	
	47	操作4：0 ＊	全ての項番を選択	⑧
	48	操作5：［クリア］＊	時刻を消去	
	49	操作6：▶ ＊	設定を継続	
	50	操作4：1	タイマ1を選択	⑦
	51	操作5：0000 2400	00：00～24：00を夜間	
	52	操作6：2	深夜を選択	
	53	操作7：0 8	応答専用モードを選択	
	54	操作8：2	メッセージ番号2を選択	
	55	操作9：［終了］	設定を終了	

＊「■「曜日ごとの夜間切替タイマ」を消去する」の操作4～操作6

夜間切替

「特定日の夜間切替タイマ」で切り替える

曜日で決まらない休日（祝日、夏休み等）は「特定日の夜間切替タイマ」（年間スケジュール）を利用することができます。毎年決まった休日等を設定する「特定日（毎年）の夜間切替タイマ」と毎年変更となる休日等を設定する「特定日（年指定）の夜間切替タイマ」とがあります。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(610)	−	−

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

■「特定日の夜間切替タイマ」を設定／変更する

毎年決まった休日（特定日（毎年））の夜間切替タイマの登録を例に説明します。

1 メニューから〈特定日(毎年)〉を呼び出す

① ▣ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、▣ を押します。

③「0 その他」を選択し、▣ を押します。

④「3 夜間切替ﾀｲﾏ」を選択し、▣ を押します。

⑤「2 特定日（毎年）」を選択し、▣ を押します。

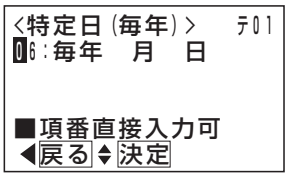
- 毎年変更となる休日（特定日（年指定））の夜間切替タイマを登録するときは、⑤で「3 特定日（年指定）」を選んでください。

2 設定できるテナントが反転表示されるので、▣ を押す

- 他のテナントの夜間切替を行える電話機は、すべてのテナントの設定が変えられます。対応していない電話機で操作するとエラー画面となります。
- ドアホン鳴動電話機の夜間切替タイマを設定するときは、「9 9ﾄﾞｱﾎﾝ」を選択します。
- 全テナントの指定はできません。全テナントを同じ設定にする場合は、コピー機能を利用します。⇒P7-53

3 登録されていないタイマが表示されるので、新規登録する場合は▣を押す

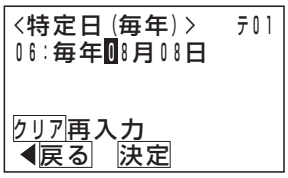
- 番号を変更する場合は、直接入力するか ▣ で選択してください。すでに登録されている場合には、設定内容が表示されます。
- 画面右上に設定対象のテナント番号が省略形で表示されます。（ﾃ01 ＝テナント1、DH ＝ドアホンを示します。）



4 ▣で「1 登録/変更」を選択し、▣を押す

5 登録する「月」と「日」を2桁で入力し、▣を押す

- すでに登録されている場合は、設定内容が表示されます。
- 再入力する場合は、クリア ボタンを押してください。
- 特定日（年指定）を選んだ場合は、「年」、「月」、「日」を入力します。



夜間切替

6 ◉で指定方法を選択し、◉を押す

- すでに登録されている場合は、設定内容が表示されます。
- 「曜日指定(日)」～「曜日指定(土)」を指定した場合は、指定した曜日の夜間切替タイマと同じ動作になり、◉を押すと完了画面が表示されます。

<特定日(毎年)> ﾃﾅﾝﾄ1
0 曜日指定(日)
1 曜日指定(月)
2 曜日指定(火)
3 曜日指定(水)
◀戻る ▲▼決定

<特定日(毎年)> ﾃﾅﾝﾄ1
4 曜日指定(木)
5 曜日指定(金)
6 曜日指定(土)
7 時刻・ﾓｰﾄﾞ直接指定
◀戻る ▲▼決定

7 夜開始／夜終了時刻を24時間制で入力し（合計8桁）、◉を押す

- 終了時刻を夜中の00：00とする場合は、「2400」を入力してください。
- 再入力する場合は、クリアボタンを押してください。

<特定日(毎年)> ﾃﾅﾝﾄ1
06:00:00/24:00
■夜開始/夜終了時刻を入力(0000～2400)
クリア再入力
◀戻る 決定

8 ◉で夜モードを選択し、◉を押す

<特定日(毎年)> ﾃﾅﾝﾄ1
06:00:00/24:00
1 夜間
2 深夜
■夜モードを選択
◀戻る ▲▼決定

9 ◉で使用する留守モードを選択し、◉を押す

- ドアホン鳴動電話機の夜間切替タイマを設定する場合、本画面は表示されず完了画面となります。

<留守ﾓｰﾄﾞ選択>
00 留守ﾓｰﾄﾞ指定なし
01 転送電話
02 追っかけ転送
03 ﾂｲﾝ転送
◀戻る ▲▼決定

10 留守モードの画面となるので、画面の指示に従って数字を入力し、◉を押す

- 「07 留守録」を選択した場合の例です。各留守モードの操作の流れは「曜日ごとの夜間切替タイマで切り替える」の「補足説明」（P7-46）をご覧ください。
- 「00 留守ﾓｰﾄﾞ指定なし」、「09 お話し中」、「11 通常着信」を選択した場合、本画面は表示されず完了画面となります。

<留守録>
ﾒｯｾｰｼﾞ番号:2
■ﾒｯｾｰｼﾞ番号1～6入力
◀戻る 決定

11 完了画面が表示される

- 終了する場合は、◉を押します。
- ◉を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。

<特定日(毎年)> ﾃﾅﾝﾄ1
06:毎年08月08日
00:00/24:00 深夜
留守録 ﾒｯｾｰｼﾞ2
■登録完了!
終了 継続▶

補足説明

●テナントあたりのタイマの数は以下の通りです。
「特定日（毎年）」：20件
「特定日（年指定）」：100件
●「特定日の夜間切替タイマ」を登録した日は、「曜日ごとの夜間切替タイマ」は動作しません。また、特定日（毎年）と特定日（年指定）に同じ日が設定されている場合は、特定日（年指定）が有効になります。

ご注意

●同じ日に重複登録できるのは、「時刻・モード直接指定」で夜開始時刻が異なる場合のみです。その他の場合は、エラー画面が表示されます。
●複数の電話機で同じテナントの同じ夜間切替タイマの設定・消去等をすることはできません。
●表示は日付順となります。登録したときとその後では表示される順番が変わる場合があります。
●特定日（毎年）の夜間切替タイマを使用しているときに夜間切替( )ボタンや留守モードのボタンを押したときの動作は、「曜日ごとの夜間切替タイマ」を使用しているときと同じです。
詳細はP7-45の「ご注意」をご覧ください。

知っていると便利なこと

●パソコンのブラウザを使って設定することもできます。ただし、電話機側とパソコン側で同時に設定しないでください。⇒P9-9～

夜間切替

■「特定日の夜間切替タイマ」を消去する

「特定日（毎年、年指定）の夜間切替タイマ」は、1件ずつ消去することができます。下記の操作手順では特定日（年指定）の例で説明していますが、操作方法は同じです。

1 メニューから〈特定日（年指定）〉を呼び出す

① ⊕を押します。

②「**5** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊕を押します。

③「**0** その他」を選択し、⊕を押します。

④「**3** 夜間切替ﾀｲﾏ」を選択し、⊕を押します。

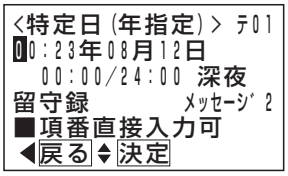
⑤「**3** 特定日（年指定）」を選択し、⊕を押します。

2 操作できるテナントが反転表示されるので、⊕を押す

- 他のテナントの夜間切替を行える電話機は、すべてのテナントの設定が消去できます。対応していない電話機で操作するとエラー画面となります。
- ドアホン鳴動電話機の夜間切替タイマを消去するときは、「**9** **9** ﾄﾞｱﾎﾝ」を選択します。

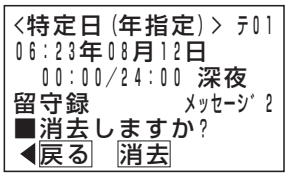
3 ⊕で消去したいタイマを選択し、⊕を押す

- 現在の設定内容が表示されます。
- 画面右上に設定対象のテナント番号が省略形で表示されます。（ﾃ01 ＝テナント1、DH ＝ドアホンを示します。）



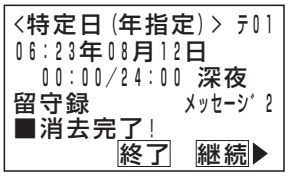
4 ⊕で「**2** 消去」を選択し、⊕を押す

5 消去確認画面が表示されるので、⊕を押す



6 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、⊕を押します。
- ⊕を押すと操作3に戻り、消去を繰り返すことができます。



補足説明

●「特定日（毎年）の夜間切替タイマ」を個別消去する場合は、操作手順1の⑤で「**2** 特定日（毎年）」を選択します。

ご注意

●複数の電話機で同じテナントの同じ夜間切替タイマの設定・消去等をすることはできません。

知っていると便利なこと

●パソコンのブラウザを使って消去することもできます。ただし、電話機側とパソコン側で同時に操作しないでください。⇒P9-9～

※パソコンで消去する場合は、「月」欄に「設定なし」を指定してください。

■「特定日の夜間切替タイマ」をまとめて消去する

「特定日（毎年、年指定）の夜間切替タイマ」は、まとめて消去することができます。毎年変更がある特定日は年が変わってからまとめて消去することができます。年単位でまとめて消去する方法を例に説明します。

1 メニューから〈特定日一括消去〉を呼び出す

① ⊙を押します。
②「**5** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊙を押します。
③「**0** その他」を選択し、⊙を押します。
④「**3** 夜間切替ﾀｲﾏ」を選択し、⊙を押します。
⑤「**4** 特定日一括消去」を選択し、⊙を押します。

<特定日一括消去>
01 ﾃﾅﾝﾄ01
02 ﾃﾅﾝﾄ02
03 ﾃﾅﾝﾄ03
04 ﾃﾅﾝﾄ04
◀戻る ▲▼ 決定

2 消去できるテナントが反転表示されるので、⊙を押す

- 他のテナントの夜間切替を行える電話機は、すべてのテナントの設定が消去できます。対応していない電話機で操作するとエラー画面となります。
- ドアホン鳴動電話機の夜間切替タイマを消去するときは、「**9** **9** ﾄﾞｱﾎﾝ」を選択します。

<特定日一括消去>
01 ﾃﾅﾝﾄ01
02 ﾃﾅﾝﾄ02
03 ﾃﾅﾝﾄ03
04 ﾃﾅﾝﾄ04
◀戻る ▲▼ 決定

3 ⊙で「**3**（年指定）年単位消去」を選択し、⊙を押す

<特定日一括消去> ﾃ01
1 (毎年)全消去
2 (年指定)全消去
3 (年指定)年単位消去
◀戻る ▲▼ 決定

4 消去する年（西暦下2桁）を入力し、⊙を押す

- 入力した年の消去対象項目数が表示されます。

<特定日一括消去> ﾃ01
23年
■消去する年を入力
消去対象: 12項目
◀戻る 決定

5 消去確認画面が表示されるので、⊙を押す

<特定日一括消去> ﾃ01
23年
■消去しますか?
消去対象: 12項目
◀戻る 消去

6 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、⊙を押します。
- ⊙を押すと操作2に戻り、消去を繰り返すことができます。

<特定日一括消去> ﾃ01
23年
■消去完了!
終了 継続▶

補足説明

●「特定日（毎年）」の設定をすべて消去するときは操作3で「**1** （毎年）全消去」を選びます。
「特定日（年指定）」の設定をすべて消去するときは操作3で「**2** （年指定）全消去」を選びます。
これらを選んだ場合は、年の入力（操作4）はありません。

ご注意

●複数の電話機で同じテナントの同じ夜間切替タイマの設定・消去等をすることはできません。
●パソコンのブラウザを使って一括消去を行うことはできません。一括で消去するには、すべてのタイマの「月」欄に「設定なし」を指定してください。

夜間切替

■「特定日の夜間切替タイマ」を全テナントにコピーする

コピー機能を利用すると、全てのテナントの「特定日の夜間切替タイマ」の内容を同じにすることができます。いずれかのテナントに「特定日の夜間切替タイマ」を登録した後、コピー操作を行ってください。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

1 メニューから<特定日全ﾃﾅﾝﾄｺﾋﾟｰ>を呼び出す

① [中央] を押します。

②「**5** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[中央] を押します。

③「**0** その他」を選択し、[中央] を押します。

④「**3** 夜間切替ﾀｲﾏ」を選択し、[中央] を押します。

⑤「**5** 特定日全ﾃﾅﾝﾄｺﾋﾟｰ」を選択し、[中央] を押します。

<特定日全ﾃﾅﾝﾄｺﾋﾟｰ>
01 ﾃﾅﾝﾄ01
02 ﾃﾅﾝﾄ02
03 ﾃﾅﾝﾄ03
04 ﾃﾅﾝﾄ04
◀戻る ▲▼決定

2 コピー元のテナントを選択し、[中央] を押す

<特定日全ﾃﾅﾝﾄｺﾋﾟｰ>
01 ﾃﾅﾝﾄ01
02 ﾃﾅﾝﾄ02
03 ﾃﾅﾝﾄ03
04 ﾃﾅﾝﾄ04
◀戻る ▲▼決定

3 確認画面が表示されるので、[中央] を押す

<特定日全ﾃﾅﾝﾄｺﾋﾟｰ>
ｺﾋﾟｰ元:ﾃﾅﾝﾄ01
■ｺﾋﾟｰ元の特定日登録
内容を全ﾃﾅﾝﾄに
ｺﾋﾟｰしますか?
◀戻る 決定

4 完了画面が表示される

- [中央] を押すと終了します。

<特定日全ﾃﾅﾝﾄｺﾋﾟｰ>
ｺﾋﾟｰ元:ﾃﾅﾝﾄ01
■ｺﾋﾟｰ完了!
終了

ご注意

- ●他の電話機で「特定日の夜間切替タイマ」の設定を行っているときはエラー画面となり、<特定日全ﾃﾅﾝﾄｺﾋﾟｰ>画面は表示されません。
- ●留守モードで指定する応答メッセージ番号や転送先の転送先番号も全てのテナントで同じになりますが、応答専用モードや発信者選択モードで使用する応答メッセージの内容や転送先電話番号はテナントごとの設定となるため、それらは異なる場合があります。
- ●パソコンのブラウザを使ってコピーを行うことはできません。

夜間切替

外付けのスイッチで切り替える場合

外部に取り付けたスイッチで、夜間切替を行うことができます。テナントごとの切替ではなくシステム一括の切替となります。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
610	−	ET-EXU-Xi

■夜間に切り替える

1 外付けのスイッチをオンにする

- 夜間切替( )ボタンがあれば、ランプが点灯します。

■夜間を解除する

1 外付けのスイッチをオフにする

- 夜間切替( )ボタンがあれば、ランプが消えます。

補足説明

●スイッチの接続は、販売店にご相談ください。

ご注意

●外付けスイッチで夜間切替を行ったときは、夜間切替( )ボタンやタイマによる夜間切替はできません。

知っていると便利なこと

●夜間切替スイッチを使用しない場合、センサ入力用（P8-15）に使用することができます。[工事者設定620-1]
●夜状態のモード（深夜または夜間）を選択できます。[工事者設定610]

割引料金適用日を登録する

通話料金割引日を設定します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(128)	−	−

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

■割引日を登録する

1 メニューから〈料金割引日設定〉を呼び出す

① ▣ を押します。
②「**0 その他**」を選択し、▣ を押します。
③「**2 通話料金（管理者）**」を選択し、▣ を押します。
④「**5 料金割引日設定**」を選択し、▣ を押します。

<料金割引日設定>
割引日13: 月 日
( )
■項番選択
(項番直接入力可)
◀戻る ▲▼決定

2 ▣ を押す

- 割引日の番号を変更する場合は、直接入力（01～20）するか ▣ で選択してください。
- すでに登録されている場合は、登録内容が表示されます。

<料金割引日設定>
割引日13: 月 日
( )
■項番選択
(項番直接入力可)
◀戻る ▲▼決定

3 ▣ で「1 登録/変更」を選択し、▣ を押す

<料金割引日設定>
1 登録/変更
2 消去
◀戻る ▲▼決定

4 「月」と「日」を2桁で入力し、▣ を押す

- すでに設定されている場合、月日を入力しても（ ）内の「祝日」／「平日」は変化しません。

<料金割引日設定>
割引日13:10月12日
( )
■月2桁+日2桁入力
クリア 再入力
◀戻る 決定

5 ▣ で区分を選択し、▣ を押す

<料金割引日設定>
1 祝日（振替休日あり）
2 平日（振替休日なし）
■種別を選択（日曜のときの翌日の扱い）
◀戻る ▲▼決定

6 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣ を押します。
- ▣ を押すと操作2に戻り、登録／変更を繰り返すことができます。

<料金割引日設定>
割引日13:10月12日
(祝日)
■登録完了!
終了 継続▶

補足説明

●割引日を消去するときは、操作3で「**2 消去**」を選んでください。
●下記の日は割引日として設定済みです（01～12）。
これら以外の割引日（成人の日、春分の日、海の日、敬老の日、秋分の日、スポーツの日）は毎年変わりますので、毎年設定してください。
(1) 祝日：1／1、2／11、2／23、4／29、5／3、5／4、5／5、8／11、11／3、11／23
(2) 平日：1／2、1／3
※祝日とは、日曜日と重なった場合、月曜が振替休日となり割引日となる日です。
※平日とは、日曜日と重なった場合でも、月曜日が振替休日とならずに割引日とならない日です。
●割引料金適用日の登録は、工事者設定でも行えます。[工事者設定128]

外線をグループ分けして使用する（テナント機能）

外線をグループ分けして部署ごとに使用することができます。詳しくは、販売店にご相談ください。
（例）外線１、２をテナント１として総務部で使用し、外線３、４をテナント２として営業部で使用する。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
205,407～410	－	－

補足説明

●テナントには以下の種類があり、それぞれ制限される内容が異なります。
・完全テナント……他のテナントの外線を使うことはできません。
・発着信テナント…他のテナントの外線を使って電話をかけたり受けたりすることはできません。
ただし、保留に応答したり、転送を受けたりすることはできます。
・着信テナント……他のテナントの外線にかかってきた電話を受けることはできません。
ただし、電話をかけたり、保留に応答したり、転送を受けたりすることはできます。

■他のテナントの外線に応答する（テナント外外線着信応答）

1 ハンドセットを上げる

2 代理応答/切替 ボタンを押す

• 同じテナント外外線着信応答グループの電話機が着信している場合に、応答できます。

補足説明

●単独電話機で操作する場合は、代理応答（P5-170）と同様に操作します。
●テナント外外線着信応答グループは最大48グループ設定できます。[工事者設定205]

ご注意

●完全テナントの外線は、他のテナントの電話機から電話を受けることができません。
●代理応答／内線保留グループ内に、内線着信やダイヤルイン等の内線呼出があった場合は、これらの代理応答が優先されます。

国際発信や市外発信などを規制する（サービスクラス）

それぞれの電話機をA（超特甲）からG（乙）の7つのクラスにランクを分け、海外や市外などへの発信を規制することができます。詳しくは、販売店にご相談ください。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
121, (122)	−	−

［サービスクラス規制の内容］

○：発信可能

×：発信不可

◇：＊141で設定した地域のみ発信可

△：＊143が「規制あり」の場合は、サービスクラス規制される

＊143が「規制なし」の場合は、下記の発信時はサービスクラス規制されない

・共通電話帳検索による発信　・共通電話帳の短縮ダイヤル発信

・共通電話帳に登録された電話番号をプリセットダイヤルで発信

▲：＊143が「規制あり」の場合は、サービスクラス規制され外線発信できない

＊143が「規制なし」の場合は、下記の発信のみ可能

・共通電話帳検索による発信　・共通電話帳の短縮ダイヤル発信

・共通電話帳に登録された電話番号をプリセットダイヤルで発信

●：＊144で設定したクラス以下は、＊142で設定したダイヤルが規制される

サービスクラス / 発信種別	ダイヤル	A（超特甲）	B（特甲）	C（準特甲A）	D（準特甲B）	E（甲）	F（準甲）	G（乙）	
国際通話	＊166で設定した事業者識別番号（＊1）、010	○	○	×	×	×	×	×	注
市外通話等	01～09、0＃、0＊	○	○	○	◇	×	×	×	
マイライン マイラインプラス	＊165で設定した事業者識別番号（＊1）	○	○	○	◇	×	×	×	
NTTの短縮ダイヤル	＊（PB外線の場合）	○	○	○	×	×	×	×	
特定発信規制	＊142で設定したダイヤル	○	●	●	●	●	×	×	
特殊ダイヤル	＃（PB外線の場合）	○	○	○	×	×	×	×	
市内等	1～9	○	○	○	○	○	×	×	
共通電話帳ダイヤル		○	△	△	△	△	▲	×	
着信応答・保留応答・被転送		○	○	○	○	○	○	×	
PBX、ビル電話（CES）収容時	PBX局発特番以外	○	○	○	○	○	○	×	
内線		○	○	○	○	○	○	○	

注　：PBX、ビル電話に設定した外線の場合は、PBX特番（通常0）の次のダイヤルから規制されます。また、VPNに設定した外線も同様に、オフネット発信時のアクセス番号「0」の次のダイヤルから規制されます。

＊1：事業者識別番号の次のダイヤルが010または1～9の場合に国際通話とみなします。これら以外の場合は、国内通話とみなします。

特定の電話番号への発信を規制する（特定電話番号発信規制）

電話による勧誘やアポイントを断られた電話番号は、通話中に[発信規制登録]ボタンを押すと発信規制を行う電話番号として登録され、以降の発信をできなくすることができます。本機能を利用すると、お客様からのクレームやトラブルを防止することができます。

※発信規制を行う電話番号は、発信規制リストに登録されます。また、あらかじめ発信規制したい電話番号を発信規制リストに登録することもできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
145	発信規制登録（937）	−

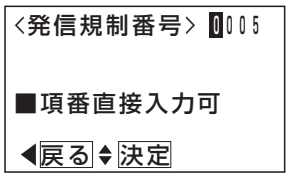
■発信規制する電話番号を登録する

「特定電話番号発信規制」を利用する場合には、発信規制する電話番号をリストに登録する必要があります。

1 メニューから〈発信規制番号〉を呼び出す

① ◉を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、◉を押します。



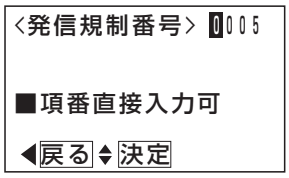
③「8 番号識別機能」を選択し、◉を押します。

④「3 発信規制番号」を選択し、◉を押します。

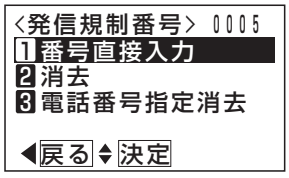
2 発信規制リストの番号を選択する登録されていない番号が選択されているので◉を押す

- 番号を変更する場合は、直接入力するか◉で選択してください。

（新規に登録する場合）

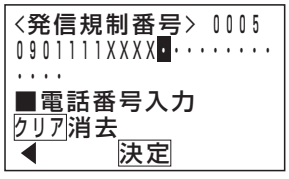


3 ◉で「1 番号直接入力」を選択し、◉を押す



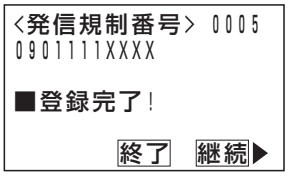
4 規制したい電話番号を入力する

- 発信規制したい電話番号をダイヤル（最大24桁）し、◉を押します。



5 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、◉を押します。
- ◉を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。



補足説明

- ●複数の電話機で同時に登録操作をすることはできません。操作1の④で、他の電話機で発信規制番号のメニューを表示していた場合は、エラー画面が表示されます。
- ●すでに登録されている電話番号は登録することができません。（エラー画面が表示されます）

特定の電話番号への発信を規制する（特定電話番号発信規制）

■発信規制されたときの動作

発信規制されていると、以下の画面が表示され、話中音（ツーツー…）が聞こえます。

```
 7月10日(金) AM10:10
発信規制 0901234XXXX
```

補足説明

- ●該当する電話番号は発信方法に関係なく発信規制されます。
- ●発信規制を除外する電話機を設定することができます。[工事者設定145]
- ●サービスクラス（P7-57）や外線発信規制（P7-62）等で発信できなかった場合は、「発信不可」が表示されます。

■通話中の相手を発信規制登録する

通話中の相手の電話番号を、発信規制する電話番号として発信規制リストに登録することができます。

1 外線通話中に 発信規制登録 ボタンを押す

- 登録できると 発信規制登録 ランプ（赤）が点灯します。

```
 7月10日(金) AM10:10
0312345678
01'50      10円
```

補足説明

- ●下記の場合は登録できません。 発信規制登録 ランプは点灯しません。
  - ・発信規制リストに空きがないとき
  - ・電話番号の通知がされていないとき

ご注意

- ●電話をかけるとき、電話番号の前に「184」等をダイヤルした場合は、電話番号の前のダイヤルも含めて登録されるため、次に電話をかけるときに規制することができません。番号を通知しないで電話をかけるときは、 番号非通知 ボタンを使ってください。
  ⇒P5-5

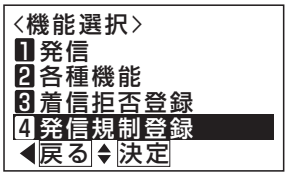
特定の電話番号への発信を規制する（特定電話番号発信規制）

■履歴の電話番号を発信規制に登録する

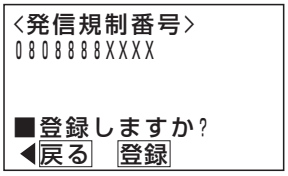
発信／着信履歴に残っている電話番号を発信規制リストに登録できます。それぞれの履歴を表示中に下記の操作をします。（発信履歴の場合を例に説明します）

1 を押し、登録したい相手を選び、 を押す

2 「4 発信規制登録」を選び、 を押す

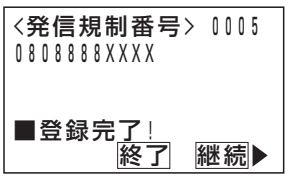


3 登録確認画面が表示されるので、 を押す



4 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、 を押します。
- 続けて登録するときは を押して操作1から繰り返してください。



補足説明

- 履歴の表示中に、発信規制登録 ボタンを押しても登録できます。
- 操作2のあとに、エラー画面が表示されることがあります。
  - 「他の電話機で編集中です。」：
    他の電話機も発信規制を登録しています。しばらく待ってから登録してください。
  - 「既に登録済です。」：
    すでに登録されています。登録の必要はありません。
  - 「登録ｴﾘｱに空きがありません。」：
    発信規制リストがいっぱいです。不要な規制データを消去してから登録し直してください。

特定の電話番号への発信を規制する（特定電話番号発信規制）

■規制する電話番号を消去する（番号選択）

「■発信規制する電話番号を登録する」（P7-58）の操作2を行ったあと下記の操作を行います。

3 ◈で「2消去」を選択し、◈を押す

<発信規制番号> 0005
1番号直接入力
2消去
3電話番号指定消去
◀戻る ▲▼ 決定

4 消去確認画面が表示されるので、◈を押す

<発信規制番号> 0005
0901111XXXX
■消去しますか?
◀戻る 消去

5 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、◈を押します。
- ◈を押すと操作2に戻り、消去を繰り返すことができます。

<発信規制番号> 0005
0901111XXXX
■消去完了!
終了 継続▶

■規制する電話番号を消去する（電話番号指定）

「■発信規制する電話番号を登録する」（P7-58）の操作2を行ったあと下記の操作を行います。

3 ◈で「3電話番号指定消去」を選択し、◈を押す

<発信規制番号> 0005
1番号直接入力
2消去
3電話番号指定消去
◀戻る ▲▼ 決定

4 電話番号を入力し、◈を押す

- 入力できる電話番号は最大24桁です。
- クリア ボタンを押し電話番号をすべて消去し、◈を押すと操作3に戻ります。

<発信規制番号> 消去
■電話番号を入力
クリア入力番号消去
◀戻る

5 消去確認画面が表示されるので、◈を押す

<発信規制番号> 0005
0901111XXXX
■消去しますか?
◀戻る 消去

6 消去完了画面が表示される

- 終了する場合は、◈を押します。
- ◈を押すと操作2に戻り、消去を繰り返すことができます。

<発信規制番号> 0005
0901111XXXX
■消去完了!
終了 継続▶

補足説明

●操作4で入力した電話番号が登録済みの番号に該当しない場合は、エラー画面が表示されます。◈を押すと操作4に戻りますので電話番号を入力し直してください。

<発信規制番号> 消去
0901111XXXX
■この電話番号は登録されていません!
◀戻る 終了

発信規制されている外線を一時的に利用する

外線の発信を規制している場合（外線発信規制）でも、規制解除ボタンを押して一時的に制限を解除し、規制された外線からも電話をかけられるようになります。（緊急時などに使用します）

外線発信規制を一時的に解除する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
123	規制解除（934）＊必要時	−

■規制解除ボタンを押して発信規制を解除する

1 規制解除 ボタンを押す

- 規制解除ランプが赤点灯します。
- すべての電話機の外線発信規制が解除されます。
- もう一度規制解除ボタンを押すと規制解除ランプが消え、通常の外線発信規制状態に戻ります。

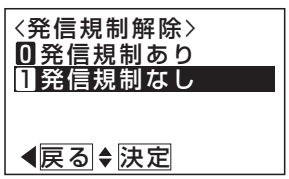
■メニュー機能で発信規制を解除する

1 メニューから〈発信規制解除〉を呼び出す

① ⊡ を押します。
②「3 各種機能切替」を選択し、⊡ を押します。
③「5 発信規制解除」を選択し、⊡ を押します。

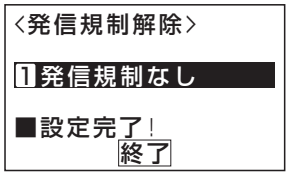
2 ⊡ で「1 発信規制なし」を選択し、⊡ を押す

- 規制の一時解除をやめる場合は、「0 発信規制あり」を選択してください。



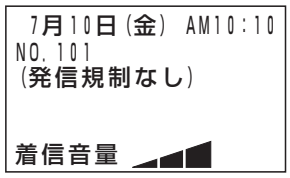
3 設定完了画面が表示される

- ⊡ を押すと終了します。



補足説明

- ストレートラインDIの場合は、DILIN番号ごとの発信規制もできます。[工事者設定218]
- 外線発信規制を解除すると、DILIN番号ごとの発信規制も解除されます。
- 発信規制を解除した場合、ディスプレイに（発信規制なし）が表示されます。ただし、ディスプレイの3行目に他の機能の表示を行うときは、（発信規制なし）は表示されません。



ご注意

- 規制解除中に停電になると、規制解除はクリアされ通常状態（外線発信規制状態）に戻ります。
- 規制解除中でも、サービスクラスやテナント機能は解除されませんので、電話番号や外線によっては電話をかけられない場合があります。
- 規制解除ボタンは複数の電話機に設定できますが、必要に応じて設定する電話機を限定するようにしてください。
- 解除忘れを防止するため、規制解除が必要でなくなったときは、すぐに設定を戻してください。

知っていると便利なこと

- メニュー機能で発信規制の解除を行った場合には、電話機に規制解除ボタンが設定してあるとランプが点灯します。

その他の設定

ワイヤレス呼出ボタン名称を登録する

ワイヤレス呼出ボタンの名称を登録します。ワイヤレス呼出ボタンで（ディジタルインターホンやワイヤレスボタン接続装置と合わせて使う）呼び出されたときに表示されます。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから〈ﾜｲﾔﾚｽﾎﾞﾀﾝ名称登録〉を呼び出す

① [決定] を押します。
②「**5** ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[決定] を押します。
③「**0** その他」を選択し、[決定] を押します。
④「**6** 各種名称登録」を選択し、[決定] を押します。
⑤「**3** ﾜｲﾔﾚｽﾎﾞﾀﾝ名称登録」を選択し、[決定] を押します。

```
〈ﾜｲﾔﾚｽﾎﾞﾀﾝ名称登録〉
NO.▮･･･

■内線番号入力
クリア再入力
◀戻る ▲▼
```

2 内線番号を入力し、[決定] を押す

```
〈ﾜｲﾔﾚｽﾎﾞﾀﾝ名称登録〉
NO.201▮

■内線番号入力
クリア再入力
◀戻る ▲▼決定
```

3 [▲▼] で設定したいボタンを選択し、[決定] を押す

- 右上に内線番号が表示されます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ名称〉      201
1ﾎﾞﾀﾝA:
2ﾎﾞﾀﾝB:
3ﾎﾞﾀﾝC:
4ﾎﾞﾀﾝD:
◀戻る ▲▼決定
```

4 [▲▼] で「**1** 登録/変更」を選択し、[決定] を押す

- 右上に内線番号とボタンが表示されます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ名称〉      201 -A
1登録/変更
2消去

◀戻る ▲▼決定
```

5 ダイヤルボタンでボタン名称を入力し、[決定] を押す

- ボタン名称は全角で４文字まで入力できます。
- 詳しい方法は、「文字入力方法」（P3-15）をご覧ください。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ名称編集〉201 -A
洗面所･･
ｶﾅ]
切替漢字入力
ｸﾘｱ消去
◀        完了
```

6 登録完了画面となる

- 終了する場合は、[決定] を押します。
- [決定] を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ名称編集〉201 -A
洗面所

■登録完了!
        終了 継続▶
```

補足説明

●名称を消去するときは、操作４で「**2** 消去」を選んでください。
●ワイヤレス呼出ボタンで呼び出された場合に、登録したボタン名称が下記のように電話機のディスプレイに表示されます。

```
10月 1日(金) AM10:10
109      〈洗面所〉
１０９号室
```

その他の設定

テナント名称を登録する

テナント名称を登録します。登録したテナント名称は、Web設定で一覧表示されます。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから〈ﾃﾅﾝﾄ名称登録〉を呼び出す

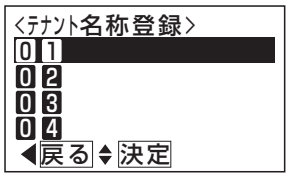
① ⊕を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊕を押します。

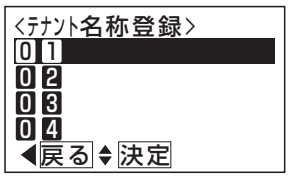
③「0 その他」を選択し、⊕を押します。

④「6 各種名称登録」を選択し、⊕を押します。

⑤「4 ﾃﾅﾝﾄ名称登録」を選択し、⊕を押します。



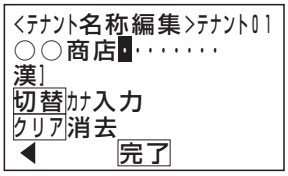
2 ⊕でテナント番号を選択し、⊕を押す



3 ⊕で「1 登録/変更」を選択し、⊕を押す

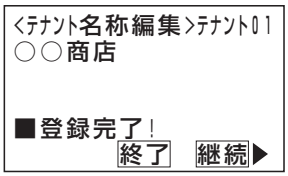
4 ダイヤルボタンでテナント名称を入力し、⊕を押す

- テナント名称は全角で8文字まで入力できます。
- 詳しい方法は、「文字入力方法」(P3-15) をご覧ください。



5 登録完了画面となる

- 終了する場合は、⊕を押します。
- ⊕を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。



補足説明

●名称を消去するときは、操作3で「2 消去」を選んでください。

ドアホン・テレビドアホンと通話する

各電話機からドアホン／テレビドアホンと通話できます。ドアホン／テレビドアホンの呼出音を設定した電話機（ドアホンごとに16台まで）と、それ以外の電話機では応答する際の操作方法が異なります。
なお、テレビドアホンは専用のものが必要ですので販売店にお問い合わせください。

ドアホン・テレビドアホンからの着信に応答する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
614,615, (222)	–	ET-EXU-Xi ET-8DHU-XiL LA LB ドアホン

■ドアホン呼出音の出る電話機で応答する

1 ドアホンからの呼出音が聞こえ、内線ランプおよび着信／メッセージランプが点滅する

- テレビドアホンの場合、呼出音と同時に映像がテレビモニタに映し出されます。

2 ハンドセットをとる

3 ドアホンと通話できる

■ドアホン呼出音の出ない電話機で応答する

1 ハンドセットをとる

2 ドアホン呼出/応答番号を押す

3 ドアホンと通話できる

補足説明

●ドアホンとの通話を保留したり他の電話機に転送することもできます（簡易転送を除く）。

ご注意

●市販のドアホンを使用した場合、機種によっては相手の方の声がやや小さくなる場合があります。
●ドアホン／テレビドアホンとの通話は、約30分で強制的に切れます（保留時間を含む）。通話時間を変更することもできます。[工事者設定614]

ドアホン・テレビドアホンの周囲の音を聞く

電話機からドアホンを呼び出すと、ドアホン周囲の音を聞くことができます。ドアホンの所にいる人と会話することもできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
614,615, (222)	–	ET-EXU-Xi ET-8DHU-XiL LA LB ドアホン

1 ハンドセットをとる

2 ドアホン呼出/応答番号を押す

- テレビドアホンを呼び出した場合、呼出音と同時に映像がテレビモニタに映し出されます。

3 ドアホンと通話できる

補足説明

●ドアホン／テレビドアホンは3台S／11台LA LBまで接続できますが、同時に使えるのは1台だけです。
●ドアホンの呼出音を設定した電話機は、内線ランプおよび着信／メッセージランプが点滅している間は、呼出音が止まった後でもハンドセットをとるだけで応答できます。
ランプが消えた後は、呼出音が設定されていない電話機と同じ操作をしてください。
工事者設定により、ランプが消えるまで呼出音を出すようにすることもできます。[工事者設定614]
●ドアホン呼出/応答番号は設定が必要です。[工事者設定614]
●ドアホン／テレビドアホンからの呼出音を変えておくと、呼び出し先を区別できます。

パターン	音　色
パターンA	ピーン　ポーン
パターンB	ピンポン　ピンポン
パターンC	ピンポンピンポン　ピンポンピンポン
パターンD	ピピピピピピ　ピピピピピピ

知っていると便利なこと

●テレビドアホンの場合、通話時間に制限がある場合があります。
詳しい操作方法は、お使いのテレビドアホンの説明書をご覧ください。

ドアホン・テレビドアホンと通話する

ドアホン名称を登録する

ドアホン呼出時、着信時や通話時に、電話機のディスプレイに表示されるドアホン名称を登録できます。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから〈ﾄﾞｱﾎﾝ名称登録〉を呼び出す

① ⊙を押します。

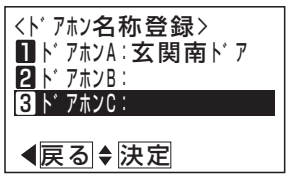
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊙を押します。

③「0 その他」を選択し、⊙を押します。

④「6 各種名称登録」を選択し、⊙を押します。

⑤「1 ﾄﾞｱﾎﾝ名称登録」を選択し、⊙を押します。

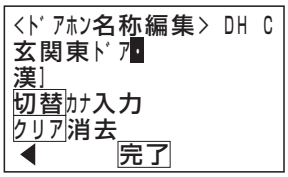
2 ⊙でドアホンを選択し、⊙を押す



3 ⊙で「1 登録/変更」を選択し、⊙を押す

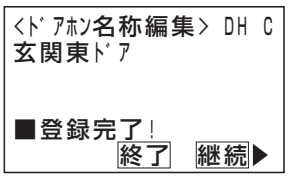
4 ダイヤルボタンでドアホン名称を入力し、⊙を押す

- ディスプレイの右上に現在登録中のドアホン番号（例：DH C）が表示されます。
- ドアホン名称は全角で5文字まで入力できます。
- 詳しい方法は、「文字入力方法」（P3-15）をご覧ください。



5 登録完了画面となる

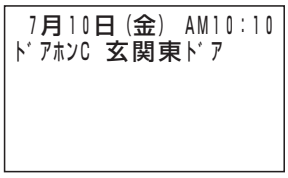
- 終了する場合は、⊙を押します。
- ⊙を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。



補足説明

●名称を消去するときは、操作3で「2 消去」を選んでください。

●ドアホン呼出時、着信時、または通話時に、登録したドアホン名称が下記のように電話機のディスプレイに表示されます。



ドアホンの呼出を外線に転送する

不在時にドアホンの呼出を外線先の携帯電話などに転送することができます。（ドアホンの外線転送）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
614-1	夜間切替DH（599）	ET-EXU-Xi ドアホン

■転送先を登録／変更する

転送先はドアホン１台につき２カ所まで登録できます。

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

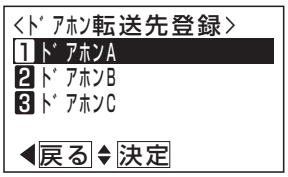
1 メニューから〈ﾄﾞｱﾎﾝ転送先登録〉を呼び出す

① ⊕ を押します。

②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊕ を押します。

③「0 その他」を選択し、⊕ を押します。

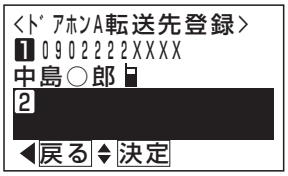
④「5 ﾄﾞｱﾎﾝ転送先登録」を選択し、⊕ を押します。



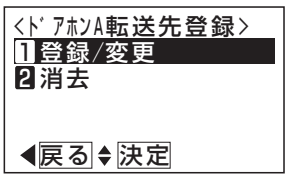
2 ⊕ で転送先を登録するドアホンを選択し、⊕ を押す

3 ⊕ で登録／変更したい番号を選択し、⊕ を押す

- すでに登録されている場合は、その内容が表示されます。

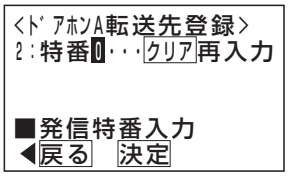


4 ⊕ で「1 登録/変更」を選択し、⊕ を押す



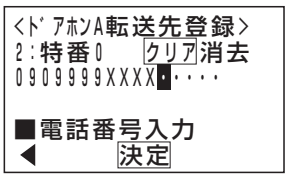
5 外線発信番号を入力し、⊕ を押す

- 通常はそのまま ⊕ を押します。
- 数字以外に ＊ や ＃も登録できます。



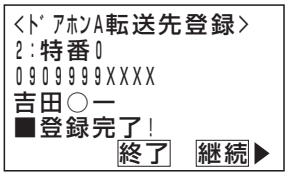
6 電話番号を入力し、⊕ を押す

- 登録できる電話番号は最大16桁です。
- ⊕ でカーソル位置を左右に移動できます。
- クリア ボタンを押し、電話番号をすべて消去すると、⊕ で操作5に戻ることができます。



7 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、⊕ を押します。
- ⊕ を押すと操作2に戻り、操作をくり返すことができます。



補足説明

●転送先を消去するときは、操作４で「2 消去」を選んでください。

ドアホン・テレビドアホンと通話する

■ドアホンの外線転送をセットする

▶ 指定電話機：他テナントの夜間切替操作電話機

1 夜間切替DH ボタンを押す

- 夜間切替DHランプが点灯します。

■ドアホンの外線転送を解除する

▶ 指定電話機：他テナントの夜間切替操作電話機

1 夜間切替DH ランプ点灯中に 夜間切替DH ボタンを押す

- 夜間切替DHランプが消灯します。

■ドアホンの外線転送に応答する

通常の着信と同様に応答します。

補足説明

- ●一般のドアホン以外にテレビドアホンの呼出も転送することができます。ただし、音声のみの通話となり、映像を見ることはできません。
- ●夜間切替DHボタンの代わりに夜間切替00ボタンでも操作できます。この場合は、システム全体が夜間状態になり、留守録・転送電話の留守番機能等も同時に切替できます。メニュー機能で切り替えることもできます。
- ●転送先を2カ所設定する場合は、転送用の外線が2本以上必要です。また、転送先が2カ所設定されている場合でも空き外線が一本のみのときは、1カ所目のみに転送します。
- ●2カ所の転送先を呼び出した場合は、先に応答した転送先に接続します。
- ●呼出時間は転送電話の呼出時間と共通で、約50秒です。呼出時間を変更することもできます。［工事者設定614-1］
  ただし、テレビドアホンの呼出時間は約40秒で変更できません。

ご注意

- ●ドアホンの外線転送をセットした場合、内線側の電話機はドアホンの呼出に対して着信しません。
- ●テレビドアホンの通話可能時間は約150秒です。一般のドアホンの通話可能時間は転送電話と共通で約60分です。通話時間を変更することもできます。［工事者設定614-1］
- ●ISDN回線以外を使って転送するとハウリングする場合があります。ハウリングが発生する場合は、販売店にレベル調整をご依頼ください。［工事者設定614-1］
- ●電話を切るとき、ドアホンから話中音が聞こえます。ISDN回線を使用すると、話中音が聞こえる時間を短くすることができます。

知っていると便利なこと

- ●転送先の応答時に、音声メッセージを流すことができます。（転送元アナウンス機能）［工事者設定401-1］
- ●ドアホンの外線転送時に通知する電話番号は、発信した外線の電話番号となります。ストレートラインDIをご利用時も外線ごとの電話番号となります。

インターホンと通話するLALB

インターホンと通話できます。

インターホンからの着信に応答する

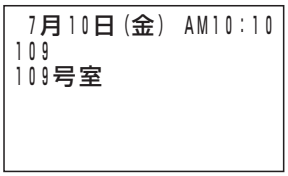
インターホンからの発信は、電話機一台を呼び出す方法と、グループ内の複数の電話機を呼び出す方法があり、インターホンごとに設定できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
590-1	–	ET-8DHU-XiL

■電話機一台を呼び出す

1 着信が鳴ったら、ハンドセットをとる

- ディスプレイにインターホンの内線番号と内線名称が表示されます。



2 相手の方と通話する

■グループ内の複数の電話機を呼び出す

内線一般着信（P2-55）を利用すると、インターホンからの呼出を複数の電話機で受けられます。また、同じ DILIN ボタンを複数設定すると、同時に複数の着信を受けられます。

1 着信音が聞こえる

- DILIN ランプ（赤）が速く点滅します。
- インターホンの内線番号と内線名称が表示されます。

2 点滅している DILIN ボタンを押す

3 ハンドセットをとる

- DILIN ランプが緑の点灯に変わり、周期的に2回消えます。

4 相手の方と通話する

補足説明

- ●インターホンの内線名称も電話機と同様に設定できます。⇒P7-8
- ●インターホンを使用する場合は、内線ホットラインの設定で呼出先を指定します。［工事者設定590-1］
- ●電話機一台を呼び出す場合、代理応答、内線代表、内線への不在転送、話中・応答遅延転送は機能します。
- ●電話機一台を呼び出す場合、着信音は内線の着信音と同じになります。⇒P7-11
- ●内線一般着信を利用する場合、着信音はDILIN番号に設定した着信音になります。⇒P7-10
- ●内線一般着信を利用する場合、着信音が鳴っている電話機は、ハンドセットをとるだけで電話を受けられます。

ご注意

- ●電話機を呼び出している間、インターホン側にはドアホンの呼出音「ピンポン」等ではなく、電話機と同じ呼出音が聞こえます。
- ●インターホンとの通話はハンドセットで行ってください。ハンズフリー通話を行うと、通話が困難になったりハウリングしたりすることがあります。
- ●インターホンとの通話は、約30分で強制的に切れます（保留時間を含む）。通話時間を変更することもできます。［工事者設定590-1］
- ●電話機が通話中等で呼び出せないときは呼出は無効となり、インターホンは待機状態に戻ります。内線キャンプオンはできません。
- ●電話機一台を呼び出す場合、内線ハンズフリー応答や音声呼出を利用していても、インターホンからの呼出は着信音による呼出となります。
- ●内線一般着信を利用する場合、DILIN ボタンが空いていないときは呼出は無効となり、インターホンは待機状態に戻ります。

知っていると便利なこと

- ●電話機の呼出時間は約20秒です。呼び出し時間を変更することもできます。［工事者設定590-1］

インターホンと通話するLA LB

インターホンを呼び出す

電話機からのダイヤル操作でインターホンを呼び出すことができます。インターホンを呼び出して通話したり、すべてのインターホンまたは特定のグループのインターホンに対して一斉放送することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
590-1	−	ET-8DHU-XiL

■インターホンを呼び出す

インターホンを呼び出して通話ができます。

1 ハンドセットをとる

2 インターホンの内線番号を押す

- 接続できると、電話機およびインターホンから冒頭音「ププッ」が流れます。

3 インターホンと通話する

■一斉放送する

すべてのインターホンまたは特定のグループのインターホンに対して一斉放送することができます。
一斉放送の操作方法や補足説明、注意事項については、P2-46をご覧ください。

補足説明

- ●インターホンの呼び出し方法は内線に電話をかけるときと同じ操作を行います。内線電話帳を使ったり内線ワンタッチで呼び出すこともできます。
- ●外線から呼び出すこともできます。[工事者設定590-1]
- ●インターホンに対して一斉放送する場合は、設定が必要です。[工事者設定590-1]

ご注意

- ●外線通話や内線通話を保留したときは、インターホンを呼び出すことはできません。
- ●インターホンとの通話はハンドセットで行ってください。ハンズフリー通話を行うと、通話が困難になったりハウリングしたりすることがあります。
- ●インターホンとの通話は、約30分で強制的に切れます（保留時間を含む）。通話時間を変更することもできます。[工事者設定590-1]
- ●インターホンは一斉放送に応答することはできません。

インターホンとの通話を保留する／転送する

インターホンと通話中にその通話を保留したり、他の電話機に転送することができます。
下記は転送する場合の操作方法です。保留するだけの場合は、操作2と3を省略します。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
590-1	転送（995）	ET-8DHU-XiL

1 通話中に 保留 ボタンを押す

- 着信／メッセージ ランプが遅い点滅になり、スペシャルダイヤルトーン（ツッツッツッ…）が聞こえます。
- 相手の方には保留音が流れます。

2 転送したい相手の内線番号を押す

3 応答したら用件を伝え、 転送 ボタンを押す

- 呼出先に通話が転送されます。

4 ハンドセットを置く

補足説明

- ●インターホン通話の保留操作、保留応答操作、転送操作は内線通話の場合と同じです。
- ●保留されたインターホンには保留音が流れます。
- ●インターホンからかかってきた内線一般着信を外線に自動転送することができます。⇒P2-57

ご注意

- ●保留できる時間は約2分間です。2分を経過すると保留は解除され通話が切れます。インターホンの一般保留時間を変更することもできます。[工事者設定590-1]
- ●内線一般着信の場合や内線パーク保留を利用している場合は、一般保留時間が経過しても保留状態を継続します。ただし、インターホンとの通話時間（初期値30分）で保留は解除され通話が切れます。
- ●簡易転送はできません。保留中の 転送 ボタンの操作は無効になります。オンフック転送も機能しません。（オンフック後に一般保留になります）
- ●転送先にインターホンを指定することはできません。
- ●インターホンとの通話を外線に転送することはできません。

外部スピーカを利用するとき

外部スピーカで放送する（ページング）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
616	−	ET-EXU-Xi

■外部スピーカで放送する

外部に接続したスピーカを使って放送することができます。放送先は、一斉もしくはスピーカを選ぶことができます。

1 ハンドセットをとる

2 呼出番号[6][8][0]*を押す

- 外部スピーカから、冒頭音（ピンポンパンポン）が流れます。
- スピーカを選んで放送する場合には、[6][8][1]～[6][8][4]*を押します。

*番号を可変桁にしている場合は、番号のあとに[#]を押してください。

```
 7月10日(金) AM10:10
680  外部ｽﾋﾟｰｶ一斉

応答番号:780
```

3 放送する

- 外部スピーカから放送されます。

ご注意

●先に一斉呼出、グループ呼出、ページングを行っているときは、放送できないことがあります。

■複数の外部スピーカで放送する

外部に接続したスピーカを複数選んで放送することができます。

1 ハンドセットをとる

2 複数外部スピーカ呼出番号*を押す

*番号を可変桁にしている場合は、番号のあとに[#]を押してください。

XXXXは呼出番号が表示されます。

```
 7月10日(金) AM10:10
XXXX 複数ｽﾋﾟｰｶ呼出

■ｽﾋﾟｰｶ番号+#を入力
 発信は再度#を入力
```

3 呼び出したいスピーカ番号+[#]を押す

- 複数指定するときはスピーカ番号+[#]を続けて押してください。

```
 7月10日(金) AM10:10
XXXX 複数ｽﾋﾟｰｶ呼出
1,2,
■ｽﾋﾟｰｶ番号+#を入力
 発信は再度#を入力
```

4 [#]を押す

5 放送する

- 選択したスピーカから放送されます。

ご注意

●同時に呼び出せるスピーカは3つまでです。
●指定したスピーカのうち使用中のスピーカが1つでもあると、呼出できません。

知っていると便利なこと

●呼出番号は変更することができます。[工事者設定616]
●冒頭音を入れないようにしたり、冒頭音を流し始める時間を変更することもできます。[工事者設定616]
●冒頭音は、「ピンポンパンポン（2種類）」以外に、「プップッ」、「ピピッ」、「プー」、「ピー」から選ぶことができます。[工事者設定616]
●外線保留中にページングを行うこともできます。外から電話がかかってきたときに、担当者を呼び出すのに便利です。

外部スピーカを利用するとき

放送に応答する

放送に応答して、放送した人と通話することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(525)	−	ET-EXU-Xi

1 ハンドセットをとる

2 応答番号7 8 0*を押す

- スピーカごとの放送に応答する場合には、7 8 1～7 8 4を押します。

*番号を可変桁にしている場合は、番号のあとに#を押してください。

3 放送は中断され、放送した人と通話できる

補足説明

●応答できるのは各応答番号につき１台のみです。

ご注意

●放送した人が電話を切った後は、応答できません。

知っていると便利なこと

●応答番号は変更することができます。[工事者設定525]

外部スピーカを使って着信音を鳴らす

主装置に取り付けた外部スピーカを使って、特定の電話機の着信と連動して外線や内線の着信音（初期状態では外線のみが設定されています）を鳴らすことができます。
周りがうるさい場所など、電話機からの着信音が聞こえにくい場合に利用すると便利です。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
617, (618)	−	ET-EXU-Xi

補足説明

●連動する電話機は、スピーカの系統につき１台（最大４台）です。

ご注意

●他の電話機がスピーカをページングで使用しているときは、着信音は鳴らないことがあります。

知っていると便利なこと

●外部スピーカの代わりに、主装置に接続した高音量ベルを使用して着信音を鳴らすこともできます。[工事者設定618]

リモコンを使う

電話機から操作する

電話機の操作で主装置に接続した外部機器のON/OFFをコントロールすることができます。
また、リモート操作で外出先からコントロールすることもできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
621, (633)	リモコン01 (771) ～ リモコン04 (774) S リモコン01 (771) ～ リモコン20 (790) LA LB	ET-EXU-Xi ET-8SRU-XiL LA LB

■リモコン( ) ボタンで操作する

1 リモコン( ) ボタンを押す

- ONにした場合は、リモコン( )ランプが点灯します。
- OFFにした場合は、リモコン( )ランプが消灯します。

■メニュー機能で操作する

1 メニューから〈ﾘﾓｺﾝ〉を呼び出す

① を押します。
②「3 各種機能切替」を選択し、 を押します。
③「7 ﾘﾓｺﾝ」を選択し、 を押します。

```
〈リモコン〉
01 リモコン01:OFF
02 リモコン02:OFF
03 リモコン03:ON
04 リモコン04:OFF
◀戻る ▲▼ 決定
```

2 で操作したいリモコンを選択し、 を押す

- 現在の設定が表示されます。

```
〈リモコン〉
01 リモコン01:OFF
02 リモコン02:OFF
03 リモコン03:ON
04 リモコン04:OFF
◀戻る ▲▼ 決定
```

3 で選択し、 を押す

```
〈リモコン〉
リモコン01:
0 OFF
1 ON
◀戻る ▲▼ 決定
```

4 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、 を押します。
- を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。

```
〈リモコン〉
リモコン01:
1 ON
■設定完了!
終了 継続▶
```

■特番を押してON ／ OFFする

1 ハンドセットをとる

・内線発信音（ツツツ･･･）が聞こえます。

2 リモコン切替番号（1～4桁)*を押す

- 対象のリモコンがONになっている場合は、連続音（プー）が聞こえます。そのままハンドセットを置いても設定は保持されます。

*番号を可変桁にしている場合は、リモコン切替番号のあとに#を押してください。

3 ONするときは1、OFFするときは0を押す

- 完了を示す「設定完了アナウンス」(P7-26)または保留音が聞こえますので、ハンドセットを置きます。

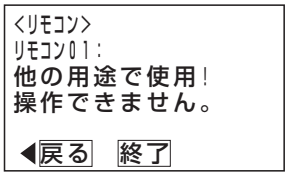
補足説明

●メニュー機能でリモコンを操作したときも、電話機にリモコン( )ボタンが設定してあるとランプ表示します。
●リモコン切替番号は、それぞれのリモコンについて設定が必要です。[工事者設定621]

リモコンを使う

ご注意

- 停電時（バッテリーのバックアップが切れたとき）は、リモコン用のリレーが元に戻ります。停電が解除されても、停電前の状態には戻りません。
- 接続した機器の動作は確認できませんので、ご注意ください。
- メニュー機能で設定するとき、「高音量ベル」の接続など、「リモコン」以外の用途で使用しているリモコン番号を選択したときは、下記のエラーメッセージが表示されます。
  を押すと操作2に戻り、 を押すと終了します。



知っていると便利なこと

- リモコン( )ボタンを押してから、一定時間で自動的にOFFにすること(自動戻り)もできます。[工事者設定621]
- ドアホン、センサ入力と連動してリモコンを制御することができます。
  [工事者設定614、614-1、620-1]
- モニタ機能付きリモコンに設定した場合は、センサ入力と連動してリモコン( )ランプを点灯させることができます。
  [工事者設定614、614-1、620-1]
- リモコンボタンや特番でON／OFFを行ったときに「設定完了アナウンス」の有無を設定できます。⇒P7-26

外出先からリモートで操作する

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
621	−	ET-EXU-Xi ET-8SRU-XiL LA LB

＊音声メッセージを流す場合

1 リモート操作用の外線に電話をかける
- 一定時間後に、一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が聞こえます。

2 #＋ユーザ用パスワード4桁を入力する
- パスワードが正しい場合は連続音（プー）が聞こえます。
- パスワードが間違っている場合は話中音（ツーツー）が聞こえます。
- パスワードが登録されていない場合は、パスワードを省略します。この場合、#を押して操作3に進みます。

3 サービス番号09を押す

4 リモコン番号(01～04S／01～20LA LB)を押す

5 ONにするときは1を押す
OFFにするときは0を押す

6 #を押す
- 音声アナウンスまたは連続音（プー）が流れます。

7 電話を切る

リモコンを使う

補足説明

●操作１～２は一例です。リモート操作についての詳細は、P7-28をご覧ください。
●リモコン端子ごとに、外部からのリモート操作が可能かどうか設定します。[工事者設定621]

ご注意

●パスワード入力時にダイヤルとダイヤルの間が5秒以上あいた場合や、パスワードを間違った場合は、話中音（ツーツー…）が聞こえます。[米]ボタンを押すと一次応答信号が聞こえますので操作2からやり直すことができます。
●接続した機器の動作は確認できませんので、ご注意ください。

知っていると便利なこと

●操作6で、下記の「設定完了アナウンス」を流したあとは、連続音（プー）が聞こえます。⇒P7-26
・ONのとき　:「リモコン＊＊を設定しました。」
・OFFのとき :「リモコン＊＊を解除しました。」
＊＊はリモコン番号（01～20）
設定完了アナウンスに使用するボイスメモを使用中の場合は、連続音（プー）が流れます。

外線を切られたときにリモコンを動作させる

不審者などに外線ケーブルを切られたときにリモコンを動作させ、非常ベル等を鳴らすことができます。
外線ケーブルの断線を検出できるのは、アナログ回線のみです。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
421	リモコン01（771）～ リモコン04（774）S リモコン01（771）～ リモコン20（790）LA LB	ET-EXU-Xi ET-8SRU-XiL LA LB

■外線ケーブルの断線を検出したとき

1 外線ケーブルが断線すると、対応のリモコンが動作する
- 対応の[リモコン( )]ランプが点灯します。
- リモコン端子に非常ベルが接続されていると、非常ベルが鳴動します。

2 リモコン動作を解除するときは、[リモコン( )]ボタンを押す
- 対応の[リモコン( )]ランプが消えます。
- リモコン端子に非常ベルが接続されていると、非常ベルが停止します。

ご注意

●アナログ回線以外の外線ケーブルの断線を検出することはできません。
●外線ケーブルの断線を検出するとリモコンは動作状態を継続しますので、必ず[リモコン( )]ボタンを電話機に設定し、[リモコン( )]ボタンを押して解除してください。

知っていると便利なこと

●リモコン端子とセンサ入力端子を接続すると、センサ接続機能（P8-15）により、外線ケーブルの断線を検出したときに電話機を呼び出すこともできます。また、リモコンの自動戻り機能を利用すると、リモコンの解除操作が不要になります。（リモコン端子に非常ベル等が接続されていると、非常ベルは自動的に停止します）[工事者設定421]

ヘッドセット・イヤホンマイクを使う

ボタン電話機に専用のヘッドセットやイヤホンマイクを接続して通話することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
(644)	ヘッドセットモード(967)	−

■ヘッドセットを取り付ける

1 電話機のハンドセットのジャックを取り外す

- 電話機本体裏側にあるジャックを外します。

2 ヘッドセットのジャックを取り付ける

- 操作1で外したハンドセットの代わりに取り付けます。

■ヘッドセットモードボタンで切り替える

ヘッドセットモードボタンを押すとヘッドセットやイヤホンマイクが使えるようになります。

1 ヘッドセットモードボタンを押す（スピーカランプも消えていること）

- ヘッドセットモードランプが点灯し、イヤホンマイクが使えるようになります。

■メニュー機能で切り替える

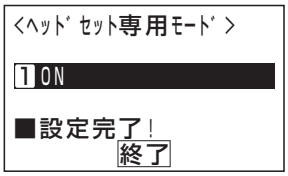
1 メニューから〈ﾍｯﾄﾞｾｯﾄ専用ﾓｰﾄﾞ〉を呼び出す

①[中央]を押します。
②「3 各種機能切替」を選択し、[中央]を押します。
③「0 その他」を選択し、[中央]を押します。
④「1 ﾍｯﾄﾞｾｯﾄ専用ﾓｰﾄﾞ」を選択し、[中央]を押します。

2 [上][下]で選択して、[中央]を押す

3 設定完了画面が表示される

- [中央]を押すと終了します。



補足説明

- ヘッドセットモードボタンを押すたびに、ヘッドセット・イヤホンマイクのON／OFFが切り替わります。
- ヘッドセットモードランプが点灯しているときは、ヘッドセット・イヤホンマイクが使用できる状態を表し、ランプが消えているときは、ヘッドセットが正しく使えません。必ずヘッドセットモードランプが点灯していることを確認してお使いください。
- 接続できるヘッドセット・イヤホンマイクは、販売店にお問い合わせください。
- メニュー機能で切り替えるとき、電話機にヘッドセットモードボタンが設定してあるとランプ表示します。

ご注意

- ヘッドセット・イヤホンマイクを使用することのできる電話機は、標準電話機（SD）、IPBT、IPSD、IPLDのみです。
- ヘッドセット・イヤホンマイクを使用中は、ハンドセットを使用できません。

ヘッドセット・イヤホンマイクを使う

■外線に電話をかける

1 スピーカボタンを押す
- スピーカランプが点灯します。

2 外線ボタンを押す
- 外線発信音「ツー」がヘッドセット・イヤホンマイクから聞こえます。

3 相手の方の電話番号を押す

4 相手の方が応答したらヘッドセット・イヤホンマイクで通話する

5 電話を切るときは、スピーカボタンを押す
- スピーカランプが消えます。

■外線着信に応答する

1 スピーカボタンを押す
- スピーカランプが点灯します。

2 着信している外線ボタンを押す

3 ヘッドセット・イヤホンマイクで通話する

4 電話を切るときは、スピーカボタンを押す
- スピーカランプが消えます。

補足説明

●オフフック自動発信機能が設定されている場合は、外線に電話をかけるときの操作2を省略します。
●オフフック応答機能が設定されている場合は、外線の着信に応答するときの操作2を省略します。
●保留に応答するときの操作も、外線の着信に応答するときの操作と同じです。（操作2では、保留状態の外線ボタンを押します。）
●外線ボタンワンタッチ応答が設定されている場合は、外線の着信に応答するときの操作1を省略します。（保留に応答する場合も同様です）［工事者設定644］

BGM

電話機のスピーカから音楽を流すことができます。（詳しくは、販売店にお問い合わせください。）

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
619	−	ET-EXU-Xi

1 メニューから〈BGM〉を呼び出す

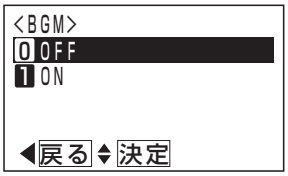
① [中央] を押します。

②「**3 各種機能切替**」を選択し、[中央] を押します。

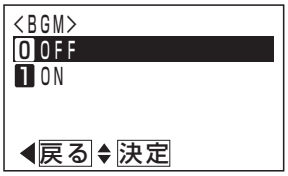
③「**0 その他**」を選択し、[中央] を押します。

④「**2 BGM**」を選択し、[中央] を押します。

• 待機状態で [i] + [7] を押しても本画面となります。

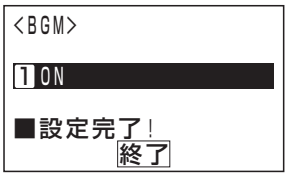


2 [上下左右] で選択し、[中央] を押す



3 完了画面が表示される

• [中央] を押すと終了します。



補足説明

●BGMの音源は外部保留音と同じです。[工事者設定303]

●BGMを聞いているときに電話機を使用したり電話機に着信があるとBGMは中断し、電話機が待機状態になると再びBGMが流れます

●外線や内線を保留した後、ハンドセットを置くとBGMが流れます。

●BGMを流す場合、主装置側の設定が必要です。[工事者設定619]

知っていると便利なこと

●構内放送装置を接続して外部スピーカからBGMを流すことができます。[工事者設定619]

センサ接続・不在時自動ハンズフリー機能を利用する

主装置に接続したセンサが異常を検出すると、内線や外線の指定した電話機を呼び出します。（センサ接続機能）
また、内線や外線から着信音を鳴らさずに電話機（ボタン電話機のみ）を呼び出して通話状態にし、電話機の周囲の音を聞いたり呼び出した電話機のスピーカから呼びかけたりすることができます。（不在時自動ハンズフリー機能）
センサ接続機能（外線でセンサ着信を受けるときのみ）と不在時自動ハンズフリー機能を組み合わせて利用することもできます。

センサ接続機能を使う

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
620-1	–	ET-EXU-Xi ET-8SRU-XiL LA LB

■センサをセットする

▶ 指定電話機：モード切替用電話機

センサと夜間切替の連動設定を行うと、必要なときのみセンサ接続機能を利用することができます。常時利用する場合や、センサ機器のコントローラ側でON/OFFが可能な場合は、夜間切替操作は不要です。

1 ハンドセットを置いたまま 夜間切替( ) ボタンを押す（スピーカ ランプも消えていること）

- 夜間切替( ) ランプが点灯します。
- 解除するときは、セットするときに押した 夜間切替( ) ボタンを押します。解除されるとランプが消えます。

■外線の電話機でセンサ着信を受ける

1 センサが異常を検出すると、外線の指定電話機が着信する

2 着信に応答する

- メッセージが聞こえます。（例：「非常事態発生」）ただし、ボイスメモが使用中の場合は、ウェイティングトーン（ツツ、ツツ、…）が聞こえます。

3 15秒以内にプッシュ信号で # を押す

4 メッセージが停止し、DID一時応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が聞こえる

- リモート操作を行う場合は、必要な操作（P7-30）を行ってください。
- リモート操作を行わない場合は、電話を切ります。

■外線の電話機でセンサ着信を受けた後、不在時自動ハンズフリー機能で電話機を呼び出す

センサ着信を受けたとき、あらかじめ設定した電話機を不在時自動ハンズフリー機能で呼び出すことができます。
着信に応答した後で、下記の操作を行います。

3 15秒以内にプッシュ信号で 1 または 2 を押す

- 1 …電話機の周囲の音のモニタのみ可能です。（発信者側送話なし）
- 2 …電話機の周囲の音のモニタ＋外線からの呼びかけが可能です。（発信側送話あり）

4 メッセージが停止し、内線電話機がハンズフリー状態で自動応答する

■内線の電話機でセンサ着信を受ける

1 センサが異常を検出すると、内線の指定電話機が警報音で着信（センサ着信）する

- 内線 ランプが点滅します。
- 着信／メッセージ ランプが速く点滅します。
- センサ番号が表示されます。

2 ハンドセットをとる

- メッセージが聞こえます。（例：「非常事態発生」）ただし、ボイスメモが使用中の場合は、ウェイティングトーン（ツツ、ツツ、…）が聞こえます。

3 ハンドセットを置く

センサ接続・不在時自動ハンズフリー機能を利用する

補足説明

●センサと夜間切替を連動させる場合は、工事者設定が必要です。[工事者設定620-1]
●センサは一度検出すると、センサが空き状態になるまで検出しません。
●センサ入力時に呼び出せる電話機は、内線・外線ともに3台までです。[工事者設定620-1]
●着信音が鳴っている時間は約1分です。5秒または30秒、2分に変更することもできます。[工事者設定620-1]
●センサ着信に内線電話機が応答すると、他の内線電話機の着信は停止します。外線側の電話機は着信音の鳴動時間まで停止しません。
●メッセージを流す時間は、4秒～16秒、4秒単位で変更することができます。[工事者設定620-1]
●外線の電話機で応答後、[#]、[1]、[2]以外を押したときは操作をやり直すことができます。
●下記の場合、一定時間後に再び呼び出されます。呼び出しの間隔（全ての呼出を終了してから再発信するまでの時間）は、1分（初期設定）～9分、1分単位で変更することができます。最大15回まで呼び出しをします。ただし、着信音が鳴っている時間を5秒に設定したときは、一定時間経過後も呼び出しをしません。
①応答しなかったとき（内線の場合は全ての電話機が応答しなかったとき）
②外線の電話機で応答後、[#]、[1]、[2]以外を押して電話を切ったとき（操作したとき、メッセージは停止しません。）
③外線の電話機で応答後、何も操作しないで電話を切ったとき（携帯電話機等が留守応答したときも同じです。）
④外線の電話機で応答後、[1]、[2]を押したが電話機を呼び出せなかったとき（対応電話機が未設定または呼出不可の場合です。このとき、メッセージが停止した後に話中音（ツーツー…）が聞こえます。）
⑤外線の電話機で応答後、[#]、[1]、[2]を押したが主装置側でPB信号を受信できなかったとき（操作したとき、メッセージは停止しません。）

ご注意

●本装置のセンサ接続機能は簡易的なものですので、消防法で指定している熱、煙、ガスセンサ等は接続しないでください。ノイズ等による誤動作や回線の状況等により電話機を呼び出せない場合があります。
●外線の呼出先が2カ所以上の場合、空き外線が1本のみのときは1カ所のみを呼び出します。外線の呼出先は発信可能な外線の数以下にしてください。また着信音が鳴っている時間を5秒に設定したとき、外線は呼び出しません。
●不在時自動ハンズフリー機能（発信側送話あり）で内線電話機を呼び出した場合（メッセージ送出中に[2]を押した場合）、電話を切るときに内線電話機のスピーカから話中音が聞こえます。
●ハンズフリー通話に関する注意事項は、P5-163の「ご注意」をご覧ください。

センサ接続・不在時自動ハンズフリー機能を利用する

知っていると便利なこと

●センサ入力端子は夜間切替端子やドアホン端子と兼用になっています。夜間切替スイッチやドアホンを使用しない場合は、センサを接続することができます。（センサ用にした端子は夜間切替スイッチやドアホンを接続することはできません。）［工事者設定620-1］

●センサと夜間切替を連動させると、夜間切替操作をして約10秒経過するとセンサ検出を開始します。また、センサ検出をして約10秒以内に夜間切替を解除すると電話機の呼び出しは中止されます。工事者設定により、遅延タイマを「なし」にしたり、20秒、30秒、1分、2分、4分に変更したり、センサ検出後に電話機の呼び出しを開始するまでの時間を独立して設定（10秒、20秒、30秒、40秒、50秒、60秒、「なし」から選択）することもできます。夜間切替後にドアの鍵をかけるまでに必要な時間や、ドアの鍵を解除後に夜間切替を解除するまでに必要な時間などを目安に設定してください。［工事者設定620-1］

●内線電話機の着信音は、警報音以外に外線着信音やボイスメモの応答メッセージの中から選択することができます。［工事者設定620-1］

●外線の電話機を呼び出すとき、ISDN回線やアナログ回線以外にIP回線（IPCOI）を使用することができます。

●センサ入力と連動してリモコン（P8-9）をオンにすることができます。［工事者設定620-1］

●センサごとに、着信時の着信／メッセージランプ色を指定することもできます。［工事者設定620-1］

センサ検出時の通知先を登録する

センサが異常を検出したときの通知先を登録します。センサごとに、外線3カ所、内線3カ所まで登録できます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
620-1	−	ET-EXU-Xi

▶ 指定電話機：データ設定用電話機

■外線の通知先を登録／変更する

1 メニューから〈ｾﾝｻ通知先登録〉を呼び出す

① [ ] を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、[ ] を押します。
③「0 その他」を選択し、[ ] を押します。
④「1 ｾﾝｻ通知先登録」を選択し、[ ] を押します。

```
〈ｾﾝｻ通知先登録〉
ｾﾝｻ:
■登録するｾﾝｻ番号
  (01～20)を入力
クリア再入力
◀戻る
```

2 センサ番号を入力し、[ ] を押す

- S は、01 ～ 04 を入力します。

```
〈ｾﾝｻ通知先登録〉
ｾﾝｻ:01
■登録するｾﾝｻ番号
  (01～20)を入力
クリア再入力
◀戻る　決定
```

3 [ ] で「1 外線通知先」を選択し、[ ] を押す

- ディスプレイの右上に現在登録中のセンサ番号（例：ｾﾝｻ01）が表示されます。

```
〈ｾﾝｻ通知先登録〉ｾﾝｻ01
1 外線通知先
2 内線通知先

◀戻る ◆決定
```

4 [ ] で登録／変更したい番号を選択し、[ ] を押す

- すでに登録されている場合は、その内容が表示されます。

```
〈ｾﾝｻ通知先登録〉ｾﾝｻ01
1 0902222XXXX
中島○郎
2
◀戻る ◆決定
```

5 [ ] で「1 登録/変更」を選択し、[ ] を押す

```
〈ｾﾝｻ通知先登録〉ｾﾝｻ01
1 登録/変更
2 消去

◀戻る ◆決定
```

6 外線発信番号を入力し、[ ] を押す

- 通常はそのまま [ ] を押します。
- 数字以外に ＊ や ＃も登録できます。

```
〈ｾﾝｻ通知先登録〉ｾﾝｻ01
2:特番0･･･クリア再入力

■発信特番入力
◀戻る　決定
```

7 通知先電話番号を入力し、[ ] を押す

- 登録できる電話番号は最大16桁です。
- [ ] でカーソル位置を左右に移動できます。
- クリア ボタンを押し、電話番号をすべて消去すると、[ ] で操作6に戻ることができます。

```
〈ｾﾝｻ通知先登録〉ｾﾝｻ01
2:特番0　クリア消去
0909999XXXX･････

■電話番号入力
◀　　決定
```

8 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、[ ] を押します。
- [ ] を押すと、操作2に戻り、登録／変更を繰り返すことができます。

```
〈ｾﾝｻ通知先登録〉ｾﾝｻ01
3:特番61
0909999XXXX
吉田○郎
■登録完了!
　　終了　継続▶
```

知っていると便利なこと

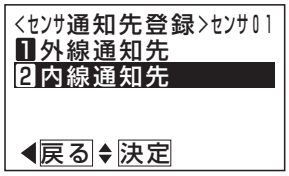
●外線自動発信番号を通常の番号と分けて設定しておくとセンサ検出時に使う回線を限定することができます。詳しくは、販売店にご相談ください。[工事者設定620-1]

■内線の通知先を登録／変更する

「■外線の通知先を登録／変更する」の操作2の後、続けて下記の操作を行います。

3 で「2内線通知先」を選択し、を押す

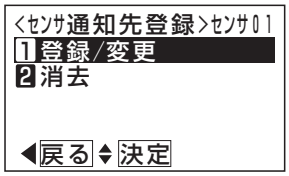
- ディスプレイの右上に現在登録中のセンサ番号（例：ｾﾝｻ01）が表示されます。



4 で登録／変更したい番号を選択し、を押す

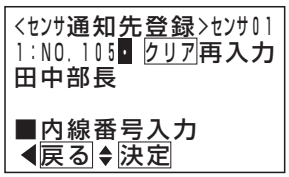
- すでに登録されている場合は、その内容が表示されます。

5 で「1登録/変更」を選択し、を押す



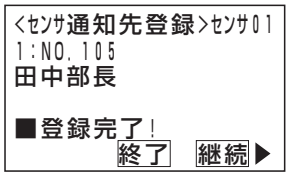
6 通知先の内線番号を入力し、を押す

- で内線番号を選ぶこともできます。



7 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、を押します。
- を押すと操作2に戻り、登録／変更を繰り返すことができます。



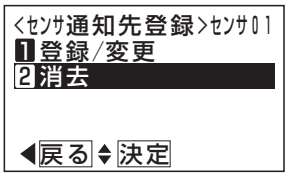
補足説明

- ●内線番号の代わりに、内線一斉呼出番号や内線グループ呼出番号を登録すると、該当する電話機すべてを呼び出すことができます。

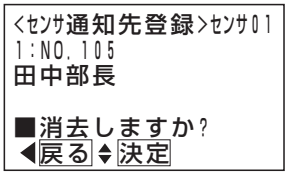
■外線または内線の通知先を消去する

通知先を消去する場合には下記の操作をします。
「■外線の通知先を登録／変更する」の操作4で消去したい番号を選択し、続けて下記の操作を行います。

5 「2消去」を選択し、を押す

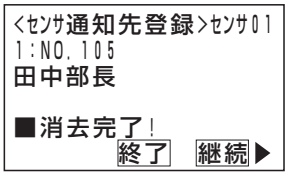


6 消去確認画面「■消去しますか?」が表示されるので、を押す



7 消去確認画面「■消去完了!」が表示される

- 終了する場合は、を押します。
- を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。



センサ接続・不在時自動ハンズフリー機能を利用する

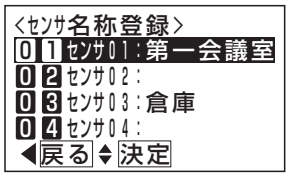
センサ名称を登録する

センサの名称を登録します。センサ着信時に内線電話機のディスプレイに表示されます。

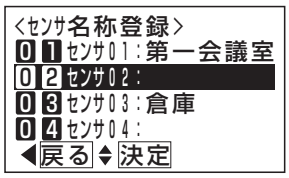
▶ 指定電話機：データ設定用電話機

1 メニューから〈ｾﾝｻ名称登録〉を呼び出す

① ⊞ を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、⊞ を押します。
③「0 その他」を選択し、⊞ を押します。
④「6 各種名称登録」を選択し、⊞ を押します。
⑤「2 ｾﾝｻ名称登録」を選択し、⊞ を押します。



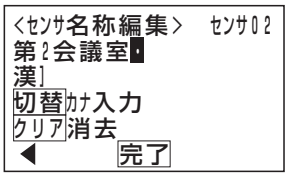
2 ⊞ でセンサを選択し、⊞ を押す



3 ⊞ で「1 登録/変更」を選択し、⊞ を押す

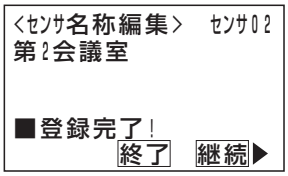
4 ダイヤルボタンでセンサ名称を入力し、⊞ を押す

- ディスプレイの右上に現在登録中のセンサ番号（例：ｾﾝｻ01）が表示されます。
- センサ名称は全角で5文字まで入力できます。
- 詳しい方法は、「文字入力方法」（P3-15）をご覧ください。



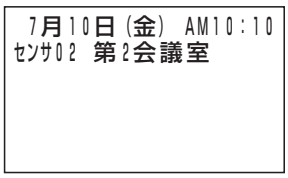
5 登録完了画面となる

- 終了する場合は、⊞ を押します。
- ⊞ を押すと操作2に戻り、操作を繰り返すことができます。



補足説明

●名称を消去するときは、操作3で「2 消去」を選んでください。
●センサ着信時に、登録したセンサ名称が下記のように電話機のディスプレイに表示されます。



センサ接続・不在時自動ハンズフリー機能を利用する

不在時自動ハンズフリー機能を使う

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
228,（620-2）	−	−

■外線からリモート操作用電話機で操作する

リモート操作用電話機（P7-31）からは、リモート操作用の回線や電話番号でなくても操作できます。

1 外の電話機から電話をかける

- 一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）は、すぐに聞こえます。

2 プッシュ信号でTELモニタ番号*＋ユーザ用パスワード（4桁）＋モニタしたい電話機の内線番号を押す

- パスワードを間違えた場合は、話中音（ツーツー）が聞こえますので、[※]を押すと操作2をやり直すことができます。
- パスワードが登録されていない場合は、パスワードを省略します。

*番号を可変桁にしている場合は、TELモニタ番号のあとに[#]を押してください。

3 呼び出された内線電話機は、ハンズフリー状態で自動応答する

4 外の電話機には、内線電話機の周囲の音が聞こえる

- 発信側の電話機からの声は、着信側の電話機のスピーカから聞こえます。

■外線からDIDの回線で操作する

ダイレクトインダイヤル（DID）に設定されている外線に電話をかけても、操作できます。

※一次応答信号が聞こえた後は、「■外線からリモート操作用電話機で操作する」の操作2と同じです。

1 DIDに設定された番号に電話をかける

- 一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が聞こえます。

ご注意

●TELモニタ送話あり番号の場合、外線側の電話を切るときに内線電話機のスピーカから、話中音が聞こえます。

■リモート操作用外線で操作する

リモート操作用の回線や電話番号に電話をかけても操作できます。

※一次応答信号が聞こえた後は、「■外線からリモート操作用電話機で操作する」の操作2と同じです。

1 外の電話機からリモート操作用に設定された番号に電話をかける

- 誰も応答しないで約90秒経過すると一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が聞こえます。
- 留守番機能（留守録・応答専用・発信者選択モード）がセットされている場合は、応答メッセージが聞こえている間にプッシュ信号で[9][9][9][#]を押すと、一次応答信号（発信音ツツツ…またはメッセージ）が聞こえます。

■内線から操作する

内線電話機からも操作できます。

1 TELモニタ番号*＋ユーザ用パスワード（4桁）＋モニタしたい電話機の内線番号で電話をかける

*番号を可変桁にしている場合は、TELモニタ番号のあとに[#]を押してください。

2 呼び出された内線電話機は、ハンズフリー状態で自動応答する

3 発信側の電話機には、着信側の内線電話機の周囲の音が聞こえる

- 発信側の電話機からの声は、着信側の電話機のスピーカから聞こえます。

補足説明

●TELモニタ番号には、「送話あり」と「送話なし」の2種類があります。「送話あり」の場合のみ電話機のスピーカから呼びかけることができます。［工事者設定620-2］

●不在時自動ハンズフリーで着信したときは、[着信／メッセージ]ランプは点滅しません。また、着信音や冒頭音は鳴りません。

●着信側の電話機のハンドセットをとると、電話が切れます。

●不在時自動ハンズフリーの場合は、電話機に[マイク]ボタンが設定されていなくてもハンズフリー通話となります。

緊急地震速報

気象庁から緊急地震速報が発令された場合、電話機の画面表示とスピーカで確認することができます。

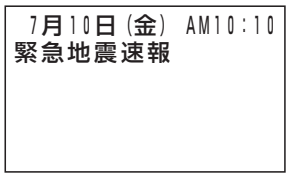
工事者設定	プログラマブルキー	オプション
668	−	ET-EXU-Xi

ボタン電話機の場合

■緊急地震速報を受信すると

1 電話機のスピーカから音声ガイダンスまたは着信警報音が聞こえる

- 電話機の着信／メッセージランプが早い点滅をします。



2 緊急地震速報が解除されると待機状態に戻る

■緊急地震速報の通知を一時的に解除する

地震速報を受信しているときに、電話機を使うには下記の操作をします。
一時解除すると、約５秒間待機状態になります。

1 電話機のスピーカから音声ガイダンスまたは着信警報音が聞こえる

- 電話機の着信／メッセージランプが早い点滅をします。

2 ハンドセットを取る

- ハンドセットから地震速報装置のガイダンスが聞こえます。

3 ハンドセットを置く

- 待機状態に戻ります。

4 電話機の操作をする

- 電話をかけたり、一斉呼出や放送をすることができます。

補足説明

●緊急地震速報を受信する場合は、緊急地震速報装置の購入と緊急地震速報システムの加入が必要になります。
●単独電話機、コードレス電話機でも通知できます。ただし、通知音は着信警報音のみになります。
●ボタン電話機の場合、電話機のスピーカから音声ガイダンスと着信警報音のどちらを流すかを選択できます。[工事者設定668]
●緊急地震速報の一時解除の時間は５秒間です。時間が過ぎると自動的に地震速報が通知されている状態に戻ります。
●ディスプレイに表示する内容を変更することができます。詳しくは販売店にお問い合わせください。

ご注意

●地震による損害や作動不良に関連して生じた損害につきましては、賠償責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
●緊急地震速報システムは全自動で運用されているため、誤差や誤報等の作動不良が発生する可能性があります。
●震源から近い（直下型）地震の場合は、緊急地震速報の受信より早く地震が到達することがあります。
●緊急地震速報装置が緊急地震速報を受信後、電話機のスピーカから音声ガイダンスが流れ出すまで、最短で約1.5秒程度の時間がかかります。使用する緊急地震速報装置によっては、音声ガイダンスが途中から聞こえる場合があります。

電話機に外部スピーカを付けて着信音を鳴らす

標準電話機（SD）に外部スピーカ（コールスピーカ）を接続し、着信音を鳴らすことができます。周りがうるさい場所など、着信音が聞き取りにくくなる場所で利用すると便利です。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
−	外部スピーカ（933）	ET-ESPU-Xi

■ 外部スピーカ ボタンで外部スピーカをON／OFFする

外部スピーカ ボタンを押し、外部スピーカをON／OFFすることができます。

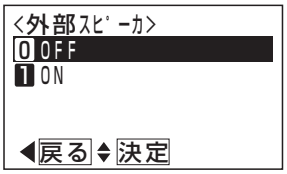
1 外部スピーカ ボタンを押す

- ONにした場合は、外部スピーカ ランプが点灯します。
- OFFにした場合は、外部スピーカ ランプが消灯します。

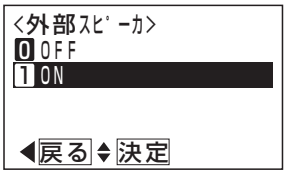
■メニュー機能で切り替える

1 メニューから〈外部ｽﾋﾟｰｶ〉を呼び出す

① ▣ を押します。
②「4 電話機毎機能設定」を選択し、▣ を押します。
③「0 その他」を選択し、▣ を押します。
④「4 外部ｽﾋﾟｰｶ」を選択し、▣ を押します。



2 ▣ で「1 ON」または「0 OFF」を選択し、▣ を押す



3 設定完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣ を押します。

補足説明

- ●電話機のスピーカからも着信音は流れます。
- ●次の警報音は外部スピーカからは流れません。
  - ・保留警報音
  - ・外線簡易転送（着信音転送）
  - ・オートマチックリコール
  - ・外線手動転送後のリコール時の警報音
- ●外部スピーカの取り付けは販売店にご相談ください。
- ●外部スピーカの音量調節は、外部スピーカ側で行ってください。

ご注意

- ●キー確認音やタイムアラームなどのアラーム音は、外部スピーカから流れませんが、着信音が流れているときは、外部スピーカから流れます。
- ●着信音の音量を無音にすると外部スピーカも無音になります。

多機能コンソールを使う

特長

多機能コンソールをボタン電話機と組み合わせて、下記のことができます。

■DSSコンソールとして使用する場合…

- ●プログラマブルキーを登録できます。ボタン電話機のプログラマブルキー（空きの外線ボタン）が足りないとき、ボタンを増やすことができます。
- ●内線のワンタッチ呼出／内線の状態表示で使用する[内線ワンタッチ]ボタンを登録できます。
- ●外線のワンタッチダイヤルで使用する[ワンタッチダイヤル]ボタンを登録できます。
- ●通話録音で使用する[ボックス]ボタンを登録できます。

■オートダイヤルコンソールとして使用する場合…

- ●外線のワンタッチダイヤルで使用する[ワンタッチダイヤル]ボタンを登録できます。

ご注意

- ●DSSコンソールとして使用できる多機能コンソールはシステム内で99台まで、電話機あたり4台までです。
- ●オートダイヤルコンソールとして使用できる多機能コンソールは、電話機あたり1台のみです。システムあたりの台数制限はありません。
- ●有線式のボタン電話機以外（コードレス電話機、単独電話機）と組み合わせることはできません。
- ●多機能コンソールのボタンを押したとき、電話機側のバックライトは点灯しません。あらかじめご了承ください。

DSSコンソールとして使用する

多機能コンソールのボタンにプログラマブルキー、[内線ワンタッチ]ボタン、[ワンタッチダイヤル]ボタン、[ボックス]ボタンを登録できます。
以下の操作手順では、例として[内線ワンタッチ]ボタンの登録方法と使い方について説明しています。
電話機へのボタン登録と同様、自分の電話機用のDSSコンソール以外に、指定電話機からは他電話機用のDSSコンソールへのボタン登録を行うこともできます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
634	−	−

■お使いの電話機用のコンソールへのボタン登録

電話機の使用していない[外線]ボタンに各種ボタンを登録するのと同じように、DSSコンソールの空いているボタンに各種ボタンを登録します。
※登録するボタン以外は組み合わせる電話機側の操作となります。

1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

①[ ]を押します。
②「4 電話機毎機能設定」を選択し、[ ]を押します。
③「1 ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、[ ]を押します。
- [i]ボタン＋[米][米]を押しても本画面となります。

<ﾎﾞﾀﾝ登録>
･･KEY:
■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
（押替可能）
◀[戻る]

2 登録するボタン（使っていないDSSコンソールのボタン）を押し、[ ]を押す

- 現在登録されている機能名称が表示されます。

<ﾎﾞﾀﾝ登録>DSS=1
11KEY:011
外線11
■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
（押替可能）
◀[戻る] [決定]

多機能コンソールを使う

3 ▣で「3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、▣を押す

<ﾎﾞﾀﾝ登録>DSS=1
1 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾏﾌﾞﾙｷｰ登録
2 ﾜﾝﾀｯﾁﾀﾞｲﾔﾙﾎﾞﾀﾝ登録
3 内線ﾜﾝﾀｯﾁﾎﾞﾀﾝ登録
4 ﾎﾞｯｸｽﾎﾞﾀﾝ登録
◀戻る ▲▼ 決定 次頁▶

4 内線番号を入力し、▣を押す

- ▣で内線番号を検索することもできます。

<ﾎﾞﾀﾝ登録>DSS=1
11KEY:内線ﾜﾝﾀｯﾁ103
山田○次郎
■内線番号入力
クリア再入力
◀戻る ▲▼ 決定

5 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣を押します。
- ▣を押すと操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

<ﾎﾞﾀﾝ登録>DSS=1
11KEY:内線ﾜﾝﾀｯﾁ103
山田○次郎
■登録完了!
終了 継続▶

補足説明

●操作2でDSSコンソールのボタンを押したときは、操作2以降の画面の1行目に「DSS = 1」（1台目のコンソールの場合）～「DSS = 4」（4台目のコンソールの場合）が表示されます。

ご注意

●登録する内線番号と同じ数の空きボタンが必要です。
●機能を設定したボタンに内線番号を登録すると、元の機能は使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P7-1

知っていると便利なこと

●一斉呼出（P2-46）、ドアホン呼出（P8-1）、外部スピーカ呼出（P8-7）の呼出番号を登録することもできます。
●操作2で▣を押す代わりに内線ボタンを押すと、操作4から操作できます。

■他の電話機用のコンソールへのボタン登録

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

1 メニューから<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>を呼び出す

①▣を押します。
②「5 ｼｽﾃﾑ機能設定」を選択し、▣を押します。
③「1 他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録」を選択し、▣を押します。

<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>
収容位置:･･-･･･
■電話機収容位置入力
先頭～最終(省略可)
クリア再入力
◀戻る

2 ボタンを登録したいコンソールの収容位置（3桁）を入力し、▣を押す

- 範囲指定はできません。先頭収容位置のみを入力してください。
- 再入力する場合は、クリアボタンを押します。

<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>
収容位置:･･-･･･
■電話機収容位置入力
先頭～最終(省略可)
クリア再入力
◀戻る

■収容位置入力後

<他電話機ﾎﾞﾀﾝ登録>
収容位置:104-･･
■電話機収容位置入力
先頭～最終(省略可)
クリア再入力
◀戻る 決定

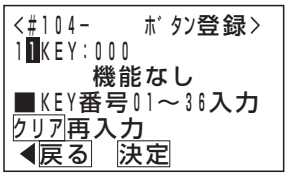
3 他の電話機のボタン登録画面になる

<#104- ﾎﾞﾀﾝ登録>
･･KEY:
■KEY番号01～36入力
クリア再入力
◀戻る

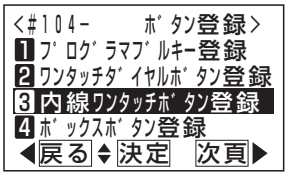
多機能コンソールを使う

4 登録するキー番号（2桁）を入力し、を押す

- 登録できるキーは01～36までです。
- 現在登録されている機能名称が表示されます。
- 再入力する場合は、クリア ボタンを押します。

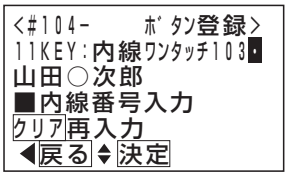


5 で「3 内線ワンタッチボタン登録」を選択し、を押す



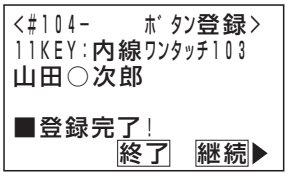
6 内線番号を入力し、を押す

- で内線番号を検索することもできます。



7 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、を押します。
- を押すと操作3に戻り、登録を繰り返すことができます。



ご注意

- ●登録する内線番号と同じ数の空きボタンが必要です。
- ●機能を設定したボタンに内線番号を登録すると、元の機能は使用できなくなります。元の機能ボタン（プログラマブルキー）として使用する場合は、プログラマブルキーの設定をやり直してください。⇒P7-1
- ●電話機と異なり、i＋8の操作で多機能コンソールの収容位置を確認することはできません。

知っていると便利なこと

- ●一斉呼出（P2-46）、ドアホン呼出（P8-1）、外部スピーカ呼出（P8-7）の呼出番号を登録することもできます。
- ●操作4で を押す代わりに内線ボタンを押すと、操作6から操作できます。

■内線を呼び出す方法

ボタン電話機の 内線ワンタッチ ボタンと同様に操作します。

1 登録した 内線ワンタッチ ボタンを押す

- 自動的に相手を呼び出します。

補足説明

●内線ワンタッチ ボタンには登録した内線の状態をランプ表示できます。

状　　態	ランプ表示
空き（オペレータ業務開始）	点灯（緑）
空き（オペレータ業務終了）	消灯
内線発信中	速い点滅（緑）
通話中、ハンドセットをあげているとき（ボタン電話機の無音時は空き扱い）	点灯（赤）
不在転送、不在表示	遅い点滅（赤）
着信拒否、メニュー機能使用等で i ボタン点灯中	周期的に2回消える（赤）
着信中	速い点滅（赤）
ディジタルインターホンの呼出ランプが点灯しているとき	周期的に4回点滅（赤）

※点灯（緑）は、ACD機能（P5-10）を利用している場合に表示します。
※一斉呼出（P2-46）、外部スピーカ呼出（P8-7）の呼出番号を登録したボタンは、ランプ表示できません。ただし、呼出ができないときだけ、点灯（赤）のランプ表示をします。
※ディジタルインターホンについては、「ディジタル埋込型インターホン」の取扱説明書をご覧ください。

知っていると便利なこと

●外線または内線通話中に 内線ワンタッチ ボタンを押すと、現在の通話を保留し内線を呼び出すことができるので、転送操作が簡単になります。また、内線通話の場合、設定によっては、現在の通話を終了して内線を呼び出すこともできます。[工事者設定575]
●ランプ表示をしないように設定することもできます。[工事者設定575]

補足説明

●内線ワンタッチ ボタン以外の登録方法や使い方については、以下をご覧ください。
・プログラマブルキー：「プログラマブルキーの登録方法」（P7-1）
・ワンタッチダイヤル ボタン：「ワンタッチで電話をかける（ワンタッチダイヤル）」（P2-19）
・ボックス ボタン：「通話録音する」（P5-58）

多機能コンソールを使う

オートダイヤルコンソールとして使用する

多機能コンソールをDSSコンソールとして使用すると、システムに99台までしか接続できませんが、多機能コンソールの用途をオートダイヤルに限定して使用すると、すべてのボタン電話機と多機能コンソールを組み合わせて使用することができます。
オートダイヤルコンソールに登録した[ワンタッチダイヤル]ボタンを使って電話をかける操作は、ボタン電話機に登録した[ワンタッチダイヤル]ボタンの場合と同様です。詳細は、「ワンタッチダイヤルでかける」（P2-24）をご覧ください。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
635,（115）	−	−

■[ワンタッチダイヤル]ボタンを登録する（短縮番号指定）

電話機の使用していない[外線]ボタンに[ワンタッチダイヤル]ボタンを登録するのと同じように、オートダイヤルコンソールの使用していないボタンに[ワンタッチダイヤル]ボタンを登録します。
※登録するボタン以外は組み合わせる電話機側の操作となります。

1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

① [中央]を押します。
②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、[中央]を押します。
③「**1 ﾎﾞﾀﾝ登録**」を選択し、[中央]を押します。
• [i]ボタン＋[米][米]を押しても本画面となります。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
‥KEY:

■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
  （押替可能）
◀戻る
```

2 登録するボタン（使っていないオートダイヤルコンソールのボタン）を押し、[中央]を押す

• 現在登録されている機能名称が表示されます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙ
11KEY:

■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
  （押替可能）
◀戻る  決定
```

3 短縮番号を入力し、[中央]を押す

• 短縮番号入力が完了すると、3行目に電話番号または名称（電話帳に登録時）が表示されます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙ
11KEY:短縮■･･･
■短縮番号入力
ｸﾘｱ再入力
電話帳電話帳検索
◀戻る  決定
```

■短縮番号入力後

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙ
11KEY:短縮0002
井×物産
ｸﾘｱ再入力
電話帳電話帳検索
◀戻る  決定
```

4 登録完了画面が表示される

• 終了する場合は、[中央]を押します。
• [中央]を押すと（省略可能）操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙ
11KEY:短縮0002
井×物産

■登録完了!
        終了  継続▶
```

ご注意

●登録するワンタッチダイヤルと同じ数の空きボタンが必要です。
●オートダイヤルコンソールの場合、他電話機用のコンソールへのボタン登録はできません。

補足説明

●使用できる短縮番号はシステムで10000件（短縮番号0000～9999）まで利用できます。
短縮番号0000～9999は共通電話帳、各電話機のマイ電話帳で共通となります。
なお、マイ電話帳は30件まで使用できます。

■ ワンタッチダイヤル ボタンを登録する（電話帳検索）

電話機の使用していない 外線 ボタンに ワンタッチダイヤル ボタンを登録するのと同じように、オートダイヤルコンソールの使用していないボタンに ワンタッチダイヤル ボタンを登録します。

※登録するボタン以外は組み合わせる電話機側の操作となります。

1 メニューから〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉を呼び出す

① ▣ を押します。

②「**4 電話機毎機能設定**」を選択し、▣ を押します。

③「**1 ﾎﾞﾀﾝ登録**」を選択し、▣ を押します。

- i ボタン + ＊ ＊ を押しても本画面となります。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉
  ･･KEY:

■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
  (押替可能)
◀戻る
```

2 登録するボタン（使っていないオートダイヤルコンソールのボタン）を押し、▣ を押す

- 現在登録されている機能名称が表示されます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙ
11KEY:

■登録するﾎﾞﾀﾝを押す
  (押替可能)
◀戻る  決定
```

3 電話帳 ボタンを押す

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙ
11KEY:短縮･･･
■短縮番号入力
ｸﾘｱ再入力
電話帳電話帳検索
◀戻る  決定
```

4 ダイヤルキーでカナ名称の頭文字（濁点を含めて最大４文字）を入力し、▣ を押す

- ｸﾘｱ ボタンを押すと最後の一文字が消去されます。
- 代理応答/切替 ボタンを押すと、相手区分検索や短縮番号検索に切り替えることもできます。詳しくは「電話帳を使って電話をかける」（P3-22、P3-23）をご覧ください。
- 「マイ電話帳」を検索するときは、＃ を押します。
- ｸﾘｱ ボタンを長押し（2秒以上）したときの動作は、P3-17 をご覧ください。

```
〈共通電話帳〉
名称:ｱ･･･
1ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ1@.
ｸﾘｱ最終桁消去
切替相手区分検索
◀戻る  決定  ▶
```

5 ▣ で登録する相手を選択し、▣ を押す

- 入力した文字に該当する名称の一覧が表示されます。
- 代理応答/切替 ボタンを押すと番号表示になります。

```
赤×飯店
浅×商事(山田)
足×運輸㈹
井×物産
ｸﾘｱ再入力  切替番号
◀前頁 ▲▼ 決定  次頁▶
```

6 登録完了画面が表示される

- 終了する場合は、▣ を押します。
- ▣ を押すと（省略可能）操作2に戻り、登録を繰り返すことができます。

```
〈ﾎﾞﾀﾝ登録〉ｵｰﾄﾀﾞｲﾔﾙ
11KEY:短縮0002
井×物産

■登録完了!
        終了  継続▶
```

ご注意

- ●登録するワンタッチダイヤルと同じ数の空きボタンが必要です。
- ●オートダイヤルコンソールの場合、他電話機用のコンソールへのボタン登録はできません。

示名条の記入方法と示名条および示名条押さえの取付方法

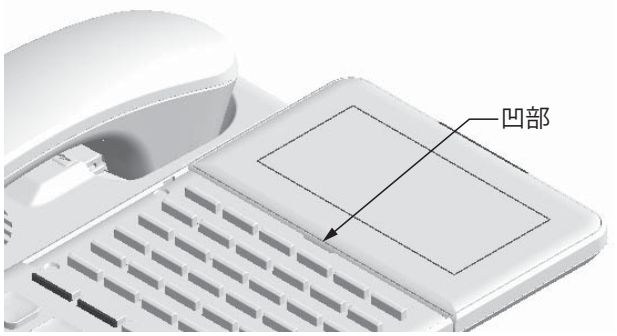
ご注意

●示名条押さえをたわませずに無理に押し込むと、上ケースが破損する恐れがありますので手順3にしたがって取り付けてください。

ボタン電話機

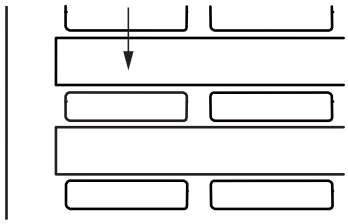
ボタン電話機の外線ボタン部に電話番号や機能名称等を記入すると、より使いやすくなります。

ディスプレイ部の角度をつけていない状態で、示名条押さえを上部にある凹部から上に持ち上げて取り外します。（示名条は添付品に含まれています）



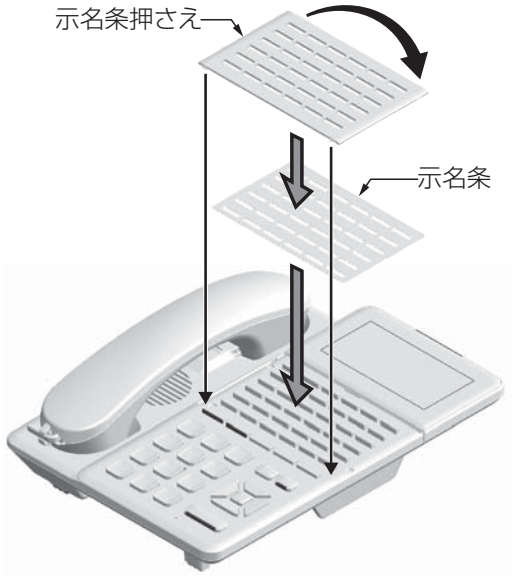
1 電話番号や機能名称等を該当するボタン穴の上に記入します

• 記入位置は下図の白枠内としてください。



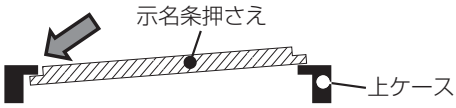
2 示名条をミシン目から切り離し、電話機に取り付けます

3 示名条押さえを電話機に取り付けます



①示名条押さえの下側にある突出部2箇所を上ケースに差し込みます。

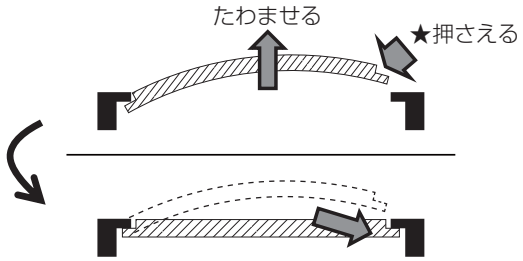
②両側にあるツメの一方を先に上ケースに差し込みます。



③示名条押さえを指でたわませて反対側のツメを上ケースに差し込みます。

ワンポイント！

差し込んだ方のツメが抜けない様に、★部分を指で押さえながらたわませると、取り付けやすくなります。



知っていると便利なこと

●添付されている示名条は、インクジェットプリンタで印刷することができます。（プリンタによっては印刷できない場合もありますので、あらかじめご了承ください）

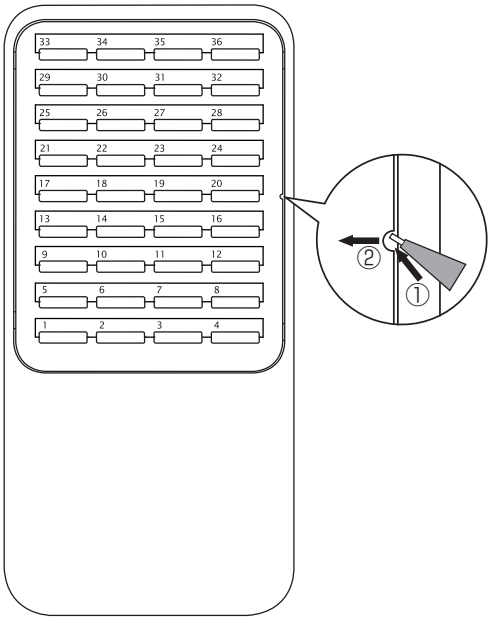
示名条の記入方法と示名条および示名条押さえの取付方法

多機能コンソール

電話番号や機能名称等を記入すると、より使いやすくなります。

■取り外し方法

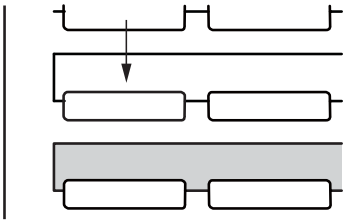
示名条は本体に実装されています。
下記の手順で示名条と示名条押さえを取り外してください。
①先のとがったものを半円形の溝に入れます。
②左側に押すと、示名条押さえが外れますので、下にある示名条を取り外してください。



■記入、取り付け方法

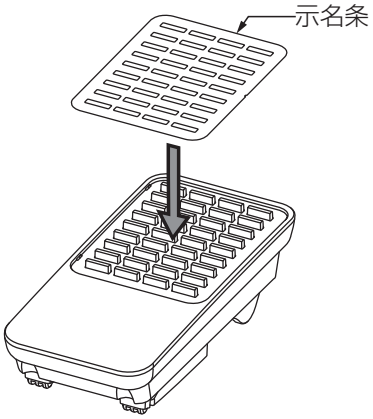
1 電話番号や機能名称等を該当するボタン穴の上に記入します

- 記入位置は下図の白枠内としてください。



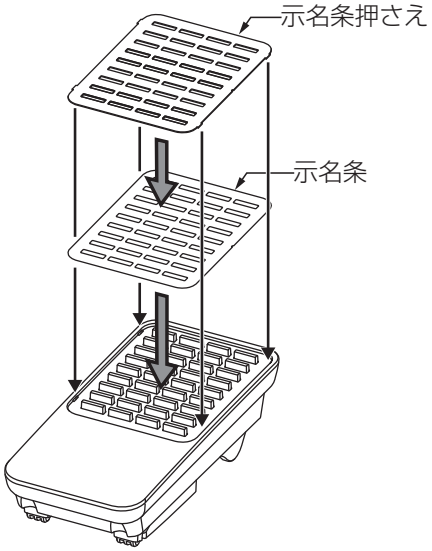
- 両面に記入することができます。（表面のみに数字が印刷されています）
  お好みの面を使用してください。

2 示名条を本体に取り付けます



3 示名条押さえを本体に取り付けます

- 示名条押さえの左右にある突出部を本体の溝に挿入します。（左側から入れると取り付けやすくなります。）



知っていると便利なこと

●シート形式の示名条（オプション）も使用できます。シート形式の示名条は、インクジェットプリンタで印刷することができます。（プリンタによっては印刷できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。）
また、上側の示名条のみ数字が印刷されています。お好みのものを使用してください。
使用時は、ミシン目から切り離して取り付けてください。

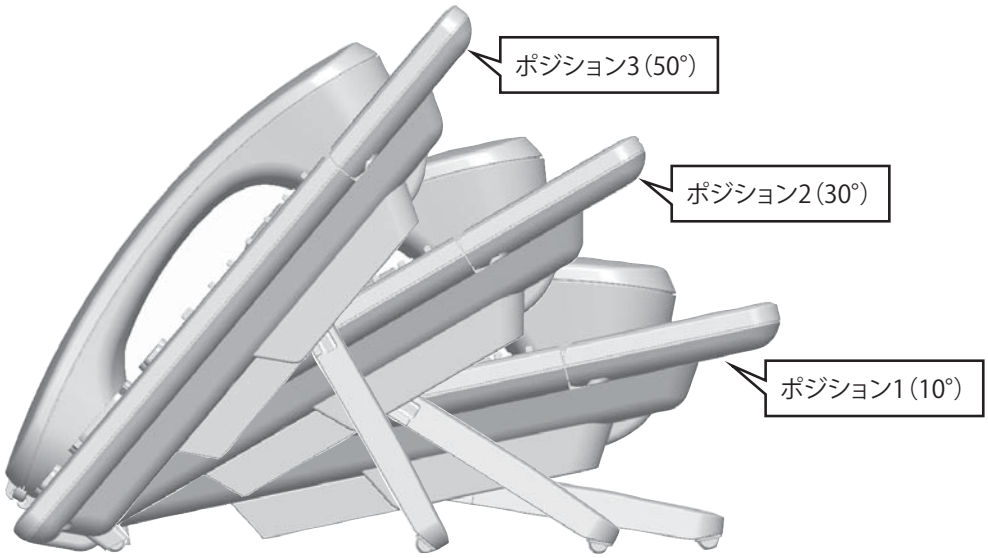
角度調整

ボタン電話機の角度調整

●「SD」、「DHCL」、「IPSD」、「IPBT」、「IPLD」、「IPDHCL」 は、スタンドアームを調整することで角度を調整できます。

■角度調整

スタンドアームを回転させて、電話機の角度を３段階（「IPLD」は４段階、「IPBT」、「IPDHCL」は５段階）で調整できます。



角度調整

「SD」、「DHCL」、「IPSD」の場合

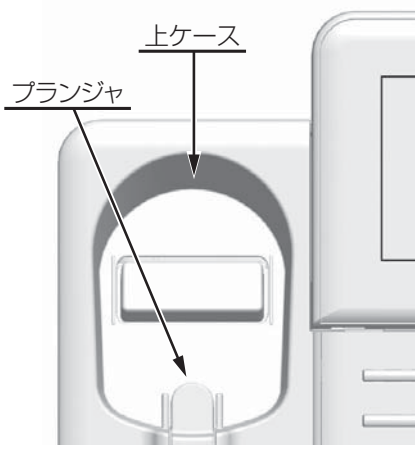
(1) 電話機のスタンドアームを図の矢印の方向に引き出します。操作は必ず両手で行ってください。
(2) そのままスタンドアームを動かしてお好みのポジションに調整します。
(3) スタンドアームを電話機本体に押し込みます。押し込めない場合は、スタンドアームを少し動かして、押し込める位置を探してください。

「IPBT」、「IPLD」、「IPDHCL」の場合

(1) 電話機のスタンドアームの両側を図で示す矢印の方向にスライドさせます。操作は必ず両手で行ってください。
(2) そのままスタンドアームを動かしてお好みのポジションに調整し、スタンドアームのスライドをやめるとスタンドアームがロックされます。
(3) スタンドを立てる方向（本図にて手前側）に動かすときやスタンドを収納するときは、矢印の方向にスライドさせる必要はありません。

ご注意

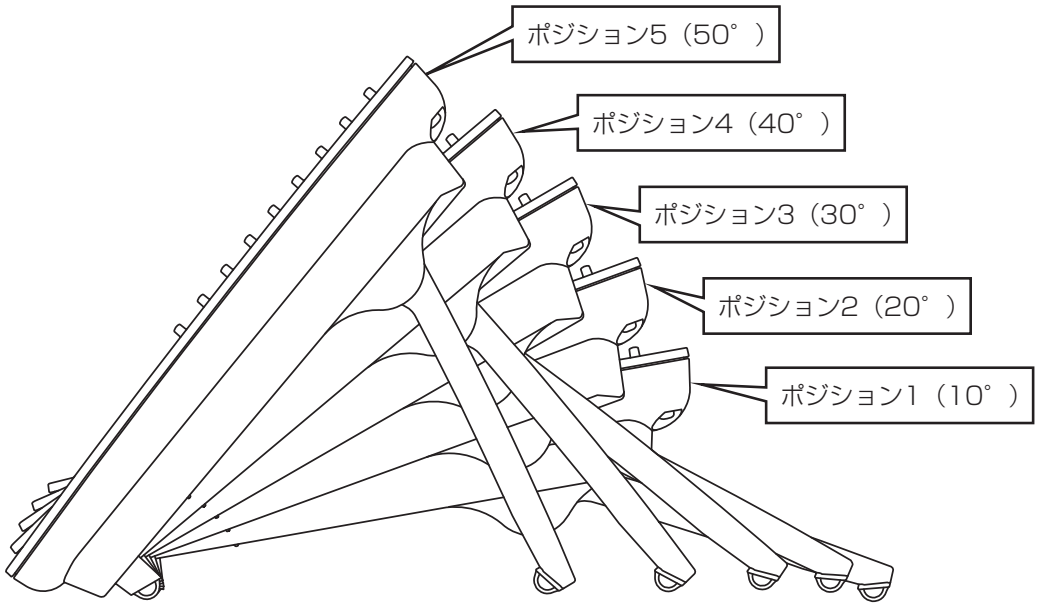
●電話機の角度調整を行う際は、指をはさまないようご注意ください。スタンドアームの可動部に指をはさみ、けがをする恐れがあります。
●角度調整後は、スタンドアームがしっかりと固定されていることを確認してください。
●壁掛け設置で電話機を使用する場合、ハンドセットをとるときは、プランジャに引っ掛からないように上方向にずらしながらとってください。無理にハンドセットをとると、プランジャが破損する原因となることがあります。
●LANケーブルが干渉するため、「IPSD」、「IPBT」、「IPDHCL」はポジション1(10°)にしないでください。



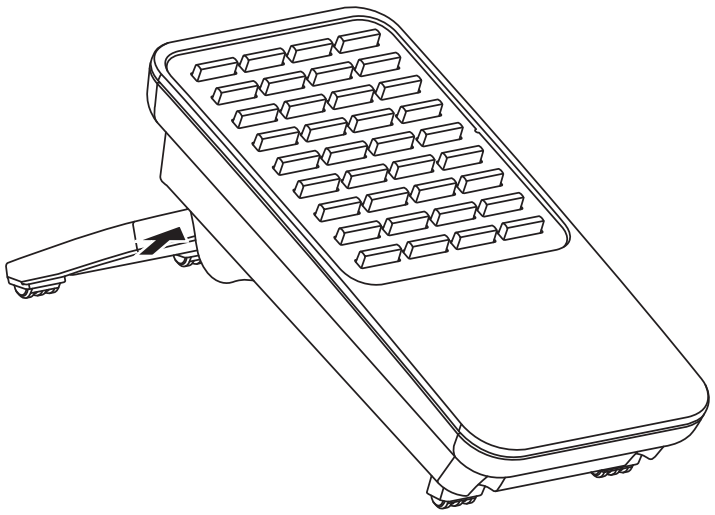
角度調整

多機能コンソールの角度調整

スタンドアームを回転させて、角度を５段階まで調整できます。



（1）多機能コンソールのスタンドアームの両側を図で示す矢印の方向にスライドさせます。
　　操作は必ず両手で行ってください。
（2）そのままスタンドアームを動かしてお好みのポジションに調整し、スタンドアームのスライドをやめるとスタンドアームがロックされます。
※スタンドを立てる方向（本図にて手前側）に動かすときやスタンドを収納するときは、矢印の方向にスライドさせる必要はありません。



ご注意

●角度調整を行う際は、指をはさまないようご注意ください。 スタンドアームの可動部に指をはさみ、けがをする恐れがあります。
●角度調整後は、スタンドアームがしっかりと固定されていることを確認してください。

停電のときのご注意および操作

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

●バッテリーは寿命をすぎると、停電時の稼働ができなくなるばかりでなく、漏液による故障、加熱（発煙）、破裂、火災等の原因となりますので、必ず3年ごとに交換してください。
また、停電が多い場合はバッテリーの寿命が短くなりますので、3年未満でも交換が必要な場合があります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

1. 商用電源が停電（バッテリー接続時にバッテリーからの給電が断たれた場合も含む）および復電の場合
   ①停電時の動作
   ボタン電話機の機能は一切使用できません。
   （1）停電用アダプタが取り付けられた電話機がある場合
   停電用アダプタが取り付けられた電話機から対応する外線の発信、着信通話が可能です。
   （2）停電用アダプタが取り付けられた電話機がない場合
   電話機はご使用できません。
   ②復電した場合
   電話機が使用できるようになります。

2. バッテリーはオプションです。内蔵バッテリーを搭載している場合は、停電時に10～30分間の稼働が可能ですが（稼働時間はシステム構成や使用状況によって変わります）、お客様が使用される回線の種類や機器（コードレス電話機やネットワーク機器など）によっては、使用できない場合があります。外付けバッテリー（主装置のタイプによる）を使っている場合は、停電時に3時間程度の稼働が可能です。
3. バッテリー動作中にバッテリーの電圧が低下したときにアラーム音等を鳴らすことができます。
   また、リモコン（ ）ランプで状態を確認することができます。（停電監視）
   詳しくは、販売店にお問い合わせください。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
652	リモコン01（771）～ リモコン04（774）S リモコン01（771）～ リモコン20（790）LA LB	ET-EXU-Xi （外部にアラーム用機器を接続する場合）

■停電（バッテリー給電）に切り替わったとき

1 バッテリーの電圧が低下すると対応のリモコンがONする

- 対応のリモコン（ ）ランプが点灯します。
- リモコン端子にアラーム用機器が接続されていると、アラーム音が鳴ります。

2 対応リモコンをOFFにするときは、リモコン（ ）ボタンを押す

- リモコン端子にアラーム用機器が接続されていると、アラーム音は停止します。
- 対応のリモコン（ ）ランプは点灯のままです。

■通電（商用給電）に切り替わったとき

1 商用電源給電に切り替わると対応のリモコンがOFFする

- 対応のリモコン（ ）ランプが消灯します。
- リモコン端子にアラーム用機器が接続されていると、アラーム音は停止します。
- 対応のリモコン（ ）ボタンを押してもリモコンはOFFのままです。

補足説明

●リモコン端子を使用するために工事者設定が必要です。［工事者設定652］

注意喚起表示

バッテリーや電話設備の交換時期が来た場合、電話機の待機画面に注意を促す表示を行います。
また、ボタン電話機用のケーブルが一定時間ショートした場合も、注意を促す表示を行います。
表示を行うのは特定の電話機のみ（最大４台）で、工事者設定で解除するまで継続します。
※ディスプレイの表示内容を変更したり、Eメールで通知させることもできます。詳しくは販売店にお問い合わせください。

■バッテリーの交換時期

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
667	−	−

1 工事者設定で指定された日になると注意を促す表示を行う

10月 5日(金) AM10:10
NO.101
中島○郎
【お知らせ】バッテリの交換時期です
着信音量

■電話設備の更新時期

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
667	−	−

1 工事者設定で指定された日になると注意を促す表示を行う

10月 5日(金) AM10:10
NO.101
中島○郎
【お知らせ】電話設備の更新時期です
着信音量

補足説明

- 表示された場合は販売店にお問い合わせください。
- 表示を消す場合は工事者設定が必要です。[工事者設定667]
- メモリバックアップ電池の交換時期も通知できます。[工事者設置667]

■内線ケーブルに異常があったとき

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
670	−	−

1 内線ケーブルに異常（ショート）があると注意を促す表示を行う

7月10日(金) AM10:10
NO.101
中島○郎
【お知らせ】内線ｹｰﾌﾞﾙに異常があります
着信音量

補足説明

- １台でもケーブルのショートが発生すると警告が表示されます。ケーブルのショート状態が解除されると表示は消えます。
- 本画面は、バッテリーの交換時期や電話設備の更新時期の表示よりも優先します。

ご注意

- この表示が出たときは、速やかに販売店に点検を依頼してください。
- 右の表示が出たときは、工事者の設定ミスがあります。販売店に再設定を依頼してください。

7月10日(金) AM10:10
NO.101
中島○郎
未設定外線番号あり
ﾒﾆｭｰ(0-4-2-4)を確認
着信音量

■内線ケーブルに異常がある電話機を確認する

1 メニューから〈内線ｹｰﾌﾞﾙｼｮｰﾄ〉を呼び出す

①[メニュー]を押します。
②「0 その他」を選択し、[決定]を押します。
③「4 ｼｽﾃﾑ管理」を選択し、[決定]を押します。
④「2 障害情報」を選択し、[決定]を押します。
⑤「1 内線ｹｰﾌﾞﾙｼｮｰﾄ」を選択し、[決定]を押します。

〈内線ｹｰﾌﾞﾙｼｮｰﾄ〉
101(101)なし
102(102)230810 2359
103(103)231013 0000
104(104)なし
◀戻る 終了 次頁▶

補足説明

- 収容位置順に表示します。
- 表示内容は下記のとおりです。

102（102）230810 2359
①　②　③　④

①収容位置　②内線番号
③発生年月日（最新）
④時間（最新）

- １画面に電話機４台分の情報が表示されます。[決定]を押すと次の４台分の情報を表示します。また、ダイヤルボタンで収容位置を直接入力して選ぶこともできます。（ディスプレイの右上に入力した値が表示されます）
- 記録された情報は配線の点検・修理が完了後、販売店がクリアします。[工事者設定670]

Siシリーズの電話機を使用する

本システムでは、Siシリーズの電話機を使用することも可能です。

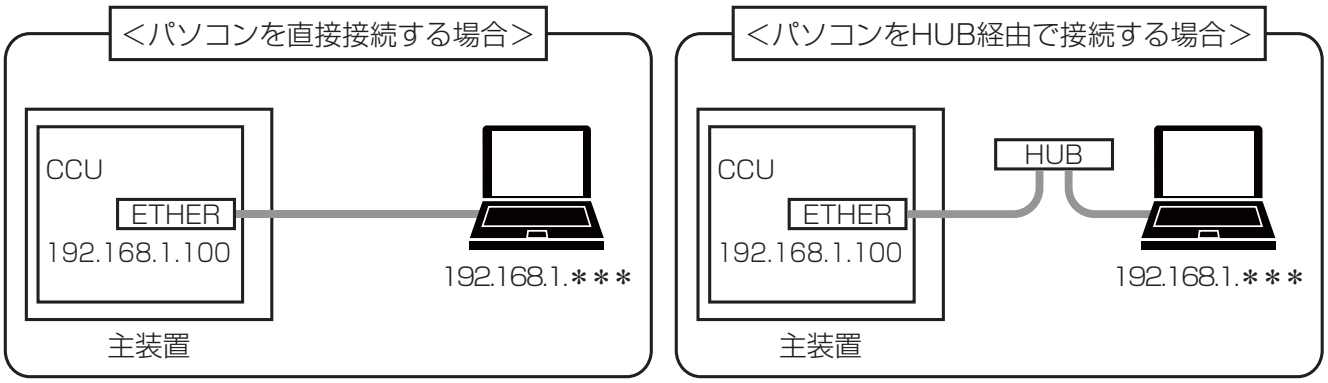
パソコンを使って各種設定を行う（Web設定）

電話帳や各機能の設定をパソコンのブラウザを使って設定することができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
777-1	−	−

■接続方法

下図のように、主装置にパソコンを接続します。



ご注意

- ●電話機や他のパソコンで電話帳編集や各種設定等を行っていないときに、Web設定を行ってください。
  異なった方法で同じ項目を設定した場合は後からの設定が有効になりますので、他の人が入力した電話帳データや設定内容が変更されてしまう場合があります。
- ●主装置のIPアドレスの初期値は「192.168.1.100」になっています。主装置をLAN環境に接続する場合は、主装置のデータ設定が必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- ●使用するパソコンの条件…LANカード／LANボード装着済、ネットワークプロトコルとしてTCP/IPがインストール済
  OSおよびブラウザ：
  ・「Windows® 10 日本語版」「Windows® 11 日本語版」（Windows11 をのぞいて32/64bit版対応）＋Microsoft Edge®
  ※上記ブラウザ以外は使えません。また、ブラウザは最新のバージョンにアップデートしてください。
- ●使用するパソコンのIPアドレスを主装置のIPアドレスと同じセグメントに変更してください。
  例：主装置が「192.168.1.100」の場合は「192.168.1.＊＊＊」を設定します（3オクテットまで同一にする）。
- ●「Microsoft Edge」は下記の設定を行ってください。なお、「Microsoft Edge」のバージョンによって設定項目等の表示内容、ボタン名、画面表示等が異なる場合があります（以降の説明も同様）。
  ①画面右上の［･･･］（「設定など（Alt + F）」）をクリックし、メニューの［設定(S)］をクリックする。
  ②左側の設定メニューから「プライバシー、検索、サービス」をクリックする。
  ③「閲覧データをクリア」の「ブラウザーを閉じるたびにクリアするデータを選択する」をクリックする。
  ④「キャッシュされた画像とファイル」のトグルをオンにする。
- ●ブラウザの拡大率は100%を標準とします。動作環境やブラウザの表示設定等によって、設定欄（リストボックス）の表示桁数が少なくなるなどの影響を受けることがあります。この場合には、ブラウザの拡大率を調整してください。

パソコンを使って各種設定を行う（Web設定）

■ブラウザを使って設定する

主装置を立ち上げた後にパソコンの電源を入れ、下記の手順で設定します。

1 ブラウザを起動し、「アドレス」欄に「主装置のIPアドレス/?edge」を入力し、キーボードの「Enter」を押す

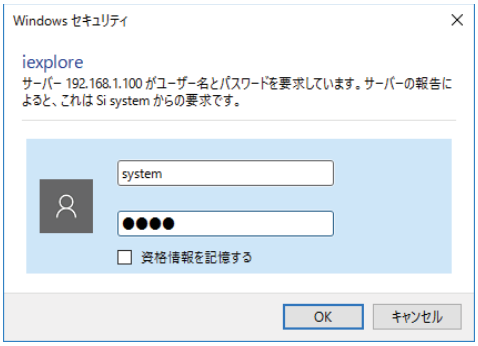
- 主装置のIPアドレスが初期値の場合は「http://192.168.1.100/?edge」と入力します。

2 ユーザ名とパスワードを入力し、OKをクリックする

- ユーザ名とパスワードは下記のとおりです。

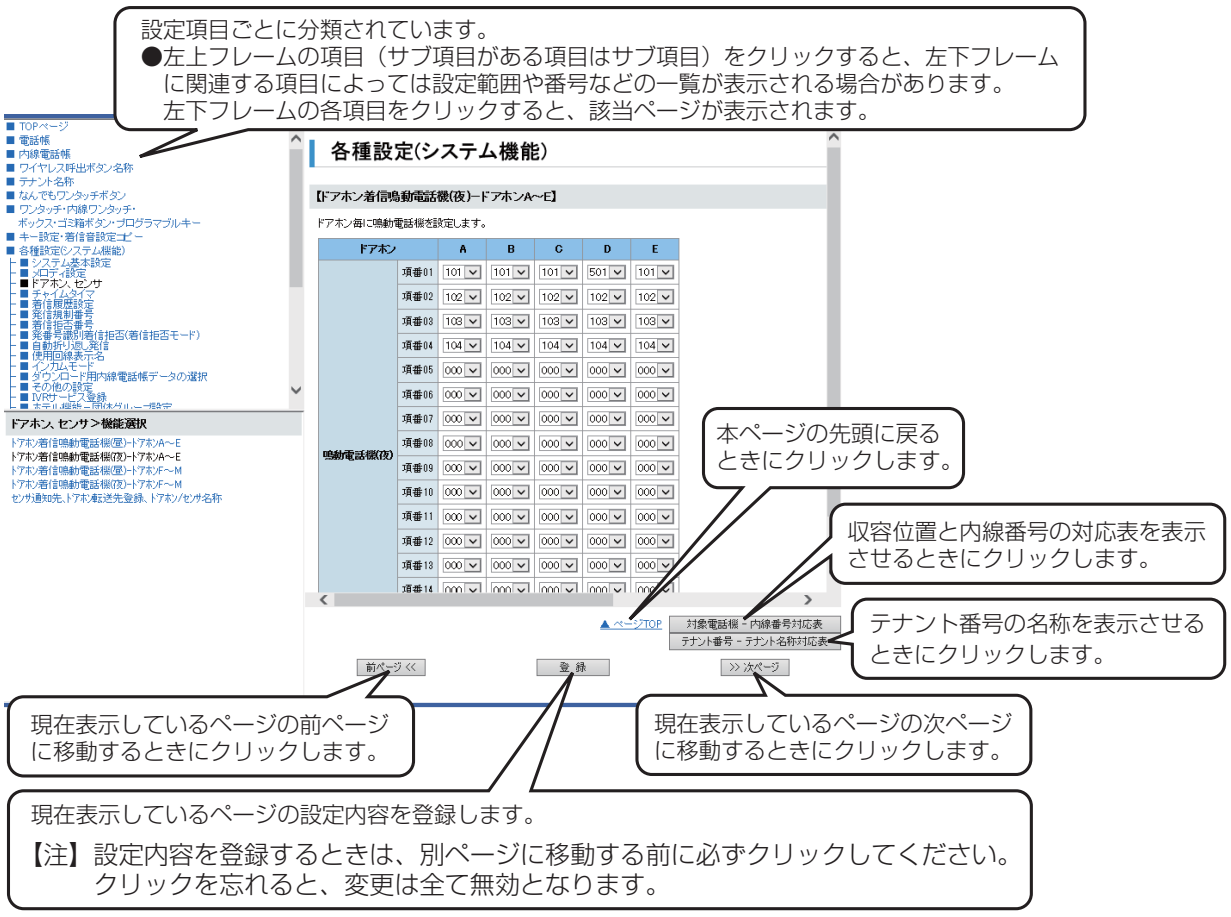
区分	ユーザ名	パスワード
管理者	1～16桁の英数字 （初期値system）	4～16桁の英数字 （初期値0000）
一般 ユーザ	user＊＊＊ （＊＊＊は内線番号1～4桁）	4～16桁の英数字 （初期値0000）

※できるだけ、パスワードを変更して使用してください。
各パスワードは、本設定の中で変更できます。



3 主装置のWeb設定画面が表示される

- 各ページを開くと、現在の主装置側の設定が表示されます。
- 下記にWeb設定画面の構成と基本的な操作方法を説明しています。
- 下記の画面は概略の説明用です。ユーザ区分等により、表示内容は異なります。



パソコンを使って各種設定を行う（Web設定）

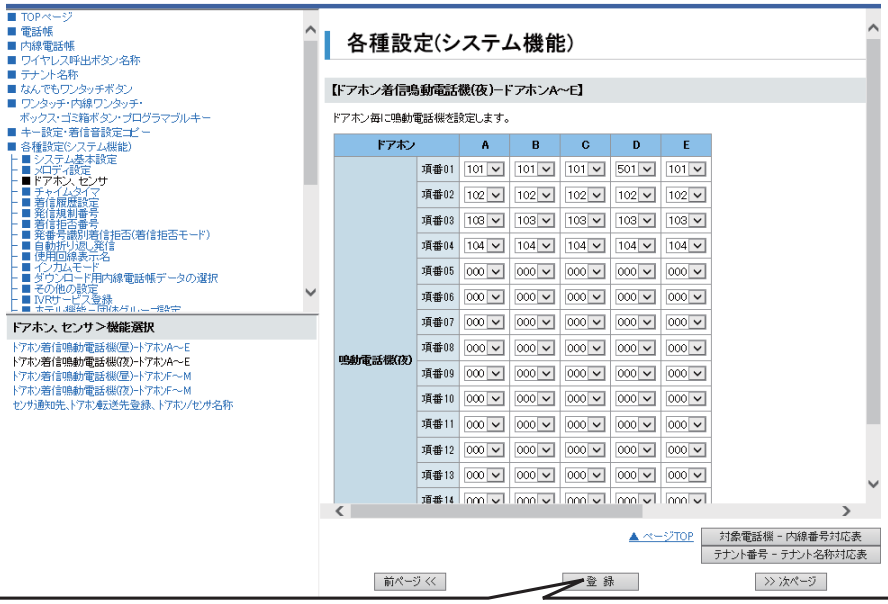
4 必要な項目を設定する

- 下記に示す４種類の入力方法（表示のみを含む）があります。

種類	表示例	操作方法
ラジオボタン	非通知着信履歴有無 ◉なし ○あり	設定する項目をクリックします。 赤色の枠は現在の設定を表します。
リストボックス	項番01 101 101	プルダウン表示される候補を選択します。 変更したところはピンク色で表示します。
エディットボックス	パスワード 0000	数値や文字を直接入力します。設定範囲外のデータを入力できる場合がありますが、エラー表示しませんので、有効な値を入力してください。 変更したところはピンク色で表示します。
表示のみ	101 101	内容は変更できません。 （表示がグレーになっています。）

- 共通電話帳・マイ電話帳に関しての詳細説明は、「■電話帳について」（P9-12）をご覧ください。
- 内線電話帳に関しての詳細説明は、「■内線電話帳について」（P9-14）をご覧ください。
- なんでもワンタッチボタンやワンタッチボタン・内線ワンタッチボタン・ボックスボタン・ゴミ箱ボタンに関しての詳細説明は、「■各種ワンタッチボタンについて」（P9-15）をご覧ください。
- 各種設定に関しての詳細説明は、「■各種設定（システム機能）について」（P9-16）および「■各種設定（電話機ごとの機能）について」（P9-22）をご覧ください。
- Web設定で内線電話機を指定する場合、内線番号ではなく収容位置（初期状態では内線番号と収容位置は同一）となります。
  電話機の収容位置を確認するときは、内線電話帳（P2-34）を利用するか各電話機で i ＋ 8 の操作をします。

5 表示しているページ内の設定が完了したら画面一番下の 登録 をクリックする



現在表示しているページの設定内容を登録します。（登録するとピンク色で表示されていたところは白色になります）
【注】設定内容を登録するときは、別ページに移動する前に必ずクリックしてください。
クリックを忘れると、変更は全て無効となります。

6 すべての設定が終了したらブラウザを終了する

■電話帳について

ログインするユーザ名によって、画面構成が異なります。

●管理者でログインした場合・・・

- 共通電話帳とマイ電話帳は短縮番号順に混在して表示されます。
- 下記の項目の表示や入力が可能です。電話機からの入力と同様に各項目を入力してください。

項目		内容	備考
短縮番号		0000～9999までの番号が表示されます。	入力不可
名前		全角10文字、半角20文字	
ヨミガナ		半角20文字	必ず入力すること
電話番号1		最大24桁の半角数字と半角文字 （＊、#、P、M、-）	
電話番号2			
電話番号3			
外線グループ番号1		00（指定なし）および01～16から選択	初期値＝00
外線グループ番号2			
外線グループ番号3			
番号種別1		下記のいずれかを選択 「指定なし」「代表番号」「携帯電話」 「ダイヤルイン」「FAX」	初期値＝指定なし
番号種別2			
番号種別3			
相手区分		01～30から選択	初期値＝01
マイ電話帳登録電話機		電話機の収容位置	初期値＝000
付加情報	表示モード	下記のいずれかを選択 「付加情報なし」「電話帳詳細」 「前着信履歴」「ユーザ定型文」	初期値＝「付加情報なし」
	定型文1（＊）	000～999を入力	初期値＝000
	定型文2（＊）	000～999を入力	初期値＝000
用途番号設定		00～20：グループ電話帳番号 99：マイ電話帳	初期値＝00

＊：表示モードが「ユーザ定型文」のときに、表示させたい付加情報定型文の番号を入力します（000を入力すると何も表示しません）。

※マイ電話帳は収容位置1つにつき最大30件です。制限を超えた場合は登録できません。

※マイ電話帳は相手区分、番号種別、付加情報は使用しません。

パソコンを使って各種設定を行う（Web設定）

●一般ユーザでログインした場合・・・

- 共通電話帳とマイ電話帳は別々に表示し、短縮番号順に表示します。なお、ログインしたユーザ名の内線番号が共通電話帳編集用電話機でない場合、共通電話帳の表示／編集はできません。
- マイ電話帳はログインしたユーザ名に対応する電話機用のみ表示／編集が可能です。
- 下記の項目の表示や入力が可能です。電話機からの入力と同様に各項目を入力してください。

項目		内容	備考
短縮番号		0000～9999までの番号が表示されます	入力不可
名前		全角10文字、半角20文字	
ヨミガナ		半角20文字	必ず入力すること
電話番号1		最大24桁の半角数字と半角文字 （＊、#、P、M、-）	
電話番号2			
電話番号3			
外線グループ番号1		00（指定なし）および01～16から選択	初期値＝00
外線グループ番号2			
外線グループ番号3			
番号種別1		下記のいずれかを選択 「指定なし」「代表番号」「携帯電話」 「ダイヤルイン」「FAX」	初期値＝指定なし
番号種別2			
番号種別3			
相手区分		01～30から選択	初期値＝01
マイ電話帳登録電話機		電話機の収容位置	入力不可
付加情報	表示モード	下記のいずれかを選択 「付加情報なし」「電話帳詳細」 「前着信履歴」「ユーザ定型文」	初期値＝「付加情報なし」
	定型文1（＊）	000～999を入力	初期値＝000
	定型文2（＊）	000～999を入力	初期値＝000
用途番号設定		00～20：グループ電話帳番号	入力不可

＊：表示モードが「ユーザ定型文」のときに、表示させたい付加情報定型文の番号を入力します（000を入力すると何も表示しません）。

※マイ電話帳は相手区分、番号種別、付加情報、マイ電話帳登録電話機、用途は表示されません。

※マイ電話帳では、新規に登録する短縮番号は自動的に割り当てられます。登録後の画面で短縮番号欄に割り当たった短縮番号が表示されます。

ご注意

●電話機で電話帳を登録したときに電話帳の名前に携帯電話マーク（ ）が登録されていると、正常に表示できません。変更を行わずにそのまま登録すると、元の名前のままとすることができます。

●登録済みの電話帳の内容を変更したり削除する場合は、電話機で電話帳を使用していないときに行ってください。電話機で選択している短縮番号が変更／削除されると、表示とは異なる番号に発信したり発信できなかったりします。

■内線電話帳について

下記の項目の表示や入力が可能です。電話機からの入力と同様に各項目を入力してください。

項目	内容	備考
収容位置	電話機の収容位置が表示されます。	入力不可
機能番号	特番または仮想内線番号の機能番号（001～096）が表示されます。	入力不可
特番	現在設定されている特番が表示されます。	入力不可
内線番号	工事者設定した内線番号が表示されます。	入力不可
内線名称	全角10文字、半角20文字	
ヨミガナ	半角20文字	必ず入力すること

補足説明

●内線一般着信（P2-55）を利用している場合は、仮想内線番号（内線一般着信の内線番号）に対しても内線名称を登録することができます。

■ワイヤレス呼出ボタン名称について

各収容位置それぞれにボタンA～ボタンHの名称が登録できます。
（管理者でログインした場合のみ設定できます）

項目	内容	備考
収容位置	電話機の収容位置が表示されます。	入力不可
内線番号	電話機の内線番号が表示されます。	入力不可
内線名称	電話機の内線名称が表示されます。	入力不可
ボタンA名称	全角4文字、半角8文字	
ボタンB名称	全角4文字、半角8文字	
ボタンC名称	全角4文字、半角8文字	
ボタンD名称	全角4文字、半角8文字	
ボタンE名称	全角4文字、半角8文字	
ボタンF名称	全角4文字、半角8文字	
ボタンG名称	全角4文字、半角8文字	
ボタンH名称	全角4文字、半角8文字	

■テナント名称について

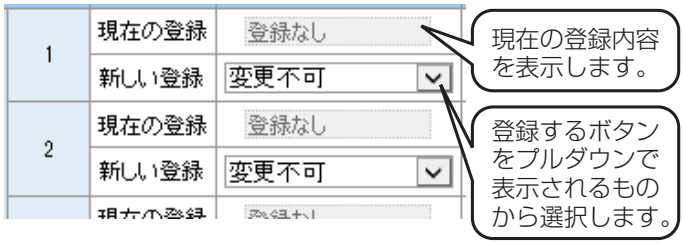
テナントそれぞれに名称が登録できます。
（管理者でログインした場合のみ設定できます）

項目	内容	備考
テナント番号	テナント番号が表示されます。	入力不可
テナント名称	全角8文字、半角16文字	

■各種ワンタッチボタンについて

●なんでもワンタッチボタン

電話機からの登録と異なり、選択できるボタンの種類が限られています。電話機からのみ登録可能なボタンが既に登録されている場合は、「新しい登録」欄に「変更不可」が表示されます。「新しい登録」欄にはリストボックスに表示されるボタン（右の表に示す項目を含む）のみ登録が可能です。

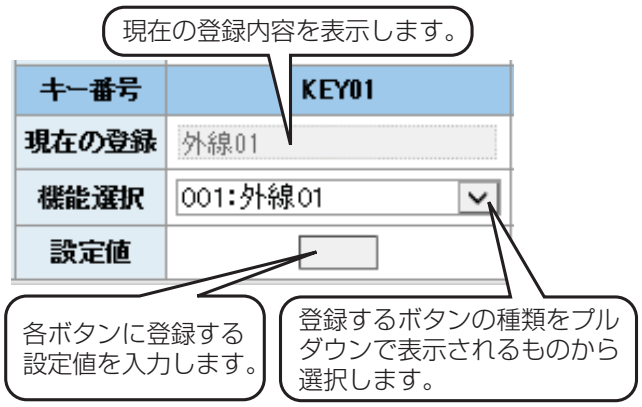


ボタン以外の項目	備考
登録なし	操作を登録しません。 「登録なし」を登録した箇所以降の操作は無視されます。
変更不可	現在の登録のままとします。

●ワンタッチダイヤルボタン、内線ワンタッチ（DSS/BLF）ボタン、内線ボックスボタン、プログラマブルキー、ゴミ箱ボタン

現在の登録内容が別枠で表示されます。

リストボックスに表示される機能（下表参照）を選択し、設定値を入力します。



機能選択	設定値	備考
変更なし	−	現在の登録内容のままとするときに選択します。
000：機能なし	−	現在の登録を消去します。
001～999：	−	プログラマブルキーを登録します。
ワンタッチダイヤル	短縮番号（4桁）	ワンタッチダイヤルボタンを登録します。
内線ワンタッチ	内線番号（1～4桁） 特番（1～4桁）	内線ワンタッチダイヤルボタンを登録します。
ボックス	内線番号（1～4桁）	内線ボックスボタンを登録します。
留守録ゴミ箱	留守録ゴミ箱番号 （01～48）	留守録ゴミ箱ボタンを設定します。
内線BOXゴミ箱	内線BOXゴミ箱番号 （1～4桁）	内線BOXゴミ箱ボタンを設定します。

※短縮ダイヤル発信時に押す短縮番号の桁数を1～3桁に変更することもできますが（P3-19）、ワンタッチダイヤルボタンは4桁の短縮番号を登録します。

■各種設定（システム機能）について

電話帳・内線電話帳・各種ワンタッチボタン以外に、以下の表に示すシステム機能を設定することができます。工事者設定の項目が含まれていますが、お客様が設定しても支障のない項目をWeb画面で設定することができます。各項目の画面での説明は省略しておりますが、電話機のメニュー機能と同様に各項目を設定してください。

※管理者でログインした場合と一般ユーザでログインした場合では、設定できる項目が異なります。
※電話機のメニュー機能でも設定可能な項目は「概要」欄に手順（＜メニュー→5→2→2相当＞など）を記載しています。各設定項目に関連する機能説明や操作説明に関しては、「メニュー機能の一覧」（P1-4）の「記載ページ」欄に記載のページをご覧ください。
※表中の概要に記載の選択項目は、機能追加等で追加や変更となる場合がありますので、実際の画面とは内容が異なる場合があります。

システム機能（1/6）

項目	サブ項目	管理者	一般	概要
システム基本設定	カレンダー	○	○	カレンダーを設定します。 ・年（西暦下2桁）、月（2桁）、日（2桁）を入力します。曜日は自動的に決定し、入力できません。 ＜メニュー→5→2→2相当＞
	時計調整	○	○	時計を調整します。 ・24時間制で時（2桁）、および分（2桁）を入力します。 ＜メニュー→5→2→1相当＞
	時計表示方法	○	×	時刻表示を12時間制とするか24時間制とするかを設定します。
	電話番号登録	○	×	契約電話番号（複数ある場合は代表番号）を入力します。 ・クリアすることはできません。 ＜メニュー→0→4→3相当＞
	外線ダイヤル種別	○	×	外線ごとにダイヤル種別を設定します。（＊1） ・「ダイヤル回線（10PPS）」／「ダイヤル回線（20PPS）」／「プッシュ回線（PB）」から選択します。 ＜メニュー→0→4→4→2相当＞
	ユーザ用パスワード	○	×	外からのリモート操作等で使用するパスワードを設定します。 ・4桁の数字で入力します。「00」を入力するとクリアされます。 ＜メニュー→0→5→1相当＞
メロディ設定	メロディ選曲	○	×	メロディ着信音や保留音で使用する曲を選択します。 ＜メニュー→5→3→2相当＞
	保留音選択	○	×	保留音として使用するメロディ番号を選択します。 ＜メニュー→5→3→3相当＞

「管理者」は管理者でログインした場合、「一般」は一般ユーザでログインした場合
○：設定対象　×：設定対象外
＊1：設定できる外線番号は主装置の種類によって異なります。
S：01～08
LA：01～48
LB：01～96

パソコンを使って各種設定を行う（Web設定）

システム機能（2/6）

項目	サブ項目	管理者	一般	概要
ドアホン、センサ	ドアホン着信鳴動電話機	○	×	各ドアホンの鳴動電話機を設定します。（＊2） ・鳴動電話機（昼）および鳴動電話機（夜）の収容位置を選択します（クリアは「000」を選択）。
	センサ通知先	○	×	各センサの検出時に鳴動する電話機を設定します。（＊2） ・項番1～3（外線）には、外線自動発信番号（初期値0、最大4桁）および電話番号（最大16桁）を入力します。「000」を入力すると電話番号はクリアされます。 ・項番4～6（内線）には、鳴動電話機の収容位置を選択します（クリアは「000」を選択）。内線一斉（999）や内線グループ呼出（001～048）の選択も可能です。 <メニュー→5→0→1相当>
	ドアホン転送先登録	○	×	ドアホン着信時に外線に転送する場合、呼び出す電話機の電話番号（最大16桁）を設定します。外線自動発信番号（初期値0、最大4桁）の入力も可能です。 ・「000」を入力すると電話番号はクリアされます。 <メニュー→5→0→5相当>
	ドアホン／センサ名称	○	×	ドアホンとセンサの名称を登録します。 ・全角5文字、半角10文字まで入力できます。 <メニュー→5→0→6相当>
チャイムタイマ		○	×	チャイムタイマを登録します。 ・時刻は4桁（24時間制）で入力します。 ・時刻欄に「00」を入力すると登録をクリアします。 ・以下の音源を選択したときは、それぞれの項目を入力してください。 チャイム音01～10　：鳴動回数 メロディ 1～3　：送出時間（秒） システム応答メッセージ：応答メッセージ番号、鳴動回数 <メニュー→5→0→8相当>
着信履歴設定	着信履歴表示範囲	○	×	システム全体の着信履歴表示可能範囲を設定します。 ・「表示なし」／「グループ内のみ表示」／「全て表示」から選択します。
	非通知着信の履歴	○	×	非通知着信の着信履歴への登録の「あり」／「なし」を設定します。 <メニュー→5→0→4相当>
	マイ発着信履歴の公開範囲	○	×	マイ発着信履歴の公開範囲を選択します。（＊2） ・「非公開」／「グループ内のみ公開」／「システム内公開」から選択します。
発信規制番号		○	×	発信を規制する電話番号（最大24桁）を設定します。 ・電話番号を消去するとクリアされます。 <メニュー→5→8→3相当>
着信拒否番号		○	×	着信を拒否する電話番号（最大16桁）を設定します。 ・電話番号を消去するとクリアされます。 <メニュー→5→8→1相当>
発番号識別着信拒否（着信拒否モード）		○	×	発番号識別着信拒否の拒否モードを設定します。 ・「話中音送出」／「メッセージ送出」から選択します。 <メニュー→5→8→2相当>

「管理者」は管理者でログインした場合、「一般」は一般ユーザでログインした場合

○：設定対象　×：設定対象外

＊2：電話機を接続できる収容位置は主装置のタイプによって異なります。
電話機を接続した収容位置を選択してください。

システム機能（3/6）

項目	サブ項目	管理者	一般	概要
自動折り返し発信	自動折り返し発信機能の有無	○	×	自動折り返し発信機能を設定します。 ・「ON」／「OFF」を選択します。 ＜メニュー→3→0→3相当＞
	折り返し発信対象番号	○	×	自動折り返し発信機能を適用する電話番号（最大16桁）を設定します。 ・「0」を入力すると電話番号はクリアされます。 ＜メニュー→5→8→6相当＞
使用回線表示名	使用回線表示方法	○	×	使用回線種別のLCD表示を外線種別表示（ISDN、アナログ、等）とするか、「回線名称登録」で登録した名称とするかを設定します。（＊1） ・「外線種別表示」／「設定文字表示項番01」～「設定文字表示項番48」から選択します。 ＜メニュー→0→4→5→1相当＞
	回線名称登録	○	×	LCDに表示する回線名称を登録します。 ・全角6文字、半角12文字まで入力できます。 ＜メニュー→0→4→5→2相当＞
インカムモード	インカムグループの内線数	○	×	インカムモードの通話に参加する内線数（00～32）を設定します。 ＜メニュー→5→9→1相当＞
	インカムグループの内線登録	○	×	インカムモードの通話に参加する内線電話機を登録します。 ＜メニュー→5→9→2相当＞
	インカムモード着信応答時の送話有無	○	×	インカムモードで応答したときの送話ミュートの設定をします。 ＜メニュー→5→9→5相当＞
ダウンロード用内線電話帳データの選択		○	×	PHSにダウンロードする内線電話帳データを選択します。（＊3） ・メモリ番号に000～999を入力するとダウンロード対象として登録されます。 ・電話帳ダウンロード範囲の設定によっては内線電話帳用のメモリ番号が限定されるため、入力したメモリ番号によってはダウンロードできない場合があります。 ・メモリ番号に0を入力すると登録が解除されます。 ・同一の電話機グループ内では、メモリ番号は重複設定できません。 ＜メニュー→0→4→8→1相当＞
その他の設定	FAX受信ボタン登録	○	×	FAX受信 ボタンに対応させるFAXの収容位置を設定します。（＊3） ・「000」を選択するとクリアされます。 ＜メニュー→5→0→2相当＞
	転送元アナウンス有無	○	×	転送電話や不在転送（外線への転送）で転送先が応答時に、転送電話であることを音声ガイダンスで通知する機能を設定します。 ・「なし」／「あり」から選択します。 ＜メニュー→5→5→8相当＞
	設定完了アナウンス有無	○	×	留守切替、夜間切替、留守番モードの変更等を行ったときの設定完了アナウンスの送出の有無を設定します。 ・アナウンス有無で「あり」の場合は、送出する条件も含めて選択します。 ＜メニュー→5→5→9相当＞

「管理者」は管理者でログインした場合、「一般」は一般ユーザでログインした場合

○：設定対象　×：設定対象外

＊3：電話機を接続できる収容位置は主装置のタイプによって異なります。
　　電話機を接続した収容位置を選択してください。

パソコンを使って各種設定を行う（Web設定）

システム機能（4/6）

項目	サブ項目	管理者	一般	概要	
IVRサービス登録		○	×	IVRで応答したときの応答メッセージ番号およびサービス番号と対応する機能番号やサービス名称（2-1版～）を設定します。 ・入力する機能番号と応答メッセージは一覧で確認できます。 ・登録された内容を確認することもできます。 ・サービス番号は必要な階層以外は「なし」を設定してください。 ・サービス名称は、全角10文字、半角20文字まで入力できます。 ＜メニュー→5→6→5相当＞	
ホテル機能－団体グループ設定		○	×	客室の団体グループ（未設定、01～16）を設定します。 ＜メニュー→9→6相当＞	
留守番機能切替（＊5）	留守切替	×	○	留守切替の「ON」／「OFF」を選択します。 ＜メニュー→3→1相当＞	
	夜間切替	×	○	夜間切替のモードを選択します。 ・「昼」／「夜間」／「深夜」／「休日」から選択します。 ＜メニュー→3→2相当＞	
	留守モード切替	×	○	留守番機能の各モードを選択します。（＊6）	＜メニュー→5→5→1相当＞
	転送先切替	×	○	転送先1カ所目（01～14）および転送先2カ所目（01～14）を選択します。（＊7）	
	留守録モード応答メッセージ切替	×	○	応答メッセージ番号（1～6）を選択します。（＊8）	
	応答専用モード応答メッセージ切替	×	○	応答メッセージ番号（1～6）を選択します。（＊8）	
	発信者選択モード応答メッセージ切替	×	○	応答メッセージ番号（1～6）を選択します。（＊8）	
	留守録通知	×	○	留守録通知の「ON」／「OFF」を選択します。 ＜メニュー→3→3相当＞	
	留守録通知先	×	○	留守録通知先（01～07）を選択します。（＊9）	
	留守録応答時間	×	○	「留守録モード」で外線着信後にボイスメモが自動応答するまでの時間を設定します。 ・「0秒」～「30秒」（3秒単位）から選択します。 ＜メニュー→5→5→5相当＞	
留守番機能電話番号登録（＊5）	転送電話の転送先電話番号の登録	×	○	転送電話の転送先電話番号を登録します。 ・電話番号は「前半」に入力し（最大12桁）、12桁を超える場合は「後半」に続きを入力してください（最大12桁）。 ・「前半」に「0」を入力するとクリアされます。 ＜メニュー→5→5→3相当＞	
	留守録用件録音時の録音通知先電話番号	×	○	用件が録音されたときに呼び出す電話番号（最大16桁）を登録します。 ・「0」を入力するとクリアされます。 ＜メニュー→5→5→4相当＞	
特定者留守モード＜電話番号指定＞（＊5）	特定者電話番号	×	○	特定者の電話番号（最大16桁）を登録します。 ・「0」を入力するとクリアされます。	特定者電話番号を設定した項番に合わせて他の項目も設定します。 ＜メニュー→5→5→2→1相当＞
	留守モード・転送先切替	×	○	留守番機能のモードを選択します。（＊6） 転送先1カ所目（01～14）および転送先2カ所目（01～14）を選択します。（＊7）	
特定者留守モード＜相手区分指定＞（＊5）	留守モード・転送先切替	×	○	留守番機能のモードを選択します。（＊6） 転送先1カ所目（01～14）および転送先2カ所目（01～14）を選択します。（＊7）	＜メニュー→5→5→2→2相当＞

「管理者」は管理者でログインした場合、「一般」は一般ユーザでログインした場合

○：設定対象　×：設定対象外

システム機能（5/6）

項目	サブ項目	管理者	一般	概要
夜間切替タイマ<曜日毎>（＊5）		○	○	・曜日ごとの夜間切替タイマを登録します。（＊4） <メニュー→5→0→3→1相当>
夜間切替タイマ<特定日（毎年）>（＊5）		○	○	・特定日（毎年）の夜間切替タイマを登録します。（＊4） <メニュー→5→0→3→2相当>
夜間切替タイマ<特定日（年指定）>（＊5）		○	○	・特定日（年指定）の夜間切替タイマを登録します。（＊4） <メニュー→5→0→3→3相当>
非通知着信拒否（＊10）	非通知着信拒否機能の有無	×	○	非通知着信拒否の「ON」／「OFF」を選択します。 <メニュー→3→4相当>
	非通知着信拒否の拒否モード	×	○	非通知着信拒否の拒否モードを設定します。 ・「話中音送出」／「メッセージ送出」から選択します。 <メニュー→5→7→1相当>
	非通知着信拒否の着信種別	×	○	非通知着信拒否を利用するとき、拒否する非通知の種別を設定します。 ・「非通知」／「公衆電話」／「表示圏外」それぞれに「拒否OFF」／「拒否ON」のいずれかを選択します。 <メニュー→5→7→3相当>
外線お待たせメッセージ（＊10）	外線お待たせメッセージ機能の有無	×	○	外線お待たせメッセージ機能の「ON」／「OFF」を選択します。 <メニュー→3→6相当>
	外線お待たせメッセージの保留時間	×	○	外線お待たせメッセージ機能で自動応答してメッセージ送出後、切断処理を行うまでの保留時間を設定します。 ・「0秒」～「80秒」（10秒単位）または「30分」から選択します。 <メニュー→5→4→1相当>
	外線お待たせメッセージの自動解除時間	×	○	外線お待たせメッセージが自動的に解除されるまでの時間を設定します。（＊12） ・「1時間」～「9時間」（1時間単位）または「解除なし」から選択します。

＊4：管理者でログインした場合は、全てのテナントの設定が可能です。

＊5：ログインユーザ名の収容位置がモード切替用電話機でない場合、本項目は設定できません。設定対象は、モード切替用電話機の対象テナント番号となります。

＊6：画面にはモード番号でなく下記のモード名を表示します。数字と＝は説明用で、画面には表示されません。
01 ＝転送電話　02 ＝追っかけ転送　03 ＝ツイン転送　04 ＝不応答後転送　05 ＝不応答後追っかけ転送
06 ＝不応答後ツイン転送　07 ＝留守録　08 ＝応答専用　09 ＝話中　10 ＝転送/留守録　11 ＝通常着信
12 ＝留守録＋転送

＊7：メニュー機能と異なり、留守モードに関係なく転送先1カ所目と転送先2カ所目の選択が可能です。
転送先は番号（01～14）および名前（共通電話帳に登録した名前）が表示され、名前がない場合は電話番号が表示されます。

＊8：固定メッセージを割り当ててあるメッセージ番号には、メッセージ内容の先頭の部分が表示されます。
録音メッセージが割り当ててあるメッセージ番号は“録音メッセージ”が表示されます。
また、メッセージの割り当てがないメッセージ番号は“未設定”が表示されます。

＊9：留守録通知先は番号（01～07）および名前（共通電話帳に登録した名前）が表示され、名前がない場合は電話番号が表示されます。

＊10：ログインユーザ名の収容位置がモード切替用電話機でない場合、本項目は設定できません。設定対象は、モード切替用電話機の対象テナント番号となります。（「外線お待たせメッセージの自動解除時間」を除く）

パソコンを使って各種設定を行う（Web設定）

システム機能（6/6）

項目	サブ項目	管理者	一般	概要
着信識別設定（＊11）		×	○	共通電話帳の相手区分および非通知理由（「非通知」／「公衆電話」／「表示圏外」）ごとに着信識別機能を設定します。 ・「着信音」は「着信音識別なし」／「着信音（35種）」から選択します。 ・「着信ランプ色」は「カラー識別なし」／「各色（9種）」から選択します。（＊13） ・「優先着信／応答の有無」は「優先着信・応答なし」／「優先着信・応答あり」から選択します（相手区分）。 ＜メニュー→5→3→1相当＞
リモート操作用電話機		○	×	リモート操作が可能な電話番号（最大16桁）を設定します。 「発信者電話番号」欄に「0」を入力するとクリアされます。 ＜メニュー→5→8→5相当＞
外線通話録音登録先（相手電話番号毎指定）		○	×	通話相手の電話番号に対応する録音保存先内線BOXを登録します。 ＜メニュー→6→4→1相当＞
ワイヤレスセンサ	ワイヤレス開閉センサ開き検知時の呼出有無	○	×	開閉センサが開きを検知したときの、電話機の呼出有無を設定します。
	ワイヤレス人感センサ動き検知時の呼出有無	○	×	人感センサが動きを検知したときの、電話機の呼出有無を設定します。
	ワイヤレス温湿度センサ室温警戒時の呼出有無	○	×	温湿度センサが警戒レベルを超えたことを検知したときの、電話機の呼出有無を設定します。
	ワイヤレス開閉センサの電話機呼出時間帯設定	○	×	開閉センサが開きを検知したときの、時間帯（昼／夜）による電話機の呼出有無を設定します。
	ワイヤレス人感センサの電話機呼出時間帯設定	○	×	人感センサが動きを検知したときの、時間帯（昼／夜）による電話機の呼出有無を設定します。
	ワイヤレス温湿度センサの電話機呼出時間帯設定	○	×	温湿度センサが警戒レベルを超えたことを検知したときの、時間帯（昼／夜）による電話機の呼出有無を設定します。
	ワイヤレス開閉センサの電話機呼出規制時間	○	×	開閉センサで電話機を呼び出したあと、次回呼出までの無効時間を設定します。
	ワイヤレス人感センサの電話機呼出規制時間	○	×	人感センサで電話機を呼び出したあと、次回呼出までの無効時間を設定します。
	ワイヤレス温湿度センサの電話機呼出規制時間	○	×	温湿度センサで電話機を呼び出したあと、次回呼出までの無効時間を設定します。

「管理者」は管理者でログインした場合、「一般」は一般ユーザでログインした場合

○：設定対象　×：設定対象外

＊11：ログインユーザ名の収容位置が共通電話帳編集用電話機でない場合、本項目は設定できません。
設定の対象はログインしたユーザ名の所属する電話機グループのグループ電話帳になります。

＊12：解除時間はシステム一括設定のため、変更すると他のテナントも変更となります。

＊13：「着信音」に「着信音識別なし」を選択し、「着信ランプ色」に「カラー識別なし」を選択した場合、「優先着信／応答」（相手区分）は「なし」を選択してください。他の項目を選択した場合、設定前の状態のままとなります。

■各種設定（電話機ごとの機能）について

電話帳・内線電話帳・各種ワンタッチボタン以外に、以下の表に示す電話機ごとの機能を設定することができます。工事者設定の項目が含まれていますが、お客様が設定しても支障のない項目をWeb画面で設定することができます。各項目の画面での説明は省略しておりますが、電話機のメニュー機能と同様に各項目を設定してください。

※管理者でログインした場合と一般ユーザでログインした場合では、設定できる項目や設定範囲が異なります。
※電話機のメニュー機能でも設定可能な項目は「概要」欄に手順（＜メニュー→4→2→3相当＞など）を記載しています。各設定項目に関連する機能説明や操作説明に関しては、「メニュー機能の一覧」（P1-4）の「記載ページ」欄に記載のページをご覧ください。
※表中の概要に記載の選択項目は、機能追加等で追加や変更となる場合がありますので、実際の画面とは内容が異なる場合があります。

電話機ごとの機能（1/3）

項目	サブ項目	管理者	一般	概要
基本設定	キー押し確認音	×	○	キー押し確認音の有無を設定します。 ・「なし」／「あり」から選択します。 ＜メニュー→4→2→3相当＞
	内線パスワード	×	○	通話録音を再生するときなどに使用するパスワードを設定します。 ・4桁の数字で入力します。 ・「0000」を設定するとパスワードは不要となりますが、Web設定（本機能）でログインするときのパスワードは「0000」となります。 ＜メニュー→4→5相当＞
外線別着信音設定（昼）（＊1）		○	○	どの外線に対して着信鳴動するかを設定すると共に、着信鳴動させる場合は着信音の種類を選択します。（＊2） ＜メニュー→4→2→1相当＞
外線別着信音設定（夜）（＊1）		○	○	夜間切替後、どの外線に対して着信鳴動するかを設定すると共に、着信鳴動させる場合は着信音の種類を選択します。（＊2） ＜メニュー→4→2→1相当＞
DILIN別着信音設定（昼）（＊1）		○	○	どのDILIN番号に対して着信鳴動するかを設定すると共に、着信鳴動させる場合は着信音の種類を選択します。（＊2） ＜メニュー→4→2→1相当＞
DILIN別着信音設定（夜）（＊1）		○	○	夜間切替後、どのDILIN番号に対して着信鳴動するかを設定すると共に、着信鳴動させる場合は着信音の種類を選択します。（＊2） ＜メニュー→4→2→1相当＞
内線着信音設定		×	○	内線着信音の種類を選択します。 ＜メニュー→4→2→2相当＞

「管理者」は管理者でログインした場合、「一般」は一般ユーザでログインした場合
○：設定対象　×：設定対象外

＊1：管理者でログインした場合は全電話機の設定が可能ですが、一般ユーザでログインした場合はユーザ名の収容位置に対応する電話機のみ設定できます。
＊2：「00」を設定すると「着信なし」となります。「99」は「無鳴動」で着信音は鳴らずに着信状態となりますので、ナンバー・ディスプレイ表示は可能です（ナンバー・ディスプレイ利用時）。

電話機ごとの機能（2/3）

項目	サブ項目	管理者	一般	概要
表示設定	待機時録音件数表示	×	○	待機時に通話録音の件数表示の有無を設定します。 ・「なし」／「あり」から選択します。 ＜メニュー→4→3→3相当＞
	縦倍角表示	×	○	文字の縦倍角表示の有無を設定します。 ・「なし」／「あり」から選択します。 ＜メニュー→4→3→4相当＞
	発信履歴初期画面	×	○	発信履歴を表示したときの表示方法を選択します。 ・「履歴の種類」と「表示方法」について、それぞれの項目を選択します。 ＜メニュー→4→3→6→1相当＞
	外線着信履歴初期画面	×	○	外線着信履歴を表示したときの表示方法を設定します。 ・「履歴の種類」と「表示方法」について、それぞれの項目を選択します。 ＜メニュー→4→3→6→2相当＞
	内線着信履歴初期画面	×	○	内線着信履歴を表示したときの表示方法を設定します。 ・「履歴の種類」と「表示方法」について、それぞれの項目を選択します。 ＜メニュー→4→3→6→3相当＞
	電話帳初期画面	×	○	電話帳を検索するときの検索方法を設定します。 ＜メニュー→4→3→6→4相当＞

「管理者」は管理者でログインした場合、「一般」は一般ユーザでログインした場合
○：設定対象　×：設定対象外

電話機ごとの機能（3/3）

項目	サブ項目	管理者	一般	概要
表示設定	LCDバックライト点灯時間	×	○	LCDバックライトの点灯時間を設定します。 ・「操作後15秒」／「操作後1分」～「操作後5分」（1分単位）／「常時消灯」／「常時点灯」から選択します。 <メニュー→4→3→2相当>
	LCDバックライトの通話中継続点灯	×	○	通話中のLCDバックライトの継続点灯有無を設定します。 ・「なし」／「あり」から選択します。
	電話機エコモード	×	○	電話機がエコモードに移行するまでの時間とバックライトに関する設定をします。「機能なし」を設定するとエコモードには移行しません。 ・無操作時間は、「機能なし」／「30秒」／「1分」／「2分」／「3分」／「5分」から選択します。 ・バックライトは「消灯1（微点灯）」／「消灯2（消灯）」から選択します。 <メニュー→4→0→2相当>
	着信ランプ色	×	○	着信／メッセージランプの色を設定します。 <メニュー→4→3→7→1相当>
タイムアラーム	タイムアラーム設定（1回）	×	○	アラーム1～3の起動時刻を設定します。 ・日（2桁）、時（2桁）、分（2桁）を入力します。 ・クリアするときは、日に「00」を入力します。 <メニュー→4→8→1相当>
	タイムアラーム設定（毎回）	×	○	アラーム1～5の起動時刻を設定します。 ・曜日（「日」～「土」または「毎日」）を選択し、時刻（24時間制）を入力します。 ・クリアするときは「曜日／毎日」で「OFF」を選択します。 <メニュー→4→8→2相当>
不在時／話中時機能	不在転送先（外線）（＊1）	○	○	不在転送先（外線）の電話番号（最大16桁）を設定します。 ・「0」を入力するとクリアされます。 <メニュー→4→7→4相当>

「管理者」は管理者でログインした場合、「一般」は一般ユーザでログインした場合
○：設定対象　×：設定対象外

＊1：管理者でログインした場合はすべての電話機に対する設定が可能ですが、一般ユーザでログインした場合はユーザ名の収容位置に対応する電話機のみの設定となります。

●Windows® 10はMicrosoft® Windows® 10 operating systemの略です。
●Windows® 11はMicrosoft® Windows® 11 operating systemの略です。
●Microsoft、Windows、Microsoft Edgeは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

■発信／着信履歴について

発信／着信履歴は電話機で確認することができますが、システム全体の内線着信履歴「システム全内線着信履歴」と「システム外線着信履歴」と「システム外線発信履歴」をパソコンの画面でも確認することができます。

※内線着信履歴は、全てのユーザが確認することができます。外線着信履歴と外線発信履歴は、管理者のみ確認することができます。

• 内線着信履歴で表示される項目

項目	内容	備考
項番	履歴の番号（0000が最新）	
日付	着信した日付	yyyy/mm/dd
曜日	着信した曜日	日、月、火、水、木、金、土
時刻	着信した時刻	24時間表示
呼出終了時刻	応答したときは応答時刻 不応答のときは着信停止時刻	24時間表示
発信者内線番号	発信者の内線番号またはナースコールID	
発信者名称	発信者の内線名称、ヨミガナまたはナースコール制御機からの情報	
発信者種別	発信者の端末の種類	インターホン：インターホン ディジタルインターホン IPCAMDH：IPカメラドアホンをインターホンとして利用したとき 一般内線：電話機 ナースコール：ナースコール制御機
呼出種別	インターホンの呼出元の情報	脱落、センサA、SW-Aなど
呼出先名称／内線番号	発信者が呼び出した内線名称、ヨミガナ、内線番号またはナースコール制御機からの情報	内線一般着信の呼出番号も表示される
応答種別		応答、不応答、外線転送
折り返し発信者名称／内線番号	不応答履歴に対して発信をした電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号	
応答者名称／内線番号	最後に通話していた電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号	
応答者種別	応答者の端末の種別	インターホン：インターホン ディジタルインターホン IPCAMDH：IPカメラドアホンをインターホンとして利用したとき 一般内線：電話機
終話時刻	終話した時刻	24時間表示
通話時間	通話時間	99：59：59まで表示
電話機グループ番号	呼出先または最後に通話していた電話機の電話機グループ	ナースコール着信に応答しなかった場合は「01」になる
理由コード	通話時にダイヤルした理由コード	

・外線着信履歴で表示される項目

項目	内容	備考
項番	履歴の番号（0000が最新）	
着信日付	着信した日付	yyyy/mm/dd
曜日	着信した曜日	日、月、火、水、木、金、土
着信時刻	着信した時刻	24時間表示
呼出終了時刻	応答したときは応答時刻 不応答のときは着信停止時刻	24時間表示
発信者電話番号	発信者の電話番号	
発信者名称	発信者の名称またはヨミガナ	非通知：番号が非通知のとき
呼出種別	インターホンの呼出元の情報	脱落、センサA、SW-Aなど
応答種別		応答、不応答
折り返し発信者名称／内線番号	不応答履歴に対して発信をした電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号	
応答者名称／内線番号	最後に通話していた電話機の内線名称、ヨミガナまたは内線番号	
終話時刻	終話した時刻	24時間表示
通話時間	通話時間	99：59：59まで表示
電話機グループ番号	呼出先または最後に通話していた電話機（DILIN）の電話機グループ	
外線／DILIN番号	着信した外線またはDILIN番号	

・外線発信履歴で表示される項目

項目	内容	備考
項番	履歴の番号（0000が最新）	
発信日付	発信した日付	yyyy/mm/dd
曜日	発信した曜日	日、月、火、水、木、金、土
発信時刻	発信した時刻	24時間表示
呼出終了時刻	応答したときは応答時刻 不応答のときは発信停止時刻	24時間表示
発信先電話番号	発信先の電話番号	最大24桁
発信先名称	発信先の名称またはヨミガナ	
応答種別		応答、不応答
発信者名称／内線番号	発信者の内線名称、ヨミガナまたは内線番号	
終話時刻	終話した時刻	24時間表示
通話時間	通話時間	99：59：59まで表示
電話機グループ番号	発信した電話機の電話機グループ	
外線／DILIN番号	発信に使った外線またはDILIN番号	

ファームウェアのアップデート

ネットワーク経由でファームウェアのアップデート（プログラムの更新）を行うことができます。

主装置のファームウェアをアップデートする

主装置のファームウェアのアップデートを行うことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
777-5	アップデート（963）	−

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

■主装置のファームウェアをアップデートする

1 メニューから<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>を呼び出す

①[ ]を押します。
②「**0** その他」を選択し、[ ]を押します。
③「**4** ｼｽﾃﾑ管理」を選択し、[ ]を押します。
④「**6** ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ」を選択し、[ ]を押します。

<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
1 主装置
2 IP電話機
◀戻る ◆決定

2 [ ]で「1 主装置」を選択し、[ ]を押す

• i ランプが点滅します。

<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
1 主装置
2 IP電話機
◀戻る ◆決定

3 最新のファームウェア確認画面が表示されるので、[ ]を押す

• 中止する場合は、[ ]を押します。

<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
■最新のﾌｧｰﾑｳｪｱを確認しますか?
時間がかかる場合があります。
◀戻る 決定 中止▶

4 ファームウェアの確認画面となるので、[ ]を押す

• 中止する場合は、[ ]を押します。

<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
主装置
■ﾌｧｰﾑｳｪｱ更新版があります。
決定:ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ開始
決定 中止▶

5 アップデート確認画面となるので、[ ]を押す

• ファームウェアのアップデートが開始されます。
• 中止する場合は、[ ]を押します。

<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
主装置
■ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄしますか?
時間がかかる場合があります。
◀戻る 決定 中止▶

6 ダウンロード完了画面が表示されるので、手動でリセットする場合、[ ]を押す

<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
主装置
■ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ完了
[ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ]ﾎﾞﾀﾝでﾌｧｰﾑｳｪｱ更新も可能です。
次頁▶

7 リセット事前確認画面が表示されるので、アップデート ボタンを押す

• 終了する場合は、[ ]を押します。

<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
更新時はﾘｾｯﾄするため電話が切れます。後で操作したり未使用時の自動更新も可能です。
終了

8 リセット確認画面が表示されるので、[ ]を押す

• [ ]を押すのと同時に主装置がリセットされます。
• 中止する場合は、[ ]を押します。

<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
■ﾌｧｰﾑｳｪｱを更新するためﾘｾｯﾄしますか?
注意! ﾘｾｯﾄするため電話が切れます。
◀中止 決定

ファームウェアのアップデート

補足説明

●アップデートの状況を[アップデート]ランプに表示することができます。（ファームウェアアップデート通知）

・主装置（CCU）のアップデートあり（端末は対象外）･･･点灯

・サーバアクセス中（アップデート版確認中／ダウンロード中）･･･速い点滅

・主装置ファームウェアのダウンロード完了、主装置ファームウェアのアップデート待ち･･･遅い点滅

・主装置（CCU）のアップデートなし（端末は対象外）･･･消灯

※ファームウェアアップデート通知有無を設定できます。[工事者設定777-5]

●操作１の代わりに[アップデート]ボタンを押しても操作２に移行できます。

●操作４で、アップデート版がない場合は、エラー画面が表示されますので、 を押して操作２に戻るか、 を押して操作を終了してください。

<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
主装置
■ﾌｧｰﾑｳｪｱ更新版は
ありません。

◀[戻る] [終了]

●操作５で を押したあと、ダウンロードが開始されます。ダウンロード中、下記メッセージが表示されます。

<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
主装置
■ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ中、しばら
くお待ちください。

※サーバにアクセスできない場合、ダウンロードに失敗した場合や、保存に失敗した場合は、エラー画面が表示されますので、 を押して操作４に戻るか、 を押してダウンロードを中止してください。

●アップデートしたあとはシステムのリセットが必要です。操作を終了したあとでもシステムのリセットを行うことができます。待機時に[アップデート]ボタンを押すか操作１を再度行うと操作８に移行します。また、システムリセットの時刻を設定すると、設定された時間に自動でシステムのリセットを行います。[工事者設定777-5]

●機能が追加となった場合は、本操作でのアップデートはできません。
機能が追加になったバージョンへのファームウェアのアップデートは、専用のバージョンアップソフト（有償）が必要になります。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

ファームウェアのアップデート

IP電話機のファームウェアをアップデートする

IP電話機（IPSD、IPBT、IPLD）のアップデートを行うことができます。

工事者設定	プログラマブルキー	オプション
777-5	アップデート（963）	−

■他の電話機のファームウェアをアップデートする

▶ 指定電話機：データ設定用電話機No.1

1 メニューから<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>を呼び出す

① ▣ を押します。
②「0 その他」を選択し、▣ を押します。
③「4 ｼｽﾃﾑ管理」を選択し、▣ を押します。
④「6 ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ」を選択し、▣ を押します。

```
<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
1 主装置
2 IP電話機

◀戻る ▲▼ 決定
```

2 ▣ で「2 IP電話機」を選択し、▣ を押す

• i ランプが点滅します。

```
<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
1 主装置
2 IP電話機

◀戻る ▲▼ 決定
```

3 内線番号を入力し、▣ を押す

• 中止する場合は、▣ を押します。
• 再入力する場合は、クリア ボタンを押します。

```
<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
内線番号:109
■内線番号を入力
クリア再入力

◀戻る 決定 中止▶
```

4 アップデート版ファームウェア確認画面となるので、▣ を押す

• 中止する場合は、▣ を押します。

```
<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
■最新のﾌｧｰﾑｳｪｱを
確認しますか?
時間がかかる場合が
あります。
◀戻る 決定 中止▶
```

5 アップデート版があることを示す画面となったら、▣ を押す

• 中止する場合は、▣ を押します。

```
<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
内線番号:109
■ﾌｧｰﾑｳｪｱ更新版が
あります。
決定:ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ開始
決定 中止▶
```

6 アップデート確認画面となるので、▣ を押す

• 中止する場合は、▣ を押します。

```
<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
内線番号:109
■ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄしますか?
時間がかかる場合が
あります。
◀戻る 決定 中止▶
```

7 ダウンロード完了画面が表示される

• 終了する場合は、▣ を押します。
• 他の電話機もアップデートするときは ▣ を押します。

```
<ﾌｧｰﾑｳｪｱ ｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ>
内線番号:109
■ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ完了

終了 継続▶
```

■操作している電話機のファームウェアをアップデートする

「■他の電話機のファームウェアをアップデートする」の操作１～２を行い、操作３で操作している電話機の内線番号を入力します。その後操作４～６を行い、アップデートが完了すると下記の画面が表示されます。

7 書込み完了画面が表示される

```
F-ROM書込み完了!
```

8 約３秒後に、操作している電話機が自動的にリセットする

• 主装置との接続が完了すると、待機状態になります。

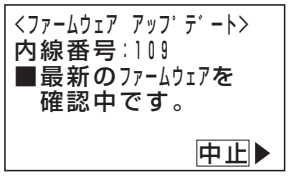
ファームウェアのアップデート

補足説明

●アップデートランプはサーバアクセス中（アップデート版確認中／ダウンロード中）のみ、速い点滅で表示することができます。ただし、操作している電話機のファームウェアをダウンロード中は、ランプ表示できません。

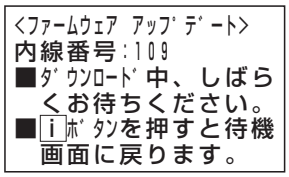
●操作１の代わりにアップデートボタンを押しても操作２に移行できます。

●操作４で、 を押したあと、アップデート版ファームウェアがあるかどうかの確認が開始されます。確認中、下記メッセージが表示されます。



※サーバにアクセスできない場合やアップデート版ファームウェアがない場合は、エラー画面が表示されますので、 を押して操作３に戻るか、 や （操作するボタンは画面によって異なります）を押して操作を中止してください。

●「■他の電話機のファームウェアをアップデートする」の操作６で を押したあと、ダウンロードが開始されます。ダウンロード中、下記メッセージが表示されます。

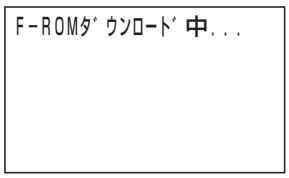


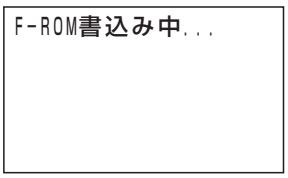
※サーバにアクセスできない場合、ダウンロードに失敗した場合や、保存に失敗した場合は、エラー画面が表示されますので、 を押して操作５に戻るか、 を押してダウンロードを中止してください。

※30分程度経過しても本画面のままの場合は、iボタンを押して待機画面に戻り、再度操作を行ってください。

※iボタンは他にダウンロードする電話機がなく、待機画面に戻って電話機を使用したい場合に押します。ダウンロードは継続しますが、ダウンロード結果（完了画面またはエラー画面）は表示できません。
また、継続して他の電話機のダウンロードを行う場合は、iボタンは押さずに必ずダウンロード結果を確認してください。操作を誤り待機画面に戻ってしまった場合に電話機のダウンロードを実行する場合は、直前にダウンロードを行っていた電話機のダウンロードが完了後にダウンロードを実行してください。

●「■操作している電話機のファームウェアをアップデートする」の操作６で を押したあと、ダウンロードが開始されます。ダウンロード中、下記メッセージが表示されます。





※ダウンロード中、「F-ROMﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ中」から「F-ROM書込み中」の順に画面が変わります。

※ダウンロードに失敗した場合や書込みに失敗した場合は、エラー画面「F-ROM書込み失敗！」が表示されます。

故障かな？と思ったら…

■修理をご依頼される前に下記を確認してください。それでも使えなかった場合は、販売店にご連絡ください。

1. 電話機が 1 台だけ使えない（パネルになにも表示されていない）ときには、電話機の本体コードが抜けていないか確認してください。
2. 電話機が 1 台だけ通話できないときには、ハンドセットのコードが抜けていないか確認してください。
3. 電話機がすべて使えないときには、主装置の電源プラグが抜けていないか確認してください。
4. 電話機がすべて使えないときには、電源スイッチを OFF にして約 10 秒後、ON にしてみてください。
5. 電源スイッチ ON にしたとき、または外線を接続したとき、外線ランプ（赤）が数秒間点灯することがあります。
6. 留守録や通話録音の録音内容が再生できなくなった場合は、SD カードのエラーチェックを行うと再生異常を修復できる場合があります。データ設定用電話機 No.1 で下記の操作を行ってください。
   また、注意喚起表示を行える電話機が待機状態のときに「SD ｶｰﾄﾞ XXXX　ｴﾗｰﾁｪｯｸしてください」（XXXX にはエラーの内容が表示されます。）が表示されている場合も、同様の操作を行ってください。
   この注意喚起表示が出ているときは、録再機能は使えません。
   ※エラーチェックは時間がかかります。録音件数が多い場合や録音時間が長い場合は、チェックにかかる時間が長くなります。
   ※異常状態になっている録音データを正常に戻すことはできませんので、あらかじめご了承ください。
   ①[i]ボタンを押す
   ②[2][3]を押す
   ③「開始しますか？」が表示されたら [▣] を押す
   ④結果が表示される

■注意喚起表示を行える電話機が待機状態のときに、下記のいずれかの表示が出ていて消えない場合は、販売店にお問い合わせください。

「XXXX との同期を開始しています ...」（XXXX は工事者設定内容で異なります。）
「SD ｶｰﾄﾞ XXXX 録再機能は使えません」（XXXX は SD カードの状態で異なります。）
「未設定外線番号あり　ﾒﾆｭｰ (0-4-2-4) を確認」
「【お知らせ】内線ｹｰﾌﾞﾙに異常があります」
「ﾜｲﾔﾚｽｲﾝﾀｰﾎﾝ使用不可！ﾒﾆｭｰ (0-4-2-7) を確認」

アフターサービスについて

1. 保証書（主装置に添付してあります。）
   保証書は販売店からお渡しいたします。必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
2. 保証期間中に修理を依頼されるときは、下記の 4 項目を調べていただき、お求めの販売店にご連絡ください。
   ①ご住所・お名前・電話番号
   ②製品名・購入日（保証書をご覧ください。）
   ③故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
   ④訪問ご希望日
   また異常のある場合には、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。（万一の事故、火災、感電、やけど、けがなどの防止のため、必ずお守りください。）
3. 保証期間経過後、修理を依頼されるときはお求めの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理いたします。電池の交換についても有料とさせていただきます。
4. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点は、お求めの販売店にお問い合わせください。

ソフトウェアに関するライセンスについて

以下はソフトウェアに関するライセンスについての記述です。商品をご使用いただく上では関係ありません。

■InfoZIP

This is version 2007-Mar-4 of the Info-ZIP copyright and license. The definitive version of this document should be available at ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html indefinitely and a copy at http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html.

Copyright © 1990-2007 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

• Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.

• Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.

• Altered versions--including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions--must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases--including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.

• Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

ソフトウェアに関するライセンスについて

■ARM

Copyright ©2009 - 2015 ARM LIMITED

All rights reserved.
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of ARM nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

*

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR APARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

五十音

あ行

相手区分で検索して電話をかける …… 3-22
相手区分名を登録する …… 3-11
相手の方が話し中のときに自動発信する …… 2-18
アフターサービスについて …… 9-31
アラーム
　アラームをくり返して鳴らす …… 7-16
　一定時間でアラームを鳴らす …… 5-116
　指定した時刻に音で知らせる …… 7-15
　指定した日時に１回だけアラームを鳴らす …… 7-15
　設定した料金でアラームを鳴らす …… 5-116
　長電話防止のアラームを鳴らす …… 5-116
一時停止ボタン …… 5-52、5-55
一時的に消去する（ゴミ箱機能）…… 4-38、5-73
一時的に発番号ホットラインを登録する …… 5-45
一部の外線のみ着信を受けなくする …… 5-30
一覧表から内線ボックスのメッセージを再生する … 5-65
一覧表から録音された用件を聞く …… 4-24
一斉に呼び出す …… 2-46
一斉呼出に応答する …… 2-47
一定時間でアラームを鳴らす …… 5-116
一般の保留にする …… 2-7
イヤホンマイク …… 8-12
インカムモードで通話する …… 5-154
インターホンと通話する …… 8-5
応答専用ボタン …… 4-2、4-43
応答専用モードをセットする …… 4-43
応答専用モードを利用する …… 4-41
応答メッセージなどを録音する …… 7-20
応答メッセージを設定する（応答専用モード）…… 4-41
応答メッセージを設定する（発信者選択モード）…… 4-46
応答メッセージを設定する（留守録モード）…… 4-15
オートダイヤルコンソールとして使用する …… 8-28
オートマチックリコール …… 2-9
送りボタン …… 4-20、5-60
追っかけ転送ボタン …… 4-2
お話し中のときにしばらく待つ …… 2-40
お話し中のときに通話に割り込む …… 5-161
お話し中のときに別の人を呼ぶ …… 2-40
お話し中モードをセットする …… 4-45
オフネット発信 …… 5-4
オフフック自動応答 …… 2-5
オフフック自動発信 …… 2-1
お待たせボタン …… 5-27
お待たせメッセージを流してから電話にでる …… 5-27
音声案内付きで内線ボックスのメッセージを再生する … 5-62
音声案内付きで録音された用件を聞く …… 4-22
音声会議参加ボタン …… 5-151
音声会議ボタン …… 5-148～5-150、5-160、5-161
音声による呼出 …… 2-33
オンネット発信 …… 5-4
オンフック転送 …… 2-9
音量・ディスプレイの設定 …… 1-25

か行

会議通話 …… 5-148
外出先から不在転送をセット／解除する …… 5-122
外出先からリモート操作で留守番機能をセット／解除する … 4-60
外出先からリモート操作を行う …… 7-28
外出先からリモートで操作する（リモコン）…… 8-10
外出先から録音された用件を聞く …… 4-30
外線アッドオン …… 5-149
外線お待たせメッセージ …… 5-27
外線が空いていないときに予約する …… 5-3
外線指定捕捉 …… 5-2、5-167
外線自動発信 …… 2-1
外線自動発信グループ名を登録する …… 3-12
外線着信音量の調整 …… 1-25
外線通話中に他の外線を加える …… 5-148
外線通話中に他の内線を加える …… 5-149
外線通話中に内線着信があったときは …… 2-49
外線通話中にプッシュ信号を送る …… 5-111
外線通話を保留する …… 2-7
外線に転送する …… 2-11
外線に電話をかけるとき …… 2-1、5-167
外線発信ウェイティング …… 5-3
外線発信規制 …… 7-62
外線への転送 …… 5-120
外線ボタン …… 1-1、2-1、2-5
外線ボタンを押して電話を受ける …… 2-5
外線割込通話 …… 5-160
外線を切られたときにリモコンを動作させる …… 8-11
外線をグループ分けして使用する …… 7-56
外線を指定して捕捉する …… 5-2、5-167

索引

外部スピーカで放送する …… 8-7
外部スピーカを使って着信音を鳴らす …… 8-8
外部スピーカを利用するとき …… 8-7
各外線の着信音を選択する …… 7-10
各電話機の予算使用率を表示する …… 5-178
各電話機の累計料金を確認する …… 5-181
角度調整 …… 9-3
各部の名前とはたらき …… 1-1
かけてきた方の情報を表示する（付加情報表示）…… 5-33
かけてきた方の名前を転送先に通知する …… 4-10
かけてきた方の番号を複数表示する …… 5-31
カナを入力する …… 3-16
カレンダー、時計の設定 …… 1-24
簡易転送 …… 2-9
簡易IVR機能を利用する …… 5-82
漢字を入力する …… 3-15
キー押し確認音を設定する …… 1-29
[キーパッド]ボタン …… 6-8
[規制解除]ボタン …… 7-62
規制する、拒否する
　一部の外線のみ着信を受けなくする …… 5-30
　国際発信や市外発信などを規制する …… 7-57
　特定の電話番号への発信を規制する
　　（特定電話番号発信規制）…… 7-58
　特定の番号からの電話は着信を拒否する …… 5-37
　内線着信拒否 …… 5-126
　発信規制されている外線を一時的に利用する …… 7-62
　番号を通知しない電話を拒否する …… 5-40
　INS迷惑電話おことわりサービス …… 6-1、6-8
機能番号と内容（プログラマブルキー）…… 7-5
キャッチホンを利用する …… 5-112
共通電話帳の登録 …… 3-2
緊急地震速報 …… 8-22
緊急電話の呼び返しを受ける …… 5-16
[クリア]ボタン …… 1-1
グループごとの内線番号で通話する …… 2-55
グループ別に呼び出す …… 2-46
携帯電話のブラウザを利用してリモート操作を行う … 7-33
公一公接続 …… 5-144
公一専一公接続 …… 5-145
公ー専接続 …… 5-142
「公一専接続」や「専一公接続」を利用する …… 5-142
口頭で内線に転送する …… 2-8
国際発信や市外発信などを規制する …… 7-57
故障かな？と思ったら …… 9-31
ゴミ箱ボタンを登録する …… 4-39、5-74
[コメント-VM]ボタン …… 5-52、5-55

さ行

サーチリダイヤル …… 2-13
サービスクラス …… 7-57
サービス名称を登録する …… 5-85
最後の通話料金を確認する …… 5-180
[再生速度]ボタン …… 4-20、5-60
[再生]ボタン …… 4-20
サブアドレスダイヤルイン …… 5-8
サブアドレス通知サービス …… 6-1、6-5
自己保留 …… 2-7、2-51、5-170
[自己保留]ボタン …… 2-7
システム応答メッセージ名称を登録する …… 7-20
システム応答メッセージを録音する …… 7-21
システムに電話をかけて自動コールバックを受ける … 5-48
指定した時刻に音で知らせる …… 7-15
指定した時刻にチャイムを鳴らす …… 7-17
指定した日時に１回だけアラームを鳴らす …… 7-15
指定の内線ボックスへメッセージを送る …… 5-92
自動オペレータを利用する …… 5-78
自動折返し発信 …… 5-48
自動コールバック …… 5-48
自分だけの保留にする …… 2-7
示名条の記入方法と示名条および示名条押さえの取付方法 … 9-1
主装置のファームウェアをアップデートする …… 9-27
受話音の高域をカットする …… 1-29
受話音量を通常より大きくして使う …… 1-27
[消去]ボタン …… 4-20、5-60
省電力モード …… 5-164
消費税率の自動変更を設定する …… 5-176
スーパーリトライ …… 2-18
[スタート]ボタン …… 2-1、6-8
ストレートラインDIを使う …… 5-17
スピーカ音量の調整 …… 1-26
[スピーカ]ボタン …… 1-1
スライド着信 …… 2-5
設定完了アナウンスを流す …… 7-26
設定した料金でアラームを鳴らす …… 5-116
専一公接続 …… 5-143

索引

センサ検出時の通知先を登録する …… 8-18
センサ接続機能を使う …… 8-15
センサ名称を登録する …… 8-20
選択する
　各外線の着信音を選択する …… 7-10
　着信音を選択する …… 7-10
　内線の着信音を選択する …… 7-11
　保留音を選択する …… 7-14
　メロディ着信の曲目を選択する …… 7-12
専用線を使う …… 5-136
外付けのスイッチで切り替える場合（夜間切替） …… 7-54

た行

待機中に内線ボックスの録音件数を表示する …… 5-68
タイマで切り替える（夜間切替） …… 7-44、7-49
タイムアラーム …… 7-15
ダイヤルイン（DI）を使う …… 5-8
代理応答 …… 2-50、5-170
代理応答/切替ボタン …… 1-1、2-50
ダイレクトインダイヤル（DID）を使う …… 5-9
ダイレクトインライン（DIL）を使う …… 5-8
多機能コンソールを使う …… 8-24
多者会議通話に参加する（参加型） …… 5-151
他の電話機の着信履歴を検索する …… 2-27
他の電話に出ていて電話を受けられないときは …… 5-27
他の内線ボックスにメッセージを転送する …… 5-66
他の人の外線通話をモニタする …… 5-114
他の人の通話に割り込む …… 5-160
短縮ダイヤル発信 …… 3-19、5-168
短縮／電話帳（ 電話帳 ）キー操作設定 …… 3-18
短縮／電話帳（ 電話帳 ）ボタン …… 1-1、3-18～3-24
短縮番号で検索して電話をかける …… 3-23
短縮番号の登録内容を確認して電話をかける …… 3-20
短縮番号を指定して電話をかける …… 3-19
単独電話機を使う …… 5-167
チェーンダイヤル …… 3-19、5-113
チャイムタイマ …… 7-17
着信応答履歴 …… 2-26
着信音
　外線着信音量の調整 …… 1-25
　各外線の着信音を選択する …… 7-10
　着信音を選択する …… 7-10
　着信識別 …… 5-35
　内線着信音量の調整 …… 1-25
　内線の着信音を選択する …… 7-11
　メロディ着信の曲目を選択する …… 7-12
着信音に使うシステム応答メッセージを選択する … 7-13
着信音を選択する …… 7-10
着信拒否適用外線 …… 5-41
着信警報 …… 2-5
着信識別 …… 5-35
着信通知音 …… 5-29
着信の分配機能（ACD）を使う …… 5-10
着信／メッセージランプ …… 1-1、1-2、1-30
着信履歴から電話をかける …… 2-25
着信履歴の電話番号を電話帳に登録する …… 2-28
着信履歴を一括消去する …… 2-29
着信履歴を個別に消去する …… 2-29
注意喚起表示 …… 9-7
超過料金アラーム …… 5-116
調整する
　外線着信音量の調整 …… 1-25
　スピーカ音量の調整 …… 1-26
　ディスプレイの濃度調整 …… 1-30
　内線着信音量の調整 …… 1-25
　ハンドセット受話音量の調整 …… 1-27
　ボタン電話機の角度調整 …… 9-3
聴話 …… 5-114
聴話ボタン …… 5-114
直前にかけた相手の方にかけ直す …… 2-12
ツイン転送ボタン …… 4-2
通常着信ボタン …… 4-2、4-51
通常着信モードをセットする …… 4-51
通話時間お知らせタイマ …… 5-116
通話中にかかってきた方の番号を表示する …… 5-34
通話中の電話機に音で着信通知する …… 5-29
通話明細記録を印字する「終話印字」 …… 5-185
通話料金集計をプリンタ印字する …… 5-185
通話料金を管理する …… 5-176
通話録音アナウンス …… 5-52
通話録音する …… 5-51
通話録音にコメントを追加する …… 5-55
通話録音の登録先を指定する …… 5-53
停止ボタン …… 4-20、5-52、5-60
ディスプレイの濃度調整 …… 1-30
ディスプレイ表示を縦倍角にする …… 1-32

索引

ディスプレイ表示を反転させる …… 1-32
停電のときのご注意および操作 …… 9-6
停電用アダプタ（PFIU、PFU）の使い方 …… 5-130
テナント機能 …… 7-56
テナント名称を登録する …… 7-64
伝言メモ …… 5-92
転送先切替ボタン …… 4-2、4-5、4-48、4-52
転送先の電話番号を登録する …… 4-5
転送先ボタン …… 4-1、4-5、4-48、4-52
転送する
　外線に転送する …… 2-11
　口頭で内線に転送する …… 2-8
　ストレートラインDI …… 5-19
　単独電話機を使う …… 5-169、5-171
　転送電話モードを利用する …… 4-5
　電話機を呼んで内線に転送する …… 2-9
　ドアホンの呼出を外線に転送する …… 8-3
　内線一般着信を外線に自動転送する …… 2-57
　内線通話を保留する／転送する …… 2-52
　内線パーク保留し転送する …… 2-54
　バーチャルライン方式 …… 5-25
　不完全転送呼の発呼者戻し …… 2-9
　不在転送 …… 5-117、5-173
　話中・応答遅延転送 …… 5-123、5-172
転送電話ボタン …… 4-2、4-7
転送電話モードを利用する …… 4-5
転送電話をセットする …… 4-7
転送ボタン …… 2-52
転送／留守録ボタン …… 4-2、4-48
電話機エコモード …… 5-166
電話機に外部スピーカを付けて着信音を鳴らす …… 8-23
電話機の動作を停止する（省電力モード）…… 5-164
電話機を使っていないときに消費電力を低減する …… 5-164
電話機を呼んで内線に転送する …… 2-9
電話帳について …… 3-1
電話帳の検索方法の設定を変更する …… 3-25
電話帳を使って電話をかける …… 3-18
電話帳を登録する …… 3-1
　着信履歴の電話番号を電話帳に登録する …… 2-28
　電話帳の各項目の登録方法 …… 3-6
　発信履歴の電話番号を電話帳に登録する …… 2-15
電話帳を変更／消去する …… 3-26
電話とファックスを共用する …… 5-108
電話番号によって使用する回線を自動選択する …… 5-1
電話番号を確認してからかける …… 2-2
でんわばんサービス …… 6-1
電話／ファックス自動切替 …… 5-108
電話を受ける、応答する
　外線ボタンを押して電話を受ける …… 2-5
　簡易IVR機能 …… 5-87
　自動オペレータ …… 5-79
　ストレートラインDIを使う …… 5-17
　代理応答 …… 2-50、5-170
　単独電話機を使う …… 5-168
　ドアホン・テレビドアホンからの着信に応答する … 8-1
　特殊な方法で電話を受ける …… 5-8
　特定の番号からの電話は特定の電話機で受ける … 5-43
　内線一般着信 …… 2-55
　内線からの電話を受ける …… 2-48
　バーチャルライン方式 …… 5-21
　ハンドセットをとって受ける …… 2-48
　ハンドセットをとらずに受ける …… 2-48
　ハンドセットをとるだけで電話を受ける …… 2-5
　別の電話機で応答する …… 2-50
　放送に応答する …… 8-8
　IP回線（IPCOI）を使う …… 5-135
電話を受けるたびに転送先を変更する …… 4-14
電話をかけてきた方にかけ直す …… 2-25
電話をかける、発信する、呼ぶ
　相手区分で検索して電話をかける …… 3-22
　相手の方が話し中のときに自動発信する …… 2-18
　お話し中のときに別の人を呼ぶ …… 2-40
　オフネット発信 …… 5-4
　オフフック自動発信 …… 2-1
　オンネット発信 …… 5-4
　外線自動発信 …… 2-1
　外線に電話をかけるとき …… 2-1
　簡易IVR機能 …… 5-87
　自動オペレータ …… 5-79
　スーパーリトライ …… 2-18
　ストレートラインDIを使う …… 5-17
　短縮番号を指定して電話をかける …… 3-19
　単独電話機を使う …… 5-167
　チェーンダイヤルで電話をかける …… 5-113
　着信履歴から電話をかける …… 2-25
　直前にかけた相手の方にかけ直す …… 2-12

索引

電話番号を確認してからかける …… 2-2
電話をかけてきた方にかけ直す …… 2-25
特殊な方法で電話をかける …… 5-4
内線一般着信 …… 2-55
内線に電話をかける …… 2-33
内線ホットライン …… 2-33
内線ワンタッチで呼び出すとき …… 2-37
内線を一斉に呼び出す …… 2-46
バーチャルライン方式 …… 5-20
発信履歴から電話をかける …… 2-13
ハンドセットをとってかける …… 2-33
ハンドセットをとらずにかける …… 2-33
プリセットボタンを使用する …… 2-2
マイライン・プラスを解除して別の事業者で電話をかける … 5-6
用件を録音した方に電話する …… 4-21
ヨミガナで検索して電話をかける …… 3-21
ワンタッチダイヤルでかける …… 2-24
IP回線（IPCOI）を使う …… 5-131
ドアホン・テレビドアホンからの着信に応答する …… 8-1
ドアホン・テレビドアホンと通話する …… 8-1
ドアホン・テレビドアホンの周囲の音を聞く …… 8-1
ドアホンの呼出を外線に転送する …… 8-3
ドアホン名称を登録する …… 8-2
盗聴防止機能を利用する …… 5-134
登録する、設定する
応答専用モードをセットする …… 4-43
お使いの電話機への登録（プログラマブルキー）… 7-1
お話し中モードをセットする …… 4-45
外出先から不在転送をセット／解除する …… 5-122
外出先からリモート操作で留守番機能をセット／解除する … 4-61
各電話機、各ID番号の予算を登録する …… 5-178
カレンダー、時計の設定 …… 1-24
システム応答メッセージ名称を登録する …… 7-20
センサ名称を登録する …… 8-20
他の電話機への登録（プログラマブルキー）…… 7-3
着信履歴の電話番号を電話帳に登録する …… 2-28
通常着信モードをセットする …… 4-51
転送先の電話番号を登録する …… 4-5
転送電話をセットする …… 4-7
電話帳を登録する …… 3-1
ドアホン名称を登録する …… 8-2
特定の方専用にモードをセットする …… 4-54
内線電話帳の内線名称を登録／変更する …… 2-36
内線名称を登録する …… 7-8
なんでもワンタッチボタン …… 7-6
発信者選択モードをセットする …… 4-48
発信履歴の電話番号を電話帳に登録する …… 2-15
プログラマブルキーの登録方法 …… 7-1
ボックスボタンを登録する …… 5-58
文字入力方法 …… 3-15
割引料金適用日を登録する …… 7-55
ワンタッチダイヤルボタンを登録する …… 2-19
トーン切替 …… 5-111
特殊な方法で電話を受ける …… 5-8
特殊な方法で電話をかける …… 5-4
特定者留守モード（相手区分指定）を登録する …… 4-57
特定者留守モード（電話番号指定）を登録する …… 4-54
特定電話番号発信規制 …… 7-58
特定の方専用にモードをセットする …… 4-54
特定の電話番号への発信を規制する
（特定電話番号発信規制）…… 7-58
特定の番号からの電話は着信を拒否する …… 5-37
特定の番号からの電話は特定の電話機で受ける …… 5-43
特定の番号からの電話を識別する・優先して受ける（着信識別）… 5-35
特定番号迂回発信 …… 5-1
「特定日の夜間切替タイマ」で切り替える …… 7-49
特番操作で切り替える場合（夜間切替）…… 7-43
時計の調整 …… 1-24

な行

内線一般着転送ボタン …… 2-57
内線一般着信 …… 2-55
内線音声名称 …… 2-59
内線からの電話を受ける …… 2-48
内線からの呼び出しに出られないとき …… 5-123
内線キャンプオン …… 2-40
内線代表 …… 5-126
内線着信音量の調整 …… 1-25
内線着信拒否 …… 5-126
内線着信履歴ボタン …… 2-41
内線着信履歴を使う …… 2-41
内線着信を電話機グループに転送する（マルチ呼び）… 5-125
内線通話中に他の内線を加える …… 5-149
内線通話中にプッシュ信号を送る …… 5-129
内線通話を保留する／転送する …… 2-51
内線電話帳 …… 2-10、2-34、5-53

索引

内線電話帳の内線名称を登録／変更する …… 2-36
内線電話帳を使う …… 2-34
内線に電話をかける …… 2-33
内線の着信音を選択する …… 7-11
内線パーク保留し転送する …… 2-54
内線パーク保留する …… 2-53
内線パーク保留に応答する …… 2-54
内線パスワード …… 5-70
内線番号を発サブアドレスとして通知する …… 6-5
内線ハンズフリー応答 …… 2-48
内線への転送 …… 5-117
内線 ボタン …… 1-1、2-33
内線ボックスにメッセージを転送する …… 5-66
内線ボックスに用件が録音されたことを外出先へ通知する … 5-68
内線ボックスの応答メッセージを録音する …… 5-76
内線ボックスのパスワードを登録する …… 5-70
内線ボックスのメッセージを一括消去する …… 5-71
内線ボックスのメッセージを再生する …… 5-60
内線ボックスの録音件数を確認する …… 5-67
内線ホットライン …… 2-33
内線名称を登録する …… 7-8
内線ワンタッチで呼び出すとき …… 2-37
内線を一斉に呼び出す …… 2-46
内線PBダイヤル送出 …… 5-129
内線3者通話 …… 5-149
長電話防止のアラームを鳴らす …… 5-116
仲間を呼び出して通話する（インカムモード通話）… 5-154
なんでも ボタン …… 7-6
なんでもワンタッチボタン …… 7-6
ナンバー・ディスプレイを利用した便利な機能 …… 5-31
年間スケジュール …… 7-49
年、月、日、曜日の設定 …… 1-24

は行

パーク ボタン …… 2-53、5-22
パーク保留 …… 2-53、5-22
バーチャルライン方式を使う …… 5-20
パスワード
　内線パスワード …… 5-70
　ユーザ用パスワード …… 7-32
パソコンを使って各種設定を行う（Web設定）…… 9-9
バックライト点灯時間の変更 …… 1-31
発信規制されている外線を一時的に利用する …… 7-62
発信規制登録 ボタン …… 7-58
発信規制リスト …… 7-58
発信者選択モードをセットする …… 4-48
発信者選択モードを利用する …… 4-46
発信者番号通知サービス …… 6-1
発信履歴から電話をかける …… 2-13
発信履歴の電話番号を電話帳に登録する …… 2-15
発信履歴を一括消去する …… 2-16
発信履歴を消去する …… 2-16
発番号識別着信拒否 …… 5-37
発番号ホットライン …… 5-43
番号確認／検索発信 …… 3-20
番号の通知／非通知を切り替えて電話をかける …… 5-5
番号を通知しない電話を拒否する …… 5-40
ハンズフリー中に外線を保留する …… 5-163
ハンズフリー通話するとき …… 5-162
ハンズフリーとハンドセット通話を切り替える … 5-163
ハンドセット …… 1-1
ハンドセット受話音量の調整 …… 1-27
ハンドセットをとって受ける …… 2-48
ハンドセットをとってかける …… 2-1、2-33
ハンドセットをとらずに受ける …… 2-48
ハンドセットをとらずにかける …… 2-1、2-33
ハンドセットをとるだけで電話を受ける …… 2-5
ひかり電話で「ボイスワープ」の転送開始／停止を設定する … 5-195
非通知着信拒否 …… 5-40
非通知着信拒否を行う着信種別を選ぶ …… 5-42
非通知着信履歴の表示 …… 2-32
ファームウェアのアップデート …… 9-27
ファックスの受信を通知する …… 5-109
不応答追っかけ ボタン …… 4-2
不応答ツイン ボタン …… 4-2
不応答通知機能を使う …… 2-31
不応答転送 ボタン …… 4-2
不応答履歴 …… 2-26
付加情報定型文を登録する …… 3-13
付加情報表示 …… 5-33
不完全転送呼の発呼者戻し …… 2-9
複数のグループを同時に呼び出す …… 2-47
複数の内線ボックスへ同じメッセージを送る（同報メール）… 5-93
不在時自動ハンズフリー …… 8-15、8-21
不在設定 ボタン …… 5-118、5-121、5-126、5-128
不在転送 …… 5-117、5-173

索引

不在のときに電話を転送する …… 5-117、5-173
不在表示 …… 5-127
プッシュ信号を送る
　外線通話中にプッシュ信号を送る …… 5-111
　内線通話中にプッシュ信号を送る …… 5-129
プリセットダイヤル …… 2-2
[プリセット]ボタン …… 2-2
プログラマブルキーで設定する（留守番機能） …… 4-1
プログラマブルキーで用件を再生する …… 4-20
プログラマブルキーの登録方法 …… 7-1
ページング …… 8-7
ヘッドセット …… 8-12
ヘッドセット・イヤホンマイクを使う …… 8-12
[ヘッドセットモード]ボタン …… 8-12
別の電話機で応答する …… 2-6、2-50
放送に応答する …… 8-8
ボタン電話機使用制限 …… 1-1
ボタンを指定して捕捉する（ボタン指定捕捉） …… 5-26
ボックス番号 …… 5-53～5-61
[ボックス]ボタン …… 5-53、5-55、5-58
[ボックス]ボタンを登録する …… 5-58
保留音を選択する …… 7-14
保留警報 …… 2-7
保留した外線に応答する …… 2-7
保留した内線に応答する …… 2-52、5-171
保留する
　一般の保留にする …… 2-7
　自分だけの保留にする …… 2-7
　ストレートラインDI …… 5-18
　単独電話機 …… 5-169、5-170
　内線一般着信 …… 2-56
　内線通話を保留する／転送する …… 2-51
　バーチャルライン方式 …… 5-22
　ハンズフリー中に外線を保留する …… 5-163
　IP回線（IPCOI）を使う …… 5-135
保留に応答する
　ストレートラインDI …… 5-18
　単独電話機 …… 5-169、5-171
　内線一般着信 …… 2-56
　バーチャルライン方式 …… 5-24
　保留した外線に応答する …… 2-7

ま行

[マイク]ボタン …… 2-48、5-162
マイ電話帳の登録 …… 3-4
マイ電話帳を検索して電話をかける …… 3-24
マイライン・プラスを解除して別の事業者で電話をかける …… 5-6
[マルチヨビ切替]ボタン …… 5-125
ミューティング …… 2-5
迷惑電話おことわりサービス …… 6-1、6-8
[メッセージ]ボタン …… 4-1、4-17、4-43、4-48、4-52
メッセージを送る（伝言メモ） …… 5-93
メニュー機能の一覧 …… 1-4
メニュー機能の操作方法 …… 1-3
メニュー機能の使い方 …… 1-3
メロディ着信の曲目を選択する …… 7-12
文字入力方法 …… 3-15
戻って録音を利用する …… 5-56
[戻り]ボタン …… 4-20、5-60

や行

夜間切替 …… 4-1、7-41
夜間切替タイマ …… 7-44、7-49
[夜間切替]ボタン …… 4-1、4-2、7-41
[夜間切替]ボタンで切り替える …… 7-41
ユーザ用パスワード …… 7-32
用件が録音されたことをEメールで通知する …… 5-95
用件が録音されたことを外出先へ通知する …… 4-26
用件を再生する …… 4-20
用件を録音した方に電話する …… 4-21
「曜日ごとの夜間切替タイマ」で切り替える …… 7-44
予算使用率の表示 …… 5-179
予算を登録する …… 5-178
[呼出あり -VM]ボタン …… 5-52、5-55、5-68
[呼出なし -VM]ボタン …… 5-52、5-55、5-68
ヨミガナで検索して電話をかける …… 3-21

ら行

ランプの表示 …… 1-2
ランプのみ消灯する（電話機エコモード） …… 5-166
リセットコール …… 2-40
リセットコール割込通話 …… 5-161
リダイヤル …… 2-12
[リダイヤル]ボタン …… 1-1、2-12、2-18
[リモコン]ボタン …… 8-9

索引

リモコンを使う …… 8-9
リモート操作 …4-30、4-60、5-122、7-28、7-33、8-9
リモート操作時のパスワードを登録する …… 7-32
リモート操作用電話機の電話番号を登録する …… 7-31
累計料金と予算使用率を確認する …… 5-181
累計料金を印字する「料金印字」…… 5-188
累計料金をクリア（精算）して印字する「クリア印字」… 5-191
累計料金をクリア（精算）する …… 5-183
留守切替ボタン …… 4-1
留守番機能について …… 4-1
留守録通知先切替ボタン …… 4-28
留守録通知ボタン …… 4-27
留守録＋転送ボタン …… 4-2、4-52
留守録＋転送モードを利用する …… 4-52
留守録ボタン …… 4-2、4-17
留守録ボックス …… 4-19
留守録モードを利用する …… 4-15
留守録モニタボタン …… 4-18
留守録を使うとき …… 4-17
録音件数 …… 4-19、5-51、5-67
録音された用件を聞く …… 4-20
録音取消ボタン …… 5-52
録音ボタン …… 5-52、5-67
録音メッセージを一括消去する …… 4-35
録音を開始する／終了する …… 5-51

わ行

ワイヤレス呼出ボタン名称を登録する …… 7-63
話中・応答遅延転送 …… 5-123、5-172
話中処理ボタン …… 4-2、4-45
割引料金適用日を登録する …… 7-55
ワンタッチ外線自動発信 …… 2-1
ワンタッチダイヤルでかける …… 2-24
ワンタッチダイヤルボタンを登録する …… 2-19
ワンタッチチェーンダイヤル …… 3-14

アルファベット

ACD …… 5-10
BGM …… 8-14
DI …… 5-8
DID …… 5-9
DIL …… 5-8
DILINボタン …… 2-55、2-56、5-17、5-18、5-30
DSSコンソールとして使用する …… 8-24
Eメールで通知する …… 5-107
i・ナンバー …… 6-1、6-4
iボタン …… 1-1
ID番号を使って外線に電話をかける …… 5-147
INSダイヤルインサービス …… 5-8、6-1
INSでんわばんサービス …… 6-1
INSナンバー・ディスプレイ …… 6-1、6-2
INSナンバー・リクエスト …… 6-1、6-3
INSネットのサービスを利用する …… 6-1
INSボイスワープ、INSボイスワープセレクト … 6-1、6-6
INS迷惑電話おことわりサービス …… 6-1、6-8
IP回線（IPCOI）を使う …… 5-131
IP電話機のファームウェアをアップデートする …… 9-29
Siシリーズの電話機を使用する …… 9-8
VPNを利用する …… 5-4
Web設定 …… 9-9

数字

2外線アッドオン …… 5-148
3人以上で通話する（多者会議通話）…… 5-150
3人で通話したいとき …… 5-148

MEMO

MEMO

MEMO

付録

Xシリーズ電話機の使い方順序早見表

電話機ご利用者名	内線番号

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…ハンドセットをとる　↱…ハンドセットを置く(戻す)　(外)…外線ボタン　[内線]…内線ボタン
(　)…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）　[クリア]…クリアボタン　〈 〉…操作中
□…ダイヤル　[設]…工事者によるデータ設定が必要です。　[シ]…システム共通機能
[デ]…データ設定用電話機からのみ設定可　[切替]…モード切替用電話機からのみ設定可　■…機能ボタン
設定・登録操作は、メニュー機能の一覧（P1-4～）をご覧ください。

項目			操作手順	備考
外線通話関係	電話をかける	ハンドセットをとってかける	↰→(外)→電話番号□…□	
		ハンドセットをとるだけでかける	↰→電話番号□…□　（注）本機能を設定した場合、内線に電話をかけるときは[内線]ボタンを押してください。	[設]
		ハンドセットをとらずにかける	(外)→電話番号□…□	
		(外)を押さずにかける	□〔初期設定：0〕→電話番号□…□	[設]
		電話番号を確認してからかける(プリセットダイヤル)	電話番号□…□→(外)	[設]
		発信履歴から検索して電話をかける	▣→▣（電話をかけたい履歴を表示）→(外)	
		相手がお話し中のとき(スーパーリトライ)	<オンフックダイヤル>→話中音→[リダイヤル]→アラーム（ピピ）が聞こえたら[リダイヤル]	
		電話帳を使って電話をかける	[電話帳]（短縮／電話帳）→文字入力□…□→▣→▣（相手を表示）→(外)	
		短縮ダイヤルを使ってかける	(外)→[電話帳]→短縮番号□□□□0000～9999 または□□□000～999 または□□00～99 または□0～9	＊1
		ワンタッチダイヤルでかける	(外)→(　)（ワンタッチダイヤルを登録したボタン） または(　)（ワンタッチダイヤルを登録したボタン）	
		電話をかけてきた方にかけ直す（着信履歴）	▣→▣（電話をかけたい履歴を表示）→(外)	
	電話を受ける	電話を受ける	↰→(外)　※[着信／メッセージ]ランプが点滅していないとき	
		ハンドセットをとるだけで電話を受ける	↰（ハンドセットをとるだけ）　※[着信／メッセージ]ランプが速点滅しているとき	
	保留	外線保留	<外線通話中>[保留]	
		自己保留	<外線通話中>(自己保留)	
	転送	転送	<外線通話中>[内線]→内線番号□…□→<内線通話>→↱	＊2
		簡易転送	<外線通話中>[内線]→内線番号□…□→↱	＊2
外線指定捕捉			↰→特番□（1～4桁）→外線番号□□	[設]＊2
外線アッドオン			<外線通話中>[内線]→内線番号□…□→<内線通話>→(音声会議)	＊2
2外線アッドオン			<外線通話中>[内線]→(外)→電話番号□…□→<外線通話>→(音声会議)	
外線通話モニタ			(聴話)→モニタしたい(外)（または内線番号）	
外線割込通話			↰→割り込みたい(外)	[設]

＊1：短縮番号の桁数の初期値は4桁（電話帳内の短縮番号と同一桁数）ですが、主装置側の設定により1～3桁に変更することもできます。ただし、1～3桁の場合は使用できる短縮番号が限定されます。
短縮番号の上位桁が0（ゼロ）の場合に、0を除いた下桁だけをダイヤルすることができます。短縮番号をダイヤルしたあとで、オフフックするか[スピーカ]を押してください。

＊2：番号を可変桁に設定している場合は、内線番号／特番のあとに[#]を押してください。

付録

電話機ご利用者名	内線番号

Xシリーズ電話機の使い方順序早見表

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…ハンドセットをとる　↳…ハンドセットを置く(戻す)　(外)…外線ボタン　[内線]…内線ボタン
(　)…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）　[クリア]…クリアボタン　〈 〉…操作中
□…ダイヤル　[設]…工事者によるデータ設定が必要です。　[シ]…システム共通機能
[デ]…データ設定用電話機からのみ設定可　[切替]…モード切替用電話機からのみ設定可　■…機能ボタン
設定・登録操作は、メニュー機能の一覧（P1-4～）をご覧ください。

項目			操作手順	備考
外線通話関係	トーン切替	手動	<外線通話中>[#]→番号□…□	[設]
		自動	<外線通話中>→番号□…□	
	外線への転送		<外線通話中>[内線]→(外)→電話番号□…□→<外線通話>→↳	[設]
内線通話関係	内線個別呼出 内線発信		[内線]または↰→内線番号□…□、[スピーカ]→内線番号□…□	＊1
	内線個別呼出 内線音声呼出		[内線]または↰→内線番号□…□→[※]、[スピーカ]→内線番号□…□→[※]	＊1
	内線一斉呼出		[内線]または↰→[6][0][0]	＊1
	内線一斉呼出への応答		[内線]または↰→[7][0][0]	＊1
	内線グループ呼出		[内線]または↰→□□□〔グループ1～15：601～615 LA LB〕	＊1
	内線グループ呼出への応答		[内線]または↰→□□□〔グループ1～15：701～715 LA LB〕	＊1
	内線保留		<内線通話中>[保留]　再応答：↰→[保留]	
	内線パーク保留		<内線通話中>[保留]または(内線パーク)　再応答：↰→(内線パーク)	[設]
	内線転送		<内線通話中>[内線]→内線番号□…□→<内線通話>→↳	＊1
	内線3者通話		<内線通話中>[内線]→内線番号□…□→<内線通話>→(音声会議)	＊1
	代理応答		[内線]または↰(代理応答)　同一グループ内のみ応答できます	
	ドアホン・テレビドアホン着信の応答		ドアホン着信表示設定電話機　↰	オプション
			ドアホン着信表示設定なし電話機　↰→特番□□□（ドアホンA～E：170～174）	[設]＊1
会議通話	多者通話（追加型）		<3者通話中>[内線]→(外)→（電話番号□…□）→<外線通話>→(音声会議)	
	多者通話（参加型）		[内線]または↰→(音声会議参加)	

＊1：番号を可変桁に設定している場合は、内線番号／特番のあとに[#]を押してください。

付録

Xシリーズ電話機の使い方順序早見表

電話機ご利用者名	内線番号

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…ハンドセットをとる　↳…ハンドセットを置く(戻す)　(外)…外線ボタン　[内線]…内線ボタン
(　)…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）　[クリア]…クリアボタン　〈 〉…操作中
□…ダイヤル　[設]…工事者によるデータ設定が必要です。　[シ]…システム共通機能
[デ]…データ設定用電話機からのみ設定可　[切替]…モード切替用電話機からのみ設定可　■…機能ボタン
設定・登録操作は、メニュー機能の一覧（P1-4～）をご覧ください。

項目	操作手順	備考
登録関係 プログラマブルキー登録	[i]→[X]→[X]→(外)（登録するボタン外線1～36） →□□□（機能番号）→ （○：ランプあり（赤）、●：ランプあり（緑）、◎：ランプあり（赤／緑））	

機能番号	ﾗﾝﾌﾟ	キー名称	機能番号	ﾗﾝﾌﾟ	キー名称	機能番号	ﾗﾝﾌﾟ	キー名称
000		機能なし	851～857	○	留守録通知先1～7	947	○	留守録
001～008	◎	外線01～08 S	858		留守録通知先切替	948	○	応答専用
001～048	◎	外線01～48 LA	872	○	再生順（古→新）	949	○	話中処理
001～096	◎	外線01～96 LB	873	○	再生順（新→古）	950	○	転送／留守録
400～448	○	お待たせ00～48	874	○	メッセージ移動	951	○	通常着信
451～498	○	省電力01～48	875	○	メッセージコピー	952	○	留守録＋転送
501～548		同報グループ01～48	876	○	再生速度	960	○	不在転送（外線）
551～598	＊2	再生01～48	877		戻り	961	○	チャイム停止
599	○	夜間切替DH	878		送り	962		内線着信履歴
600～648	○	夜間切替00～48	879		消去	963	○	アップデート
701～706	○	メッセージ1～6	880		停止	964		内線電話帳
707		メッセージ切替	881～888		なんでも1～8	965	●	発信
710		光ボイスワープOFF	901～910	◎	音声会議参加01～10	966	○	留守録モニタ
711		光ボイスワープ無条件	911～916	◎	インカム1～6参加	967	○	ヘッドセットモード
712		光ボイスワープ無応答時	919	○	送話ミュート	968		再発信
713		光ボイスワープ話中時	920		コメント-VM(＊1)	969		短縮／電話帳
714		光ボイスワープ応答不可時	921		呼出なし-VM(＊1)	972	◎	録音
730	○	IVR他G呼出応答	922		呼出あり-VM(＊1)	973	○	戻って録音
731	○	ACD切替	923	○	一時停止	974	○	アラーム通知
732	○	オペレータ業務	927		録音取消	975	○	プリセット
733	◎	オペレータ後処理(＊5)	932	○	音量アップ	981	○	留守切替
734		モーニングコール (＊3)	933	○	外部スピーカ	982	○	マイク
735	○	部屋状態表示(＊3)	934	○	規制解除	983	○	音声会議
741～760	○	出退01～20(＊4)	935	○	非通知拒否	984	○	不在設定
761	◎	内線ビデオ会議	936	◎	一時ホットライン	985	●	盗聴防止
762	●	マルチビデオ会議	937	○	発信規制登録	990	○	聴話
769	○	復旧	938	○	拒否登録	991	○	ホットライン着信
771～790	○	リモコン01～20(＊4)	939	○	番号通知	992	○	キーパッド
801～815	○	FAX受信01～15	940	○	番号非通知	993	○	サービス
820	○	内線一般着転送	941	○	転送電話	994		フック／クリア
821～825	○	マルチヨビ切替1～5	942	○	追っかけ転送	995		転送
831～844	○	転送先01～14	943	○	ツイン転送	996		代理応答／切替
845		転送先①切替	944	○	不応答転送	997	○	自番号表示
846		転送先②切替	945	○	不応答追っかけ	998		自己保留
850	○	留守録通知	946	○	不応答ツイン	999		スタート

＊1：ボイスメモを利用時に使用可能です。
＊2：○（◎に変更することもできます。）
＊3：ホテルユニット取り付け時のみ動作します。 LA LB
＊4：S は01～04となります。
＊5：(2-1版～)
※プログラマブルキー設定時にディスプレイに表示されるキー名称は上記の内容とは異なる場合があります。

付録

電話機ご利用者名	内線番号

Xシリーズ電話機の使い方順序早見表

●詳しくは取扱説明書をご覧ください。

↰…ハンドセットをとる　↱…ハンドセットを置く(戻す)　(外)…外線ボタン　[内線]…内線ボタン
(　)…プログラマブルキー（お客様の設定操作が必要です。）　[クリア]…クリアボタン　〈 〉…操作中
□…ダイヤル　[設]…工事者によるデータ設定が必要です。　[シ]…システム共通機能
[デ]…データ設定用電話機からのみ設定可　[切替]…モード切替用電話機からのみ設定可　■…機能ボタン
設定・登録操作は、メニュー機能の一覧（P1-4～）をご覧ください。

	項目	操作手順	備考
登録関係	ワンタッチダイヤル登録	[i]→[X]→[X]→(外)（登録するボタン外線1～36）→[電話帳] →短縮番号□□□□→ 0000～9999	
	内線ワンタッチボタンの登録	[i]→[X]→[X]→(外)（登録するボタン外線1～36）→[内線] →内線番号□…□→	
リモート操作モードまたはダイレクトインダイヤル（DID）を使って外部からコントロールする方法	リモート操作への入り方	<一次応答信号を聞く>[#]→（ユーザ用パスワード□□□□）＊ ＊リモート操作用電話機からの場合、またはパスワードが登録されていない場合は不要	[シ]
	①夜間切替	[0][1]＋（内線番号）（＊1）＋[0]／[1]／[2]／[3]＋[#] 昼　夜間　深夜　休日	[シ]＊2
	②留守切替	[0][2]＋（内線番号）（＊1）＋[0]／[1]＋[#] OFF　ON	[シ]＊2
	③留守番モード切替	[0][4]＋（内線番号）（＊1）＋[0][1]～[1][2]＋[#] 留守番モード01　留守番モード12	[シ]＊2
	④転送先切替	[0][5]＋（内線番号）（＊1）＋[0][1]～[1][4]＋[0][1]～[1][4]＋[#] 転送先1カ所目　転送先2カ所目 転送先1　転送先14　転送先1　転送先14	[シ]＊2
	⑤転送先電話番号登録	[0][6]＋（内線番号）（＊1）＋[0][1]～[1][4]＋転送先電話番号＋[#] 転送先1　転送先14	[シ]＊2
	⑥不在転送<外線への転送>切替	[0][7]＋内線番号＋[0]／[1]＋[#] OFF　ON	[シ]＊2
	⑦不在転送<外線への転送>転送先電話番号登録	[0][8]＋内線番号＋転送先電話番号＋[#]	[シ]＊2
	⑧リモコン	[0][9]＋[0][1]～[0][4]＋[0]／[1]＋[#]　■S リモコン1　リモコン4　OFF　ON [0][9]＋[0][1]～[2][0]＋[0]／[1]＋[#]　■LA ■LB リモコン1　リモコン20　OFF　ON	オプション [シ]
	⑨留守録通知先切替	[1][0]＋（内線番号）（＊1）＋[1]～[7]＋[#] 通知先1　通知先7	[シ]＊2
	⑩留守番モードメッセージ番号切替	[1][1]＋（内線番号）（＊1）＋[0][7]／[0][8]／[1][0]＋[1]～[6]＋[#] 留守番モード番号　メッセージ番号	[シ]＊2
	⑪システム応答メッセージの録音／再生	[1][2]＋（内線番号）（＊1）＋[#]→ガイダンスに従って操作する	[シ]＊2

●留守番モード番号の内容は下記のとおりです。

01：転送電話　通常転送モード	05：転送電話　不応答後追っかけ転送モード	09：お話し中モード
02：転送電話　追っかけ転送モード	06：転送電話　不応答後ツイン転送モード	10：発信者選択モード
03：転送電話　ツイン転送モード	07：留守録モード	11：通常着信モード
04：転送電話　不応答後転送モード	08：応答専用モード	12：留守録＋転送モード

＊1：モード切替用電話機の内線番号を入力します。入力不要にした場合は、あらかじめ工事者設定されたテナント番号のみ切替・変更できます。（初期設定：入力不要、テナント01が対象）

＊2：番号を可変桁に設定している場合は、内線番号のあとに[#]を押してください。

＜注意＞
この装置は、クラスＡ情報技術装置です。
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

販売店名

株式会社 日立情報通信エンジニアリング

＊ 923674A4 ＊